取扱説明書

FOMA® P903i

’06.12

本端末の海外でのご利用について

この度は、本端末をお買い上げいただきありがとうございます。
本端末は、1台で日本でも海外でもご利用になれるドコモの
国際ローミングサービス「WORLD WING」対応です。
海外でも安心してお使いいただくために、ぜひご一読ください。

ご確認いただきたい事項

①	ご利用可能エリア	本端末は、海外の3G（W-CDMA）ネットワークでの国際ローミングがご利用になれます。 ●アメリカ、中国（香港を除く）などでは、ご利用になれません。
②	通話・通信料	WORLD WINGの通話・通信料は、国内の料金と異なります。 ●海外での着信には国際転送料が含まれた「着信料」がかかります。（利用しない場合は、端末本体の電源をお切りください。） ●パケット通信（iモード等）には、アクセスごとに最低料金（50円または100円）がかかります。
③	充電	海外での充電には、海外兼用ACアダプタが必要です。 ●オプション品「FOMA海外兼用ACアダプタ01」（別売）がご利用になれます。
④	盗難・紛失	FOMAカードや端末本体の盗難・紛失の際は、速やかにドコモへご連絡のうえ、利用中断の手続きをおとりください。なお、盗難・紛失後に発生した通話・通信料もお客さまのご負担となりますのでご注意ください。 盗難・紛失時ご連絡先 〈DoCoMo インフォメーションセンター〉 滞在国の国際電話アクセス番号 -81-3-5366-3114 ※日本向け通話料がかかります。

●海外でご利用の際は、本端末の取扱説明書および「ご利用ガイドブック（国際サービス編）」の最新版を必ずご確認ください。

ドコモの国際サービスホームページから最新版のダウンロードが可能です。

ドコモの国際サービスホームページ

http://www.nttdocomo.co.jp/service/world/

WORLD WINGはお申込み手続きなしでご利用になれます。 月額使用料 無料

以下に当てはまる場合は、初回のみお申込みが必要です。
●2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約で、「WORLD WING」のお申込みをされていない場合
●2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約で、お申出により「WORLD WING」のお申込みをされなかった場合

お申込み方法

iモード	Menu ▶ 料金&お申込・設定 ▶ ドコモeサイト
パソコン	My DoCoMo（http://www.mydocomo.com/）▶ 各種手続き（ドコモeサイト）
お電話	<DoCoMo インフォメーションセンター> ●ドコモの携帯電話、PHSからの場合 （局番なし）151（無料） ※一般電話などからはご利用いただけません。 ●一般電話などからの場合 0120-800-000 ※携帯電話、PHSからもご利用いただけます。 受付時間 午前9:00〜午後8:00 ※番号をよくお確かめの上、おかけください。 ※日本からのご利用の場合に限ります。
窓口	全国のドコモショップ、ドコモワールドカウンター（成田／関空／中部）

海外（滞在国）で電話をかけるには？

滞在国内の携帯・一般電話へかける場合	相手先の電話番号を地域番号（市外局番）からそのままダイヤル

●WORLD WINGケータイレンタル

海外の3Gネットワーク以外のエリアでご利用になる場合は、「WORLD WINGケータイレンタルサービス」をご利用ください。

	レンタル料	お申込方法
事前予約	100円（税込105円）／日	iモード・パソコン、または 全国のドコモショップでお申込みください。
当日	500円（税込525円）／日	ドコモワールドカウンター（成田／関空／中部）で お申込みください。

詳しくはドコモの国際サービスホームページでご確認ください。

●本パンフレット掲載の商品の仕様・性能、料金、サービス内容、お申込みの手続き方法などは、予告なしに変更する場合がございますのでご了承ください。

NTT DoCoMo グループ
2006.9

NTT DoCoMo グループ
東日本旅客鉄道株式会社

903iシリーズでモバイルSuicaをご利用のお客さまへのお願い

903iシリーズでのモバイルSuicaサービスは、おサイフケータイ高機能化への対応のため、2007年2月1日より新しいバージョンに切り替わります。

このため、2007年1月31日までに、903iシリーズにてモバイルSuica利用※1 を開始されたお客さまは、2007年2月以降にバージョンアップのお手続きが必要になります。

バージョンアップを実施いただけませんと、2007年3月以降モバイルSuicaサービスがご利用できなくなる場合がございます。お客さまには大変ご迷惑をおかけいたしますが、必ずバージョンアップのお手続きを実施いただけますようよろしくお願いいたします。

バージョンアップが必要になるお客さま

2007年1月31日までに、903iシリーズにてモバイルSuica利用※1を開始されたお客さま

■903iシリーズでのモバイルSuica利用開始※1 が、2007年2月1日以降となるお客さまにつきましては、当初より新バージョン対応となりますので、バージョンアップ操作は不要です。

バージョンアップの時期と方法について

■バージョンアップの実施※2 は、2007年2月以降システムの準備が整いしだいの対応となります。具体的な対応開始日につきましては、今後ホームページなど※3 でご案内してまいります。

■バージョンアップの方法につきましては、以下のような手順を予定しております。

STEP1 「モバイルSuicaアプリ」のメニュー「2」～「5」のいずれかからログイン
STEP2 携帯画面上のご案内にしたがってバージョンアップのお手続き

なお、詳細につきましては、今後ホームページなど※3 でご案内させていただく予定です。

※1 新規入会のほか、機種変更、再発行等により903iで利用される場合も含みます。EASYモバイルSuicaも含みます。
※2 バージョンアップにはパケット通信料がかかります。
※3 （パソコンからは） JR東日本ホームページ： http://www.jreast.co.jp/mobilesuica/
（i モードからは） 「iメニュー」→「メニューリスト」→「交通/地図/旅行」→「鉄道/バス」→「JR東日本」→「モバイルSuica」

★ 本紙記載の内容については、10月1日現在の予定です。今後変更になる場合がございます。

おサイフケータイに関するお問い合わせ先	モバイルSuicaに関するお問い合わせ先
〈DoCoMoインフォメーションセンター〉 受付時間 午前9：00～午後8：00 ドコモの携帯電話、PHSからの場合 （局番なし）**151**（無料） ※一般電話などからはご利用できません。 一般電話などからの場合 **0120-800-000** ※携帯電話、PHSからもご利用になれます。	**〈モバイルSuicaコールセンター〉** 受付時間 午前4時～翌日午前2時 **048-645-7007**

※番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

ドコモ W-CDMA方式

このたびは、「FOMA P903i」をお買い上げいただきましして、まことにありがとうございます。

ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書および電池パックなど機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
FOMA P903iは、あなたの有能なパートナーです。大切にお取扱いのうえ、末永くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本たっている場合で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、ビートラステッド・ジャパン株式会社、日本ジオトラスト株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo and DoCoMo's roaming area.

はじめてFOMA端末をお使いになる方へ

本FOMA端末が「はじめてのFOMA端末」という方は、まず、本書を以下の順序でお読みください。FOMA端末をお使いいただくための準備と基本的な操作を、ひととおりご理解いただくことができます。

本書について、最新の情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
・「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード
（http://www.nttdocomo.co.jp/support/manual/download/index.html）

※URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかたについて

本書ではFOMA端末を正しく簡単にお使いいただくために、操作のしかたをイラストやマークを交えて説明しています。

- 本書では、ディスプレイの「待受画面」、プライベートウィンドウの「背景設定」を「OFF」にした状態で記載しています。また、デスクトップの「お知らせアイコン」「貼り付けアイコン」をすべて削除した状態で記載しています。
- 操作の方法は、スクロール選択（P.32参照）で説明しています。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書では、「ICカード機能に対応したおサイフケータイ対応ｉアプリ」を「おサイフケータイ対応ｉアプリ」と記載しております。

本書の引きかたについて

本書では次のような検索方法で、機能やサービスの説明ページを探せます。

索引から

機能名･サービス名がわかっている場合はここから探します。

かんたん検索から

よく使う機能や知っていると便利な機能をわかりやすい言葉で探します。

表紙インデックスから

表紙のインデックスを利用して探します。

詳しくは次ページで説明しています。

目次から

▶▶P.6

機能ごとに分類された目次から探します。

主な機能から ▶▶P.8

主な機能をご利用になりたい場合はここから探します。

機能一覧から ▶▶P.438

機能一覧表を利用して探します。

クイックマニュアルから ▶▶P.506

基本的な機能について簡潔に説明しています。外出の際に切り離してお持ちいただけます。

ボタンの表記について

- 本書では、ボタンの表記を省略しています。

実際のボタン	本書での表記
1 あ.@（本体色：ブラウン×シルバー ホワイト×パールストライプ）	1
1 あ.@（本体色：オレンジ×オレンジ）	

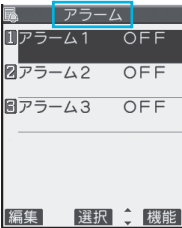
本書で使用している各ボタンのイラストについては、P.24「各部の名称と機能」参照。

- 本書の操作手順の記載についてはP.32参照。

- この「FOMA P903i 取扱説明書」の本文中においては、「FOMA P903i」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の中ではmicroSDメモリーカードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途microSDメモリーカードが必要となります。microSDメモリーカードについてはP.334参照。
-
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

「アラーム」を検索する方法を例にして説明します。

索引から　▶▶P.498

機能名称やサービス名称などを下記の例のように探します。

P.376「アラームを利用する」の説明ページへ

かんたん検索から　▶▶P.4

よく使う機能や知っていると便利な機能を下記の例のように探します。

こんなこともできます

P.376「アラームを利用する」の説明ページへ

表紙インデックスから　▶▶表紙

下記の例のように「表紙」→「章扉（章の最初のページ）」→「説明ページ」の順に設定したい機能を探します。

P.376「アラームを利用する」の説明ページへ

注：上記のページはサンプルです。

かんたん検索

知りたい機能の操作方法を調べたいときにご活用ください。

通話に便利な機能を知りたい

出られない電話にこうしたい

メロディやイルミネーションを変えたい

画面表示を変えたい／知りたい

メールを使いこなしたい

カメラを使いこなしたい

安心して電話を使いたい

※お申し込みが必要な有料サービスです。

こんなこともできます

●よく使う機能などの操作手順をクイックマニュアルとして案内しております。（P.506参照）

目次

FOMA P903iの主な機能

FOMA(Freedom Of Mobile multimedia Access)とは、第3世代移動通信システム(IMT-2000)の世界標準規格の1つと認定された「W-CDMA方式」をベースとしたドコモのサービス名称です。

iモードだからスゴイ!

iモードはiモード端末のディスプレイを利用して、iモードサイト(番組)やiモード対応ホームページから便利な情報をご利用いただけるほか、手軽にメールのやりとりができるオンラインサービスです。

◆iモーション/iモーションメール

▶▶P.220、P.236

サイトやインターネットから映像や音楽を取得して楽しめます。
また、内蔵カメラで撮影した動画や、サイトやインターネットから取得したiモーションをiモードメールに添付して送れます。

◆着うた®/着モーション

▶▶P.128、P.138

保存したiモーションを「着モーション」として着信音や着信画像に設定できます。

- 「着うた」は株式会社ソニー･ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

◆テレビ電話

▶▶P.52

離れている相手と顔を見ながら会話できます。お買い上げ時の状態で、相手の声がスピーカから聞こえるようになっているためすぐに会話を始めることができます。また、通常の音声通話中でも電話を切ることなくテレビ電話へ切り替えることができます。

◆プッシュトーク

▶▶P.94

電話帳から相手を選んでプッシュトークボタンを押すだけのかんたん操作で複数の人(自分を含めて最大5人まで)と通信できます。

◆おサイフケータイ iモード FeliCa 対応

▶▶P.288

おサイフケータイ対応iアプリをダウンロードすることで、サイトからFOMA端末内のICカードに電子マネーを入金したり、残高や利用履歴を確認したりできるようになります。さらにドコモのクレジットサービス「DCMX」のiアプリをプリインストールしており、携帯電話が「おサイフケータイ」として実生活の中でますます便利な道具になります。
また、機種変更などのFOMA端末お取替え時でもICカード内データを簡単に移行できる「iCお引っこしサービス」にも対応しています。

◆iモードメール/デコメ絵文字

▶▶P.226、P.232

テキスト本文に加えて、合計2Mバイトもしくは10個までファイル(JPEG、トルカ、PDFなど)を添付できます。また、デコメール/デコメ絵文字にも対応しており、メール本文の文字の色や大きさ、背景色を変えたりすることができ、表現力豊かなメールを作成し、送信できます。

◆GPS

▶▶P.298

GPS衛星から発信される電波を利用して、FOMA端末の位置情報を取得します。取得した位置情報を利用して、今いる場所の地図を表示して周辺情報を探したり、自分の位置をメール添付して通知したり、目的地までのナビゲーションが可能です。(ナビゲーションiアプリがプリインストールされています。)
また、サイトの住所情報を利用してGPS対応iアプリを起動する住所リンク機能にも対応しています。
さらに、第三者がiモードやパソコンからFOMA端末所有者の位置情報を確認できる「イマドコサーチ」やFOMA端末紛失時に紛失したFOMA端末の位置情報をパソコンで確認できる「ケータイお探しサービス」もGPS対応で、より精度の高い位置情報を確認できます。
※サービスごとの利用設定で位置提供を「許可」に設定すると、FOMA端末を操作しなくても位置情報が送信され、検索者に通知されることがあります。

◆トルカ

▶▶P.290

トルカとは、おサイフケータイで取得できる電子カードで、チラシやレストランカード、クーポン券などとしてご利用いただけます。
トルカは読み取り装置やサイト、QRコードなどから取得が可能で、メールや赤外線、microSDメモリーカードを使って簡単に交換できます。さらにiC通信により、おサイフケータイをかざし合うことでトルカを交換することもできます。
取得したトルカは、画面に表示したり、読み取り装置にかざしたりすることで簡単に利用できます。

◆iチャネル

▶▶P.222

ニュースや天気などをグラフィカルな情報として受信できます。さらに、チャネル一覧画面でお好きなチャネルを選択することにより、リッチな詳細情報を取得できます。

- iチャネルは、お申し込みが必要な有料サービスです。

◆メガｉアプリ／ｉアプリDX ▶▶P.270

ｉアプリをサイトからダウンロードすることにより、ゲームを楽しんだり自動的に株価や天気情報などを更新させたりできます。また、大容量のメガｉアプリ対応のため、高精細3Dゲームや長編ロールプレイングゲームなども楽しむことができます。
さらにｉアプリDXでは、電話帳やメールなどｉモード端末内の情報と連動することで、よりｉアプリの楽しみかたが広がります。

◆着もじ ▶▶P.60

電話をかけて相手を呼び出している間、着信画面にメッセージを表示させることができます。用件や緊急度をあらかじめ相手に伝えることができるので、着信側はメッセージを見て相手の用件･気持ちを事前に知ることができます。

◆国際ローミング ▶▶P.430

日本国内でお使いのFOMA端末、電話番号、メールアドレスが海外でもそのまま使えます。音声電話、テレビ電話、ｉモード、ｉモードメール、SMS、ネットワークサービスを利用できます。（3Gローミングエリアのみ対応）
海外でFOMA端末の電源を入れた場合や、滞在先を移動したときなど、利用していた通信事業者が圏外になってしまった場合でも、自動的に適切なネットワークや通信事業者を検索して接続します。

◆Bluetooth ▶▶P.392

FOMA端末とBluetooth機器をワイヤレスで接続し、FOMA端末を鞄などに入れたまま通話をしたり音楽を聴いたりできます。

◆着うたフル®プレーヤー ▶▶P.358

サイトからダウンロードした着うたフル®をFOMA端末で再生します。

◆SDオーディオ ▶▶P.365

音楽CDなどからmicroSDメモリーカードにパソコンを利用して保存した曲をFOMA端末で再生します。

◆ワンプッシュオープン ▶▶P.44

■ワンプッシュ応答 ▶▶P.71

着信があった場合、ワンプッシュオープンボタンを押してFOMA端末を開くだけで電話に出ることができます。

■オープン新着表示 ▶▶P.142

不在着信や新着メールがあった場合、ワンプッシュオープンボタンを押してFOMA端末を開くだけで不在着信履歴詳細画面や受信メール一覧画面を表示できます。

◆あんしん設定 ▶▶P.153

各種ロック機能やセキュリティ設定などの「あんしん」のための各種設定をご利用いただけます。

■あんしんキーロック ▶▶P.161

あんしんキーがFOMA端末から離れるとFOMA端末にロックがかかります。FOMA端末を置いて席を離れた場合などに、自動的にロックがかかり便利です。

■おまかせロック ▶▶P.159

FOMA端末を紛失した際にFOMA端末にロックがかけられ、申し出により解除できます。
お問い合わせ先については、取扱説明書裏面をご参照ください。
※おまかせロックは、ご契約者の方とFOMA端末をご利用されているお客様が異なる場合、ご契約者の方からのお申し出があればロックがかかることがありますのでご了承ください。

■電話帳お預かりサービス ▶▶P.175

FOMA端末の電話帳、静止画、メールをお預かりセンターに保存し、紛失時などにお預かりセンターに保存したデータをFOMA端末に復元できるサービスです。さらに、お預かりセンターに保存したデータをパソコンを利用して編集･管理ができ、編集したデータをFOMA端末に反映できます。
電話帳お預かりサービスご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細などについては「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」、お問い合わせ先については取扱説明書裏面をご覧ください。
なお、電話帳お預かりサービスはお申し込みが必要な有料サービスです。

◆ネットワーク ▶▶P.402

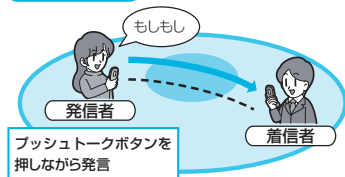
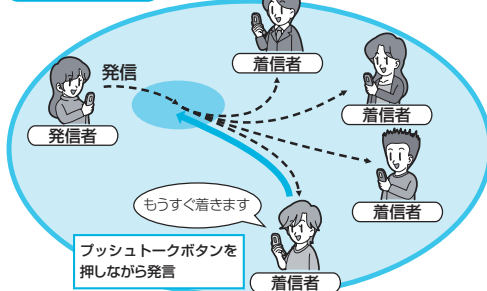
- 留守番電話サービス（有料）
  ･お申し込みが必要となります。
- キャッチホン（有料）
  ･お申し込みが必要となります。
- 転送でんわサービス（無料）
  ･お申し込みが必要となります。
- デュアルネットワークサービス（有料）
  ･お申し込みが必要となります。
- マルチナンバー（有料）
  ･お申し込みが必要となります。
- SMS（ショートメッセージ）（無料）
  ･お申し込みは不要です。

FOMA P903iを使いこなす！

◆着もじ　▶▶P.60

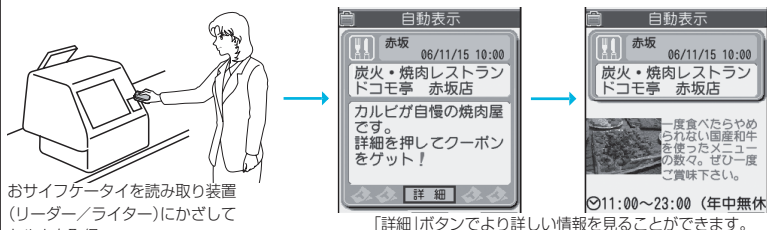
音声電話やテレビ電話をかける際、呼び出し中に相手側へメッセージを送り、用件を伝えることができます。あらかじめ登録しておいたメッセージや送信済みのメッセージを選択して送ることもできます。

◆プッシュトーク　▶▶P.94

プッシュトークボタンを押してプッシュトーク用電話帳を呼び出し、相手を選んでプッシュトークボタンを押すだけのかんたん操作で複数の人（自分を含めて最大5人まで）と通信できます。

◆トルカ　▶▶P.290

トルカは読み取り装置やサイトなどから取得が可能で、メールや赤外線、microSDメモリーカードを使って簡単に交換できます。取得したトルカは「LifeKit」の「トルカ」内に保存されます。

おサイフケータイを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしてトルカを取得。

「詳細」ボタンでより詳しい情報を見ることができます。

◆キャラ電で気持ちを伝える　▶▶P.83、P.328

相手の画面

自分の画面 © Disney

テレビ電話で通話するとき、自分の映像の代わりにキャラクタを相手の画面に表示できます。テレビ電話中の代替画像にキャラ電を設定すると、ボタン操作で感情や動きが表現できます。
また、お客様の声に合わせて口を動かせるキャラ電もあります。

◆音楽&ワイヤレス

■着うたフル®プレーヤー　▶▶P.358

サイトからダウンロードした着うたフル®を再生します。着うたフル®に登録された歌詞や画像を見たり、好きな順に再生して楽しめます。

■SDオーディオ　▶▶P.365

microSDメモリーカードに保存した音楽を再生します。音楽は添付CD-ROMの「SD-Jukebox」とパソコンを利用して、音楽CDなどからmicroSDメモリーカードに保存します。

■Bluetooth　▶▶P.392

FOMA端末とBluetoothヘッドセット（市販品）をBluetoothで接続すると、FOMA端末を鞄に入れたまま通話をしたり音楽を聴いたりできます。

◆ｉチャネル　▶▶P.222

自分で操作することなく、いろいろな情報を定期的に受信できます。また、ｉチャネル対応ボタンを押すことでチャネル一覧画面を表示することができ、さらにリッチな詳細情報を取得できます。

未契約

契約後

◆GPS機能　▶▶P.298

現在地を地図に表示して周辺情報を検索したり、電話帳に登録できます。位置情報をメールで通知したり、ｉアプリを利用して交通情報を確認することもできます。

◆内蔵ｉアプリ　▶▶P.277

ダージュ　オブ　ケルベロス
ロストエピソード
-ファイナルファンタジーⅦ-

ぷよぷよ～ん&COLUMNS

きれいなグラフィックス映像により、臨場感のあるゲームを楽しめます。
Bluetooth機能を利用してお友達と対戦できるゲームやGPS機能を利用して交通のルートや最寄り駅などを検索できる便利なアプリもあります。
また、「ケータイコーディネーター」はカスタムジャケットに合わせてメニュー画面などを簡単に入れ替えでき、カスタムジャケットの楽しさを広げます。

◆国際ローミング　▶▶P.430

日本国内でお使いのFOMA端末、電話番号が海外でもそのまま使えます。音声電話、テレビ電話、ｉモード、ｉモードメール、SMS、ネットワークサービスを利用できます。

安全上のご注意　必ずお守りください

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

	危険	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	警告	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止(してはいけないこと)を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
ぬれ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水ぬれ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は下記の6項目に分けて説明しています。

FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードの取扱いについて〈共通〉

危険

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電器含む）は、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。
指定品以外のものを使用した場合は、FOMA端末および電池パックやその他の機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。
電池パック　P09
FOMA ACアダプタ　01
FOMA海外兼用ACアダプタ　01
FOMA DCアダプタ　01
卓上ホルダ　P15
FOMA乾電池アダプタ　01
●その他互換性のある商品についてはドコモショップなど窓口までお問合せください。

分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。
火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

火のそばや、ストーブのそば、直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。
機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。
また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

警告

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に携帯電話の電源をお切りください。また充電もしないでください。ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご利用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。（ICカードロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。
ショートによる火災や故障の原因となります。

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末やアダプタ（充電器含む）、FOMAカードを入れないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、ただちに次の作業を行ってください。
1. 電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜く。
2. FOMA端末の電源を切る。
3. 電池パックをFOMA端末から取り外す。

そのまま使用すると発熱、破裂、発火または電池パックの漏液の原因となります。

注意

子供が使用する場合は、保護者が取扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。
けがなどの原因となります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがや故障の原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
故障の原因となります。

充電、または動画撮影や再生、テレビ電話、iモード、iアプリの繰り返しや長時間連続使用などの場合においてFOMA端末や電池パック・アダプタ（充電器含む）の温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じるおそれがあります。
FOMA端末をアダプタ（充電器含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

FOMA端末の取扱いについて

警告

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

禁止

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。

FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に影響を与える可能性があります。

禁止

自動車などを運転中に使用しないでください。

2004年11月1日から、運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となっております。ハンズフリーキットをご利用の場合でも車を安全な場所に停車してからご利用ください。運転中は、公共モードまたは留守番電話サービスをご利用ください。

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に影響を与える可能性があります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。

指示

ハンズフリーに設定して通話する際は、必ずFOMA端末を耳から離してください。

難聴になる可能性があります。

禁止

フォトライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所にFOMA端末を置かないでください。

エアバッグが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

指示

屋外で使用中に、雷が鳴りだしたら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。

落雷、感電の原因となります。

注意

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

下記の箇所に金属を使用しています。

使用箇所	素材	表面処理
コマンドナビゲーションボタン ワンプッシュオープンボタン	ABS	銅メッキ、 ニッケルメッキ下地にクロムメッキ仕上げ
ディスプレイ側ケース	マグネシウム合金	塗装
カスタムジャケット用ネジ	鉄	銅メッキ、 ニッケルメッキ下地にクロムメッキ仕上げ
電池パック取付部側面	PC+ASA	銅メッキ、 ニッケルメッキ

禁止

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

禁止

FOMA端末内のFOMAカード挿入口やmicroSDメモリーカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、感電、故障の原因となります。

指示

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあります。

安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。

禁止

磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。

キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

人の近くや顔を近づけて、ワンプッシュオープンでFOMA端末を開かないでください。
本人や他の人に当たり、けがの原因となります。

FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。
けがなどの事故や破損の原因となることがあります。

Bluetooth機能は日本国内で使用してください。
FOMA端末のBluetooth機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
海外でご使用になると罰せられることがあります。

FeliCa リーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。
FOMA端末の FeliCa リーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
海外でご使用になると罰せられることがあります。

あんしんキーは日本国内で使用してください。
FOMA端末のあんしんキーは日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
海外でご使用になると罰せられることがあります。

電池パックの取扱いについて

■電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオン電池

危険

電池パック内部の液が目のなかに入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

火の中に投下しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パックをFOMA端末に取り付けるときに、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。また、電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

警告

電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で洗い流してください。
皮膚に傷害をおこす原因となります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。
電池パックを漏液、発熱、破壊、発火させる原因となります。

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

注意

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となることがあります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

アダプタ（充電器含む）の取扱いについて

警告

コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、故障、感電、傷害の原因となります。

濡れた手でアダプタ（充電器含む）のコード、コンセントに触れないでください。
感電の原因となります。

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
感電の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電、火災、故障の原因となります。

次ページにつづく

禁止

アダプタ(充電器含む)のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。
感電、発熱、火災の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットからプラグを抜いてください。
感電、発煙、火災の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込む時は、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。
感電、ショート、火災の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。海外で使用する場合は、FOMA海外兼用ACアダプタ　01を使用してください。
ACアダプタ:AC100V
FOMA海外兼用ACアダプタ:AC100～240V
(家庭用交流コンセントのみに接続すること)
DCアダプタ:DC12V･24V
(マイナスアース車専用)

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
誤ったヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災の原因となります。

指示

プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災の原因となります。

禁止

充電中は、充電器および卓上ホルダを安定した場所においてください。また、充電器および卓上ホルダを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。
FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、FOMA端末、アダプタ(充電器含む)には触れないでください。
落雷、感電の原因となります。

注意

電源プラグを抜く

お手入れの際は、コンセントやシガーライタソケットからプラグを抜いて、行ってください。
感電の原因となります。

禁止

アダプタ(充電器含む)のコードや電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。
感電、火災の原因となります。

指示

アダプタ(充電器含む)をコンセントやシガーライタソケットから抜く場合は、アダプタ(充電器含む)コードや電源コードを引っ張らず、プラグを持って抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

FOMAカードの取扱いについて

注意

指示

FOMAカード(IC部分)を取り外す際にご注意ください。
手や指を傷つける可能性があります。

医用電気機器近くでの取扱いについて

■本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」(電波環境協議会)に準ずる。

警告

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
- 手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の動作に影響を与える場合があります。

取扱上のお願い

共通のお願い

■**水をかけないでください。**

FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身につけている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有償修理となります。

■**お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**

- FOMA端末のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。お取扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などでふくと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■**端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。**

端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などでふいてください。

■**エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**

急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■**FOMA端末に無理な力がかかるような場所に置かないでください。**

多くの物がつまった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ると、液晶画面、内部基板などの破損、故障の原因となり、保証の対象外となります。

■**電池パックやアダプタ（充電器含む）に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

FOMA端末についてのお願い

■**極端な高温、低温は避けてください。**

温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。

■**一般の電話機やテレビ・ラジオ等をお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**

■**お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**

万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■**ズボンやスカートの後ろポケットにFOMA端末を入れたまま、椅子などに座らないでください。また、鞄の底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。**

故障の原因となります。

■**ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を閉じないでください。**

故障、破損の原因となります。

■**使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

■**カメラを直射日光に向けて放置しないでください。**

素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

電池パックについてのお願い

■**電池パックは消耗品です。**

十分に充電しても使用状態などによっても異なりますが、使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

■**充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**

■**初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。**

■**電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。**

■**電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。**

■**直射日光が当たらず、風通しの良い涼しい場所に保管してください。**

長時間使用しないときは、使い切った状態でFOMA端末から外し、電池パックを包装しているビニール袋などに入れて保管してください。

アダプタ（充電器含む）についてのお願い

■充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

■次のような場所では、充電しないでください。
・湿気、ほこり、振動の多い場所
・一般の電話機やテレビ、ラジオなどの近く

■充電中、アダプタ（充電器含む）が温かくなることがありますが異常ではありませんのでそのままご使用ください。

■DCアダプタを使用して充電する場合は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
車のバッテリーを消耗させる原因となります。

■抜け防止機構のあるコンセントを使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

■強い衝撃を与えないでください。また、充電端子、端子ガイドを変形させないでください。
故障の原因となります。

FOMAカードについてのお願い

■FOMAカードの取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。

■ご使用になる端末への挿入には必要以上の負荷をかけないようにしてください。

■使用中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

■他のICカードリーダライタなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。

■IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。

■お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

■お客様ご自身で、FOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。

■極端な高温・低温は避けてください。

■ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

■FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。

■FOMAカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。

カメラについてのお願い

■お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

FeliCa リーダー／ライターについてのお願い

■FOMA端末の FeliCa リーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。

■使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

あんしんキーロックを使用する場合のお願い

■あんしんキーロックは、安心空間コンソーシアムが策定したSecure PrivateCosm（SPC）技術を用いて携帯電話とあんしんキーがお互いに通信し、離れたことを感知したときに携帯電話をロックする機能です。

■対応バージョン
仕様書EA001 Ver.1.00 特定小電力※
※FOMA端末およびあんしんキーは安心空間コンソーシアムが定めている方法でSPC仕様に適合していることを確認しており、426MHz帯の特定小電力無線局の認証を取得しています。

あんしんキーロックの使用上の注意事項

本製品の使用周波数帯では、テレメータ・テレコントロールなどの免許を要しない特定小電力無線局が運用されています。
本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、すみやかに使用場所を変えてください。
また、硬貨など金属物を近づけたり接触させたりすると、あんしんキーの信号を認識できなくなり、携帯電話がロックされる場合があります。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

- ■FOMA端末は、Bluetoothを使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetoothを使用した通信を行う際にはご注意ください。
- ■Bluetoothを使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ■FOMA端末では、ヘッドセットサービス、ハンズフリーサービス、オーディオサービス、ダイヤルアップ通信サービス、オブジェクトプッシュサービス、シリアルポートサービスの6つのサービスを利用できます。また、オーディオサービスではオーディオ／ビデオリモートコントロールサービスも利用できる場合があります。(対応しているBluetooth機器のみ)

対応バージョン
Bluetooth標準規格Ver.1.2準拠※1

対応プロファイル※2(対応サービス)

HSP
Headset Profile(ヘッドセットプロファイル)

HFP
Hands-Free Profile(ハンズフリープロファイル)

A2DP
Advanced Audio Distribution Profile
(アドバンスドオーディオディストリビューションプロファイル)

AVRCP
Audio Video Remote Control Profile
(オーディオ／ビデオリモートコントロールプロファイル)

DUNP
Dial-up Networking Profile
(ダイヤルアップネットワーキングプロファイル)

OPP
Object Push Profile
(オブジェクトプッシュプロファイル)

SPP
Serial Port Profile(シリアルポートプロファイル)

※1 FOMA端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。
※2 Bluetoothの接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

■周波数帯について
FOMA端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

2.4 FH 1

2.4 ：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
FH ：変調方式がFH-SS方式であることを示します。
1 ：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
▭▭▭ ：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

Bluetooth機器使用上の注意事項

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します)が運用されています。

1. **本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。**
2. **万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止して電波干渉を避けてください。**
3. **その他、ご不明な点につきましては、次の連絡先へお問い合わせください。**
   連絡先(ドコモ総合お問い合わせ先)：
   0120-800-000
   ※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロード等により取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信等することはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

- 「FOMA」「mova」「着もじ」「プッシュトーク」「プッシュトークプラス」「キラリメール」「iモード」「iアプリ」「iアプリDX」「iモーション」「iモーションメール」「デコメール」「着モーション」「キャラ電」「トルカ」「イマドコサーチ」「あんしんキー」「電話帳お預かりサービス」「おまかせロック」「ドコモケータイdatalink」「ドコモテレビ電話ソフト」「mopera」「mopera U」「WORLD CALL」「デュアルネットワーク」「FirstPass」「ビジュアルネット」「Vライブ」「iチャネル」「おサイフケータイ」「iCお引っこしサービス」「DCMX」「iD」「カスタムジャケット」「クイックキャスト」「セキュリティスキャン」「iショット」「iエリア」「ショートメール」「WORLD WING」「公共モード」「メッセージF」「My DoCoMo」「パケ・ホーダイ」「ファミリーワイドリミット」「マルチナンバー」「DoPa」「sigmarion」「musea」および「FOMA」ロゴ「i-mode」ロゴ「i-αppli」ロゴ「DCMX」ロゴ「iD」ロゴ「WORLD WING」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「マルチタスク／Multitask」は日本電気株式会社の商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- 使いかたナビ®は株式会社カナックの登録商標です。
- νMaicoviconは松下電器産業株式会社の登録商標です。
- フリーダイヤルサービス名称およびフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の商標です。
- ナビダイヤルサービス名称およびナビダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の商標です。
- JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- Powered by JBlend™ Copyright 2002-2006 Aplix Corporation. All rights reserved.

  JBlendおよびJBlendに関する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
- microSDロゴは商標です。

- 本製品はインターネット機能として株式会社ACCESSのNetFrontを搭載しています。
  NetFrontは日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
  Copyright © 1996-2006 ACCESS CO., LTD.
- 日本語変換はオムロンソフトウェア(株)のAdvanced Wnn V2を使用しています。
  "Advanced Wnn V2" © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 1999-2006 All Rights Reserved.
- IrFront®は、株式会社ACCESSの日本ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- QuickTimeは米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- 「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。
- ⓕはフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関係会社の日本国内における登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- Powered by Mascot Capsule®/Micro3D Edition™ Mascot Capsule®は株式会社エイチアイの商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。
- Microsoft、MS、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

・本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
Windows® 2000 Professionalは、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。
Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating system、またはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。

その他

・本製品は、Adobe Systems IncorporatedのFlash® Lite™テクノロジーを搭載しています。

Flash、Flash LiteおよびMacromediaはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。
・本製品の一部にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
・本製品のOBEX機能は株式会社ACCESSのIrFront®を搭載しています。
・IrFront®は、株式会社ACCESSの製品です。

・本製品のチャーミーフェイス、チャーミーフェイスⅡはReallusion, Inc.のテクノロジーを搭載しています。
・本製品のBluetoothソフトウェア･スタックは株式会社東芝が開発したBluetooth® Stack for Embedded Systems Spec 1.2を搭載しております。
・FeliCa は、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
・本製品はAdobe Systems Inc.のAdobe Readerを搭載しています。

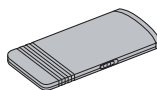
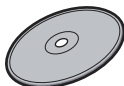
Adobe, the Adobe logo and Reader are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated.
Adobe、および、Adobe ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。

・本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
●MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4ビデオ）を記録する場合
●個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4ビデオを再生する場合
●MPEG-LAよりライセンスをうけた提供者から入手されたMPEG-4ビデオを再生する場合
詳細については米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせ下さい。
・下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations;
4,901,307 5,490,165 5,056,109
5,504,773 5,101,501 5,506,865
5,109,390 5,511,073 5,228,054
5,535,239 5,267,261 5,544,196
5,267,262 5,568,483 5,337,338
5,600,754 5,414,796 5,657,420
5,416,797 5,659,569 5,710,784
5,778,338
・本製品にはGNU General Public License（GPL）、GNU Lesser General Public License（LGPL）その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。
当該ソフトウェアに関する詳細は、本製品付属CD-ROM内の「GPL･LGPL等について」フォルダ内の「readme.txt」をご参照ください。
・「PRINT Image Matching」「PRINT Image MatchingⅡ」「PRINT Image MatchingⅢ」に関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。

本体付属品および主なオプション品について

＜本体付属品＞

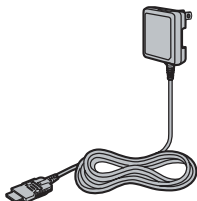
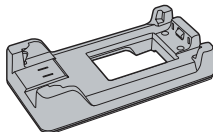
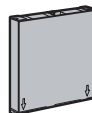
●FOMA P903i本体
（保証書、リアカバー　P13、
カスタムジャケット　P06含む）

●あんしんキー　P01
（コイン電池（試供品）、取扱説明書付き）

●FOMA P903i用CD-ROM
PDF版「データ通信マニュアル」・PDF版「区点コード一覧」を収録しています。

●取扱説明書（本書）
クイックマニュアル添付（P.506参照）

●別紙　SDオーディオ簡易操作ガイド

●カスタムジャケット専用ドライバ
（P.467参照）

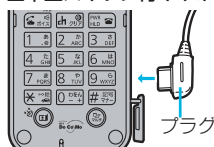
＜主なオプション品＞

●FOMA ACアダプタ　01
（保証書、取扱説明書付き）

●卓上ホルダ　P15
（取扱説明書付き）

●電池パック　P09
（取扱説明書付き）

その他オプション品について→P.468

ご使用前の確認

各部の名称と機能

●FOMA端末のアンテナは本体に内蔵されています。
●本体色によってボタンのデザインが異なります。
上記は本体色「ブラウン×シルバー」・「ホワイト×パールストライプ」のイラストです。

■平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)の取り付けかた

平型スイッチ付イヤホンマイクを抜き差しするときは、プラグを持ってまっすぐに抜き差ししてください。また、抜くときは、カバーとプラグを一緒に持たないようにご注意ください。

❶受話口
・相手の声をここから聞く

❷ディスプレイ(表示部)
(P.26参照)

❸照度センサー
・明るさを感知する(P.142参照)

❹(✉)メールボタン
・メールメニューを表示(P.246参照)
・画面左下に表示されている操作を行う(P.30参照)

<1秒以上押すと>
・ｉモード問い合わせを行う(P.241参照)

❺(ﾒﾆｭｰ)メニューボタン
・メインメニューを表示(P.32参照)

<1秒以上押すと>
・ICカードロックをかける(P.296参照)

❻(chクリア)クリア／ｉチャネル対応ボタン
・操作を1つ前の状態に戻す
・入力した文字や電話番号を消す
・チャネル一覧画面を表示(P.224参照)

❼(☎)開始ボタン／ハンズフリーボタン
・電話をかける／受ける(P.53、P.70参照)
・ハンズフリーで通話する(P.68参照)

<1秒以上押すと>
・ボイスダイヤルを呼び出す(P.124参照)

❽(テレビ電話)テレビ電話ボタン
・テレビ電話をかける／受ける(P.53、P.70参照)
・GPSメニューを表示(P.298参照)

<1秒以上押すと>
・現在地を測位し、GPS機能を実行する(P.302参照)

❾送話口
・自分の声をここから相手に送る

⑩赤外線ポート
・赤外線通信や赤外線リモコンに使用（P.344、P.348参照）

⑪インカメラ
・自分を撮影（P.179参照）
・テレビ電話時に自分の顔を映す

⑫◎コマンドナビゲーションボタン
・機能操作やメニュー操作を行う（P.30参照）

⑬ｉモードボタン／ｉアプリボタン
・ｉモードメニューを表示（P.200参照）
・画面右下に表示されている操作を行う（P.30参照）

<1秒以上押すと>
・ｉアプリのソフト一覧画面を表示（P.273参照）

⑭カメラボタン
・「フォトモード」でカメラを起動（P.184参照）
・カメラ起動中にカメラモードを切り替える（P.189参照）

<1秒以上押すと>
・「ムービーモード」でカメラを起動（P.187参照）

⑮電源／終了ボタン
・通話を終了する
・各機能を終了する
・電源を入れる（1秒以上）／切る（2秒以上）（P.45参照）

⑯ダイヤルボタン
・電話番号や文字を入力
●#（1秒以上）
マナーモードに設定（P.134参照）
●*（1秒以上）
公共モード（ドライブモード）に設定（P.77参照）
●5（1秒以上）
バックライトの点灯／消灯を切り替える（P.143参照）

⑰マルチボタン
・マルチタスクメニューを表示（P.373参照）

<1秒以上押すと>
・複数の機能が起動中に機能を切り替える（P.373参照）

⑱外部接続端子
・ACアダプタ（別売）、DCアダプタ（別売）、FOMA USB接続ケーブル（別売）などを接続

⑲アウトカメラ
・人や風景を撮影（P.179参照）
・テレビ電話時に人や風景を映す

⑳着信／充電ランプ
・電話の着信時／通話中／メールの受信時などに点滅（P.145参照）
・充電中に赤色に点灯
・カメラ撮影時に点灯（点滅）
●FOMA端末は左右に2つのランプを搭載しているため、着信／充電ランプは各ランプの混合色で光ります。（本書においては、FOMA端末を閉じたときの右側のランプ色で説明しています。）

㉑プライベートウィンドウ
（P.28参照）

㉒フォトライト
・暗い所などでの撮影に使用（P.189参照）

㉓ストラップ取り付け穴

㉔充電端子

㉕FeliCa マーク
・ICカードを搭載
●このマークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしてICカード機能をご利用ください。なお、ICカードは取り外しできません。（P.289参照）

㉖リアカバー
（P.41参照）

㉗プッシュトークボタン
・プッシュトーク発信／着信（P.95、P.98参照）
・プッシュトーク電話帳を表示（P.99参照）

<1秒以上押すと>
・「着うたフル®プレーヤー」または「SDオーディオ」を起動（P.358、P.365参照）

㉘▲サイド上ボタン
・ページ単位で上にスクロールする

㉙▼サイド下ボタン
・ページ単位で下にスクロールする
・伝言メモなどを利用（P.81参照）
・不在着信・新着メールを確認（P.147参照）

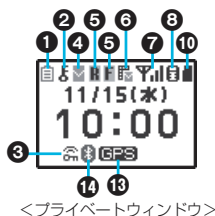
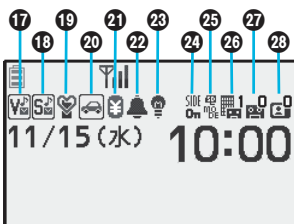
<閉じた状態で1秒以上押すと>
・マナーモードに設定（P.134参照）

㉚ワンプッシュオープンボタン
（P.44参照）

㉛スピーカ
・着信音が鳴る
・ハンズフリー設定中に相手の声をここから聞く（P.68参照）

㉜microSDメモリーカード差し込み口
・microSDメモリーカードをここに差し込む（P.335参照）

㉝イヤホンマイク／AV出力端子
（P.354、P.391参照）

ディスプレイの見かた

＜プライベートウィンドウ＞

❶	
	電池残量(目安)(P.44参照)
❷	
	オールロック中(P.158参照)
	PIMロック中(P.160参照)
	ダイヤル発信制限中(P.169参照)
	シークレットモード、シークレット専用モード中(P.170参照)
	ICカードロック中(P.296参照)
	ダイヤル発信制限中･PIMロック中
	ダイヤル発信制限中･シークレットモード、シークレット専用モード中
	ICカードロック中･オールロック中
	ICカードロック中･PIMロック中
	ICカードロック中･ダイヤル発信制限中
	ICカードロック中･シークレットモード、シークレット専用モード中
	ICカードロック中･ダイヤル発信制限中･PIMロック中
	ICカードロック中･ダイヤル発信制限中･シークレットモード、シークレット専用モード中
❸	
	あんしんキーロックを設定しているとき(P.162参照)
	あんしんキーロック中(P.162参照)
	あんしんキーロック一時解除中(P.162参照)
	あんしんキーロック異常(P.162参照)
	閉じタイマーロック設定中(P.165参照)
❹	
(ピンク)	未読ｉモードメール･SMSあり(P.239、P.266参照)
(グレー)	FOMA端末内のｉモードメール･SMSが一杯(P.239、P.267参照)
	FOMAカード内のSMSが一杯
(ピンク)	未読メールがあり、FOMAカード内のSMSが一杯
(グレー)	FOMA端末内･FOMAカード内の両方が一杯

❺	
R F(黄色)	未読メッセージR/Fあり(P.214参照)
R F(グレー)	FOMA端末内のメッセージR/Fが一杯(P.214参照)
❻	
(ピンク)	ｉモードセンターにｉモードメールあり(P.241参照)
(グレー)	ｉモードセンターのｉモードメールが一杯(P.239参照)
(黄色)	ｉモードセンターにメッセージR/Fあり(P.215参照)
(グレー)	ｉモードセンターのメッセージR/Fが一杯(P.215参照)
	メール選択受信設定を「ON」に設定中にｉモードセンターにｉモードメールあり(P.241参照)
❼	
	電波の受信レベル(目安) 強 ←→ 弱
圏外	FOMAサービスエリア外や電波の届いていないところにいるとき
self	セルフモード中(P.159参照)
❽	
	ｉモード中(P.200、P.201参照)
	ｉモード通信中(P.200参照)
	パケット通信中(通信状態によって表示は異なります。)
	プッシュトーク通信中(P.95参照)
	ネットワークサーチ設定を「マニュアル」に設定中に圏外になったとき(P.433参照)
❾	
	SSL通信中(P.201参照)

⑩	
	microSDメモリーカードを装着中(P.335参照)
	microSDメモリーカードのデータを読み込み／書き込み中
	ライトプロテクトがかかったmicroSDメモリーカードを装着中(P.335参照)
	装着しているmicroSDメモリーカードが使用不可(P.335参照)
	microSDメモリーカードを装着し、microSDモードでFOMA USB接続ケーブル(別売)接続中(P.341参照)(プライベートウィンドウには表示されません)
⑪	
	音声電話中
	テレビ電話中(64K)
	テレビ電話中(32K)
	64Kデータ通信中
⑫	
	マルチタスク中(P.373参照)
	複数の機能が動作中(P.373参照)
⑬	
	現在地測位中(P.298参照)
	位置提供設定を「許可」または「許可期間設定」に設定中(P.304参照)
⑭	
(青色)	Bluetooth機器との接続中など(P.395、P.397参照)
(グレー)	Bluetooth機器との接続が低消費電力状態(P.395参照)
⑮	
	赤外線通信中(P.344、P.348参照)
⑯	
	通信モードでFOMA USB接続ケーブル(別売)接続中
	microSDモードでFOMA USB接続ケーブル(別売)接続中(P.341参照)
	USBハンズフリー対応機器で通話・通信中(P.69参照)
	USBハンズフリー対応機器接続中(P.69参照)
	microSDモードでUSBハンズフリー対応機器接続中(P.69参照)
⑰	
	バイブレータ設定中(P.130参照)
⑱	
	着信音量を「消去」に設定中またはメール／メッセージ鳴動を「OFF」に設定中(P.75、P.133参照)
⑲	
	マナーモード中(P.134参照)
	遠隔監視設定を「ON」に設定中(P.90参照)
⑳	
	公共モード(ドライブモード)中(P.77参照)
㉑	
	通話料金が設定した上限値を超過(P.389参照)
㉒	
	アラーム設定中(P.377参照)
㉓	
	バックライトを「OFF」に設定中(P.143参照)
㉔	
	サイドボタン操作を「閉じた時無効」に設定中(P.169参照)
㉕	
	USBモード設定を「microSDモード」に設定中(P.341参照)
㉖	
～ ・	留守番電話サービスの伝言メッセージあり(P.402参照)
㉗	
～	伝言メモの録音件数(P.80参照)
㉘	
～	テレビ電話伝言メモの録画件数(P.80参照)

●日付・時刻を設定している場合、待受画面以外では、画面の右上に時計が表示されます。ただし、⑮⑯のアイコンが表示されているときは、時計は表示されません。

■ディスプレイの表示について
●ディスプレイやプライベートウィンドウに表示する文字や記号は、一部変形もしくは省略しているものがあります。
●主にお買い上げ時の設定をもとにしていますので、お買い上げ後の設定の変更によりFOMA端末の表示が取扱説明書とは異なった表示になることがあります。
●カラー液晶ディスプレイの製造には精度の高い技術が要求されます。ちょっとした環境の変化等で点灯しなかったり、常時点灯したりする画素ができますが、これはカラー液晶ディスプレイの構造によるもので故障ではありません。あらかじめご了承ください。
●本書ではカラー画面を白黒で記載しているため、実際の画面とは色調が異なります。

<表示アイコン説明>

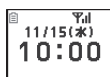
アイコンの説明を表示する

画面の上部に表示されるマーク(など)をアイコンといいます。アイコンの意味は画面上で確認できます。

1 **メニュー▶設定▶ディスプレイ▶表示アイコン説明▶でアイコンを選ぶ**

選んだアイコンの説明が表示されます。

プライベートウィンドウについて

プライベートウィンドウには、時計やアイコンなどさまざまな情報が以下の例のように表示されます。

時計　スケジュールアラーム　着信中

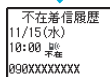
発信中　音声通話中　遠隔監視中

■不在着信があったときは

FOMA端末を閉じているときは、プライベートウィンドウに「不在」が表示されます。

▲を押すと不在着信履歴が表示されます。電話帳に登録している相手からの不在着信の場合、名前が表示されます。

複数の不在着信があった場合、▲を押すたびに3件までの不在着信履歴が表示されます。

- 不在着信があったあとに、通常の着信を30件以上受けた場合は、不在着信履歴は表示されません。
- ツールグループ(P.372参照)の機能が動作中は、不在着信履歴は表示されません。
- 不在着信履歴を表示すると「不在」は消えます。

■新着メールがあったときは

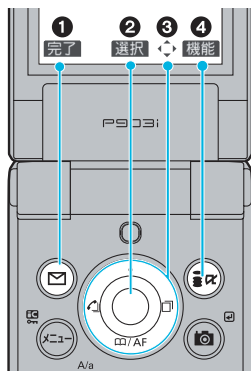
FOMA端末を閉じているときは、プライベートウィンドウに「メール」が表示されます。
P.140「メール表示」を「ON」に設定している場合は、▲を押すと受信したメールの受信日時、送信元、題名が表示されます。電話帳に登録している相手からメールを受信した場合、送信元の名前が表示されます。
SMSを受信した場合、題名には「SMS」と表示されます。
複数のメールを同時に受信した場合、▲を押すたびに3件までのメールが表示されます。

- セキュリティが設定されているBOX·フォルダ内のメールの受信日時、送信元、題名は表示されません。
- 受信したメールの受信日時、送信元、題名を表示すると「メール」は消えます。
- 「受信表示設定」を「操作優先」に設定していて、待受画面以外を表示中にメールを受信したときは、情報は表示されずに「メール」が表示されます。
- 音声電話中やテレビ電話中にメールを受信したときは、「受信表示設定」を「通知優先」に設定していても情報は表示されません。

お知らせ

- FOMA端末を閉じた状態で▲▼またはPを押すと、バックライトが点灯します。暗い場所でも時刻を確認できます。
- 省電力モードになると、プライベートウィンドウの表示が消えます。▲▼またはPを押すと、再びプライベートウィンドウが表示されます。

ナビゲーション表示について

表示される内容を実行したいときは、以下のように表示に対応するボタンを押します。

■主な表示例とボタン割り当て

❶	(✉)ボタンで行う操作を表示	完了 ✉
❷	(●)ボタンで行う操作を表示	選択 確定
❸	スクロールや項目の選択が可能な方向を表示	◆
❹	(iα)ボタンで行う操作を表示	機能 i

■コマンドナビゲーションボタンの操作

上

・カーソルまたは反転表示を上方向へ移動させます。(押し続けると連続スクロールになります)

・サイト表示中やメールの本文を表示中に画面をスクロールします。

・待受画面で押すと電話帳機能の選択画面(電話帳メニュー)を表示します。

・入力した文字をカタカナ、漢字などに変換します。(P.421参照)

左／着信履歴

・カーソルを左方向へ移動させます。

・待受画面で押すと着信履歴を表示します。1秒以上押すと受信アドレス一覧を表示します。(P.58、P.254参照)

・表示内容を画面単位で前の画面へスクロールさせます。(押し続けると連続スクロールになります)

・サイト表示中に前のページに戻ります。

決定ボタン

・操作を決定します。

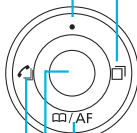
右／リダイヤル

・カーソルを右方向へ移動させます。

・待受画面で押すとリダイヤルを表示します。1秒以上押すと送信アドレス一覧を表示します。(P.58、P.254参照)

・表示内容を画面単位で次の画面へスクロールさせます。(押し続けると連続スクロールになります)

・サイト表示中に次のページを表示します。

下

・カーソルまたは反転表示を下方向へ移動させます。(押し続けると連続スクロールになります)

・サイト表示中やメールの本文を表示中に画面をスクロールします。

・待受画面で押すと電話帳検索画面を表示します。1秒以上押すと電話帳登録できます。(P.109、P.116参照)

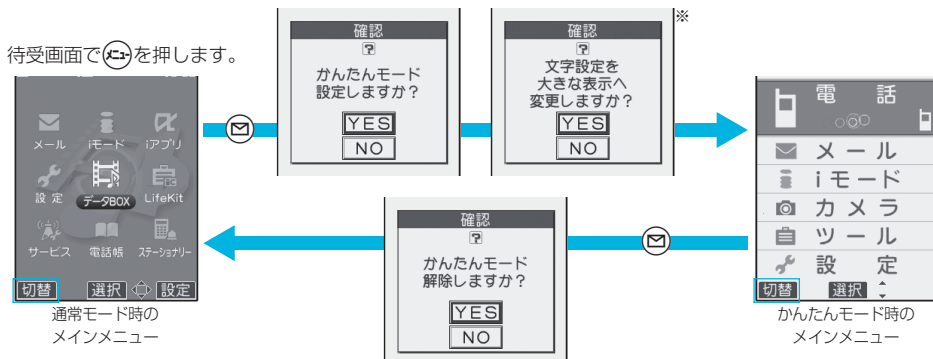
・入力した文字を漢字、カタカナなどに変換します。(P.421参照)

かんたんモードを利用する

かんたんモードとは、通常モードよりも操作を少なくして、使いやすくしたモードです。

- 画面に表示される機能は基本機能に絞っています。
- 詳細な機能を使う場合は、✉(切替)で通常モードに切り替えてください。
- 本書では、通常モードでの操作のみを記載しています。かんたんモードでの操作については、各機能の該当ページを参照してください。

かんたんモードに切り替える

通常モードとかんたんモードをメインメニューから切り替えます。

※「YES」を選択すると、「ｉモード設定」「メール設定」の「文字サイズ設定」を「拡大表示」に設定します。かんたんモードを解除してもそれぞれの設定は元に戻りません。また、すでに「拡大表示」に設定されているときは、確認画面は表示されません。

かんたんモードの構成

電話	メール	ｉモード
電 話 発信履歴 着信履歴 電話帳検索 電話帳登録 伝言メモ 自分の電話番号	メール 受信メール 送信メール 保存メール 新規メール作成 メール問い合わせ	ｉモード メニュー ブックマーク 画面メモ ラストURL URL入力 メッセージR/F

カメラ	ツール	設定
カメラ 写真をとる 写真を見る 動画をとる 動画を見る	ツール データBOX スケジュール アラーム 電 卓 フリーメモ 使いかたナビ	設 定 着信音/音量 画面/文字 通話料金 日付時刻 セキュリティ サービス

メニューの選択方法について

FOMA端末では(メニュー)を押してメインメニューを表示し、各種機能を実行、設定、確認します。

■スクロール選択

メインメニューは、機能をイメージした9つの大項目アイコンで構成され、4つのグループ(メール・ｉモード・設定・ツール)に分かれています。(P.372参照)

大項目アイコンを選択すると中項目の選択画面、さらに選択すると小項目の選択画面が表示されます。選択を繰り返して設定、確認を行います。

■メニュー番号選択

機能によっては、(メニュー)＋メニュー番号(P.438参照)を押すと表示されます。

●FOMA端末は、メールグループ、ｉモードグループ、設定グループ、ツールグループの各グループから1つずつ(最大3つ)と、グループに属さない音声電話などの機能を同時に使用できる「マルチタスク」に対応しています。(P.372参照)

スクロール選択

この取扱説明書では、コマンドナビゲーションボタンの操作(上下左右の選択と機能項目を選択、入力したあとの(●))を省略して記載しています。ここでは、以下の記載例に基づき、「通話品質アラーム」の機能を選択する方法を例にしてスクロール選択を説明します。

手順の記載例

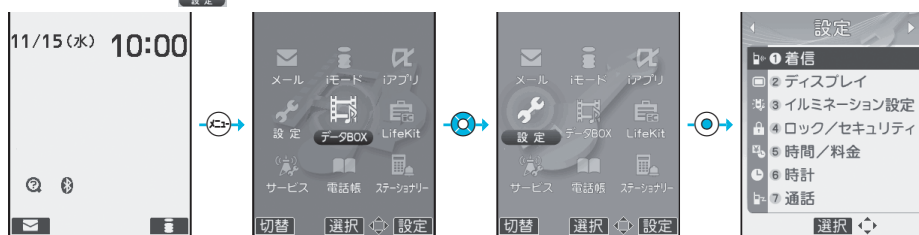
大項目のアイコン　中項目　小項目の機能名称

1 (メニュー)▶(設定)▶**通話**▶**通話品質アラーム**▶**アラームを選択**

アラームなし. . . お知らせしません。
アラーム高音. . . 高音のアラームを鳴らしてお知らせします。
アラーム低音. . . 低音のアラームを鳴らしてお知らせします。

画面に表示される項目

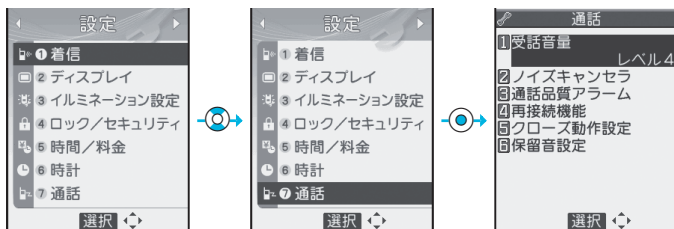
ステップ 1 メニュー機能の大項目アイコンを選択します

メインメニューから(設定)を選択します。

●(○)を押してアイコンを選択します。
「メニューアイコン設定」を「パターン2」に設定した場合は、メインメニューで(○)を押して大項目アイコン、(○)を押して各アイコン内の中項目や機能を選べます。

●(○)を押し続けると連続スクロールします。

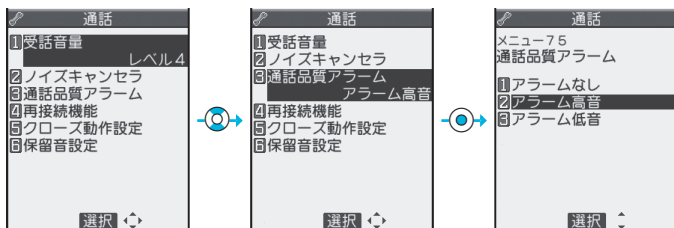
●15秒以上ボタンを押さなかった場合は待受画面に戻ります。ただし、「メニューアイコン設定」を「パターン2」に設定している場合は戻りません。

ステップ
2 メニュー機能の中項目を選択します

「設定」から「通話」を選択します。

- 反転表示している項目が現在選んでいる項目です。
- を押すと下の項目、を押すと上の項目を選べます。
- を押し続けると連続スクロールします。
- または▲▼を押すとページ単位でスクロールします。

ステップ

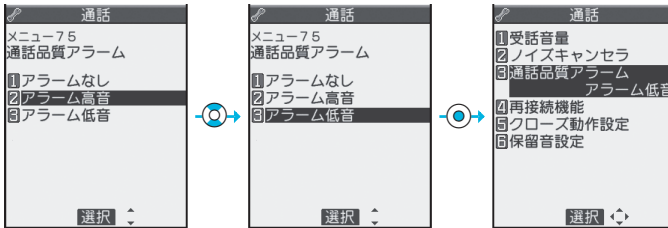
3 目的の小項目(機能)を選択します

「通話」から「通話品質アラーム」を選択します。

- を押すと下の項目、を押すと上の項目を選べます。
- を押し続けると連続スクロールします。
- 項目が複数のページにわたるときは、画面の右上に全体のページ数と現在のページ数が表示されます。

次ページにつづく

ステップ

4 機能の設定や確認をします

選択した各機能の設定や確認を行います。
機能項目によっては、さらに詳細項目を選択する場合があります。
操作の例では「通話品質アラーム」を「アラーム低音」に設定します。

- 反転表示している項目が現在選んでいる項目です。
- ◯を押すと下の項目、◯を押すと上の項目を選べます。
- ◯を押し続けると連続スクロールします。

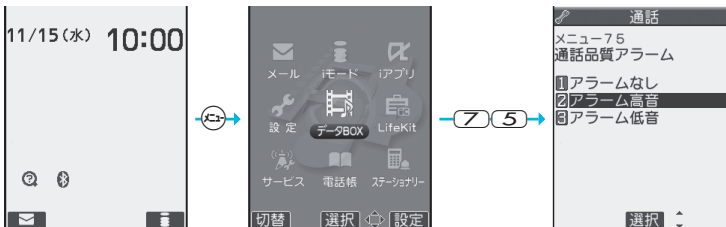
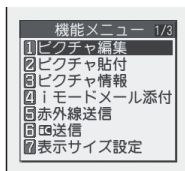
メニュー番号選択

ここでは以下の記載例に基づいてメニュー番号選択を説明します。

メニュー番号の記載例

ステップ

1 メニュー番号で機能を呼び出します

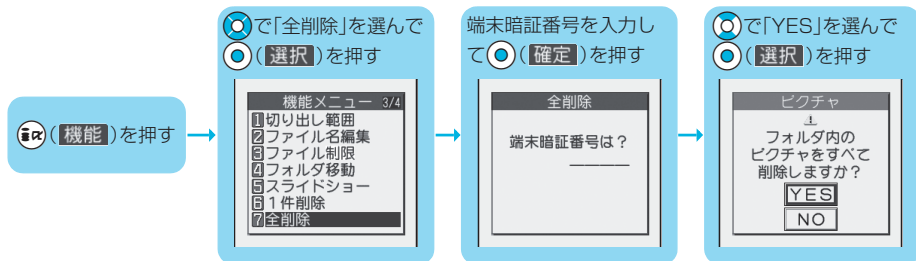
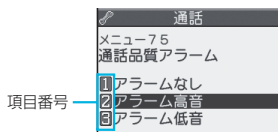
待受画面で(メニュー)(7)(5)を押します。

■機能メニュー画面について

- 画面の右下に「機能」が表示されているときにiαを押すと、機能メニューが表示されます。機能メニューを表示させたときの画面によって、機能メニューの内容は異なります。
- それぞれの操作において、登録や編集、削除など操作可能な項目が表示されます。
- 項目が複数のページにわたるときは、機能メニュー画面の右上に「現在のページ数／全体のページ数」が表示されます。

機能メニューの記載例

この取扱説明書では、機能メニューの操作をページによって以下の2つの方法で記載しています。

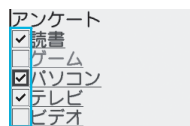
機能メニュー	操作	補足
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES	●すべてのデータを削除します。

機能メニュー	操作・補足
全削除	すべてのデータを削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES

実際の操作は以下のように行います。

■すばやく項目を選択するために<ダイレクト選択>

表示されている項目番号と同じ数字のダイヤルボタンを押しても選択できます。

■項目のスクロール

メニュー項目などが複数のページにわたるときは、画面の一番上、下の項目から○を押すと前、次のページを表示します。○または▲▼を押すとページ単位でスクロールします。

■チェックボックスについて

複数の項目を選択できる機能では、チェックボックスにチェックを付けて項目を選択します。●(選択)を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。
機能によってはiα(機能)を押して「全選択／全選択解除」を選択し、一括でチェックを付けたり外したりできる場合があります。
- 機能によっては選択した項目に「☑」が表示されます。

■メニュー操作が終わったとき／途中でやめるときは

●メニュー操作が終わったとき
各機能の設定が終わると小項目の選択画面になります（ただし機能によっては待受画面に戻るものもあります）。各機能の設定が終わったら（☎）を押します。メニュー操作を終了して待受画面に戻ります。（マルチタスク中を除く）

●メニュー操作を途中でやめるとき
設定を途中でやめるときは（☎）を押します。設定中の内容を破棄して待受画面や元の画面に戻ります。ただし、設定の項目によっては設定中の内容を破棄するかしないかの確認画面が表示されることがあります。
また、（chクリア）を押して操作を1つ前の状態に戻せます。

■「YES／NO」を選択する画面のときは

●「YES／NO」の選択画面のとき

設定リセットの場合

1.（○）を押して「YES」または「NO」を選ぶ
2.（●）（選択）を押す

＜使いかたナビ＞

ボタン操作を忘れてしまったとき

知りたい機能、使いたい機能を探して操作方法を確認します。機能によっては「使いかたナビ」から実行できるものもあります。

1 （メニュー）▶ ▶使いかたナビ▶項目を選択

使いかたナビ画面

基本の操作 ..... 基本的な機能を表示します。手順4へ進みます。
おすすめ機能.... おすすめの機能を表示します。手順4へ進みます。
機能検索 .... 機能を検索します。
ボイス検索 ..... キーワードを話して検索します。P.37手順2へ進みます。
検索履歴 .... 過去の検索履歴を30件まで表示します。手順4へ進みます。

●各項目を選んで（✉）（ヘルプ）を押すと詳しい操作方法が表示されます。
●お買い上げ時に貼り付けられているアイコンを削除したあと、再度デスクトップに貼り付けたいときは、左の画面で（iα）（機能）を押して「デスクトップ貼付」を選択します。（P.149参照）

2 手順1で「機能検索」を選択した場合は、検索方法を選択

文字入力キーワード検索 ... キーワードを入力して検索します。手順3へ進みます。
索引検索 .... 機能を50音順で検索します。（✉）、（iα）を押すと前後の行を表示します。手順4へ進みます。
機能一覧検索............. 機能の一覧から検索します。手順4へ進みます。

●各項目を選んで（✉）（ヘルプ）を押すと詳しい操作方法が表示されます。
「文字入力キーワード検索」を選んで（✉）（ヘルプ）を押した場合は、「文字入力キーワード検索」または「文字入力のしかた」を選択します。

3 キーワードを入力

検索結果が50件まで表示されます。
●全角24文字まで、半角48文字まで入力できます。

4 機能を選択▶項目を選択

機能の説明. . . . . . . 機能の説明を表示します。
操作のしかた. . . . . 操作方法を表示します。
この機能を使う . . . 機能を実行します。各機能の操作を行います。
関連機能 . . . . 関連する機能を10件まで表示します。手順4を繰り返します。

- 機能によっては◉(選択)を数回押して選択します。
- 手順1で「基本の操作」を選択した場合、機能を選択すると説明が表示されます。✉(実行)を押すと機能を実行できます。
- 機能を選んで✉(説明)を押しても機能の説明が表示されます。
- 検索履歴を削除するには iα(機能)を押して「1件削除」または「全削除」を選択し、「YES」を選択します。

ボイス検索

キーワードを話して検索します。「音声読み上げ設定」の「ボイス検索」を「ON」に設定しておくと、操作を音声ガイダンスで案内します。

1 使いかたナビ画面▶ボイス検索

- ✉(ﾍﾙﾌﾟ)を押し、「ボイス検索」または「音声入力のしかた」を選択すると詳しい操作方法が表示されます。

2 音声認識開始音が鳴ったらキーワードを話す

音声認識開始音が鳴ってから4秒以内に話し始めてください。
認識結果が9件まで表示されます。

- 音声認識開始音の音量は変更できません。また、マナーモード中は音声認識開始音は鳴りません。
- 音声で入力できるキーワードはあらかじめFOMA端末に登録されているキーワードのみです。発声した言葉が認識されにくい場合は、別の言葉を発声してみてください。
- 音声入力についてはP.125参照。

3 認識結果を選択▶項目を選択

このキーワードで検索 . . . . . 選択したキーワードで検索します。検索結果が50件まで表示されます。P.37手順4へ進みます。
キーワードの追加 . . . . キーワードを追加します。手順2～手順3を繰り返します。

FOMAカードを使う

FOMAカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。FOMAカードには、電話帳やSMSなどのデータも保存できます。FOMAカードを差し替えることにより、用途に合わせて複数のFOMA端末を使い分けることができます。
FOMAカードを差し込まないと、FOMA端末で音声電話やテレビ電話、iモード、メールの送受信、パケット通信などの通信を利用できません。
FOMAカードの詳しい取扱いにつきましては、FOMAカードの取扱説明書をご覧ください。
FOMAカードを付け外しする際には、ICに不用意に触れたり、傷をつけたりしないようにご注意ください。

FOMAカードの取り付けかた／取り外しかた

FOMAカードは、電池パックを外してからセットします。(P.41参照)

■取り付けかた

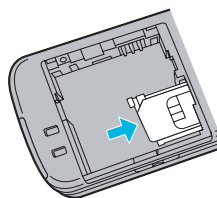
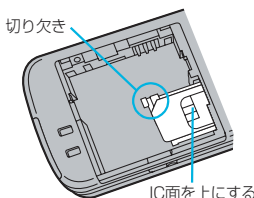
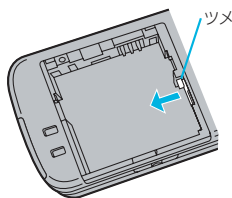
1 ツメの部分を引いてトレイを引き出す

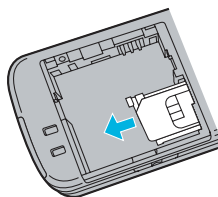
- トレイを「カチッ」と音がするまでまっすぐ引き出します。

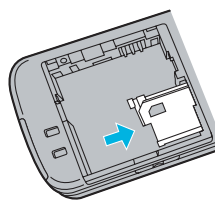
2 IC面を上にしてFOMAカードをトレイに載せる

- FOMAカードとトレイの切り欠き部分を合わせてください。

3 トレイを奥に押し込む

- 固定されるまで確実に押し込んでください。

■取り外しかた

1 取り付けかたの手順1に従ってトレイを引き出し、FOMAカードを取り外す

■トレイが外れたときは

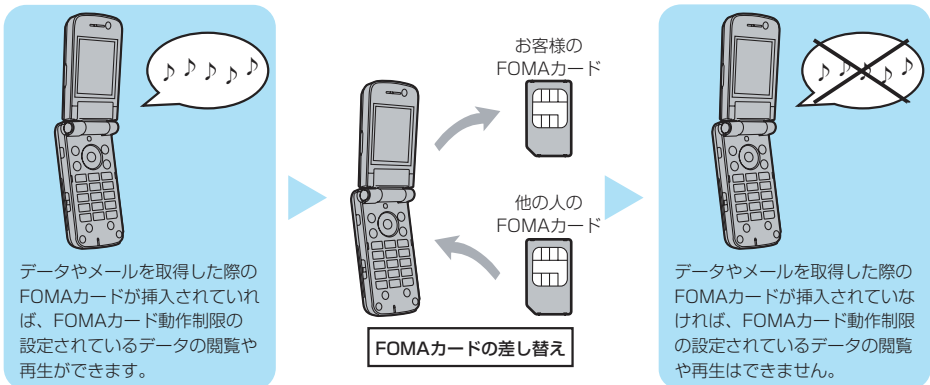
トレイをガイドレールに合わせてまっすぐ押し込んでください。

お知らせ

- FOMAカードの付け外しは、電源を切ってから、FOMA端末を閉じて手で持った状態で行ってください。
- FOMAカードを無理に付けようとするとFOMAカードが壊れることがありますのでご注意ください。また、トレイを無理に付けようとするとトレイやガイドレールが壊れることがありますのでご注意ください。
- 外したFOMAカードはなくさないようご注意ください。
- FOMAカードを差し替えたとき(おまかせロック中は除く)は、電源を入れたあと4～8桁の端末暗証番号を入力する必要があります。端末暗証番号が正しく入力されると待受画面が表示されます。5回誤った端末暗証番号を入力した場合は、電源が切れます。(ただし、再度電源を入れることは可能です。)

FOMAカードの暗証番号について

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。（P.155参照）

FOMAカード動作制限機能について

FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護するためのセキュリティ機能として、FOMAカード動作制限機能が搭載されています。
FOMAカードを挿入した状態で、次のような方法でデータやファイルを取得すると、取得したデータやファイルには自動的にFOMAカード動作制限機能が設定されます。
・サイトやインターネットホームページから画像やメロディなどをダウンロードしたとき
・ファイルが添付されているｉモードメールを受信したとき
FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルは、取得時に挿入していたFOMAカードが挿入されているときのみ、閲覧／再生／起動／編集／メールへの添付／赤外線通信機能によるデータの送信などを実行できます。データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを挿入していなかったり、別のFOMAカードに差し替えると、これらの操作ができなくなります。
●このあとの説明では、データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを「お客様のFOMAカード」、それ以外のFOMAカードを「他の人のFOMAカード」として説明しています。

●FOMAカードを挿入していなかったり、他の人のFOMAカードを挿入すると次のようなデータやファイルでは、制限を示す「 」が表示されます。
・テレビ電話伝言メモ／動画メモ
・サイトやインターネットホームページからダウンロードまたは取得したメロディ／画像／ｉモーション／ｉアプリ／キャラ電／PDFデータ
・ダウンロード辞書
・メロディ／画像／ｉモーション／キャラ電／ダウンロード辞書／トルカが含まれている画面メモ
・受信BOX内のｉモードメールに添付されている、または貼り付けられているファイル（メロディ／画像／キャラ電ピクチャ／キャラ電ムービー）
・送信BOX／保存BOX内のｉモードメールに添付されているファイル（メロディ／画像／ｉモーション／キャラ電ピクチャ／キャラ電ムービー）ただし、FOMA端末で撮影／編集したデータは除きます。
・ファイル（メロディ／画像）が添付されている、または貼り付けられているメッセージR/F
・デコメール本文中に挿入されている画像
※あらかじめ登録されているｉアプリ／キャラ電は、サイトから再びインストール（バージョンアップ）すると本機能の対象になります。
●FOMAカード動作制限機能が設定されているデータのプレビュー画像は右のように表示されます。

次ページにつづく

お知らせ

- FOMAカード動作制限機能が設定されると、他の人のFOMAカードに差し替えたときは、本機能が設定されたデータやファイルを「画面表示設定」や「着信音選択」などに設定できません。
- FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルを「画面表示設定」や「着信音選択」などに設定した場合、FOMAカードを抜いたり、他の人のFOMAカードに差し替えるとお買い上げ時の設定で動作します。お客様のFOMAカードを挿入し直すと、お客様が設定した状態に戻ります。
- 赤外線通信機能やデータの送受信(OBEX)機能を使って受信したデータ、FOMA端末で撮影／編集した静止画／動画には、FOMAカード動作制限機能が設定されません。
- 他の人のFOMAカードを挿入した状態でも、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルの移動／削除は可能です。
- FOMAカード動作制限機能が設定されているｉアプリは、ダウンロード時に挿入されていたFOMAカードが挿入されていないと、メール詳細画面で反転表示されている文字などを選択しても起動できません。
- 下記の機能は設定内容がFOMAカードに登録されます。
  ･SMS有効期間設定　･SMS center設定　･バイリンガル
  ･ドコモ証明書1、ユーザ証明書の有効／無効の設定　･PIN1コード、PIN2コード　･PIN1コード入力設定
  ･優先ネットワーク設定

FOMAカードの機能差分について

FOMA端末で「FOMAカード(青色)」をご使用になる場合、次のような「FOMAカード(緑色)」との機能差分がありますのでご注意ください。

機能	FOMAカード(青色)	FOMAカード(緑色)	参照先
FOMAカードの電話帳に登録できる電話番号の桁数	最大20桁	最大26桁	P.110
FirstPassを利用するためのユーザ証明書の操作	利用不可	利用可	P.217
WORLD WINGの利用※	利用不可	利用可	P.430
サービスダイヤル「ドコモ故障問合せ」および「ドコモ総合案内･受付(DoCoMo インフォメーションセンター)」の利用	利用不可	利用可	P.409

※WORLD WINGとは、FOMAカード(緑色)とサービス対応端末で、海外でも同じ携帯電話番号で発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。
なお、P903iはドコモの3Gローミングサービスエリアでのみご利用いただけます。GSMサービスエリアでご利用される場合は、GSM対応端末に差し替えることによりご利用いただけます。

※2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいた方は、お申し込み不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいた方や途中でご解約された方は、再度お申し込みが必要です。

※2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約で「WORLD WING」をお申し込みいただいていない方はお申し込みが必要です。

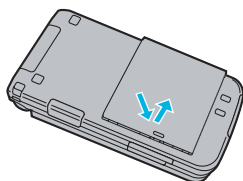
※一部ご利用になれない料金プランがあります。

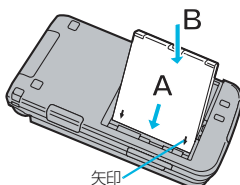
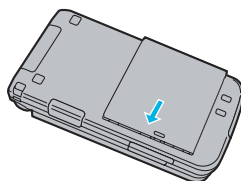
※万一、FOMAカード(緑色)を海外で紛失･盗難された場合には、速やかにドコモへご連絡いただき、利用中断の手続きをとってください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の総合お問い合わせ先をご覧ください。なお、紛失･盗難されたあとに発生した通話･通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。

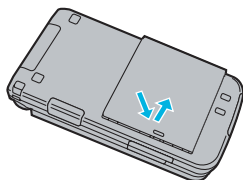
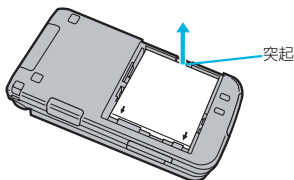
電池パックの取り付けかた／取り外しかた

FOMA端末専用の電池パック　P09をご利用ください。

■取り付けかた

1 「⊂⊃」部分を押しながら、ロックが外れるまで（2mm以上）矢印の方向にスライドさせてリアカバーを取り外す

2 矢印面を上にしてAの方向に差し込み、Bの方向に押す

●電池パックのツメを本体の溝に確実に合わせます。

3 リアカバーを矢印の方向にスライドさせて取り付ける

■取り外しかた

1 「⊂⊃」部分を押しながら、ロックが外れるまで（2mm以上）矢印の方向にスライドさせてリアカバーを取り外す

2 電池パックの突起を利用して上方向に持ち上げる

お知らせ

- 電池パックの付け外しは、電源を切ってから、FOMA端末を閉じて手で持った状態で行ってください。また、付け外し中にワンプッシュオープンボタンを押さないようご注意ください。
- 電池パックを付けるときは、必ずFOMAカードのトレイが出ていないことを確認してください。トレイが出ていると電池パックを付けることができません。無理に付けようとするとFOMAカードやトレイが壊れることがあります。
- 無理に付けようとするとFOMA端末の充電端子が壊れることがあります。
- 詳しくは電池パック　P09の取扱説明書をご覧ください。

FOMA端末を充電する

FOMA端末専用の電池パック　P09をご利用ください。

電池の寿命は？

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをお勧めします。また、電池パックの使用条件によって、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
  電池パックの寿命の目安は約1年です。ただし、短時間の充電／放電を繰り返したり高温になる環境で充電を行ったり、長時間充電状態を継続したりすると電池パックの寿命が短くなることがあります。

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

充電について

- 詳しくはFOMA ACアダプタ　01（別売）、FOMA海外兼用ACアダプタ　01（別売）、FOMA DCアダプタ　01（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA ACアダプタ　01はAC100Vのみに対応しています。
- 充電中でもFOMA端末の電源を入れておけば、電話を受けることができます。ただし、その間は充電量が減るため、充電の時間が長くなります。また、開いた状態で充電すると、待受時間や通話時間などが短くなる場合があります。
- 充電中に、テレビ電話などを長時間行ったりすると、FOMA端末内部の温度が上昇し、充電が停止する場合があります。その場合は、しばらくたってから再度充電してください。
- コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。
- 充電中に電池パックを外さないでください。

電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください。

- 充電中にFOMA端末の電源を入れたままで長時間おくと、充電が終わったあとFOMA端末は電池パックから電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐに電池切れアラームが鳴ってしまうことがあります。このようなときは、再度正しい方法で充電を行ってください。再充電の際は、FOMA端末を一度ACアダプタ（または卓上ホルダ）、DCアダプタから外して再度セットし直してください。

電池の使用時間の目安（電池の使用時間は、充電時間や電池の劣化度で異なります。）

連続待受時間	静止時：約640時間 移動時：約420時間	連続通話時間	音声電話時　：約190分 テレビ電話時：約120分

※連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
※連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか、弱い場合等）などにより、待受時間は約半分程度になることがあります。iモード通信を行うと通話（通信）･待受時間は短くなります。また、通話やiモード通信をしなくても、iモードメールの作成、ダウンロードしたiアプリやiアプリ待受画面の起動、データ通信やマルチアクセスの実行、カメラや音楽再生･Bluetooth接続を使用すると通話（通信）･待受時間は短くなります。
※滞在国のネットワーク状況によっては、連続通話時間、連続待受時間が短くなることがあります。
※静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じ、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
※移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じ、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。

電池の充電時間の目安

ACアダプタ	約140分	DCアダプタ	約140分

※充電時間の目安は、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの時間です。FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

ACアダプタと卓上ホルダでの充電方法

1 ACアダプタ(別売)を卓上ホルダ(別売)に接続する

2 ACアダプタのプラグをコンセントへ差し込む

3 FOMA端末を卓上ホルダに差し込む

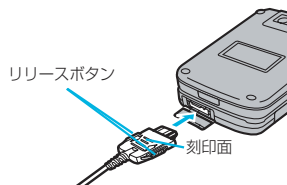
「カチッ」と音がするまで差し込みます。
着信／充電ランプが赤く点灯したことを確認してください。
着信／充電ランプが点滅した場合は、FOMA端末からACアダプタと電池パックを一旦外し、再度取り付けてから充電をやり直してください。
再び同じ動作をする場合はACアダプタ、卓上ホルダや電池パックの異常や故障が考えられますのでドコモショップなど窓口までご相談ください。

●充電の開始、終了時に「充電確認音」(P.132参照)が鳴ります。ただし、電源を切っているときやマナーモード中、公共モード(ドライブモード)中は鳴りません。
●FOMA端末は、卓上ホルダにしっかり取り付けてください。また、コネクタキャップや市販のストラップなどを挟まないようにご注意ください。
●FOMA端末を開いた状態でも充電できます。

4 充電が完了したらFOMA端末を卓上ホルダから取り外す

●長時間使用しないときは、ACアダプタをコンセントから抜いてください。

着信／充電ランプ(赤く点灯)
①
②
卓上ホルダ　P15
刻印面を下にして水平に差し込む
AC100V
FOMA ACアダプタ　01

■ACアダプタのみで充電する
刻印面を上にして「カチッ」と音がするまで差し込んでください。抜く場合は、リリースボタンを押しながら抜きます。

※ACアダプタの抜き差しは、向き(表裏)を確かめ水平に行ってください。無理に取り外そうとすると故障の原因となります。

■充電中･充電完了時の表示について

	着信／充電ランプ	ディスプレイ「 」表示
充電中	赤く点灯※	点滅
充電完了	緑で点灯(1回のみ)※	点灯

●FOMA端末の電源を切っているときは、「 」は表示されません。
電池が切れた状態で充電を開始すると、着信／充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電自体は開始されています。
※着信／充電ランプがゆっくりと明るくなったり、暗くなったりして光がゆらぎます。

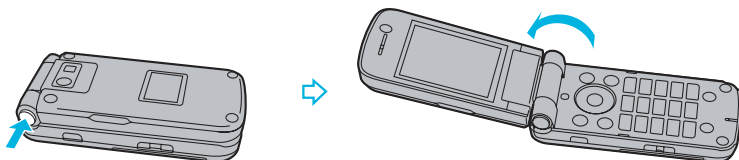
■DCアダプタ(別売)
DCアダプタは、FOMA端末に電池パックを付けたまま自動車のシガーライタソケット(12V／24V)から充電するための電源を供給するアダプタです。
詳しくはFOMA DCアダプタ　01の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ
●海外でご利用になる場合、滞在先の国や場所で利用できる電圧を確認して、FOMA海外兼用ACアダプタ01(別売)を使用してください。(渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要になります。)また、海外旅行用の変圧器を使用しないでください。
●DCアダプタで充電中、ヒューズが切れたときは、必ず2Aのヒューズをご使用ください。ヒューズ(2A)は消耗品ですので、交換に際しては、お近くのカー用品店などでお買い求めください。

＜ワンプッシュオープン＞
ボタン操作でFOMA端末を開く

FOMA端末をワンプッシュで簡単に開けます。ボタンを使わず手で開くこともできます。

1 ワンプッシュオープンボタンを押す

FOMA端末が開きます。

お知らせ
- FOMA端末の向きによっては、ボタンを押したときに完全に開かない場合もあります。
- ボタンを押してFOMA端末を開くときは、反動でFOMA端末を落とさないようにご注意ください。
- FOMA端末を閉じるときは手で閉じます。閉じられない場合は一度完全に開いてから閉じてください。

＜電池残量＞
電池残量の確認のしかた

FOMA端末の電源を入れると、電池残量の目安がアイコンで表示されます。

・十分残っているとき . . . . （緑色）
・少なくなっているとき . . . . （緑色）
・ほとんど残っていないとき. . . . . （赤色）

- 電池の残量がほとんど残っていないときは、充電することをおすすめします。

画面と音で確認する　メニュー 7 1

電池残量の目安が画面と音で確認できます。

1 メニュー▶設定▶その他▶電池残量

十分残っているとき

ピッピッピッ

少なくなっているとき

ピッピッ

ほとんど残っていないとき

ピッ

※ 電池残量がほとんどありません。
充電してください。

- 絵表示は約３秒後に消えます。
- 「マナーモード」、「スーパーサイレント」、「オリジナルマナー」に設定中、および「ボタン確認音」が「OFF」に設定されているときは音は鳴りません。

■電池が切れるときは

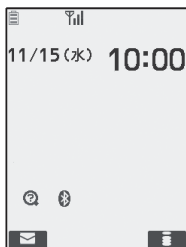
電池切れ画面

左のような画面が表示され、電池切れアラームが約10秒間鳴ります。電池切れアラームを止めるには▲、▼以外のいずれかのボタンを押してください。約1分後に電源が切れます。
- 通話中は、画面とともに受話口からの「ピピピ」音によりお知らせします。約20秒後に通話が切れ、さらに約1分後に電源が切れます。
- 「マナーモード」、「スーパーサイレント」に設定中、および「オリジナルマナー」で「低電圧アラーム」が「OFF」に設定されているときは、スピーカからの音は鳴りません。

＜電源ON／OFF＞

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 **☎を1秒以上押す**

待受画面

ウェイクアップ画面(P.138参照)が表示されたあと、待受画面が表示されます。
- 電話帳の登録件数やメールの保存件数などが多い場合、画面が表示されるまでに時間がかかることがあります。
- 時計設定が設定されていれば現在の日付時刻が表示されます。
- 「圏外」が表示されているときはFOMAサービスエリア外、または電波の届かない場所にいます。「圏外」が消えるところまで移動してください。
- 電源を入れたときに「Starting system Wait a minute」と表示された場合は、しばらく待ってから操作してください。

■FOMAカードを差し替えたときは(おまかせロック中は除く)
電源を入れたあと4～8桁の端末暗証番号を入力します。端末暗証番号が正しく入力されると待受画面が表示されます。
5回誤った端末暗証番号を入力した場合は、電源が切れます。(ただし、再度電源を入れることは可能です。)

■「FOMAカード(UIM)設定」の「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定しているときは
電源を入れたあと4～8桁のPIN1コードを入力します。PIN1コードが正しく入力されると待受画面が表示されます。PIN1コードについてはP.155参照。

■「通話料金通知」の「自動リセット設定」を「ON」に設定しているときは(おまかせロック中は除く)
電源を入れたあと4～8桁のPIN2コードを入力します。PIN2コードが正しく入力されると待受画面が表示されます。PIN2コードを正しく入力せずにchクリアまたは☎を押すと「自動リセット設定」が「OFF」に設定され、待受画面が表示されます。PIN2コードについてはP.155参照。

お知らせ
- 各入力画面は、「PIN1コード」→「端末暗証番号」→「PIN2コード」の順に表示されます。

電源を切る

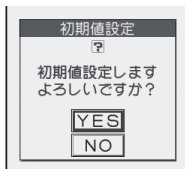
1 **☎を2秒以上押す**

終了画面が表示され、電源が切れます。
- 電源を切った直後に電源を入れることはできません。数秒お待ちください。

＜初期値設定＞

初期設定を行う

日付時刻、端末暗証番号、ボタン確認音、番号通知、位置提供設定、あんしんキー登録／削除が設定されていない場合は、電源を入れると初期値設定の画面が表示されます。各機能はメニュー機能からも個別に設定できます。ソフトウェア更新を一度も行っていない場合は、続けてソフトウェア更新も行えます。

1 電源を入れる▶YES

●端末暗証番号、PIN1コード、PIN2コードの入力画面が表示された場合はP.45の操作を行います。

2 日付時刻を設定する

自動または手動で時刻を設定するかを選択します。(P.47参照)

3 端末暗証番号を設定する

各種機能の設定に必要な端末暗証番号を設定します。(P.154参照)

1.「0000」を入力▶新しい端末暗証番号(4～8桁)を入力▶YES

4 ボタン確認音を設定する

ボタン確認音を鳴らすかどうかを設定します。(P.132参照)

1. ON･OFF

5 番号通知を設定する

プッシュトーク発信時に相手に電話番号を通知するかどうかを設定します。(P.104参照)

6 位置提供設定を設定する

GPSの位置提供要求があったとき、現在地を知らせるかどうかを設定します。(P.304参照)

7 あんしんキー登録／削除を設定する

FOMA端末にあんしんキーを登録します。(P.163参照)

8 YES▶ソフトウェア更新を行う

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかチェックし、必要な場合にはソフトウェアを更新します。(P.484参照)

お知らせ

●未設定の機能がある場合は、電源を入れるたびに未設定の初期値設定の画面やソフトウェア更新を行うかどうかの確認画面が表示されます。
●設定中に電話がかかってきたり、[☎]または[chクリア]を押すなどして初期値設定が途中で終了した場合でも、設定が完了した機能については有効になります。
●アラーム通知により自動的に電源がONになった場合、未設定の機能があっても初期値設定の画面は表示されません。

日付・時刻を合わせる

お買い上げ時	自動

時刻を自動で補正するか、手動で設定するかを切り替えることができます。

1 メニュー▶設定▶時計▶時計設定▶自動・手動

自動. . . . 日付・時刻を自動で補正します。設定が終了します。
「圏外」が表示されているときなど自動で時刻を補正できない状態で、日付・時刻が設定されていない場合は手動時計設定の画面が表示されます。手順2で日付・時刻を設定してください。
ただし、初期値設定での時計設定時は、手動時計設定の画面は表示されません。

手動. . . . 日付・時刻を手動で設定します。

●「通話料金通知」を「ON」に設定している場合、端末暗証番号入力の画面が表示されます。端末暗証番号を入力します。

2 年、月、日、時刻を入力

手動時計設定
(西暦)2006
(月日)11／15
(時刻)10：00

でカーソルを移動し、ダイヤルボタンで入力します。
●年は西暦で入力します。
●時刻は24時間で入力します。
●日付・時刻に1桁の数字を入力する場合は、「01」〜「09」のようにはじめに「0」を付けて2桁で入力します。

■日付・時刻の補正機能について
ネットワークから取得した時刻情報をもとにFOMA端末の時刻を補正する機能です。
電源を入れたときなどに時刻が補正されます。時刻をずらして設定したい場合は、手動で設定してください。
●数秒程度の誤差が生じる場合があります。また、電波状況やｉアプリ待受画面に設定したｉアプリによっては補正できない場合があります。
●海外で時刻情報を受信した際、時差補正値が前回受信した値と異なる場合、時差を補正するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると時差補正が行われ、発信履歴、リダイヤル、着信履歴、メールの送受信等の表示時間も現地時間になります。「NO」を選択したあとに時差補正を行いたい場合は、一度時計設定を「手動」に設定してから「自動」に設定し直してください。
時差補正を有効にしたまま日本に帰国し、時差を補正するかどうかの確認画面で「NO」を選択した場合、サブ時計の表示のみ解除されます。時差補正を行いたいときは以下の操作を行ってください。
・FOMA端末の電源を入れ直す
・「時計設定」を「手動」に設定してから「自動」に設定し直す
●海外で時差補正が行われた場合、待受画面に表示している時計の下にサブ時計（日本の日付や時刻など）が表示されます。
●海外のネットワークによっては時差補正が行われない場合があります。

お知らせ
●通話中にも設定できます。
●時計設定を行わないと次の機能は利用できません。
・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の日時記憶（P.57参照）
・伝言メモ／音声メモの録音日時記憶（P.82参照）
・テレビ電話伝言メモ／動画メモの録画日時記憶（P.82参照）
・カレンダー（P.137参照）
・スケジュール（P.379参照）
・ソフトウェア更新（P.484参照）
・スキャン機能のパターンデータ更新（P.489参照）
・文字入力中の機能メニュー「日付／時刻入力」（P.423参照）
・撮影画面の機能メニュー「撮影日付挿入設定」（P.191参照）
・GPS機能の位置提供設定「許可期間設定」（P.304参照）
・アラーム（P.376参照）
・ToDo（P.383参照）
・ｉアプリの自動起動（P.284参照）
・通話料金通知の自動リセット（P.388参照）
・自動電源ON／OFF設定（P.375参照）

次ページにつづく

お知らせ

- FOMA端末は内部にバックアップ電池を装備しています。設定した時刻は、内蔵のバックアップ電池を用いて保持していますので、電池パックを交換するときでも保持されますが、約2週間以上電池パックを外しているとリセットされることがあります。その際は、FOMA端末を充電してから、もう一度時計設定を行ってください。また、お買い上げ後初めてお使いになるときは、FOMA端末に電池パックを付けて充電してください。内蔵のバックアップ電池も充電されます。
- 「時計設定」を「手動」に設定しているときや日本国内ではサブ時計は表示されません。
- 本機能で設定できるのは、2006年1月1日00時00分から2037年12月31日23時59分までです。

<発信者番号通知>
相手に自分の電話番号を通知する

FOMA端末は、発信時に相手の電話機へお客様の電話番号をお知らせできます。発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際には十分にご注意ください。
この機能は、相手の電話機がFOMA端末や携帯電話サービスの端末などのデジタル端末で、発信者番号表示が可能なときだけ利用できます。

ネットワークに設定する

発信者番号を通知するかどうかをネットワークに設定します。

1 メニュー▶ ▶**発信者番号通知**▶**以下の操作を行う**

項目	操作	補足
発信者番号通知設定	▶**通知する・通知しない** ▶**ネットワーク暗証番号を入力**	●ネットワーク暗証番号についてはP.154参照。
発信者番号通知設定確認	●確認が終われば「OK」を選択します。	「発信者番号通知設定」の設定内容を確認します。

電話をかけるときに通知／非通知を設定する

発信者番号を通知するかどうかを1回の通話のたびに設定します。

1 **電話番号を入力**
または
電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面を表示

2 i(機能)▶**発番号設定**▶**通知しない・通知する**

- 「発番号設定」を解除する場合は、「発番号設定消去」を選択します。音声電話またはテレビ電話の場合は「発信者番号通知設定」、プッシュトークの場合はP.104「番号通知設定」の設定に従います。

相手の電話番号の前に「186」／「184」を付けて電話番号を入力することにより、お客様の電話番号を相手に「通知する」／「通知しない」を選択することもできます。

■発信者番号を通知する場合
186＋相手先の電話番号＋発信キー

■発信者番号を通知しない場合
184＋相手先の電話番号＋発信キー

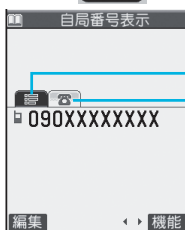
お知らせ

- 電話をかけたときに、発信者番号の通知をお願いするガイダンスが聞こえた場合は、「発信者番号通知設定」を「通知する」に設定して再度電話をかけ直してください。

<自局番号表示>

自分の電話番号を確認する

ご契約の電話番号(自局番号)を表示します。自局番号はFOMAカードに登録されています。

1 メニュー ▶ 電話帳 ▶ **自局番号表示**

自局番号表示画面

Oを押してタブを切り替えることができます。

●個人データの登録／表示についてはP.385参照。

電話／テレビ電話

電話／テレビ電話のかけかた

電話／テレビ電話の受けかた

電話／テレビ電話に出られないとき／出られなかったとき

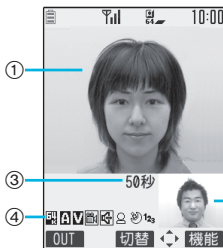
テレビ電話を使いこなす

テレビ電話について

ドコモのテレビ電話対応端末どうしでなら、お互いの映像を見ながら通話できます。

ドコモのテレビ電話は「国際標準の3GPPで標準化された、3G-324M」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。
- 3GPP(3rd Generation Partnership Project):
  第3世代移動通信システム(IMT-2000)に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。
- 3G-324M:
  第3世代携帯テレビ電話の国際規格です。

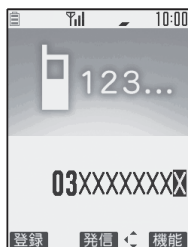
テレビ電話の通信速度について
64K:通信速度64kbpsで通信をします。
32K:通信速度32kbpsで通信をします。

■テレビ電話中の画面について

①…相手のカメラ画像または代替画像
②…自分のカメラ画像または代替画像
③…通話時間
④…状態表示

- :64K通信中
- :32K通信中
- :音声送信/受信中
- (グレー):音声送信/受信失敗※1
- :映像送信/受信中
- (グレー):映像送信/受信失敗※2
- :カメラ画像送信中
- :代替画像送信中
- :キャラ電通話中
- :ハンズフリーON
- :AV出力中
- :Bluetooth通話中
- :ポートレート
- :接写
- :風景
- :ナイトモード
- :キャラ電全体アクションモード
- :キャラ電パーツアクションモード
- :DTMF送信モード

※1 音声の送信に失敗すると、自分の音声が相手に流れません。
音声の受信に失敗すると、相手の音声が流れません。
※2 映像の送信に失敗すると、自分のカメラ画像が相手に表示されません。
映像の受信に失敗すると、相手のカメラ画像が表示されません。
音声、映像の送受信に失敗した場合、自動的には復旧しません。再度テレビ電話をおかけ直しください。

電話／テレビ電話をかける

1 相手の市外局番から電話番号を入力する

●同一市内への通話でも、必ず市外局番から電話番号を入力してください。

<例>

市外局番		市内局番		電話番号
03	▶	XXXX	▶	XXXX

●携帯電話にかけるとき

090－XXXX－XXXX 080－XXXX－XXXX	相手の電話番号（11桁）

●PHSにかけるとき

070－XXXX－XXXX	相手の電話番号（11桁）

●27桁以上入力した場合は、下26桁のみが表示されます。

●ボイスダイヤルに設定した電話帳を音声で呼び出して電話をかけることもできます。(P.124参照)

●入力した電話番号を電話帳に登録する場合は、✉(登録)を押します。P.114手順2へ進みます。

2

音声電話をかける場合

または◎(発信)を押す

●発信中は「」が点滅し、通話中は点灯します。

テレビ電話をかける場合

を押す

この画面からデジタル通信料課金が始まります。

●発信中は「」または「」が点滅し、通話中は点灯します。

●テレビ電話中にを押すと、相手には代替画像が表示されます。もう一度を押すと、自分のカメラ画像に戻ります。

●お買い上げ時は「テレビ電話ハンズフリー設定」により、自動的にハンズフリーに切り替わります。(P.87参照)ただし、マナーモード中は「テレビ電話ハンズフリー設定」に関わらず、ハンズフリーはOFFになります。

●発信者番号通知をお願いする旨のガイダンス(P.408参照)が聞こえたときは、P.48「発信者番号を通知する場合」の説明に従って、「186」を付けておかけ直しください。

●通話中にを押すと、ハンズフリーに切り替えることができます。テレビ電話の場合、発信中、接続中もハンズフリーのON／OFFを切り替えることができます。(P.68参照)

●平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)を接続すると、相手の声をイヤホンから聞けます。(P.391参照)

●通話中にFOMA端末を閉じると、「クローズ動作設定」の設定に従って動作します。(P.74参照)

●通話中にダイヤルボタンを押すと、プッシュ信号が送信できます。ただし、キャラ電でテレビ電話をしているときはDTMF送信モードに切り替えてください。(P.87参照)

次ページにつづく

3 お話が終わったら[☎]で通話を終了する

テレビ電話の場合は、切断中の画面のあとに通話時間が表示されます。

お知らせ

- [☎]を押してから相手の電話番号を入力しても音声電話はかけられます。この場合、電話番号を間違えたときは[☎]を押して表示を消してからおかけ直しください。
- 代替画像を送信してテレビ電話をかけたときも音声電話料金ではなくデジタル通信料がかかりますのでご注意ください。
- FOMA端末から110番･119番･118番へテレビ電話発信した場合は、自動的に音声電話発信となります。
- テレビ電話では、自分のカメラ画像の代わりにキャラ電を相手に送信できます。(P.83参照)
- ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」を利用して国際テレビ電話を利用できます。(P.64参照)

■発信中の表示

電話帳に相手の名前、電話番号が登録されている場合は、相手の名前とアイコンが表示されます。ただし、電話帳に画像が登録されていても、画像は表示されません。

- 同じ電話番号を複数の名前で電話帳に登録していた場合、検索順(P.117参照)で先に表示される名前が表示されます。
- PIMロック中またはシークレットデータとして登録した電話帳のときは、名前が表示されずに電話番号が表示されます。

■電話番号を押し間違えたときは

[chクリア]を押すたびに、右端から1文字ずつ数字が消えます。[chクリア]を1秒以上押すと数字がすべて消え、待受画面に戻ります。

- [○]を押してカーソルを移動させ、[chクリア]を押すとカーソルの位置の数字が消えます。[chクリア]を1秒以上押すと、カーソル上にある数字とカーソルから右にある数字がすべて消えます。

■えチャット

音声電話中の相手に、その場で撮影した静止画や保存されている静止画を送信できます。(P.237参照)

■テレビ電話がかからなかったときは

テレビ電話がかからなかったときは、接続できなかった理由が表示されます。(通話する相手の電話機種別やネットワークサービスのご契約の有無により、実際の相手の状況と理由表示が異なる場合があります)

表示	理由
番号をご確認の上おかけ直しください	使われていない電話番号にかけた場合
お話中です	相手が話し中(相手の端末によっては、パケット通信中の場合にも表示されることがあります。)
パケット通信中です	相手がパケット通信中
電波の届かない所にいるか、 電源が切れています	相手が圏外にいる、または、電源を切っている
発信者番号通知をONにしてください	発信者番号が非通知(Vライブやビジュアルネット等への発信時)
転送致しますのでお待ち下さい	転送中
音声電話でおかけ直しください	転送でんわサービスを設定していて転送先がテレビ電話非対応端末
上限額を超過しているため 接続できません	リミット機能付プラン(タイプリミット、ファミリーワイドリミット)の上限額を超過している
ｉモードから接続してください	ｉモード公式サイトのIP(情報サービス提供者)のサイトからテレビ電話発信していない(Vライブへの発信時)
接続できませんでした	発信者番号通知設定を「通知する」に設定のうえ、おかけ直しください。 ･上記以外の場合にも表示されることがあります。

■自動再発信について
テレビ電話がつながらなかった場合は、自動的に32Kや音声電話に切り替えて再発信します。

	音声自動再発信「ON」	音声自動再発信「OFF」
64Kで発信してつながらなかった場合	32Kで再発信	32Kで再発信
32Kで発信してつながらなかった場合	音声電話で再発信	再発信しません

- 32Kによるテレビ電話は、ネットワーク状況によって64Kでのテレビ電話が利用できないPHS等の機器と接続するためのものです。64Kでテレビ電話をかけたときでも相手が32Kエリア等の通信環境であった場合、自動的に32Kに切り替えて再発信します。
  ※32Kでテレビ電話接続をした場合でも、64Kで接続したデジタル通信料と同一になります。
- テレビ電話に対応していない電話機にかけた場合や、相手がテレビ電話でも圏外や電源を切っている場合は接続できません。テレビ電話に対応していない電話機にかけた場合で、音声自動再発信を「ON」にしているときは、テレビ電話接続前に相手から切断され、音声電話として電話をかけなおします。ただし、ISDN同期64KやPIAFSの接続先、3G-324Mに対応していないISDNのテレビ電話等（2006年9月現在）、間違い電話をした場合などは、このような動作にならないことがあります。通信料金が発生する場合もございますので、ご注意ください。
- テレビ電話がいったん通信中になった場合、音声電話への発信動作は行いません。

電話番号入力中の機能メニュー

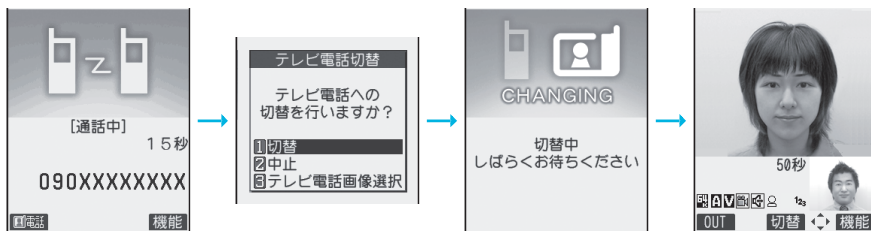
機能メニュー	操作	補足
発番号設定	P.48参照	発信者番号を通知するかしないかを設定します。
プレフィックス	P.67参照	プレフィックスを付加します。
国際ダイヤルアシスト	P.65参照	国際電話をかけます。
マルチナンバー	P.411参照	相手に通知する番号を選択します。
着もじ	P.61参照	着もじメッセージをつけて発信します。
電話帳登録	P.114参照	電話帳に登録します。
ｉモードメール作成	P.228手順3へ進みます。	電話番号を宛先としたメールを作成します。
テレビ電話通信速度	▶**64K・32K**	テレビ電話をかけるときの通信速度を通話ごとに設定します。 ●テレビ電話通信速度の優先順位は、「通話ごとの設定」→「電話帳の設定」→「グループ設定」の順になります。
テレビ電話画像選択	P.88参照	テレビ電話の画像を選択します。

音声電話とテレビ電話を切り替える

発信者が音声電話とテレビ電話を切り替えることができます。音声電話／テレビ電話切り替え対応端末どうしでご利用いただけます。

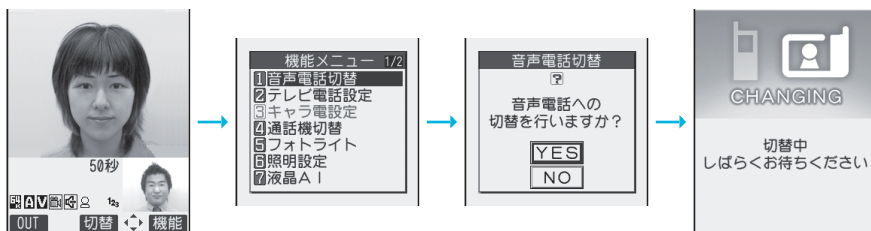
音声電話からテレビ電話へ切り替える

相手側が切り替え可能な端末の場合、「 電話」が表示され、音声電話からテレビ電話への切り替えができます。

1 **音声電話中▶ (電話)▶切替**

- 相手に送信する画像を選択する場合は、「テレビ電話画像選択」を選択します。P.88「通話ごとに設定する」手順2へ進みます。
- 「中止」を選択した場合、切り替えを中止し、音声電話に戻ります。
- 切り替え中は「切替中」の画面が表示され、切り替え中である旨の音声ガイダンスが流れます。

テレビ電話から音声電話へ切り替える

相手側が切り替え可能な端末の場合、機能メニューの「音声電話切替」を選択してテレビ電話から音声電話への切り替えができます。

1 **テレビ電話中▶ (機能)▶音声電話切替▶YES**

- 確認画面で「NO」を選択すると、切り替えを中止し、テレビ電話に戻ります。
- 切り替え中は「切替中」の画面が表示され、切り替え中である旨の音声ガイダンスが流れます。

お知らせ

- 音声電話／テレビ電話の切り替えは、繰り返し行えます。

お知らせ

- ｉモード通信中、パケット通信中の場合は通信を切断してテレビ電話に切り替えます。パケット通信の場合、通信を終了するかどうかの確認画面が表示されます。
- 相手側がパケット通信中の場合は切り替えできない旨のメッセージが表示され、音声電話からテレビ電話に切り替えることはできず、音声電話を継続します。
- キャッチホンをご契約され、通話中に「マルチ接続中」と表示されている場合、音声電話からテレビ電話に切り替えることはできません。
- 切り替えには5秒程度の時間がかかります。なお、電波状況により切り替えに時間がかかる場合があります。
- 相手側の利用状況や電波状況によっては音声電話とテレビ電話を切り替えることができず、接続が切れてしまう場合があります。
- 通話中に音声電話／テレビ電話を切り替えた場合は、それぞれの通話時間･通話料金としてカウントされます。「切替中」が表示されている間は料金は課金されません。
- 相手が「テレビ電話切替機能通知」を開始に設定していない場合は、テレビ電話と音声電話の切り替えはできません。「テレビ電話切替機能通知」についてはP.89参照。
- テレビ電話から音声電話に切り替えた場合、ハンズフリーはOFFになります。

<リダイヤル><発信履歴><着信履歴>

履歴を利用する

発着信した相手の電話番号や日時を記憶し、相手にかけ直したりできます。

■リダイヤル

音声電話･テレビ電話･プッシュトークの発信を合わせて30件まで記憶し、同じ番号の古いデータは削除されます。ただし、プッシュトークの発信は同じ電話番号でも音声電話･テレビ電話とは別にリダイヤルが残ります。

■発信履歴

音声電話･テレビ電話･プッシュトークの発信を合わせて30件、64Kデータ通信･パケット通信の発信を合わせて30件まで記憶し、同じ番号の古いデータも残ります。

■着信履歴

音声電話･テレビ電話･プッシュトークの着信を合わせて30件、64Kデータ通信･パケット通信の着信を合わせて30件まで記憶し、同じ番号の古いデータも残ります。

- 通話中に音声電話／テレビ電話を切り替えた場合、最初に発着信した電話が履歴に記憶されます。
- 30件を超えると古いデータは自動的に削除されます。ただし、電源を切っても削除されません。

■リダイヤル･発信履歴･着信履歴のアイコン

アイコン	説明
電話／不在※	音声電話の発着信／不在着信
電話／不在※	テレビ電話の発着信／不在着信
プッシュトーク／不在※	プッシュトークの発着信／不在着信
プッシュトーク／不在※	プッシュトークのグループ発着信／不在着信
プッシュトーク／不在※	サーバの電話帳を利用したプッシュトークの発着信／不在着信
伝言	伝言メモに用件を録音･録画
遠隔	遠隔監視の着信
電話／不在※	国際電話の発着信／不在着信

※ 未確認の不在着信の場合は、緑色で表示されます。

アイコン	説明
電話／不在※	国際テレビ電話の発着信／不在着信
	64Kデータ通信の発信
64K／不在※	64Kデータ通信の着信／不在着信
	パケット通信の発信
パケット／不在※	パケット通信の着信／不在着信
接続ナシ	外部機器が接続されていないときに受けた64Kデータ通信･パケット通信の着信
	着もじの受信
	時刻が時差補正された履歴

リダイヤル・発信履歴を利用する

1 リダイヤルの場合

待受画面▶◎

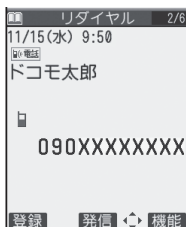
発信履歴の場合

メニュー▶電話帳▶発着信履歴▶発信履歴

リダイヤルの場合

履歴の一覧画面が表示されます。

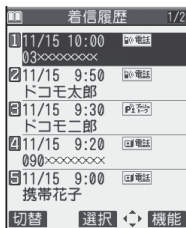
- 「メニュー24▶発信履歴」の操作を行っても発信履歴を表示できます。
- 最新のデータが一番上に表示されます。
- 発信キーを押すと、選んでいる相手に音声電話をかけることができます。
また、テレビ電話キーを押すとテレビ電話発信、プッシュトークキーを押すとプッシュトーク発信（グループ発信）します。
- プッシュトークのリダイヤルの場合は、◉（選択）を押すとグループ内のリダイヤル一覧画面が表示されます。相手を選んでプッシュトークキーを押すとプッシュトーク発信、相手を選ばずにプッシュトークキーを押すとグループ発信します。
- メールキー（切替）を押すと送信アドレス一覧画面が表示されます。

2 履歴を選択

リダイヤルの場合

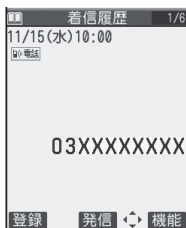
履歴の詳細画面が表示されます。

- 電話をかけた相手が電話帳に登録されているときは、電話番号、名前、アイコンが表示されます。同じ電話番号を複数の名前で電話帳に登録していた場合、検索順（P.117参照）で先に表示される名前、アイコンが表示されます。
- 発信キーまたは◉（発信）を押すと、表示している電話番号に音声電話をかけることができます。また、テレビ電話キーを押すとテレビ電話発信、プッシュトークキーを押すとプッシュトーク発信します。

着信履歴を利用する　メニュー24

1 待受画面▶◎

着信履歴一覧画面

- 「メニュー▶電話帳▶発着信履歴▶着信履歴▶全着信・不在着信」の操作を行っても着信履歴一覧画面が表示されます。
全着信　. . . .不在着信を含むすべての履歴
不在着信 . . .不在着信の履歴
（未確認の不在着信がある場合は、未確認件数も表示されます。）
- 最新のデータが一番上に表示されます。
- 発信キーを押すと、選んでいる相手に音声電話をかけることができます。
また、テレビ電話キーを押すとテレビ電話発信、プッシュトークキーを押すとプッシュトーク発信（グループ発信）します。
- プッシュトークの着信履歴の場合は、◉（選択）を押すとグループ内の着信履歴一覧画面が表示され、発信者には「★」マークが付きます。相手を選んでプッシュトークキーを押すとプッシュトーク発信、相手を選ばずにプッシュトークキーを押すとグループ発信します。
- メールキー（切替）を押すと受信アドレス一覧画面が表示されます。

2 着信履歴を選択

着信履歴詳細画面

- 相手が発信者番号を通知してきたときは、相手の電話番号が表示されます。また、発信者番号を通知してきた相手が電話帳に登録されているときは、電話番号、名前、アイコンが表示されます。同じ電話番号を複数の名前で電話帳に登録していた場合、検索順（P.117参照）で先に表示される名前、アイコンが表示されます。
  パケット通信の着信があったときは、発信元の接続先（APN）が表示されます。
  相手の電話番号が通知されなかったときは、発信者番号非通知理由が表示されます。
- 不在着信の場合は、着信日付･時刻の右に呼出時間が表示されます。
- 着もじを受信した場合は、着もじメッセージが表示されます。
- [発信キー]または[決定キー]（発信）を押すと、表示している電話番号に音声電話をかけることができます。また、[テレビ電話キー]を押すとテレビ電話発信、[プッシュトークキー]を押すとプッシュトーク発信します。

お知らせ

- 待受画面で[発信キー]を押して[決定キー]を押すと最新のリダイヤルまたは着信履歴の電話番号に音声電話をかけることができます。
- マルチナンバーの付加番号で発着信した場合は、履歴の詳細画面で電話番号の下に付加番号の登録名が表示されます。「マルチナンバー」の「電話番号登録」をしている場合は、番号も表示されます。
- 64Kデータ通信の発信履歴は、FOMA USB接続ケーブル（別売）を使用した場合のみ記憶されます。
- 着もじが表示されている着信履歴の電話番号に音声電話（テレビ電話）をかけても、届いた着もじメッセージは送信されません。
- ダイヤルインをご利用の方からの着信の場合、相手の方のダイヤルイン番号と異なった番号が表示される場合があります。

リダイヤル･発信履歴･着信履歴表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作	補足
発番号設定	P.48参照	発信者番号を通知するかしないかを設定します。
プレフィックス	P.67参照	プレフィックスを付加します。
国際ダイヤルアシスト	P.65参照	国際電話をかけます。
マルチナンバー	P.411参照	相手に通知する番号を選択します。
着もじ	P.61参照	着もじメッセージをつけて発信します。
呼出時間表示	－	不在着信の呼出時間を表示します。「呼出時間表示設定」で「時間内不在着信表示」を「表示しない」に設定していても、呼出動作開始時間内の不在着信と呼出時間が表示されます。 ●着信履歴一覧画面の機能メニューからのみ操作できます。
電話帳登録	P.114参照 ●詳細画面で[メールキー]（登録）を押しても電話帳に登録できます。P.114手順2へ進みます。	電話帳に登録します。
デスクトップ貼付	P.149参照	デスクトップに貼り付けます。
iモードメール作成	P.228手順3へ進みます。	電話番号を宛先としたメールを作成します。
SMS作成	P.266手順3へ進みます。	電話番号を宛先としたSMSを作成します。

次ページにつづく

機能メニュー	操作	補足
送信アドレス一覧 ［リダイヤル･発信履歴のみ］	P.254参照	送信アドレス一覧画面を表示します。
受信アドレス一覧 ［着信履歴のみ］	P.254参照	受信アドレス一覧画面を表示します。
1件削除	▶**YES**	●リダイヤル･発信履歴の機能メニューから「全削除」を行うと、リダイヤル･発信履歴の両方がすべて削除されます。リダイヤルを「1件削除」、「選択削除」しても発信履歴からは削除されず、履歴が残ります。発信履歴を削除するときは、発信履歴表示中の機能メニューから削除してください。
選択削除	▶**削除したいリダイヤル、発信履歴、着信履歴にチェック**▶(✉)(完了)▶**YES**	
全削除	▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**	
テレビ電話通信速度	P.55参照	テレビ電話の通信速度を設定します。
テレビ電話画像選択	P.88参照	テレビ電話の画像を選択します。
プッシュトーク電話帳登録	▶**YES**	●電話帳に登録されていない相手の履歴からは登録できません。
プッシュトークグループ登録	▶**グループを選択** ●プッシュトーク電話帳に登録されていないメンバーがあるときは、登録するかどうかの確認画面が表示されます。 ▶**グループ名を入力** ●全角16文字まで、半角32文字まで入力できます。	●すべてのメンバーがFOMA端末(本体)の電話帳に登録されていないときは、プッシュトークグループに登録できません。

<着もじ>

着もじを設定する

音声電話やテレビ電話をかける際、呼び出し中に相手側へメッセージを送り、あらかじめ用件を伝えることができます。

●対応機種…902iSシリーズ、903iシリーズ、SH902iSL、N902iX HIGH-SPEED、SH702iS、P702iD、D702iF

●送信側は料金がかかります。受信側は料金はかかりません。

■着もじを受信したときは

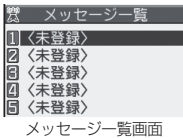
発信元の下に着もじが10文字まで表示されます。また、着信履歴にも着もじが記憶されます。

●着もじは着信中のみ表示されます。通話中は表示されません。

●「呼出時間表示設定」で設定した呼出動作開始時間内の着信でも、着もじは受信され、着信履歴にも残ります。

着もじメッセージを作成する

着もじメッセージを10件まで登録できます。

1 メニュー▶サービス▶**着もじ▶メッセージ作成▶<未登録>を選んで**✉(編集)**▶メッセージを入力**

メッセージ一覧画面

- 変更する場合は、登録済みのメッセージを選んで✉(編集)を押します。
- 絵文字／記号／全角／半角問わず10文字まで入力できます。

着もじメッセージをつけて発信する

1 **電話番号を入力**
または
電話帳･リダイヤル･発信履歴･着信履歴の詳細画面を表示

2 iα(機能)**▶着もじ▶以下の操作を行う**

項目	操作	補足
メッセージ作成	▶メッセージを入力 ●絵文字／記号／全角／半角問わず10文字まで入力できます。	送信する着もじを発信時に作成します。 ●本機能で作成した着もじは、メッセージ一覧には登録されません。
メッセージ選択	▶メッセージを選択	送信する着もじをメッセージ一覧から選択します。
送信メッセージ履歴	▶送信メッセージ履歴を選択	送信する着もじを送信メッセージ履歴から選択します。送信メッセージ履歴には送信した着もじのみが10件まで記憶され、同じ着もじを送信すると古いデータは削除されます。また、10件を超えると古いデータから順に削除されます。

3 📞**または**◉(発信)**を押す**

- 📹を押すとテレビ電話発信します。
- 発信中は送信している着もじが表示されます。

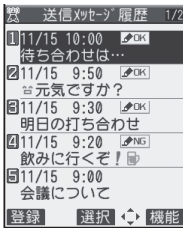
お知らせ

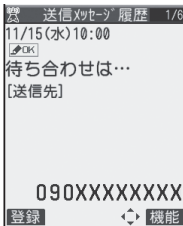
- 着もじが相手側の端末に届いた場合は､｢送信しました｣と表示され、送信料金がかかります。
- 相手が対応端末でない場合や相手側の｢メッセージ表示設定｣で許容していない送信を行った場合など、着もじが相手側の端末に届かなかった場合は､｢送信できませんでした｣と表示されます。このとき送信料金はかかりません。
- 電波状態によって、相手側の端末に着もじが届いていても発信側に送信結果が表示されない場合があります。この場合、送信料金はかかります。
- 相手側が以下の設定･状態の場合には、着もじを付けて発信しても着もじは表示されず、送信料金がかかりません(相手側の着信履歴にも保存されません)。また、送信側の画面には送信結果が表示されません。
  ･圏外のときや電源が入っていない場合や公共モード(ドライブモード)中、伝言メモ設定の呼出時間を0秒に設定している場合など
- テレビ電話がつながらなかった場合に、自動的に32Kや音声電話に切り替えて再発信した場合は、着もじも再送信されます。
- 着もじはプッシュトークに対応していません。
- 海外での利用時には着もじを送受信できません。

送信メッセージ詳細履歴

着もじを送信すると、送信メッセージ詳細履歴に10件まで記憶され、相手の電話番号や送信日時が確認できます。同じ番号に送信した古いデータも残ります。

1 ▶▶**着もじ▶送信メッセージ詳細履歴**

送信ﾒｯｾｰｼﾞ履歴 1/2
1 11/15 10:00 OK 待ち合わせは…
2 11/15 9:50 OK 元気ですか？
3 11/15 9:30 OK 明日の打ち合わせ
4 11/15 9:20 NG 飲みに行くぞ！
5 11/15 9:00 会議について
登録 選択 機能

●最新のデータが一番上に表示されます。
OK . . . 送信できた着もじ
NG . . . 送信できなかった着もじ
●送信結果が表示されなかった場合は、「OK」や「NG」は表示されません。
●電波状態などによって、正しく送信結果が表示されないことがあります。

2 **送信メッセージ詳細履歴を選択**

●相手の電話番号が電話帳に登録されているときは、電話番号、名前、アイコンが表示されます。

送信メッセージ詳細履歴表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作	補足
登録	▶<未登録> ●(登録)を押しても登録できます。	送信した着もじをメッセージ一覧に登録します。
1件削除	▶YES	−
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES	−

メッセージ表示設定

お買い上げ時	番号通知ありのみ

着もじを受信した場合の表示について設定します。

1 メニュー▶サービス▶**着もじ▶メッセージ表示設定▶項目を選択**

すべて表示. . . . . すべての着もじを表示します。
電話帳登録番号のみ. . . 電話帳に登録されている相手からの着もじのみを表示します。
番号通知ありのみ . . . . 電話番号を通知してきた相手からの着もじのみを表示します。
表示しない. . . . . 着もじを表示しません。

着もじ優先設定

お買い上げ時	OFF

「オープン設定」を「着信応答」に設定しているときに、着もじを受信した場合の動作について設定します。

1 メニュー▶サービス▶**着もじ▶着もじ優先設定▶ON・OFF**

ON . . . . . 着信中にFOMA端末を開いても応答せず、着もじを表示します。
OFF . . . . 着信中にFOMA端末を開くと着信に応答します。開くとすぐに応答するため、着もじが確認できない場合があります。着もじは「着信履歴」に記憶されます。

＜ポーズダイヤル＞

プッシュ信号を手早く送り出す

お買い上げ時	未登録

FOMA端末からプッシュ信号を送って、ポケットベルへのメッセージ送信やチケットの予約、銀行の残高照会などのサービスを利用できます。

ポーズダイヤルを登録する

プッシュ信号として送るダイヤルデータをポーズダイヤルにあらかじめ登録します。ポーズ(p)を入力しておくと、ポーズが入力されている箇所でダイヤルデータを区切りながら送出できます。

1 メニュー▶設定▶その他▶ポーズダイヤル▶✉(編集)

ポーズダイヤル

●すでにダイヤルデータが登録されているときは、登録されているダイヤルデータが表示されます。
●iα(機能)を押して「編集」を選択してもダイヤルデータを登録／編集できます。
●登録したポーズダイヤルを削除するにはiα(機能)を押して「削除」を選択し、「YES」を選択します。

2 ダイヤルデータを入力

●ポーズ(p)は＊を1秒以上押して入力します。
●入力できる文字は、0～9、#、＊およびポーズ(p)のみです。
●128桁まで入力できます。
●ポーズダイヤルの先頭にポーズ(p)を入力したり、連続して入力したりできません。

ポーズダイヤルを送信する

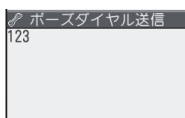
1 メニュー▶設定▶その他▶ポーズダイヤル▶●(送信)

●iα(機能)を押して「ポーズダイヤル送信」を選択してもポーズダイヤルを送信できます。

2 電話番号を入力▶☎または●(発信)

相手に音声電話がかかり、通話中になるとポーズダイヤルに登録されているダイヤルデータの最初のポーズ(p)までが表示されます。

●相手先の電話番号が電話帳に登録されているときは、◯を押して電話帳検索画面から選択して呼び出せます。
●◯を押して着信履歴、◯を押してリダイヤルから検索することもできます。

3 相手が応じたことを確認▶☎または●(送信)

ポーズダイヤル送信
123

最初のポーズ(p)までのダイヤルデータが送出され、次のポーズ(p)までのダイヤルデータが表示されます。
☎または●(送信)を押すごとに、ポーズ(p)までのダイヤルデータが送出されます。
最後の番号を送り終えると通話画面になります。

●ダイヤルデータをまとめて送出するときは、◯を1秒以上押して「一括送出」を選択します。

お知らせ

●通話中にポーズダイヤル画面の機能メニューを表示させても、ダイヤルデータを送信できます。
●受信側の機器によっては、信号を受信できない場合があります。
●テレビ電話では、ポーズダイヤルを送信できません。

<WORLD CALL>
国際電話の利用について

WORLD CALLはドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。
FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時に併せて「WORLD CALL」もご契約いただいています(ただし、不要のお申し出をされた方を除きます)。

- 通話先は世界約240の国と地域です。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAサービスの通話料金と合わせてご請求いたします。
- 申込手数料・月額使用料は無料です。
- 国際電話ダイヤル手順の変更について
  携帯電話等の移動体通信は、「マイライン」サービスの対象外であるため、WORLD CALLについても「マイライン」サービスをご利用いただけませんが、「マイライン」サービスの導入に伴い携帯電話等から国際電話をご利用になる場合のダイヤル手順が変更となりました。従来のダイヤル手順(下記ダイヤル手順から「010」を除いたもの)ではご利用いただけませんので、ご注意ください。
- 一部ご利用できない料金プランがあります。
- WORLD CALLについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になるときは、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。

■海外の特定3G携帯端末をご利用のお客様に対し、下記ダイヤル方法のあとに(テレビ電話)を押して発信すれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。
- 接続可能な国および通信事業者などの情報についてはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合がございます。

電話番号を入力して国際電話をかける

1 009130→010→国番号→地域番号(市外局番)→相手先電話番号の順に入力▶(通話)または(●)(発信)

- 地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。
- (テレビ電話)を押すと国際テレビ電話発信します。

「+」を利用して国際電話をかける

発信時や電話帳登録時などで電話番号を入力しているときに(0)を1秒以上押すと「+」が入力できます。「+」を利用すれば、009130−010などの国際プレフィックス番号を入力することなく、国際電話をかけることができます。

- お買い上げ時は「国際ダイヤルアシスト設定」の「自動変換機能設定」が「ON」に設定されているため、国際プレフィックス番号が自動的に入力されます。

1 (0)(1秒以上)▶国番号→地域番号(市外局番)→相手先電話番号の順に入力▶(通話)または(●)(発信)▶発信

- 地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。
- (テレビ電話)を押すと国際テレビ電話発信します。
- 「元の番号で発信」を選択した場合は、国際プレフィックス番号を付加せずに発信します。

国際ダイヤルアシスト

電話番号の先頭で0を1秒以上押して入力した「＋」を「国際ダイヤルアシスト設定」の国際プレフィックス番号に置き換えて発信します。

1 **電話番号を入力**
または
電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面を表示

2 **i(機能)▶国際ダイヤルアシスト▶名称を選択▶発信キーまたは●(発信)**

- ●テレビ電話キーを押すと国際テレビ電話発信します。
- ●電話番号の先頭が「＋」以外のときは国際プレフィックス番号を付加します。（電話番号が「0」で始まる場合は、自動的に先頭の「0」が削除されます。）

<国際ダイヤルアシスト設定>

国際電話の設定をする

自動変換機能設定

お買い上げ時	ON

電話番号の先頭で0を1秒以上押して入力した「＋」を自動的に国際プレフィックス番号に置き換えて発信するかどうかを設定します。（日本国内でのみ有効です。）

1 **メニュー▶設定▶ネットワーク設定▶国際ダイヤルアシスト設定▶自動変換機能設定▶ON・OFF**

- ●「OFF」を選択した場合は、設定が終了します。

2 **名称を選択▶国名称を選択**

- ●国際プレフィックス番号や国番号が登録されていないときは、登録するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択し、国際プレフィックス番号の場合はP.65「国際プレフィックス設定」手順2、国番号の場合はP.66手順2へ進みます。

国際プレフィックス設定

お買い上げ時	WORLD CALL（009130010）

国際電話をかけるときに電話番号の先頭に付加する国際プレフィックス番号を3件まで登録できます。

1 **メニュー▶設定▶ネットワーク設定▶国際ダイヤルアシスト設定▶国際プレフィックス設定▶＜未登録＞を選んで✉(編集)**

国際プレフィックス設定
1 WORLD CALL
2 ＜未登録＞
3 ＜未登録＞

- ●登録済みの項目を選択すると、登録内容を確認できます。

2 **名称を入力▶国際プレフィックス番号を入力**

- ●名称は全角8文字まで、半角16文字まで入力できます。
- ●国際プレフィックス番号は10桁まで入力できます。

国番号設定

お買い上げ時	日本(81)

海外から国際電話をかけるときに必要な国番号を27件まで登録できます。

1 **(メニュー)▶(設定)▶ネットワーク設定▶国際ダイヤルアシスト設定▶国番号設定▶<未登録>を選んで(✉)(編集)**

●登録済みの国名称を選択すると、登録内容を確認できます。

2 **国名称を入力▶国番号を入力**

●国名称は全角8文字まで、半角16文字まで入力できます。
●国番号は5桁まで入力できます。ただし、#、⁎、+は使用できません。

国際プレフィックス設定表示中・国番号設定表示中の機能メニュー

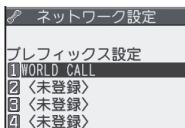
機能メニュー	操作	補足
編集	国際プレフィックス設定の場合はP.65「国際プレフィックス設定」手順2、国番号設定の場合はP.66手順2へ進みます。 ●(✉)(編集)を押しても編集できます。	−
1件削除	▶YES	●「自動変換機能設定」で設定されている国際プレフィックス番号や国番号は削除できません。
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES	

＜プレフィックス設定＞

電話番号の先頭に付加する番号を登録する

お買い上げ時	WORLD CALL（009130010）

国際プレフィックス番号や「184」「186」など、電話番号の先頭に付くプレフィックス番号を登録し、電話をかけるときに付加します。7件まで登録できます。

1 **メニュー ▶ 設定 ▶ ネットワーク設定 ▶ プレフィックス設定 ▶ ＜未登録＞を選んで ✉（編集）**

- iα（機能）を押して「編集」を選択してもプレフィックスを登録／編集できます。
- 登録済みのプレフィックスを選択すると、登録内容を確認できます。
- 登録済みのプレフィックスを削除するにはiα（機能）を押して「1件削除」または「全削除」を選択し、「YES」を選択します。「全削除」を選択した場合は端末暗証番号の入力が必要です。

2 **登録名を入力 ▶ プレフィックス番号を入力**

- 登録名は全角8文字まで、半角16文字まで入力できます。
- プレフィックス番号は10桁まで入力できます。入力に使用できるボタンは、0～9、#、*のみです。

プレフィックス

電話番号の先頭にプレフィックス番号を付けて発信します。

1 **電話番号を入力**
または
電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面を表示

2 **iα（機能）▶ プレフィックス ▶ 登録名を選択 ▶ 発信キー または ●（発信）**

- テレビ電話キーを押すとテレビ電話発信、Pを押すとプッシュトーク発信します。

＜サブアドレス設定＞

サブアドレスを指定して電話をかける

お買い上げ時	ON

電話番号の「*」以降をサブアドレスとして認識し、特定の電話機やデータ端末を呼び出すかどうかを設定します。

- サブアドレスとは、1つのISDN回線に接続された複数のISDN端末を呼び分けるために付けられた番号です。「Vライブ」でコンテンツを選択するときにも利用します。

1 **メニュー ▶ 設定 ▶ その他 ▶ サブアドレス設定 ▶ ON・OFF**

お知らせ

- 「サブアドレス設定」を「ON」にしていても、電話番号の先頭の「*」、プレフィックス番号や「186／184」の直後の「*」はサブアドレス区切記号とは認識されません。

<再接続機能>

再接続するときのアラームを設定する

お買い上げ時	アラーム高音

電波の状態が悪くなって音声電話、テレビ電話、プッシュトークが途切れた場合に、再接続するまでのアラームを設定します。

1 **▶通話▶再接続機能▶アラームを選択**

お知らせ

- ご利用状態、電波の状態により再接続が可能な時間は異なります。目安としては約10秒間で、その間も通話料金はかかります。
- 電波が途切れている間は、相手は無音状態となります。

<ノイズキャンセラ>

周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする

お買い上げ時	ON

音声電話中の騒音を抑え、自分の声と受話口から聞こえる相手の声を明瞭にして通話できます。

1 **▶通話▶ノイズキャンセラ▶ON・OFF**

<ハンズフリー>

ハンズフリーに切り替える

ハンズフリーに設定すると、通話中の相手の音声などがスピーカから流れます。

1 通話中▶

音声電話の場合

テレビ電話の場合

プッシュトークの場合

ハンズフリー設定中は、「」が表示されます。

- テレビ電話の場合、発信中や接続中もハンズフリーのON／OFFを切り替えることができます。
- もう一度を押すと、ハンズフリーはOFFになります。
- ハンズフリー通話時の音量は、「受話音量」の設定に従います。
- マナーモード設定中でもハンズフリーに切り替えることができます。また、ハンズフリー中にマナーモードを設定しても、音声はスピーカから流れます。

お知らせ

- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているときは、ハンズフリーに切り替えても音声はスピーカから流れません。
- ハンズフリーに設定して通話するときは、必ずFOMA端末を耳から離して使用してください。聴覚に影響を与えたり、耳に障害を与えたりする可能性があります。

お知らせ

- FOMA端末に向かって約50cm以内の距離でお話しください。

<車載ハンズフリー>

ハンズフリー対応機器を利用する

FOMA端末を車載ハンズフリーキット　01（別売）やカーナビなどのハンズフリー対応機器と接続することにより、ハンズフリー対応機器から音声電話の発着信などの操作ができます。
FOMA端末は、2つの方法でハンズフリー対応機器と接続できます。

- **USB接続で利用する：**
  車載ハンズフリーキット　01（別売）を利用する場合は、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル　01（別売）が必要です。
- **Bluetooth接続（ワイヤレス）で利用する：**
  Bluetooth対応のハンズフリー機器と接続するには、FOMA端末にて機器の登録や接続が必要です。

※ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- USB接続で使用する場合には、「USBモード設定」を「通信モード」に設定してください。
- USBハンズフリー対応機器で通話・通信中は「 」が表示されます。
- USBハンズフリー対応機器によっては、接続中に「 」、「USBモード設定」を「microSDモード」に設定して接続中に「 」が表示されることがあります。
- 着信時の画面表示や着信音などの動作は、FOMA端末の設定に従います。
- ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合は、FOMA端末でマナーモードや「着信音量」を「消去」に設定中でもハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。
- 公共モード（ドライブモード）中の着信動作は、「公共モード（ドライブモード）」の設定に従います。
- 伝言メモ設定中の着信動作は、「伝言メモ設定」の設定に従います。
- FOMA端末から音を鳴らす設定にしている場合、通話中にFOMA端末を閉じたときの動作は、「クローズ動作設定」の設定に従います。ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、「クローズ動作設定」の設定に関わらず、FOMA端末を閉じても通話状態は変わりません。

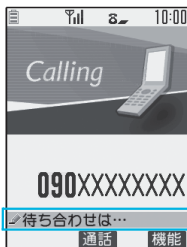
Bluetooth機器を使って通話する

別売のワイヤレスイヤホンセット　P01などとFOMA端末を接続すると、ワイヤレスで通話できます。**（P.397参照）**

電話／テレビ電話を受ける

テレビ電話に応答するとディスプレイには相手の画像と自分の画像が表示されます。自分のカメラ画像を相手に表示しないでテレビ電話を受けることもできます。(代替画像応答)

1 電話がかかってくると着信音が鳴り、着信／充電ランプが点滅する

着もじ(P.60参照)

- 着信時に振動させるには、「バイブレータ」の「電話」または「テレビ電話」を「OFF」以外に設定します。
- マナーモード、スーパーサイレントに設定すると、着信音は鳴りません。(P.134、P.135参照)
- テレビ電話がかかってきたときは、「テレビ電話着信中」と表示されます。
- 着信中はプライベートウィンドウに情報が表示されます。
- 国際電話がかかってきたときは、電話番号の右上に「 」が表示されます。

2

音声電話に出る場合

( )または( )(通話)で電話に出る

- 「着信アンサー設定」を「エニーキーアンサー」に設定している場合は、FOMA端末を閉じているときに( )を押して電話に出ると、通話中保留になります。「クローズ動作設定」を「ミュート」または「終話」に設定していた場合は相手には無音となり、「保留」に設定していた場合は保留音が流れます。FOMA端末を開くと、通話を開始できます。

テレビ電話に出る場合

( )または( )でテレビ電話に出る

自分のカメラ画像が相手に送信されます。

( )(代替)を押してテレビ電話に出ると、相手には代替画像が送信されます。

- 通話中に( )を押すと、相手に送信する画像を自分のカメラ画像と代替画像とで切り替えることができます。

- 通話中に( )を押すと、ハンズフリーに切り替えることができます。テレビ電話の場合、接続中もハンズフリーのON／OFFを切り替えることができます。(P.68参照)
- 通話中にFOMA端末を閉じると、「クローズ動作設定」の設定に従って動作します。(P.74参照)

■ワンプッシュ応答
FOMA端末を閉じているときに着信があった場合は、ワンプッシュオープンボタンを押してFOMA端末を開くだけで電話に出ることができます。(P.74「オープン設定」参照)

■エニーキーアンサー
かかってきた音声電話に出るときは、(通話)以外に～、、、※、、、のいずれかのボタンを押してもすぐに通話状態になります。
※「切替」が表示されているときは通話を開始できません。
●テレビ電話の場合、エニーキーアンサーは無効です。
●「着信アンサー設定」を「クイックサイレント」に設定しておくと、ボタンを押して着信音や音声読み上げだけを止めることができます。

3 お話が終わったらで通話を終了する

テレビ電話の場合は、切断中の画面のあとに通話時間が表示されます。

お知らせ

●お話し中に「ププ…ププ…」という音<通話中着信音>が聞こえることがあります。
留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスのいずれかをご契約いただき、「着信動作選択」を「通常着信」に設定していると、通話中に別の電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえ、次の動作が可能です。
留守番電話サービス ... 留守番電話サービスセンターへ転送できます。(P.404参照)
キャッチホン .... 通話中の電話を保留にし、かかってきた電話に応答できます。(P.405参照)
転送でんわサービス ... 登録した転送先へ転送できます。(P.407参照)
●「登録外着信拒否」で電話帳に登録されていない相手からの電話を受けないように設定できます。

<テレビ電話の場合>
●お買い上げ時は「テレビ電話ハンズフリー設定」により、自動的にハンズフリーに切り替わります。(P.87参照)ただし、マナーモード中は「テレビ電話ハンズフリー設定」に関わらず、ハンズフリーはOFFになります。
●転送でんわサービスを「開始」に設定していても、転送先を3G-324Mに準拠したテレビ電話対応機(P.52参照)に設定していない場合は接続されません。転送先の電話機をあらかじめご確認の上、転送設定を行ってください。また、テレビ電話をかけた側には転送中のガイダンスは流れません。(相手のFOMA端末によっては、転送する旨のメッセージが画面に表示されます。)
●「迷惑電話ストップサービス」で拒否登録した電話番号からテレビ電話がかかってきたときは、相手に着信拒否の映像ガイダンスを表示し、切断します。
●自分のカメラ画像の代わりにキャラ電を相手に送信できます。(P.83参照)

■着信中の表示
相手の電話番号が通知されたとき
電話帳に相手の名前、電話番号および画像が登録されている場合は、相手の名前、電話番号、アイコンまたは画像が表示されます。
●同じ電話番号を複数の名前で電話帳に登録していた場合、検索順(P.117参照)で先に表示される名前が表示されます。
●PIMロック中またはシークレットデータとして登録した電話帳のときは、名前が表示されずに電話番号が表示されます。
●転送されてきた電話の場合は、発信元の下に転送元の電話番号が表示されます。(転送元によっては表示されないことがあります。)
●マルチナンバーの付加番号に着信した場合は、発信元の下に付加番号の登録名が表示されます。(転送されてきた電話の場合は、(切替)を押して転送元の表示と切り替えることができます。)

相手の電話番号が通知されなかったとき
発信者番号非通知理由が表示されます。(P.173参照)

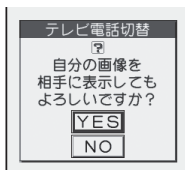
着信中の機能メニュー

機能メニュー	操作	補足
着信拒否	−	電話を受けないで着信をそのまま切ります。 ●「オープン設定」の「電話」を「着信応答」に設定し、閉じた状態で着信した場合は、「着信拒否」はできません。
転送でんわ	P.407参照	転送先に転送します。
留守番電話	P.404参照	留守番電話サービスセンターに接続します。

音声電話／テレビ電話を切り替えて電話を受ける

「テレビ電話切替機能通知」を開始に設定しておくと、電話をかけてきた相手が音声電話とテレビ電話を切り替えることができます。着信側から切り替えることはできません。

音声電話からテレビ電話に切り替えて電話を受ける

1 音声電話中▶相手がテレビ電話切替を行う▶YES・NO

YES . . . . . . 自分のカメラ画像を相手に送信します。
NO . . . . 内蔵の代替画像を相手に送信します。
●切り替え中は、切り替え中である旨のメッセージが表示され、音声ガイダンスが流れます。

テレビ電話から音声電話に切り替えて電話を受ける

1 テレビ電話中▶相手が音声電話切替を行う

●切り替え中は、切り替え中である旨のメッセージが表示され、音声ガイダンスが流れます。

<着信アンサー設定>

着信時のボタン動作を設定する

お買い上げ時	エニーキーアンサー

電話がかかってきたときやプッシュトーク着信したとき、◎、☎、▣(テレビ電話の場合)、P(プッシュトークの場合)以外のボタンで通話を開始したり(エニーキーアンサー)、着信音を止める(クイックサイレント)ように設定できます。

1 ▶▶着信▶着信アンサー設定▶ボタン動作を選択

エニーキーアンサー

以下のボタン操作で通話を開始できます。

音声電話	◎、☎、0〜9、＊、chクリア、✉※、📷、◎、▲
テレビ電話	◎、☎、▣
プッシュトーク	◎、☎、▣、P、0〜9、＊、chクリア、✉、📷、◎、▲

●テレビ電話がかかってきた場合、「エニーキーアンサー」は無効です。

クイックサイレント

以下のボタン操作で着信音、バイブレータ、音声読み上げを止められます。「オープン設定」を「着信継続」に設定している場合は、FOMA端末を開いても着信音、バイブレータ、音声読み上げを止められます。着信音、バイブレータ、音声読み上げを止めても相手には呼び出し音が鳴っています。

音声電話	0〜9、＊、chクリア、✉※、📷、◎、▲
テレビ電話	0〜9、＊、chクリア、✉※、📷、◎、▲
プッシュトーク	▣、0〜9、＊、chクリア、✉、📷、◎、▲

●上記のボタン操作で着信音、バイブレータ、音声読み上げを止めたあとに、◎、☎、▣(テレビ電話の場合)、P(プッシュトークの場合)を押すと通話を開始できます。

OFF

以下のボタン操作で通話を開始できます。

音声電話	◎、☎
テレビ電話	◎、☎、▣
プッシュトーク	◎、☎、P

※「切替」が表示されているときは、通話を開始したり、着信音やバイブレータ、音声読み上げを止めたりできません。

お知らせ

●平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)を接続しているときは、「着信アンサー設定」に関わらず、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押しても通話を開始できます。(P.391参照)

＜オープン設定＞
着信中にFOMA端末を開いたときの動作を設定する

お買い上げ時	着信継続

1 (メニュー)▶設定▶**着信▶オープン設定▶着信の種類を選択▶着信継続・着信応答**

お知らせ
- 「着信応答」に設定してテレビ電話を受けた場合、相手には「画像選択」の「代替画像選択」で設定した画像が送信されます。

＜クローズ動作設定＞ (メニュー)(1)(8)
通話中にFOMA端末を閉じたときの動作を設定する

電話／テレビ電話

お買い上げ時	終話

音声電話中、テレビ電話中の動作を設定します。

1 (メニュー)▶設定▶**通話▶クローズ動作設定▶電話／テレビ電話▶項目を選択**

ミュート . . .音声をミュート(消音)します。保留音は流れません。設定が終了します。
保留. . . . . . .閉じている間、相手に「保留音設定」の「通話中保留音」で設定した保留音が流れます。
終話. . . . . . .通話を終了します。通話中に(☎)を押す操作と同じです。設定が終了します。

2 **スピーカ鳴動する・スピーカ鳴動しない**

スピーカ鳴動する . . . . .保留音をスピーカから流します。
スピーカ鳴動しない. . . .保留音をスピーカから流しません。

プッシュトーク

お買い上げ時	スピーカ通話

プッシュトーク通信中の動作を設定します。「スピーカ通話」に設定するとFOMA端末を閉じたまま通信できます。

1 (メニュー)▶▶**通話▶クローズ動作設定▶プッシュトーク▶スピーカ通話・終話**

- プッシュトーク通信中やプッシュトーク電話帳一覧画面、プッシュトークグループ一覧画面、グループメンバー一覧画面では(iα)(機能)を押して「クローズ動作設定」を選択します。

お知らせ
- 本機能は、平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)を接続しているときは無効になります。音声電話中やプッシュトーク通信中にFOMA端末を閉じても通話状態は変化しません。テレビ電話中にFOMA端末を閉じた場合は、相手には代替画像が送信され通話が継続します。
- テレビ電話中にFOMA端末を閉じたときは、「ミュート」に設定していると、相手には代替画像が送信されます。「保留」に設定していると、「画像選択」の「通話保留選択」で設定した静止画が送信されます。
- 「ミュート」「保留」に設定していると、FOMA端末を閉じたときに、プライベートウィンドウに「保留中です」と表示されます。

＜受話音量＞

相手の声の音量を調節する

お買い上げ時	レベル4

1 メニュー▶設定▶通話▶受話音量▶Ⓞで受話音量を調節

レベル1（最小）～レベル6（最大）の6段階で調節します。音量を上げるときはⓄまたは▲を、音量を下げるときはⓄまたは▼を押します。

- 着信中は調節できません。通話中または待受中に調節してください。
- 通話中、プッシュトーク中や呼出中はⓄまたは▲▼、電話番号入力中はⓄ（1秒以上）を押して受話音量を調節します。2秒以内にⓄまたは▲▼を押して受話音量を調節してください。

お知らせ

- 通話中に調節した音量は、通話が終わっても設定は保持されます。
- 受話音量を調節すると、ハンズフリー通話やプッシュトークのスピーカ通話時の音量も調節されます。

＜着信音量＞ メニュー 5 0

着信音の音量を調節する

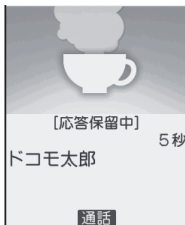
お買い上げ時	レベル4

電話がかかってきたときやメールを受信したときなどに鳴る着信音の大きさを調節します。

1 メニュー▶設定▶着信▶着信音量▶着信の種類を選択▶Ⓞで音量を調節

- 着信音量を「消去」に設定中は、以下のアイコンが表示されます。
  - [S♪]：音声電話、プッシュトーク、テレビ電話のいずれかの着信音量を「消去」
  - [S✉]：メール、チャットメール、メッセージR/Fのいずれかの着信音量を「消去」
  - [S♪✉]：音声電話、プッシュトーク、テレビ電話のいずれかと、メール、チャットメール、メッセージR/Fのいずれかの着信音量を「消去」
- 「ステップ」に設定すると、約3秒間の無音のあとにレベル1～6の順で約3秒ごとに音量が上がります。
- 音声電話、テレビ電話の着信中はⓄまたは▲▼を1秒以上押しても着信音量を調節できます。ただし、以下の場合は着信音量を調節できません。
  - ・着信音量が「ステップ」に設定されている
  - ・「着信アンサー設定」を「クイックサイレント」に設定し、着信音や音声読み上げを止めた場合
  - ・マナーモード中
  - ・「呼出時間表示設定」で設定した呼出動作開始時間内の着信

＜応答保留＞
すぐに電話に出られないとき保留にする

1 着信中▶[☎]

「ピッピッピッ」という確認音が鳴り、応答保留の状態になります。

- マナーモード中や「着信音量」の「電話」が「消去」に設定されているときは確認音は鳴りません。
- 相手には「保留音設定」の「応答保留音」で設定した保留音が流れ、テレビ電話の場合は「画像選択」の「応答保留選択」で設定した静止画が表示されます。

2 電話に出られるようになったら[通話]、[i]または[●]で保留を解除する

- 「着信アンサー設定」を「エニーキーアンサー」に設定している場合は、[0]～[9]、[＊]、[chクリア]、[メール]、[カメラ]、[○]、[▲]または[▼]、[#]、[iα]を押しても音声電話の保留を解除できます。
- テレビ電話を保留していた場合、[i]または[通話]を押して保留を解除すると、相手にカメラ画像が送信されます。[●]（代替）を押して保留を解除すると、代替画像が送信されます。

お知らせ

- 応答保留中でも、相手に通話料金はかかります。
- 応答保留中に[☎]を押すと、通話が切れます。

＜通話中保留＞
通話中に保留にする

1 通話中▶[chクリア]

- 相手には「保留音設定」の「通話中保留音」で設定した保留音が流れ、テレビ電話の場合は「画像選択」の「通話保留選択」で設定した静止画が表示されます。
- 「クローズ動作設定」を「保留」に設定している場合は、通話中にFOMA端末を閉じても保留できます。

2 電話に出られるようになったら[通話]または[●]で保留を解除する

- [chクリア]を押しても保留を解除します。テレビ電話を保留していた場合、[i]または[通話]を押して保留を解除すると、相手にカメラ画像が送信されます。[●]（代替）または[chクリア]を押して保留を解除すると、代替画像が送信されます。
- 「クローズ動作設定」を「保留」に設定し、FOMA端末を閉じて保留にしていた場合、FOMA端末を開くか、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続すると電話に出ることができます。
平型スイッチ付イヤホンマイクを接続してテレビ電話に出る場合、相手には代替画像が送信されます。

お知らせ

- 通話を保留している間も、通話料金はかかります。
- 通話を保留している間に新しく着信があると、通話中保留は解除されます。

<保留音設定>

保留音を設定する

お買い上げ時	応答保留音:応答保留音1　通話中保留音:主よ人の望みの喜びよ

保留中に相手側に流れるガイダンスを設定します。

1 メニュー▶設定▶通話▶保留音設定▶応答保留音・通話中保留音▶保留音を選択

応答保留音1 . . . .「ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるかしばらくたってからおかけ直しください。」と流れます。応答保留音にのみ設定できます。

応答保留音2 . . . .「ただいま電話に出ることができません。しばらくたってからおかけ直しください。」と流れます。応答保留音にのみ設定できます。

主よ人の望みの喜びよ . . . メロディが流れます。通話中保留音にのみ設定できます。

おしゃべり1 . . . .「おしゃべり機能」で録音した音声が流れます。録音されていないときは表示されません。

おしゃべり2 . . . .「おしゃべり機能」で録音した音声が流れます。録音されていないときは表示されません。

●✉(デモ)を押すと保留音が再生されます。chクリアを押すとデモ再生が終了します。

<公共モード(ドライブモード)>

公共モード(ドライブモード)を利用する

お買い上げ時	解除

公共モードは、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モードを設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所(電車、バス、映画館等)にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

1 待受画面▶＊(1秒以上)

公共モードが設定され、「🚗」が表示されます。
着信時に「ただいま運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。
●公共モードを解除するには、同様の操作を行います。公共モードが解除され、「🚗」が消えます。

お知らせ

●公共モードの設定／解除ができるのは、待受中のみです。「圏外」表示が出ているときも、設定／解除はできます。
●公共モードを設定していても通常どおり電話をかけることができます。ただし、緊急通報110番／119番／118番に電話をかけた場合、公共モードは解除されます。
●公共モードとマナーモードを同時に設定しているときは、公共モードが優先されます。
●「番号通知お願いサービス」を「開始」に設定中に「非通知設定」の着信があると、番号通知お願いガイダンスが流れます。(公共モードガイダンスは流れません。)
●本機能は、データ通信中はご利用できません。

次ページにつづく

■公共モード(ドライブモード)に設定すると
- 電話がかかってきても着信音は鳴りません。画面には「不在着信あり」のアイコンが表示され、「着信履歴」に記憶されます。電話をかけてきた相手には運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。プッシュトークを着信した場合は、応答を行わず、「接続できませんでした」と発信者の画面に表示されます。3人以上の会話では、参加メンバーに対して、運転中であることが伝わります。
  ただし、電源が入っていないときや画面に「圏外」表示が出ているときは、公共モードガイダンスは流れずに「圏外」表示が出ているときと同じガイダンスが流れます。
- メールやメッセージを受信しても着信音は鳴らず、着信／充電ランプも点滅しません。また、バイブレータを設定していても振動しません。
- 64Kデータ通信の着信音、アラーム音、充電確認音、ｉアプリ実行中のメロディも鳴りません。
- ｉチャネルのテロップは表示されません。

■公共モード(ドライブモード)に設定中の着信と各サービスとの関係

サービス名	音声電話着信時の動作	テレビ電話着信時の動作
留守番電話サービス※	相手に公共モードガイダンスを流し、留守番電話サービスセンターに接続します。	相手に公共モードの映像ガイダンスは表示せず、留守番電話サービスセンターに接続します。
転送でんわサービス※	相手に公共モードガイダンスを流し、転送先に転送します。 相手に流すガイダンスは、転送でんわサービスのガイダンス有無設定に従います。「ガイダンスを流す」に設定したときは、公共モードガイダンスを流します。「ガイダンスを流さない」に設定したときは、ガイダンスは流しません。	相手に公共モードの映像ガイダンスは表示せず、転送先に転送します。 転送先がテレビ電話に対応していない電話機の場合は、切断します。
キャッチホン	相手に公共モードガイダンスを流し、切断します。	相手に公共モードの映像ガイダンスを表示し、切断します。
迷惑電話ストップサービス	拒否登録している電話番号からの着信の場合、相手に着信拒否ガイダンスを流し、切断します。	拒否登録している電話番号からの着信の場合、相手に着信拒否の映像ガイダンスを表示し、切断します。
番号通知お願いサービス	相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いガイダンスを流し、切断します。 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モードガイダンスを流し、切断します。	相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスを表示し、切断します。 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モードの映像ガイダンスを表示し、切断します。

※呼出時間を0秒に設定したときやサービスエリア外、電源を切っているときは、公共モードガイダンスは流れず、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」になります。このとき、電話がかかってきたことを「不在着信あり」のアイコン、「着信履歴」でお知らせできませんのでご注意ください。

<公共モード(電源OFF)>

公共モード(電源OFF)を利用する

公共モード(電源OFF)は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード(電源OFF)を設定すると、電源をOFFにしている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所(病院、飛行機、電車の優先席付近等)にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

1 「⁎25251」を入力▶(発信キー)

公共モード(電源OFF)が設定されます。(待受画面上の変化はありません。)
公共モード(電源OFF)設定後、電源を切った際の着信時に「ただいま携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

- 公共モード(電源OFF)を解除するには、「⁎25250」に発信します。
- 公共モード(電源OFF)の設定状況を確認するには、「⁎25259」に発信します。

■公共モード(電源OFF)に設定すると

「⁎25250」に発信して公共モード(電源OFF)を解除するまで設定は継続されます。電源をONにするだけでは設定は解除されません。
電話をかけてきた相手には電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。プッシュトークを着信した場合は、応答を行わず、「接続できませんでした」と発信者の画面に表示されます。3人以上の会話では、参加メンバーに対して、不参加であることが伝わります。
サービスエリア外または電波が届かないところにいる場合も、公共モード(電源OFF)ガイダンスが流れます。

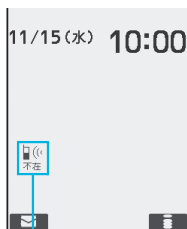
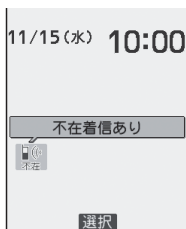
■公共モード(電源OFF)に設定中の着信と各サービスとの関係

サービス名	音声電話着信時の動作	テレビ電話着信時の動作
留守番電話サービス	相手に公共モード(電源OFF)ガイダンスを流し、留守番電話サービスセンターに接続します。	相手に公共モード(電源OFF)の映像ガイダンスは表示せず、留守番電話サービスセンターに接続します。
転送でんわサービス	相手に公共モード(電源OFF)ガイダンスを流し、転送先に転送します。 相手に流すガイダンスは、転送でんわサービスのガイダンス有無設定に従います。「ガイダンスを流す」に設定したときは、公共モード(電源OFF)ガイダンスを流します。「ガイダンスを流さない」に設定したときは、ガイダンスは流しません。	相手に公共モード(電源OFF)の映像ガイダンスは表示せず、転送先に転送します。 転送先がテレビ電話に対応していない電話機の場合は、切断します。
迷惑電話ストップサービス	拒否登録している電話番号からの着信の場合、相手に着信拒否ガイダンスを流し、切断します。	拒否登録している電話番号からの着信の場合、相手に着信拒否の映像ガイダンスを表示し、切断します。
番号通知お願いサービス	相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いガイダンスを流し、切断します。 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モード(電源OFF)ガイダンスを流し、切断します。	相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスを表示し、切断します。 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モード(電源OFF)の映像ガイダンスを表示し、切断します。

＜不在着信＞

かかってきた電話に出られなかったとき

かかってきた電話に出られなかったとき(不在着信)や新着メールがあったとき、伝言メモ、テレビ電話伝言メモ、留守番電話サービスの伝言メッセージが録音・録画されているときは、待受画面に「お知らせアイコン」が表示されます。アイコンを選択してその機能へ移ります。
各アイコンについてはP.148参照。

1

お知らせアイコン

アイコンの説明が表示されます。
- または を押すと元の状態に戻ります。
- アイコンが複数あるときは でアイコンを選んで (選択)を押します。

■FOMA端末を閉じているときは

プライベートウィンドウに表示されます。
▲を押すと不在着信履歴が表示されます。(P.28参照)

＜伝言メモ設定＞ メニュー 5 5

電話に出られないときに用件を録音／録画する

伝言メモを設定しておくと、留守番電話サービスをご契約されていなくても、電話に出られないときに応答メッセージを再生し、相手の用件を録音・録画できます。
1件につき約20秒間で、音声電話は5件、テレビ電話は2件まで録音・録画できます。

伝言メモを設定する

お買い上げ時	伝言メモ設定：OFF　応答メッセージ：標準(ON設定時)　呼出時間：13秒(ON設定時)

1 メニュー▶LifeKit▶伝言メモ／音声メモ▶伝言メモ設定▶ON・OFF

- 「OFF」を選択した場合は、設定が終了します。

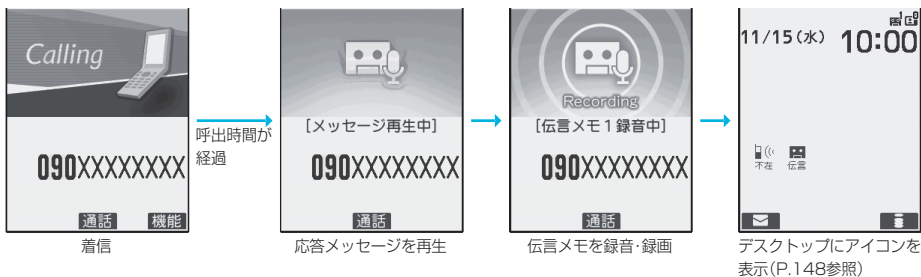
2 応答メッセージを選択

- (デモ)を押すと応答メッセージが再生されます。を押すとデモ再生が終了します。
- 「標準」「プライベート」「英語」に設定した場合、相手に応答メッセージが流れたあと、「ピーッ」という音が鳴ります。「おしゃべり1」「おしゃべり2」に設定した場合、音は鳴りません。

3 呼出時間(秒)を入力

- 「000」〜「120」の3桁を入力します。
- 遠隔監視設定、オート着信、伝言メモ設定の応答時間・呼出時間は同じ時間に設定できません。それぞれ違う時間に設定してください。
- 伝言メモ設定中は「 」〜「 」(音声電話の録音件数)、「 」〜「 」(テレビ電話の録画件数)が表示されます。

■伝言メモ設定を「ON」に設定中に電話がかかってきたときは

着信　応答メッセージを再生　伝言メモを録音･録画　デスクトップにアイコンを表示(P.148参照)

テレビ電話の場合、応答メッセージの再生中は相手に「画像選択」の「伝言メモ準備選択」で設定した静止画が表示され、録画中は「画像選択」の「伝言メモ選択」で設定した静止画が表示されます。

■応答メッセージが流れているときや伝言メモの録音･録画中に電話に出るときは

[通話]または[●]を押します。

テレビ電話の場合、[カメラ]または[通話]で自分のカメラ画像、[●]([代替])で代替画像が送信されます。

平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)のスイッチを押しても電話に出ることができます。テレビ電話の場合、相手には自分のカメラ画像が送信されます。

お知らせ

- 「[圏外]」が表示されているときは動作しません。
- 公共モード(ドライブモード)と伝言メモを同時に設定しているときは公共モード(ドライブモード)が優先され、伝言メモは動作しません。
- 応答メッセージの優先順位は、「電話帳の設定」→「グループ設定」→「伝言メモ設定」の順になります。
- 「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」を伝言メモと同時に設定しているときは、留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間の設定により、優先順位が異なります。伝言メモを優先させるには、伝言メモ設定の呼出時間を留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間よりも短く設定してください。この場合でも、すでに音声電話が5件、テレビ電話が2件、録音･録画されているときは、留守番電話または転送でんわとなります。
- 伝言メモ録音･録画中は第三者から電話がかかってきても受けることができません。第三者には話中音が流れます。

■お願い■

FOMA端末の故障･修理やその他の取扱いによって、保存内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え、FOMA端末に保存した内容は、別にメモを取るなどして保管することをおすすめします。

<クイック伝言メモ>

着信中の電話に出られないときに用件を録音／録画する

伝言メモが設定されていないときに電話がかかってきても、その着信に限り用件を録音･録画できます。

1 着信中▶[#]または[▼]

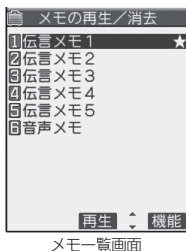
マナーモードも設定されます。

相手には応答メッセージが再生され、伝言メモの録音･録画が開始されます。

- すでに音声電話が5件、テレビ電話が2件、録音･録画されている場合や、プッシュトーク着信の場合は、伝言メモは動作しません。
- 「サイドボタン操作」を「閉じた時無効」に設定している場合、FOMA端末を閉じているときに[▼]を押しても伝言メモは動作しません。

伝言メモ･音声メモ･テレビ電話伝言メモ･動画メモを再生／消去する

伝言メモ･音声メモを再生／消去する

1 メニュー▶LifeKit▶伝言メモ／音声メモ▶メモの再生／消去▶伝言メモまたは音声メモを選択

メモ一覧画面

「ピッ」という音が鳴って再生が始まります。

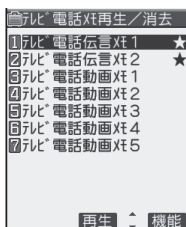
- メモ一覧画面では録音されている項目に「★」マークが付きます。
- 「受話音量」で設定した音量で再生されます。
- 再生が終わると「ピピッ」という音が鳴り、再生中の表示が消えます。
- 再生中はメモが録音された日付･時刻が表示されます。相手が電話番号を通知してきたときは、相手の電話番号が表示されます。また、相手が電話帳に登録されていると名前も表示されます。
  ただし、シークレット登録された相手からの伝言メモを通常のモードで再生したときは、名前の表示は行わず電話番号だけが表示されます。
- 再生中に相手の電話番号が表示されているときは、発信キーを押して相手の電話番号に音声電話をかけることができます。また、テレビ電話キーを押すとテレビ電話発信、プッシュトークキーを押すとプッシュトーク発信します。

■▼を使って再生するには
待受画面で▼を押すと、一番新しい伝言メモが再生されます。伝言メモが録音されていない場合は、音声メモが再生されます。

■次のメモを再生するには
再生中に▼を押すごとに、次に新しい伝言メモ→一番古い伝言メモ→音声メモの順に再生されます。

■再生を途中で止めるには
●(停止)またはchクリアを押します。

テレビ電話伝言メモ･動画メモを再生／消去する

1 メニュー▶LifeKit▶伝言メモ／音声メモ▶テレビ電話メモの再生／消去▶テレビ電話伝言メモまたは動画メモを選択

テレビ電話メモ一覧画面

- テレビ電話メモ一覧画面では録画されている項目に「★」マークが付きます。
- ｉモーションの再生音と同じ音量で再生されます。
- 再生中はメモが録画された日付･時刻が表示されます。

■▼を使って再生するには
待受画面で▼を1秒以上押すと、一番新しいテレビ電話伝言メモが再生されます。テレビ電話伝言メモが録画されていない場合は、一番新しい動画メモが再生されます。

■再生を途中で止めるには
●(停止)またはchクリアを押します。

メモ一覧画面・テレビ電話メモ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作	補足
再生	−	再生します。
1件消去	▶YES ●再生中に(✉)(消去)を押しても、1件消去できます。	−
伝言メモ消去	▶YES	メモ一覧画面では伝言メモ、テレビ電話メモ一覧画面ではテレビ電話伝言メモをすべて消去します。
動画メモ消去 [テレビ電話メモ一覧のみ]	▶YES	動画メモをすべて消去します。
全消去	▶YES	メモ一覧画面では伝言メモ、音声メモ、テレビ電話メモ一覧画面ではテレビ電話伝言メモ、動画メモをすべて消去します。

キャラ電を利用する

自分のカメラ画像の代わりにキャラ電を相手に送信します。

●キャラ電についてはP.328参照。

通話ごとに設定する

キャラ電を相手に送信する画像に設定してテレビ電話をかけます。

1 キャラ電表示画面・キャラ電一覧画面▶(iα)(機能)▶キャラ電発信

相手の電話番号を入力し、(📷)または(●)(発信)を押してテレビ電話をかけます。

●相手先の電話番号が電話帳に登録されているときは、(○)を押して電話帳検索画面から選択して呼び出せます。

●(○)を押して着信履歴、(○)を押してリダイヤルから検索することもできます。

お知らせ

●相手に送信する代替画像の優先順位は、「通話ごとの設定」→「電話帳の設定」→「グループ設定」→「画像選択」の順になります。

代替画像設定

お買い上げ時	Dimo

キャラ電を「画像選択」の「代替画像選択」に設定します。

1 キャラ電表示画面・キャラ電一覧画面・キャラ電撮影画面▶(iα)(機能)▶代替画像設定

キャラ電設定

キャラ電通話の設定をします。通話中のテレビ電話にのみ有効です。

1 キャラ電通話中▶(機能)▶キャラ電設定▶以下の操作を行う

項目	操作	補足
キャラ電切替	▶キャラ電を選択	●キャラ電を切り替えると、アクションモードは「全体アクションモード」になります。
アクション一覧	●アクションを選んで(選択)を押すとアクションを実行でき、(詳細)を押すとアクションの詳細を確認できます。 ●を押してもアクション一覧を表示できます。	操作できるアクションの一覧を表示します。
アクション切替 テレビ電話起動時 全体アクションモード	●を押しても切り替えることができます。	アクションモードを全体アクションモード()またはパーツアクションモード()に切り替えます。
内蔵代替画切替	−	相手に送信する代替画像を「画像選択」の「内蔵」の静止画に切り替えます。
自作代替画切替	−	相手に送信する代替画像を「画像選択」の「自作」の静止画に切り替えます。

テレビ電話に関する便利な機能

カメラを切り替える

テレビ電話起動時	インカメラ

相手に送信するカメラ画像をインカメラの画像からアウトカメラの画像に切り替えます。

1 テレビ電話中▶(OUT)

●もう一度(IN)を押すと元に戻ります。
●(機能)を押して機能メニューから「アウトカメラ」または「インカメラ」を選択してもカメラが切り替わります。
●ここでの設定は、通話中のテレビ電話にのみ有効です。

代替画像を送信する

相手に送信する画像を、自分のカメラ画像から代替画像に設定した静止画またはキャラ電に切り替えます。キャラ電についてはP.328参照。

1 テレビ電話中▶

カメラがOFFになり、相手には代替画像が送信されます。
静止画による代替画像送信中は「」、代替画像にキャラ電を設定している場合(キャラ電通話中)は「」が表示されます。
●もう一度を押すと、代替画像から自分のカメラ画像に切り替わります。

■送信する代替画像について
代替画像は以下の3つの機能で設定できます。
・電話帳に登録したキャラ電
・「グループ設定」で設定したキャラ電
・「画像選択」の「代替画像選択」で設定した静止画またはキャラ電
この他に、通話ごとにもキャラ電を設定できます。(P.83参照)
相手に送信する代替画像の優先順位は、「通話ごとの設定」→「電話帳の設定」→「グループ設定」→「画像選択」の順になります。
テレビ電話がかかってきた場合、相手が発信者番号を通知してこないときは「電話帳の設定」、「グループ設定」は無効になりますのでご注意ください。

■代替画像でテレビ電話に出るには
テレビ電話着信中に◉(代替)を押してテレビ電話に出ます。
●自分のカメラ画像に切り替えるには(カメラ)を押します。

お知らせ
●代替画像を送信して通話しているときもデジタル通信料がかかります。

画像の表示位置を切り替える

相手の画像と自分の画像の表示位置を切り替えます。

1 テレビ電話中に◉(切替)を押す

●◉(切替)を押すごとに表示が切り替わります。

ズームする

テレビ電話起動時	広角

相手に送信するカメラ画像のズームを調節します。テレビ電話中のインカメラの最大倍率は約2.0倍、アウトカメラの最大倍率は約2.89倍です。

1 テレビ電話中▶◎でズーム倍率を調節

●テレビ電話を終了した場合は、ズームの設定は元に戻ります。

テレビ電話中の機能メニュー

機能メニュー	操作	補足
音声電話切替	P.56参照	通話中のテレビ電話を音声電話に切り替えます。
テレビ電話設定(画像品質設定)	P.87参照	画質を設定します。

次ページにつづく

機能メニュー	操作	補足
テレビ電話設定（明るさ調節） テレビ電話起動時 0	▶**明るさ調節**▶**明るさを選択**	相手に送るカメラ画像の明るさを－3（暗い）～＋3（明るい）で調節します。
テレビ電話設定（ホワイトバランス） テレビ電話起動時 オート	▶**ホワイトバランス**▶**項目を選択** **晴天**．．．．屋外晴天下で通話するとき **曇天**．．．．曇天や日陰で通話するとき **オート**．．ホワイトバランスを自動調整するとき **電球**．．．．電球照明下で通話するとき	相手に送るカメラ画像の発色を調整して、自然な色合いに設定します。
テレビ電話設定（色調切替） テレビ電話起動時 通常	▶**色調切替**▶**色調を選択**	相手に送るカメラ画像の色調を切り替えます。
テレビ電話設定（ナイトモード） テレビ電話起動時 OFF	▶**ナイトモード**▶**ON・OFF**	露光を長くして、暗いところでも相手に送る画像が鮮明になるように設定します。
テレビ電話設定（フォーカス設定） テレビ電話起動時 風景	▶**フォーカス設定**▶**接写・風景**	アウトカメラでのテレビ電話中にフォーカスを設定します。 ●インカメラのフォーカス設定は「ポートレート」（人物を撮影するのに適したモード）に固定されており、変更できません。
キャラ電設定	P.84参照	キャラ電通話の設定をします。
通話機切替	P.397参照	FOMA端末で通話するかBluetooth機器で通話するかを設定します。
フォトライト テレビ電話起動時 OFF	▶**ON・OFF**	アウトカメラの画像を相手に送信しているときにフォトライトを点灯します。
照明設定 お買い上げ時 常時点灯	▶**常時点灯・15秒点灯**	画面の照明を常時点灯させるか、操作後約15秒間点灯させるかを設定します。
液晶AI	P.143参照	ディスプレイのバックライトの明るさを自動的に調節し、その明るさに合わせて画像の画質補正をするかどうかを設定します。
アウトカメラ・インカメラ	P.84参照	カメラを切り替えます。

機能メニュー	操作	補足
DTMF送信・DTMF解除	－	キャラ電通話中にダイヤルデータを入力してDTMF(プッシュ信号)を送ることができるDTMF送信モードに切り替えます。キャラ電通話中のみ操作できます。 ●現在DTMF送信モードでない場合は「DTMF送信」、DTMF送信モードの場合は「DTMF解除」と表示されます。 ●DTMF送信モード中は、キャラ電のアクション操作はできません。 ●受信側の機器によっては、信号を受信できない場合があります。
通話中時間表示	P.387参照	テレビ電話中に通話時間を表示するかどうかを設定します。
自局番号表示	－	自分の電話番号を表示します。
ボタン操作ガイド	●確認が終われば(chクリア)を押します。	テレビ電話中のボタン操作のガイドを表示します。

<テレビ電話ハンズフリー設定>

テレビ電話のハンズフリーについて設定する

お買い上げ時	ON

テレビ電話開始時に自動的にハンズフリーに切り替えるかどうかを設定します。

1 (メニュー)▶(設定)▶**テレビ電話**▶**テレビ電話ハンズフリー設定**▶**ON・OFF**

●ハンズフリー設定中の動作、ハンズフリー切替についてはP.68参照。

<画像品質設定>

テレビ電話の画質を設定する

お買い上げ時	標準

ディスプレイに表示される相手の画像と相手に送信する自分の画像の画質を設定します。

1 (メニュー)▶(設定)▶**テレビ電話**▶**画像品質設定**▶**画像品質を選択**

●「動き優先」は画像に動きがある場合に有効です。動きが少ない場合は「画質優先」に設定すると画質が向上します。

●テレビ電話中は(iα)(機能)を押して「テレビ電話設定」を選択し、「画像品質設定」を選択します。その場合、設定は通話中のテレビ電話にのみ有効です。

お知らせ

●テレビ電話中に電波状況が悪くなった場合、画像がモザイク表示になるときがあります。

＜画像選択＞

テレビ電話の表示を変更する

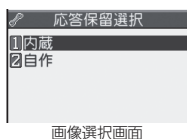
お買い上げ時	応答保留選択：内蔵　通話保留選択：内蔵　代替画像選択：キャラ電（Dimo） 伝言メモ選択：内蔵　伝言メモ準備選択：内蔵　動画メモ選択：内蔵

カメラ画像の代わりに相手に送信する画像を設定します。

1 メニュー▶設定▶**テレビ電話▶画像選択▶項目を選択**

応答保留選択. . . . . . . 応答保留中の画像を設定します。
通話保留選択. . . . . . . 通話保留中の画像を設定します。
代替画像選択. . . . . . . カメラOFF時の代替画像（静止画またはキャラ電）を設定します。
伝言メモ選択. . . . . . . 伝言メモ録画中の画像を設定します。
伝言メモ準備選択 . . . 伝言メモ応答メッセージ再生中の画像を設定します。
動画メモ選択. . . . . . . 動画メモ録画中の画像を設定します。

2 **画像を選択**

応答保留選択
1内蔵
2自作

画像選択画面

内蔵. . . . . . FOMA端末にあらかじめ保存されている静止画を相手に送信します。
自作. . . . . . 状態に応じたメッセージと「ピクチャ貼付」で登録した静止画を合成したものを相手に送信します。
キャラ電 . . 「代替画像設定」で選択したキャラ電を相手に送信します。(P.83参照)（手順1で「代替画像選択」を選択した場合のみ表示されます。）

●✉（デモ）を押すとデモ再生され、静止画またはキャラ電を確認できます。

お知らせ

●「自作」で選択した静止画を削除しても、相手にはその静止画が表示されます。変更する場合は「設定内容変更」や「ピクチャ貼付」で設定してください。

画像選択画面の機能メニュー

機能メニュー	操作	補足
設定内容変更	「自作」を選択していた場合 ▶**フォルダを選択▶静止画を選択** ●✉（デモ）を押すとデモ再生され、静止画を確認できます。 「キャラ電」を選択していた場合 ▶**キャラ電を選択** ●✉（デモ）を押すとデモ再生され、キャラ電を確認できます。	「自作」または「キャラ電」の設定を変更します。 ●「内蔵」を選択中は操作できません。 ●設定可能な静止画についてはP.314参照。

通話ごとに設定する

テレビ電話をかけるときに相手に送信する画像を設定します。

1 **電話番号を入力**
または
電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面を表示

2 iα（機能）▶**テレビ電話画像選択▶自画像・キャラ電**

●「自画像」を選択した場合は、設定が終了します。
●通話ごとの設定を解除する場合は、「設定解除」を選択します。設定が終了します。

3 **キャラ電を選択**

＜音声自動再発信＞

テレビ電話がつながらなかった場合に音声電話で再発信する

お買い上げ時	OFF

テレビ電話をかけてつながらなかった場合、自動的に音声電話に切り替えて再発信します。

1 ▶▶**テレビ電話▶音声自動再発信▶ON・OFF**

お知らせ

●音声電話の発信動作に切り替わった場合、音声電話料金になります。
●相手が話し中や公共モード(ドライブモード)中などのためにテレビ電話がつながらなかった場合は、音声自動再発信は行いません。

＜テレビ電話切替機能通知＞

音声電話とテレビ電話の切り替えについて設定する

自分の端末が音声電話とテレビ電話の切り替えが可能な端末であることを相手に通知する機能です。
ご契約時は「開始」に設定されています。「テレビ電話切替機能通知」を開始に設定しておくと、電話をかけてきた相手がテレビ電話と音声電話を切り替えることができます。

●サービスエリア外や電波の届いていない場所、または通話中は「テレビ電話切替機能通知」の操作はできません。

1 ▶**テレビ電話▶テレビ電話切替機能通知▶以下の操作を行う**

項目	操作	補足
切替機能通知開始	▶YES▶OK	―
切替機能通知停止	▶YES▶OK	―
切替機能通知設定確認	●確認が終われば「OK」を選択します。	テレビ電話切替機能の設定を確認します。

＜パケット通信中着信設定＞

iモード中にテレビ電話がかかってきたときの応対方法を選択する

お買い上げ時	テレビ電話優先

iモード、メールの送受信などのパケット通信中にテレビ電話がかかってきた場合、かかってきたテレビ電話をどのように扱うかを選択します。

1 ▶▶**着信▶パケット通信中着信設定▶項目を選択**

テレビ電話優先 . . . . . テレビ電話の着信画面を表示します。テレビ電話に応答するとパケット通信が切断されます。
パケット通信優先 . . . テレビ電話着信を拒否し、通信を継続します。
留守番電話. . . . . かかってきたテレビ電話を留守番電話サービスセンターに接続します。
転送でんわ. . . . . かかってきたテレビ電話を転送先に転送します。

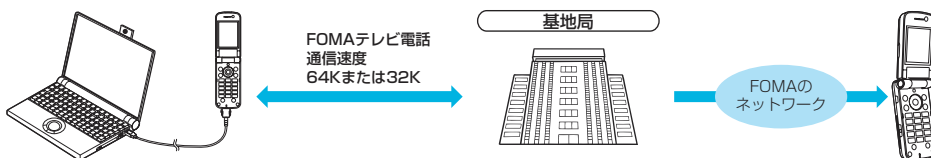
お知らせ

●留守番電話サービス、転送でんわサービスが未契約の場合や「開始」に設定されていない場合は、「留守番電話」「転送でんわ」に設定していても「パケット通信優先」の動作になります。

外部機器と接続してテレビ電話を使用する

パソコンなどの外部機器とFOMA端末をFOMA USB接続ケーブル(別売)で接続することで、外部機器からテレビ電話の発着信操作ができます。
この機能を利用するには、専用の外部機器、またはパソコンにテレビ電話アプリケーションをインストールし、さらにパソコン側にイヤホンマイクやUSB対応Webカメラなどの機器(市販品)を用意する必要があります。

- FOMA端末が外部機器と接続されていないときは、本機能を利用できません。
- テレビ電話アプリケーションの動作環境や設定・操作方法については、外部機器の取扱説明書などを参照してください。
- 本機能対応アプリケーションとして、「ドコモテレビ電話ソフト 2005」をご利用いただけます。
  ドコモテレビ電話ソフトホームページからダウンロードしてご利用ください。
  (パソコンでのご利用環境等詳細についてはサポートホームページでご確認ください。)

http://videophonesoft.nttdocomo.co.jp/

お知らせ

- 音声電話中は、外部機器からテレビ電話をかけられません。
- キャッチホンをご契約いただいていると、音声電話中に外部機器からのテレビ電話の着信があった場合、着信履歴には不在着信として残ります。外部機器からのテレビ電話中に音声電話・テレビ電話・64Kデータ通信の着信があった場合も同様です。

<遠隔監視設定>
外出先から室内の様子などを確認する

3G-324Mに準拠したテレビ電話機能を持つ電話機からFOMA端末に電話をかけて、遠隔監視ができます。「遠隔監視設定」を「ON」に設定中に、「遠隔監視設定」の「対局番号登録」で登録した電話番号からテレビ電話がかかってきた場合、自動的に遠隔監視を受けます。
(FOMA端末は開いた状態で設置してください。)

1 メニュー▶設定▶テレビ電話▶遠隔監視設定▶端末暗証番号を入力▶以下の操作を行う

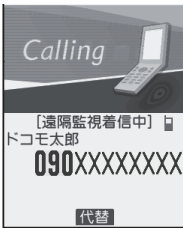
項目	操作	補足
対局番号登録 お買い上げ時: 未登録 対局番号登録 1 〈未登録〉 2 〈未登録〉 3 〈未登録〉 4 〈未登録〉 5 〈未登録〉 対局番号一覧画面	▶<未登録>▶電話番号を入力 ●変更する場合は、登録済みの対局番号を選択します。 ●数字、#、*、+で26桁まで入力できます。	遠隔監視を受ける電話番号をあらかじめ登録します。5件まで登録できます。

項目	操作	補足
応答時間設定 お買い上げ時 5秒	**▶応答時間(秒)を入力** ●「003」～「120」の3桁を入力します。	テレビ電話がかかってから遠隔監視を開始するまでの時間を設定します。 ●遠隔監視設定、オート着信、伝言メモ設定の応答時間･呼出時間は同じ時間に設定できません。それぞれ違う時間に設定してください。
設定 お買い上げ時 OFF	**▶ON･OFF** ON . . . 応答時間経過後、遠隔監視として自動応答します。(対局番号が未登録の場合は設定できません。) OFF . . 通常のテレビ電話の着信動作をします。	対局番号に登録した電話番号からテレビ電話がかかってきた場合に、遠隔監視を開始するかどうかを設定します。 ●「ON」に設定中は「 」が表示されます。 ●マナーモード中は「ON」に設定できません。マナーモード中は遠隔監視が無効になる旨のメッセージが表示されます。

対局番号一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作	補足
宛先参照入力	**▶項目を選択** **電話帳** . . . 電話帳を呼び出して電話番号を選択します。 **発信履歴** . . 電話番号を選択して (選択)を押します。 **着信履歴** . . 電話番号を選択して (選択)を押します。	電話帳、発信履歴、着信履歴から電話番号を呼び出して入力します。
1件削除	▶YES	●対局番号をすべて削除した場合、「遠隔監視設定」は「OFF」になります。
全削除	▶YES	

遠隔監視を受ける

1 登録した電話番号からテレビ電話がかかってくる

●遠隔監視専用の着信音が鳴ります。(着信音は変更できません。)
着信音量は「着信音量」の「テレビ電話」で設定したレベルで鳴りますが、「ステップ」または「レベル1」以下に設定している場合は「レベル2」で鳴ります。
また、着信イルミネーションの設定によらず点滅色は「グラデーション」、点滅パターンは「固定パターン」となります。
●遠隔監視の着信時は「オープン設定」は無効になります。
●自動応答する前に または を押すとテレビ電話が始まり、自分のカメラ画像を相手に送信します。 (代替)を押すと、代替画像を相手に送信してテレビ電話を開始します。
●遠隔監視の着信時に を押すと通信が切断され、遠隔監視は行われません。
●遠隔監視を行う(発信)場合は、発信者番号を通知してテレビ電話をかけてください。通知されない場合は、遠隔監視着信にならず、テレビ電話着信となります。

次ページにつづく

2 遠隔監視設定で設定した応答時間経過後、自動的に応答し遠隔監視が始まる

自分のカメラ画像と音声を送信します。(代替画像に切り替えることはできません。)

●ディスプレイに相手の画像が表示され、相手の音声がスピーカから流れます。

●音声のみの遠隔監視はできません。

●遠隔監視中は、☎を押して遠隔監視を終了する操作以外はできません。

3 遠隔監視を終了する

発信側、または着信側のどちらかが☎を押すと、遠隔監視を終了します。

お知らせ

●マナーモード中、公共モード(ドライブモード)中は、遠隔監視は受けられません。

●遠隔監視設定を「ON」に設定しているときに対局番号からのテレビ電話着信があった場合は、「呼出時間表示設定」、「オート着信」、「伝言メモ設定」が設定中でも、その呼出時間に関わらず、遠隔監視設定の呼出時間後に遠隔監視を開始します。

●遠隔監視が実行されなかった場合、テレビ電話の不在着信として着信履歴に残ります。

●平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)接続中に遠隔監視の着信があった場合、「イヤホン切替」を「イヤホン」に設定していてもイヤホンとスピーカの両方から着信音が鳴ります。

●遠隔監視の着信に対しては応答保留できません。

●転送でんわサービスと遠隔監視を同時に設定する場合、遠隔監視を優先させるには、遠隔監視の応答時間を転送でんわサービスの呼出時間よりも短く設定してください。

●転送でんわサービスを利用して遠隔監視を行う場合は、発信元の電話番号を対局番号に登録し、転送先を3G-324Mに準拠したテレビ電話に設定してください。

●お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例(迷惑防止条例等)に従い処罰されることがあります。

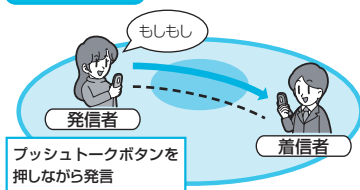
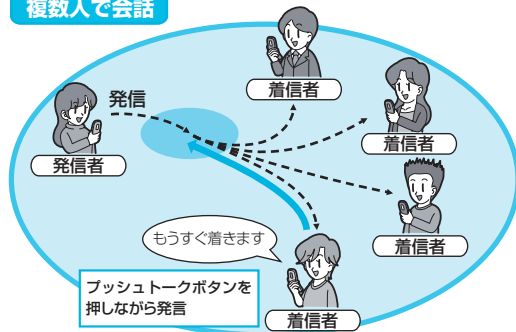
カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

プッシュトーク

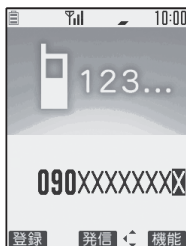
プッシュトークとは

プッシュトークボタンを押してプッシュトーク用電話帳を呼び出し、相手を選んでプッシュトークボタンを押すだけのかんたん操作で複数の人(自分を含めて最大5人まで)と通信できます。
ボタンを押し、発言する度にプッシュトーク通信料が課金されます。ボタンを押し続けている間だけ発言することができ、発言者以外のメンバーはその間は聞くだけになります。903iシリーズでは通信中に相手を追加したり、不参加だった相手を再度呼び出すことができます。
また、画面では誰が発言しているかなどメンバーの状態が確認できます。
グループ内での連絡や、短い用件を同時に伝えるときなどに便利にご利用いただけます。

●対応機種…902iシリーズ、902iSシリーズ、903iシリーズ、SO902iWP+、SH902iSL、
N902iX HIGH-SPEED、P702i、P702iD、SH702iS

2人で会話

複数人で会話

■**プッシュトークプラス**
プッシュトークプラスとは、あらかじめ登録されたネットワーク上の電話帳を利用し、自分も含め最大20人まで通信できるサービスです。さらに、メンバーの状態を確認できるなど、プッシュトークをより便利にご利用いただけます。
プッシュトークプラスをご利用いただくには別途ご契約が必要です。
●プッシュトークプラスの操作方法等の詳細についてはお申し込み時にお渡しするご案内をご覧ください。

プッシュトーク発信する

1 相手の電話番号を入力する▶P

発信中は、プッシュトーク発信開始の確認音が数秒流れ、そのあとに音声(テレビ)電話と同じ呼び出し音が鳴ります。

- プッシュトーク発信中は、画面の上部に「P」が点滅し、通信中は点灯します。
- プッシュトーク電話帳を利用すると、複数の相手にグループ発信できます。(P.99、P.101参照)
- 電話番号入力中の機能メニューについてはP.55参照。

2 相手が応答したらPを押しながら話す

相手が応答すると通信開始の確認音が鳴ります。

- 発言権を取得すると発言権取得音が鳴ります。Pを押して発言権を取得している間のみ相手側に音声が流れます。Pを放すと発言権が開放され、確認音が鳴ります。
- 他のメンバーが発言権を取得しているときは、Pを押しても発言権を取得できず、エラー音が鳴ります。
- お買い上げ時は「プッシュトークハンズフリー設定」により、自動的にハンズフリーに切り替わります。(P.104参照)ただし、マナーモード中は「プッシュトークハンズフリー設定」に関わらず、ハンズフリーはOFFになります。
- ✉(追加)を押すとメンバーを追加できます。P.97手順1へ進みます。
- 通信中にFOMA端末を閉じると、「クローズ動作設定」の設定に従って動作します。(P.74参照)

3 お話が終わったら☎で通信を終了する

相手には通信終了の確認音が鳴ります。

- グループ通信中に呼び出し中のメンバーが残っている場合は、終了するかどうかの確認画面が表示されます。

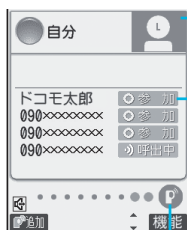
お知らせ

- Pを押して発言権取得音が鳴った時点で、発言者にプッシュトーク通信料が課金されます。
- プッシュトークでは緊急通報110番/119番/118番はご利用になれません。
- 1回の発言権でお話できる時間には限りがあります。制限時間に達する前に発言権開放予告音が鳴り、その発言権は開放されます。また、一定時間発言権の取得者がいない場合は、プッシュトーク通信自体が終了します。
- 番号を通知して発信した場合、すべてのメンバーの電話番号が、着信したメンバー全員に通知されます。電話番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際には十分ご注意ください。

プッシュトーク通信中の機能メニュー

機能メニュー	操作	補足
メンバー追加	P.97手順1へ進みます。	プッシュトーク通信中にメンバーを追加します。
クローズ動作設定	P.74参照	FOMA端末を閉じたときの動作を設定します。

■グループ発着信について
プッシュトーク電話帳やリダイヤル･発信履歴･着信履歴などを利用して複数の相手と通信できます。
グループ発着信中はグループ名とグループ内のメンバーが表示され、Ⓞを押して他のメンバーを確認できます。相手の電話番号が通知されない状態で着信した場合は、「非通知」と表示されます。

■発信中･通信中の画面について

グループ通信中の場合

●発言権を取得しているメンバーの電話番号が表示され、発言権の状態が左上の丸いアイコンの色で表示されます。電話帳にメンバーの名前、電話番号および画像が登録されている場合は、名前や画像が表示されます。ただし、メンバーの情報が正しく受信できなかったときは「？」が表示されます。
FOMA端末を閉じているときは、プライベートウィンドウに発言権を取得しているメンバーの電話番号（名前）が表示されます。

左上の丸いアイコンの色	発言権の状態
青色	発信中
緑色	発言権を取得できる状態
緑色の点滅	発言権を取得している状態
黄色の点滅	他のメンバーが発言権を取得している状態
緑色と赤色の点滅	発言権を長時間取得しているため、数秒後に自動的に開放される状態（開放予告音が鳴ります。）

●発信中や通信中はメンバーの状態がアイコンで表示されます。
（下記以外の文字が表示されることもあります。）

アイコン	メンバーの状態
呼出中 ※	呼び出し中
参 加	プッシュトークに参加中
✕不参加 ※	応答がないか、プッシュトークを終了または、圏外か電源を切っている
運転中 ※	公共モード（ドライブモード）に設定中

※3人以上のプッシュトーク通信の場合のみ表示されます。

●発言権を取得した回数は、「●」の個数と「Ⓟ」部分に表示された数字の合計になります。999回を超えると、0回に戻ってカウントされます。

■プッシュトーク通信に再参加･途中参加する
プッシュトーク通信を終了したあとやプッシュトーク通信に応答できなかった際、他のメンバー間でプッシュトーク通信が継続している場合は、着信履歴からプッシュトーク発信して、プッシュトーク通信に再参加および途中参加できます。他のメンバー間でのプッシュトーク通信が終了している場合は、新しいプッシュトーク発信になります。

通信中にメンバーを追加する

プッシュトーク通信中に他の相手にプッシュトーク発信し、メンバーを追加します。
追加するメンバーは、プッシュトーク電話帳、電話帳、発着信履歴を参照したり、電話番号を直接入力したりして指定できます。
メンバーは最大通信人数(自分を含めて最大5人)まで追加でき、最大通信人数まで何度でも追加を繰り返せます。

- 発信側からのみメンバーを追加できます。
- 903iシリーズ以前のプッシュトーク対応機種のメンバーも追加できます。
- 追加したメンバーは発信履歴、リダイヤルには記憶されません。

1 プッシュトーク通信中▶(追加)▶以下の操作を行う

項目	操作	補足
プッシュトーク電話帳参照	P.101参照 の代わりに(発信)を押して発信します。 ●(機能)を押して「メンバー／グループ」を選択すると、プッシュトーク電話帳一覧画面とプッシュトークグループ一覧画面を切り替えることができます。	プッシュトーク電話帳を呼び出してプッシュトーク発信します。
電話帳参照	**▶電話帳を呼び出す** **▶電話番号を選んで(発信)**	電話帳を呼び出してプッシュトーク発信します。
直接入力	**▶電話番号を入力▶(発信)**	電話番号を入力してプッシュトーク発信します。
履歴参照	**▶発信履歴・着信履歴▶履歴を選択** **▶電話番号を選択▶(発信)**	発信履歴、着信履歴を呼び出してプッシュトーク発信します。

お知らせ

- 903iシリーズより前のプッシュトーク対応機種では、発信側でもメンバーを追加できません。
- 903iシリーズより前のプッシュトーク対応機種を利用しているメンバーには、プッシュトーク通信中に追加されたメンバーは表示されず、参加の確認音も鳴りません。

プッシュトーク着信する

1 プッシュトーク着信すると「プッシュトーク着信中」と表示され、着信音が鳴り、着信／充電ランプが点滅する

着信中
090XXXXXXXXX

- グループ着信中は「プッシュトークグループ着信中」と表示されます。
- 着信中はプライベートウィンドウに情報が表示されます。
- 着信拒否するときは、着信中に[i](機能)を押して「着信拒否」を選択します。[終話]を押しても着信拒否できます。

2 [P]でプッシュトークに応答する▶[P]を押しながら話す

- [P]の代わりに[通話]または[●](通話)を押しても応答できます。また、FOMA端末を閉じた状態で[P]を押しても応答できます。
- 発言権を取得すると発言権取得音が鳴ります。[P]を押して発言権を取得している間のみ相手側に音声が流れます。[P]を放すと発言権が開放され、確認音が鳴ります。
- 他のメンバーが発言権を取得しているときは、[P]を押しても発言権を取得できず、エラー音が鳴ります。
- 「オープン設定」「伝言メモ設定」は無効になります。
- お買い上げ時は「プッシュトークハンズフリー設定」により、自動的にハンズフリーに切り替わります。(P.104参照)ただし、マナーモード中は「プッシュトークハンズフリー設定」に関わらず、ハンズフリーはOFFになります。
- 通信中にFOMA端末を閉じると、「クローズ動作設定」の設定に従って動作します。(P.74参照)

■エニーキーアンサー

プッシュトーク着信に応答するときは、[P]、[通話]、[●](通話)以外に[i]、[0]～[9]、[＊]、[chクリア]、[メール]、[カメラ]、[○]、[▲]のいずれかのボタンを押してもすぐに通信状態になります。

- 「着信アンサー設定」を「クイックサイレント」に設定しておくと、ボタンを押して着信音だけを止めることができます。

3 お話が終わったら[終話]で通信を終了する

相手には通信終了の確認音が鳴ります。

- グループ着信した場合は、[終話]を押してもプッシュトーク通信自体は継続し、各メンバーには自分が参加していないことを表すアイコンが表示され、確認音が鳴ります。ただし、すべてのメンバーが不参加になった場合や発信側がプッシュトーク通信を終了した場合は、プッシュトーク通信自体が終了します。

お知らせ

- [P]を押して発言権取得音が鳴った時点で、発言者にプッシュトーク通信料が課金されます。
- 1回の発言権でお話できる時間には限りがあります。制限時間に達する前に発言権開放予告音が鳴り、その発言権は開放されます。また、一定時間発言権の取得者がいない場合は、プッシュトーク通信自体が終了します。
- 「応答保留」「通話中保留」はできません。

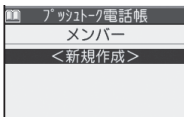
お知らせ

- 音声電話中のプッシュトーク着信や公共モード(ドライブモード)中のプッシュトーク着信、プッシュトーク通信中の音声電話着信(「プッシュトーク通信中着信設定」を「通常着信」以外に設定している場合)、テレビ電話着信、データ通信、プッシュトーク着信は、不在着信として着信履歴に残ります。
- テレビ電話中、データ通信中のプッシュトーク着信は着信動作せず、着信履歴にも残りません。
- プッシュトーク通信を終了したあとやプッシュトーク通信に応答できなかった際、他のメンバー間でプッシュトーク通信が継続している場合は、着信履歴からプッシュトーク発信して、プッシュトーク通信に再参加および途中参加できます。他のメンバー間でのプッシュトーク通信が終了している場合は、新しいプッシュトーク発信になります。
- 発信者がプッシュトーク通信中にメンバーを追加した場合、追加されたメンバーは着信履歴には記憶されません。
- ｉモード通信中の動作についてはP.105参照。
- 発信者が着信拒否対象のときは、着信を拒否します。着信拒否の設定については、音声電話・テレビ電話と共通の設定になります。

<プッシュトーク電話帳登録>

プッシュトーク電話帳を登録する

FOMA端末(本体)の電話帳に登録されている項目のうち、名前(フリガナ)と電話番号1件をプッシュトーク電話帳に登録します。プッシュトーク電話帳は800件まで登録できます。

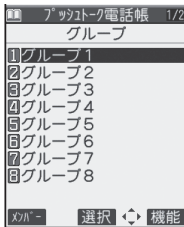
1 待受画面▶[P]▶<新規作成>▶以下の操作を行う

プッシュトーク電話帳一覧画面

- 「[メニュー]▶[電話帳]▶プッシュトーク電話帳」の操作を行ってもプッシュトーク電話帳一覧画面が表示されます。
- 1件の電話帳から複数の電話番号を登録すると、先に登録した電話番号は上書きされます。

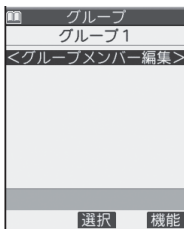
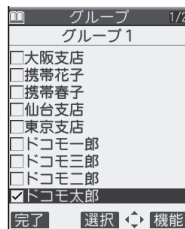
項目	操作	補足
電話帳参照	**▶電話帳を呼び出す▶電話番号を選択▶YES**	すでに登録してあるFOMA端末(本体)の電話帳を呼び出してプッシュトーク電話帳に登録します。
直接入力	**▶本体▶登録方法を選択** **新規登録**. . . P.109手順2へ進みます。 **追加登録**. . . P.114手順3へ進みます。 ●複数の電話番号が登録されている場合は、[✉]([完了])を押したあとにプッシュトーク電話帳に登録する電話番号を選択します。すでにプッシュトーク電話帳に登録されている電話番号には「★」マークが付きます。	FOMA端末(本体)の電話帳に登録してからプッシュトーク電話帳に登録します。
履歴参照	**▶発信履歴・着信履歴▶履歴を選択▶電話番号を選択▶YES**	発信履歴、着信履歴を呼び出してプッシュトーク電話帳に登録します。FOMA端末(本体)の電話帳に登録されていない相手の発信履歴、着信履歴からは登録できません。

グループに登録する

プッシュトーク電話帳をグループに登録します。1グループにつき19人までのメンバーが登録でき、グループは10件まで作成できます。

1 プッシュトーク電話帳一覧画面▶(✉)(グループ)

プッシュトーク
グループ一覧画面

●(✉)(メンバー)を押すとプッシュトーク電話帳一覧画面が表示されます。

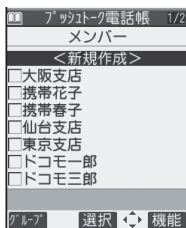
2 グループを選択▶<グループメンバー編集>
▶登録したいメンバーにチェック▶(✉)(完了)

グループメンバー一覧画面　　グループメンバー選択画面

グループメンバー選択画面の機能メニュー

機能メニュー	操作	補足
登録メンバー参照	●(◉)(登録)を押すとグループに登録します。	チェックを付けたメンバーのみを表示します。
検索	▶検索方法を選択 フリガナ検索 . . .P.116参照 グループ検索 . . .P.116参照 ▶メンバーを選択	検索したメンバーが選択されたグループメンバー選択画面を表示します。

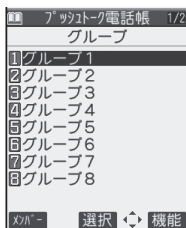
プッシュトーク電話帳を利用してプッシュトーク発信する

プッシュトーク電話帳やプッシュトークグループを利用して4人までの相手にグループ発信できます。

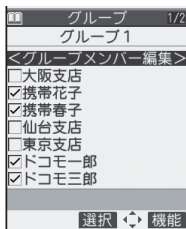
1 プッシュトーク電話帳一覧画面▶発信したいメンバーにチェック▶[P]

プッシュトーク
電話帳一覧画面

- ●[✉](グループ)を押すとプッシュトークグループ一覧画面が表示されます。
- ●どのメンバーにもチェックをしていない場合は、反転しているメンバーに発信します。

プッシュトークグループから発信する

1 プッシュトークグループ一覧画面▶グループを選択

プッシュトーク
グループ一覧画面

- ●グループを選んで[P]を押すと、グループのメンバー全員に発信します。
- ●[✉](メンバー)を押すとプッシュトーク電話帳一覧画面が表示されます。

2 発信したいメンバーにチェック▶[P]

グループメンバー一覧画面

- ●どのメンバーにもチェックをしていない場合は、反転しているメンバーに発信します。

お知らせ

- ●グループに5人以上登録されている場合、グループを選んでメンバー全員に発信はできません。

<プッシュトーク電話帳削除>

プッシュトーク電話帳を削除する

1 プッシュトーク電話帳一覧画面▶i(機能)▶プッシュトーク電話帳削除▶以下の操作を行う

項目	操作	補足
1件削除	▶削除方法を選択 **プッシュトーク電話帳削除** . . . . プッシュトーク電話帳のみ削除します。FOMA端末(本体)の電話帳は削除されません。 **通常電話帳削除** . . . . プッシュトーク電話帳とFOMA端末(本体)の電話帳を削除します。 ▶YES	−
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES	●FOMA端末(本体)の電話帳は削除されません。

プッシュトークグループ削除

1 プッシュトークグループ一覧画面▶i(機能)▶プッシュトークグループ削除▶YES

グループメンバー削除

1 グループメンバー一覧画面▶i(機能)▶グループメンバー削除▶以下の操作を行う

項目	操作	補足
1件削除	▶YES	−
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES	−

お知らせ

●プッシュトークグループやグループのメンバーを削除してもプッシュトーク電話帳やFOMA端末(本体)の電話帳は削除されません。

プッシュトーク電話帳を使いこなす

プッシュトーク電話帳一覧画面・プッシュトークグループ一覧画面・グループメンバー一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作	補足
発信メンバー参照	●Pまたは◉（PTT）を押すとプッシュトーク発信します。 ●iα（機能）を押して「発番号設定」を選択すると、相手に電話番号を通知するかどうかを設定できます。「発番号設定消去」を選択すると「番号通知設定」の設定に従います。	プッシュトーク電話帳一覧画面・グループメンバー一覧画面ではチェックを付けたメンバーのみを表示します。
プッシュトーク電話帳検索 [電話帳一覧のみ]	▶**検索方法を選択** **フリガナ検索** . . .P.116参照 **グループ検索** . . .P.116参照 ▶**メンバーを選択**	検索したメンバーが選択されたプッシュトーク電話帳一覧画面を表示します。
プッシュトーク電話帳登録 [電話帳一覧のみ]	P.99参照	プッシュトーク電話帳を登録します。
プッシュトーク電話帳削除 [電話帳一覧のみ]	P.102参照	プッシュトーク電話帳を削除します。
グループメンバー編集 [グループ一覧・メンバー一覧]	P.100手順2へ進みます。	グループのメンバーを編集します。
グループ名編集 [グループ一覧のみ]	▶**グループ名を入力** ●全角16文字まで、半角32文字まで入力できます。	−
プッシュトークグループ削除 [グループ一覧のみ]	P.102参照	プッシュトークグループを削除します。
グループメンバー削除 [メンバー一覧のみ]	P.102参照	グループのメンバーを削除します。
自動応答設定	P.104参照	自動応答するかどうかを設定します。
呼出時間設定	P.104参照	呼出時間を設定します。
ハンズフリー設定	P.104参照	自動的にハンズフリーに切り替えるかどうかを設定します。
クローズ動作設定	P.74参照	FOMA端末を閉じたときの動作を設定します。
番号通知設定	P.104参照	相手に電話番号を通知するかどうかを設定します。
ｉモード通信中着信	P.105参照	ｉモード通信中のプッシュトーク着信について設定します。
プッシュトーク通信中着信	P.105参照	プッシュトーク通信中の音声着信について設定します。
ネットワーク接続	P.94参照	ネットワークに接続し、プッシュトークプラスを利用します。プッシュトークプラスをご契約のお客様のみ利用可能です。

プッシュトークの発着信について設定する

1 メニュー▶設定▶プッシュトーク▶以下の操作を行う

●プッシュトーク電話帳一覧画面、プッシュトークグループ一覧画面、グループメンバー一覧画面ではiα(機能)を押して各項目を選択します。ただし、これらの画面では、「プッシュトーク通信中着信設定」は「プッシュトーク通信中着信」と表示されます。

項目	操作	補足
自動応答設定 お買い上げ時 自動応答なし	▶**項目を選択** **自動応答あり**．．．「呼出時間設定」に関わらず、着信後すぐに自動応答します。 **自動応答なし**．．．自動応答しません。	●「自動応答あり」に設定すると、「クローズ動作設定」の設定に関わらず、FOMA端末を閉じていても自動応答します。 ●「自動応答あり」に設定すると、「プッシュトークハンズフリー設定」の設定に関わらず、ハンズフリーに切り替えて自動応答します。 ●「自動応答あり」に設定すると、着信音・バイブレータ・着信／充電ランプ・バックライトは動作しません。また、マナーモード中は自動応答しません。 ●「自動応答あり」に設定していても、FOMA端末を閉じた状態で応答したあとにFOMA端末を開いた場合は、ハンズフリーが解除されます。
呼出時間設定 お買い上げ時 30秒	▶**呼出時間(秒)を入力** ●「01」～「60」の2桁を入力します。	プッシュトーク着信時の呼出時間を設定します。 ●呼出時間経過後は相手に「不参加」と表示されます。
プッシュトークハンズフリー設定 お買い上げ時 ON	▶**ON・OFF**	プッシュトーク通信を開始したときに、相手の音声などをスピーカから聞こえるようにするか受話口から聞こえるようにするかを設定します。 ●ハンズフリー設定中の動作、通信中のハンズフリー切替についてはP.68参照。
番号通知設定 お買い上げ時 非通知	▶**通知・非通知**	プッシュトーク発信時やプッシュトーク通信中にメンバーを追加するときに相手に電話番号を通知するかどうかを設定します。 ●「通知」に設定してグループ発信した場合は、すべてのメンバーの電話番号が、着信したメンバー全員に通知されます。 「非通知」に設定してグループ発信した場合は、すべてのメンバーが、着信したメンバー全員に「非通知」と表示されます。

項目	操作	補足
プッシュトーク通信中着信設定 お買い上げ時 通常着信	▶項目を選択 **留守番電話**...かかってきた音声電話を留守番電話サービスセンターに接続します。 **転送でんわ**...かかってきた音声電話を転送先に転送します。 **着信拒否**.....着信を拒否して呼び出さないようにします。 **通常着信**.....音声電話の着信画面が表示されます。	●「通常着信」に設定し、音声電話がかかってきた場合、☎を押すと、プッシュトーク通信が終了したあとに着信画面が表示され、音声電話に応答できます。プッシュトーク通信を継続する場合、iα(機能)を押し、「着信拒否」「転送電話」「留守番電話」を選択します。

お知らせ

<番号通知設定>
- ●異なるFOMAカードに差し替えたときは、「非通知」に設定されます。
- ●ここでの設定は、プッシュトーク発信にのみ有効です。ネットワークの設定や「186／184」の設定(P.48参照)には従いません。
- ●「通知」に設定した場合、プッシュトーク通信中にメンバーを追加したときは、追加したメンバーと既存のメンバーの双方に電話番号が通知されます。
- ●発信時に機能メニューから「発番号設定」を設定した場合や、リダイヤル・発信履歴・着信履歴詳細画面で通知／非通知が表示されている場合は、それぞれの設定に従って動作します。

ｉモード通信中着信設定

お買い上げ時	プッシュトーク着信優先

ｉモード通信中にプッシュトーク着信があった場合、プッシュトークの着信画面を表示するかどうかを設定します。

1 待受画面▶iα(メニュー)▶ｉモード設定▶ｉモード通信中着信設定▶項目を選択

プッシュトーク着信優先 ... ｉモード通信を終了し、プッシュトークの着信画面を表示します。
ｉモード優先............ プッシュトーク着信を拒否し、ｉモード通信を継続します。着信履歴には残りません。

●プッシュトーク電話帳一覧画面、プッシュトークグループ一覧画面、グループメンバー一覧画面ではiα(機能)を押して「ｉモード通信中着信」を選択します。

電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳について

FOMA端末では、FOMA端末（本体）の電話帳と、FOMAカードの電話帳の2種類の電話帳が利用できます。上手に使い分けて電話帳の管理にお役立てください。

<table>
<tr><th colspan="3"></th><th>FOMA端末（本体）</th><th>FOMAカード</th></tr>
<tr><td colspan="3">件数</td><td>800件</td><td>50件</td></tr>
<tr><td rowspan="29">電話帳の登録項目</td><td rowspan="12">基本項目</td><td>名前（フリガナ）</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>グループ</td><td>19グループ</td><td>10グループ</td></tr>
<tr><td>電話番号</td><td>4件</td><td>1件</td></tr>
<tr><td>電話番号アイコン</td><td>○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>メールアドレス</td><td>3件</td><td>1件</td></tr>
<tr><td>メールアドレスアイコン</td><td>○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>住所</td><td>○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>位置情報</td><td>○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>誕生日</td><td>○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>メモ</td><td>○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>静止画</td><td>○（最大100件まで）</td><td>×</td></tr>
<tr><td>メモリ番号</td><td>000～799</td><td>×</td></tr>
<tr><td rowspan="10">設定項目</td><td>電話／テレビ電話着信音</td><td>○</td><td rowspan="10">×</td></tr>
<tr><td>着信バイブレータ</td><td>○</td></tr>
<tr><td>着信イルミネーション</td><td>○</td></tr>
<tr><td>着信イメージ</td><td>○</td></tr>
<tr><td>キャラ電</td><td>○（最大100件まで）</td></tr>
<tr><td>メール着信音</td><td>○</td></tr>
<tr><td>メールバイブレータ</td><td>○</td></tr>
<tr><td>メールイルミネーション</td><td>○</td></tr>
<tr><td>応答メッセージ</td><td>○</td></tr>
<tr><td>テレビ電話通信速度</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="5">電話帳指定設定</td><td>指定発信制限</td><td rowspan="5">○</td><td rowspan="5">×</td></tr>
<tr><td>指定着信拒否</td></tr>
<tr><td>指定着信許可</td></tr>
<tr><td>指定転送でんわ</td></tr>
<tr><td>指定留守番電話</td></tr>
<tr><td colspan="2">シークレットコード</td><td>○</td><td>×</td></tr>
<tr><td colspan="2">シークレットモード、シークレット専用モードでの登録</td><td>○</td><td>×</td></tr>
<tr><td rowspan="11">グループの登録項目</td><td colspan="2">グループ名</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="2">電話／テレビ電話着信音</td><td rowspan="10">○</td><td rowspan="10">×</td></tr>
<tr><td colspan="2">着信バイブレータ</td></tr>
<tr><td colspan="2">着信イルミネーション</td></tr>
<tr><td colspan="2">着信イメージ</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラ電</td></tr>
<tr><td colspan="2">メール着信音</td></tr>
<tr><td colspan="2">メールバイブレータ</td></tr>
<tr><td colspan="2">メールイルミネーション</td></tr>
<tr><td colspan="2">応答メッセージ</td></tr>
<tr><td colspan="2">テレビ電話通信速度</td></tr>
</table>

- お客様のFOMAカードを他のFOMA端末にセットしても、FOMAカード内の電話帳データを利用できます。

<電話帳登録>

電話帳を登録する

FOMA端末(本体)またはFOMAカードの電話帳に登録します。

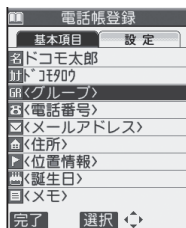
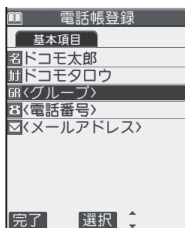
1 待受画面▶（1秒以上）▶本体・FOMAカード(UIM)

名前の入力画面が表示されます。手順2へ進んで名前を入力します。

●「メニュー▶電話帳」「待受画面▶」の操作を行っても電話帳機能の選択画面が表示されます。「電話帳登録」を選択すると登録先の選択画面が表示されます。

●電話帳の一覧画面で（新規）を押しても登録先の選択画面が表示されます。

●FOMAカードについてはP.38参照。

2 以下の操作を行う

FOMA端末(本体)の場合

FOMAカードの場合

●FOMA端末(本体)の電話帳の場合、で基本項目タブと設定タブを切り替えできます。

項目	操作	補足
名 <名前>	▶名前を入力 ●FOMA端末(本体)の場合、全角16文字まで、半角32文字まで入力できます。絵文字も入力できます。 ●FOMAカードの場合、全角10文字まで、半角英数のみなら21文字まで入力できます。(半角カタカナは入力できません。)	相手の名前や会社名を、漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字などで入力します。
ｶﾅ <フリガナ>	▶フリガナを入力 ●FOMA端末(本体)の場合、半角32文字まで入力できます。 ●FOMAカードの場合、全角12文字まで、半角英数のみなら25文字まで入力できます。(半角カタカナは入力できません。)	フリガナを半角のカタカナ、英字、数字で入力します。 ●表示されているフリガナでよければ、修正する必要はありませんが、名前に入力した文字や入力方法によっては、フリガナに反映されないことがあります。 ●名前に「ゎ(小文字)」、「ヮ(小文字)」を入力すると、フリガナには「ﾜ(半角大文字)」(FOMA端末(本体)の場合)、「ワ(大文字)」(FOMAカードの場合)として表示されます。
GR <グループ>	▶グループを選択	FOMA端末(本体)には19個のグループ、FOMAカードには10個のグループがあります。 ●グループを選択していない状態で登録を完了した場合、「グループなし」に登録されます。

次ページにつづく

項目	操作	補足
☎<電話番号>	▶**電話番号を入力** FOMAカードの場合、アイコンは選択できません。電話番号の設定が終了します。 ●電話番号は市外局番から入力します。 ●電話番号は最大で26桁まで入力できます。ただし、「FOMAカード(青色)」には20桁まで入力できます。 ●(＊)を1秒以上押して、登録する電話番号にポーズ(p)を入力できます。ただし、電話番号の先頭にポーズ(p)を入力したり、連続しての入力はできません。また、電話番号の最後に入力したポーズ(p)は登録されません。 ▶**アイコンを選択** ●FOMA端末(本体)に電話番号を登録すると電話帳新規登録画面に「☎<電話番号>」が1つ増えます。別の電話番号を登録するときは、「☎<電話番号>」を選択します。	FOMA端末(本体)には電話帳1件に4番号まで登録できます。それぞれの電話番号に「携帯電話の番号」「会社の電話番号」などを区別するためのアイコンを設定できます。 FOMAカードには電話帳1件に1番号まで登録できます。 ●「＊」を電話番号の途中に入力した場合は、電話がかかりません。ただし、リダイヤル・発信履歴は残ります。 ●情報ダイヤルなどの「#」を使用した番号も登録できます。
✉<メールアドレス>	▶**メールアドレスを入力** FOMAカードの場合、アイコンは選択できません。メールアドレスの設定が終了します。 ●メールアドレスは半角の英字、数字、記号を使って50文字まで入力できます。 ●メールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、電話番号のみを登録してください。 ▶**アイコンを選択** ●FOMA端末(本体)にメールアドレスを登録すると電話帳新規登録画面に「✉<メールアドレス>」が1つ増えます。別のメールアドレスを登録するときは、「✉<メールアドレス>」を選択します。	FOMA端末(本体)には電話帳1件に3アドレスまで登録できます。それぞれのメールアドレスに「携帯電話のアドレス」「自宅のアドレス」などを区別するためのアイコンを設定できます。 FOMAカードには電話帳1件に1アドレスまで登録できます。 ●FOMA端末(本体)にはシークレットコードも設定できます。(P.122参照)
🏠<住所> [FOMA端末(本体)のみ]	▶**郵便番号を入力**▶**住所を入力** ●郵便番号は7桁まで、住所は全角50文字まで、半角100文字まで入力できます。 ●住所には絵文字も入力できます。	●郵便番号に「〒」や「-」(ハイフン)は入力できません。

項目	操作	補足
＜位置情報＞ [FOMA端末(本体)のみ]	▶**項目を選択** **現在地確認から付加** ……現在地を測位して位置情報を登録します。位置情報を確認し、◉(確定)を押します。 **位置履歴から付加** ……位置履歴から位置情報を選択して登録します。 ●登録済みの位置情報を削除する場合は「位置情報削除」を選択します。 ●現在地の測位中にｉα(利用)を押すと測位の途中までの情報で結果を表示するかどうかの確認画面が表示されます。「OK」を選択すると位置情報が表示されます。 ●現在地の測位を中止するにはch/クリアまたは✉(中止)を押します。 ●位置情報の確認画面で✉(リトライ)を押すと「品質重視モード」で再度測位します。	－
＜誕生日＞ [FOMA端末(本体)のみ]	▶**誕生日を入力** ●誕生日は1800年1月1日から2099年12月31日まで入力できます。	－
＜メモ＞ [FOMA端末(本体)のみ]	▶**メモを入力** ●メモは全角100文字まで、半角200文字まで入力できます。 ●絵文字も入力できます。	－
＜静止画＞ [FOMA端末(本体)のみ]	▶**静止画選択**▶**フォルダを選択** ▶**静止画を選択** ●登録済みの静止画を解除する場合は、「静止画解除」を選択します。	登録した静止画は、電話帳を呼び出したときに表示されます。 ●登録できる静止画は、画像サイズがVGA(480×640)以下で最大100Kバイトまでの JPEG画像、GIF画像です。 ●72×54ドットより大きい静止画を登録した場合、電話帳詳細画面には縮小されて表示されます。 ●240×180ドットより大きい静止画を登録した場合、着信画面には縮小されて表示されます。 ●「電話帳画像着信設定」を「ON」にしていると、登録した静止画が着信時に表示されます。ただし「着信イメージ」にも画像を登録している場合、着信時には「着信イメージ」に登録している画像が優先して表示されます。

次ページにつづく

項目	操作	補足
NO <メモリ番号> [FOMA端末(本体)のみ]	▶メモリ番号を入力 ●「000」～「799」の3桁を入力します。	●「メモリ番号」には、あらかじめ「010」～「799」の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号が入力されています。 「010」～「799」がすべて登録されているときは、「000」～「009」の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号が入力されています。
<電話／テレビ電話着信音> [FOMA端末(本体)のみ]	▶着信音選択 P.129手順3へ進みます。 ●登録済みの着信音を解除する場合は、「着信音解除」を選択します。	電話帳の相手から音声電話、テレビ電話がかかってきたときの着信音を設定します。
<着信バイブレータ> [FOMA端末(本体)のみ]	▶バイブレータ選択 ▶バイブレータのパターンを選択 ●登録済みの着信バイブレータを解除する場合は、「バイブレータ解除」を選択します。	電話帳の相手から音声電話、テレビ電話がかかってきたときのバイブレータを設定します。
<着信イルミネーション> [FOMA端末(本体)のみ]	▶イルミネーション選択▶色を選択 ●登録済みの着信イルミネーションを解除する場合は、「イルミネーション解除」を選択します。	電話帳の相手から音声電話、テレビ電話がかかってきたときのイルミネーションを設定します。
<着信イメージ> [FOMA端末(本体)のみ]	▶着信イメージ選択▶画像の種類を選択 ▶フォルダを選択▶画像を選択 ●登録済みの着信イメージを解除する場合は、「着信イメージ解除」を選択します。	電話帳の相手から電話がかかってきたときに表示する画像を設定します。
<キャラ電> [FOMA端末(本体)のみ]	▶キャラ電選択▶キャラ電を選択 ●登録済みのキャラ電を解除する場合は、「キャラ電解除」を選択します。	登録したキャラ電は、電話帳の相手とのテレビ電話時に代替画像として表示されます。
<メール着信音> [FOMA端末(本体)のみ]	▶着信音選択 P.129手順3へ進みます。 ●登録済みのメール着信音を解除する場合は、「着信音解除」を選択します。	電話帳の相手からメールを受信したときの着信音を設定します。
<メールバイブレータ> [FOMA端末(本体)のみ]	▶バイブレータ選択 ▶バイブレータのパターンを選択 ●登録済みのメールバイブレータを解除する場合は、「バイブレータ解除」を選択します。	電話帳の相手からメールを受信したときのバイブレータを設定します。
<メールイルミネーション> [FOMA端末(本体)のみ]	▶イルミネーション選択▶色を選択 ●登録済みのメールイルミネーションを解除する場合は、「イルミネーション解除」を選択します。	電話帳の相手からメールを受信したときのイルミネーションを設定します。
<応答メッセージ> [FOMA端末(本体)のみ]	▶応答メッセージ選択 ▶応答メッセージを選択 ●登録済みの応答メッセージを解除する場合は、「応答メッセージ解除」を選択します。	電話帳ごとに伝言メモの応答メッセージを設定します。
<テレビ電話通信速度> [FOMA端末(本体)のみ]	▶テレビ電話通信速度選択▶64K・32K ●登録済みのテレビ電話通信速度を解除する場合は、「テレビ電話通信速度解除」を選択します。	電話帳の相手にテレビ電話をかけるときの通信速度を設定します。

3 ✉(完了)を押す

- 名前を入力していない場合、「完了」は表示されず登録できません。
- シークレットモード中にFOMA端末(本体)の電話帳に登録する場合は、電話帳をシークレット登録するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」または「NO」を選択します。
  シークレット専用モード中はシークレット登録されます。

■FOMA端末(本体)の電話帳に登録できないときは

- 入力したメモリ番号がすでに電話帳に登録されていたときには、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。
  「YES」を選択すると、入力したデータが上書き登録されます。「NO」を選択すると、元のメモリ番号のデータはそのままで、電話帳の登録／編集画面に戻ります。別のメモリ番号を入力してください。
- 「シークレットモード」「シークレット専用モード」以外の通常のモードで、シークレットデータとして登録した電話帳のメモリ番号と重複したときは登録できません。別のメモリ番号を入力してください。

■編集中の電話帳について

電池が切れたときは

電話帳の編集中に電池切れアラームが鳴ったときは、「電池充電してください」という画面(P.45参照)が表示されます。このとき、編集中の電話帳は自動的に保存されますので、充電して電話帳の編集を続けるか、充電済みの電池パックと交換したあとに、以下の方法で中断した電話帳編集の続きを行ってください。

1. 待受画面▶◎(1秒以上)▶本体･FOMAカード(UIM)
   - 編集を中断した登録先を選択すると、再編集するかどうかの確認画面が表示されます。
2. 再編集
   - 新しく他の電話帳を登録するときは「新規」を選択します。この場合、編集中のデータは消去されません。新しい電話帳の登録終了後に電話帳登録を行うと、確認画面が再度表示されます。
3. 電話帳編集の続きを行う
   - 編集中データとして登録されているのは一番新しい1件のみです。
   - 編集中データを呼び出して電話帳の編集の続きを行っているときに、登録しないで編集を中止すると編集中データは消去されます。一度呼び出したら、最後まで登録を行ってください。

電話がかかってきたり、メールを受信したときは

電話帳の編集中に電話がかかってきたり、メールを受信したときでも、マルチタスク機能が働くため編集中の電話帳のデータはそのままで応対できます。
(マルチ)を1秒以上押してメニューを切り替え、電話帳の編集画面に戻れます。また、通話やメール機能を終了しても、電話帳の編集画面に戻ります。

■お願い■

- FOMA端末の故障･修理やその他の取扱いによって、登録内容が消失してしまう場合があります。万一に備え、FOMA端末に登録した内容は、別にメモを取ったり、microSDメモリーカード(P.334参照)や電話帳お預かりサービス(P.126参照)を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink(P.417参照)やデータリンクソフト(P.468参照)とFOMA USB接続ケーブル(別売)を利用して、パソコンに保管できます。
- ドコモショップなど窓口にて機種変更時など新機種へコピーする際は、仕様によっては、FOMA端末に登録したデータをコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

万一、登録した内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

表示している電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する

表示／選択している電話番号やメールアドレス、静止画をFOMA端末(本体)やFOMAカードの電話帳に登録します。

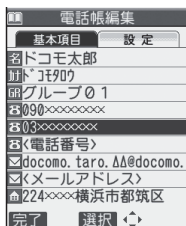
操作	登録可能な項目
電話番号を入力中	電話番号
リダイヤル表示中･発信履歴表示中･着信履歴表示中	電話番号
送信アドレス一覧表示中･受信アドレス一覧表示中	電話番号･メールアドレス
サイト表示中･画面メモ表示中	電話番号･メールアドレス
メッセージR/Fの本文表示中･メールの本文表示中	電話番号･メールアドレス
バーコードリーダーやテキストリーダーで読み取ったデータを表示中	電話番号･メールアドレス
下線のついた電話番号やメールアドレスのテロップが設定されているｉモーションの再生終了時･停止中	電話番号･メールアドレス
トルカ表示中	電話番号･メールアドレス
現在地表示中･位置履歴表示中	位置情報
現在地通知先表示中	名前･電話番号
静止画一覧表示中･静止画再生中	静止画

1 登録したい項目を表示／選択▶i(機能)▶電話帳登録

●受信メールの送信元や同報先、送信メールの宛先を電話帳に登録する場合は、｢アドレス登録｣を選択します。
送信元の他に同報先があるとき、または複数の宛先があるときは、送信元･同報先･宛先を選択する画面が表示されます。Ⓞで登録したいメールアドレスや電話番号を選択します。
●テキストリーダーの読み取り結果を電話帳に登録する場合は、｢電話番号登録｣または｢メールアドレス登録｣を選択します。
●静止画を電話帳に登録する場合は、｢電話帳ピクチャ登録｣を選択します。
●バーコードリーダーのコード読取結果画面で｢電話帳登録｣と表示されている場合、｢電話帳登録｣を選択すると読み取ったコードに付加されている電話番号やメールアドレス以外の情報も電話帳に入力されます。
●登録するかどうかの確認画面が表示される場合があります。

2 本体･FOMAカード(UIM)▶登録方法を選択

新規登録...新たに電話帳に登録します。P.109手順2へ進みます。
追加登録...すでにある電話帳に追加登録します。FOMAカードの電話帳に登録するときは｢上書き登録｣と表示されます。

3 検索方法を選択▶電話帳を検索▶登録する電話帳を選択▶Ⓞ(選択)

電話番号やメールアドレスなどが自動的に入力されます。
●電話帳の他の項目を修正する場合は、P.109手順2参照。
●FOMA端末(本体)の電話帳に登録する場合、メモリ番号を変更すると、登録前の電話帳を元の内容のまま残し、登録後の内容を別のメモリ番号で登録できます。

4 ✉(完了)▶YES

●プッシュトークのリダイヤル、発信履歴、着信履歴をFOMA端末(本体)の電話帳に登録した場合、プッシュトーク電話帳にも登録するかどうかの確認画面が表示されます。｢YES｣を選択する(複数の電話番号が登録されている場合は、電話番号を選択する)とプッシュトーク電話帳にも登録されます。
●FOMAカードの電話帳に登録する場合、上書きするときは｢上書き登録｣、上書きしないで新しい電話帳として登録するときは｢追加登録｣を選択します。

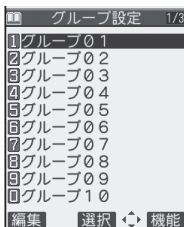
お知らせ

- リダイヤル、発信履歴の「発番号設定」の情報は、電話帳に登録されません。発信者番号通知を設定するときは、電話番号に「186／184」を付けて登録してください。
- 登録できない文字はスペースに変換されたり削除されたりして登録されることがあります。
- サイトによっては電話帳登録できない場合があります。

<グループ設定>

グループを設定する

電話帳を、「会社」や「友達」のようにおつき合いごとにグループ分けしたり、「野球」や「陶芸」のように趣味で分けたりと、お客様のアイデア次第で用途別に分けられた数冊の電話帳として活用できます。グループごとに着信音やバイブレータ、イルミネーションなどを設定できます。

1 待受画面▶◎▶電話帳設定▶グループ設定

- FOMAカードのグループには「 」が表示されます。
- 登録済みのグループ名、グループごとの設定をお買い上げ時の状態に戻すには、i(機能)を押して「グループ初期化」を選択し、「YES」を選択します。

2 グループを選んで✉(編集)▶以下の操作を行う

- i(機能)を押して「グループ編集」を選択してもグループを編集できます。
- 登録済みのグループを選択したり、i(機能)を押して「グループ設定確認」を選択すると設定を確認できます。ただし、FOMAカードのグループでは操作できません。

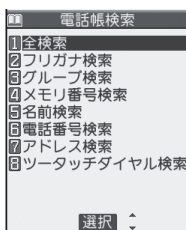
項目	操作	補足
グループ名	▶グループ名を入力 ●全角10文字まで、半角21文字まで登録できます。ただし、FOMAカードのグループ名に全角／半角が混在しているグループ名を入力した場合は、全角／半角問わず最大10文字まで登録されます。	－
<電話／テレビ電話着信音>	P.109手順2参照	グループごとに着信音やバイブレータ、キャラ電などを設定します。 ●FOMAカードのグループでは設定できません
<着信バイブレータ>		
<着信イルミネーション>		
<着信イメージ>		
<キャラ電>		
<メール着信音>		
<メールバイブレータ>		
<メールイルミネーション>		
<応答メッセージ>		
<テレビ電話通信速度>		

3 ✉(完了)を押す

＜電話帳検索＞

電話帳を利用して電話をかける

登録した電話帳は8つの検索方法で呼び出せます。

1 待受画面▶◎▶以下の操作を行う

電話帳検索画面

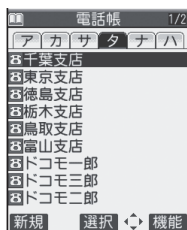
●一度検索したあとは、前回と同じ検索方法の画面が表示されます。chクリアを押すと電話帳検索画面が表示されます。

●「メニュー▶電話帳▶電話帳検索」または待受画面で◎を押して「電話帳検索」を選択しても電話帳検索画面が表示されます。一度検索したあとは、前回と同じ検索方法の画面が表示されます。

項目	操作	補足
全検索	－	すべての電話帳を表示します。 ●一覧画面の上部にはタブが表示されます。(P.117参照)
フリガナ検索	▶フリガナの一部を入力▶◎	相手のフリガナを先頭の文字から入力して検索します。すべてを入力しなくても構いません。 ●一覧画面の上部にはタブが表示されます。(P.117参照)
グループ検索	▶グループを選択 ●グループの一覧画面でiα(機能)を押すと、「グループ設定」の機能メニューが表示されます。	指定したグループに登録されている電話帳をすべて検索します。 ●一覧画面の上部にはタブが表示されます。(P.117参照)
メモリ番号検索	▶メモリ番号を入力 ●「000」～「799」の3桁を入力します。 ●待受画面で☎を押して◎を押すとメモリ番号発信画面が表示されます。メモリ番号を入力すると、そのメモリ番号に登録されている電話番号に音声電話をかけることができます。	電話帳に登録したときのメモリ番号で検索します。 ●一覧画面の上部にはタブが表示されます。(P.117参照)
名前検索	▶名前の一部を入力▶◎	相手の名前を先頭の文字から入力して検索します。すべてを入力しなくても構いません。
電話番号検索	▶電話番号の一部を入力▶◎ ●待受画面または通話中画面で電話番号の一部を入力し、◎を押しても電話帳一覧画面が表示されます。	相手の電話番号の一部を入力して検索します。電話番号の途中だけでも検索できます。
アドレス検索	▶メールアドレスの一部を入力▶◎	相手のメールアドレスの一部を入力して検索します。メールアドレスの途中だけでも検索できます。
ツータッチダイヤル検索	－	メモリ番号000～009の電話帳一覧を表示します。 ●未登録やシークレット設定中の電話帳は<－－－>で表示されます。

2 電話帳を選択▶(発信キー)または(◉)(発信)

●同じ電話帳に複数の電話番号が登録されている場合や、「アドレス検索」を行った場合は、詳細画面で(◎)を押して電話番号を選択します。
●(テレビ電話キー)を押すとテレビ電話発信、(P)を押すとプッシュトーク発信します。

■一覧画面について

電話帳一覧画面

「全検索」「フリガナ検索」「グループ検索」「メモリ番号検索」を行ったときは、一覧画面の上部にタブが表示されます。「全検索」「フリガナ検索」の場合はフリガナの行ごとに、「メモリ番号検索」の場合はメモリ番号の100番ごとに、「グループ検索」の場合はグループごとに分類されます。
(◎)を押すと左右のタブ内の電話帳が表示されます。1つのタブ内に10件以上の電話帳がある場合は、(▲)(▼)を押すと前後のページが表示されます。

●フリガナ検索を行ったときは、一覧画面でダイヤルボタンを押すと「ア」～「ワ」、「英」、「他」タブに移動できます。また、続けて同じダイヤルボタンを押すと同じ行内で移動できます。
<例> (5)を押すと「ナ」タブを表示します。続けて(5)を押すごとに「ニ」「ヌ」…の先頭にカーソルが移動します。
●グループ検索を行ったときは、一覧画面でダイヤルボタンを押すとタブ内の各行の先頭に移動できます。また、続けて同じダイヤルボタンを押すと同じ行内で移動できます。
<例> (5)を押すと「ナ」行の先頭にカーソルが移動します。続けて(5)を押すごとに「ニ」「ヌ」…の先頭にカーソルが移動します。
●メモリ番号検索を行ったときは、一覧画面でダイヤルボタンを押すと「000～」～「700～」タブに移動できます。
<例> (5)を押すと「500～」タブに移動します。
●一覧画面で(発信キー)を押すと、反転している名前に登録されている電話番号へ音声電話をかけることができます。また、(テレビ電話キー)を押すとテレビ電話発信、(P)を押すとプッシュトーク発信します。複数の電話番号が登録されているときは、電話番号の中で1番目に登録されている電話番号に発信します。

■検索順について

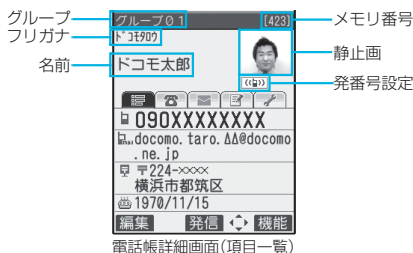
電話帳を登録するときに入力したフリガナによって次のような順で検索します。
「フリガナの頭文字がスペースのもの」→「50音(ア、イ、ウ、エ、オ、・・・ン)」→「英字(A、a、B、b、・・・Z、z)」→「数字(0～9)」→「記号」→「フリガナが登録されていないもの」
ただし、「フリガナ検索」の場合は、次のような順で検索します。
「50音(ア、イ、ウ、エ、オ、・・・ン)」→「英字(A、a、B、b、・・・Z、z)」→「フリガナの頭文字がスペースのもの」→「数字(0～9)」→「記号」→「フリガナが登録されていないもの」
※メモリ番号で検索した場合はメモリ番号順で検索します。

お知らせ

●「グループ検索」「ツータッチダイヤル検索」以外の検索方法で何も入力せずに(◎)を押すと、電話帳全検索となります。
●「フリガナ検索」「メモリ番号検索」で入力した条件に該当する電話帳がない場合は、条件に最も近い電話帳が表示されます。

■電話帳の詳細を確認するには

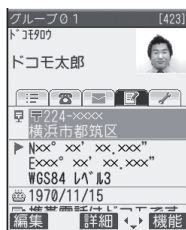
1. 詳細を確認する電話帳を表示▶

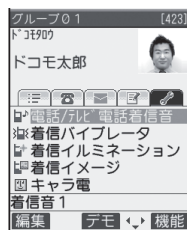
電話帳詳細画面(項目一覧)

- 1番目に登録した電話番号とメールアドレス、住所、誕生日、メモが表示されます。
- FOMAカードに登録された電話帳の場合、メモリ番号は表示されず、「」が表示されます。
- 発番号設定を「通知する」に設定している場合は「」が表示され、「通知しない」に設定している場合は「」が表示されます。

電話番号

メールアドレス

- 項目を選択すると宛先欄にメールアドレスが入力されたｉモードメールを作成します。

個人情報

- 住所またはメモを選択すると全画面表示します。(閉)またはを押すと元の画面に戻ります。
  位置情報を選択すると位置情報メニューが表示されます。(P.298参照)

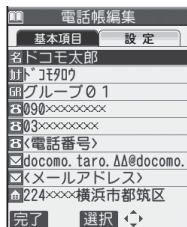
設定

- 着信音などを選択するとデモ再生します。
  (閉)またはを押すとデモ再生を終了します。

お知らせ

- マルチナンバーや着もじの設定がある電話帳の場合、項目一覧・電話番号の画面に設定内容が表示されます。

<電話帳修正>

電話帳を修正する

1 電話帳詳細画面▶(編集)

2 修正したい項目を選択▶内容を修正

- 電話帳の修正方法についてはP.109手順2参照。
- FOMA端末(本体)の電話帳を修正した場合、メモリ番号を変更すると、修正前の電話帳を元の内容のまま残し、修正後の内容を別のメモリ番号で登録できます。

3 (完了)▶YES

●FOMAカードの電話帳を修正した場合、上書きするときは「上書き登録」、上書きしないで新しい電話帳として登録するときは「追加登録」を選択します。
●シークレットモード中にFOMA端末(本体)の電話帳を編集した場合は、電話帳をシークレット登録するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」または「NO」を選択します。
シークレット専用モード中はシークレット登録されます。

<電話帳削除>

電話帳を削除する

電話帳詳細画面から削除する

1 電話帳詳細画面▶(機能)▶電話帳削除▶以下の操作を行う

項目	操作	補足
電話番号・メールアドレス・住所・位置情報・誕生日・メモ・静止画・着信音・着信バイブレータ・着信イルミネーション・着信イメージ・キャラ電・メール着信音・メールバイブレータ・メールイルミネーション・応答メッセージ・テレビ電話通信速度	▶YES ●詳細画面でを押して削除する項目を選びます。選んだ電話帳の項目によって機能メニュー項目は異なります。	各項目を削除します。
1件削除	▶YES	−

電話帳一覧画面から削除する

1 電話帳一覧画面▶(機能)▶電話帳削除▶以下の操作を行う

項目	操作	補足
1件削除	▶YES	−
選択削除	▶削除したい電話帳にチェック ▶(完了)▶YES ●(機能)を押して「タブ内全選択/全選択/タブ内全選択解除/全選択解除」を選択すると、一括でチェックを付けたり外したりできます。 ●シークレット登録された電話帳を含むすべての電話帳を選択した場合は、「全削除」と同様の操作を行います。	−
タブ内全削除	▶YES	表示しているタブ内のすべての電話帳を削除します。
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES▶YES	シークレット登録された電話帳を含むすべての電話帳を削除します。

お知らせ

●プッシュトーク電話帳に登録している電話帳を削除すると、プッシュトーク電話帳も削除されます。

<電話帳登録件数>

電話帳の登録状況を確認する

1 **待受画面▶◎▶電話帳設定▶電話帳登録件数**

本体
電話帳 . . . . FOMA端末(本体)に登録されている電話帳の件数
シークレット . . . . . . シークレットモード、シークレット専用モード中は、シークレットデータとして登録されている電話帳の件数
静止画 . . . . 静止画が登録されている電話帳の件数
キャラ電 . . . . キャラ電が登録されている電話帳の件数
プッシュトーク . . . . プッシュトーク電話帳に登録されている電話帳の件数
ボイスダイヤル . . . . ボイスダイヤルに設定されている電話帳の件数
追加残 . . . . ☎:電話番号があと何件登録できるかを表示
✉:メールアドレスがあと何件登録できるかを表示
FOMAカード(UIM)
電話帳 . . . . FOMAカードに登録されている電話帳の件数

●確認が終われば[CLR]を押します。

電話帳を使いこなす

電話帳一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作	補足
ソート	▶**順番を選択** ●「昇順」または「降順」を選択すると逆順に並べ替えます。	表示される順番を変更します。 ●一覧画面にタブが表示されているときは、ソートできません。
iモードメール添付	P.228手順2へ進みます。	電話帳をiモードメールに添付して送信します。
赤外線送信 (電話帳送信)	P.346参照	赤外線で1件送信します。
赤外線送信 (電話帳全件送信)	P.347参照	赤外線で全件送信します。
iC送信 (電話帳送信)	P.348参照	iC通信で1件送信します。
iC送信 (電話帳全件送信)	P.349参照	iC通信で全件送信します。
Bluetooth送信 (電話帳送信)	▶**電話帳送信**▶**送信したいBluetooth機器を選択**▶**YES** ●Bluetooth機器が1台も登録されていない場合は、サーチするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択するとサーチを開始します。 ●Bluetooth機器の登録や接続についてはP.395参照。	Bluetoothで1件送信します。

機能メニュー	操作	補足
Bluetooth送信 (電話帳全件送信)	▶電話帳全件送信▶送信したい Bluetooth機器を選択 ▶端末暗証番号を入力▶YES ●「Bluetooth設定」の「全件転送パスワード設定」を「パスワード有り」に設定しているときは、端末暗証番号を入力したあとに認証パスワードを入力します。 ●Bluetooth機器が1台も登録されていない場合は、サーチするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択するとサーチを開始します。 ●Bluetooth機器の登録や接続についてはP.395参照。	Bluetoothで全件送信します。
microSDへコピー	P.336参照	microSDメモリーカードへ1件コピーします。
お預かりセンターに接続	P.126参照	お預かりセンターに接続します。
電話帳削除	P.119参照	電話帳を削除します。
シークレット設定・ シークレット解除	●「シークレットモード」「シークレット専用モード」以外の通常のモードで「シークレット設定」を選択した場合、端末暗証番号を入力します。	電話帳をシークレットに設定／解除します。

お知らせ

<Bluetooth送信>

●FOMAカードの電話帳は送信できません。

●BluetoothについてはP.392参照。

電話帳詳細画面の機能メニュー

機能メニュー	操作	補足
発番号設定	P.48参照	発信者番号を通知するかしないかを設定します。
プレフィックス	P.67参照	プレフィックスを付加します。
国際ダイヤルアシスト	P.65参照	国際電話をかけます。
マルチナンバー	P.411参照	相手に通知する番号を選択します。
着もじ	P.61参照	着もじメッセージをつけて発信します。
テレビ電話通信速度	P.55参照	テレビ電話の通信速度を設定します。
電話帳指定設定	P.172参照	電話帳に指定機能を設定します。
電話帳編集	P.118手順2へ進みます。	－
電話帳削除	P.119参照	電話帳を削除します。
プッシュトーク電話帳登録	－	プッシュトーク電話帳に登録します。
デスクトップ貼付	P.149参照	デスクトップに貼り付けます。
ｉモードメール作成	P.228手順3へ進みます。	メールアドレスを宛先としたｉモードメールを作成します。
SMS作成	P.266手順3へ進みます。	電話番号を宛先としたSMSを作成します。

次ページにつづく

機能メニュー	操作	補足
ｉモードメール添付	P.228手順2へ進みます。	電話帳をｉモードメールに添付して送信します。
赤外線送信（電話帳送信）	P.346参照	赤外線で1件送信します。
赤外線送信（電話帳全件送信）	P.347参照	赤外線で全件送信します。
iC送信（電話帳送信）	P.348参照	iC通信で1件送信します。
iC送信（電話帳全件送信）	P.349参照	iC通信で全件送信します。
Bluetooth送信（電話帳送信）	P.120参照	Bluetoothで1件送信します。
Bluetooth送信（電話帳全件送信）	P.121参照	Bluetoothで全件送信します。
microSDへコピー	P.336参照	microSDメモリーカードへ1件コピーします。
お預かりセンターに接続	P.126参照	お預かりセンターに接続します。
オート表示	P.141参照	オート表示する電話番号を設定します。
名前コピー	－	名前をコピーします。コピーした文字はFOMA端末に記憶されます。
電話番号コピー・メールアドレスコピー・住所コピー・位置情報コピー・誕生日コピー・メモコピー	●詳細画面で[O]を押してコピーする項目を選びます。選んだ電話帳の項目によって機能メニュー項目は異なります。	各項目をコピーします。
シークレットコード	▶端末暗証番号を入力▶コード設定 ●詳細画面で[O]を押してシークレットコードを設定する電話番号またはメールアドレスを選びます。 ●シークレットコードを確認する場合は、「コード参照」を選択します。確認が終われば[CLR]を押します。 ●シークレットコードを解除する場合は、「設定解除」を選択します。 ▶4桁のシークレットコードを入力 ▶YES ●シークレットコードは数字4桁で入力してください。「0000」は設定できません。	シークレットコード登録をしている相手にｉモードメールを送るときには、相手のシークレットコードをメールアドレスに追加する必要があります。電話帳のメールアドレスにシークレットコードを設定しておくと、メールを送るときにそのシークレットコードが自動的に追加されます。 ●シークレットコードを設定すると機能メニューの「シークレットコード」に「★」マークが付きます。
シークレット設定・シークレット解除	P.121参照	電話帳をシークレットに設定／解除します。
FOMAカードへコピー・本体へコピー	P.390参照	FOMAカードまたはFOMA端末（本体）へコピーします。
テレビ電話画像選択	P.88参照	テレビ電話の画像を選択します。

お知らせ

<シークレットコード>
- FOMAカードの電話帳には、シークレットコードを設定できません。
- 送信先のメールアドレスが「電話番号」または「電話番号@docomo.ne.jp」のときのみシークレットコードが追加されます。他のメールアドレスにはシークレットコードは追加されません。
- メールアドレスを「電話番号＋シークレットコード@docomo.ne.jp」として電話帳に登録している場合は、その相手からのメールに返信ができなくなります。「電話番号@docomo.ne.jp」に変更してから、シークレットコードの登録を行ってください。

<ツータッチダイヤル>
少ないダイヤル操作で電話をかける

FOMA端末(本体)の電話帳のメモリ番号「000」～「009」に登録した相手には、メモリ番号の下1桁と(発信)を押すだけで電話をかけることができます。

1 ダイヤルボタン(0～9)▶(発信)または(●)(発信)

- (テレビ電話)を押すとテレビ電話発信、(P)を押すとプッシュトーク発信します。

お知らせ

- 電話帳に複数の電話番号を登録している場合は、1番目の電話番号に発信します。
- メモリ番号000～009の電話帳に「指定発信制限」を設定するときは、1番目の電話番号を設定してください。
- メモリ番号000～009の電話帳をシークレット登録したときは、シークレットモードまたはシークレット専用モードで発信してください。

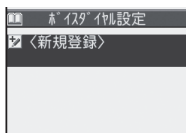
<ボイスダイヤル>
音声で電話帳を呼び出す

相手の名前を話すだけで、電話帳を呼び出して電話をかけます。

ボイスダイヤル設定
メニュー 2 6

すでに登録してあるFOMA端末(本体)の電話帳から100件まで登録できます。

1 待受画面▶(○)▶電話帳設定▶ボイスダイヤル設定▶<新規登録>

ﾎﾞｲｽﾀﾞｲﾔﾙ設定
〈新規登録〉

- (iα)(機能)を押して「新規登録」を選択してもボイスダイヤルを登録できます。
- (✉)(編集)を押すか、(iα)(機能)を押して「編集」を選択すると登録済みのボイスダイヤル名を編集できます。手順3へ進みます。
- 登録済みのボイスダイヤルを削除するには、(iα)(機能)を押して「1件削除」または「全削除」を選択し、「YES」を選択します。

2 電話帳を検索▶電話帳を選択

前回利用した検索方法の画面が表示されます。
- ボイスダイヤル一覧に登録されている電話帳には「★」マークが付きます。

3 ボイスダイヤル名を入力

- 半角のカタカナを使って22文字まで入力できます。
- 電話帳のフリガナがボイスダイヤル名として表示されます。認識しやすい言葉に修正してください。
- 登録済みのボイスダイヤルを編集した場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択します。

次ページにつづく

お知らせ

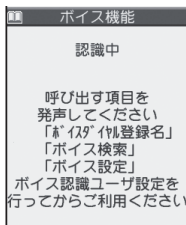
- 本機能で設定したボイスダイヤル名はボイスダイヤル呼出にのみ有効です。音声読み上げ時は電話帳に登録されているフリガナ（名前）が読み上げられます。
- 似ているボイスダイヤル名が多く登録されているときやボイスダイヤル名が短いと、認識率が低下し間違ったボイスダイヤル（電話帳）を呼び出すことがあります。この場合、別のボイスダイヤル名で登録をやり直してください。
- ボイスダイヤル名として「ボイスケンサク」と「ボイスセッテイ」は登録できません。

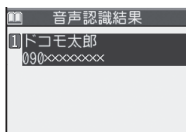
ボイスダイヤル呼出で電話をかける

ボイスダイヤル一覧に設定した電話帳を音声で呼び出します。「音声読み上げ設定」を「ON」に設定して「ボイスダイヤル」にチェックを付けておくと、操作を音声ガイダンスで案内します。

1 待受画面▶（1秒以上）

- FOMA端末を開いた状態で平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）のスイッチを1秒以上押すか、Bluetoothヘッドセット　F01（別売）のスイッチを押してもボイスダイヤルを呼び出せます。あらかじめ「ボイスイヤホン発信」を「ON」に設定しておいてください。

2 音声認識開始音が鳴ったらボイスダイヤル名を話す

音声認識開始音が鳴ってから4秒以内に話し始めてください。

- 音声認識開始音の音量は変更できません。また、マナーモード中は音声認識開始音は鳴りません。
- 「ボイス検索」と話すと、使いかたナビが起動します。P.37手順2へ進みます。
- 「ボイス設定」と話すと、ボイス設定の画面が表示されます。（P.125参照）

ボイスダイヤルが音声認識されると、認識結果が表示されます。

- 「ボイスダイヤル自動発信」が「ON」に設定されている場合、ボイスダイヤル自動発信の画面が表示されます。2秒後に自動的に発信します。

3 認識結果を選んでまたは（発信）を押す

選択されている電話帳の1番目の電話番号に発信します。

- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）、Bluetoothヘッドセット　F01（別売）のスイッチを押しても電話をかけることができます。
- （詳細）を押すと電話帳詳細画面が表示されます。電話番号を選んでまたは（発信）を押すと音声電話をかけることができます。また、を押すとテレビ電話発信、を押すとプッシュトーク発信します。

■音声入力について
ボイスダイヤル名をお話しになるときには次の点にご注意ください。
●発声するときの送話口と口の距離は、10cm程度にしてください。送話口から離れた状態ではうまく音声が認識できない場合があります。
●なるべくはっきりと発声してください。
●発声の前後に、咳払い、「エー」、舌打ち音、息の音、その他雑音など、ボイスダイヤル名の発声とは無関係の音を出さないでください。
●周囲の雑音の少ない、なるべく静かな場所で発声してください。
●発声するときに送話口の穴を指でふさがないでください。また、ボタンを押したり、こすったりしないでください。
●「ボイス認識ユーザ設定」を変更すると認識率が上がることがあります。

ボイス設定

1   ▶**その他**▶**ボイス設定**▶**以下の操作を行う**

項目	操作	補足
ボイスダイヤル自動発信 お買い上げ時 OFF	▶ON・OFF	ボイスダイヤルで呼び出すと電話番号に自動的に電話をかけます。
ボイスイヤホン発信 お買い上げ時 OFF	▶ON・OFF	平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)やBluetoothヘッドセット　F01(別売)を使ってボイスダイヤル呼出を行います。
ボイス認識ユーザ設定 お買い上げ時 男性向け	▶男性向け・女性向け	発声者の性別を登録し、認識率を上げることができます。自分の性別に合わせて設定します。 ●ここでの設定は、使いかたナビの音声入力時にも有効です。
音声読み上げ設定	P.374参照	音声読み上げを行うように設定します。
音声読み上げ音量	P.374参照	音声読み上げ時の音量を調節します。
音声読み上げ出力先	P.374参照	音声読み上げ時に受話口から音が鳴るように設定します。
音声読み上げ有効設定	P.374参照	平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)を接続しているときのみ音声読み上げを行うように設定します。

<電話帳お預かりサービス>

電話帳をお預かりセンターに保存(復元・更新)する

FOMA端末内に保存されている電話帳をお預かりセンターに保存します。保存した電話帳はお預かりセンターに接続することによって、FOMA端末に復元・更新できます。
なお、電話帳お預かりサービスはお申し込みが必要な有料サービスです。

- 圏外のときは電話帳お預かりサービスを利用できません。
- 電話帳お預かりサービスのご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細などについては、「ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)」をご覧ください。

1 **メニュー▶LifeKit▶電話帳お預かりサービス▶お預かりセンターに接続▶端末暗証番号を入力▶YES**

- 電話帳一覧画面、電話帳詳細画面ではiα(機能)を押して「お預かりセンターに接続」を選択します。

お知らせ

- FOMAカードの電話帳は保存できません。
- お預かりセンターに登録されている電話帳が、FOMA端末の電話帳に登録できる件数を超えた場合、超えている部分の電話帳データは更新されません。
- 電話帳お預かりサービスを契約されていない場合は、その旨をお知らせする画面が表示されます。

自動更新

お預かりセンターのサイトで、FOMA端末の電話帳を定期的にお預かりセンターへ更新、保存するように設定できます。

- 詳しくは「ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)」をご覧ください。

お知らせ

- 電話帳の自動更新時に他の機能を起動していた場合、自動更新はされません。
- 電話帳の更新ができなかった場合、待受画面に「更新」(電話帳更新通知あり)の「お知らせアイコン」が表示されます。「更新」を選択すると、自動更新を設定しているときは更新画面が表示され、自動更新を設定していないときは端末暗証番号入力後に更新画面が表示されます。

電話帳通信履歴表示

お預かりセンターに電話帳やメール、静止画の保存などを行った通信記録を表示します。

1 **メニュー▶LifeKit▶電話帳お預かりサービス▶電話帳通信履歴表示▶履歴を選択**

- 最大30件まで保存します。30件を超えた場合は、古い履歴から順に上書きされます。
- 一覧画面において通信完了時刻を選択すると詳細画面に変わります。

電話帳内画像送信設定

お買い上げ時	しない

電話帳に設定している画像をお預かりセンターに送信するかどうかを設定します。

1 **メニュー▶LifeKit▶電話帳お預かりサービス▶電話帳内画像送信設定▶する・しない**

お知らせ

- FOMA端末外への出力が禁止されている画像は保存できません。

音／画面／照明設定

<着信音選択>

FOMA端末の着信音を変更する

お買い上げ時	電話：着信音1　プッシュトーク：着信音1　テレビ電話：着信音1　メール：着信音2 チャットメール：着信音2　メッセージR：着信音3　メッセージF：着信音3

着信音を着信の種類ごとに設定します。
ｉモーションを選択すると、着信時にｉモーションが再生され、音声が流れます。（着モーション）

●着信音は、PCM音源　115和音　ADPCM対応です。
●着信音を電話帳ごとに設定するには「電話帳登録」、グループごとに設定するには「グループ設定」参照。

■着信音一覧（プリインストール）

表　示	曲　名	作詞者名・作曲者名
着信音1	―	―
着信音2	―	―
着信音3	―	―
DON'T STOP ME NOW※1	DON'T STOP ME NOW	作詞・作曲：MERCURY FREDERICK
JUPITER※1	JUPITER	作曲：HOLST GUSTAV
魔法使いの弟子※1	魔法使いの弟子	作曲：DUKAS PAUL ABRAHAM
ツァラトゥストラはかく語りき※1	ツァラトゥストラはかく語りき	作曲：STRAUSS RICHARD
RHAPSODY IN BLUE※1	RHAPSODY IN BLUE	作曲：GERSHWIN GEORGE
THE ENTERTAINER	THE ENTERTAINER	作曲：JOPLIN SCOTT
おぼろ月夜	おぼろ月夜	作曲：岡野 貞一
ペールギュント「朝」※1	ペールギュント「朝」	作曲：GRIEG EDVARD HAGERUP
3D 宇宙飛行※1	―	―
3D スパイ※1	―	―
3D メリーゴーランド※1	―	―
3D 水の音※1	―	―
SMART BEEP	―	―
ウォータードロップ	―	―
メール（ヒットサウンド）	―	―
メール（ウクレレ）	―	―
Tropical Island※2	―	―

※1　3Dサウンド対応。3DサウンドについてはP.130参照。
※2　ｉモーション
（注）曲名・作詞者名・作曲者名のローマ字は大文字で表記しています。
作詞者名・作曲者名はJASRACホームページに準拠して表示しています。
曲名が長い場合、画面サイズの関係で曲名をすべて表示できないことがあります。

JASRAC 許諾番号：T-0690052

1 メニュー▶ 設定 ▶着信▶着信音選択▶項目を選択

電話 . . . . 音声電話の着信音を設定します。
プッシュトーク . . . . プッシュトークの着信音を設定します。
テレビ電話 . . . . テレビ電話の着信音を設定します。
メール . . . . ｉモードメール、SMSの着信音を設定します。
チャットメール . . . . チャットメールの着信音を設定します。
メッセージR . . . . . . メッセージRの着信音を設定します。
メッセージF . . . . . . メッセージFの着信音を設定します。

●項目を選択して✉(デモ)を押すと、実際に再生／表示される内容を確認できます。

2 着信音

3 着信音の種類を選択

メロディ . . . . . . メロディを着信音に設定します。
ミュージック . . . 着うたフル®を1曲そのまま着信音に設定します。
ｉモーション . . . ｉモーションを着信音に設定します。
おしゃべり . . . . . 「おしゃべり1」または「おしゃべり2」を着信音に設定します。
「おしゃべり1」または「おしゃべり2」を選択すると設定が終了します。
OFF . . . . 着信音をOFFにします。設定が終了します。

4 フォルダを選択▶着信音を選択

お知らせ

- 「電話」「テレビ電話」を選択し、「着信画面」を選択すると、着信画面を設定できます。P.138手順2へ進みます。
- 「メール」「チャットメール」「メッセージR」「メッセージF」を選択し、「メール着信画面」を選択すると、メール着信画面を設定できます。P.137「待受画面を設定する」手順2へ進みます。
- 着信音の優先順位は、「音声読み上げ設定」→「電話帳の設定」→「グループ設定」→「着信音選択」の順になります。付加番号に着信した場合は、「マルチナンバー」の「着信音設定」で設定した着信音が鳴ります。
- 本機能の設定と「画面表示設定」の組み合わせによっては、着信時にお買い上げ時の着信音や画像が再生／表示されることがあります。
- 着信音設定「可」のｉモーションのみ着信音に設定できます。着信音設定「可」「不可」を確認するにはP.324「ｉモーション情報」参照。
- 映像と音を含んだｉモーションをメール着信音に設定した場合、ch/クリアなどを押すと着信音を停止できます。
- 映像と音を含んだｉモーションを着信音（着モーション）に設定した場合、着信時には「画面表示設定」よりも優先して着モーションが再生されます。ただし、音声のみのｉモーションを設定した場合は、「画面表示設定」で設定した画像が表示されます。
- 映像と音を含んだｉモーションを着信画面に設定した場合、着信時には本機能よりも優先してｉモーションが再生されます。ただし、映像のみのｉモーションを設定した場合は、本機能で設定した着信音が鳴ります。
- 映像のあるｉモーションはプッシュトークの着信音に設定できません。
- 着うたフル®の一部分をｉモーションとして切り出して、着信音に設定することもできます。（P.363参照）
- 異なる種類のｉモードメール･SMS、チャットメール、メッセージR/Fを同時に受信した場合の着信音の優先順位は、「チャットメール」→「ｉモードメール･SMS」→「メッセージR」→「メッセージF」の順になります。同じ種類のメールを同時に受信した場合は、最後に受信したメールに対応した着信音が鳴ります。
- ダウンロードしたメロディやメールに添付されているメロディ、メールへの添付･FOMA端末外への出力が禁止されているメロディには、あらかじめ再生部分が指定されていることがあります。再生部分が指定されたメロディを着信音などに設定したときは指定された箇所のみが再生されます。

＜サウンド効果＞

着信音やメロディなどの音響効果を設定する

お買い上げ時	ｉモーションステレオ拡張：OFF　ステレオ･3Dサウンド設定：ON

メロディ再生音、着信音、効果音、ｉモーション再生音に音響効果を加えるかどうかを設定します。

1 メニュー▶設定▶着信▶サウンド効果▶項目を選択

ｉモーションステレオ拡張. . . 自然な立体感のある音を再生します。ｉモーション再生音に有効です。
ステレオ･3Dサウンド設定. . . 3Dサウンドを3次元の立体音響でステレオスピーカから再生します。ｉアプリの効果音や着信音などに有効です。

2 ON･OFF

■3Dサウンド

3Dサウンド機能とは、ステレオスピーカ（またはステレオイヤホンセット）を使用して、立体的に広がりのある音や空間的に移動する音を作り出す機能です。3Dサウンド対応のｉアプリによるゲームや着信音、ｉモーションを臨場感あふれるサウンドでお楽しみいただけます。
迫力ある3Dサウンドをお楽しみいただくためには、FOMA端末を約40cm離し、正面に持って聴いた場合に最も効果が現れます。
正面から左右にずらした位置で聴く場合や、正面でも近すぎたり遠すぎたりした場合には効果が薄れてしまいますのでご注意ください。

お知らせ

●個人差により、立体感が異なる場合があります。違和感を感じる場合は、「ｉモーションステレオ拡張」、「ステレオ･3Dサウンド設定」を「OFF」に設定してください。

＜バイブレータ＞

メニュー 5 4

着信を振動で知らせる

お買い上げ時	OFF

電話がかかってきたときやメールを受信したときに振動でお知らせします。

1 メニュー▶設定▶着信▶バイブレータ▶着信の種類を選択 ▶バイブレータのパターンを選択

パターン1 . . . . . 約0.5秒間振動ON→約0.5秒間振動OFFの繰り返しで振動します。
パターン2 . . . . . 約1秒間振動ON→約1秒間振動OFFの繰り返しで振動します。
パターン3 . . . . . 約3秒間振動ON→約1秒間振動OFFの繰り返しで振動します。
メロディ連動 . . . 着信音に合わせて振動します。
OFF . . . . 振動しません。

●選択中は、確認のため選択しているパターンで振動します。
ただし、「メロディ連動」を選択した場合は、振動しません。
●バイブレータ設定中は以下のアイコンが表示されます。
：音声電話、プッシュトークまたはテレビ電話の着信時に振動
：メール、チャットメール、メッセージR/Fのいずれかの受信時に振動
：音声電話、プッシュトーク、テレビ電話･メール、チャットメール、メッセージR/Fの受信時に振動

お知らせ

- バイブレータの優先順位は、「電話帳の設定」→「グループ設定」→「バイブレータ」の順になります。
- バイブレータの振動は、着信音量のレベルに関わらず、一定の強さとなります。
- 「メロディ連動」に設定しても、振動パターンが登録されていないメロディやｉモーションを着信音に設定した場合は「パターン2」で振動します。
- バイブレータに設定して机などの上に置くと、電話がかかってきたとき振動で落下する恐れがありますのでご注意ください。

＜おしゃべり機能＞

録音した音を着信音などに使用する

FOMA端末で録音した音を各種着信音、応答／通話中保留音、「アラーム」「スケジュール」「ToDo」のアラーム音、伝言メモの応答メッセージに設定できます。
1件につき約15秒間、2件まで録音できます。

1 メニュー▶LifeKit▶**伝言メモ／音声メモ**▶**おしゃべり機能**▶**おしゃべり1・おしゃべり2**▶**以下の操作を行う**

項目	操作	補足
録音	●録音を途中でやめるときは◉(停止)、☎または CLR を押します。それまでの録音内容は保存されます。	●録音時間(約15秒間)が終わる約5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終わると「ピピッ」という音が鳴り、元の画面に戻ります。 ●録音中に電話がかかってきたときや「アラーム」「スケジュール」「ToDo」のアラームが鳴ったとき、マルチタスクで画面を切り替えたときには、録音を停止します。(それまでの録音内容は保存されます。)
再生	●再生を途中でやめるときは◉(停止)、☎または CLR を押します。	●何も録音されていないときは「再生」は表示されません。
消去	▶YES	●何も録音されていないときは「消去」は表示されません。

<ボタン確認音>

ボタンを押したときの音を設定する

お買い上げ時	ON

1 メニュー▶ ▶**その他**▶**ボタン確認音**▶**ON・OFF**

お知らせ

- ボタン確認音の音量は変更できません。
- 本機能を「OFF」に設定したときは、電池残量確認音（P.44参照）や各種警告音も鳴りません。
- [▲]を押したときや、着信中、動画／ｉモーション再生中などは、ボタン確認音は鳴りません。
- FOMA端末を閉じた状態で[▼]を押した場合は、P.147「確認機能設定」に従って動作します。

<充電確認音>

充電開始／終了時の音を設定する

お買い上げ時	ON

充電開始、終了時に「ピピッ」と確認音を鳴らします。

1 メニュー▶設定▶**その他**▶**充電確認音**▶**ON・OFF**

お知らせ

- 充電確認音の音量は変更できません。
- 待受画面以外を表示中やマナーモード中、公共モード（ドライブモード）中は、充電確認音は鳴りません。

<通話品質アラーム> メニュー 7 5

通話が途切れそうなときにアラームで知らせる

お買い上げ時	アラーム高音

電波の状態が悪く、途中で通話が切れそうなとき、直前にアラームを鳴らしてお知らせします。

1 メニュー▶ ▶**通話**▶**通話品質アラーム**▶**アラームを選択**

アラームなし．．．お知らせしません。
アラーム高音．．．高音のアラームを鳴らしてお知らせします。
アラーム低音．．．低音のアラームを鳴らしてお知らせします。

お知らせ

- 急に電波の状態が悪くなったときは、アラームが鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。
- テレビ電話中は、通話品質アラームは受話口からのみ鳴ります。

<メール/メッセージ鳴動>

メールやメッセージR/Fの着信音が鳴る時間を設定する

お買い上げ時	メール/メッセージ鳴動:ON　鳴動時間:5秒

iモードメール、SMS、チャットメール、メッセージR/Fを受信したときの着信音が鳴る時間を設定します。

1 **メニュー▶設定▶着信▶メール/メッセージ鳴動▶メールやメッセージの種類を選択▶ON・OFF**

●「OFF」を選択した場合は、待受画面に「S」が表示されます。設定が終了します。

2 **鳴動時間(秒)を入力**

●「01」~「30」の2桁を入力します。

<イヤホン切替>　メニュー 5 1

イヤホンからのみ着信音を鳴らす

お買い上げ時	イヤホン+スピーカ

平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)を接続したとき、着信音の鳴る場所を設定します。
着信音だけでなく、アラーム、メロディプレーヤーの再生音なども設定した場所から鳴ります。

1 **メニュー▶設定▶外部オプション▶イヤホン切替▶イヤホン+スピーカ・イヤホン**

お知らせ

●「イヤホン」のみの設定でも、着信中は着信音が鳴って約20秒後にイヤホンとスピーカの両方から鳴ります。ただし、以下の場合は、約20秒たってもスピーカから音は鳴らずにイヤホンのみから音が鳴ります。
・電話やメールなどの着信時やアラーム通知時以外の操作で着信音を鳴らしている場合
・iモードメール・SMS、チャットメール、メッセージR/Fの着信音にiモーションを設定している場合
●「イヤホン」のみの設定でも、平型スイッチ付イヤホンマイクを接続していないときや、静止画・動画の撮影開始時は、スピーカから音が鳴ります。
●SDオーディオ再生中は、本機能の設定に関わらず、平型スイッチ付イヤホンマイクを接続しているときはイヤホンから、接続していないときはスピーカから音が鳴ります。
●平型スイッチ付イヤホンマイクのコードをFOMA端末に巻き付けないでください。
●通話中に平型スイッチ付イヤホンマイクのコードをFOMA端末に近づけると、雑音が入ることがあります。

<マナーモード>

電話から鳴る音を消す

お買い上げ時	解除

FOMA端末の音を周囲に出したくないときに、ボタン1つの操作で着信音やボタン確認音などスピーカから出る音を鳴らさないようにできます。
マナーモード設定中の動作は「マナーモード選択」で「マナーモード」、「スーパーサイレント」、「オリジナルマナー」の3種類から選べます。
「マナーモード」、「スーパーサイレント」設定中、または「オリジナルマナー」で「通話中マイク感度」を「アップ」に設定中は、通話中に小さな声で話しても相手に聞こえる声が大きくなります。

1 待受中・通話中▶#(1秒以上)

「マナーモード選択」で選択したマナーモードに設定されます。
●FOMA端末を閉じているときは、▼を1秒以上押してもマナーモードに設定されます。

お知らせ

●マナーモード設定中でも、静止画・動画の撮影開始音は鳴ります。
●マナーモード設定中にメロディを再生しようとすると、再生するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると「着信音量」の「電話」で設定した音量でメロディが鳴ります。「消去」、「ステップ」に設定したときはレベル2で鳴ります。
●マナーモード設定中に音声付きのｉモーションを再生しようとすると、音声を再生するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると音声も再生されます。お買い上げ時の音量はレベル4で、レベル0～6まで設定でき、次回も設定した音量で再生されます。
●マナーモード設定中にSDオーディオで音楽を再生しようとすると、再生するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると音楽が再生されます。お買い上げ時の音量はレベル12で、レベル0～25まで設定でき、次回も設定した音量で再生されます。
●マナーモード設定中に着うたフル®を再生しようとすると、再生するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると着うたフル®が再生されます。お買い上げ時の音量はレベル12で、レベル0～25まで設定でき、次回も設定した音量で再生されます。
●平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)を接続しているときや、Bluetooth機器で再生するときは、マナーモード設定中に音声や音楽を再生する際の確認画面が表示されない場合があります。また、SDオーディオや着うたフル®の再生中に平型スイッチ付イヤホンマイクを外しても、スピーカから音は鳴りません。ただし、再生中に音量を調節すると、スピーカから音が鳴ります。

■マナーモード設定中の表示
マナーモードに設定中は「 」が表示されます。また、「マナーモード選択」で設定した内容が表示されます。
：「バイブレータ」でお知らせ
・・：「着信音量」を「消去」に設定

■マナーモードを解除するには
#を1秒以上押します。通話中、呼び出し中は「ピピッ」という音が鳴り、解除した旨のメッセージが表示されます。
●FOMA端末を閉じているときは、▼を1秒以上押してもマナーモードが解除されます。

■着信中にマナーモードにするには
#または▼を押します。
マナーモードになり、同時に「伝言メモ」へ移り、相手の用件が録音・録画されます。
「伝言メモ設定」が「ON」に設定されていなくても伝言メモへ移ります。
電話に出るときは()を押してください。
●すでに音声電話が5件、テレビ電話が2件、録音・録画されている場合や、プッシュトーク着信の場合は、伝言メモは動作しません。「マナーモード選択」で設定したマナーモードの着信動作になります。
●通話が終わってもマナーモードに設定されたままです。

■通話中、呼び出し中にマナーモードにすると
通話中、呼び出し中にマナーモードに設定したときは設定した旨のメッセージが表示されます。

＜マナーモード選択＞

マナーモードを選択する

お買い上げ時	マナーモード

マナーモード設定中の動作を3種類から選択します。

■マナーモード設定中の動作

<table>
<tr><th></th><th>マナーモード</th><th>スーパーサイレント</th><th>オリジナルマナー</th></tr>
<tr><td>伝言メモ</td><td colspan="2">伝言メモ設定値</td><td>ONまたはOFF</td></tr>
<tr><td>バイブレータ※1</td><td colspan="2">ON</td><td>ONまたはOFF</td></tr>
<tr><td>電話着信音量</td><td colspan="2">消去</td><td>消去～レベル6･ステップ ①</td></tr>
<tr><td>メール着信音量</td><td colspan="2">消去</td><td>消去～レベル6･ステップ ②</td></tr>
<tr><td>アラーム音量※2</td><td colspan="2">消去</td><td>消去～レベル6･ステップ</td></tr>
<tr><td>メモ確認音</td><td>ON</td><td>OFF</td><td>ONまたはOFF ③</td></tr>
<tr><td>ボタン確認音</td><td colspan="2">OFF</td><td>ONまたはOFF ④</td></tr>
<tr><td>通話中マイク感度</td><td colspan="2">アップ</td><td>標準またはアップ</td></tr>
<tr><td>低電圧アラーム（電池切れアラーム）</td><td colspan="2">OFF</td><td>ONまたはOFF
ONのときは①と同じ設定値で動作※3</td></tr>
<tr><td>着信音選択中の確認音</td><td colspan="2">消去</td><td>①･②と同じ設定値で動作</td></tr>
<tr><td>応答保留音</td><td colspan="2">消去</td><td>①と同じ設定値で動作※4</td></tr>
<tr><td>通話中保留音</td><td colspan="2">消去</td><td>①と同じ設定値で動作※5</td></tr>
<tr><td>トルカ取得音･取得失敗音</td><td colspan="2">消去</td><td>①と同じ設定値で動作</td></tr>
<tr><td>おしゃべり録音時の確認音</td><td>ON</td><td>OFF</td><td>③と同じ設定値で動作</td></tr>
<tr><td>電池残量確認音</td><td colspan="2">消去</td><td>消去</td></tr>
<tr><td>音声認識開始音</td><td colspan="2">消去</td><td>消去</td></tr>
<tr><td>不在着信･新着メールの確認音（電子音）</td><td colspan="2">消去</td><td>①と同じ設定値で動作※6</td></tr>
<tr><td>不在着信･新着メールの確認音（ボイス）</td><td colspan="2">消去</td><td>①と同じ設定値で動作※4</td></tr>
<tr><td>各種警告音</td><td colspan="2">消去</td><td>④と同じ設定値で動作</td></tr>
<tr><td>スケジュールアラーム</td><td colspan="2">消去</td><td>①と同じ設定値で動作</td></tr>
<tr><td>静止画･動画の撮影開始音</td><td colspan="2">レベル4</td><td>レベル4</td></tr>
<tr><td>シャッター音選択中の確認音</td><td colspan="2">OFF</td><td>③と同じ設定値で動作</td></tr>
<tr><td>「テレビ電話ハンズフリー設定」によるハンズフリー切替</td><td colspan="2">OFF</td><td>OFF</td></tr>
<tr><td>音声読み上げ音量</td><td colspan="2">消去</td><td>P.374「音声読み上げ音量」
と同じ設定値で動作</td></tr>
</table>

※1 以下の音を振動でお知らせします。
　着信音･「アラーム」「スケジュール」「ToDo」のアラーム
　　バイブレータのパターンはP.130での設定と同じになります。ただし、P.130の設定を「OFF」にした場合は、「パターン2」で振動します。
　不在着信、新着メール確認音
　　･不在着信または新着メールがあるときは約1秒間振動します。
　　･不在着信も新着メールもないときは約0.2秒間振動します。

※2 P.377「マナーモード優先」を「アラーム優先する」に設定しているときは、アラームで設定した音量で音が鳴ります。

※3 ①が「消去」のときはレベル1で鳴ります。

※4 ①が「ステップ」のときはレベル2で鳴ります。

※5 ①が「消去」以外のときはレベル1で鳴ります。

※6 ①が「消去」以外のときはレベル6で鳴ります。

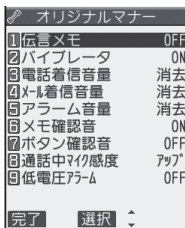
マナーモード・スーパーサイレント

電話やメールの着信をバイブレータでお知らせする標準的な「マナーモード」、受話口から鳴る確認音なども消去する「スーパーサイレント」に設定します。

1 メニュー▶設定▶**着信▶マナーモード選択▶マナーモード・スーパーサイレント**

オリジナルマナー

「オリジナルマナー」を選択するとマナーモード設定中の動作をお好みで設定できます。

1 メニュー▶設定▶**着信▶マナーモード選択▶オリジナルマナー▶以下の操作を行う**

項目	操作	補足
伝言メモ お買い上げ時 OFF	▶ON・OFF	●「ON」を選択した場合は、P.80の「伝言メモ設定」を「OFF」に設定していると、呼出時間は約13秒になり変更できません。 ●伝言メモ設定についてはP.80参照。
バイブレータ お買い上げ時 ON	▶ON・OFF	電話がかかってきたときやメールを受信したときに振動でお知らせします。 ●バイブレータについてはP.130参照。
電話着信音量 お買い上げ時 消去	▶Ⓞで音量を調節	音声電話、テレビ電話、プッシュトークの着信音量を調節します。 ●着信音量についてはP.75参照。
メール着信音量 お買い上げ時 消去	▶Ⓞで音量を調節	ｉモードメール、SMS、メッセージR/Fを受信したときの着信音量を調節します。 ●着信音量についてはP.75参照。
アラーム音量 お買い上げ時 消去	▶Ⓞで音量を調節	●アラームについてはP.376参照。
メモ確認音 お買い上げ時 ON	▶ON・OFF	伝言メモの再生時、音声メモの録音・再生時、動画メモの録画時の確認音を鳴らします。
ボタン確認音 お買い上げ時 OFF	▶ON・OFF	●ボタン確認音についてはP.132参照。
通話中マイク感度 お買い上げ時 アップ	▶標準・アップ	―

項目	操作	補足
低電圧アラーム お買い上げ時 OFF	▶ON・OFF	低電圧アラーム(電池切れアラーム)を鳴らします。 ●低電圧アラーム(電池切れアラーム)についてはP.45参照。

2 (完了)を押す

<＜画面表示設定＞

画面の表示を変更する

メニュー 5 6

待受画面を設定する

お買い上げ時	本体色「ブラウン×シルバー」:デジタルワールド 本体色「ホワイト×パールストライプ」:ダイアモンド 本体色「オレンジ×オレンジ」:レモン

待受画面に表示する画像を設定します。FOMA端末で撮影したｉモーションやサイトから取得したｉモーションなども待受画面に設定できます。

1 メニュー▶設定▶ディスプレイ▶画面表示設定▶待受画面▶画像の種類を選択

●「OFF」を選択した場合は、設定が終了します。
●「カレンダー」を選択した場合は、「背景画像あり」または「背景画像なし」を選択します。「背景画像なし」を選択すると設定が終了します。
●「ｉアプリ待受画面」を選択した場合は、ｉアプリを選択します。設定が終了します。
ただし、「ｉチャネルテロップ設定」の「テロップ表示設定」を「ON」に設定しているときは、ｉアプリ待受画面を設定できません。
●ｉアプリを選択したあとに変更するかどうかの確認画面や通信を許可するかどうかの確認画面が表示される場合があります。

2 フォルダを選択▶画像を選択

●待受画面に表示されるとき、画面より大きいサイズの画像は縦横の比率を変えずに縮小され、全体表示されます。画面より小さいサイズの画像は等倍表示されます。
●お買い上げ時に登録されている待受画面についてはP.448参照。

■カレンダーを設定したときは

11/15(水) 10:00
2006 日 月 火 水 木 金 土
11 NOVEMBER
1 2 3 4
5 6 7 8 9 10 11
12 13 14 15 16 17 18
19 20 21 22 23 24 25
26 27 28 29 30

待受画面に当月のカレンダーが表示されます。簡単な操作で前後のカレンダーを確認したり、スケジュールの設定(P.379参照)ができるようになります。
●待受画面でを押したあとにを押すと前後の月のカレンダーが表示されます。
待受画面に貼り付けアイコンがあるときは、を押すと前回使った貼り付けアイコンまたはカレンダーが選ばれます。
カレンダーを選んで(選択)を押してからで前後の月のカレンダーを表示します。
もう一度(選択)を押すと表示している月の「スケジュール」が設定できます。

■チャーミーフェイスⅡ、自作アニメ、アニメーションGIFを設定したときは
●FOMA端末を開いたとき、待受画面でを押したときにアニメーションで表示され、最初の1コマ目が待受画面として表示されます。

次ページにつづく

■Flash画像を設定したときは
FOMA端末を開いたとき、待受画面で[☎]を押したときに再生され、最初に操作したときなど、画像が静止したときの画面が待受画面として表示されます。

■ｉモーションを設定したときは
FOMA端末を開いたとき、待受画面で[☎]を押したときに再生され、最初の1コマ目が待受画面として表示されます。

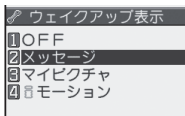
- 再生中に[○]または[▲][▼]を押すと、音量を調節できます。
  [●]、[✉]、[iα]、[📷]、[○]、[chクリア]、[☎]、[ロ]、[P]、[☎]を押すと、再生を終了します。
- マナーモード中に再生すると音声は再生されません。

お知らせ
- 待受画面に設定したｉモーションからWeb To 機能、Mail To 機能、Phone To／AV Phone To 機能は利用できません。
- ｉモーションによっては、正しく表示されない場合があります。
- 画像やｉモーションによっては待受画面に設定できない場合があります。
- Flash画像の音声は再生されません。

ウェイクアップ画面を設定する

お買い上げ時	Hello!

電源を入れたときに表示する画像やメッセージを設定します。

1 [メニュー]▶[設定]▶ディスプレイ▶画面表示設定▶ウェイクアップ表示▶画像の種類を選択

- 「メッセージ」を選択した場合は、メッセージを入力します。全角50文字まで、半角100文字まで入力できます。
- 「マイピクチャ」、「ｉモーション」を選択した場合は、P.137「待受画面を設定する」手順2へ進みます。
- お買い上げ時に登録されているウェイクアップ画面についてはP.448参照。

お知らせ
- 画像やｉモーションによってはウェイクアップ画面に設定できない場合があります。
- Flash画像の音声は再生されません。
- お買い上げ時に登録されているチャーミーフェイスⅡ画像や「ピクチャ編集」の「チャーミーフェイスⅡ」で編集した画像を設定してもアニメーション表示はされず、最初の1コマ目が表示されます。

電話発着信時などの画面を設定する

お買い上げ時	スタンダード

発着信、メール送受信、問い合わせ中に表示する画像を設定します。

1 [メニュー]▶[設定]▶ディスプレイ▶画面表示設定▶画面の種類を選択

- 「電話着信」「テレビ電話着信」を選択した場合は、「着信画面」を選択します。
- 「メール受信」を選択した場合は、「メール着信画面」を選択し、P.137「待受画面を設定する」手順2へ進みます。
- 「電話発信」「テレビ電話発信」「メール送信」「問い合わせ」を選択した場合は、P.137「待受画面を設定する」手順2へ進みます。
- 「電話着信」「テレビ電話着信」「メール受信」を選択して[✉]（デモ）を押すと、実際に表示／再生される内容を確認できます。

2 画像の種類を選択

P.137「待受画面を設定する」手順2へ進みます。

お知らせ

- 「電話着信」「テレビ電話着信」「メール受信」を選択し、「着信音」を選択すると、着信音を設定できます。P.129手順3へ進みます。
- 電話着信時の画面表示の優先順位は、「電話帳の設定」→「グループ設定」→「電話帳画像着信設定」→「画面表示設定」の順になります。
- 映像と音を含んだｉモーションを着信音（着モーション）に設定した場合、着信時には本機能よりも優先して着モーションが再生されます。ただし、音声のみのｉモーションを設定した場合は、本機能で設定した画像が表示されます。
- 映像と音を含んだｉモーションを着信画面に設定した場合、着信時には「着信音選択」よりも優先してｉモーションが再生されます。ただし、映像のみのｉモーションを設定した場合は、「着信音選択」で設定した着信音が鳴ります。
- 本機能の設定と「着信音選択」の組み合わせによっては、着信時にお買い上げ時の画像や着信音が表示／再生されることがあります。
- 画像によっては画面表示に設定できない場合があります。
- Flash画像の音声は再生されません。
- 「ピクチャ編集」の「チャーミーフェイスⅡ」で編集した画像を設定してもアニメーション表示はされず、最初の1コマ目が表示されます。

省電力モードを設定する

お買い上げ時	ON

ディスプレイの表示を消して電池の消費を減らす省電力モードを設定します。

1 メニュー▶▶**ディスプレイ▶画面表示設定▶省電力▶ON・OFF**

お知らせ

- 「ON」に設定したときは、待受画面表示時に何も操作をしないで一定時間経過するとディスプレイの表示が消えます。また、「通話中イルミネーション」を「OFF」に設定したときは、音声通話中画面表示時のディスプレイの表示も同様に消えます。
- ここでの設定は、「照明設定」の「省電力モード」と共通です。また、省電力モードに切り替わるまでの待ち時間は、「照明設定」の「待ち時間（分）」で設定します。（P.142参照）
- データ通信中･充電中･待受ｉアプリ設定中は省電力モードに切り替わりません。
- FOMA端末を操作したときや電話がかかってきたときなどは、ディスプレイが表示されます。ただし、公共モード（ドライブモード）中に電話がかかってきたときはディスプレイは表示されません。

<電話帳画像着信設定>

電話帳に登録した画像を着信中に表示する

お買い上げ時	ON

相手が通知してきた発信者番号と電話帳に登録した電話番号が同じである場合、電話帳に登録してある静止画を表示します。

 ▶▶**着信▶電話帳画像着信設定▶ON・OFF**

お知らせ

- 電話着信時の画面表示の優先順位は、「電話帳の着信イメージ」→「グループの着信イメージ」→「電話帳の静止画」→「画面表示設定」の順になります。
- シークレットデータとして登録した電話帳については、着信時にシークレットモードおよびシークレット専用モードにしていても画像の表示はされません。

<プライベートウィンドウ>

プライベートウィンドウの表示を設定する

お買い上げ時	ON

1 メニュー▶設定▶ディスプレイ▶プライベートウィンドウ▶ON・OFF▶以下の操作を行う

●「OFF」を選択した場合は、設定が終了します。

項目	操作	補足
省電力モード お買い上げ時 ON	▶ON・OFF	プライベートウィンドウの表示を消して、電池の消費を減らす省電力モードを設定します。省電力モードに切り替わるまでの待ち時間は、「照明設定」の「待ち時間(分)」の設定と共通です。
明るさ お買い上げ時 レベル5	▶◎で明るさを調節	レベル1(暗い)〜レベル9(明るい)で調節します。
待受表示固定 お買い上げ時 OFF	▶ON・OFF ON.....「待受画面表示」、「背景設定」で設定した表示に固定します。「着信表示」、「メール表示」、「通信中表示」は設定できず、それぞれの情報は表示されません。 OFF....「着信表示」、「メール表示」で設定した情報などを表示します。	電話やメールの着信、通信中などのときでも待受表示のままにするかどうかを設定します。
待受画面表示 お買い上げ時 デジタル時計1 (ピクト表示：ON)	▶デジタル時計1・デジタル時計2・OFF ▶ON・OFF ●ピクトとはアイコンのことです。	待受時に表示する時計を設定します。また、アイコンを表示するかどうかを設定します。
背景設定 お買い上げ時 本体色「ブラウン×シルバー」:Square 本体色「ホワイト×パールストライプ」:Stripe 本体色「オレンジ×オレンジ」:Orange	▶マイピクチャ・OFF ●「OFF」を選択した場合は、設定が終了します。 ▶フォルダを選択 ▶静止画またはアニメーションを選択	待受時に表示する画像を設定します。 ●画像サイズがVGA(480×640)を超える画像は選択できません。 ●96×64ドットより大きい画像は、96×64ドットに切り出されて表示されます。 ●お買い上げ時に登録されている背景についてはP.448参照。
着信表示 お買い上げ時 ON	▶ON・OFF	着信中に電話をかけてきた相手の電話番号(電話帳に登録されている場合は名前)などを表示します。
メール表示 お買い上げ時 OFF	▶ON・OFF	メールの受信日時、送信元、題名を表示します。(P.29参照) ●セキュリティが設定されているBOX・フォルダ内のメールの受信日時、送信元、題名は表示されません。

項目	操作	補足
通信中表示 お買い上げ時: ON+ OFF	▶項目を選択 ON+ ON . . . . . . .通信中にバックライト点灯ありでアニメーションや文字を表示します。 ON+ OFF . . . . . . .通信中にバックライト点灯なしでアニメーションや文字を表示します。 OFF . . . .通信中にアニメーションや文字を表示しません。バックライトも点灯しません。	通信中の表示とバックライトについて設定します。

お知らせ

- 「プライベートウィンドウ」を「OFF」に設定すると、バックライトは点灯しません。

<オート表示>

FOMA端末を開いたときに電話番号を表示する

待受画面表示中に閉じたFOMA端末を開くと、指定した電話帳の電話番号を表示します。
を押すだけで、その電話番号に音声電話をかけることができます。また、を押すとテレビ電話発信、を押すとプッシュトーク発信します。

オート表示を設定する

メニュー 4 7

お買い上げ時	OFF

1 メニュー▶ 設定 ▶ディスプレイ▶オート表示▶ON・OFF

お知らせ

- 通話中、PIMロック中、オールロック中、おまかせロック中、あんしんキーロック中、シークレット専用モード中はオート表示はされません。
- オート表示中に、、ch クリアを押すと待受画面に戻ります。

オート表示する電話番号を指定／変更する

1 **電話帳詳細画面▶ i α (機能)▶オート表示**

オート表示が指定されると、電話帳の機能メニューの「オート表示」に「★」マークが付きます。

- オート表示に指定した電話番号を解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ

- オート表示に指定できる電話番号は1件のみです。また、シークレットデータとして登録した電話帳やFOMAカードの電話帳には指定できません。

＜オープン新着表示＞
FOMA端末を開いたときに新着情報を表示する

お買い上げ時	OFF

FOMA端末を閉じているときに不在着信／新着メールがあった場合、FOMA端末を開くと不在着信履歴詳細画面／受信メール一覧画面が表示されます。

1 ▶▶**ディスプレイ**▶**オープン新着表示**▶**ON・OFF**

お知らせ

- かんたんモード中に着信があった場合は、着信履歴詳細画面が表示されます。
- 新着メールを受信したあと、不在着信があった場合は不在着信履歴詳細画面が優先して表示されます。

＜照明設定＞
ディスプレイとボタンの照明を設定する

1 メニュー▶▶**ディスプレイ**▶**照明設定**▶**以下の操作を行う**

項目	操作	補足
通常時 お買い上げ時 ON＋省電 （バックライト：ON 省電力モード：ON 待ち時間：5分）	▶**ON・OFF** ▶**ON・OFF** ●「OFF」を選択した場合は、設定が終了します。 ▶**待ち時間（分）を入力** ●「02」〜「20」の2桁を入力します。	通常時にバックライトを点灯させるかどうかを設定します。また、省電力モードにするかどうかも設定します。 ●ここでの設定は、「画面表示設定」の「省電力」と共通です。（P.139参照） ●待受画面に静止画以外を設定している場合は、画像の再生が終了したあと、待ち時間が経過すると省電力モードに切り替わります。 ●「通常時」を「OFF」に設定したときは待受画面に「 」が表示されます。
充電時 お買い上げ時 標準	▶**標準・常時点灯** **標準** . . . . . . 通常時にバックライトが点灯するときと同じ設定で充電中も点灯します。 **常時点灯** . . . 充電中にバックライトを常時点灯します。	●ACアダプタ（別売）などの外部電源から電源を供給されているときは、通常時のバックライトのON／OFF設定に関わらず、充電時の設定になります。
範囲 お買い上げ時 液晶＋ボタン （ボタン照明：省電力ON）	▶**液晶＋ボタン・液晶** ●「液晶」を選択した場合は、設定が終了します。 ▶**省電力ON・省電力OFF** **省電力ON** . . . . .照度センサー（P.24参照）で感知した明るさに合わせてボタンのバックライトを点灯／消灯します。 **省電力OFF** . . . . .通常時の設定に従います。	バックライトが点灯する範囲を設定します。また、「液晶＋ボタン」を選択した場合、ボタンのバックライトを省電力にするかどうかも設定します。

項目	操作	補足
明るさ お買い上げ時 レベル2	▶明るさを選択	レベル1(暗い)～レベル3(明るい)で調節します。 ●ここでの設定は、ディスプレイのバックライトにのみ有効です。

■バックライトのON／OFFをワンタッチで切り替えるには
5を1秒以上押すたびにON／OFFが切り替わります。

お知らせ

●「通常時」を「ON」に設定したときは、着信中は点灯したままとなり、電源を入れたときやボタン操作を行ったとき、FOMA端末を開いたときなどに「範囲」で設定した箇所が約15秒間点灯します。FOMA端末を閉じているときに着信などがあった場合は、プライベートウィンドウのバックライトが点灯します。カメラ起動中、動画／iモーション再生中は常時点灯します。「OFF」に設定すると点灯しません。ただし、動画撮影中は「通常時」の設定に関わらず、常時点灯します。
●テレビ電話中の画面の照明設定についてはP.86参照。
●iモードメールやメッセージR/Fの本文を表示させたときは、本文の長さにより点灯時間が異なります。

<液晶AI>
ディスプレイの画質を自動的に調整する

お買い上げ時	ON

テレビ電話中やiモーション再生中にディスプレイのバックライトの明るさを自動的に調整し、その明るさにあわせて画像の画質補正をするかどうかを設定します。

1 メニュー▶設定▶ディスプレイ▶液晶AI▶ON・OFF

●テレビ電話中は(機能)を押して「液晶AI」を選択します。そのとき、設定はその通話にのみ有効です。

お知らせ

●「ON」に設定した場合、「照明設定」の「明るさ」で設定したレベル内でバックライトの明るさを調整します。メニューを選択中も調整されます。

<配色パターン>
メニュー 8 6

画面の色の組み合わせを設定する

お買い上げ時	スタンダード

文字や背景など、画面の配色を設定します。

1 メニュー▶設定▶ディスプレイ▶配色パターン▶配色パターンを選択

●「スタンダード」「カジュアル」「セピア」「フローラル」「ブラック」から選択します。
●選択中は、確認のため選択している配色パターンで画面が表示されます。

お知らせ

●複数の色で表示されているアイコンや画像、ドコモの絵文字、iモード対応のインターネットホームページ(サイト)の色は変わりません。

<メニューアイコン設定>

メインメニューの表示を設定する

お買い上げ時	パターン1

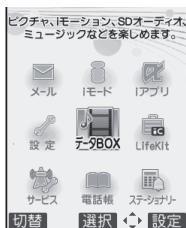
メインメニューに表示されるアイコンや背景の画像を変更します。

1 メニュー▶▶ディスプレイ▶メニューアイコン設定▶パターンを選択

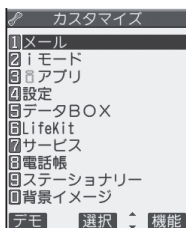
パターン1

パターン2

パターン3

パターン4

パターン5

- メインメニューで(設定)を押してもパターンを選択できます。
- 「パターン1～5」を選択した場合は、設定が終了します。
- 「パターン2」に設定した場合は、メインメニューでを押して大項目アイコン、を押して各アイコン内の中項目や機能を選択できます。「パターン3」「パターン4」に設定した場合は、日付時刻などによってアニメーションが変化します。「パターン5」に設定した場合は、各メニューのガイダンスが表示されます。

2 手順1で「カスタマイズ」を選択した場合は、変更したいメニューアイコンまたは背景を選択▶フォルダを選択▶画像を選択

アイコン／背景選択画面

手順2を繰り返してメニューアイコンまたは背景の画像を設定します。

- メニューアイコンまたは背景選択中に(デモ)を押すと、現在設定されている画像を確認できます。
  「背景イメージ」のデモを確認中に(枠色)を押すとグループを表す枠の色を選択できます。(切替)を押すと16色と256色を切り替えます。

お知らせ

- カスタマイズで設定できる画像は、画像サイズがVGA(480×640)以下で最大100KバイトまでのJPEG画像、GIF画像です。それ以外の画像は「サイズ変更」または「トリミング」を行って設定してください。ただし、背景にアニメーションGIFを設定した場合は、最初の1コマ目が表示されます。
- カスタマイズで設定した画像を削除した場合は、「パターン5」と同じ画像に戻ります。
- カスタマイズに設定中にPIMロックを設定した場合は、「パターン1」の画像が表示されます。
- カスタマイズに設定すると、「バイリンガル」の設定を切り替えても、メインメニューのアイコンは切り替わりません。

アイコン／背景選択画面の機能メニュー

機能メニュー	操作	補足
1件リセット	▶YES	「パターン5」と同じ画像に戻します。
全件リセット	▶YES	メニューアイコンと背景をすべて「パターン5」と同じ画像に戻します。

<イルミネーション設定>

着信／充電ランプの色を設定する

1 メニュー▶設定▶**イルミネーション設定▶以下の操作を行う**

項目	操作	補足
着信イルミネーション	P.146参照	着信中の点滅色を設定します。
通話中イルミネーション お買い上げ時 OFF	▶**で色を選択** ●着信／充電ランプを点滅させない場合は「OFF」を選択します。 ●選択中は、確認のため着信／充電ランプが点滅します。	通話中の点滅色を設定します。 ●伝言メモの動作中、応答保留中、通話中保留中なども通話中と同じ色で点滅します。
不在未読 イルミネーション お買い上げ時 ON	▶ON･OFF	不在着信や未読メールがある場合に点滅します。 ●約30秒間隔で約30分間点滅します。
クローズ イルミネーション お買い上げ時 ON	▶ON・OFF	FOMA端末を閉じたときに点灯します。
ミュージック イルミネーション お買い上げ時 ON	▶ON・OFF	着うたフル®、SDオーディオ再生開始時に点滅します。 ●約15秒間点滅します。
ICカード イルミネーション お買い上げ時 ON	▶ON・OFF	FOMA端末をICカードの読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしたときに点灯／点滅します。
プッシュトーク イルミネーション お買い上げ時 ON	▶ON・OFF	プッシュトークの発言権を取得しようとしたときやメンバーの状態が「参加」になったときに点灯／点滅します。
サイドボタン イルミネーション お買い上げ時 view	▶**で色を選択** ●着信／充電ランプを点灯させない場合は「OFF」を選択します。 ●選択中は、確認のため着信／充電ランプが点灯します。	FOMA端末を閉じて▲を押したときの点灯色を設定します。 ●約15秒間点灯します。 ●お買い上げ時のイルミネーションは本体色によって異なります。

次ページにつづく

項目	操作	補足
明るさ設定 お買い上げ時 通常	▶通常・省電力 **通常** . . . . . . 明るく点灯、点滅します。 **省電力** . . . . 暗く点灯、点滅します。	着信／充電ランプの明るさを設定します。
設定確認	●Ⓞで画面をスクロールして確認できます。 ●確認が終わればchクリアを押します。	「着信イルミネーション」、「通話中イルミネーション」、「サイドボタンイルミネーション」の設定内容を確認します。

着信イルミネーション

メニュー 8 9

着信／充電ランプの点滅色を着信の種類ごとに設定します。

1 メニュー▶設定▶イルミネーション設定▶着信イルミネーション▶以下の操作を行う

項目	操作	補足
着信イルミネーション選択 お買い上げ時 電話 :call プッシュトーク :poc テレビ電話 :call メール :mail チャットメール :mail メッセージR :mail メッセージF :mail	▶着信の種類を選択▶Ⓞで色を選択 ●色1～12を順番に点滅させる場合は「グラデーション」を選択します。 ●選択中は、確認のため着信／充電ランプが点灯します。	●着信イルミネーションの優先順位は、「電話帳の設定」→「グループ設定」→「着信イルミネーション選択」の順になります。 ●お買い上げ時のイルミネーションは本体色によって異なります。
パターン設定 お買い上げ時 固定パターン	▶パターンを選択 **固定パターン** . . .同じパターンを繰り返して点滅します。 **メロディ連動** . . .着信音に合わせて点滅します。	着信イルミネーションの点滅パターンを設定します。 ●「メロディ連動」に設定しても以下の場合は「固定パターン」で点滅します。 ・「着信イルミネーション選択」を「色1～12」または「グラデーション」以外に設定している場合。 ・点滅パターンが登録されていないメロディやｉモーションを着信音に設定した場合。
カラー設定 （カラー名編集）	▶カラー名編集▶色を選択▶名前を入力 ●全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。	●「色1～12」のみ編集できます。
カラー設定 （カラー調節）	▶カラー調節▶色を選択▶カラーを調節 ●Ⓞで色を選びⓄで色調を変更します。	●「色1～12」のみ調節できます。

＜確認機能設定＞

不在着信や新着メールを音と着信／充電ランプで確認する

お買い上げ時	電子音

不在着信・新着メール・新着チャットメール・伝言メモ・留守番電話があるかないかを、FOMA端末を閉じたまま▼を押して確認します。本機能を利用するには、「サイドボタン操作」を「閉じた時有効」に設定しておく必要があります。

1 メニュー▶▶着信▶確認機能設定▶項目を選択

電子音 . . . . .不在着信や新着メール、新着チャットメールがあるかないかを電子音と着信／充電ランプの点滅でお知らせします。

ボイス . . . . .「新着チャットメールあり」、「新着メールあり」、「不在着信あり」、「伝言メモあり」、「留守番電話あり」の順に声と着信／充電ランプの点滅でお知らせします。

OFF . . . . . .確認の機能をOFFにします。

■FOMA端末を閉じた状態で▼を押すと

不在着信や新着メール、新着チャットメールがあるとき

（待受画面に「不在着信あり」、「新着メールあり」または「新着チャットメールあり」のアイコンのいずれかが表示されているとき）

「確認機能設定」を「電子音」に設定していると、「ピピ、ピピ」という音が鳴り、着信／充電ランプが約5秒間点灯します。

「確認機能設定」を「ボイス」に設定していると、「ピピ」という音が鳴り「新着メールあり」、「不在着信あり」などと声でお知らせし、着信／充電ランプが約5秒間点灯します。

●声でのお知らせが終了するまでに▼を再度押すと、お知らせを停止できます。

不在着信や新着メール、新着チャットメールがないとき

「確認機能設定」を「電子音」または「ボイス」に設定していると、「ピピピ」という音が鳴り、着信／充電ランプが約5秒間点滅します。

「ボイス」に設定していても、声でお知らせはしません。

お知らせ

●ｉモードセンターに保管されているメールは本機能で確認できません。

●起動中の機能によっては、確認機能が動作しない場合があります。

●電子音の音量は変更できません。

●ボイスは「着信音量」の「電話」で設定した音量で鳴ります。ただし、「ステップ」に設定しているときはレベル2で鳴ります。

●「バイブレータ」の「電話」を「OFF」以外に設定しているときは、不在着信・新着メール、新着チャットメールともに着信／充電ランプと振動でお知らせします。

●振動でのお知らせは次のようになります。

・不在着信または新着メール、新着チャットメールがあるときは約1秒間振動します。

・不在着信も新着メール、新着チャットメールもないときは約0.2秒間振動します。

●不在着信があるときは「着信イルミネーション」の「電話」、新着メールがあるときは「メール」、新着チャットメールがあるときは「チャットメール」で設定されている色で着信／充電ランプが点灯します。不在着信と新着メール、新着チャットメールがあるときは、それぞれの色が交互に点灯します。また、すべてなかったときは「色12」で着信／充電ランプが点滅します。

●お知らせ中にFOMA端末を開くとお知らせを停止します。

<デスクトップ>

デスクトップのアイコンを利用する

お買い上げ時	使いかたナビ　Bluetooth

かかってきた電話に出られなかったとき(不在着信)や新着メールがあったときなど、待受画面にアイコンでお知らせします。(お知らせアイコン)
また、よく使う電話番号やメールアドレスなどをアイコンとして貼り付けることができます。(貼り付けアイコン)

■お知らせアイコンを選択したときの動作

アイコン	動作
不在	**不在着信あり** 不在着信の着信履歴一覧画面を表示(P.58参照)
伝言	**伝言メモあり** メモ一覧画面を表示(P.82参照)
伝言	**テレビ電話伝言メモあり** テレビ電話メモ一覧画面を表示(P.82参照)
メール	**新着ｉモードメール･SMSあり** 受信メール一覧画面を表示(P.245参照)
チャット	**新規チャットメールあり** チャットメールを起動(P.263参照)
ソフト	**ｉアプリの自動起動ができなかったとき** ｉアプリの自動起動情報画面を表示(P.284参照)
トルカ	**読み取り装置(リーダー／ライター)からトルカを取得** トルカ一覧画面を表示(P.291参照)
エラー	**ｉアプリ待受画面でセキュリティエラーが発生** セキュリティエラー履歴を表示(P.273参照)
アラーム	**未通知アラームあり** 通知できなかったアラームの内容を表示(P.378参照)
留守	**留守番電話サービスセンターに伝言メッセージあり** 留守番電話の画面を表示(P.402参照)
更新	**電話帳お預かりサービスの更新ができなかったとき** 電話帳お預かりサービスの更新画面を表示(P.126参照)
不応答	**位置提供の要求に応えなかったとき** 位置履歴を表示(P.301参照)
更新	**ソフトウェア更新を行ったとき** 端末暗証番号入力後、更新完了画面または完了しなかった理由を表示(P.484参照)
更新	**パターンデータの自動更新を行ったとき** 更新結果を表示(P.489参照)
交換	**あんしんキーの電池残量が少なくなったとき** あんしんキーのID番号を表示(P.162参照)
USB	**FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブル(別売)で接続** 「USBモード設定」の設定画面を表示(P.341参照)

■貼り付けアイコンを選択したときの動作

アイコン	動作
	電話番号 電話番号が入力された状態でダイヤル発信の画面を表示(P.53、P.95参照)
	サイトのURL サイトを表示(P.200参照)
	ｉモードメールの送信元･宛先 宛先が入力された状態でメール作成画面を表示(P.228参照)
	SMSの送信元･宛先 宛先が入力された状態でSMS作成画面を表示(P.265参照)
	ｉアプリ※ ｉアプリを起動(P.273参照)
	ピクチャ※ ピクチャビューアで表示(P.310参照)
	ｉモーション※ ｉモーションプレーヤーで再生(P.321参照)
	キャラ電※ キャラ電プレーヤーで再生(P.329参照)
	メロディ※ メロディプレーヤーで再生(P.331参照)
	PDFデータ※ PDF対応ビューアで表示(P.350参照)
	トルカ※ トルカビューアで表示(P.291参照)
	使いかたナビ 使いかたナビ画面を表示(P.36参照)
	カメラメニュー カメラメニューを表示(P.184、P.187参照)
	バーコードリーダー機能 バーコードリーダー選択画面を表示(P.194参照)
	テキストリーダー機能 テキストリーダー選択画面を表示(P.196参照)
	赤外線受信機能 赤外線受信選択画面を表示(P.346、P.347参照)
	ToDo機能 ToDoの一覧画面を表示(P.383参照)
	Bluetooth機能 Bluetooth機能の選択画面を表示(P.395、P.397、P.398参照)
	プライベートメニュー プライベートメニューを表示(P.384参照)

※登録元のデータが削除されたり上書き登録された場合は、貼り付けアイコンは無効になります。

デスクトップにアイコンを貼り付ける

電話番号やメールアドレスなどを「貼り付けアイコン」として合計15件まで貼り付けることができます。

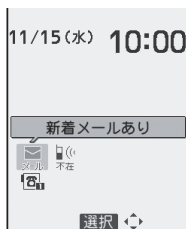
1 貼り付けたい項目の画面▶(機能)▶デスクトップ貼付▶YES

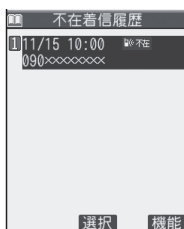
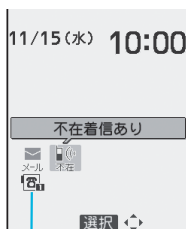
●送信元の他に同報先があるとき、または複数の宛先があるときは、貼り付けたいメールアドレスや電話番号を選択します。

お知らせ

●サイトによっては、URLをデスクトップ貼付できないことがあります。
●URLのタイトルは、全角16文字まで、半角32文字まで登録されます。タイトルの文字数がそれ以上あるときは、超えた部分が削除されます。タイトルがないときは、「http://」または「https://」を除いたURLが表示されます。
●ファイルやデータによってはデスクトップ貼付できない場合があります。

デスクトップのアイコンからそれぞれの機能に進む

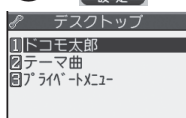
1 待受画面▶

各アイコンの説明が表示されます。

2 でアイコンを選んで(選択)を押す

不在着信のアイコンを選択した場合

●「貼り付けアイコン」は5件まで表示されます。6件以上ある場合は「◀」「▶」が表示されます。
●「お知らせアイコン」はそれぞれの機能を実行すると削除されます。すべての「お知らせアイコン」を削除するには、手順1の画面でを1秒以上押します。

貼り付けアイコンの詳細を確認する 6 3

1 ▶設定▶ディスプレイ▶デスクトップ

デスクトップ
1ドコモ太郎
2テーマ曲
3プライベートメニュー

貼り付けアイコン一覧画面

デスクトップに貼り付けられている貼り付けアイコンの一覧が表示されます。

次ページにつづく

2 詳細を表示するアイコンを選択

●URLが長い場合は◎で画面をスクロールして確認できます。
●確認が終われば(chクリア)を押します。

貼り付けアイコン一覧画面の機能メニュー

●待受画面で貼り付けアイコンを選んで(iα)(機能)を押しても機能メニューが表示されます。

機能メニュー	操作	補足
タイトル編集	▶タイトルを入力 ●全角16文字まで、半角32文字まで入力できます。ただし、アイコンを選んだときに表示されるタイトルは、入力したタイトルの先頭から全角11文字まで、半角22文字までです。	−
デスクトップ初期化	▶YES	貼り付けアイコンをお買い上げ時の状態に戻します。
1件削除	▶YES	−
全削除	▶YES	−

<フォント設定>

文字のフォント(書体)を変更する

お買い上げ時	フォント1

1 (メニュー)▶設定▶ディスプレイ▶フォント設定▶フォントを選択

フォント1 . . . . . ゴシック体風のフォントにします。
フォント2 . . . . . ポップ体風(丸文字)のフォントにします。

お知らせ

●漢字など、文字によっては、本機能の設定に関わらず「フォント1」で表示されます。
●電話番号入力や時計表示などの文字は変更できません。

<時計表示設定>

(メニュー)(3)(9)

時計の表示を設定する

待受画面の時計表示を日本語表示／英語表示／時計表示なしに切り替えたり、表示サイズを変更したりします。

1 (メニュー)▶設定▶時計▶時計表示設定▶以下の操作を行う

項目	操作	補足
表示方法 お買い上げ時：日本語	▶日本語・英語・OFF	−
表示サイズ お買い上げ時：大きく表示	▶大きく表示・小さく表示	●プライベートウィンドウの時計表示サイズも変更されます。 ●サブ時計の表示サイズは変更されません。

<バイリンガル>

画面を英語表示に切り替える

お買い上げ時	Japanese

1 メニュー▶設定▶ディスプレイ▶バイリンガル▶Japanese・English

●Japanese(日本語表示)とEnglish(英語表示)では、以下の機能の項目が異なります。

機能	Japanese	English
時計表示設定の「表示方法」	日本語 英語 OFF	選択不可 ON OFF
確認機能設定	電子音 ボイス OFF	ON 選択不可 OFF
使いかたナビ	選択可能	選択不可
音声読み上げ	動作可能	動作不可

お知らせ

●FOMAカードを挿入している場合、「バイリンガル」の設定はFOMAカードに記憶されます。

あんしん設定

暗証番号について

携帯電話の操作や機能を制限する

発着信や送受信を制限する

その他の「あんしん設定」について

暗証番号について

FOMA端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用の端末暗証番号の他ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、iモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- ドコモからお客様の暗証番号をうかがうことは一切ございません。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類(運転免許証など)やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
詳しくは取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

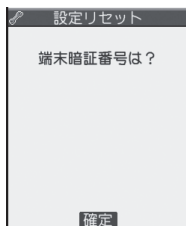
端末暗証番号

端末暗証番号は、お買い上げ時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。(P.156参照)

端末暗証番号入力の画面が表示された場合は、4〜8桁の端末暗証番号を入力し、◉(確定)を押します。

設定リセット

端末暗証番号は？

確定

- 端末暗証番号入力時はディスプレイに「_」で表示され、数字は表示されません。
- 間違った端末暗証番号を入力した場合や、約15秒間何も入力しなかった場合は、警告音が鳴り、警告メッセージが表示されたあと、端末暗証番号入力の前の画面に戻ります。正しい端末暗証番号を確認してからもう一度操作してください。

ネットワーク暗証番号

ドコモeサイトでの各種手続き時や各種ネットワークサービスご利用時にお使いいただく数字4桁の番号で、ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
パソコン向け総合サポートサイト「My DoCoMo」の「DoCoMo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。なお、iモードからはドコモeサイト内の「各種手続き」からお客様ご自身で変更ができます。
※「My DoCoMo」「ドコモeサイト」については、取扱説明書裏面をご覧ください。

iモードパスワード

マイメニューの登録・削除、メッセージサービス、iモードの有料サービスのお申し込み・解約等を行う際には4桁の「iモードパスワード」が必要になります。
(この他にも各情報サービス提供者が独自にパスワードを設定していることがあります)
iモードパスワードは、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。(P.204参照)
iモードから変更される場合は、「iMenu」→「料金&お申込・設定」→「オプション設定」→「iモードパスワード変更」から変更ができます。

PIN1コード･PIN2コード

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。
これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
(P.157参照)
PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMAカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の番号(コード)です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。
PIN2コードは、積算通話料金リセット、ユーザ証明書利用時や発行申請を行うときなどに使用する4～8桁の暗証番号です。

●新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1コード、PIN2コードをご利用ください。

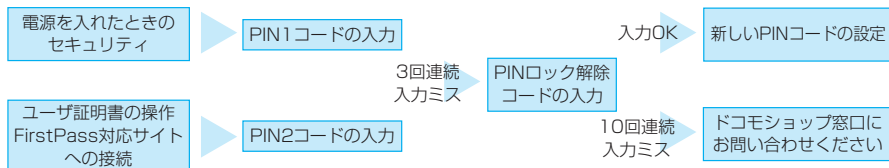
PIN1コードまたはPIN2コード入力の画面が表示された場合は、4～8桁のPIN1コード／PIN2コードを入力し、◎(確定)を押します。

PIN1コードの場合

●入力したPIN1コード／PIN2コードは「_」で表示されます。
●3回誤ったPIN1コード／PIN2コードを入力した場合は、PIN1コード／PIN2コードがロックされて使えなくなります。(入力可能な残りの回数は画面に表示されます)
正しいPIN1コード／PIN2コードを入力すると、入力可能な残りの回数が3回に戻ります。

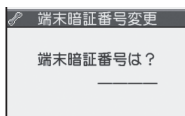
PINロック解除コード

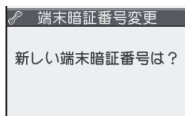
PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

●PINロック解除コードの入力を10回連続して失敗すると、FOMAカードがロックされます。

＜端末暗証番号変更＞

端末暗証番号を変更する

FOMA端末をより便利に使いこなしていただくために、お客様ご自身の各種機能用の端末暗証番号(4～8桁)に変更しておきましょう。変更した端末暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようにお気をつけください。

1 メニュー▶設定▶**ロック／セキュリティ**▶**端末暗証番号変更**▶**現在設定されている端末暗証番号を入力**

●お買い上げ時などで、初めて入力する場合は「0000」を入力します。

2 **新しい端末暗証番号(4～8桁)を入力**▶**YES**

＜FOMAカード(UIM)設定＞

PINコードを設定する

PIN1コード入力設定

FOMA端末の電源を入れたときに、PIN1コードを入力しなければ使用できないように設定します。

1 メニュー▶設定▶**ロック／セキュリティ**▶**FOMAカード(UIM)設定**▶**端末暗証番号を入力**▶**PIN1コード入力設定**▶**ON・OFF**▶**PIN1コードを入力**

●PIN1コードについてはP.155参照。

PIN1コード変更・PIN2コード変更

PIN1コードを変更するには、「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定しておく必要があります。

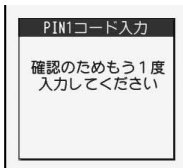
1 **(メニュー)▶（設定）▶ロック／セキュリティ▶FOMAカード(UIM)設定▶端末暗証番号を入力▶PIN1コード変更・PIN2コード変更▶現在設定されているPIN1コードまたはPIN2コードを入力**

PIN1コード変更の場合

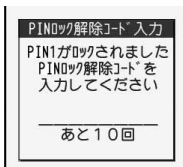
●PIN1コード／PIN2コードについてはP.155参照。

2 **新しいPIN1コードまたはPIN2コード(4～8桁)を入力**

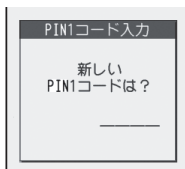
●入力したPIN1コード／PIN2コードは「_」で表示されます。

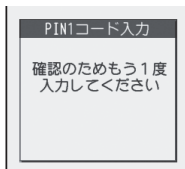
3 **新しいPIN1コードまたはPIN2コードを再入力**

PINロックを解除する

PIN1コード／PIN2コードの入力が必要な画面で、3回連続して誤ったPIN1コード／PIN2コードを入力した場合は、PIN1コード／PIN2コードがロックされて使えなくなります。その場合は、いったんPIN1コード／PIN2コードのロックを解除して、新しいPIN1コード／PIN2コードを設定する必要があります。

1 **PINロック解除コード(8桁)を入力**

●入力した解除コードは「_」で表示されます。

次ページにつづく

2 新しいPIN1コード／PIN2コード(4～8桁)を入力

●入力したPIN1コード／PIN2コードは「_」で表示されます。

3 新しいPIN1コード／PIN2コードを再入力

<オールロック>

他の人が使用できないようにする

お買い上げ時	解除

オールロックをかけると電話の応答、電源のON/OFF以外の操作ができなくなります。

1 メニュー▶設定▶ロック／セキュリティ▶オールロック▶端末暗証番号を入力

「 」と「オールロック」が表示され、オールロックが設定されます。

●オールロックを解除するには、待受画面で端末暗証番号を入力します。電源を切ってもオールロックは解除されません。

お知らせ

●オールロック中は電話をかけることができません。ただし、緊急通報110番／119番／118番には電話をかけることができます。確認画面で「YES」を選択すると発信します。
●電話の着信は可能ですが、この場合、電話帳に登録されている名前、画像などは表示されず、電話番号だけが表示されます。
●オールロック中でもGPSの位置提供は可能です。
●オールロックの解除に5回続けて失敗すると、FOMA端末の電源が切れます。ただし、再度の電源ONは可能です。
●オールロック中は、メールやメッセージR/Fの受信は可能ですが、メール受信中またはメッセージR/F受信中、受信結果の画面は表示されません。オールロック解除後に「 」「 R 」「 F 」などのアイコンが表示されます。
●オールロック中は、デスクトップのアイコンは表示されません。オールロック解除後に再表示されます。
●オールロック中は、ｉチャネルのテロップは表示されません。
●オールロック中は、ウェイクアップ画面にｉモーションを設定していても、お買い上げ時のウェイクアップ画面が表示されます。
●オールロックを設定しても、ICカードロックはかかりません。

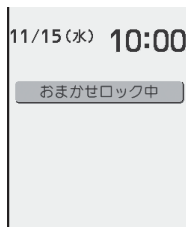
<おまかせロック>

おまかせロックを利用する

FOMA端末を紛失した際などに、ドコモにご連絡いただくか、またはMy DoCoMoからの操作により、遠隔操作でFOMA端末にロックをかけることができるサービスです。お客様の大切なプライバシーとおサイフケータイを守ります。お客様からのお電話などによりロックを解除することができます。

おまかせロックの設定／解除
0120-524-360　受付時間 24時間
※パソコン等でMy DoCoMoのサイトからも設定／解除ができます。

●おまかせロックのご利用方法の詳細については「ご利用ガイドブック（手続き･アフターサービス編）」をご覧いただくか、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

11/15(水) 10:00
おまかせロック中

待受画面に「おまかせロック中」と表示され、おまかせロックが設定されます。
●おまかせロックはお客様がご契約中のFOMAカードが挿入されているFOMA端末に対してロックをかけるサービスです。
●おまかせロック中は、音声電話、テレビ電話の着信に対する応答と電源ON／OFFの操作を除いて、すべてのボタン操作がロックされ、各機能（ICカード機能を含む）を使用できなくなります。
●音声電話、テレビ電話の着信（プッシュトークは除く）はしますが、電話帳に登録されている相手の名前や画像などは画面に表示されず、電話番号だけが表示されます。また、着信時の画像、着信音、バイブレータはお買い上げ時の状態になります。おまかせロックを解除すると設定は元の状態に戻ります。
●おまかせロック中に受信したメールは、メールセンターに保存されます。
●電源ON／OFFは可能ですが、電源OFFを行ってもロックは解除されません。
●おまかせロック中でもGPSの位置提供は可能です。
●FOMAカードやmicroSDメモリーカードにはロックがかかりませんので、あらかじめご了承ください。

お知らせ

●他の機能が起動中の場合でも、起動中の機能を終了してロックをかけます。
●他のロック機能の設定中でも、おまかせロックを使用できます。ただし、おまかせロックをかける前に公共モード（ドライブモード）を設定していた場合は、音声電話、テレビ電話の着信もできなくなります。
●圏外、セルフモード中や電源OFF中の場合はロックがかかりません。
●デュアルネットワークサービスをご契約のお客様が、movaサービスをご利用中の場合は、ロックはかかりません。
●おまかせロックはFOMA端末に挿入されているFOMAカードのご契約者の方からのお申し出によりロックをかけるサービスです。ご契約者の方とFOMA端末を使用している方が異なる場合でも、ご契約者の方からのお申し出があればロックがかかります。
●おまかせロックの解除は、おまかせロックをかけた時と同じFOMAカードをFOMA端末に挿入している場合のみ行うことができます。解除できない場合は、取扱説明書裏面に記載の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

<セルフモード>

セルフモードを利用する

お買い上げ時	解除

すべての通話、通信機能が使用できないように設定します。
セルフモード中に電話がかかってきた場合、相手の方には、電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスが流れます。なお、ドコモの留守番電話サービス、転送でんわサービスをご利用の場合、FOMA端末の電源を切っているときと同様にサービスを利用できます。

1 ▶▶**ロック／セキュリティ▶セルフモード▶YES▶OK**

「self」が表示され、セルフモードが設定されます。
●セルフモードを解除するには、同様の操作を行います。

次ページにつづく

お知らせ

- セルフモード中でも緊急通報110番／119番／118番には電話をかけることができます。確認画面で「YES」を選択すると、セルフモードを解除して発信します。
- セルフモード中は、メールやメッセージR/Fの受信も行いません。
- セルフモード中に電話がかかってきても、セルフモード解除後「不在着信あり」のアイコンは表示されません。
- 「あんしんキー／閉じロック」を「あんしんキーロック」に設定しているときにセルフモードを設定すると、セルフモードを設定するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると、セルフモードが設定され、あんしんキーロックがかかった状態になります。

<PIMロック>

個人情報に関する機能を操作できないようにする

お買い上げ時	解除

個人情報を他人が見たり、不正に書き換えられたりするのを防ぐため、以下の機能が使用できないように設定します。(「PIM」とは、「個人情報管理プログラム」を意味します。)

・伝言メモ	・フリーメモ	・静止画※1	・画像選択
・電話帳登録	・カメラ	・動画	・遠隔監視設定
・電話帳設定	・バーコードリーダー	・メロディ※1	・登録外着信拒否
・電話帳検索	・テキストリーダー	・キャラ電	・デスクトップ
・プッシュトーク電話帳	・トルカ	・ミュージック	・設定リセット
・FOMAカード(UIM)操作	・ICカード一覧	・SDオーディオ	・端末初期化
・自局番号表示	・ｉモード	・PDF対応ビューア	・メモの再生／消去
・オート表示	・ブックマーク	・microSDメモリーカード	・赤外線通信
・アラーム	・ｉアプリ	・データリンク	・iC通信
・スケジュール	・メール	・ソフトウェア更新	・ボイスダイヤル
・ToDo	・メールグループ	・パターンデータ更新	・ｉチャネル
・音声メモ	・えチャット	・GPS機能※2	・マルチナンバーの「電話番号登録」「着信音設定」
・動画メモ	・チャットグループ	・おしゃべり機能	

※1 お買い上げ時に登録されている静止画･メロディは表示できます。
※2 位置提供は可能です。

1 ▶ ▶**ロック／セキュリティ▶PIMロック▶端末暗証番号を入力**

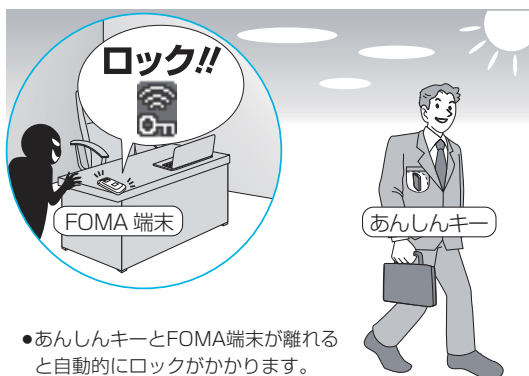
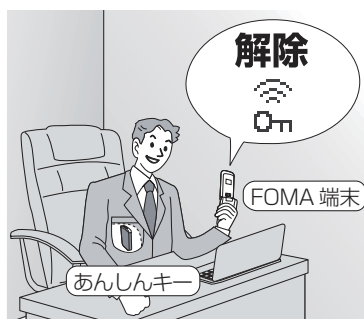
「P」が表示され、PIMロックが設定されます。

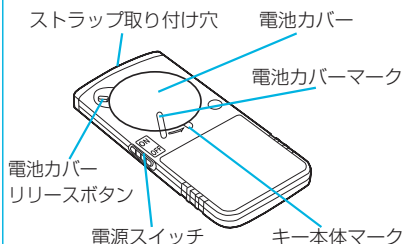
- PIMロックを解除するには、上記と同様の操作を行います。「あんしんキー／閉じロック」を「閉じタイマーロック」に設定し、「閉じタイマーロック設定」で「PIMロック」を選択している場合は、FOMA端末を開いてもPIMロック解除の画面が表示されます。
「PIM／ICカードセキュリティモード」を「フェイスリーダー」に設定している場合は、P.168「フェイスリーダーでロックを解除する」の操作を行います。
「ダブルセキュリティ」に設定している場合は、P.168の操作を行ったあとに端末暗証番号を入力します。

お知らせ

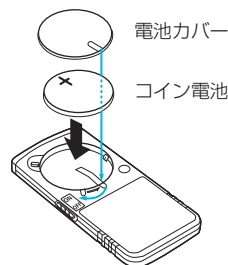
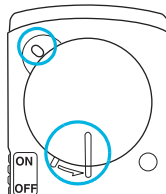
- PIMロック中は、メールやメッセージR/Fの受信は可能ですが、メール受信中またはメッセージR/F受信中、受信結果の画面は表示されません。PIMロック解除後に「✉」「R」「F」などのアイコンが表示されます。
- PIMロック中はデスクトップの貼り付けアイコンを削除できません。また、PIMロック中は、「新着メールあり」「未通知アラームあり」「電話番号」「URL」「メールアドレス」など表示されない「お知らせアイコン」「貼り付けアイコン」がありますが、PIMロック解除後に再表示されます。
- PIMロック中は、FOMA端末を閉じた状態で▼を押して不在着信、新着メールを確認できません。
- PIMロック中にテレビ電話で代替画像を送信すると、「内蔵」の代替画像が送信されます。
- PIMロック中に「オールロック」を設定すると「P」が消え、「🔒」が表示されます。

あんしんキーロックについて

あんしんキーロックは、FOMA端末からあんしんキーまでの距離が有効範囲を越えた場合に、自動的にFOMA端末にロックをかける機能です。あんしんキーを持ち歩くことで、FOMA端末を置き忘れた際にも、他人に使用されることを防止します。
また、あんしんキーを紛失してしまったときや置き忘れてしまったとき、あんしんキーの電池が切れたときや有効範囲外にいるときは、端末暗証番号でロックを一時解除できます。
あんしんキーは10個まで登録できますので、あんしんキー　P01（別売）を追加購入いただくと、常時携帯用、会社用、または紛失したときの予備キーとしてご使用できます。
●あんしんキー　P01の取扱説明書もご覧ください。

●あんしんキーとFOMA端末が離れると自動的にロックがかかります。

●あんしんキーが有効範囲内に戻ると、ロックは解除されます。

■あんしんキーの各部の名称

■あんしんキーの電池の交換方法

1.電池カバーリリースボタンを押しながら、電池カバーマークとキー本体マークを合わせる
●電池カバーが外れます

2.コイン電池を交換し電池カバーを取り付ける

●電池の下にあんしんキーのID番号が記載されています。

あんしんキーのご使用前に

■あんしんキーロック機能はFOMA端末とあんしんキー間で電波を使用しています。あんしんキーが金属製の鞄の中にある場合や、硬貨などの金属物や非接触型ICカードのそばにある場合は、有効範囲が極端に狭くなったり、電波が遮断されたりして、FOMA端末がロックされる場合があります。

■航空機内や病院など使用を禁止された区域では、FOMA端末とあんしんキー両方の電源を切ってください。

■あんしんキーは日本の電波法に基づき特定小電力無線局の技術基準適合証明を取得していますので、日本国内で使用してください。海外でご使用になると罰せられることがあります。

あんしんキーロック中の動作について

■以下の機能にロックがかかります

- ・電話の発信
- ・プッシュトーク
- ・メールの送信／編集
- ・i モード
- ・i アプリ
- ・i チャネル
- ・カメラ
- ・ミュージック
- ・SDオーディオ
- ・ICカード機能※
- ・トルカ

※ICカードロックがかかります。

■あんしんキーロック中にできること

- ●音声電話、テレビ電話 …… 着信は可能ですが、電話帳に登録されている名前、画像などは表示されません。
- ●メール、メッセージR／F …… 受信は可能ですが、鳴動せず、内容も表示できません。
- ●アラーム、スケジュール、ToDo …… あんしんキーロックがかかっていないときと同様にお知らせします。
- ●GPS機能 …… 「位置提供設定」を「許可」に設定している場合、または「許可期間設定」にて位置提供を許可している時間や期間内であれば、位置情報の要求に応答できます。
- ●電話帳お預かりサービス …… お預かりセンターから更新通知を受信したときに、自動更新を設定している場合のみ電話帳が更新されます。

■あんしんキーロックを一時解除する

●待受画面で端末暗証番号を入力すると、一時的にあんしんキーロックが解除され、一時解除中を示す「」が表示されます。一時解除中は、全ての機能を操作できます。一時解除中にあんしんキーを有効範囲内に戻すと一時解除が終了し、「あんしんキーロック」設定状態になり、アイコンが「」から「」に変更されます。アイコンが「」に変更されないときや一時解除状態が長時間続いたときは、あんしんキーを有効範囲内に戻したあと、あんしんキーの電源を入れなおしてから、FOMA端末を開きなおしてください。

あんしんキーを使用する

あんしんキーを利用するには、あらかじめFOMA端末にあんしんキーを登録し、「あんしんキー／閉じロック」を「あんしんキーロック」に設定する必要があります。下記の手順で行います。

あんしんキー登録／削除
あんしんキーのID番号を登録する
（P.163参照）

あんしんキー／閉じロック
「あんしんキー／閉じロック」を「あんしんキーロック」に設定する
（P.164参照）

あんしんキー有効範囲
あんしんキーの有効範囲を設定する
（P.164参照）

「あんしんキー／閉じロック」を「あんしんキーロック」に設定すると「」が表示されます。あんしんキーロックがかかると「」に表示が変わり、待受画面に「あんしんキーロック」と表示されます。

お知らせ

- ●あんしんキーの有効範囲は、お使いになる環境によって変化しますのでご注意ください。ご利用になる前に有効範囲を確認することをおすすめします。
- ●あんしんキーロック中が約3時間続いた後、キーを近づけてもロックが解除されない場合は、一度FOMA端末を開きなおしてください。また、約72時間続いた場合は、不要な電力を使わないようにするため、あんしんキーの電源が切れます。あんしんキーの電源を入れなおしてから一度FOMA端末を開きなおしてください。
- ●あんしんキーを近づけても、ロックが解除されるまでに数十秒かかる場合があります。
- ●あんしんキーロック中でも緊急通報110番／119番／118番には電話をかけることができます。確認画面で「YES」を選択すると発信します。
- ●以下の場合はあんしんキーロック機能は利用できません。
  - ・セルフモードを設定した場合
  - ・海外に滞在している場合
  - ・圏外が24時間以上続いている場合

■あんしんキーの電池残量が少なくなったときは

待受画面に「」のお知らせアイコンが表示されます。「」を選択すると、電池残量が少なくなった旨とあんしんキーのID番号が表示されます。「」を消すには、以下の操作を行ってください。

- ・あんしんキーの電池を交換する
- ・登録済みの別のあんしんキーを利用する
- ・「あんしんキー／閉じロック」を「閉じタイマーロック」または「OFF」に設定する

あんしんキーの電池の使用時間の目安は約4ヶ月です。使用環境や使用条件により異なります。

■あんしんキーとの通信に異常があったときは

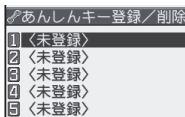
あんしんキーロック設定後、FOMA端末とあんしんキーとの通信に異常があったときは、待受画面に「」が表示されます。FOMA端末の電源を入れなおしても「」が表示される場合は、FOMA端末の異常や故障が考えられますので、ドコモショップなど窓口へご相談ください。

あんしんキー登録／削除

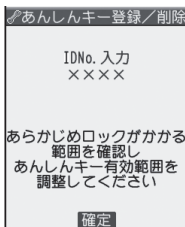
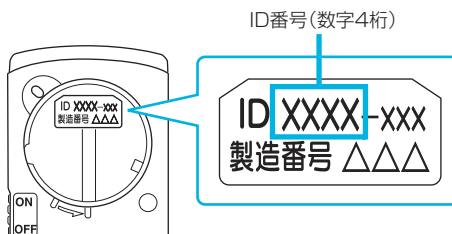
お買い上げ時	未登録

「あんしんキーロック」の認証対象になるあんしんキーを登録／削除します。あんしんキーは10個まで登録できます。複数のあんしんキーを登録した場合、どれか1つのあんしんキーが有効範囲内にあれば、あんしんキーロックは解除されます。

1 **(メニュー)▶** **▶ロック／セキュリティ▶あんしんキー／ロック設定▶あんしんキー登録／削除▶端末暗証番号を入力▶<未登録>を選んで(✉)(登録)**

あんしんキー登録／削除
1 〈未登録〉
2 〈未登録〉
3 〈未登録〉
4 〈未登録〉
5 〈未登録〉

あんしんキー登録／削除一覧画面

- すでにあんしんキーが登録されている場合は、登録されているあんしんキーのID番号が表示されます。

2 **ID番号を入力**

- あんしんキーのID番号（数字4桁）は電池の下に記載されています。
あんしんキーのID番号が記入されたシールは、はがさないでください。万が一はがれた場合などに備え、ID番号は別にメモをとるなどして保管してくださるようお願いします。

3 **あんしんキーの電源を入れる▶OK**

- 1個目の登録の場合は、「あんしんキー／閉じロック」を「あんしんキーロック」に設定するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると「あんしんキーロック」が設定されます。
- 2個目以降の登録の場合は、設定が終了します。

お知らせ

- 以下の場合は、あんしんキー登録／削除を行えません。
  ・セルフモード中 ・海外に滞在している場合 ・圏外が24時間以上続いている場合
  ・他の機能が起動している場合
- あんしんキーの登録中は圏外と同じ状態になります。
- 2個目以降の登録の際は、1つめのあんしんキーが有効範囲内にあっても一時的にあんしんキーロックがかかります。約10秒後に自動的にロックが解除されます。
- 複数のあんしんキーを登録していても、FOMA端末と通信しているあんしんキーは1つです。通信対象となっているあんしんキーの電源が切れたり有効範囲を越えた場合は、自動的に有効範囲内にある別のあんしんキーに通信対象が切り替わります。切り替わり時は、約10秒程度あんしんキーロックがかかります。
- 1つのあんしんキーを複数のFOMA端末で利用することはできません。
登録済みのあんしんキーを別のFOMA端末に登録すると、それまで登録していたFOMA端末ではそのあんしんキー登録は無効になります。
登録が無効になった場合、利用するFOMA端末から、無効となったあんしんキーを削除して再登録すると、そのFOMA端末で利用できます。

次ページにつづく

■登録したあんしんキーを削除するには
1.あんしんキー登録／削除一覧画面▶登録済みの項目を選んで(i)(削除)▶YES
「あんしんキー／閉じロック」を「あんしんキーロック」に設定していた場合、登録をすべて削除すると「あんしんキー／閉じロック」は「OFF」になります。

あんしんキー有効範囲

お買い上げ時	広い

FOMA端末からあんしんキーまでの有効範囲を設定します。

1 **メニュー▶設定▶ロック／セキュリティ▶あんしんキー／ロック設定▶あんしんキー有効範囲▶端末暗証番号を入力▶範囲を選択**

お知らせ
- お使いになる状況によって有効範囲が、「狭い」に設定している場合は約8m、「中間」に設定している場合は約20m、「広い」に設定している場合は約40mにまで広がります。ご使用になる前に有効範囲を確認し、調整してください。

<あんしんキー／閉じロック>
あんしんキーロック・閉じタイマーロックを設定する

お買い上げ時	OFF

1 **メニュー▶設定▶ロック／セキュリティ▶あんしんキー／閉じロック▶端末暗証番号を入力▶ロックを選択**

あんしんキーロック. . . FOMA端末からあんしんキーまでの距離が設定した有効範囲を越えたときに、自動的にロックがかかります。
閉じタイマーロック. . . FOMA端末を閉じてから設定した時間が経過したときに、自動的にロックがかかります。
OFF . . . . あんしんキーロック･閉じタイマーロックを設定しません。

お知らせ
- 「閉じタイマーロック」または「OFF」を設定した場合は、あんしんキーの電源を切ってください。
- 「閉じタイマーロック」を利用するには、「あんしんキー／ロック設定」の「閉じタイマーロック設定」において「PIMロック」もしくは「ICカードロック」が「OFF」以外に設定されている必要があります。
- 「閉じタイマーロック」を設定すると、FOMA端末を開いたときに「閉じタイマーロック設定」で選択したロックの解除画面が表示されます。
- 以下の場合は、あんしんキーロックを設定できません。
  ･セルフモード中　･海外に滞在している場合　･圏外が24時間以上続いている場合

<あんしんキー／ロック設定>

いろいろなロックの設定をする

閉じタイマーロック設定

お買い上げ時	PIMロック：5分　ICカードロック：5分

「閉じタイマーロック」でかけるロックの種類やロックをかけるまでの経過時間を設定します。

1 メニュー▶設定▶**ロック／セキュリティ▶あんしんキー／ロック設定▶閉じタイマーロック設定▶端末暗証番号を入力▶PIMロック・ICカードロック**

2 **経過時間を選択**

●「閉じタイマーロック」を無効にするには「OFF」を選択します。
「閉じタイマーロック」を有効にするには「あんしんキー／閉じロック」を「閉じタイマーロック」に設定してください。「 」が表示され、「閉じタイマーロック」が有効になります。

お知らせ

- 待受画面が表示されていない場合や、待受画面が表示されていても、他の機能が起動している場合は、設定した時間が経過してもロックはかかりません。
- FOMA端末を閉じてから電話の着信やメールの受信などがあったり、FOMA端末を開いたりすると、経過時間は0秒に戻ります。
- 「閉じタイマーロック」を設定している場合、PIMロックやICカードロックの解除操作をすると一時的にロックは解除されますが、FOMA端末を閉じてから設定した時間が経過すると、再びロックがかかります。

PIM／ICカードセキュリティモード

お買い上げ時	端末暗証番号

PIMロックやICカードロックの解除方法を設定します。

1 メニュー▶設定▶**ロック／セキュリティ▶あんしんキー／ロック設定▶PIM／ICカードセキュリティモード▶端末暗証番号を入力▶セキュリティモードを選択**

端末暗証番号．．．．．．．．．端末暗証番号を入力してロックを解除します。設定が終了します。
フェイスリーダー．．．．フェイスリーダーで認証してロックを解除します。
ダブルセキュリティ．．．フェイスリーダーで認証したあとに端末暗証番号を入力してロックを解除します。設定が終了します。

2 **YES**

お知らせ

- フェイスリーダー設定で登録した顔データが3件未満のときやPIMロック中、ICカードロック中はPIM／ICカードセキュリティモードの変更はできません。

<フェイスリーダー設定>

フェイスリーダーを利用する

フェイスリーダーに顔データを登録し、ICカードロックやPIMロックを解除する際の認証に利用できます。
フェイスリーダーを利用するには、あらかじめ顔データを3件以上登録し、「PIM／ICカードセキュリティモード」を「フェイスリーダー」または「ダブルセキュリティ」に設定しておく必要があります。

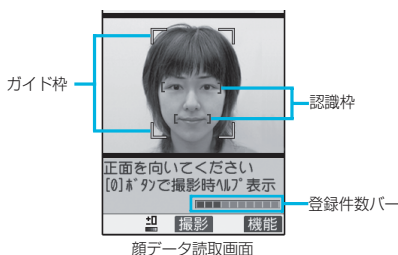
■フェイスリーダー利用時のご注意
- カメラが汚れていたりすると誤作動の原因となります。柔らかい布で汚れを取り除いてからご使用ください。
- 強く光が当たり、顔の明るい部分と暗い部分の差が大きくなる環境では顔を識別しにくくなります。この場合、登録が困難になったり、認証率(本人が正しく本人と認識される確率)が低下することがあるため、顔に当たる光が一定になるようにしてください。
- 顔に光が当たり顔全体が白くなる場合などは正常に認識できない場合があります。
- 顔の状態が次のような場合には、顔の登録が困難になったり、認証率が低下することがあります。
  ･髪や眼鏡、マスクなど顔の特徴(目、口、鼻、眉など)がはっきりと見えていない状態の場合
  ･暗い場所の電灯下など、顔に当たっている光の明暗が大きい場合
- 目、鼻、口、眉がはっきりと見えるように髪をあげる(眼鏡、マスクなどを取る)、顔が均一な明るさになるような場所に移動するなど、お客様の顔の状態に合わせて対処することで認証時の状況が改善される場合があります。また、顔データを追加登録すると、認証率が改善されます。
- 顔認証技術は完全な本人認証を保証するものではありません。当社では本製品を第三者に使用されたこと、またはフェイスリーダーの誤認証により使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

登録

お買い上げ時	未登録

フェイスリーダーを利用するには顔データを3件以上登録してください。顔データは最大10件まで登録できます。

1 **(メニュー)▶設定▶ロック／セキュリティ▶あんしんキー／ロック設定▶フェイスリーダー設定▶端末暗証番号を入力▶登録▶OK**

顔データ読取画面

正面を向き、ガイド枠内に顔が入るようにします。登録時と認証時の顔の位置の違いによる認証失敗を減らせます。
認識されると目元と口元に認識枠が表示され、ガイド枠が緑色になります。認識枠が表示されない場合や、認識枠が目元、口元からずれている場合は、顔をガイド枠から外してから、もう一度向き直して認識枠が正しく表示されるようにしてください。
- 顔データ読取画面の登録件数バーに顔データの登録件数が表示されます。

2 **(撮影)を押す**

顔データを撮影します。
- 顔データの認識に失敗したときは、「OK」を選択し手順1に戻ります。

3 **(登録)を押す**

撮影した顔データを登録します。手順1～手順3を繰り返して、顔データを3件以上登録します。
- 3件目の顔データを登録すると、顔データを追加するとフェイスリーダーが使いやすくなる旨のメッセージが表示されます。「OK」を選択すると手順1に戻ります。
- (chクリア)を押すと顔データを取り消すかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると顔データ読取画面に戻ります。
- 同じ環境で登録を行うと登録できない場合があります。向きや場所を変えるなどすると登録できます。

お知らせ

●撮影時には着信／充電ランプが赤色で点滅し、マナーモードなどの設定に関わらずシャッター音が鳴ります。シャッター音の音量は変更できません。ただし、SDオーディオ再生中、一時停止中は、シャッター音は鳴りません。

顔データ読取画面の機能メニュー

機能メニュー	操作	補足
明るさ調節 フェイスリーダー起動時 ±0	▶明るさを選択 ●顔データ読取画面で(3)を押しても明るさを調節できます。	−3(暗い)～+3(明るい)で調節します。
ヘルプ表示	●顔データ読取画面で(0)を押してもヘルプを表示できます。 ●確認が終われば(chクリア)を押します。	撮影時の注意事項を確認できます。

登録画像リセット

フェイスリーダーに登録した顔データをすべて消去し、リセットします。

1 (メニュー)▶設定▶ロック／セキュリティ▶あんしんキー／ロック設定▶フェイスリーダー設定▶端末暗証番号を入力▶登録画像リセット▶YES

お知らせ

●PIMロック中、ICカードロック中はリセットできません。
●顔データをリセットすると、「PIM／ICカードセキュリティモード」が「端末暗証番号」に設定されます。

認識失敗画像

フェイスリーダーで認識動作を行った際に他人と判断された画像が5件まで保存されます。5件を超えると一番古いデータに上書きされます。不正にアクセスしようとした人間を特定するのに利用できます。

1 (メニュー)▶設定▶ロック／セキュリティ▶あんしんキー／ロック設定▶フェイスリーダー設定▶端末暗証番号を入力▶認識失敗画像▶画像を選択

●認識失敗画像を削除するには、(iα)(機能)を押して「1件削除」または「全削除」を選択し、「YES」を選択します。「全削除」を選択した場合は端末暗証番号の入力が必要です。

フェイスリーダーセキュリティ

お買い上げ時	標準

フェイスリーダーを利用する際にまばたきの動作も読み取るように設定します。

1 (メニュー)▶設定▶ロック／セキュリティ▶あんしんキー／ロック設定▶フェイスリーダー設定▶端末暗証番号を入力▶フェイスリーダーセキュリティ▶標準・高い

標準. . . . . . .まばたきの動作を読み取りません。
高い. . . . . . .まばたきの動作を読み取ります。

フェイスリーダー暗証番号変更

「PIM／ICカードセキュリティモード」を「フェイスリーダー」や「ダブルセキュリティ」に設定しているときに、フェイスリーダー認証の代わりに入力する暗証番号を設定します。

1 **メニュー▶設定▶ロック／セキュリティ▶あんしんキー／ロック設定▶フェイスリーダー設定▶端末暗証番号を入力▶フェイスリーダー暗証番号変更▶現在設定されているフェイスリーダー暗証番号を入力**

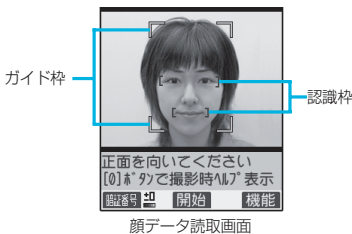
●お買い上げ時などで、初めて入力する場合は「0000」を入力します。

2 **新しいフェイスリーダー暗証番号(4～8桁)を入力▶YES**

フェイスリーダーでロックを解除する

「PIM／ICカードセキュリティモード」を「フェイスリーダー」に設定している場合は、端末暗証番号の代わりにフェイスリーダーで認証してロックを解除します。
「ダブルセキュリティ」に設定している場合は、フェイスリーダーで認証したあとに端末暗証番号を入力してロックを解除します。

1 **PIMロック・ICカードロックの解除画面▶ガイド枠に顔を合わせ、◉(開始)を押す**

顔データ読取画面

正面を向き、ガイド枠内に顔が入るようにします。目元と口元に認識枠が表示され、ガイド枠が緑色になります。認識枠が表示されない場合や、認識枠がずれている場合は、顔をガイド枠から外してから、もう一度向き直して認識枠が正しく表示されるようにしてください。

●登録したときと同じ表情で認証操作を行ってください。
●✉(暗証番号)を押してフェイスリーダー暗証番号を入力すると、フェイスリーダーの代わりに認証操作を行うことができます。
フェイスリーダー暗証番号についてはP.168参照。

■認証に失敗したときは
顔データの追加登録が可能な場合は、「OK」を選択すると追加登録を行うかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択し、端末暗証番号を入力すると顔データが追加登録されます。顔データの追加登録ができない場合は、「OK」を選択すると顔データ読取画面が表示されます。撮影した顔が他人と判断された場合は、シャッター音が鳴り、認識失敗画像が保存されます。「OK」を選択すると顔データ読取画面が表示されます。再度フェイスリーダーで認証を行ってください。
●顔データが10件登録されているときに追加登録を行うと、一番古いデータに上書きされます。

■「フェイスリーダーセキュリティ」が「高い」に設定されているときは
フェイスリーダー認証に成功するとまばたき検出を行います。ゆっくり目を閉じて開く動作を繰り返します。まばたき検出に失敗した場合は、認証が失敗となります。
●フェイスリーダー認証時と同じ環境でも、まばたき検出に失敗することがあります。向きや場所などを変えて操作してください。

<ダイヤル発信制限>

ダイヤルボタンを押して電話をかけられないようにする

お買い上げ時	解除

ダイヤルボタンでの発信を禁止します。FOMA端末を会社の業務用としてお使いになるときなど、私用電話を防止するために操作を制限します。

■実行できない操作
・ダイヤルボタンでの発信
・着信履歴による発信
・初期値設定
・電話帳（登録、修正、削除、microSDメモリーカードからのコピー、赤外線での送受信）
・Phone To／AV Phone To 機能
・Mail To 機能

■実行できる操作
・電話帳・ボイスダイヤルの呼出発信
・リダイヤル、発信履歴、送信アドレス一覧による発信（電話帳に登録されている電話番号のみ）

1 メニュー▶設定▶ロック／セキュリティ▶ダイヤル発信制限▶端末暗証番号を入力

「D」が表示され、ダイヤル発信制限が設定されます。
●ダイヤル発信制限を解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ
●ダイヤル発信制限中でも緊急通報110番／119番／118番にダイヤルボタンで電話をかけることはできます。
●ダイヤル発信制限を設定しているときは、宛先を電話帳から呼び出したときと送信アドレス一覧から電話帳に登録されている宛先を呼び出したときのみメールを送れます。

<サイドボタン操作>

サイドボタンの誤動作を防止する

お買い上げ時	閉じた時有効

FOMA端末を閉じたときに[P]、[▲]、[▼]が効かなくなるよう設定します。かばんの中での誤動作が防止できます。

1 メニュー▶[＊]（1秒以上）

「SIDE」が表示され、「閉じた時無効」に設定されます。
●「閉じた時有効」に設定するには、同様の操作を行います。
●「メニュー▶設定▶その他▶サイドボタン操作▶閉じた時有効・閉じた時無効」の操作を行っても設定できます。

お知らせ
●「閉じた時無効」に設定していても、プッシュトーク着信中は[P]を押して応答できます。また、プッシュトーク通信中は[P]を押して発言権を取得できます。
着うたフル®プレーヤー起動中やSDオーディオ起動中も[P]の操作は有効になります。
●平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などの外部機器を接続しているときは、本機能の設定に関わらずサイドボタンの機能は有効になります。

<履歴表示設定>

リダイヤル／着信履歴を表示できないようにする

お買い上げ時	着信履歴：ON　リダイヤル／発信履歴：ON

1 メニュー▶設定▶**その他▶履歴表示設定▶端末暗証番号を入力▶項目を選択**

着信履歴・・・・・・・・・・・・着信履歴と受信アドレス一覧の表示を設定します。
リダイヤル／発信履歴・・リダイヤル・発信履歴と送信アドレス一覧の表示を設定します。

2 **ON・OFF**

ON・・・・・・・履歴を表示できます。
OFF・・・・・・履歴を表示できません。
●「着信履歴」を「OFF」に設定した場合は、音声電話の伝言メモも再生できなくなります。

<シークレットモード><シークレット専用モード>

知られたくない電話帳やスケジュールを守る

お買い上げ時	解除

シークレットデータとして登録した電話帳やスケジュールは、通常のモードでは呼び出せません。シークレットモードでは、登録／編集した電話帳やスケジュールをシークレットデータとして登録するか通常のデータとして登録するかを選択でき、シークレット専用モードで登録／編集した電話帳やスケジュールはシークレットデータとして登録されます。
シークレットモードではすべてのデータ、シークレット専用モードではシークレットデータだけを呼び出します。

シークレットモードにする　メニュー40
シークレット専用モードにする　メニュー41

1 メニュー▶設定▶**ロック／セキュリティ**
▶シークレットモード・シークレット専用モード▶端末暗証番号を入力

「シークレットモード」を選択したときは、「S」が表示され、シークレットモードになります。
「シークレット専用モード」を選択したときは、「S」が点滅し、シークレットデータ登録件数が表示されたあと、シークレット専用モードになります。
●シークレットモードで電話帳またはスケジュールを呼び出した場合、通常の電話帳またはスケジュールでは「S」が点灯したままとなり、シークレットデータのときは「S」が点滅します。
●シークレットモード、シークレット専用モードを解除するには、同様の操作を行うか待受画面で☎を押します。

■シークレットデータを通常の電話帳・スケジュールに変更するには
シークレットモードまたはシークレット専用モードで、解除する電話帳・スケジュールの機能メニューから「シークレット解除」を選択します。

お知らせ
●シークレット登録できる電話帳はFOMA端末（本体）の電話帳のみです。
●シークレット登録した相手に電話をかけたときや、シークレット登録した相手から電話がかかってきたときは、発着信中の画面には名前は表示されずに電話番号が表示されます。
●シークレットデータを呼び出して電話をかけたり、メールを送信したときは、「リダイヤル」「発信履歴」「送信アドレス一覧」には記憶されません。
●シークレット登録した相手が発信者番号を通知して電話をかけてきたときは、「着信履歴」には通知された電話番号が表示されますが、登録されている名前は表示されません。
●「オールロック」と「シークレットモード」または「シークレット専用モード」を同時に設定している場合、「オールロック」を解除すると「シークレットモード」または「シークレット専用モード」も解除されます。

<シークレットメール表示設定>
送受信メールBOX内のメールにシークレットを設定する

お買い上げ時	表示する

シークレット登録した電話帳と一致する送信元／宛先のメール（シークレットメール）を表示するかどうかを設定します。

1 待受画面▶✉（ ）▶メール設定▶シークレットメール表示設定▶端末暗証番号を入力▶表示する・表示しない

お知らせ

- 「表示しない」に設定していても、シークレットモード、シークレット専用モードではシークレットメールを確認できます。
- 「表示しない」に設定している場合、同報メールの宛先にシークレット登録された宛先が含まれていると、そのメールは表示されません。
- 「表示しない」に設定している場合、チャットメンバーにシークレット登録されたメンバーが含まれていると、チャットメンバー全員のチャットメールが表示されません。

<メールセキュリティ設定>
送受信メールBOX内のメールを無断で表示できないようにする

お買い上げ時	すべてチェックなし

メールメニューの受信・送信・保存BOXにセキュリティを設定します。
セキュリティを設定したBOX内を表示するときは、端末暗証番号の入力が必要になります。

1 待受画面▶✉（ ）▶メール設定▶メールセキュリティ設定▶端末暗証番号を入力▶設定したいBOXにチェック▶✉（完了）

- セキュリティを設定すると、メールメニューの設定したBOXのアイコンに「 」が付きます。

お知らせ

- 送信BOX、受信BOXにセキュリティを設定すると、メールアドレスは送信アドレス一覧、受信アドレス一覧に記憶されません。

<電話帳指定設定>
電話帳に指定機能を設定する

お買い上げ時	すべて解除

指定発信制限
指定した電話番号以外への音声電話、テレビ電話、プッシュトークをかけられないようにします。FOMA端末を業務用としてお使いになるときは、私用電話の防止に有効です。音声電話をかけるときは、指定した電話帳を呼び出して( )または( )(発信)を押します。(テレビ電話をかけるときは( )、プッシュトーク発信するときは( )を押します。)電話番号は20件まで指定できます。

指定着信拒否
指定した電話番号からの音声電話、テレビ電話、プッシュトークがつながらないようにします。「電話を受けたくない相手」からの電話だけがつながらないように設定できます。発信者側には話中音が流れます。電話番号は20件まで指定できます。
相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」と「非通知着信設定」も合わせて設定することをおすすめします。

指定着信許可
指定した電話番号からの音声電話、テレビ電話、プッシュトークだけがつながるようにします。「電話を受けたい相手」からの電話だけがつながるように設定できます。電話番号は20件まで指定できます。
相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」も合わせて設定することをおすすめします。

指定発信制限・指定着信拒否・指定着信許可

1 電話帳詳細画面▶( )(機能)▶電話帳指定設定▶端末暗証番号を入力▶項目を選択

指定発信制限 . . . . . 指定した番号にだけ発信できます。
指定着信拒否 . . . . . 指定した番号からの電話は受けません。
指定着信許可 . . . . . 指定した番号からの電話だけを受けます。
指定転送でんわ . . . P.407参照
指定留守番電話 . . . P.404参照
設定された項目に「★」マークが付きます。

- 電話帳に複数の電話番号を登録している場合は、詳細画面で( )を押して電話帳指定設定を設定する電話番号を選びます。
- 複数の電話番号に指定発信制限を設定したいときは、指定発信制限を設定したあとに( )を押して電話帳の詳細画面に戻り、( )で設定したい電話番号を選んで操作を行ってください。
  ( )を押して待受画面に戻ると追加設定ができなくなります。追加設定をするときは、すでに設定されている電話番号の指定発信制限を解除し、解除した電話番号も含め、指定発信制限を設定し直してください。
- 電話帳指定設定を解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ
- シークレットデータとして登録した電話帳やFOMAカードの電話帳には設定できません。
- 「指定発信制限」を設定中に「PIMロック」を設定すると、すべての発信ができなくなります。
- 「指定着信拒否」、「指定着信許可」を設定中に「PIMロック」を設定すると、すべての着信を許可します。
- 「指定発信制限」を設定すると、以下の操作はできません。
  ・指定した電話番号以外の呼び出し、参照
  ・ダイヤル発信(指定した電話番号への発信を除く)
  ・着信履歴からの発信(指定した電話番号からの着信を除く)
  ・電話帳の登録、修正、削除、microSDメモリーカードからのコピー、FOMAカードへのコピー
- 「指定発信制限」と同時に「オート表示」を利用するには、「オート表示」に指定した電話番号にも「指定発信制限」を設定してください。
- 「指定発信制限」を設定していても、緊急通報110番/119番/118番に電話をかけることはできます。

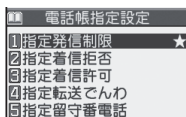
お知らせ

- 「指定着信拒否」に設定した電話番号から電話がかかってきたときや、「指定着信許可」に設定した電話番号以外から電話がかかってきたときは、「着信履歴」に「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のアイコンが待受画面に表示されます。また、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても発信者側には話中音が流れます。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定したときやサービスエリア外、電源を切っているときは、話中音は流れず、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」になります。
- SMSやｉモードメールは、「指定着信拒否」、「指定着信許可」に関係なく受信されます。

電話帳指定設定を確認／解除する

メニュー 2 6

1 **待受画面▶◎▶電話帳設定▶電話帳指定設定▶端末暗証番号を入力▶項目を選択**

電話帳指定設定
1 指定発信制限 ★
2 指定着信拒否
3 指定着信許可
4 指定転送でんわ
5 指定留守番電話

指定発信制限. P.172参照
指定着信拒否. P.172参照
指定着信許可. P.172参照
指定転送でんわ . . . P.407参照
指定留守番電話 . . . P.404参照

- i α（機能）を押して「設定確認」を選択しても電話帳指定設定を確認／解除できます。
- 設定されている項目には「★」マークが付きます。
- それぞれの電話帳指定設定に設定されている電話帳をすべて解除するには、i α（機能）を押して「設定解除」を選択し、「YES」を選択します。

2 **電話帳を選択**

電話帳指定設定が設定されている電話番号が表示されます。

- 電話番号ごとに電話帳指定設定を解除するには、同様の操作で解除したい電話番号を選択し、「YES」を選択します。

<非通知着信設定>

電話番号が通知されない着信があったときの動作を設定する

メニュー 1 0

お買い上げ時	通知不可能：許可／通常着信音と同じ　公衆電話：許可／通常着信音と同じ 非通知設定：許可／通常着信音と同じ

発信者番号非通知理由によって音声電話、テレビ電話、プッシュトークを受ける（許可）か受けない（拒否）かを設定できます。発信者番号非通知理由には「通知不可能」、「公衆電話」、「非通知設定」の3つがあります。

1 **メニュー▶設定▶ロック／セキュリティ▶非通知着信設定▶端末暗証番号を入力▶項目を選択**

通知不可能. . . .海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信した場合
（ただし、経由する電話会社などにより発信者番号が通知される場合もあります。）
公衆電話 . . . . . .公衆電話などから発信した場合
非通知設定. . . .発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合

2 **許可・拒否**

- 「許可」を選択した場合は、P.129手順3へ進み着信音を選択します。
  「通常着信音と同じ」に設定すると、「着信音選択」の「電話」で設定した着信音になります。

次ページにつづく

お知らせ

- 「拒否」に設定した場合は、電話がかかってきても着信音は鳴らず、「着信履歴」に「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のアイコンが待受画面に表示されます。また、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても相手には話中音が流れます。ただし、「留守番電話サービス」、「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定したときやサービスエリア外、電源を切っているときは、話中音は流れず、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」になります。
- SMSやｉモードメールは、本機能に関係なく受信されます。

＜呼出時間表示設定＞

呼出動作をすぐに開始しないようにする

1 ▶**着信**▶**呼出時間表示設定**▶**以下の操作を行う**

項目	操作	補足
呼出動作開始時間 お買い上げ時 呼出動作開始時間：OFF 開始時間：1秒（ON設定時）	▶**ON・OFF** ●「OFF」を選択した場合は、設定が終了します。 ▶**開始時間（秒）を入力** ●「01」〜「99」の2桁を入力します。	電話帳に電話番号が登録されていない相手から音声電話、テレビ電話、プッシュトークがかかってきたときの呼出動作が開始するまでの時間を設定します。ワン切りなどの迷惑電話対策に利用できます。
時間内不在着信表示 お買い上げ時 表示する	▶**表示する・表示しない**	「呼出動作開始時間」で設定した時間内に切れた着信を着信履歴に表示するかどうかを設定します。

お知らせ

- 電話帳に電話番号が登録されている相手から着信があった場合は、「186／184」を付加して登録されていても、着信と同時に呼出動作を開始します。ただし、PIMロック中やシークレットで登録されている相手からの着信については、本機能の設定に従って動作します。
- 呼出動作開始時間が伝言メモ設定の呼出時間より長いと、呼出動作を行わず伝言メモに移行します。呼出動作を行ってから伝言メモに移行させるには、伝言メモ設定の呼出時間を呼出動作開始時間よりも長く設定してください。留守番電話サービス、転送でんわサービス、オート着信の呼出時間でも同様です。

＜登録外着信拒否＞

電話帳に登録されていない番号からの着信を拒否する

お買い上げ時	許可

電話帳に電話番号が登録されていない相手からの音声電話、テレビ電話、プッシュトークを拒否できます。相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」と「非通知着信設定」も合わせて設定することをおすすめします。

1 ▶**ロック／セキュリティ**▶**登録外着信拒否**▶**端末暗証番号を入力**▶**許可・拒否**

お知らせ

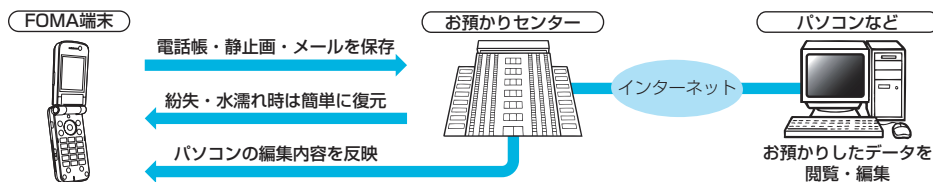
- シークレットで登録されている電話帳の相手から着信があった場合は、この設定に関わらず、着信は拒否されません。
- 「電話帳指定設定」の「指定着信許可」と同時に設定している場合は、「指定着信許可」が優先されます。

お知らせ

- 本機能を「拒否」に設定しているときに、電話帳に登録されていない電話番号から電話がかかってきた場合、「着信履歴」に「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のお知らせアイコンが待受画面に表示されます。また、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても発信者側には話中音が流れます。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定したときやサービスエリア外、電源を切っているときは、話中音は流れず、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」になります。
- 本機能を「拒否」に設定していても、「非通知着信設定」の各設定を「許可」に設定しているときは、「非通知着信設定」に従います。
- SMSやｉモードメールは、本機能に関係なく受信されます。
- 「呼出時間表示設定」の「呼出動作開始時間」を「ON」に設定中は、「登録外着信拒否」を「拒否」に設定できません。

電話帳お預かりサービスとは

電話帳お預かりサービスとは、お客様のFOMA端末に保存されている電話帳・静止画・メール(以下「保存データ」といいます。)を、ドコモのお預かりセンターに預けることができるサービスです。
万一の紛失や水濡れ等で保存データが消失しても、ｉモードで操作することにより、お預かりセンターに預けている電話帳などのデータを新しいFOMA端末に復元させることができます。さらに、お預かりセンターに預けている保存データを簡単にパソコンからMy DoCoMoのページで編集したり、編集した保存データをFOMA端末内に保存させることができます。

- 電話帳お預かりサービスのご利用方法の詳細などについては、「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください。

- 電話帳お預かりサービスはお申し込みが必要な有料サービスです。
（お申し込みにはｉモード契約が必要です。）

■電話帳お預かりサービスについて

電話帳．．．．．電話帳一覧画面･電話帳詳細画面の機能メニューからの操作(P.121、P.122参照)
「(メニュー)▶LifeKit」からの操作(P.126参照)
メール．．．．．メール一覧画面･メール詳細画面の機能メニューからの操作(P.252参照)
静止画．．．．．静止画一覧画面･静止画再生中の機能メニューからの操作(P.312参照)

その他の「あんしん設定」について

本章でご紹介した以外にも、以下のようなあんしん設定に関する機能／サービスがございますのでご活用ください。

目的	機能／サービス名称	参照先
いたずら電話や悪質なセールス電話などの「迷惑電話」を着信したくない	迷惑電話ストップサービス	P.407
発信者番号を通知してこない電話を着信したくない	番号通知お願いサービス	P.408
電子認証サービスを利用することにより、安全で信頼性のあるデータ通信を行いたい ※FirstPass対応サイトに限ります	FirstPass	P.217
ICカード機能の不正使用を防止したい	ICカードロック	P.296
必要な場合にFOMA端末のソフトウェアを更新したい	ソフトウェア更新	P.484
障害を引き起こすデータからFOMA端末を守りたい	スキャン機能	P.488
大量に届くメールの中から、必要なメールのみを受信したい	メール選択受信	P.241
災害が発生した際にｉモードを利用して安否情報を登録／確認したい	「ｉモード災害用伝言板」サービス	「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください
メールアドレスを変更したい	アドレス変更	
メールアドレスを忘れてしまったときなどに確認したい	アドレス確認	
指定したドメインからのメールを受信／拒否したい	迷惑メール対策（受信／拒否設定）	
ｉモードどうしのメールだけを受信／拒否したい		
指定したアドレスからのメールを受信／拒否したい		
SMSを受信したくない	迷惑メール対策（SMS拒否設定）	
1日に1台のｉモード端末から送信される200通目以降のｉモードメールを拒否します	ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限	
一方的に送られてくる広告メールを受信したくない	未承諾広告※メール拒否	
受信するメールのサイズを制限したい	メールサイズ制限	
メール機能の設定状況を確認したい	設定状況確認	
メール機能を一時的に停止したい	メール機能停止	

お知らせ

- 迷惑電話を防止する機能を同時に設定した場合の優先順位は、「迷惑電話ストップサービス」→「指定着信拒否」→「登録外着信拒否／非通知着信設定」→「呼出時間表示設定」の順になります。

カメラ

カメラをご利用になる前に

撮影時の留意事項

- 撮影前にレンズが汚れていないか確認してください。汚れている場合は、柔らかい布できれいに拭いてください。レンズに指紋や油脂などの汚れが付いていると、フォーカスが合わなくなったり、撮影した静止画や動画に汚れが映ったりします。
- 撮影時は、レンズに指、髪、ストラップなどがかからないように注意してください。
- 撮影するときは、FOMA端末が動かないようにしっかりと持ってください。動くと画像がぶれる原因となります。薄暗いところでは特にぶれやすいのでご注意ください。
- レンズを直射日光に向けて放置しないでください。素子の褪色・焼付きを起こすことがあります。
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、帯状の縞模様が上から下に流れて見える「フリッカー現象」が起こる場合があり、撮影のタイミングによっては、画像の色合いが変わることがあります。
- 日光の反射光などの部分的に極端に輝度の高い部分が含まれる被写体を撮影すると、明るい部分の一部分が黒い斑点になることがありますが、故障ではありません。
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 電池残量が少ないときは、撮影した静止画や動画を保存できない場合があります。
- ◉(撮影)を押してから実際に撮影されるまでに多少の時間差があります。そのため、速く動いている被写体を撮影すると、◉(撮影)を押したときにディスプレイに表示されていた位置とは少しずれて撮影されることがあります。
- microSDメモリーカードへ保存中にmicroSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDメモリーカードの故障の原因となります。
- ファイル保存中に電源を切った場合など、不完全なファイルが保存されることがあります。
- 本体またはmicroSDメモリーカードへ保存中に電池パックが抜かれた場合、そのデータの保証はいたしません。
- microSDメモリーカードをご利用になるには、別途microSDメモリーカードが必要となります。microSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。(P.334参照)

■お願い■
FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、保存内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え、FOMA端末に保存した内容は、microSDメモリーカード(P.334参照)を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink(P.417参照)やデータリンクソフト(P.468参照)とFOMA USB接続ケーブル(別売)を利用して、パソコンに保管できます。

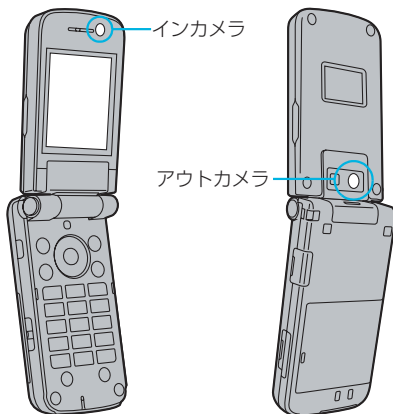
著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロード等により取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信等することはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

- お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例(迷惑防止条例等)に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

カメラのご使用について

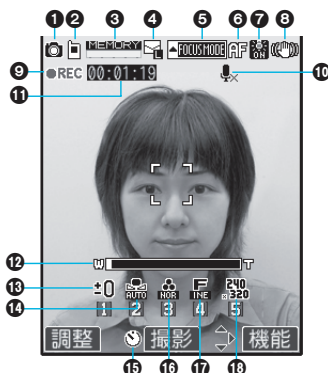
カメラを使って静止画や動画を撮影します。
カメラは前面(インカメラ)と背面(アウトカメラ)の2カ所のカメラを切り替えて使います。
カメラ切替についてはP.189参照。

■撮影時に使用するボタン

ボタン	機能
✉	アイコンメニュー操作
iα	機能メニュー呼出
●	シャッター・保存
右	望遠
左	広角
上	フォーカス設定切替(アウトカメラ使用時)
下	オートフォーカス(アウトカメラ使用時)
📷	カメラモード切替
1	明るさ調節
2	ホワイトバランス設定
3	撮影モード選択
4	画質設定
5	画像サイズ設定(フォトモード・連写モード時)
6	セルフタイマー設定
8	フォトライト(アウトカメラ使用時)
9	記録媒体設定切替
発信	カメラ切替
chクリア	カメラ終了(通常時) フォーカスロック解除(フォーカスロック時)
終話	カメラ終了

お知らせ

- カメラ起動中は着信/充電ランプが点滅します。点滅は消せません。
- シャッター音の音量を変更したり消去することはできません。また、ダウンロードしたメロディをシャッター音に設定することもできません。
- 撮影画面で何もボタン操作を行わないと、約3分後にカメラが自動的に終了します。
- 暗い場所で撮影する場合は、「撮影設定」の「撮影モード選択」を「ナイトモード」に設定してご利用ください。

撮影画面の見かた

撮影画面には、さまざまな設定がアイコンやバーで表示されています。

アイコン・バー名	アイコン	説明	参照先
❶カメラモード		フォトモード	P.184
		ムービーモード	P.187
	・・	連写モード(オート・マニュアル・オートブラケット)	P.184
❷記録媒体設定		本体:FOMA端末に保存	P.191
		microSD:microSDメモリーカードに保存	
❸記録可能枚数	—	静止画の残り撮影可能枚数	—
・使用メモリ量バー	MEMORY	ムービーモード時のメモリ使用状況 10段階で表示されます。メモリや保存件数がいっぱいのときは赤色で表示されます。	—
❹動画容量設定		メール制限(小):490Kバイトまで保存可能	P.189
		メール制限(大):1.99Mバイトまで保存可能	
		長時間:長時間撮影可能	
❺フォーカスガイド	FOCUS MODE	フォーカスガイド	—
❻フォーカス設定	AF	オート	P.190
		接写	
		風景	
❼フォトライト		フォトライトON	P.189
❽手ぶれ補正		手ぶれ補正ON	P.191
❾撮影状態	●REC	動画撮影中	P.187
❿撮影種別設定		映像のみ録画	P.191
⓫撮影日付挿入設定	撮影日付/Date	日付挿入	P.191
・記録可能時間	—	動画の記録可能時間(目安)	—
⓬ズームバー		望遠・広角の状態	P.188
⓭明るさ調節	-3~+3	撮影画像の明るさ	P.190
⓮ホワイトバランス設定		オート:ホワイトバランスを自動で調整	P.190
		晴天:屋外晴天下で撮影するとき	
		曇天:曇天や日陰で撮影するとき	
		電球:電球照明下で撮影するとき	
⓯連続撮影枚数	1/4	連写モードのマニュアル時の撮影枚数	P.191
・セルフタイマー設定		セルフタイマーON	P.193

アイコン・バー名	アイコン	区分	説明	参照先
⑯撮影モード選択	NOR		標準	P.190
			ポートレート	P.190
			スポーツ	P.190
			料理	P.190
			風景	P.190
			ナイトモード	P.190
			逆光	P.190
⑰画質設定	NORML	フォト、ムービー(microSD)	ノーマル:標準画質	P.190
	FINE	フォト、ムービー(microSD)	ファイン:やや高画質	P.190
	S FINE	フォト、ムービー(microSD)	スーパーファイン:高画質	P.190
	X FINE	ムービー(microSD)	エクストラファイン:最高画質	P.190
	STAND	ムービー(FOMA端末)	標準:標準画質	P.190
	HQ	ムービー(FOMA端末)	画質優先:画質重視	P.190
	LONG	ムービー(FOMA端末)	時間優先:撮影可能時間重視	P.190
	MOVE	ムービー(FOMA端末)	動き優先:動き重視	P.190
⑱画像サイズ	1536×2048	アウトカメラフォト	QXGA(1536×2048)	P.189
	1200×1600	アウトカメラフォト	UXGA(1200×1600)	P.189
	960×1280	アウトカメラフォト	SXGA(960×1280)	P.189
	480×640	アウトカメラフォト	VGA(480×640)	P.189
	352×288	アウトカメラフォト、インカメラフォト、連写	CIF(352×288)	P.189
	240×320	アウトカメラフォト、インカメラフォト、連写	待受(240×320)	P.189
※動画撮影時は、「画質設定」により画像サイズが変更されます。	176×144	アウトカメラフォト、インカメラフォト、連写、アウトカメラムービー、インカメラムービー	QCIF(176×144)	P.189
	128×96	アウトカメラフォト、インカメラフォト、連写、アウトカメラムービー、インカメラムービー	Sub-QCIF(128×96)	P.189
	320×240	アウトカメラムービー	QVGA(320×240)	P.189

静止画撮影の仕様

ファイル形式	JPEG
圧縮方式	Baseline方式
画素数	フォト:QXGA(1536×2048)、UXGA(1200×1600)、SXGA(960×1280)、VGA(480×640)、CIF(352×288)、待受(240×320)、QCIF(176×144)、Sub-QCIF(128×96) 連写:CIF(352×288)、待受(240×320)、QCIF(176×144)、Sub-QCIF(128×96)
拡張子	jpg
タイトル	保存日時と枚数により自動設定(2006年11月15日10時00分1枚目に撮影した場合) 「2006/11/15 10:00」
ファイル名	保存日時と枚数により自動設定(2006年11月15日10時00分1枚目に撮影した場合) 「200611151000000」(記録媒体設定:本体) 「P1000001」(記録媒体設定:microSD)
最大ファイルサイズ	1Mバイト
メール添付・出力	メール添付やmicroSDメモリーカード等によるFOMA端末外への出力可能
保存容量	約4.9Mバイト(本体) microSDメモリーカードについてはP.182参照。
表示方法	ピクチャビューア

保存できる静止画枚数の目安

保存できる枚数は撮影環境により異なります。
※本体・microSDメモリーカードには保存可能なファイル数に上限があります。

■P903iに保存可能な枚数

画質設定／画像サイズ	スーパーファイン	ファイン	ノーマル
QXGA(1536×2048)	約3枚	約3枚	約4枚
UXGA(1200×1600)	約4枚	約6枚	約7枚
SXGA(960×1280)	約6枚	約8枚	約11枚
VGA(480×640)	約30枚	約35枚	約42枚
CIF(352×288)	約50枚	約66枚	約85枚
待受(240×320)	約66枚	約75枚	約100枚
QCIF(176×144)	約120枚	約150枚	約200枚
Sub-QCIF(128×96)	約200枚	約200枚	約300枚

■microSDメモリーカード(64Mバイト)に保存可能な枚数

画質設定／画像サイズ	スーパーファイン	ファイン	ノーマル
QXGA(1536×2048)	約61枚	約76枚	約86枚
UXGA(1200×1600)	約88枚	約122枚	約152枚
SXGA(960×1280)	約122枚	約172枚	約223枚
VGA(480×640)	約543枚	約634枚	約761枚
CIF(352×288)	約951枚	約1268枚	約1902枚
待受(240×320)	約1268枚	約1268枚	約1902枚
QCIF(176×144)	約1902枚	約1902枚	約3804枚
Sub-QCIF(128×96)	約3804枚	約3804枚	約3804枚

●保存可能な枚数は目安です。なお、microSDメモリーカードのメーカにより保存できる枚数は異なります。

動画撮影の仕様

ファイル形式	MP4、ASF
符号化方式	映像:MPEG4※1 音声:AMR、G.726
画素数	QVGA(320×240)、QCIF(176×144)、Sub-QCIF(128×96)
拡張子	3gp、mp4、asf※2
タイトル	撮影日時により自動設定(2006年11月15日10時00分に撮影した場合) 「2006/11/15 10:00」
ファイル名	撮影日時により自動設定(2006年11月15日10時00分に撮影した場合) 「200611151000」(記録媒体設定:本体) 「MOL001」(記録媒体設定:microSD)
最大ファイルサイズ	2Mバイト(記録媒体設定:本体) 撮影時にｉモーションメール添付可能なサイズに制限できます。(P.189参照)
メール添付･出力	メール添付やmicroSDメモリーカード等によるFOMA端末外への出力可能
保存容量	約4.1Mバイト(本体) microSDメモリーカードについてはP.183参照。
表示方法	ｉモーションプレーヤー

※1 MPEG4とはMoving Picture Experts Group Phase4の略で、移動体通信やインターネットに向けた高能率符号化(データ圧縮)方式です。

※2 3gp、mp4、asfのファイル生成についてはP.344参照。

録画時間の目安

撮影できる時間は撮影環境により異なります。撮影画面に表示される記録可能時間･容量も参考にしてください。

■P903iに録画可能な時間

撮影種別設定	通常		映像のみ		音声のみ	
動画容量設定 / 画質設定	メール制限(小)	メール制限(大)	メール制限(小)	メール制限(大)	メール制限(小)	メール制限(大)
画質優先	約34秒	約137秒	約39秒	約155秒	約299秒	約1214秒
時間優先	約119秒	約483秒	約153秒	約618秒	約299秒	約1214秒
動き優先	約18秒	約73秒	約20秒	約78秒	約299秒	約1214秒
標準	約79秒	約318秒	約92秒	約371秒	約299秒	約1214秒

●録画可能な時間は目安です。
●記載している時間は、1回の撮影で録画可能な時間です。

■microSDメモリーカード(64Mバイト)に録画可能な時間

撮影種別設定 / 画質設定	通常	映像のみ	音声のみ
エクストラファイン	約7分	約8分	約180分
スーパーファイン	約10分	約10分	約180分
ファイン	約18分	約20分	約180分
ノーマル	約34分	約40分	約180分

●録画可能な時間の目安です。なお、microSDメモリーカードのメーカにより録画できる時間は異なります。
●記載している時間は、microSDメモリーカードの最大録画時間であり、1回の撮影で録画可能な時間です。

＜静止画撮影＞

静止画を撮影する

カメラを使って静止画を撮影します。撮影した静止画は本体の「マイピクチャ」内の任意のフォルダまたはmicroSDメモリーカードに保存されます。

- 保存先を選択するには「保存設定（記録媒体設定）」、「保存先フォルダ選択」参照。

静止画を撮影する

1 待受画面▶(カメラ)

撮影画面

- 「(メニュー)▶(LifeKit)▶カメラ」の操作を行うとカメラメニューが表示されます。「フォトモード」を選択します。
- カメラメニュー表示中に(iα)(機能)を押して「デスクトップ貼付」を選択すると、デスクトップに貼り付けます。（P.149参照）

2 ●(撮影)を押す

静止画を撮影します。

- オートフォーカスを利用する場合はP.189参照。
- インカメラで撮影するときは、左右が反転して表示（鏡像）されますが、再生時は正常に表示されます。
- 「自動保存設定」が「ON」に設定されている場合は、ポストビュー画面は表示されず自動的に保存されます。手順4へ進みます。

3 ●(保存)▶保存したいフォルダを選択

ポストビュー画面

撮影した静止画を保存します。

- 鏡像（左右反転）で保存する場合は、(iα)(機能)を押して「鏡像保存」を選択します。
- 「記録媒体設定」が「microSD」に設定されていると、「保存先フォルダ選択」で設定されているフォルダに保存されます。
- (chクリア)を押すと撮影した静止画を取り消して撮影画面に戻ります。
- (メール)(メール)を押すと撮影した静止画を簡単にｉモードメールに添付できます。（P.185参照）

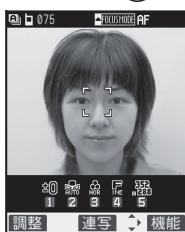
4 カメラを終了するには(終話)を押す

- 保存した静止画を再生するには、P.310参照。

■ポストビュー画面について
ポストビュー画面とは、撮影した静止画や動画を保存する前に確認できる画面です。

連続撮影する

静止画を連続撮影します。撮影枚数やオート撮影時の撮影間隔を設定できます。（P.191参照）

1 待受画面▶(カメラ)（1秒以上）▶(カメラ)

撮影画面

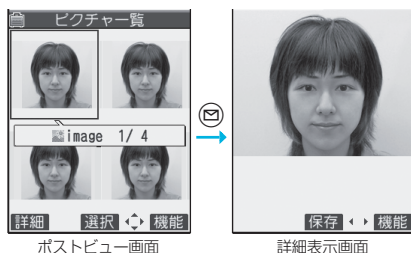
- 「オート」「マニュアル」「オートブラケット」のうち、前回起動したモード（お買い上げ時は「オート」）で起動します。連写モードを変更するには「連写設定」の「連写モード設定」参照。

2 ●(連写)を押す

連続撮影を開始します。
「連写モード設定」が「マニュアル」に設定されている場合は、撮影枚数分●(撮影)を押します。

- オートフォーカスを利用する場合はP.189参照。
- 撮影を途中で中止する場合は(chクリア)を押します。「オート」または「オートブラケット」モードで撮影している場合は、(メール)(中止)を押しても撮影を中止できます。また、FOMA端末を閉じても撮影を中止します。
- インカメラで撮影するときは、左右が反転して表示（鏡像）されますが、再生時は正常に表示されます。
- 「自動保存設定」が「ON」に設定されている場合は、ポストビュー画面は表示されず自動的に保存されます。手順5へ進みます。

3 1枚だけ選択して保存する場合

静止画を選んで[メール]([詳細])▶[決定]([保存])

ポストビュー画面　詳細表示画面

- 詳細表示画面で[左右]を押すと、前または次の静止画を表示します。
- 鏡像(左右反転)で保存する場合は、[iα]([機能])を押して「鏡像保存」を選択します。

複数の静止画を選択して保存する場合

保存したい静止画にチェック ▶[iα]([機能])▶選択保存 ▶保存・鏡像保存

すべての静止画を保存する場合

[iα]([機能])▶全保存▶保存・鏡像保存

- ポストビュー画面で[ch/クリア]を押すと撮影した静止画を取り消して撮影画面に戻ります。

4 保存したいフォルダを選択する

- 「記録媒体設定」が「microSD」に設定されていると、「保存先フォルダ選択」で設定されているフォルダに保存されます。
- すべての静止画を保存した場合は撮影画面に戻ります。

5 カメラを終了するには[終話]を押す

- 保存した静止画を再生するには、P.310参照。

お知らせ

- 「画像サイズ設定」や「表示サイズ設定」により画質が粗くなることがあります。
- 撮影時にはマナーモードなどの設定に関わらず「シャッター音選択」で選択した音が鳴ります。シャッター音の音量は変更できません。
- 撮影中にメールを受信しても撮影動作は継続されます。未読メールアイコンは表示されますが、メール受信画面は表示されません。
- 撮影中にマルチタスクで機能を切り替えた場合などは、未保存の静止画は削除されます。
- 撮影時に動くと画像がぶれる原因となりますので撮影の際はFOMA端末をしっかり固定してください。
- フォトモード・連写モードのマニュアルは撮影時に着信／充電ランプが赤色で点滅します。連写モードのオート・オートブラケットは赤色で点灯します。

フォトモードのポストビュー画面・連写モードの詳細表示画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
保存	撮影した静止画を保存します。 (P.184、P.185参照)
鏡像保存	フレームを付けずに撮影した静止画を鏡像(左右反転)のまま保存します。 (P.184、P.185参照)
iモードメール添付	撮影した静止画を保存し、iモードメールに添付します。 ▶フォルダを選択 P.228手順2へ進みます。
画像加工	 機能 画像加工画面 撮影した静止画を加工します。フォトモード時のみ設定できます。 ▶YES▶フォルダを選択 ●撮影した静止画を保存せずに加工する場合は「NO」を選択します。 ●画像加工画面の機能メニューについてはP.186参照。
ピクチャ貼付	待受画面などに貼り付けて表示します。フォトモード時のみ設定できます。 ▶フォルダを選択 P.314手順1へ進みます。 ●「記録媒体設定」を「microSD」に設定していても、本体に保存されます。
フレーム取替え	フレームを合成して撮影した静止画のフレームを取り替えます。フォトモード時のみ設定できます。 ▶フレームを選択 ●[左右]を押すと、前または次のフレームを表示します。 ●フレームを選択し直す場合は[メール]([取消])を押します。[iα]([機能])を押して「取消」を選択してもフレームを選択し直せます。 ▶[決定]([確定]) ●[iα]([機能])を押して「確定」を選択してもフレームを確定できます。 ●フレームの解除はできません。 ●お買い上げ時に登録されているフレームについてはP.449参照。

次ページにつづく

機能メニュー	操作・補足
正像表示・鏡像表示	正像表示と鏡像(左右反転)表示を切り替えます。
記録媒体設定	静止画の保存先を設定します。(P.191参照)
表示サイズ設定	静止画の表示方法を設定します。(P.191参照)
ファイル制限	ファイル制限を設定します。(P.192参照)
取り消し	撮影した静止画を保存しません。

お知らせ

<画像加工>

- ●画像加工できるのは以下のサイズの静止画です。CIF(352×288)、待受(240×320)、QCIF(176×144)、Sub-QCIF(128×96)
- ●インカメラで撮影した鏡像表示の画像は、「画像加工」を選択すると正像表示になります。

画像加工画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
フレーム合成	 ▶フレームを選択▶●(確定) ●(機能)を押して「確定」を選択してもフレームを確定できます。 ●◎を押すと、前または次のフレームを表示します。 ●中止する場合は✉(取消)を押します。(機能)を押して「取消」を選択しても中止できます。 ●加工した画像を保存する場合は●(保存)を押します。(機能)を押して「保存」を選択しても保存できます。保存についてはP.184参照。 ●お買い上げ時に登録されているフレームについてはP.449参照。
フォトレタッチ	 「ネガ」の場合 静止画の質感や色合いなどを設定します。 ▶項目を選択▶●(確定) **シャープ** . . 輪郭を強調します。 **ソフト** . . . . 輪郭をぼかします。 **セピア** . . . . 色調をセピアにします。 **浮き彫り** . . でこぼこの質感にします。 **ネガ** . . . . . . 色調を反転します。 **ミラー** . . . . 左右を反転します。 ●(機能)を押して「確定」を選択してもフォトレタッチを確定できます。 ●◎を押すと、前または次のフォトレタッチを表示します。 ●中止する場合は✉(取消)を押します。(機能)を押して「取消」を選択しても中止できます。 ●加工した画像を保存する場合は●(保存)を押します。(機能)を押して「保存」を選択しても保存できます。保存についてはP.184参照。
iモードメール添付	iモードメールに添付します。(P.185参照)
保存	加工した静止画を保存します。(P.184参照)

お知らせ

<フレーム合成>

- ●編集中の静止画と同じサイズのフレーム以外は合成できません。

連写モードのポストビュー画面の機能メニュー

- ●ポストビュー画面で静止画を選んで●(選択)を押すと、「☑」が付きます。再度●(選択)を押すと選択は解除されます。

機能メニュー	操作・補足
選択保存	撮影した静止画の中から複数の静止画を選択して保存します。(P.185参照)
全保存	撮影した静止画をすべて保存します。(P.185参照)

機能メニュー	操作・補足
全保存＆自作アニメ	撮影した全静止画を保存し、自作アニメとして登録します。 ▶保存 ●鏡像（左右反転）で保存するには「鏡像保存」を選択します。 ▶フォルダを選択▶＜未登録＞
1件選択	1件選択します。
全選択	全選択します。 ▶YES
1件解除	選択を解除します。
全解除	すべての選択を解除します。 ▶YES
記録媒体設定	静止画の保存先を設定します。（P.191参照）
正像表示・鏡像表示	正像表示と鏡像（左右反転）表示を切り替えます。
選択ファイル制限	ポストビュー画面で選択した複数の静止画のファイル制限を設定します。 ▶なし・あり ●ファイル制限についてはP.192参照。
全ファイル制限	ポストビュー画面に表示される全静止画のファイル制限を設定します。 ▶なし・あり ●ファイル制限についてはP.192参照。
取り消し	撮影した静止画を保存しません。

お知らせ

＜全保存＆自作アニメ＞

●「記録媒体設定」を「microSD」に設定しているときは、この機能は使用できません。

●1枚だけ撮影した場合は、この機能は使用できません。

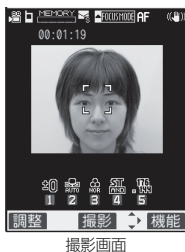
＜動画撮影＞

動画を撮影する

カメラを使って動画を撮影します。撮影した動画は本体の「ｉモーション」内の任意のフォルダまたはmicroSDメモリーカードに保存されます。

●保存先を選択するには「記録媒体設定」、「保存先フォルダ選択」参照。

1 待受画面▶(📷)（1秒以上）

撮影画面

●「(ﾒﾆｭｰ)▶LifeKit▶カメラ」の操作を行うとカメラメニューが表示されます。「ムービーモード」を選択します。

●カメラメニュー表示中に(iα)（機能）を押して「デスクトップ貼付」を選択すると、デスクトップに貼り付けます。（P.149参照）

2 (●)（撮影）を押す

録画を開始します。

●オートフォーカスを利用する場合はP.189参照。

●インカメラで撮影するときは、左右が反転して表示（鏡像）されますが、再生時は正常に表示されます。

3 (●)（終了）を押す

録画を終了します。

●(chｸﾘｱ)を押しても録画を終了できます。また、録画中に電話がかかってきた場合、電池切れアラームが鳴った場合、FOMA端末を閉じた場合は、自動的に録画を終了します。

●「自動保存設定」が「ON」に設定されている場合や「記録媒体設定」が「microSD」に設定されている場合は、ポストビュー画面は表示されず自動的に保存されます。「記録媒体設定」が「microSD」に設定されている場合、「保存先フォルダ選択」で設定されているフォルダに保存されます。手順5へ進みます。

4 (●)（保存）▶保存したいフォルダを選択

ポストビュー画面

撮影した動画を保存します。

●(chｸﾘｱ)を押すと撮影した動画を取り消して撮影画面に戻ります。

●(✉)（再生）を押すと撮影した動画を再生できます。（P.321参照）

次ページにつづく

5 カメラを終了するには(☎)を押す

●保存した動画を再生するには、P.321参照。

■ポストビュー画面について
ポストビュー画面とは、撮影した静止画や動画を保存する前に確認できる画面です。

■撮影中に録画が終了したり画質が悪くなったときは
データの保存や削除を繰り返しているmicroSDメモリーカードを使用していると、データの書き込み速度が遅くなり、途中で録画が終了したり画質が悪くなったりすることがあります。
以下の操作を行うと改善される場合があります。

1.microSDメモリーカード内のすべてのデータを、そのままパソコンにコピーする。
- ●パソコンの設定で、隠しフォルダや隠しファイルが表示されない設定になっている場合は、表示される設定に変更してから操作してください。設定の変更方法についてはお使いのパソコンの取扱説明書またはヘルプをご覧ください。
- ●パソコン上にコピーしたデータのフォルダ名やファイル名は変更しないでください。

2.パソコンでmicroSDメモリーカード内のすべてのデータを削除する。
- ●フォーマットしないでください。データが再生できなくなる場合があります。

3.手順1でコピーしておいたデータを、microSDメモリーカードにコピーして戻す。
- ●必ず同じmicroSDメモリーカードにコピーして戻してください。他のmicroSDメモリーカードに保存しても、著作権のあるデータは再生できません。

お知らせ
- ●撮影開始時・終了時にはマナーモードなどの設定に関わらず「シャッター音選択」で選択した音が鳴ります。シャッター音の音量は変更できません。
- ●録画中・録音中にボタン操作を行うと、操作音が録音される場合があります。
- ●録画中は着信／充電ランプが赤色に点滅します。

ムービーモードのポストビュー画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
再生	撮影した動画を再生します。(P.321参照)
保存	撮影した動画を保存します。(P.187参照)
iモードメール添付	撮影した動画を保存し、iモードメールに添付します。 ▶フォルダを選択 P.228手順2へ進みます。
待受画面設定	撮影した動画を保存し、待受画面に設定します。 ▶フォルダを選択
表示サイズ設定	動画の表示方法を設定します。(P.191参照)
ファイル制限	ファイル制限を設定します。(P.192参照)
取り消し	撮影した動画を保存しません。

お知らせ
<待受画面設定>
- ●動画によっては、正しく表示されない場合があります。
- ●待受画面に設定した動画の再生についてはP.138参照。

撮影時の設定を変える

撮影時にカメラの設定をします。

ズームを使う

カメラで写している映像を広角(Wide)・望遠(Tele)で表示します。
アウトカメラは最大約12.0倍、インカメラは最大約2.75倍までズームできます。

- ●ズームできる最大倍率は、カメラモードや撮影サイズによって異なります。
- ●アウトカメラでフォトモード時のQXGAはズームできません。
- ●インカメラでフォトモード時・連写モード時のCIF・待受、ムービーモード時のQVGAはズームできません。

1 撮影画面▶ ◎ でズーム倍率を調節

お知らせ
- ●広角・望遠にすると画質は多少変化することがあります。
- ●以下の場合、望遠は解除されます。
  - ・(☎)を押してカメラを終了したとき
  - ・サイズを変更したとき
  - ・カメラモードを切り替えたとき

オートフォーカスを使う

カメラで撮影する際に、フォーカスを簡単に合わせることができます。

1 撮影画面▶

フォトモードの場合

フォーカスが合うと確認音が鳴って枠が緑色になり、フォーカスがロックされます。
フォーカスが合わなかった場合は枠が赤色になります。

- フォーカスを設定し直す場合はを押します。

2 (撮影)を押す

- 「フォーカス設定」が「オート」に設定されている場合は、撮影画面で(撮影)を押すと、自動でフォーカスを合わせて撮影されます。

お知らせ

- ムービーモード時に「撮影種別設定」を「音声のみ」に設定している場合は、オートフォーカスは使用できません。

フォトライト

カメラ起動時	OFF

暗い場所などでアウトカメラを使用して撮影するときに、フォトライトを補助光として点灯させます。フォトモードでは撮影の瞬間に強く光ります。

1 撮影画面▶8

- 消灯する場合も8を押します。また、約30秒間何も操作をしなかった場合や、ポストビュー画面が表示されると消灯します。
- 撮影画面の機能メニューから「フォトライト」を選択して「ON」を選択してもフォトライトを点灯できます。

お知らせ

- ムービーモード時に「撮影種別設定」を「音声のみ」に設定している場合、フォトライトは使用できません。

画像サイズや画質などを設定する

撮影画面の機能メニュー

- カメラ撮影時・ファイル保存時の設定はカメラを終了しても戻りません。再度カメラを起動すると、前回カメラ終了時の設定となります。

機能メニュー	操作・補足
インカメラ・アウトカメラ お買い上げ時: アウトカメラ	インカメラとアウトカメラを切り替えます。 ●撮影画面表示中にを押してもインカメラとアウトカメラを切り替えられます。
カメラモード切替	▶**モードを選択** ●「連写モード」を選択した場合は、「オート」「マニュアル」「オートブラケット」のうち、前回起動していたモード(お買い上げ時は「オート」)で起動します。 ●撮影画面表示中にを押すごとに、「フォトモード」→「ムービーモード」→「連写モード」の順に切り替わります。
画像サイズ設定 お買い上げ時: フォトモード:待受(240×320) 連写モード:CIF(352×288) えチャット撮影:QCIF(176×144) [フォト・連写モード]	▶**画像サイズを選択** ●えチャット撮影時は「QCIF(176×144)」「Sub-QCIF(128×96)」のみ選択できます。 ●撮影画面表示中に5を押すとアイコンメニューが表示されます。(P.193参照) ●動画撮影時は、「画質設定」により画像サイズが変更されます。
動画容量設定 お買い上げ時: メール制限(大) [ムービーモードのみ]	▶**項目を選択** **メール制限(小)** . . . 490Kバイトまで撮影できます。 **メール制限(大)** . . . 1.99Mバイトまで撮影できます。 **長時間** . . . 長時間撮影できます。microSDメモリーカードに保存します。

次ページにつづく

機能メニュー	操作・補足
画質設定 お買い上げ時 フォト・連写モード：ファイン ムービーモード：標準	保存する際の画質を設定します。 ▶**画質を選択** ●ムービーモードの場合、「標準」「画質優先」「動き優先」「ノーマル」「ファイン」はQCIF（176×144）、「時間優先」はSub-QCIF（128×96）、「スーパーファイン」「エクストラファイン」はQVGA（320×240）の画像サイズになります。 ●撮影画面表示中に(4)を押すとアイコンメニューが表示されます。（P.193参照）
撮影設定（明るさ調節） カメラ起動時 ±0	−3（暗い）〜＋3（明るい）で調節します。 ▶**明るさ調節**▶**明るさを選択** ●撮影画面表示中に(1)を押すとアイコンメニューが表示されます。（P.193参照）
撮影設定（ホワイトバランス設定） カメラ起動時 オート	カメラで写している映像の発色を調整して、自然な色合いに設定します。 ▶**ホワイトバランス設定** ▶**項目を選択** **オート**. . ホワイトバランスを自動調整するとき **晴天**. . . . 屋外晴天下で撮影するとき **曇天**. . . . 曇天や日陰で撮影するとき **電球**. . . . 電球照明下で撮影するとき ●撮影画面表示中に(2)を押すとアイコンメニューが表示されます。（P.193参照）
撮影設定（色調切替） カメラ起動時 通常	▶**色調切替**▶**色調を選択** **通常**. . . . . 標準の色調で撮影します。 **セピア** . . . セピア調で撮影します。 **白黒**. . . . . 白黒調で撮影します。 **ヴィヴィッド** . . . . 輪郭をくっきりさせて撮影します。 **ナチュラル** . . . . 輪郭をなめらかにさせて撮影します。
撮影設定（撮影モード選択） カメラ起動時 標準	撮影する際に、場面に適した撮影モードを設定します。 ▶**撮影モード選択** ▶**撮影モードを選択** **標準**. . . 標準のモードです。 **ポートレート** . . . . . . 人物を撮影するのに適したモードです。 **スポーツ** . . . . . . スポーツ選手など動く被写体を撮影するのに適したモードです。 **料理**. . . 料理などを撮影するのに適したモードです。 **風景**. . . 風景を撮影するのに適したモードです。 **ナイトモード** . . . . . . 夜など暗い場所で撮影するのに適したモードです。 **逆光**. . . 逆光の際の撮影に適したモードです。 ●撮影画面表示中に(3)を押すとアイコンメニューが表示されます。（P.193参照）
撮影設定（フォーカス設定） カメラ起動時 オート	アウトカメラのフォーカスを設定します。 ▶**フォーカス設定**▶**項目を選択** **オート**. . . オートフォーカスを使用します。（P.189参照） **接写**. . . . . 近い距離にフォーカスを合わせます。 **風景**. . . . . 遠い距離にフォーカスを合わせます。 ●撮影画面表示中に(○)を押すごとに、「オート」→「接写」→「風景」の順に切り替わります。
撮影設定（シャッター音選択） お買い上げ時 シャッター音1	シャッター音を設定します。フォトモード時・連写モード時とムービーモード時それぞれ個別のシャッター音が設定できます。 ▶**シャッター音選択** ▶**シャッター音を選択** ●選択中は、確認のためシャッター音が鳴ります。
撮影設定（ちらつき補正設定） お買い上げ時 自動	アウトカメラで撮影時の撮影画面のちらつきを抑制します。 ▶**ちらつき補正設定** ▶**自動・モード1（50Hz地域）・モード2（60Hz地域）**

機能メニュー	操作・補足
保存設定(記録媒体設定) お買い上げ時 本体	撮影した静止画や動画の保存先を設定します。 ▶記録媒体設定▶本体・microSD ●撮影画面表示中に(9)を押すごとに、「本体」と「microSD」が切り替わります。
保存設定(自動保存設定) お買い上げ時 OFF	撮影後、自動的に保存するかどうかを設定します。「記録媒体設定」が「本体」のときは「カメラ」フォルダ内、「記録媒体設定」が「microSD」のときは「保存先フォルダ選択」で設定したフォルダ内に保存されます。 ▶自動保存設定▶ON・OFF
保存設定(ファイル制限)	ファイル制限を設定します。(P.192参照)
連写設定(連写モード設定) お買い上げ時 オート [連写モードのみ]	▶連写モード設定▶モードを選択 **オート** . . 「撮影間隔」、「撮影枚数」で設定した間隔、枚数を自動で撮影します。 **マニュアル** . . 「撮影枚数」で設定した枚数を1枚ずつ手動で撮影します。 **オートブラケット** . . 約0.3秒間隔で9枚の静止画を1枚ずつ明るさや色調を変えて自動で撮影します。 ●「マニュアル」を選択すると連続撮影枚数が表示されます。
連写設定(撮影間隔) お買い上げ時 CIF(352×288):1.0秒 待受(240×320)・QCIF(176×144)・Sub-QCIF(128×96):0.5秒 [連写モードのみ]	▶撮影間隔▶撮影間隔を選択 ●「画像サイズ設定」を「CIF(352×288)」に設定した場合、「撮影間隔」が「1.0秒」に設定されます。 ●連写モードのオート時のみ設定できます。
連写設定(撮影枚数) お買い上げ時 CIF(352×288):4枚(固定) 待受(240×320)・QCIF(176×144)・Sub-QCIF(128×96):5枚 [連写モードのみ]	▶撮影枚数▶撮影枚数(枚)を入力 ●「画像サイズ設定」が「CIF(352×288)」に設定されている場合、「撮影枚数」は変更できません。 ●連写モードのオート・マニュアル時のみ設定できます。

機能メニュー	操作・補足
手ぶれ補正 お買い上げ時 ON [ムービーモードのみ]	撮影時の手ぶれを補正します。 ▶ON・OFF
フォトライト	フォトライトを点灯させます。(P.189参照)
セルフタイマー設定	セルフタイマーを設定します。(P.193参照)
特殊撮影(フレーム撮影) カメラ起動時 OFF [フォトモードのみ]	フレームを合成して撮影します。 ▶フレーム撮影▶ON・OFF ●「OFF」を選択した場合は、設定が終了します。 ▶フレームを選択 ●お買い上げ時に登録されているフレームについてはP.449参照。
特殊撮影(マジックスタンプ) カメラ起動時 OFF [フォト・ムービーモード]	人物の顔などにマジックスタンプを貼り付けて撮影します。マジックスタンプは適切な位置に自動配置されます。 ▶マジックスタンプ▶ON・OFF ●「OFF」を選択した場合は、設定が終了します。 ▶マジックスタンプを選択 ●お買い上げ時に登録されているマジックスタンプについてはP.449参照。
特殊撮影(撮影日付挿入設定) お買い上げ時 OFF [フォトモードのみ]	撮影した静止画に日付を挿入するかどうかを設定します。あらかじめ「時計設定」で日付を設定しておいてください。 ▶撮影日付挿入設定▶ON・OFF ●「画像サイズ設定」を「VGA(480×640)」以上に設定している場合のみ設定できます。
撮影種別設定 カメラ起動時 通常 [ムービーモードのみ]	動画撮影時に映像と音声の両方、またはどちらか一方のみを記録するように設定します。 ▶通常・映像のみ・音声のみ
表示サイズ設定 お買い上げ時 等倍表示	撮影画面で静止画・動画を本来のサイズで表示(等倍表示)するか画面サイズに合わせて表示するかを設定します。 ▶等倍表示・画面サイズで表示
保存容量確認	空き容量と保存容量(目安)を表示します。 ●確認が終われば(chクリア)を押します。

次ページにつづく

お知らせ

<インカメラ・アウトカメラ>

- ●「画像サイズ設定」を「VGA(480×640)」以上に設定している場合は、インカメラに切り替えると「CIF(352×288)」で起動します。

<動画容量設定>

- ●「長時間」に設定した場合、「記録媒体設定」が「microSD」に設定されます。「長時間」に設定していてカメラを終了し再度起動した場合は、「メール制限(大)」に切り替わります。このとき「記録媒体設定」は「microSD」に設定されたままです。

<撮影設定>

- ●ナイトモード時は露光が長くなり画像がぶれやすくなるので、ご注意ください。
- ●ちらつき補正設定を「自動」に設定した場合、自動調整に時間がかかることがあります。その場合、撮影場所の電源周波数に合わせてモード1・モード2に切り替えてご利用ください。

<保存設定>

- ●microSDメモリーカード内の保存先を設定するには「保存先フォルダ選択」参照。
- ●「動画容量設定」を「長時間」に設定した場合は、「記録媒体設定」は「microSD」に設定され、「保存設定」は操作できません。
- ●「自動保存設定」が「ON」の場合、「保存先フォルダ選択」が設定されていない場合や設定されたフォルダが削除された場合は、最新のフォルダに保存されます。
- ●ムービーモード時に「記録媒体設定」を「microSD」に設定した場合は、「自動保存設定」を変更できません。

<連写設定>

- ●画像サイズによって設定できる枚数は異なります。設定できる枚数については以下の通りです。
  CIF(352×288): 4枚
  待受(240×320): 5枚～10枚
  QCIF(176×144): 5枚～20枚
  Sub-QCIF(128×96): 5枚～20枚

<特殊撮影>

- ●「画像サイズ設定」を「VGA(480×640)」以上に設定している場合はフレームを合成できません。
- ●インカメラでフレーム付きの静止画を撮影して保存すると、自動的に正像表示に変換されるのに伴い、フレームも反転します。
- ●フレームを合成して撮影した静止画は、鏡像で保存できません。
- ●マジックスタンプはフォトモードの場合、「VGA(480×640)」以上に設定していると貼り付けできません。

お知らせ

<表示サイズ設定>

- ●「画質設定」を「スーパーファイン」「エクストラファイン」に設定している場合は、常に「画面サイズで表示」になります。
- ●撮影画面での設定はポストビュー画面にも反映されますが、ポストビュー画面での設定は撮影画面には反映されません。

ファイル制限

お買い上げ時	なし

撮影中の静止画や動画を保存したときのファイル制限を設定します。
一次配布で受け取った側がｉモードメールに添付できなくなります。

1 **撮影画面▶iα(機能)▶保存設定▶ファイル制限**
または
フォトモード、ムービーモード、えチャットのポストビュー画面・連写モードの詳細表示画面▶iα(機能)▶ファイル制限

2 **なし・あり**

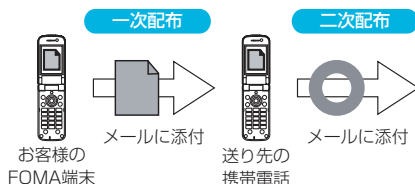
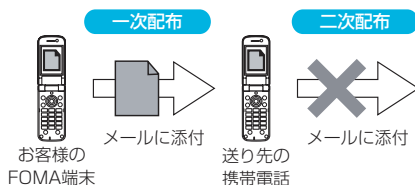
■ファイル制限「なし」の場合

一次配布　二次配布

お客様のFOMA端末　メールに添付　送り先の携帯電話　メールに添付

■ファイル制限「あり」の場合

一次配布　二次配布

お客様のFOMA端末　メールに添付　送り先の携帯電話　メールに添付

お知らせ

- ●「ファイル制限」を「あり」にした場合でも、赤外線通信機能で送信したり、microSDメモリーカードにコピーすることで静止画や動画を送り先の携帯電話から出力できます。
- ●保存後もP.312「ファイル制限」で設定を変更できます。
- ●ムービーモード時に「記録媒体設定」を「microSD」に設定した場合は、「ファイル制限」を設定できません。

セルフタイマー設定

カメラ起動時	OFF

1 **撮影画面▶(機能)▶セルフタイマー設定▶ON・OFF**

- 「OFF」を選択した場合は、設定が終了します。
- 撮影画面から6を押してもセルフタイマーを設定できます。

2 **作動時間(秒)を入力**

- 「01」～「15」の2桁を入力します。

■セルフタイマー設定を「ON」に設定したときは
「ON」に設定すると、撮影画面に「⏱」が表示されます。
(撮影)を押すと確認音が鳴り、「⏱」が点滅します。撮影の約5秒前までは約1秒ごとに着信／充電ランプが点滅します。撮影の約5秒前からは約0.5秒ごとに着信／充電ランプが点滅し、約1秒ごとに確認音が鳴ります。設定している作動時間の経過後に撮影されます。

- 撮影を中止する場合は、着信／充電ランプが点滅中に(中止)またはクリアを押します。撮影を中止しても「セルフタイマー設定」は「ON」のままです。
- セルフタイマー作動中に(撮影)を押すとすぐに撮影します。

お知らせ

- 連写モードのマニュアル時はセルフタイマーで撮影できません。
- 撮影が終了するとセルフタイマーは「OFF」になります。

■撮影画面表示中にアイコンメニューを操作するときは
機能メニューとは別に、アイコンを操作してカメラの設定を変更できます。「明るさ調節」「ホワイトバランス」「撮影モード選択」「画質設定」「画像サイズ設定」を設定できます。

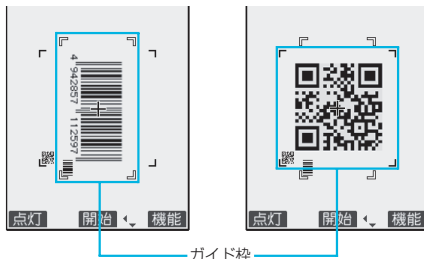
1. 撮影画面▶(調整)▶アイコンを選択▶項目を選択

- 撮影画面表示中に1、2、3、4、5を押してもアイコンメニューを操作できます。

<バーコードリーダー>

バーコードリーダーを利用する

アウトカメラを使ってJANコードやQRコードを読み取り、データとして登録できます。
データを使って電話をかけたり、i モードメールの作成、インターネット接続などができます。

■バーコードリーダーで読み取りを行うときは

ガイド枠

- コードに対してカメラを約8cm離して読み取ってください。ただし、コードが小さい場合はガイド枠内に大きく写るようにゆっくりカメラを近づけてください。
- コードに対してカメラが平行になるようにして読み取ってください。

■JANコード
JANコードとは、幅の異なる縦の線(バー)で数字を表現しているバーコードです。
8桁(JAN8)または13桁(JAN13)のJANコードを読み取れます。

- FOMA端末で読み取ると「4942857112597」と表示されます。

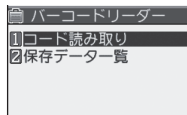
■QRコード
QRコードとは、縦・横方向でデータを表現している二次元コードの1つです。
文字として表示されるのは、英数字・文字(漢字・カナ・絵文字)です。
画像やメロディ情報を持つQRコードもあります。

- FOMA端末で読み取ると「株式会社NTTドコモ」と表示されます。

コード読み取り

バーコードリーダー起動時	フォトライト:OFF 明るさ:±0 ズーム:拡大

読み取ったデータは5件まで登録できます。
最大で16個まで分割されたQRコードを読み取れます。

1 メニュー▶LifeKit▶バーコードリーダー▶コード読み取り

バーコードリーダー選択画面

- 撮影画面の機能メニューから「カメラモード切替」の「バーコードリーダー」を選択してもバーコードリーダー選択画面が表示されます。
- iα(機能)を押して「デスクトップ貼付」を選択すると、デスクトップに貼り付けます。
(P.149参照)

2 読み取りたいコードをガイド枠に合わせて○を押す

コード読取画面

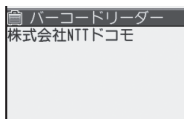
フォーカスロックされると確認音が鳴り、十字マークが緑色になります。

- 文字入力(編集)画面の機能メニューで「バーコードリーダー」を選択してもコード読取画面が表示されます。
- ✉(点灯／消灯)を押すとフォトライトを「ON」、「OFF」に設定できます。
- iα(機能)を押して「明るさ調節」を選択すると、明るさを−3(暗い)〜+3(明るい)で調節できます。
- ○を押すと縮小表示され、○を押すと元の表示に戻ります。

3 ●(開始)を押す

コードが読み取られます。(シャッター音は鳴りません。)

- 読み取りを中止する場合はchクリアまたは●(中止)を押します。
- 読み取りが完了すると読み取り完了音が鳴り、着信／充電ランプが点灯します。音量は固定されており変更できません。ただし、マナーモードや「着信音量」の「電話」が「消去」または「ステップ」に設定中は音が鳴りません。
- メロディのデータは「♪」、対応していないデータや破損しているデータは「NG」や「 」で表示されます。
- 文字入力(編集)中の場合はコード読取結果画面は表示されず、読み取ったコードの文字データ確認画面が表示されます。読み取った文字を入力する場合は●(確定)を押します。破棄する場合は✉(取消)またはchクリアを押します。表示できない文字は半角スペースに置き換えて表示されます。また、文字データのないコードを読み取った場合、正しく表示されません。
- 読み取り中に一定の時間が経過しても読み取れない場合は、読み取りが中断され、コード読取画面に戻ります。
- 読み取ったコードが分割されたQRコードの一部の場合、「OK」を選択して手順2〜手順3の操作を繰り返して残りのデータを読み取ります。

4 iα(機能)▶認識結果保存▶YES▶OK

コード読取結果画面

読み取ったデータが登録されます。

お知らせ

- JANコードとQRコード以外のバーコード･二次元コードは読み取れません。
- 読み取りに時間がかかる場合があります。読み取り中は、FOMA端末が揺れたりしないようにしっかり持って操作してください。
- 傷、汚れ、破損、印刷物の品質、光の反射、QRコードのバージョンによっては、正しく読み取りできない場合があります。
- バーコードの種類やサイズによっては、読み取れないことがあります。

コード読取結果画面の機能メニュー

機能メニュー	操作･補足
認識結果保存	読み取り結果を登録します。(P.194参照)

機能メニュー	操作・補足
一覧表示	登録データが1件以上ある場合に、バーコードリーダー一覧画面を表示します。 ●読み取り結果を登録せずに一覧画面を表示しようとすると、読み取りデータを取り消すかどうかの確認画面が表示されます。
Internet	選択中のURLに接続します。 ▶YES ●URLを選んで◎(選択)を押しても接続できます。
ｉモードメール作成	選択中のメールアドレスを宛先としたｉモードメールを作成します。 P.228手順3へ進みます。 ●メールアドレスを選んで◎(選択)を押してもｉモードメールを作成できます。 ●コード読取結果画面で「メール作成」を選択すると、新規メールの宛先、題名、本文にコード読取結果画面のデータが入力されます。
電話発信	選択中の電話番号に音声電話発信、テレビ電話発信、プッシュトーク発信します。 ▶発信方法を選択 ●「テレビ電話画像選択」を選択した場合はテレビ電話中に相手に送信する画像を選択します。 ●電話番号を選んで◎(選択)を押しても発信できます。 ▶発信 ●国際電話をかける場合は「国際ダイヤルアシスト」を選択します。(P.65参照) ●発信者番号通知を設定する場合は「発番号設定」を選択します。(P.48手順2参照)
電話帳登録	電話帳に登録します。(P.114参照)
Bookmark登録	選択中のURLをブックマークに登録します。 ▶YES▶OK ●「ページタイトル」を選択するとタイトルを編集できます。 ▶登録したいフォルダを選択 ●「Bookmark登録」を選択するとサイト名とURLが登録されます。
画像保存	読み取った画像データを保存して、待受画面などに設定します。 ▶保存したいフォルダを選択 P.208手順2へ進みます。 ●保存されている画像がいっぱいのときはP.211参照。
メロディ保存	読み取ったメロディデータを保存して、着信音などに設定します。 ▶YES▶保存したいフォルダを選択 P.209「メロディダウンロード」手順2へ進みます。 ●「♪」を選択するとメロディが再生されます。 ●保存されているメロディがいっぱいのときはP.211参照。
トルカ保存	読み取ったトルカデータを保存します。 ▶保存したいフォルダを選択 ●「 」を選択するとトルカが表示されます。 ●保存されているトルカがいっぱいのときはP.211参照。
ｉアプリ起動	読み取ったデータからｉアプリを起動します。 ▶YES ●コード読取結果画面で「ｉアプリ起動」を選択してもｉアプリが起動します。
コピー	▶コピーする始点を選択 ▶コピーする終点を選択 ●全角5000文字まで、半角10000文字までコピーできます。 ●コピーした文字を貼り付けるにはP.425参照。

お知らせ

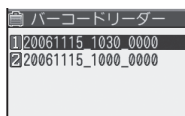
<Internet>
●URLは、バーコードリーダーでは半角512文字、テキストリーダーでは半角256文字まで表示されます。
<ｉモードメール作成>
●入力できない文字が含まれていた場合、宛先は入力されません。また、本文は文字がスペースになることがあります。
<電話発信>
●「110」「119」「118」を読み取って緊急通報できません。
<Bookmark登録>
●URLは半角512文字まで表示され、先頭から256文字のみ登録できます。
<画像保存>
●保存された画像のファイル名、タイトル名は「imageXXX」(XXXは数字)となります。
●1536×2048ドットを超える画像のバーコードは読み取れません。

次ページにつづく

お知らせ

＜メロディ保存＞
- ●保存されたメロディのファイル名は「melodyXXX」(XXXは数字)となります。
- ●タイトルが付けられていないメロディはファイル名がタイトルになります。
- ●メロディを再生する際、「着信音量」の「電話」で設定された音量で再生されます。

保存データ一覧を表示する

1 メニュー▶LifeKit▶**バーコードリーダー▶保存データ一覧**

バーコードリーダー一覧画面

登録済みのデータのタイトルが登録時の新しいものから順に表示されます。

- ●タイトルを選択すると、コード読取結果画面が表示されます。

お知らせ

- ●読み取ったデータのタイトルは以下のようになります。

(例)2006年11月15日10時00分に保存した場合
タイトル名:20061115_1000_0000
・同じ日時で複数保存した場合は下4桁の数字が「9999」まで順に増えます。

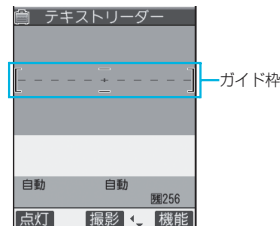
バーコードリーダー一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
タイトル編集	▶タイトルを入力 全角9文字まで、半角18文字まで入力できます。
結果表示	登録されているデータのコード読取結果画面が表示されます。
1件削除	▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

<テキストリーダー>

テキストリーダーを利用する

アウトカメラを使って、印刷されている電話番号やメールアドレス、URLなどの英数記号を読み取り、文字情報として登録できます。文字情報を使って電話をかけたり、iモードメールの作成、インターネット接続などができます。

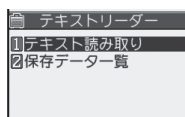
■テキストリーダーで読み取りを行うときは

- ●読み取りたい文字列をガイド枠内に入るようにして読み取ってください。
- ●オートフォーカスは約8cm以上の距離でフォーカスが合います。フォーカスが外れた状態で読み取りを行った場合は、認識率が低下します。
- ●読み取りたい文字列に対してカメラが平行になるようにして読み取ってください。

文字を読み取る

テキストリーダー起動時	フォトライト:OFF ズーム:拡大

読み取ったデータは、1件につき半角256文字、8件まで登録できます。
一度に読み取り可能な文字数は半角50文字までで、長い文字列は分割して読み取れます。

1 メニュー▶LifeKit▶**テキストリーダー▶テキスト読み取り**

テキストリーダー選択画面

- ●撮影画面の機能メニューから「カメラモード切替」の「テキストリーダー」を選択してもテキストリーダー選択画面が表示されます。
- ●i𝛼(機能)を押して「デスクトップ貼付」を選択すると、デスクトップに貼り付けます。(P.149参照)

2 読み取りたい文字をガイド枠に合わせて○を押す

テキスト読取画面

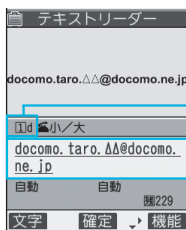
フォーカスロックされると確認音が鳴り、ガイド枠が緑色になります。

- ●✉(点灯／消灯)を押すとフォトライトを「ON」、「OFF」に設定できます。
- ●○を押すと縮小表示され、○を押すと元の表示に戻ります。

3 ●(撮影)を押す

文字が読み取られます。(シャッター音は鳴りません。)

- ●読み取りを中止する場合はch/クリアを押します。
- ●読み取りが完了すると読み取り完了音が鳴り、着信／充電ランプが点灯します。音量は固定されており変更できません。ただし、マナーモードや「着信音量」の「電話」が「消去」または「ステップ」に設定中は音が鳴りません。

4 読み取り結果を確認する

テキスト読取結果確認画面

読み取った文字に下線が付いて表示されます。読み取った文字が間違っていないか確認します。

- ●読み取りをやり直す場合はch/クリアを押します。
- ●文字を修正せずに登録する場合は手順6へ進みます。

■文字の修正方法

変換候補の文字を選択して修正する

それぞれの文字の変換候補が最大4種類まで表示されます。

1. ○を押して修正したい文字を選んで変換候補文字の番号を押す

直接入力して修正する

変換候補以外の文字などに修正したい場合は直接入力します。

1. ○を押して修正したい文字を選んで✉(文字)を押し、「英字入力モード」または「数字入力モード」に切り替える
   ▶文字を入力

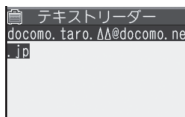
お知らせ

- ●＊による「.ne.jp」や「.co.jp」などの文字入力はできません。

5 ●(確定)を押す

読み取った文字が確定します。

- ●文字を結合させる場合は、手順2〜手順5を繰り返します。
- ●確定を解除する場合は、ch/クリアを押します。

6 i/α(機能)▶登録

テキスト読取結果画面

読み取った文字が登録されます。

- ●読み取った文字に「tel」「@」「http://」などが含まれる場合は、文字を選択することによってPhone To機能やWeb To機能などが起動できます。(P.211参照)ただし、複数ある場合でも、最初の1つ目のみ選択できます。
- ●✉(上書)を押すと、読み取り結果を上書きしてテキストリーダーを起動します。手順2へ進みます。

お知らせ

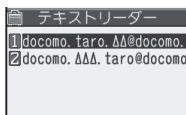
- ●読み取り中は、FOMA端末が揺れたりしないようにしっかり持って操作してください。
- ●読み取りできる文字は、英字(大文字･小文字)、数字、記号(# & ( ) ー. / : @ [ ] _ ˜ ? ＝ % +)です。漢字やひらがななどは読み取りできません。また、周囲の照明などの状況によっては、正しく読み取りできない場合があります。
- ●手書きの文字は正しく読み取りできません。

次ページにつづく

お知らせ

- FAXされたものやコピーしたもの、デザインされた文字や文字の間隔が一定でないもの、文字と背景が区別しにくいものなどは、正しく読み取りできない場合があります。

保存データ一覧を表示する

1 メニュー▶LifeKit▶**テキストリーダー**▶**保存データ一覧**

テキストリーダー一覧画面

登録済みの場合は、最初の半角22文字までが表示されます。

- 項目を選択すると、テキスト読取結果画面が表示されます。
- ✉(✉)を押すと、項目の文字を宛先にしてｉモードメールを作成できます。(P.198参照)

テキスト読取画面・テキスト読取結果確認画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
登録	読み取り結果を登録します。(P.197参照)
編集	読み取った文字列を編集して登録します。 ▶**文字を編集**
認識モード設定 テキストリーダー起動時 自動設定	読み取りたい文字列の種類に合わせて認識モードを設定できます。 ▶**項目を選択** **自動設定**．．文字の種類を自動で判別します。 URL．．．．．．URLを読み取る場合に選択します。登録する際に文字列の先頭を自動で「http://」または「https://」にします。 **アドレス**．．メールアドレスを読み取る場合に選択します。 **電話番号**．．電話番号を読み取る場合に選択します。 **数字**．．．．．．数字を読み取る場合に選択します。 **フリー文字列** ．．．．．．．．．．特に指定せずに英文字を読み取る場合に選択します。
反転モード設定 テキストリーダー起動時 自動設定	読み取りたい文字列の印刷の状態に合わせて反転モードを設定できます。 ▶**項目を選択** **自動設定** ．．．．印刷の状態を自動で判別します。 **無反転固定** ．．．．薄い色地に濃い色の文字が印刷されている場合に選択します。 **反転固定** ．．．．濃い色地に薄い色の文字が印刷されている場合に選択します。

テキスト読取結果画面・テキストリーダー一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
編集	▶**文字を編集**
Internet	読み取ったURLに接続します。 (P.195参照)
ｉモードメール作成	読み取ったメールアドレスを宛先としたｉモードメールを作成します。 P.228手順3へ進みます。 ●テキスト読取結果画面でメールアドレスを選択してもｉモードメールを作成できます。
電話発信	読み取った電話番号に発信します。 (P.195参照)
メールアドレス登録	読み取ったメールアドレスを電話帳に登録します。(P.114参照)
電話番号登録	読み取った電話番号を電話帳に登録します。(P.114参照)
Bookmark登録	読み取ったURLをブックマークに登録します。 ▶OK ●「ページタイトル」を選択するとタイトルを編集できます。 ▶**登録したいフォルダを選択**
電話帳検索	読み取った電話番号やメールアドレスを使って電話帳検索を行います。 ▶**検索方法を選択**▶◎ 電話番号やメールアドレスに該当する電話帳の一覧が表示されます。
詳細表示・一覧表示	テキスト読取結果画面とテキストリーダー一覧画面を切り替えます。
1件削除	▶YES
全削除	▶**端末暗証番号を入力**▶YES

ｉモード/ｉモーション/ｉチャネル

iモードとは

iモードでは、iモード対応FOMA端末(以下iモード端末)のディスプレイを利用して、サイト(番組)接続、インターネット接続、iモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

- iモードはお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込みに関するお問い合わせは、取扱説明書裏面をご覧ください。
- iモードサービスの詳細な内容については、最新の『ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)』をご覧ください。

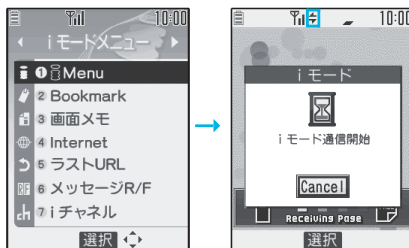
iモードのご使用にあたって

- サイト(番組)やインターネット上のホームページ(インターネットホームページ)の内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイト(番組)やインターネットホームページからiモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売したり、メールへの添付やiモード端末外へ出力することはできません。
- iモード端末に保存されている内容(メール、メッセージR/F、画面メモ、iアプリ、iモーション)やブックマークなどの登録内容は、iモード端末の故障、修理やその他の取扱いによって消失する場合がありますので、登録内容や重要な内容は控えをとっておくことをおすすめします。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 別のFOMAカードを差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源ONにした場合、機種によってサイトから取り込んだ静止画・動画・メロディやメールで送受信した添付ファイル(静止画・動画・メロディなど)、「画面メモ」および「メッセージR/F」などを表示・再生できません。
- FOMAカードにより表示・再生が制限されているファイルを待受画面・指定着信音などに設定されている場合、別のFOMAカードを差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源ONにすると、設定内容は初期状態にリセットされます。

<iMenu>

サイトに接続する

IP(情報サービス提供者)が提供する各種サービスを利用します。FOMA端末のディスプレイ上で、銀行の残高照会や各種チケットの予約などができます。(IPによりサービス内容が異なります。また、別途申し込みが必要なことがあります。)

1 待受画面▶iα(i)▶iMenu

iモードメニュー

通信中は「⇕」が点滅します。

- 接続中に中止する場合は「Cancel」を選択します。ページを取得中に中止する場合は✉(中止)を押します。
- 「メニュー▶iモード」の操作を行ってもiモードメニューが表示されます。

2 項目(リンク先)を選択

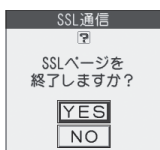
項目(リンク先)の選択を繰り返して目的のサイトを表示します。

- 表示したサイトの画面などで下線が表示されているときは、その項目を選択できます。項目を選ぶと反転表示されます。
- リンク先を示す項目の前に番号が表示されているときは、その番号と同じダイヤルボタンを押して直接リンク先に接続できます。(サイトによっては接続できない場合があります。)
- サイト表示中に◎を押すと行単位でスクロールします。
  また、▲や▼を押すと画面単位でスクロールします。

■SSLページを取得するときは

SSLに対応したサイトを取得するとき、左の画面が表示されます。取得が完了するとSSLページが表示され、「🔒」が点灯します。

●認証中に中止する場合は「Cancel」を選択します。認証後のページを取得中に中止する場合は(✉)(中止)を押します。

■通常のサイトに戻るときは

SSLに対応していないサイトに戻るとき、左の画面が表示されます。「YES」を選択すると通常のサイトが表示され、「🔒」が消灯します。

■ｉモードを終了するには

1.サイト表示中▶(☎)▶YES

「▯」が消灯し、ｉモードが終了します。

● ｉモード終了までに時間がかかる場合があります。

お知らせ

● ｉモードのサービスを受けているとき(ｉモード待機中)は「▯」が点滅します。
●サイトによっては、ご利用の前に別途書面などで申し込みが必要なものや、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。
●サイトによっては、画像を正しく表示できず、「✕」が表示される場合があります。
●サイトやデータによっては、メロディやPDFデータ、ソフトなどのダウンロードや保存ができない場合があります。
● ｉモード対応のインターネットホームページ(サイト)によっては、設定されている配色で文字が見えにくい場合や、見えない場合があります。

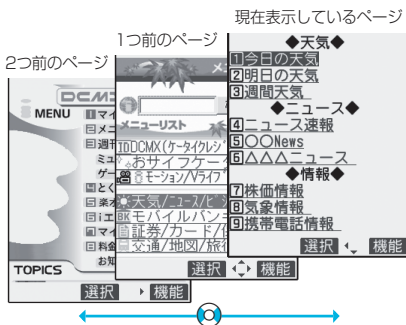
サイトの見かたと操作

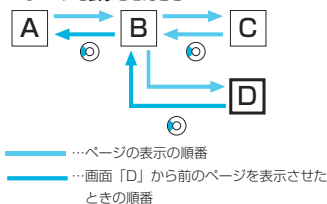
サイト表示中の基本的な操作方法について説明します。

取得済みのページに戻る・進む

FOMA端末は、表示したインターネットホームページなどのデータをキャッシュと呼ばれる一時的な記憶領域に保存します。(○)を押すことで、通信を行わずにキャッシュに記憶されたページを表示できます。

●FOMA端末のキャッシュサイズをオーバーしているページや、必ず最新情報を読み込むように設定(作成)されたページを表示する場合は、通信を行います。
● ｉモードを終了するとキャッシュはクリアされます。

1 **前のページを表示させるときは(○)を押す**
次のページを表示させるときは(○)を押す

■ページを移動するには

(○)を続けて押すことにより、これまで表示してきたページをさかのぼって表示できます。ただし、前のページ(「B」)から他のページ(「D」)を表示させたときは、「D」から(○)を2回押しても「C」は表示されません。「D」→「B」→「A」の順で前のページを表示します。

お知らせ

●Flash画像が表示されている場合は、表示動作が異なることがあります。

次ページにつづく

お知らせ

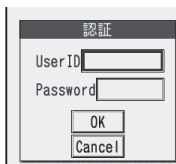
- キャッシュに記憶されたページを表示する際、以前接続したときに入力した文字や設定は表示されません。

サイトで選択・入力する

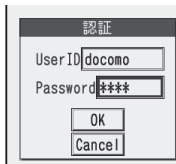
サイトでは、ラジオボタン、チェックボックス、テキストボックス、プルダウンメニューが表示されることがあります。

名称	表示例	操作・補足
ラジオボタン	○:非選択状態 ◉:選択状態	選択肢の中から1つだけ選択できます。
チェックボックス	□:非選択状態 ☑:選択状態	選択肢の中から複数の項目を選択できます。
テキストボックス	乗換駅から 下車駅へ 0. 検索	文字を入力できます。テキストボックスを選んで◉(選択)を押すと文字入力画面が表示されます。
プルダウンメニュー	東京 0. 検索 ↓ 東京 神奈川 千葉 埼玉 群馬 茨城 静岡	選択肢の一覧から項目を選択できます。プルダウンメニューを選んで◉(選択)を押すと選択肢一覧が表示されます。 ●プルダウンメニューによっては、複数の項目を選択できる場合があります。◎で項目を選んで◉(選択)を押すごとに項目の選択/選択解除を繰り返します。項目を選択し終わったら✉(完了)を押します。

Flash機能

Flashとは、絵や音を利用したアニメーション技術です。Flash画像によりサイトの表現力がより豊かになります。Flash画像を利用した画像をFOMA端末にダウンロードして再生したり、待受画面に設定したりできます。

お知らせ

- Flash画像によってはお客様のFOMA端末の端末情報データを利用するものがあります。端末情報データを利用するには、「端末情報データ利用設定」を「利用する」に設定してください。(お買い上げ時は「利用する」に設定されています。)
- Flash画像によっては効果音が鳴るものがあります。効果音を鳴らさない場合には、「効果音設定」を「効果音OFF」に設定してください。

お知らせ

- 待受画面に設定されたFlash画像の効果音やバイブレータは動作しません。
- SDオーディオ再生中は、Flash画像の効果音は鳴りません。
- Flash画像によっては再生中にFOMA端末を振動させるものがあります。「バイブレータ」の設定に関わらず振動します。
- Flash画像によっては画像を保存したり、画面メモに保存しても、画像の一部が保存されないなど、サイトでの見え方と異なる場合があります。
- Flash画像によっては、正しく動作しない場合があります。
- 再生中にエラーが発生したFlash画像は保存できません。
- Flash画像によっては◎や◉で操作できることがあります。「✥」が表示されていない場合でも、Flash画像の操作ができることがあります。

■User IDやPasswordを入力するには

認証
UserID docomo
Password ****
OK
Cancel

サイトによっては左のような認証画面が表示されることがあります。
(サイトによって表示される画面が異なります。)

1. 「User ID」欄を選択
   ▶User IDを入力
2. 「Password」欄を選択
   ▶Passwordを入力
   - 入力したPasswordは「＊」で表示されます。
3. OK
   User ID、Passwordの認証を始めます。

■携帯電話/FOMAカード(UIM)の製造番号について

項目を選択すると、携帯電話/FOMAカード(UIM)の製造番号を送信するかどうかの確認画面が表示されることがあります。送信してもよいときは「YES」を選択します。(chクリア)または✉(戻る)を押すと前の画面に戻ります。

お知らせ

- 送信される「携帯電話/FOMAカード(UIM)の製造番号」は、IP(情報サービス提供者)がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP(情報サービス提供者)の提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定するために用いられます。
- 送信するお客様の「携帯電話/FOMAカード(UIM)の製造番号」は、インターネットを経由してIP(情報サービス提供者)に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP(情報サービス提供者)などに通知されることはありません。

サイト表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
Bookmark登録	Bookmarkに登録します。(P.205参照)
画面メモ保存	画面メモを保存します。(P.207参照)
i Menu	「i Menu」に戻ります。
Bookmark一覧	Bookmarkフォルダ一覧画面を表示します。(P.206参照)
画面メモ一覧	画面メモフォルダ一覧画面を表示します。(P.207参照)
再読み込み	サイトの内容が最新の情報に更新されます。
画像保存	画像を保存します。(P.208参照)
背景画像保存	▶**YES**▶**保存したいフォルダを選択** P.208手順2へ進みます。
URL入力	URLを入力して、インターネットホームページを表示します。(P.204参照)
電話帳登録	電話帳に登録します。(P.114参照)
デスクトップ貼付	デスクトップに貼り付けます。(P.149参照)
i モードメール作成	表示中のサイトや画面メモのURL、画像をｉモードメールの本文に貼り付けまたは添付して作成します。 ▶**項目を選択** **URL貼付**．．．．URLをｉモードメールの本文に貼り付けます。 **画像添付**．．．．画像を選択してｉモードメールに添付します。 **デコメ挿入**．．．画像を選択してデコメールに貼り付けます。 P.228手順2へ進みます。 ●デコメールについてはP.232参照。
タイトル表示	表示中のサイトのタイトルを表示します。 ●確認が終われば「OK」を選択します。
URL表示	表示中のサイトのURLを表示します。 ●確認が終われば「OK」を選択します。
証明書表示	SSL通信で使用している証明書の所有者、発行元、有効期限、シリアル番号を確認します。最大5枚まで表示されます。 ●(◎)で画面をスクロールして確認できます。 ●確認が終われば(CLR)を押します。
文字コード変換	文字が正しく表示されないときに、正しい文字に変換します。 ●表示中のサイトにのみ有効です。
画像表示設定	画像を表示するかどうかを設定します。(P.213参照)
i モーションタイプ設定	取り込むｉモーションのタイプを設定します。(P.222参照)
効果音設定	Flash画像の効果音について設定します。(P.213参照)
リトライ	アニメーションやFlash画像を最初から再生します。

お知らせ

<ｉモードメール作成>
- 本文に貼り付けできるURLの文字数は半角256文字までです。半角256文字以上あるときは貼り付けできません。
- 画像によってはｉモードメールに添付または貼り付けできない場合があります。

<タイトル表示>
- タイトルは半角128文字まで、全角64文字まで表示されます。

<文字コード変換>
- 正しく表示されないときは、操作を繰り返してください。ただし、4回操作を行うと元の文字コードで表示されます。
- 変換操作を繰り返しても正しく表示されないことがあります。
- 正しく表示されているときに文字コード変換をすると、正しく表示されなくなる場合があります。

<ラストURL>

最後に見たサイトのページを表示する

ラストURLを表示する

ｉモードを終了すると、最後に表示していたページのURLが「ラストURL」に記憶されます。
ｉモードメニューで「ラストURL」を選択すると、最後に見たページを表示します。

1 **待受画面**▶(iα)(■)▶**ラストURL**

お知らせ

- URLが半角2048文字を超えるページ、メロディやｉモーションのダウンロード(取得)完了画面、FirstPassセンターのページなど、ページによっては「ラストURL」に記憶されません。

ラストURL初期化

最後に見たページのURLを初期化(ｉMenuのURLに)します。

1 **待受画面**▶(iα)(■)▶**ｉモード設定**▶**ラストURL初期化**▶**YES**

<マイメニュー>
マイメニューを使う

よく利用するサイトをマイメニューに登録することで、次回からそのサイトに簡単に接続できます。
最大45件まで登録できます。

マイメニューに登録する

1 登録したいサイトのページを表示 ▶マイメニュー登録

- 各サイトによりページ構成が異なります。

2 iモードパスワードのテキストボックスを選択▶iモードパスワードを入力 ▶決定

- 入力したiモードパスワードは「*」で表示されます。
- iモードパスワードについてはP.154参照。

お知らせ
- マイメニューに登録できないサイトもあります。
- メニュー／検索内の有料サイトに申し込まれると自動的にマイメニューに登録されます。

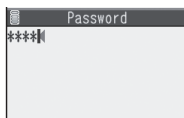
マイメニューからサイトを表示する

1 待受画面▶(i)( )▶iMenu ▶マイメニュー▶接続したいサイトを選択

お知らせ
- デュアルネットワークサービスをご利用の方は、mova端末で登録したマイメニューをFOMA端末で、FOMA端末で登録したマイメニューをmova端末でご利用になれない場合があります。

<iモードパスワード変更>
iモードパスワードを変更する

メッセージサービスやiモード有料サイトの申し込み／解約、メール設定をするときは「iモードパスワード」(4桁)が必要になります。ご契約時は「0000」(数字のゼロ4つ)がiモードパスワードとして設定されていますので、お客様独自のiモードパスワードに変更してください。
なお、iモードパスワードは他人に知られないよう十分ご注意ください。

1 待受画面▶(i)( )▶iMenu ▶料金＆お申込・設定▶オプション設定 ▶iモードパスワード変更▶「現在のパスワード」のテキストボックスを選択 ▶iモードパスワード(4桁)を入力

- 入力した数字は「*」で表示されます。
- ご契約時は「0000」となっていますので、初回は「0000」を入力します。

2 「新パスワード」のテキストボックスを選択 ▶新しいiモードパスワード(4桁)を入力

3 「新パスワード確認」のテキストボックスを選択▶新しいiモードパスワード(4桁)を入力▶決定

- 手順2で入力した数字と同じものを入力します。

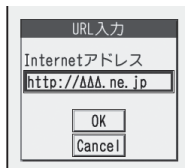
お知らせ
- iモードパスワードを万一お忘れになったときは、ご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの(運転免許証など)をドコモショップ窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。

<URL入力>
インターネットホームページを表示する

URLを入力して、インターネットホームページを表示します。
URLは半角の英数字や記号で入力します。

1 待受画面▶(i)( )▶Internet ▶<新規入力>

- サイト表示中は(i)(機能)を押して「URL入力」を選択すると手順2の画面が表示されます。テキストボックスを選択します。(テキストボックスには表示中のサイトのURLが入力されています。)

2 URLを入力▶OK

「http://」は自動的に挿入されます。

●半角256文字まで入力できます。

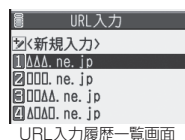
お知らせ

● i モードに対応していないインターネットホームページや接続するインターネットホームページによっては、正しく表示されないことがあります。
●受信したページのデータが1ページの取得可能な最大サイズを超えたときは、受信を中断します。「OK」を選択すると、取得したところまでのデータが表示される場合もあります。

<URL入力履歴>

URL入力履歴を使って表示する

入力したURLはURL入力履歴として10件まで記憶されます。

1 待受画面▶(iα)( )▶Internet ▶表示したいURLを選択▶OK

URL入力履歴一覧画面

●「http://」または「https://」以下の半角22文字までが表示されます。
●URLのテキストボックスを選択するとURLを編集できます。

お知らせ

●履歴が10件を超えたときは、古いものから順に自動的に上書きされます。
●URLを新規入力してアクセスした場合は、同じURLでも別の履歴として記録されます。

URL入力履歴一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
デスクトップ貼付	デスクトップに貼り付けます。(P.149参照)
i モードメール作成	選択中のURLを i モードメールの本文に貼り付けて作成します。 P.228手順2へ進みます。
削除	▶YES
選択削除	▶削除したいURL入力履歴にチェック▶(✉)(完了)▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

<ブックマーク>

ホームページやサイトを登録して素早く表示する

ブックマークに登録する

よく見るサイトのURLをブックマークに登録しておくと、直接目的のページを表示できます。100件まで登録できます。(全フォルダの合計)

1 登録したいページを表示中▶(iα)(機能) ▶Bookmark登録▶YES ▶登録したいフォルダを選択

●同じURLを登録しようとした場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。

お知らせ

●登録できる1件あたりのURLの文字数は半角256文字までです。URLの文字数がそれ以上あるときは登録できません。
●タイトルは全角12文字まで、半角24文字まで登録されます。タイトルの文字数がそれ以上ある場合は、超えた部分が削除されます。タイトルがないときは、「http://」または「https://」を除いたURLが登録されます。
●ブックマークに登録時は、サイトで入力した内容は登録されません。
●ページによっては、ブックマークに登録できないことがあります。

■お願い■

FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、登録内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え、FOMA端末に登録した内容は、別にメモを取ったり、microSDメモリーカード(P.334参照)を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink(P.417参照)やデータリンクソフト(P.468参照)とFOMA USB接続ケーブル(別売)を利用して、パソコンに保管できます。

ブックマークからホームページやサイトを表示する

1 待受画面▶(i)( )▶Bookmark ▶フォルダを選択 ▶表示したいブックマークを選択

Bookmarkフォルダ一覧画面　Bookmark一覧画面

●サイト表示中は(i)(機能)を押して「Bookmark一覧」を選択します。
●ブックマークを使ってページを表示させると、次回はそのブックマークがBookmark一覧画面の先頭に表示されます。

Bookmarkフォルダ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
フォルダ追加	新規フォルダを追加します。「Bookmark」フォルダ・「画面メモ」フォルダ以外にそれぞれ9件まで追加できます。 ▶**フォルダ名を入力** ●全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。
フォルダ名編集	▶**フォルダ名を編集** ●全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。
登録件数確認	全フォルダに登録されているブックマークの件数を表示します。 ●確認が終われば(CLR)を押します。
赤外線全件送信	赤外線で全件送信します。(P.347参照)
iC全件送信	iC通信で全件送信します。(P.349参照)
フォルダ削除	フォルダとフォルダ内のすべてのブックマークや画面メモを削除します。「Bookmark」フォルダ・「画面メモ」フォルダは削除できません。 ▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**
Bookmark全削除	すべてのブックマークを削除します。フォルダは削除されません。 ▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**

Bookmark一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
フォルダ移動	ブックマークや画面メモを別のフォルダに移動します。 ▶**移動先のフォルダを選択** ▶**移動したいブックマークや画面メモにチェック**▶(✉)(完了)▶**YES**
タイトル編集	▶**タイトルを編集** ●ブックマークの場合、全角12文字まで、半角24文字まで入力できます。空白で(●)(確定)を押した場合は、「http://」または「https://」を除いたURLが登録されます。 ●画面メモの場合、全角11文字まで、半角22文字まで入力できます。空白で(●)(確定)を押した場合は、「無題」と登録されます。
デスクトップ貼付	デスクトップに貼り付けます。(P.149参照)
iモードメール作成	選択中のURLをiモードメールの本文に貼り付けて作成します。 P.228手順2へ進みます。
iモードメール添付	ブックマークをiモードメールに添付して送信します。 P.228手順2へ進みます。
赤外線送信	赤外線で1件送信します。(P.346参照)
iC送信	iC通信で1件送信します。(P.348参照)
microSDへコピー	microSDメモリーカードへ1件コピーします。(P.336参照)
URLコピー	ブックマークのURLをコピーします。 ▶**コピーする始点を選択** ▶**コピーする終点を選択** ●コピーした文字を貼り付けるにはP.425参照。
登録件数確認	表示しているフォルダ内に登録されているブックマークの件数を表示します。 ●確認が終われば(CLR)を押します。
削除	▶**YES**
選択削除	▶**削除したいブックマークや画面メモにチェック**▶(✉)(完了)▶**YES**
全削除	フォルダ内に登録されているすべてのブックマークや画面メモを削除します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**

<画面メモ>

サイトの内容を保存する

画面メモを保存する

一度表示したページを画面メモとしてFOMA端末に保存できます。画面メモに保存したページは、iモードに接続せずに表示できます。
最大100件まで保存できます。(データ量により実際に保存できる件数が少なくなる場合があります。)

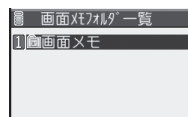
1 保存したいページを表示中▶i(機能)▶画面メモ保存▶YES▶保存したいフォルダを選択

●保存されている画面メモがいっぱいのときはP.211参照。

お知らせ

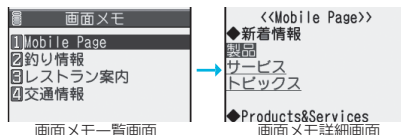
●タイトルは全角11文字まで、半角22文字まで登録されます。タイトルの文字数がそれ以上ある場合は、超えた部分が削除されます。
●ダウンロード(取得)完了画面などを保存すると、画面とともにそのデータも保存されます。(着うたフル®、再生期限付きのiモーション、FOMA端末外への出力が禁止されているトルカの取得完了画面は保存できません。)ダウンロード(取得)完了画面は、画面メモとして保存できない場合があります。ダウンロード(取得)完了画面以外は、そのページのURLが半角256文字まで保存されます。
●SSL対応のページの画面を保存すると、画面とともにそのページのSSL証明書も保存されます。
●テキストボックスに入力した内容や、プルダウンメニュー、チェックボックス、ラジオボタンで選択した内容は保存されません。
●1件あたり100Kバイトまでのページを保存できます。ただし、iモーションの取得完了画面は500Kバイトまで、テンプレートの取得完了画面は200Kバイトまで、トルカの取得完了画面は1Kバイトまで、ダウンロード辞書の取得完了画面は20Kバイトまで保存できます。

画面メモを表示する

1 待受画面▶i( )▶画面メモ

画面メモフォルダ一覧画面

●サイト表示中はi(機能)を押して「画面メモ一覧」を選択します。

2 フォルダを選択▶画面メモを選択

画面メモ一覧画面　画面メモ詳細画面

●Oで他の画面メモを確認できます。

お知らせ

●画面メモに保存されたページは保存したときの情報です。最新のページの情報と異なる場合があります。

画面メモフォルダ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
フォルダ追加	フォルダを追加します。(P.206参照)
フォルダ名編集	フォルダ名を編集します。(P.206参照)
保存件数確認	全フォルダに保存されている画面メモの件数と保護されている画面メモの件数を表示します。 ●確認が終われば(chクリア)を押します。
セキュリティ設定／解除	端末暗証番号を入力しないとフォルダ内を表示できないように設定します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES フォルダが「 」に変わります。 ●解除する場合も同様の操作を行います。
フォルダ削除	フォルダを削除します。(P.206参照)
画面メモ全削除	すべての画面メモを削除します。フォルダは削除されません。 ▶端末暗証番号を入力▶YES

画面メモ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
フォルダ移動	フォルダを移動します。(P.206参照)
タイトル編集	タイトルを編集します。(P.206参照)
保護／保護解除	画面メモを削除されないように保護します。最大50件まで保護できます。(保護するページのデータ量により件数は変動します。) 保護すると「 」が表示されます。 ●保護を解除する場合も同様の操作を行います。
保存件数確認	表示しているフォルダ内に保存されている画面メモの件数と保護されている画面メモの件数を表示します。 ●確認が終われば(chクリア)を押します。
削除	1件削除します。(P.206参照)
選択削除	選択して削除します。(P.206参照)
全削除	全削除します。(P.206参照)

画面メモ詳細画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
画像保存	画像を保存します。(P.208参照)
背景画像保存	▶YES▶保存したいフォルダを選択 P.208手順2へ進みます。
電話帳登録	電話帳に登録します。(P.114参照)
タイトル編集	タイトルを編集します。(P.206参照)
保護／保護解除	保護／保護解除します。(P.207参照)
iモードメール作成	iモードメールを作成します。(P.203参照)
URL表示	画面メモのURLを表示します。 ●確認が終われば「OK」を選択します。
証明書表示	SSL通信で使用している証明書を確認します。(P.203参照)
効果音設定	Flash画像の効果音について設定します。(P.213参照)
リトライ	アニメーションやFlash画像を最初から再生します。
削除	▶YES

サイトからファイルやデータをダウンロードする

サイトから画像やメロディなどのファイルやデータをダウンロードしてFOMA端末に保存できます。ファイルによってはmicroSDメモリーカードに直接保存できるものもあります。

画像ダウンロード

サイト、画面メモに表示されている画像を保存して、待受画面、ウェイクアップ画面などに設定できます。デコメール用の画像やフレーム、スタンプ画像なども保存できます。

1 サイト表示中・画面メモ詳細画面
▶(機能)▶画像保存
▶画像を選択▶YES
▶保存したいフォルダを選択

●保存されている画像がいっぱいのときはP.211参照。

2 ピクチャ貼付するには「YES」を選択

P.314手順1へ進みます。

お知らせ

●ファイル名は半角36文字までで保存されます。ファイル名が指定されていない場合には、ダウンロードしたURLの一部または「imageXXX」(XXXは数字)で保存されます。

お知らせ

●サイト上では表示されていても、FOMA端末に保存してピクチャビューアで表示すると、表示されない場合があります。
●以下の条件を満たす画像は、デコメ絵文字として保存されます。
・GIFまたはJPEGの画像
・20ドット×20ドットの画像
・ファイル制限なしの画像
・6Kバイト以下の画像
●以下の条件を満たす画像は、フレームまたはスタンプ画像として保存されます。
・透過GIF(アニメーションGIFを除く)
・拡張子が「ifm」
・CIF(352×288)以下の画像
CIF(352×288)、待受(240×320)、QCIF(176×144)、Sub-QCIF(128×96)の画像はフレーム、それ以外はスタンプとなります。
●1件あたり100Kバイトまでの画像を保存できます。

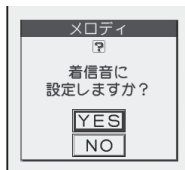
メロディダウンロード

サイトからメロディをダウンロードして、着信音などに設定できます。メロディは20～最大400曲まで保存できます。(データ量により実際に保存できる曲数が少なくなる場合があります。)

1 メロディダウンロード可能なサイトを表示
▶メロディを選択▶保存▶YES
▶保存したいフォルダを選択

取得完了画面

●「再生」を選択するとメロディが再生されます。メロディ再生中の操作についてはP.331参照。
●「情報表示」を選択するとメロディの情報が表示されます。(P.333参照)
●保存されているメロディがいっぱいのときはP.211参照。
●(機能)を押して「画面メモ保存」を選択すると、画面メモとして保存します。(P.207参照)

2 着信音に設定するには「YES」を選択▶着信の種類を選択

お知らせ

- メロディには、あらかじめ再生部分が指定されていることがあります。再生部分が指定されたメロディを着信音などに設定したときは指定された箇所のみが再生されます。
- ダウンロードしたメロディは正しく再生されない場合があります。
- ファイル名は半角36文字までで保存されます。ファイル名が指定されていない場合には、ダウンロードしたURLの一部または「melodyXXX」(XXXは数字)で保存されます。
- タイトルが付けられていないメロディは取得完了画面や一覧では「無題」と表示されます。
- 1件あたり100Kバイトまでのメロディを保存できます。

PDFデータダウンロード

サイトからPDFデータをダウンロードして表示します。PDFデータは最大89件まで保存できます。(データ量により実際に保存できる件数が少なくなる場合があります。)

1 PDFデータダウンロード可能なサイトを表示▶PDFデータを選択

- ダウンロードを中止する場合は、✉(中止)を押します。
- すべてのページをダウンロードしないと表示されないPDFデータの場合、すべてダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択して保存したいフォルダを選択します。
- すべてのページをダウンロードしていない場合は、「残り全てを取得」で残りページを追加でダウンロードできます。
- 表示しているPDFデータをFOMA端末に保存するにはP.353をご覧ください。ダウンロードできていないページがあるPDFデータやダウンロードが途中で中断されたPDFデータなども保存できます。
- PDFデータ表示中の操作についてはP.350参照。

■ダウンロードするPDFデータにパスワードが設定されているときは

PDFデータによっては表示する際に左の画面が表示される場合があります。

1.「パスワード」欄を選択▶パスワードを入力▶OK

- FOMA端末に保存されていないPDFデータの場合、ダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択した場合は、保存したいフォルダを選択します。
- 入力したパスワードは「*」で表示されます。

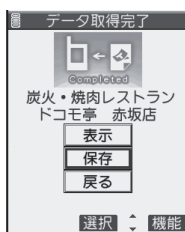
お知らせ

- iモードでサイトからダウンロードできるPDFデータの最大データサイズは2Mバイトまでです。2Mバイトを超えるデータはダウンロードできません。
- ダウンロードに失敗したPDFデータは再ダウンロードすると表示できる場合があります。

トルカダウンロード

サイトからトルカをダウンロードします。
トルカは最大495件まで保存できます。(データ量により実際に保存できる件数が少なくなる場合があります。)

1 トルカダウンロード可能なサイトを表示▶トルカを選択

2 保存▶YES▶保存したいフォルダを選択

取得完了画面

- 「表示」を選択すると、トルカのプレビューが表示されます。
  プレビュー表示中に◉(保存)を押しても保存できます。
- 保存されているトルカがいっぱいのときはP.211参照。
- iα(機能)を押して「画面メモ保存」を選択すると、画面メモとして保存します。(P.207参照)

お知らせ

- トルカがトルカ(詳細)の場合は1件あたり100Kバイトまで、詳細を取得する前のトルカの場合は1件あたり1Kバイトまでダウンロードできます。

テンプレートダウンロード

サイトからデコメール用のテンプレートをダウンロードします。お買い上げ時のものも含めて最大45件まで保存できます。(データ量により実際に保存できる件数が少なくなる場合があります。)

●お買い上げ時に登録されているテンプレートは「P-SQUARE」のサイトからダウンロードできます。(P.211参照)

1 テンプレートダウンロード可能なサイトを表示▶テンプレートを選択▶保存▶YES

取得完了画面

●「表示」を選択するとテンプレートの内容が表示されます。

●「情報表示」を選択するとテンプレートの情報が表示されます。(P.236参照)

●保存したテンプレートの確認方法についてはP.235参照。

●保存されているテンプレートがいっぱいのときはP.211参照。

●(機能)を押して「画面メモ保存」を選択すると、画面メモとして保存します。(P.207参照)

お知らせ

●テンプレートにデコレーションが1つもない場合やFOMA端末外への出力が禁止されている画像が挿入されていた場合は、保存できません。

●テンプレートにファイルが添付されている場合は、添付ファイルは削除されます。

●ダウンロードしたテンプレートのタイトル名は「YYYY/MM/DD hh:mm」となります。
(Y:西暦、M:月、D:日、h:時、m:分)

●1件あたり200Kバイトまでのテンプレートをダウンロードできますが、メール本文が全角5000文字、半角10000文字を超えている場合や、挿入画像の合計サイズが90Kバイトを超えている場合は保存できません。

辞書ダウンロード

サイトから辞書をダウンロードします。お買い上げ時のものも含めて5件まで保存できます。

●お買い上げ時に登録されている辞書は「P-SQUARE」のサイトからダウンロードできます。(P.211参照)

1 辞書ダウンロード可能なサイトを表示▶辞書を選択▶保存▶YES

取得完了画面

●「情報表示」を選択すると、辞書の情報が表示されます。(P.426参照)

●(機能)を押して「画面メモ保存」を選択すると、画面メモとして保存します。(P.207参照)

2 <未登録>▶辞書ファイルに設定するには「YES」を選択

●登録済みの項目を選択した場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択します。

●ダウンロードした辞書の操作方法についてはP.426参照。

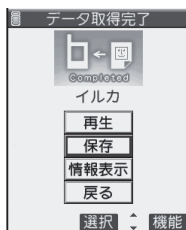
お知らせ

●1件あたり20Kバイトまでの辞書を保存できます。

●接続するサイトによっては、ダウンロードできないことがあります。

キャラ電ダウンロード

サイトからキャラ電をダウンロードします。お買い上げ時のものを含めて10件まで保存できます。

1 キャラ電ダウンロード可能なサイトを表示▶キャラ電を選択▶保存▶YES

取得完了画面

- 「再生」を選択するとキャラ電が再生されます。
- 「情報表示」を選択するとキャラ電の情報が表示されます。(P.329参照)
- (機能)を押して「画面メモ保存」を選択すると、画面メモとして保存します。(P.207参照)

お知らせ

- 1件あたり100Kバイトまでのキャラ電を保存できます。

■保存されているデータがいっぱいのときは

データを保存するときに、すでに最大保存件数まで保存されている場合や、メモリの空きが不足している場合は、不要なデータを削除してから保存するかどうかの確認画面が表示されます。

- 本操作は以下のデータを保存するときに行います。
  ･画像　･ｉモーション　･メロディ　･キャラ電
  ･トルカ　･着うたフル®　･画面メモ　･PDFデータ
  ･テンプレート

1. YES▶削除したいデータにチェック▶(完了)▶YES
   メモリの空き容量が不足している場合は、各データの容量を参考にして削除したいデータにチェックを付けます。不足している容量分にチェックを付けると「完了」が表示されます。
   - 画面メモの場合、セキュリティ設定されているフォルダがあると、セキュリティ設定中のフォルダ内の画面メモも選択できるようにするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると、端末暗証番号の入力が必要です。
   - 他の機能で設定しているデータには「★」マークが付いています。

■「P-SQUARE」について

お買い上げ時に登録されているテンプレート(P.455参照)、辞書(P.426参照)、キャラ電(P.328参照)は「P-SQUARE」のサイトからダウンロードできます。

ｉMenu→メニュー／検索→ケータイ電話メーカー→P-SQUARE

サイト接続用QRコード

■お願い■

FOMA端末の故障･修理やその他の取扱いによって、保存内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え、FOMA端末に保存した画像、メロディ、PDFデータ、トルカは、microSDメモリーカード(P.334参照)を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink(P.417参照)やデータリンクソフト(P.468参照)とFOMA USB接続ケーブル(別売)を利用して、パソコンに保管できます。

反転した情報を使っていろいろな操作をする

サイトのページやメールなどで反転表示された情報(電話番号、メールアドレス、URL、メロディ、画像など)を利用して簡単な操作で電話をかけたり、メールを送信したり、インターネットホームページを表示したりできます。

- パソコンなどから送信されたメールや、サイトによっては、Web To、Phone To／AV Phone To、Mail To、ｉアプリ To、住所リンク機能が使用できない場合があります。
- 電話番号、メールアドレス、URL以外の反転表示された情報を使ってWeb To、Phone To／AV Phone To、Mail To、ｉアプリ To 機能を利用できる場合もあります。

Phone To／AV Phone To 機能

サイトやメールなどの中に表示されている電話番号などの情報を使って、音声電話発信、テレビ電話発信、プッシュトーク発信します。

●テレビ電話でのPhone To 機能のことをAV Phone To 機能と呼びます。

1 電話番号などの情報を選択 ▶発信方法を選択

●「テレビ電話画像選択」を選択した場合はテレビ電話中に相手に送信する画像を選択します。
●電話番号の前に「tel:」または「tel-av:」があった場合などは、発信方法の選択肢が表示されないことがあります。手順2へ進みます。

2 発信

●国際電話をかける場合は「国際ダイヤルアシスト」を選択します。(P.65参照)
●発信者番号通知を設定する場合は「発番号設定」を選択します。(P.48手順2参照)

Mail To 機能

サイトやメールなどの中に表示されているメールアドレスなどの情報を使って、メールを送ります。

1 メールアドレスなどの情報を選択

宛先にはメールアドレスがすでに入力されています。P.228手順3へ進みます。

Web To 機能

サイトやメールなどの中に表示されているURLなどの情報を使って、インターネットホームページに接続します。

1 URLなどの情報を選択

●接続中に中止する場合は「Cancel」を選択します。ページを取得中に中止する場合は ✉(中止)を押します。

ｉアプリ To 機能

サイトやメールなどの中に表示されているURL(リンク)からｉアプリを起動します。

1 ｉアプリの情報を選択▶YES

ｉアプリが起動します。

お知らせ

●ｉモードメール本文にｉアプリを起動させるリンクがある場合、返信や転送をするとｉアプリを起動させるリンクは引用できません。また、データリンクソフト使用時や赤外線通信時もｉアプリを起動させるリンクは引用できません。

お知らせ

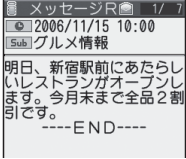
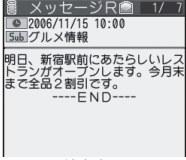
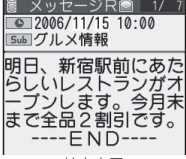
●起動させるｉアプリがない場合は、ソフトがない旨の確認画面が表示されます。この場合、ダウンロードする必要があります。

住所リンク機能

サイトなどの中に表示されている住所などから地図を表示したり、GPS対応ｉアプリで位置情報を利用したりできます。また、位置情報をｉモードメールで送信することもできます。

1 住所などの位置情報を選択 ▶項目を選択

対応ｉアプリを利用 . . GPS対応ｉアプリを選択して起動します。
地図を見る . . . . 地図サイトに接続して地図を表示します。
メール貼り付け . . . . . 位置情報をURL化し、本文に貼り付けてｉモードメールを作成します。

<ｉモード設定>

詳細機能を設定する

ｉモードやメッセージR/Fの設定をします。

1 待受画面▶ｉα(ｉ)▶ｉモード設定 ▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
スクロール設定 お買い上げ時 1行スクロール	サイトや画面メモ、メッセージR/Fの本文を表示している画面で◎を押したときにスクロールする行数を設定します。 **▶行数を選択**

項目	操作・補足
文字サイズ設定 お買い上げ時 標準表示	サイトや画面メモ、メッセージR/Fの本文に表示される文字サイズを設定します。 ▶**文字サイズを選択** **メッセージRの場合** 標準表示 縮小表示 拡大表示
画像表示設定 お買い上げ時 表示する	サイトや画面メモなどに含まれる画像やFlash画像を表示するかどうかを設定します。 ▶**表示する・表示しない** ●サイト表示中は、(iα)(機能)を押して「画像表示設定」を選択します。
iモーション設定	iモーションの設定を行います。(P.222参照)
メッセージ自動表示設定	メッセージR/Fの自動表示のしかたを設定します。(P.215参照)
開封時メロディ再生設定	メッセージR/F開封時にメロディを自動再生するかどうかを設定します。(P.215参照)
端末情報データ利用設定 お買い上げ時 利用する	サイトや画面メモ表示中にFlash画像を表示する際、FOMA端末の情報を利用する場合があります。その場合に、情報を利用するかどうかを設定します。 ▶**利用する・利用しない**
効果音設定 お買い上げ時 効果音ON	サイトや画面メモ表示中にFlash画像を表示する際、効果音を鳴らすかどうかを設定します。 ▶**効果音ON・効果音OFF** ●サイト表示中や画面メモ詳細画面表示中は、(iα)(機能)を押して「効果音設定」を選択します。
ドキュメント表示設定	PDF対応ビューア起動時の表示方法を設定します。(P.353参照)
iモード通信中着信設定	iモード通信中にプッシュトーク着信した場合、通話するかどうかを設定します。(P.105参照)
iモード設定確認	iモード設定の各設定内容を確認します。 ●(○)で画面をスクロールして確認できます。 ●確認が終われば(chクリア)を押します。
ラストURL初期化	最後に見たサイトのURLを初期化(i MenuのURLに)します。(P.203参照)
iモード設定リセット	「iモード設定」の各設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。 リセットされる項目については「機能一覧表」を参照してください。(P.438参照) ▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**

お知らせ

<画像表示設定>
- 「表示する」に設定していても、正しく表示されない場合があります。その場合、「 」が表示されます。
- 「表示しない」に設定すると、「 」で表示され、データの受信を行いません。

<端末情報データ利用設定>
- 利用できる情報は以下のとおりです。
  - ・「時計設定」で設定された日付時刻
  - ・電波の受信レベル
  - ・電池残量
  - ・「着信音量」の「電話」で設定された音量
  - ・「バイリンガル」で設定された言語
  - ・FOMA端末の機種や製造番号

<効果音設定>
- 「効果音ON」に設定していても、Flash画像によっては効果音が鳴らない場合があります。

<接続待ち時間設定>
接続待ち時間を設定する

お買い上げ時	60秒間

サイトを取得するまでしばらく時間がかかることがあります。取得を中止するまでの時間を設定します。「無制限」に設定すると、自動的には中止しません。

1 (メニュー)▶(設定)▶**アプリケーション通信設定**▶**接続待ち時間設定**▶**待ち時間を選択**

お知らせ
- 「無制限」に設定していても、電波状況などにより切断される場合があります。

＜接続先選択＞

ｉモードから接続先を変更する（ISP接続通信）

お買い上げ時	ｉモード

※通常は、設定を変更する必要はありません。

ｉモード（ドコモ）以外のサービスを受けるときに使う接続先（APN）の設定をします。
登録した接続先に変更したときはｉモードを利用できなくなります。

1 **メニュー▶設定▶アプリケーション通信設定▶接続先選択▶＜未登録＞を選んで✉（編集）▶端末暗証番号を入力**

●登録済みの接続先を選択すると、接続先が変更されます。
●iα（機能）を押して「編集」を選択し、端末暗証番号を入力しても接続先を登録／編集できます。
●登録済みの接続先を削除するにはiα（機能）を押して「削除」を選択し、端末暗証番号を入力して「YES」を選択します。

2 **以下の操作を行う**

項目	操作･補足
接続先名称	▶接続先名称を入力 ●全角9文字まで、半角18文字まで入力できます。
接続先番号	▶接続先番号を入力 ●半角英数字で99文字まで入力できます。
接続先アドレス	▶接続先アドレスを入力 ●半角英数字で30文字まで入力できます。
接続先アドレス2	▶接続先アドレス2を入力 ●半角英数字で30文字まで入力できます。

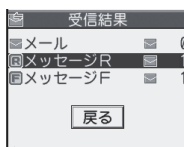
3 **✉（完了）を押す**

お知らせ
●接続先をｉモード以外に設定した場合、パケ･ホーダイは適用されません。

＜メッセージR/F受信＞

メッセージR/Fを自動的に受信する

メッセージサービスは、欲しい情報が自動的にお客様のFOMA端末に届くサービスです。
FOMA端末が通話圏内にあるときには、ｉモードセンターから自動的にメッセージR/Fが送られてきます。
メッセージR/Fが届くと画面の上部に「R（黄色）」や「F（黄色）」が表示されます。
受信したメッセージR/Fは、それぞれ最大100件まで保存できます。

1 **メッセージR/Fを受信すると「R（黄色）」または「F（黄色）」が点滅し、受信中のメッセージが表示される**

受信が終わると、受信したメールとメッセージR/Fの件数が表示されます。

●「メッセージR」または「メッセージF」を選択すると、メッセージR/F一覧画面が表示されます。
●「メッセージ自動表示設定」が「自動表示しない」以外に設定されていると、受信したメッセージR/Fの内容が自動で表示されます。
●何も操作しないで約15秒経過すると元の画面に戻ります。（「メール／メッセージ鳴動」の設定により、秒数は異なります。）

■FOMA端末を閉じているときは
プライベートウィンドウに表示されます。

お知らせ
●待受画面以外を表示中、ｉアプリ起動中、公共モード（ドライブモード）中、オールロック中、PIMロック中、あんしんキーロック中は、メッセージR/Fを受信しても自動表示しません。
●最大保存件数を超えた場合は、古いメッセージR/Fから順に上書きされます。未読または保護されているメッセージR/Fは上書きされません。
●FOMA端末がこれ以上メッセージR/Fを受信できない場合は、「R（グレー）」または「F（グレー）」が表示されます。不要なメッセージR/Fを削除するか、未読のメッセージR/Fを読むか、保護を解除してください。

お知らせ

●「(黄色)」または「(黄色)」のアイコンが表示されたときは、ｉモードセンターにメッセージR/Fが保管されています。「(グレー)」または「(グレー)」のアイコンが表示されたときは、ｉモードセンターにメッセージR/Fがいっぱいです。「ｉモード問い合わせ」を行ってメッセージR/Fを受信してください。
●自動表示後も、メッセージR/F一覧画面の表示では未読になります。ただし、自動表示中にスクロールなどの操作を行ったときは既読となります。
●以下のような場合にメッセージR/Fを受信したときは、ｉモードセンターに保管されます。
・電源OFFのとき　・テレビ電話中
・セルフモード設定中　・圏外のとき
・赤外線通信中　・FirstPassセンター接続中
・プッシュトーク通信中　・おまかせロック中
・お預かりセンターに接続中
・保護または未読のメッセージにより、メッセージR/Fの容量が満杯のとき

メッセージ自動表示設定

お買い上げ時	メッセージR優先

待受中にメッセージR/Fを受信したときの自動表示のしかたを設定します。

1 待受画面▶(i)( )▶ｉモード設定▶メッセージ自動表示設定▶自動表示の方法を選択

開封時メロディ再生設定

お買い上げ時	自動再生する

受信したメッセージR/F開封時に、貼り付けまたは添付されているメロディを自動再生するかどうかを設定します。

1 待受画面▶(i)( )▶ｉモード設定▶開封時メロディ再生設定▶自動再生する・自動再生しない

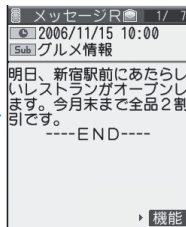
お知らせ

●SDオーディオ再生中は、「開封時メロディ再生設定」の設定に関わらず添付または貼り付けられているメロディは再生されません。

<メッセージR/F表示>
受信したメッセージR/Fを見る

受信したメッセージR/Fを確認します。

1 待受画面▶(i)( )▶メッセージR/F▶メッセージR・メッセージF▶表示したいメッセージR/Fを選択

メッセージR/F一覧画面

メッセージR/F詳細画面

●未読のメッセージR/Fを選択した場合は「(ピンク)」が「」に変わります。
●で他のメッセージR/Fを確認できます。
●メッセージR/Fの本文が長い場合はで画面をスクロールして確認できます。また、▲や▼を押すと画面単位でスクロールします。

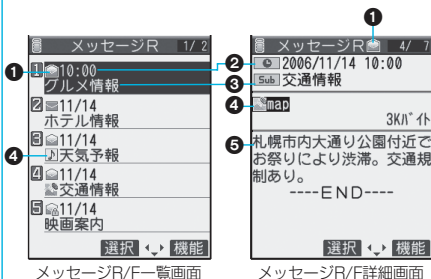
お知らせ

●添付されているメロディを選んで(選択)を押すと、メロディを再生できます。

■ ｉモードメニュー

未読のメッセージR/Fがあるときはアイコンに「NEW」が付きます。

次ページにつづく

■メッセージR/F一覧画面とメッセージR/F詳細画面

メッセージR/F一覧画面　　メッセージR/F詳細画面

❶メッセージR/Fの状態

保護設定すると「🔒」が表示されます。

(ピンク)	未読のメッセージR/F
	既読のメッセージR/F

❷受信した時刻や日付

一覧画面では、当日受信したメッセージR/Fは時刻が表示され、前日までに受信したメッセージR/Fは日付が表示されます。詳細画面では、受信した日時が表示されます。

❸題名

❹添付または貼り付けられているデータ

詳細画面ではデータの容量も表示されます。

	正常なメロディデータ
／	一部／すべてのメロディデータが不正
	正常な画像データ
／	一部／すべての画像データが不正
	正常なトルカデータ
／	一部／すべてのトルカデータが不正
	複数の添付データ
／	一部／すべての添付データが不正
	複数の貼付データ
	FOMAカード動作制限機能がかかっているデータ

❺本文

メッセージR/F一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
全表示	ソート機能やフィルタ機能を行ったあと、すべてのメッセージR/Fを「新しい順」で表示します。
ソート	表示される順番を変更します。 ▶**順番を選択**
フィルタ	条件に合うメッセージR/Fのみを表示します。 ▶**種類を選択**
保護／保護解除	メッセージR/Fを上書き・削除されないように保護します。 最大50件(メッセージRとメッセージFそれぞれ)まで保護できます。 保護すると「🔒」が表示されます。 ●保護を解除する場合も同様の操作を行います。
保護全解除	保護をすべて解除します。 ▶**YES**
保存件数確認	FOMA端末に保存されているメッセージR/Fの総件数、未読件数、保護件数を表示します。 ●確認が終われば(CLR)を押します。
削除	▶**YES**
選択削除	▶**削除したいメッセージR/Fにチェック** ▶(✉)(完了)▶**YES**
既読削除	既に読んだメッセージR/Fをすべて削除します。 ▶**YES**
全削除	メッセージR/Fをすべて削除します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**

お知らせ

<ソート><フィルタ>
- 元に戻すには「全表示」を実行します。
- 一覧画面を終了し、再度それぞれの一覧画面を表示したときは全表示に戻ります。

メッセージR/F詳細画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
電話帳登録	電話帳に登録します。(P.114参照)
メロディ保存	添付または貼り付けられたメロディを保存して、着信音に設定します。 ▶**YES**▶**保存したいフォルダを選択** P.209「メロディダウンロード」手順2へ進みます。 ●複数のメロディが添付されているときは、(◎)で登録するメロディを選択してから操作してください。 ●保存されているメロディがいっぱいのときはP.211参照。
トルカ保存	添付されたトルカを保存します。 ▶**保存したいフォルダを選択** ●FOMA端末外への出力が禁止されているトルカの場合は、保存するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択します。 ●FOMA端末内に保存されているトルカがいっぱいのときはP.211参照。

機能メニュー	操作・補足
画像保存	添付された画像を保存して、待受画面、ウェイクアップ画面などに設定できます。 ▶YES▶保存したいフォルダを選択 P.208手順2へ進みます。 ●保存されている画像がいっぱいのときはP.211参照。
背景画像保存	▶YES▶保存したいフォルダを選択 P.208手順2へ進みます。
保護／保護解除	保護／保護解除します。(P.216参照)
削除	▶YES

お知らせ

<メロディ保存>
- 保存時にはファイル名ではなくタイトルが登録されます。タイトルが設定されていない場合はファイル名が登録されます。
- 保存したメロディは正しく再生されない場合があります。

<SSL証明書操作>

SSL証明書を操作する

1 メニュー▶▶アプリケーション通信設定▶証明書▶証明書を選んで iα(機能)▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
証明書表示	証明書の所有者、発行元、有効期限、シリアル番号を表示します。 ● iα(機能)を押す代わりに ●(選択)を押しても証明書を確認できます。 ● ◎で画面をスクロールして確認できます。 ●確認が終われば ch/クリア を押します。
有効／無効設定 お買い上げ時 すべて有効	無効に設定され、「 」が「 」になります。 ●すでに無効に設定されている証明書を選択した場合は、有効に設定されます。 ●無効に設定すると、そのSSL証明書を持っているサイトは表示できなくなります。 ●「ドコモ証明書2」は無効に設定できません。

■SSL通信で使用する証明書について

証明書
...認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時のFOMA端末内に保存されています。

ドコモ証明書
...FirstPassセンターやFirstPass対応サイトに接続するために必要な証明書で、FOMAカード(緑色)内に保存されています。

ユーザ証明書
...iモードメニューから「ユーザ証明書操作」を選択することにより、FirstPassセンターからダウンロードした証明書です。FOMAカード(緑色)内に保存されます。

<ユーザ証明書操作>

FirstPassの設定を行う

ユーザ証明書は、お客様がFOMAサービスと契約されていることを証明するものです。ダウンロードしたユーザ証明書はFOMAカードに保存され、FirstPass対応サイトでご利用になれます。
FOMAカードに保存されているユーザ証明書が有効期限切れであったり、または必要なユーザ証明書がFOMAカードに保存されていないために、FirstPass対応サイトが表示できない場合、FirstPassセンターに更新申請を行い、そのユーザ証明書をダウンロードできます。

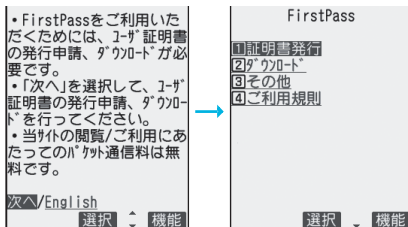
- FirstPassセンターへユーザ証明書の発行を要求し、ダウンロードができます。
- 青色のFOMAカードではご利用になれません。
- FirstPassセンターで表示される画面や操作方法は、変更されることがあります。
- FirstPassセンターに接続中は、メールの送受信やメッセージR/Fの受信はできません。
- FirstPassセンターに接続する際は、あらかじめ「時計設定」で日付・時刻を設定しておいてください。
- 海外ではご利用になれません。

次ページにつづく

■クライアント認証について
●FOMA端末では、より安全にデータをやりとりするために、サーバ認証とクライアント認証を行います。サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手側の証明書を検証して、確実にお互いの認証を行います。クライアント認証を受けることで、より安全に通信サービスを受けられます。
●クライアント認証は、FOMA端末からのインターネット通信と、FOMA端末をパソコンに接続した状態でのインターネット通信でお使いいただけます。パソコンでご利用いただくためには添付のCD-ROMのFirstPass PCソフトが必要です。
詳しくはCD-ROM内の「FirstPassPCSoft」フォルダ内の「FirstPassManual」(PDF形式)をご覧ください。「FirstPassManual」(PDF形式)をご覧になるには、Adobe Reader(バージョン6.0以上を推奨)が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、添付のCD-ROMからAdobe Readerをインストールしてご覧ください。
ご使用方法などの詳細につきましては、Adobe Readerヘルプを参照してください。

FirstPassセンターに接続する

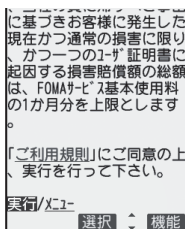
ユーザ証明書の操作はFirstPassセンターのサイトから行います。

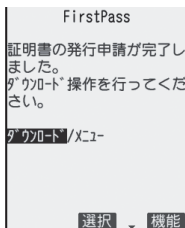
1 待受画面▶iα( )▶ユーザ証明書操作▶次へ

FirstPassセンターのサイト画面

お知らせ
●FirstPassセンターを利用する前には、「ご利用規則」を選択し、ご利用規則をよくお読みください。
●FirstPassセンターに接続した際のパケット通信料は無料です。

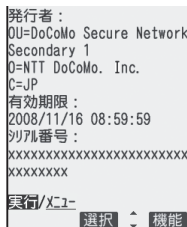
ユーザ証明書の発行を申請し、ダウンロードする

ユーザ証明書のダウンロードを行う前には、必ずユーザ証明書の発行を申請します。発行申請が完了したら、ユーザ証明書をダウンロードします。ダウンロードが完了すると、ユーザ証明書はFOMAカードに保存され、FirstPass対応サイトが表示できるようになります。

1 FirstPassセンターのサイト画面▶証明書発行▶実行

●更新の場合、「証明書の更新発行申請を行います。」と表示されます。
●ユーザ証明書の発行を申請済みの場合は、FirstPassセンターのサイト画面で「ダウンロード」を選択すると手順3の画面が表示されます。手順3へ進みます。

2 PIN2コードを入力

●PIN2コードは60秒以内に入力してください。60秒を超えるとエラーとなり接続が切断されます。正しく入力されると、発行申請完了の画面が表示されます。
●PIN2コードについてはP.155参照。

3 ダウンロード▶実行

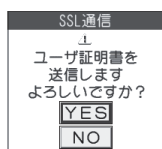
発行者：
OU=DoCoMo Secure Network
Secondary 1
O=NTT DoCoMo. Inc.
C=JP
有効期限：
2008/11/16 08:59:59
ｼﾘｱﾙ番号：
xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx
xxxxxxxx
実行/ﾒﾆｭｰ
選択 機能

- すぐにユーザ証明書をダウンロードしない場合は、「メニュー」を選択します。SSLページを終了するかどうかの確認画面で「YES」を選択し、FirstPassセンターのサイト画面に戻ります。

お知らせ

- ユーザ証明書を新規でダウンロードする場合と更新でダウンロードする場合、どちらの場合も必ずユーザ証明書の発行申請を行ってください。発行の申請をしていないユーザ証明書はダウンロードできません。

ユーザ証明書でサイトに接続する

ユーザ証明書を用いてFirstPass対応サイトに接続します。

1 FirstPass対応サイトを表示▶項目を選択▶YES

2 PIN2コードを入力

- PIN2コードは60秒以内に入力してください。60秒を超えるとエラーとなり接続が切断されます。正しく入力されると、認証中の画面が表示され、続いてサイトの画面が表示されます。
- PIN2コードについてはP.155参照。

お知らせ

- ユーザ証明書がない状態や、ユーザ証明書の有効期限が切れている状態でFirstPass対応サイトに接続しようとした場合、継続するかどうかの確認画面が表示されます。「NO」を選択すると元のページに戻りますので、FirstPassセンターのサイトでユーザ証明書をダウンロード／更新してから再度接続してください。
- FirstPass対応サイトへのアクセスに発生するパケット通信料はパケ・ホーダイに含まれます。

ユーザ証明書の失効を申請する

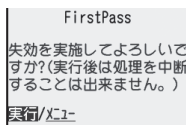
一度ダウンロードしたユーザ証明書を無効にします。

1 FirstPassセンターのサイト画面▶その他▶証明書失効▶YES

2 PIN2コードを入力

- PIN2コードは60秒以内に入力してください。60秒を超えるとエラーとなり接続が切断されます。正しく入力されると、失効申請確認の画面が表示されます。
- PIN2コードについてはP.155参照。

3 実行▶次へ▶実行

FirstPass
失効を実施してよろしいですか?(実行後は処理を中断することは出来ません。)
実行/ﾒﾆｭｰ

お知らせ

- 失効が完了したあとにFirstPassを利用する場合は、再度ユーザ証明書の発行申請とダウンロードを行ってください。
- ダウンロードしたユーザ証明書を見る場合は、P.217参照。

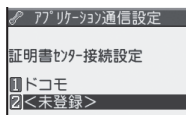
<証明書センター接続設定>

証明書発行接続先を変更する

お買い上げ時	ドコモ

※通常は、設定を変更する必要はありません。

ユーザ証明書をダウンロードするときの接続先を設定します。

1 (メニュー)▶設定▶アプリケーション通信設定▶証明書センター接続設定▶<未登録>を選んで(✉)(編集)

ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ通信設定
証明書ｾﾝﾀｰ接続設定
1 ドコモ
2 <未登録>

- 登録済みの接続先を選択すると、接続先が変更されます。
- (iα)(機能)を押して「編集」を選択しても接続先を登録／編集できます。
- 登録済みの接続先を削除するには(iα)(機能)を押して「削除」を選択し、端末暗証番号を入力して「YES」を選択します。

次ページにつづく

2 端末暗証番号を入力▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
初期画面URL	▶初期画面URLを入力 ●半角英数字で100文字まで入力できます。
接続先アドレス	▶接続先アドレスを入力 ●半角英数字で99文字まで入力できます。

3 ✉(完了)を押す

FirstPassのご使用にあたって

- ●FirstPassとはドコモの電子認証サービスです。FirstPassを利用することにより、サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手の証明書を検証してお互いの認証を行うクライアント認証が可能となります。
- ●ユーザ証明書の発行要求をする際は、画面に表示される「FirstPassご利用規則」をよくお読みになり、ご同意の上、要求してください。
- ●ユーザ証明書のご利用にはPIN2コードの入力が必要です。PIN2コード入力後になされたすべての行為がお客様によるものと見なされますので、FOMAカードまたはPIN2コードが他人に使用されないよう十分ご注意ください。
- ●FOMAカードの紛失、盗難にあった場合などは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」でユーザ証明書の失効を行うことができます。
- ●FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは、何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様とFirstPass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
- ●FirstPass及びSSLのご利用にあたり、ドコモ及び認証会社は安全性等に関し保証を行うものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用下さい。

iモーションとは

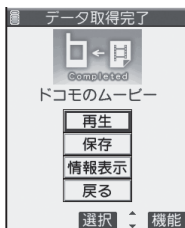
iモーションは、映像や音声、音楽のデータで、iモーション対応サイトからFOMA端末に取り込み再生できます。また、iモーションを着信音に設定することもできます。
iモーションには、大きく分けて以下の2つのタイプがあります。取得したiモーションがどのタイプであるかは、サイトやデータにより異なります。

種類		説明
タイプ	再生の種類	
スタンダード(標準)タイプ(保存可※)	データ取得後の再生(最大500Kバイトまで)	iモーションのデータをすべて取得してから再生します。
	データ取得中の再生(最大500Kバイトまで)	iモーションのデータを取得しながら再生します。取得完了後は、「データ取得後の再生」と同様に再生できます。
ストリーミングタイプ(保存不可)	データ取得中の再生(最大2Mバイトまで)	iモーションのデータを取得しながら再生します。再生が終わったiモーションデータは消去され、繰り返し再生したり、FOMA端末に保存したりできません。

※iモーションによっては、保存できないものもあります。

＜ｉモーション取得＞
サイトからｉモーションを取得する

サイトからｉモーションを取得して再生する

1 ｉモーション取得可能なサイトでｉモーションを選択▶再生

取得完了画面

再生中の操作についてはP.321参照。

- 取得しながら再生できるｉモーションの場合は、取得中にｉモーションが再生されます。
- 「自動再生設定」が「自動再生する」に設定されている場合、取得したあと自動的にｉモーションが再生されます。
- (機能)を押して「画面メモ保存」を選択すると、画面メモとして保存します。(P.207参照)

お知らせ

- 接続するサイトやｉモーションによっては、データの取得、取得中の再生、取得後の再生ができないことがあります。また、ASF形式のｉモーションは取得できません。
- スタンダード(標準)タイプの場合、データ取得中の再生を途中で停止しても、データの取得自体は継続されます。
- ストリーミングタイプのｉモーションを取得する場合、「ｉモーションタイプ設定」を「標準･ストリーミングタイプ」にする必要があります。
- 「自動再生設定」が「自動再生する」に設定されていても、データ取得中に再生した場合は、取得したあとに自動再生はされません。
- 再生回数･再生期間･再生期限に制限があるｉモーションは、タイトルの先頭に「」が表示されます。再生できる期間が制限されているｉモーションは、期間前や期間後には再生できません。また、長い期間電池パックを外していると、FOMA端末で保持している日付時刻情報がリセットされることがあります。その場合、再生期間や再生期限が決められているｉモーションは再生できません。再生制限を確認するにはP.324参照。
- 回線速度･回線状況･電波環境により、データ取得中の再生が途中で止まったり、画像が乱れたりする可能性があります。スタンダード(標準)タイプのｉモーションはデータ取得完了後に繰り返し再生できますが、ストリーミングタイプのｉモーションは再生できません。

ｉモーションを保存する

取得したｉモーションをFOMA端末に保存し、着信音や待受画面、ウェイクアップ画面に設定できます。ｉモーションは最大150件まで保存できます。(データ量により実際に保存できる件数が少なくなる場合があります。)

1 取得完了画面▶保存▶YES▶保存したいフォルダを選択

- 保存されているｉモーションがいっぱいのときはP.211参照。

2 ｉモーション貼付するには「YES」を選択

P.323手順2へ進みます。

お知らせ

- ｉモーションによっては取得したデータをFOMA端末に保存できない場合があります。

■お願い■

FOMA端末の故障･修理やその他の取扱いによって、保存内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え、FOMA端末に保存した内容は、microSDメモリーカード(P.334参照)を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink(P.417参照)やデータリンクソフト(P.468参照)とFOMA USB接続ケーブル(別売)を利用して、パソコンに保管できます。

情報を表示する

取得したｉモーションの情報を表示します。(P.324参照)

1 取得完了画面▶情報表示

- で画面をスクロールして確認できます。
- 確認が終われば(クリア)を押します。

テロップ中にリンクが設定されていたとき

テロップが設定されているｉモーションの場合、再生中にテロップが表示されます。
テロップに下線が付いている電話番号やメールアドレス、サイトのURLなどが設定されていたときは、再生終了時・停止中にPhone To／AV Phone To 機能やMail To 機能、Web To 機能、電話帳登録を実行できます。
<例>テロップ中のURLに接続する場合

1 再生終了時▶YES

＜ｉモーション設定＞

ｉモーションの取得方法を設定する

1 待受画面▶(　)▶ｉモード設定▶ｉモーション設定▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
自動再生設定 お買い上げ時 自動再生する	サイトからスタンダード(標準)タイプのｉモーションを取得した場合や、スタンダード(標準)タイプのｉモーションが登録されている画面メモを選択した場合に、ｉモーションを自動的に再生するかどうかを設定します。 ▶**自動再生する・自動再生しない**
ｉモーションタイプ設定 お買い上げ時 標準タイプ	ｉモーションを取得するときに、スタンダード(標準)タイプのｉモーションのみを取得するか、ストリーミングタイプのｉモーションも取得するかを設定します。 ｉモーションの種類についてはP.220参照。 ▶**取得するｉモーションのタイプを選択** ●サイト表示中は、(機能)を押して「ｉモーションタイプ設定」を選択します。

お知らせ

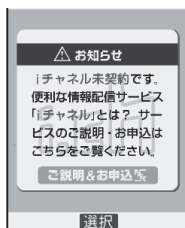
＜自動再生設定＞

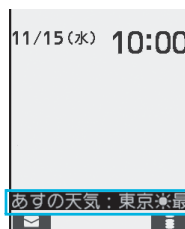
●「自動再生しない」に設定していても、ストリーミングタイプのｉモーションは自動再生されますので、ご注意ください。

ｉチャネルとは

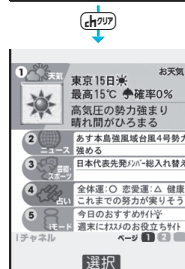
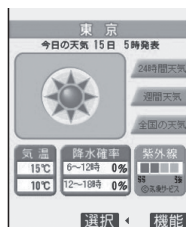
ニュースや天気などをグラフィカルな情報としてドコモまたはIP(情報サービス提供者)がｉチャネル対応端末に配信するサービスです。
定期的に情報を受信し、最新の情報が待受画面にテロップとして流れたり、ｉチャネル対応ボタンを押すことでチャネル一覧画面に表示されます。(P.224参照)
さらに、チャネル一覧画面でお好きなチャネルを選択することにより、リッチな詳細情報を取得できます。

●ｉチャネルのご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細などについては、『ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)』をご覧ください。

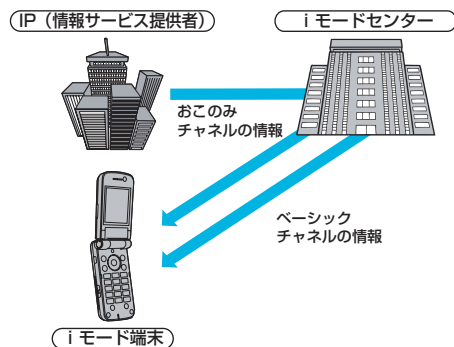
未契約

ｉチャネルをご契約いただいていない場合。

契約後

ｉチャネルをご契約いただいたあと、情報を受信したタイミング、またはチャネル一覧画面を表示したタイミングで、待受画面に自動的にテロップが流れます。

テロップ

接続

(chクリア)を押すとチャネル一覧画面が表示されます。各チャネルごとにテロップで流れていた情報などを一覧で見ることができます。
各チャネルを選択するとそれぞれの詳細情報画面が閲覧できます。
※各画像はイメージです。実際の画面とは異なります。

チャネルには「ベーシックチャネル」と「おこのみチャネル」の2種類があります。
「ベーシックチャネル」はドコモが提供するチャネルであり、あらかじめ登録されていますのでｉチャネルの利用開始時からすぐに利用できます。「ベーシックチャネル」に関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料はｉチャネルのサービス利用料に含まれます。
「おこのみチャネル」はドコモ以外のIP（情報サービス提供者）が提供するチャネルで、お客様ご自身がお好きなチャネルを登録して利用できます。「おこのみチャネル」に関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料などは、ｉチャネルのサービス利用料には含まれません。
なお、「ベーシックチャネル」「おこのみチャネル」の情報ともに、待受画面にテロップとして流すことができます。

- 「おこのみチャネル」には、ご利用にあたり情報料がかかるものがあります。
- 「おこのみチャネル」には、ご利用にあたりチャネルを提供するIP（情報サービス提供者）に対し別途お申し込みが必要になるものがあります。
- 「ベーシックチャネル」も「おこのみチャネル」も、チャネル一覧画面から詳細情報を閲覧する際は、ｉチャネルのサービス利用料とは別にパケット通信料がかかります。
- 海外ローミング中のベーシックチャネルに関して、配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料は、ｉチャネルのサービス利用料に含まれません。

- ｉチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです。（お申し込みにはｉモード契約が必要です。）
- 操作方法についてはP.224参照。

おためしサービス

ｉモードをご契約のうえ、ｉチャネル対応端末を利用しているお客様で、ｉチャネル対応端末を利用している契約者回線についてｉチャネルを申し込んだことがない場合、一定期間、サービス利用料無料で「ベーシックチャネル」を利用できます。
なお、チャネル一覧から詳細情報を閲覧される際にかかるパケット通信料は、お客様のご負担となります。

- おためしサービスのご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細などについては、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

おためしサービスは、原則としてFOMAカードを挿入してｉチャネル対応端末の利用を開始した際、一定時間経過後に自動的に開始されます。自動的に開始しない場合は、ｉチャネル対応ボタンを押すことで開始できます。
おためしサービスを利用できるのは、1つのご契約者回線につき1回のみです。
おためしサービスは開始後一定期間経過すると、自動的に終了します。また、途中で終了したい場合の操作方法については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご参照ください。

お知らせ

- ｉチャネル契約後、FOMA端末の電源が「OFF」または「圏外」など電波状況が良くないときは、情報を受信できない場合があります。その場合は、ch/クリアを押して表示される未契約者用のチャネルを選択することで情報を受信し、待受画面にテロップが流れます。また、お買い上げ時の状態のままでは情報を受信できない場合があります。その場合は、ch/クリアを押すことで情報を受信し、待受画面にテロップが流れます。
- ｉチャネルは海外では、ｉチャネル受信ごとに通信料がかかります（国内の無料通話適用外）。
- ｉチャネルサービス解約後などは、自動的にテロップが「OFF」に設定されます
- ｉチャネルサービス解約前にｉモードサービス解約を行った場合は、テロップは「ON」に設定されたままになります。

ｉチャネルを使う

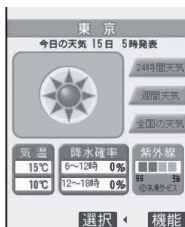
「テロップ表示設定」を「ON」に設定すると、最新のものから最大10件のテロップが待受画面に繰り返し流れます。詳しい情報を知りたいときはチャネル一覧画面から取得できます。

1 待受画面▶ch

チャネル一覧画面

「テロップ表示設定」の設定に関わらず、チャネル一覧画面が表示されます。

- 「メニュー▶ｉモード▶ｉチャネル」の操作を行ってもチャネル一覧画面が表示されます。
- ｉアプリ待受画面を表示中はchを1秒以上押します。
- 情報を受信中は「 」が点滅します。

2 項目（リンク先）を選択

お知らせ

- 情報を受信しても、着信音・バイブレータは鳴動しません。また、着信／充電ランプも点灯／点滅しません。
- 以下の場合は、テロップは表示されなくなります。その後、情報が自動更新されるか、chを押して最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。
  - ･FOMAカードを差し替えた場合
  - ･「接続先選択」を変更した場合
  - ･「ｉチャネル初期化」を行った場合
  - ･「設定リセット」を行った場合
  - ･「端末初期化」を行った場合

  ただし、「接続先選択」を変更すると、情報が自動更新されない場合があります。最新の情報を受信したい場合は、chを押してチャネル一覧画面を表示してください。
- 「接続先選択」を変更した場合は、ｉチャネルの接続先も変更されます。（通常は、設定を変更する必要はありません。）

お知らせ

- ご利用の状況により、チャネル一覧画面を表示したタイミングで情報を受信することがあります。

<ｉチャネルテロップ設定>

テロップの表示を設定する

1 メニュー▶設定▶ディスプレイ▶ｉチャネルテロップ設定▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
テロップ表示設定 お買い上げ時：ON	待受画面にテロップを表示するかどうかを設定します。 ▶ON・OFF
テロップ速度設定 お買い上げ時：標準	テロップが流れる速度を設定します。 ▶速度を選択
ｉチャネル初期化	テロップ情報を初期化し、「テロップ表示設定」を「ON」に設定します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

<テロップ表示設定>

- 「テロップ表示設定」を「ON」に設定しているときは、ｉアプリ待受画面を設定できません。
- 「テロップ表示設定」が「ON」で、待受画面にアニメーション、チャーミーフェイスⅡ画像を設定している場合、再生は5秒で中断され、テロップ表示を開始します。
- 公共モード（ドライブモード）中、オールロック中、あんしんキーロック中は、テロップは表示されません。

<ｉチャネル初期化>

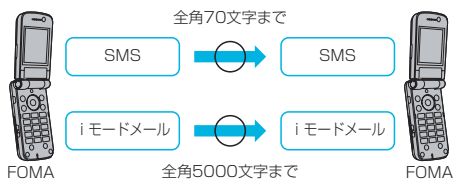
- 初期化を行った場合、テロップは表示されなくなります。その後、情報が自動更新されるか、chを押して最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。

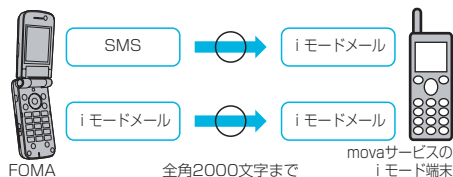
メール

FOMA端末のメール機能について

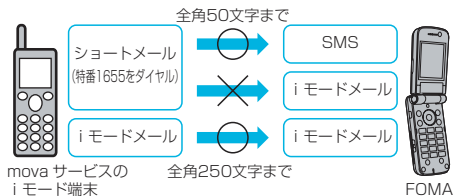
FOMA端末はｉモードメールとSMSを送受信できるメール機能を持っています。ｉモードメールをご利用いただくには「ｉモード」のご契約が必要です。

メールの送受信について

FOMA端末→FOMA端末へ

FOMA端末→movaサービスのｉモード端末へ

FOMA端末から送信したSMSは、movaサービスのｉモード端末では、ｉモードメールとして受信されます。

※SMS送達通知設定(P.267参照)を「要求する」にしている場合は、movaへ送ることができません。

movaサービスのｉモード端末→FOMA端末へ

movaサービスのｉモード端末から送信したショートメール※は、FOMA端末のSMSで受信できます。

※ショートメールとは、movaサービスの携帯電話で文字メッセージをやりとりできるサービスです。
・FOMA端末では、movaサービスのｉモード端末などから送られてきたショートメールをSMSとして受信します。

ｉモードメールについて

ｉモードを契約するだけで、ｉモード端末(mova端末含む)間はもちろん、インターネットを経由してe-mailでのやりとりができます。
テキスト本文に加えて、合計2Mバイト以内で10個までファイル(JPEG、トルカ、PDFなど)を添付できます。また、デコメールにも対応しており、メール本文の文字の色や大きさ、背景色を変えられるほか、絵文字のように挿入可能なデコメ絵文字もたくさんプリインストールされているため、簡単に表現力豊かなメールを作成し、送信できます。
ｉモードご契約時のメールアドレスは次のようになります。

■新規にｉモードをご契約の場合
「@」マークより前がランダムな英数字の組み合わせになっていますので、ｉモード契約後にお客様のメールアドレスを確認してください。

(例)abc1234～789xyz@docomo.ne.jp

〈お客様のメールアドレスの確認方法〉
ｉMenu→料金＆お申込･設定→メール設定→アドレス確認

- ｉモード端末(mova端末含む)間でメールをやりとりする場合は、「@」マークより前の部分のみのアドレスで送信可能です。
- パソコンなどのe-mailからメールを受信する場合は、@docomo.ne.jpも含めたアドレス全体を使用します。
- ｉモードメールの送信方法についてはP.228参照。
- ｉモードメールの受信方法についてはP.239参照。
- ｉモードサービスの詳細な内容については、最新の『ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)』をご覧ください。

メール選択受信

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールのタイトルなどを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでメールを削除したりできます。(P.241参照)

■メール設定を行う

下記の各種設定を行えます。
＜設定方法＞
ｉMenu→料金＆お申込･設定→メール設定→【各設定】

- 詳細はｉモードご契約時にお渡しいたします『ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)』をご覧ください。

メールアドレス変更【メールアドレス設定(アドレス変更)】
たとえば「docomo.△△_ab1234yz@docomo.ne.jp」のように、メールアドレスの「@」より前の部分をお好みのアドレスに変更できます。

メールアドレス確認【メールアドレス設定(アドレス確認)】
現在設定されているメールアドレスを確認できます。

シークレットコード登録【メールアドレス設定(その他設定)→シークレットコード登録】
電話番号のアドレス利用時に、電話番号に加えて4桁のシークレットコードを登録できます。シークレットコードを指定していないｉモードメールは受信されなくなるため、不要なｉモードメールの受信を避けられます。

メールアドレスリセット【メールアドレス設定(その他設定)→アドレスリセット】
メールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」にできます。

迷惑メール対策
以下のいずれかの方法でメールの受信／拒否設定を行うと、メールの受信を制限できます。

①受信／拒否設定【メール受信設定(迷惑メール対策)→受信／拒否設定】
・ドコモ、au、ソフトバンク、ツーカー、ウィルコムのうち、指定する会社からのメールの受信ができます。また、上記の会社以外から送信されたメールのうち、指定するドメインまたはアドレスから受信できます。そして、インターネットからの携帯･PHSドメインになりすましたメールを拒否することもできます。

②SMS拒否設定【メール受信設定(迷惑メール対策)→SMS拒否設定】
・受信するSMSを制限でき、「SMS一括拒否」「非通知SMS拒否」「国際SMS拒否」「非通知SMSと国際SMSの拒否」の4つの中からいずれか1つを選択いただけます。また、設定の状況を確認したりできます。

③ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限【メール受信設定(その他設定)→ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限】
・1日に1台のｉモード端末(mova端末含む)から送信される200通目以降のｉモードメールを受信拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、大量送信者からのメールを拒否したい場合は設定する必要はありません。

④未承諾広告※メール拒否【メール受信設定(その他設定)→未承諾広告※メール拒否】
・受信者の同意なしに一方的に広告･宣伝を行うために送信される、メール件名欄の最前部に「未承諾広告※」と記載されているメールを受信拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、未承諾広告※メールを拒否したい場合は設定する必要がありません。
(送信者はメール件名欄の最前部に「未承諾広告※」(全角6文字)と記載することが法律で義務づけられています。)

メールサイズ制限【メール受信設定(メールサイズ制限)】
あらかじめ指定したサイズによって、受信するｉモードメールを制限できます。

設定状況確認【メール受信設定(設定状況確認)】
現在設定されているメール受信／拒否などの設定状況を確認できます。

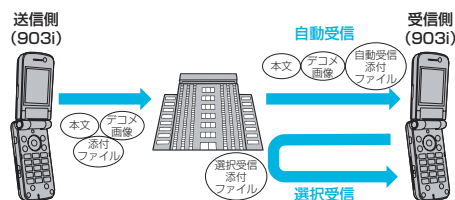
メール機能停止【メール機能停止】
メール機能を利用しない場合、ｉモードセンターでのメール機能停止を行えます。メール機能停止設定後、「メール機能再開」もできます。
ただし、メール機能を再開した直後のメールアドレスは「電話番号@docomo.ne.jp」となります。

■迷惑メールを防ぐために
メールアドレス変更や受信／拒否設定などの利用は、迷惑メールを防ぐのに効果的です。

■ｉモードメールを受信できないとき
ｉモードセンターに届いたｉモードメールは、すぐにお客様のｉモード端末に送信されます。ただし、お客様のｉモード端末の電源が入っていない場合や圏外などで受信できないときは、ｉモードメールはｉモードセンターに保管されます。ｉモードセンターに保管されているときは、一定の時間をおいて最大3回まで再送されます。また、メール選択受信設定により、ｉモードセンターでｉモードメールを選択して受信することもできます。

■こんなこともできます

ファイル送受信
ｉモードメール(2Mバイト対応)では、添付可能なファイル種別に制限はありません。最大10個、合計2Mバイトまでのファイルをメールに添付し、送信することができます。ｉモードメール(2Mバイト対応)として受信する場合は、すべてのファイルを受け取ることが可能で、100Kバイトまで自動受信し(自動受信添付ファイル)、100Kバイトを超えた2Mバイトまでの添付ファイルは必要なものを選択して受信することができます(選択受信添付ファイル)。また、「添付ファイル優先受信」により100Kバイト以下の添付ファイルでも、サイズによらず選択して受信することもできます。
その他の機種で受信する場合は、その端末のメール受信容量内で対応ファイル種別のみを受信します。

次ページにつづく

デコメール

ｉモードメール編集時に文字の大きさや背景の色などを変えたり、画像を本文中に貼り付けることによって、自分のオリジナルメールを作成して送信したり、装飾された楽しいメールを受信することが可能になります。また、絵文字のように挿入可能なデコメ絵文字もたくさんプリインストールされているため、簡単に表現力豊かなメールを作成し、送信できます。(パソコンから装飾したメールを受信する場合、ｉモード端末では非対応の装飾があるため、パソコン上と同じ動作にならない場合もあります。)デコメールを非対応端末および10000バイトまでのデコメール対応端末へ送信した場合は、URLが記載されたメールとして受信される場合があります。その場合、受信者は表示されているURLを選ぶことにより、デコメールを閲覧できます。

- デコメール編集方法についてはP.233を参照してください。
- デコメール送信方法についてはP.232を参照してください。
- 対応機種…デコメール対応機種でご利用いただけます。詳しくは、『ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)』をご覧ください。

SMS(ショートメッセージ)について

ｉモードを契約しなくても、SMSの送受信ができます。
SMSの送信、受信方法についてはP.265、P.266を参照してください。

- ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国･海外通信事業者についてはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

お知らせ

- FOMA端末が受信したSMSは、FOMAカードに保存できます。(P.390参照)

■SMSの宛先

SMSの宛先は「ご契約の携帯電話番号」です。

■送受信できる文字数

SMSで送受信できる文字数は、次のとおりです。

宛先	21文字(「＋」を含む)	
SMS本文入力設定	日本語入力(70文字)	半角英数入力(160文字)

■SMSを受信できないとき

SMSセンターに届いたSMSは、すぐにお客様のFOMA端末に送信されます。ただし、お客様のFOMA端末の、電源が入っていない、圏外などで受信できないときは、センターに保管されます。

お知らせ

- SMSセンターでのSMSの最大保管期間は72時間です。保管期間は「SMS有効期間設定」で設定できます。(P.268参照)
- 保管期間が経過したSMSは自動的に削除されます。

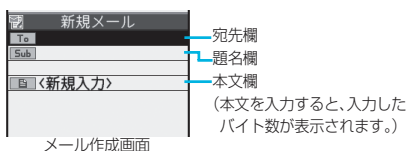
お知らせ

- SMSセンターに保管されているSMSは、P.267「SMS問い合わせ」により受信できます。
- FOMA端末でSMSを受信すると、SMSセンターに保管されていたSMSは削除されます。受信したSMSはFOMA端末に保存されます。(P.266参照)

<ｉモードメール作成>

ｉモードメールを作成して送信する

ｉモードメールを作成して送信します。
送信したｉモードメールは、SMSと合わせて最大400件まで送信BOXに保存できます。
デコメールを作成するにはP.232を参照してください。

1 待受画面▶✉(メール)▶✉(New)

メール作成画面

- 「メニュー▶メール」の操作を行ってもメールメニューが表示されます。メールメニューで「新規メール作成」を選択してもメール作成画面が表示されます。

2 宛先欄を選択▶項目を選択

電話帳 ………… 電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択します。

送信アドレス一覧 … 電話番号またはメールアドレスを選択して◉(選択)を押します。

受信アドレス一覧 … 電話番号またはメールアドレスを選択して◉(選択)を押します。

メールグループ …… メールグループを選択します。

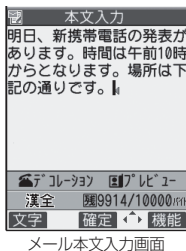
直接入力 ………… メールアドレスや電話番号を入力します。

- 半角50文字まで入力できます。
- 送信する相手がｉモード端末の場合は、メールアドレスの@より前の部分だけを入力しても送信できます。
- 複数の宛先に送信する場合はP.230参照。
- 追加した宛先を削除する場合はP.230参照。

3 題名欄を選択▶題名を入力

- 全角15文字まで、半角30文字まで入力できます。

4 本文欄を選択▶本文を入力

メール本文入力画面

- 全角5000文字まで、半角10000文字まで入力できます。
- 冒頭文／署名を貼り付けるときはP.230参照。
- 入力した本文をすべて削除する場合はP.230参照。
- ファイルを添付する場合はP.236参照。

5 ✉(送信)を押す

送信中のアニメーション画面が表示され、メールが送信されます。

- 送信を途中で中止する場合は、◉(中止)または ch/クリア (1秒以上)を押します。ただし、タイミングにより送信されることがあります。

6 OK

お知らせ

- 電波状況により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
- ｉモード端末どうしのメールのやりとり以外では半角カタカナ、絵文字は正しく表示されない場合があります。
- FOMA端末に保存した送信メールが最大保存件数を超えた場合は、送信メールのうち古いメールから順に上書きされます。ただし、保護されている送信メールは上書きされません。
- 送信BOXに送信メールが最大保存容量まで保存されており、そのすべてが保護されている場合、または保存メールが20件ある場合や保存BOXの容量がいっぱいの場合は、ｉモードメールを作成できません。
  送信メールの保護を解除するか、保存メールを送信または削除してから操作をやり直してください。
- 電話番号入力中などの機能メニューから「ｉモードメール作成」を選択した場合、電話番号とメールアドレスが電話帳に登録されているとメールアドレスが宛先に入力されます。電話帳に複数のメールアドレスが登録されている場合は、1番目のメールアドレスが入力されます。
- 宛先が電話番号で、先頭に「184」または「186」が入力されている場合、送信しようとすると発番号設定を削除して送信するかどうかの確認画面が表示されます。
- 宛先に「,(カンマ)」が入力されている場合は送信できません。
- 宛先をTo、Cc、Bccに分けて送信できます。

お知らせ

- 入力した宛先がシークレットコードを設定して電話帳に登録されている場合、送信するときに自動的にシークレットコードが追加されます。ただし、宛先が電話番号または「電話番号@docomo.ne.jp」以外のときは電話帳にシークレットコードを登録していても、シークレットコードは追加されず、通常のｉモードメールとして送信されます。
- シークレットコードを登録してドコモ以外のアドレスにメール送信を行った場合、宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。
- 改行は全角1文字、スペースは全角または半角1文字分としてカウントされます。
- デコメ絵文字を入力するとデコメールになります。

メール作成画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
送信	メールを送信します。 P.229手順6へ進みます。
送信プレビュー	送信する前に宛先、題名、本文、添付ファイルを確認します。 確認が終われば◉(確定)を押します。 ●✉(送信)を押すとメールを送信できます。iα(機能)を押して「送信」を選択しても送信できます。 ●iα(機能)を押して「保存」を選択するとメールを保存できます。
保存	作成中や編集中のメールを保存BOXに保存します。 ●宛先、題名、本文のすべてが未入力で、添付ファイルもない場合は保存できません。

次ページにつづく

機能メニュー	操作・補足
宛先追加	宛先を追加します。宛先を追加すると、同じ内容のｉモードメールを一度に複数の相手に送信できます。同時に送信できる宛先は5件までです。 ▶**項目を選択** **電話帳** . . .電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択します。 **送信アドレス一覧** . . .電話番号またはメールアドレスを選択して◎(選択)を押します。 **受信アドレス一覧** . . .電話番号またはメールアドレスを選択して◎(選択)を押します。 **直接入力** . . .メールアドレスや電話番号を入力します。 ●続けて追加する場合は<未入力>を選択し、上記の手順を繰り返します。 ●(機能)を押して「宛先削除」を選択すると、選択している宛先を削除できます。「YES」を選択します。 ●(機能)を押して「宛先タイプ変更」を選択すると、メールのタイプを変更できます。(P.230参照) ●メール作成画面で入力済みの宛先を選択すると、宛先の一覧が表示されます。 ▶(完了)
宛先削除	宛先が複数あるときに、選択している宛先を削除します。 ▶YES
宛先タイプ変更	▶**宛先のタイプを選択** To . . . . 通常の宛先です。宛先は受信側に表示されます。※ Cc. . . . 直接の送信相手以外にメール内容を知らせたいときに指定します。宛先は受信側に表示されます。※ Bcc . . . 他の送信相手に知られたくないときに指定します。宛先は受信側に表示されません。 ※受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては表示されない場合があります。

機能メニュー	操作・補足
テンプレート(テンプレート読込み)	テンプレートを読み込んでデコメールを作成します。 ▶**テンプレート読込み** ●すでに本文が入力されている場合は、本文を削除するかどうかの確認画面が表示されます。 ▶**テンプレートを選択** テンプレートの内容が本文に入力されます。 ●テンプレート選択中に(デモ)を押すとテンプレートの内容を確認できます。 ●デコメールの作成についてはP.232参照。 ●お買い上げ時に登録されているテンプレートについてはP.455参照。
テンプレート(テンプレート保存)	作成中のデコメールをテンプレートとして保存します。 ▶**テンプレート保存**▶YES ●保存されているテンプレートがいっぱいのときはP.211参照。 ●保存したテンプレートの確認方法についてはP.235参照。
添付ファイル追加	添付ファイルを追加します。(P.236参照)
カメラ起動	画像やｉモーションを撮影して添付します。 ▶**撮影モードを選択** ●撮影方法についてはP.184、P.187参照。
添付ファイル削除	添付ファイルを削除します。(P.237参照)
添付ファイル全削除	添付ファイルをすべて削除します。(P.237参照)
冒頭文貼付	冒頭文をｉモードメールの本文の先頭に貼り付けます。 ●あらかじめ冒頭文を登録しておく必要があります。(P.260参照)
署名貼付	署名をｉモードメールの本文の最後に貼り付けます。 ●あらかじめ署名を登録しておく必要があります。(P.260参照)
本文消去	本文に入力されている文章や挿入された画像をすべて削除します。宛先や題名、添付ファイルなどは削除されません。 ▶YES
メール削除	編集中のｉモードメールを削除します。 ▶YES

お知らせ

<宛先追加>
- 「To」、「Cc」、「Bcc」合わせてすでに宛先が5件入力されているときや、宛先が1件も入力されていない場合は、宛先を追加できません。

<宛先タイプ変更>
- 宛先に「To」設定がないｉモードメールは送信できません。

<テンプレート(テンプレート保存)>
- 作成中のメールの題名がテンプレートのタイトル名となります。題名が入力されていない場合は「YYYY/MM/DD hh:mm」となります。(Y:西暦、M:月、D:日、h:時、m:分)

<冒頭文貼付><署名貼付>
- 冒頭文と本文または署名と本文の合計が全角5000文字、半角10000文字を超える場合は、貼り付けできません。
- 本文の先頭や文末に文字色や文字サイズのデコレーションが設定されている場合は、冒頭文や署名も合わせてデコレーションされます。

メール本文入力画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
デコレーション	パレットを表示します。(P.233参照)
テンプレート(テンプレート読込み)	テンプレートを読み込みます。(P.230参照)
テンプレート(テンプレート保存)	デコメールをテンプレートとして保存します。(P.230参照)
絵文字入力	絵文字を入力します。(P.423参照)
記号入力	記号を入力します。(P.423参照)
全角切替・半角切替	全角、半角を切り替えます。(P.423参照)
コピー	文字をコピーします。(P.425参照)
切り取り	文字を切り取ります。(P.425参照)
貼り付け	切り取り・コピーした文字を貼り付けます。(P.425参照)
定型文入力	定型文を入力します。(P.423参照)
スペース入力	スペースを入力します。(P.423参照)
区点入力	区点コードで文字を入力します。(P.423参照)
電話帳引用	電話帳を引用します。(P.423参照)
個人データ引用	個人データを引用します。(P.423参照)
位置情報貼り付け(現在地貼付)	GPS機能を利用して現在地情報を取得し、位置情報をURL化してｉモードメール本文に貼り付けます。 ▶**現在地貼付**▶◉(確定)▶YES
位置情報貼り付け(位置履歴より参照)	GPS機能の位置履歴に残っている位置情報をURL化してｉモードメール本文に貼り付けます。 ▶**位置履歴より参照**▶**位置履歴を選択**▶YES
位置情報貼り付け(電話帳より参照)	電話帳に登録されている位置情報をURL化してｉモードメール本文に貼り付けます。 ▶**電話帳より参照**▶**電話帳を選択**▶◉(選択)▶YES
バーコードリーダー	バーコードリーダーを起動します。(P.193参照)
日付／時刻入力	日付／時刻を入力します。(P.423参照)
ユーザ辞書	ユーザ辞書に単語を登録します。(P.425参照)
学習履歴	学習履歴を確認／削除します。(P.426参照)
入力モード切替	文字入力方式を切り替えます。(P.424参照)
2タッチ／ニコタッチガイダンス	2タッチ方式、ニコタッチ方式で文字の変換候補を表示するかどうかを設定します。(P.424参照)
候補自動表示	変換候補リストの行数を設定します。(P.424参照)
関係候補表示	関係候補を使用するかどうかを設定します。(P.424参照)
文字確定時間	入力した文字を自動的に確定するかどうかを設定します。(P.424参照)
ヘルプ	文字入力の操作方法を確認します。(P.424参照)
プロパティ	デコメールで挿入した画像のファイル名とファイルサイズを表示します。 ●あらかじめカーソルを画像の直前に移動しておく必要があります。 ●確認が終われば「OK」を選択します。
元に戻す	文字の入力や削除、貼り付け、デコレーションなどをひとつ前の状態に戻します。
全画面／参照切替	参照返信時に、メール本文入力画面を全画面に表示するか、受信メール詳細画面を画面下に表示するかを切り替えます。
ウィンドウ切替	参照返信時に、メール本文入力画面の操作と受信メール詳細画面の操作を切り替えます。
JUMP	カーソルをJUMPさせます。(P.424参照)

次ページにつづく

機能メニュー	操作・補足
プレビュー	送信する前に本文の内容を確認します。 ●メール本文入力画面で(i)を押してもプレビューを表示できます。 ●確認が終われば(閉)を押します。

お知らせ

<位置情報貼り付け>

●半角512文字まで貼り付けできます。

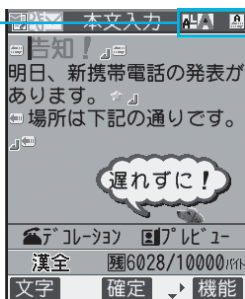
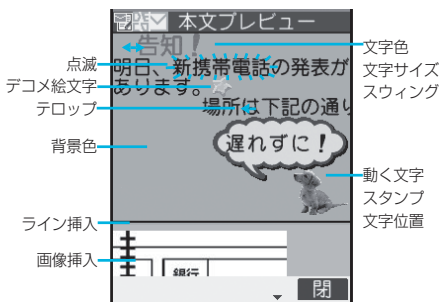
●貼り付けたURLの前には「 」が挿入されます。ただし、編集時に削除できます。

<元に戻す>

●「元に戻す」でひとつ前の状態に戻したあと、「元に戻す」の取り消しはできません。

●メール本文入力画面を終了すると、再度メール本文入力画面を表示しても「元に戻す」でひとつ前の状態には戻せません。(「プレビュー」でプレビューを表示後の場合は戻せます。)

デコメールを作成して送信する

iモードメール本文編集時に文字の大きさや背景の色などを変えたり、画像を挿入することによって自分のオリジナルメールを作成して送信できます。また、テンプレート(ひな形)を使用して作成できます。(P.235参照)

1 **P.228の手順1～手順3の操作を行う**

2 **本文欄を選択▶パレットを使って本文をデコレーションする**

●パレットの使い方についてはP.233参照。

デコレーションを選択してから本文を入力する場合

▶デコレーションを選択▶本文を入力

●各デコレーションの詳しい操作についてはP.233参照。

本文を入力してからデコレーションを設定する場合

本文を入力▶ ▶ (デコレーション変更)

P.233「デコレーション変更」へ進みます。

●全角5000文字まで、半角10000文字まで入力できます。(デコレーションにより、入力できる文字数は少なくなります。)

●メール本文をデコレーションすると、「 」が表示されます。

●(i)を押すと、本文のプレビューを表示できます。
(閉)を押すとプレビューを終了して元の画面に戻ります。

3 **(確定)を押す**

メール作成画面が表示されます。
P.229手順5へ進みます。

お知らせ

●デコレーションした文字を削除しても、デコレーションデータのみが残り、入力文字数が少なくなる場合があります。デコレーションの解除を行ってから文字を削除してください。なお、(クリア)を1秒以上押して文字を削除した場合は、デコレーションデータも含めて文字が削除されます。

●受信したデコメールを引用返信、転送した場合、デコレーションや挿入した画像はそのままの状態で本文に入力されます。

●メール送信できない画像が含まれたテンプレートを利用すると、画像が削除されます。

●デコメール非対応機種や903iシリーズ以外のデコメール対応機種に10000バイトを超えるデコメールを送信した場合は、送信先では閲覧用のURLが記載されたメールを受信します。
ただし、非対応機種によっては、本文のみ受信し、閲覧用のURLがないメールを受信する場合があります。

●パソコンなどとデコメール送受信すると、デコレーションが正しく表示されない場合があります。

●テロップ・スウィングの動作や点滅、アニメーションは、一定の時間が経過すると停止します。

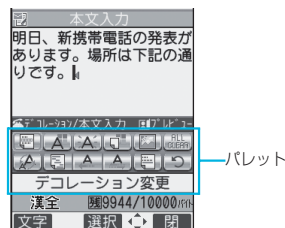
デコレーションについて

パレットを使って、i モードメールの本文をデコレーションします。
1箇所に複数のデコレーションを設定できます。

- 文字位置･テロップ･スウィングを1箇所に組み合わせることはできません。
- ライン挿入は文字色で指定している色で挿入されます。
- 画像挿入と動く文字スタンプ作成は文字位置･テロップ･スウィングで指定している状態で挿入されます。
- デコメ絵文字は「画像挿入」で入力できますが、機能メニューの「絵文字入力」からも入力できます。

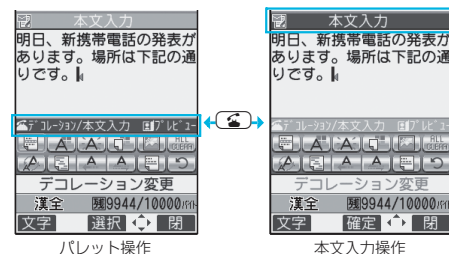
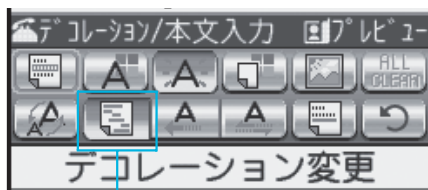
■パレットの使い方

メール本文入力画面で(☎)を押すとパレットが表示されます。

- 機能メニューから「デコレーション」を選択してもパレットを表示できます。
- (iα)(閉)を押すと、パレットを閉じます。パレット操作中に(chクリア)を押しても、パレットを閉じます。

操作を切り替える

(☎)を押すごとに、パレットの操作と本文入力の操作を切り替えることができます。パレットを表示したままカーソルを移動させたり、本文を入力したりできます。

- 文字を入力後は「本文入力操作」になります。
  続けてパレットを操作する場合は、(☎)を押してから操作します。

パレット操作　　本文入力操作

アイコンの状態

- デコレーションしている文字にカーソルがある場合、設定しているデコレーションのアイコンが押された状態で表示されます。
  押された状態のアイコンを選んで(◎)(選択)を押すとデコレーションを変更または終了、解除できます。
  範囲選択中は(chクリア)を押しても範囲選択を解除できます。
- グレーで表示されているアイコンは選択できません。

■デコレーションの操作方法

機能	操作･補足
(デコレーション変更)	入力済みの文字を選択して文字色、点滅、文字サイズ、文字位置、テロップ、スウィングを設定します。また、設定済みのデコレーションを変更、追加したり、点滅、テロップ、スウィングを解除できます。 ▶**始点を選択** ●(iα)(全選択)を押して「YES」を選択すると全文を選択できます。 ▶**終点を選択** 各デコレーションを設定、変更、追加、解除します。 ●範囲選択中は画面の右上に「 選択/SELECT 」が表示されます。 <デコレーションを設定、変更、追加する> ▶**アイコンを選択し、デコレーションを設定、変更、追加** ●複数のデコレーションを変更する場合やデコレーションを追加する場合は、続けて他のアイコンを選択します。 ▶(アイコン) ●点滅、テロップ、スウィングを設定した場合は、再度それぞれのアイコンを選択して各デコレーションを終了します。 <点滅、テロップ、スウィングを解除する> ▶**点滅、テロップ、スウィングのアイコンを選択**▶**再度同じアイコンを選択**

次ページにつづく

機能	操作・補足
(文字色)	入力する文字の色、ラインの色を変更します。 ▶色を選択▶文字を入力 ●文字色を変更中は画面の右上に「」が表示されます。 ●続けて他のデコレーションも設定できます。 ●範囲選択している場合は、文字を入力する必要はありません。
(点滅)	入力する文字を点滅表示させます。 ▶文字を入力 文字が点滅表示されます。 ●点滅を設定中は画面の右上に「」が表示されます。 ●続けて他のデコレーションも設定できます。 ▶▶(点滅終了)
(背景色)	メール本文の背景色を変更します。 ▶色を選択
(画像挿入／動く文字スタンプ作成)	入力する文字をスタンプにして本文に挿入します。スタンプはアニメーションになり様々な動きをして相手に気持ちを伝えてくれます。 ▶▶動く文字スタンプを選択 ▶文字を入力 ●動く文字スタンプを削除するには、動く文字スタンプにカーソルをあて、chクリアを押します。 ●お買い上げ時に登録されている動く文字スタンプについてはP.454参照。
(画像挿入／マイピクチャ)	「マイピクチャ」に保存されている画像をメール本文に挿入します。 ▶▶フォルダを選択▶画像を選択 ●画像を削除するには、画像にカーソルをあて、chクリアを押します。 ●お買い上げ時に登録されているデコメピクチャについてはP.454参照。
(画像挿入／カメラ)	その場でカメラを起動して撮影した画像をメール本文に挿入します。 ▶▶静止画を撮影 ●カメラの画像サイズはSub-QCIF(128×96)、QCIF(176×144)、待受(240×320)、CIF(352×288)です。 ●画像を削除するには、画像にカーソルをあて、chクリアを押します。 ●撮影方法についてはP.184「静止画を撮影する」手順2、手順3参照。

機能	操作・補足
(デコレーション全解除)	すべてのデコレーションを解除します。 ▶YES ●挿入した画像がある場合は、「インライン画像を削除しました」と表示されます。「OK」を選択するとメール本文入力画面に戻ります。
(文字サイズ)	入力する文字のサイズを変更します。 ▶サイズを選択▶文字を入力 ●文字サイズを変更中は画面の右上に「」「」が表示されます。 ●続けて他のデコレーションも設定できます。 ●範囲選択している場合は、文字を入力する必要はありません。
(文字位置)	入力する文字、挿入する画像の位置を変更します。 ▶文字位置を選択▶文字を入力 自動的に改行が入力され、文字位置が設定されます。 ●文字位置を設定中は画面の右上に「」が表示されます。 ●続けて他のデコレーションも設定できます。 ●範囲選択している場合は、文字を入力する必要はありません。
(テロップ)	入力する文字、挿入する画像をテロップ表示(右から左へ流れる表示)させます。 ▶文字を入力 自動的に改行が挿入され、カーソルの前後に「」が表示されます。 ●テロップを設定中は画面の右上に「」が表示されます。 ●続けて他のデコレーションも設定できます。 ▶▶(テロップ終了) 自動的に改行が挿入されます。
(スウィング)	入力する文字、挿入する画像をスウィング表示(左右を往復する表示)させます。 ▶文字を入力 自動的に改行が挿入され、カーソルの前後に「」が表示されます。 ●スウィングを設定中は画面の右上に「」が表示されます。 ●続けて他のデコレーションも設定できます。 ▶▶(スウィング終了) 自動的に改行が挿入されます。

機能	操作・補足
(ライン挿入)	メール本文にライン(水平線)を挿入します。 自動的に改行が挿入され、ラインが挿入されます。 ●ラインを削除するには、ラインにカーソルをあて、(chクリア)を押します。
(元に戻す)	設定したデコレーションなどをひとつ前の状態に戻します。

お知らせ

＜文字色＞

●別の色が設定されている文字にカーソルを移動させると、その文字色に設定が変わります。

●絵文字の色も指定した文字色で表示されます。通常の色に戻したいときは「指定なし」に設定してください。

●デコメ絵文字の色は変更できません。

＜点滅＞

●デコメ絵文字は点滅させることはできません。

＜背景色＞

●デコメールの背景色によっては、画像やｉモーション取得先URLの文字色と重なり、URLが見えない場合があります。

●冒頭文や署名の編集時は背景色を変更できません。

＜画像挿入＞

●画像は20件まで、合計90Kバイトまで挿入できます。ただし、操作によっては20件以下でも画像の数がオーバーするため再編集する旨の確認画面が表示されます。「YES」を選択し、再度本文の編集を行ってください。

●同一の画像を複数挿入した場合、挿入件数は1件として扱われます。既に挿入されている画像をコピー／ペーストした場合も同一画像の挿入と見なされ合わせて1件として扱われます。

＜文字サイズ＞

●別の文字サイズが設定されている文字にカーソルを移動させると、移動先の文字サイズに設定が変わります。

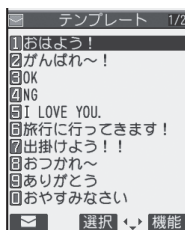
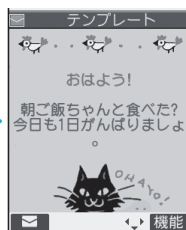
●デコメ絵文字のサイズは変更できません。

＜テンプレート＞

テンプレートを利用してデコメールを作成する

テンプレートとは、文字の大きさや画像挿入などのデコレーションがすでに指定されているデコメール用のひな形データです。
お買い上げ時に保存されている以外に、サイトからダウンロードしたり(P.210参照)、送受信したデコメールや作成中のデコメールをテンプレートとしてメールメニューの「テンプレート」に保存したりできます。(P.230、P.253参照)
保存したテンプレートはパレットで編集できます。

●お買い上げ時に保存されているテンプレート(P.455参照)は削除できます。「P-SQUARE」のサイトから再びダウンロードできます。ダウンロード時と異なるFOMAカードを使用中は、FOMAカード動作制限機能がかかります。(P.39参照)

1 **待受画面▶(メール)(　)▶テンプレート▶テンプレートを選択**

テンプレート一覧画面

テンプレート詳細画面

© I-FREEK CO.,INC.

●(メール)(　)を押すと、テンプレートの内容でデコメールを作成します。P.228手順2へ進みます。

●「冒頭文／署名設定」で冒頭文や署名を自動で貼り付けるように設定していても、冒頭文や署名は貼り付けられません。

テンプレート一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
ｉモードメール作成	テンプレートの内容でデコメールを作成します。 P.228手順2へ進みます。
ソート	表示される順番を変更します。 ▶順番を選択
タイトル編集	▶タイトルを入力 ●全角15文字まで、半角30文字まで入力できます。

次ページにつづく

機能メニュー	操作・補足
情報表示	テンプレートのファイルサイズ、保存日時、画像の有無を表示します。 ●確認が終われば(chクリア)を押します。
保存件数確認	テンプレートの保存件数を表示します。 ●確認が終われば(chクリア)を押します。
削除	▶YES
選択削除	▶削除したいテンプレートにチェック▶(✉)(完了)▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

テンプレート詳細画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
iモードメール作成	テンプレートの内容でデコメールを作成します。 P.228手順2へ進みます。
編集	テンプレートの内容を編集して保存します。 ▶本文を編集▶(◉)(保存) ▶YES・NO YES. . . 上書きして保存します。 NO . . . 別データとして保存します。 ●本文の編集方法についてはP.232手順2参照。 ●(iα)(機能)を押して「保存」を選択しても保存できます。 ●保存されているテンプレートがいっぱいのときはP.211参照。
挿入画像保存	テンプレートやデコメールの本文に挿入された画像を保存して、待受画面やウェイクアップ画面などに設定できます。 ▶画像を選択▶YES ▶保存したいフォルダを選択 P.208手順2へ進みます。 ●保存されている画像がいっぱいのときはP.211参照。

お知らせ

<編集>

●別データとして保存したときのタイトル名は「YYYY/MM/DD hh:mm」となります。(Y:西暦、M:月、D:日、h:時、m:分)

<挿入画像保存>

●デコメ絵文字の場合は「デコメ絵文字」フォルダに保存されます。

<添付ファイル>

ファイルを添付する

iモードメールにファイルやデータを添付して送信します。

以下のファイルを添付できます。

・静止画　・動画／iモーション
・メロディ　・トルカ　・PDF
・電話帳　・スケジュール　・ToDo
・Bookmark　・SDその他ファイル

最大10件まで、合計2Mバイトまで添付できます。

●メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは添付できません。

●自端末で撮影した静止画や動画／iモーション、赤外線で受信したファイルは、「ファイル制限」の設定に関わらず添付できます。

●受信側の端末が2Mバイト対応機種以外の場合は、その端末のメール受信容量内で、対応しているファイルのみ受信します。

●添付ファイルのサイズによっては、送信に時間がかかる場合があります。

1 メール作成画面▶(iα)(機能)▶添付ファイル追加▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
ピクチャ	▶フォルダを選択▶画像を選択 P.228手順2へ進みます。 ●添付した画像を選んで(◉)(選択)を押すと、画像を表示できます。元の画面に戻るには(chクリア)を押します。
メロディ	▶フォルダを選択▶メロディを選択 P.228手順2へ進みます。 ●添付したメロディを選んで(◉)(選択)を押すと、メロディを再生できます。 いずれかのボタンを押すと再生は停止します。
iモーション	▶フォルダを選択▶iモーションを選択 P.228手順2へ進みます。 ●添付したiモーションを選んで(◉)(選択)を押すと、iモーションを再生できます。 再生中に(chクリア)を押すと元の画面に戻ります。
トルカ	トルカを添付します。トルカがトルカ(詳細)の場合はトルカ(詳細)として添付されます。 ▶フォルダを選択▶トルカを選択 P.228手順2へ進みます。 ●添付したトルカを選んで(◉)(選択)を押すと、プレビューが表示されます。(chクリア)を押すと元の画面に戻ります。

項目	操作・補足
PDF	▶フォルダを選択▶PDFを選択 P.228手順2へ進みます。
電話帳	▶検索方法を選択▶電話帳を選択 ▶◉(選択) P.228手順2へ進みます。 ●前回、検索方法を指定している場合は、その検索方法で検索されます。
スケジュール	▶日付を選択▶スケジュールを選択 ▶◉(選択) P.228手順2へ進みます。
ToDo	▶ToDoを選択▶◉(選択) P.228手順2へ進みます。
Bookmark	▶ブックマークを選択 P.228手順2へ進みます。
その他	「SDその他ファイル」に保存されているファイルを添付します。 ▶フォルダを選択▶ファイルを選択 P.228手順2へ進みます。

お知らせ

<ピクチャ>

●movaサービスのｉモード端末へは添付ファイル形式ではなく、画像閲覧用URLおよび画像の保存期限が自動的に付与されて送信され、そのURLを選ぶことで画像を取得できます。movaサービスのｉモード端末へ送れるメール本文は最大全角184文字(369バイト)です。(受信するmova端末の受信文字数が「全角250文字」の場合)
複数ファイルを添付した場合、添付ファイルは削除され、メール本文のみ通知されます。

●GIF画像はmovaサービスのｉモード端末では受信できません。

●受信側の機種によっては、静止画が正しく受信できなかったり、受信した画像が表示できない場合や粗く表示される場合があります。

<メロディ>

●microSDメモリーカードに保存されているメロディは添付できません。メロディをFOMA端末にコピーしてください。(P.339参照)

●受信側がFOMA P903i以外の場合は、送信したメロディが正しく再生されないことや添付削除されることがあります。

●添付されたメロディはmovaサービスのｉモード端末では受信できません。

お知らせ

<ｉモーション>

●ｉモーションによっては、ファイルサイズが増減したり、メールに添付できない場合があります。

●microSDメモリーカードに保存されている動画は添付できません。動画をFOMA端末にコピーしてください。(P.339参照)

●受信側の端末によっては、正しく受信、表示ができない場合や、動画が粗くなったり連続静止画に変換される場合があります。
2Mバイト対応機種以外に送信する場合には、以下の設定で撮影した動画がおすすめです。
動画容量設定:メール制限(小)
画質設定:標準・画質優先・動き優先

<トルカ>

●microSDメモリーカードに保存されているトルカは添付できません。トルカをFOMA端末にコピーしてください。(P.292参照)

添付ファイル削除

選択している添付ファイルを削除します。

1 **メール作成画面▶添付ファイルを選んで ⓘα(機能)▶添付ファイル削除▶YES**

添付ファイル全削除

1 **メール作成画面▶ⓘα(機能)▶添付ファイル全削除▶YES**

<えチャット>

えチャットを使う

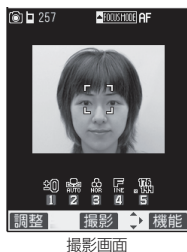
音声電話中の相手に静止画を送ります。静止画はｉモードメールの添付ファイルとして送信され、通話中に画像を見ることができます。
えチャットを利用するには、あらかじめ相手の電話番号とメールアドレスを同じ電話帳に登録しておく必要があります。
相手側の機種によっては、通話中に画像を見られない場合があります。

静止画を撮影して送信する

音声電話中に静止画を撮影して送信します。

1 **音声電話中▶ⓘα(機能)▶えチャット撮影／送信▶フォトモード**

カメラが起動します。

次ページにつづく

2 ◉(撮影)を押す

撮影画面

静止画が撮影されます。

- 撮影画面で☎を押すと通話画面に戻ります。
- 撮影画面の操作についてはP.189参照。

3 ◉(送信)▶フォルダを選択▶メールアドレスを選択

静止画が送信されます。送信後、「OK」を選択して通話画面に戻ります。

- 複数のメールアドレスが登録されているときは、送信する宛先のメールアドレスを選択します。
- iα(機能)を押して「保存&メール送信」を選択しても送信できます。
- ✉(取消)を押すか、iα(機能)を押して「取り消し」を選択すると、送信を中止できます。
- iα(機能)を押して「ピクチャ貼付」「ファイル制限」を設定することもできます。(P.185、P.192参照)

お知らせ

- カメラの画像サイズは、QCIF(176×144)、Sub-QCIF(128×96)です。

静止画を選択して送信する

保存されている静止画を送信します。

1 音声電話中▶iα(機能)▶えチャット撮影／送信▶マイピクチャ

2 フォルダを選択▶静止画を選択▶メールアドレスを選択

静止画が送信されます。送信後、「OK」を選択して通話画面に戻ります。

- QCIF(176×144)、Sub-QCIF(128×96)のファイルのみ選択できます。
- 複数のメールアドレスが登録されているときは、送信する宛先のメールアドレスを選択します。

■えチャットを受信すると

「えチャット表示設定」を「自動表示する」に設定していると、自動で静止画が表示されます。
複数のえチャットを受信したときは◎で静止画を切り替えることができます。

- 音声電話中にiα(機能)を押して「えチャット表示」を選択すると、受信している静止画を表示できます。
- 音声電話中にiα(機能)を押して「iモード問い合わせ」を行うこともできます。(P.241参照)

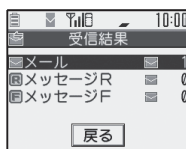
お知らせ

- 次の場合、えチャットは利用できません。
  - ･通話中の相手の電話番号とメールアドレスが電話帳に登録されていないとき
  - ･通話中の相手の電話番号とメールアドレスがシークレットデータとして電話帳に登録されているとき
  - ･音声電話を受けた側に、電話番号が通知されない状態(非通知設定、公衆電話、通知不可能など)のとき(ただし、電話をかけた側からは送信可能です。)
  - ･指定発信制限中、通話中の相手の電話番号が指定発信制限に設定されていないとき
  - ･送信BOXに送信メールが最大保存容量まで保存されており、そのすべてが保護されているとき、または保存メールが20件あるときや保存BOXの容量がいっぱいのとき(送信できません。)
  - ･受信BOXが未読または保護されているメールでいっぱいのとき(受信できません。)
  - ･キャッチホン中のとき
- 画像によってはえチャット送信できない場合があります。
- 送受信したえチャットは、画像添付メール(題名は電話番号)として送信BOX／受信BOXに保存されます。送信時に中止した場合は保存BOXに保存されます。

<メール自動受信>

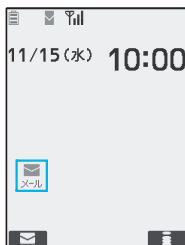
ｉモードメールを自動的に受信する

FOMA端末が通話圏内にあるときには、自動的にｉモードメール･SMS･SMS送達通知が送られてきます。（ｉモードメールを選択して受信するにはP.241参照。）
メールが届くと画面の上部に「（ピンク）」が表示されます。
受信したｉモードメールは、SMSと合わせて最大1000件まで保存できます。

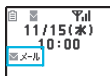
1　ｉモードメールを受信すると「（ピンク）」が点滅し、受信中のメッセージが表示される

受信結果画面

受信が終わると、受信したｉモードメールとメッセージR/Fの件数が表示されます。

- 「メール」を選択すると受信メール一覧画面が表示されます。
- 受信を途中で中止する場合は、「メール受信中･･･」と表示されている間に◉（中止）またはch クリア（1秒以上）を押します。ただし、タイミングにより受信されることがあります。

■何も操作しないで約15秒経過すると

元の画面に戻ります。（「メール／メッセージ鳴動」の設定により、秒数は異なります。）

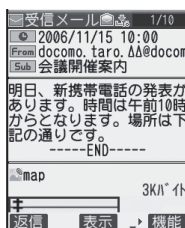
- デスクトップに「メール」が表示されます。
◉を押し、「メール」を選んで◉（選択）を押すと、受信メール一覧画面が表示されます。

■FOMA端末を閉じているときは

プライベートウィンドウに表示されます。
▲を押すと受信したｉモードメールの受信日時、送信元、題名が表示されます。（P.29参照）

お知らせ

- ｉモードメール1件につき、添付ファイルも含めて最大100Kバイトまで自動受信できます。100Kバイトを超える添付ファイルは、ｉモードセンターから手動で取得できます。（P.243参照）
- 受信メールの最大保存件数や最大保存容量を超えた場合は、「ゴミ箱」フォルダのメール、古い受信メールの順に上書きされます。ただし、未読または保護されている受信メールは上書きされません。
- FOMA端末に保存されている未読または保護されている受信メールの合計が最大保存件数になった場合は、新しいメールを受信できず、「（グレー）」が表示されます。ｉモードメールを受信するには、「（グレー）」が消えるまで受信メールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除してから「ｉモード問い合わせ」を行ってください。
- ｉモードメールではメロディや静止画などを添付ファイルとして受信できます。対応していない添付ファイルは受信は可能ですが表示はできません。
- To、Cc、Bccを設定できる端末からメールが送信された場合、自分がTo、Cc、BccのどれにあてはまるかFOMA端末で確認できます。
- 以下のような場合にメールを受信したときは、ｉモードセンターに保管されます。
  - ･電源OFFのとき
  - ･テレビ電話中
  - ･セルフモード設定中
  - ･圏外のとき
  - ･赤外線通信中
  - ･FirstPassセンター接続中
  - ･プッシュトーク通信中
  - ･おまかせロック中
  - ･お預かりセンターに接続中
  - ･保護または未読メールにより、受信BOXの容量が満杯のとき
- ｉモードセンターにｉモードメールが保存されているときは「（ピンク）」が、ｉモードセンターのｉモードメールが一杯のときは「（グレー）」が表示されます。

新着ｉモードメールを表示する

1　受信結果画面▶メール▶表示したいｉモードメールを選択

■ｉモードメール表示切替機能
ｉモードメールの詳細画面（本文）を表示しているときに◎を1秒以上押して文字の大きさを変更できます。詳細画面以外では標準表示になります。

次ページにつづく

お知らせ

- 正しく表示できない文字はスペースなどで表示されます。
- ｉモードメールの本文が受信可能な文字数を超えた場合は、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、超えた部分が自動的に削除されます。
- メール表示時に自動的に表示される静止画は正しく表示できない場合があります。また、画像サイズがディスプレイより大きい場合は、縦横比を保ったまま縮小して表示されます。
- パソコンなどから送信された装飾付きのメール(HTMLメール)を受信すると、装飾が正しく表示されない場合があります。

<キラリメール>

キラリメールを受信したときは

キラリメールとは、メール本文中のキラリメール対応絵文字に合わせて着信／充電ランプが光る機能です。メール受信時、メールの詳細画面表示時、メール作成中のプレビュー表示時に着信／充電ランプが光ります。

●メール受信時

・ｉモードメール、SMSに関わらず、対応絵文字が含まれていれば光ります。
・複数のメールを同時に受信したときは、最後に受信したメールに対して光ります。
・通常の着信／充電ランプが点滅したあと光ります。
・公共モード(ドライブモード)中、通話中に受信した場合は光りません。

●メールの詳細画面表示時

・メロディが添付または貼り付けられている場合は、メロディ再生後に光ります。
・詳細画面以外に移ったときは、点灯や点滅は中断されます。
・メール連動型ｉアプリでメールを表示した場合は光りません。

●メール作成中のプレビュー表示時

・「キラリメール設定」の設定に関わらず光ります。

■着信／充電ランプの点灯や点滅を確認するには

受信メール詳細画面、送信メール詳細画面、メール作成画面、送信プレビュー表示の画面で(＊)を押します。

- 受信メール詳細画面、送信メール詳細画面、送信プレビュー表示の画面で(iα)(機能)を押して「キラリメール確認」を選択しても確認できます。
- 「キラリメール設定」の設定に関わらず確認できます。
- メール作成画面で確認した場合は、いずれかのボタンを押すと点灯や点滅は停止します。

■キラリメール対応絵文字一覧

絵文字	ランプ色	光りかた	絵文字	ランプ色	光りかた
	白	A		黄	C
	白	A		黄	C
	白	A		黄	C
	白	B		緑	C
	白	C		水色	A
	白	C		水色	C
zzz	白	C		水色	C
	白	C		水色	C
	赤	A		青	A
	赤	A		青	C
	赤	A		青	C
	赤	A		青	C
	赤	B		青	C
	赤	C		青	C
	赤	C		ピンク	A
	赤	C		ピンク	C
	黄	A		ピンク	C
	黄	C		ピンク	C
	黄	C		ピンク	C
	黄	C		グラデーション	C

- 光りかたA：約1秒間速く点滅
- 光りかたB：約1秒間点灯
- 光りかたC：約2秒間ゆっくり点滅

※絵文字は、ｉモード対応以外の携帯電話やパソコンなどに送信すると正しく表示されません。また、　　　の絵文字は、対応していないｉモード対応携帯電話では正しく表示されません。
※ランプ色はイメージです。

お知らせ

- 点灯中や点滅中に着信などがあった場合は中断されます。

キラリメール設定

お買い上げ時	すべてチェックあり

キラリメールを受信したり表示したときに、対応絵文字に合わせて着信／充電ランプが光るかどうかを設定します。

1 **待受画面▶(✉)( )▶メール設定▶キラリメール設定▶設定したい項目にチェック▶(✉)(完了)**

自動表示設定 . . キラリメールの詳細画面を表示したときに着信／充電ランプが光ります。

着信時設定 . . . . キラリメールを受信したときに着信／充電ランプが光ります。

<メール選択受信>
iモードメールを選択して受信する

iモードセンターに保管されているiモードメールのタイトルなどを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にiモードセンターでメールを削除できます。
メール選択受信をご利用になるためには、あらかじめ「メール選択受信設定」を「ON」に設定します。
なお、「ON」に設定した場合は、自動的にiモードメールを受信できません。

1 **待受画面▶(✉)( )▶メール選択受信**

引き続き、「ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）」の手順に従って操作してください。

- 「メール選択受信設定」が「OFF」の場合は、「ON」に設定する旨の画面が表示されます。(◎)(選択)を押すと「メール選択受信設定」を設定できます。
- 「(ﾒﾆｭｰ)▶(iモード)▶iMenu▶メニュー／検索▶メール選択受信」の操作を行ってもメール選択受信画面が表示されます。

お知らせ

- メール選択受信設定を「ON」に設定した場合は、自動的にiモードメールを受信できません。送られてきたiモードメールはiモードセンターに保管され、「 」が表示されます。その際、メール着信音は鳴らずマナーモードやバイブレータを設定していても振動しません。受信するには、「iモード問い合わせ」や「メール選択受信」を行ってください。
- メール選択受信設定を「ON」に設定していても「iモード問い合わせ」を行うとすべてのメールを受信しますので、受信したくない場合には、問い合わせたい項目から「メール」を外してご利用ください。（P.242参照）

お知らせ

- メール選択受信画面を表示した場合、「 」のアイコンは消灯します。また、電源を切ったり、メール画面を表示した場合なども「 」のアイコンは消灯します。
- SMSは選択して受信できません。

メール選択受信設定

お買い上げ時	OFF

iモードメールを選択受信するかどうかを設定します。

1 **待受画面▶(✉)( )▶メール設定▶メール選択受信設定▶ON･OFF**

<iモード問い合わせ>
iモードメールがあるかどうかを問い合わせる

iモードセンターに届いたiモードメールやメッセージR/Fは自動的にFOMA端末へ送信されますが、FOMA端末の電源が入っていないときや、圏外などで受信できないとき、またはメール選択受信設定が「ON」のときは、iモードセンターに保管されます。
「 （ピンク）」が表示された場合は、iモードセンターへ問い合わせを行い、それらを受信します。
「 」が表示された場合は、「メール選択受信」参照。

1 **待受画面▶(✉)（1秒以上）**

「 （ピンク）」と「 R （黄色）･ F （黄色）」が点滅して「問い合わせ中」と表示され、iモードメールやメッセージR/Fを受信します。
問い合わせ結果には、新しく受信したiモードメールとメッセージR/Fの件数を表示します。

- 「(ﾒﾆｭｰ)▶(メール)･(iモード)▶iモード問い合わせ」の操作を行っても問い合わせできます。
- 受信を途中で中止する場合は、(◎)(中止)または(chｸﾘｱ)（1秒以上）を押します。ただし、タイミングにより受信されることがあります。

お知らせ

- 「 （グレー）」「 R （グレー）･ F （グレー）」「 （グレー）」などのアイコンが表示されたときは、FOMA端末はこれ以上iモードメールやメッセージR/Fを受信できません。不要なメールやメッセージを削除するか、未読のメールやメッセージを読むか、保護を解除してください。（読んだり、保護を解除したりしたメールやメッセージは、古いものから順に自動的に上書きされます。）

次ページにつづく

お知らせ

- ｉモードセンターにｉモードメールが保管されている場合でも、そのことを示すアイコン「 (ピンク)」や、ｉモードセンターのｉモードメールが一杯になっていることを示すアイコン「 (グレー)」が表示されないことがあります。(FOMA端末の電源が入っていないときにセンターに届いた場合など)
- 問い合わせをする項目を「ｉモード問い合わせ設定」で選択できます。
- 本機能でSMSは受信できません。SMSは「SMS問い合わせ」で受信してください。

ｉモード問い合わせ設定

お買い上げ時	すべてチェックあり

「ｉモード問い合わせ」をするときに問い合わせる項目をｉモードメール、メッセージR、メッセージFの中から設定します。

1 **(ﾒﾆｭｰ)▶設定▶アプリケーション通信設定▶ｉモード問い合わせ設定▶問い合わせたい項目にチェック▶(✉)(完了)**

お知らせ

- メッセージRやメッセージFをｉモード問い合わせで受信したくない場合は、「□」にしてご利用ください。

受信したｉモードメールに返信する

返信・引用返信

送信元に返信します。「引用返信」では、受信したｉモードメールの本文を引用して返信できます。SMSは引用返信できません。

1 **受信メール一覧画面・受信メール詳細画面▶(iα)(機能)▶返信・引用返信**

- 受信メール詳細画面表示中は、(✉)(返信)を押しても返信できます。
- 自分以外に同報先があるときは、送信元のみに返信するか、すべての宛先に返信するかを選択できます。
  「送信元へ」または「すべてへ」を選択します。
- 引用符(P.260参照)は、引用返信するｉモードメールの本文の先頭にひとつだけ付きます。

2 **題名、本文を入力して送信する**

ｉモードメールを選択していた場合はP.228手順3へ進みます。
SMSを選択していた場合はP.266手順3へ進みます。
送信すると「 」が「 」に変わります。

参照返信

画面上にメール本文入力画面、画面下に受信メール詳細画面が表示され、受信メールを参照しながら本文を入力できます。SMSは参照返信できません。

1 **受信メール一覧画面・受信メール詳細画面▶(iα)(機能)▶参照返信**

- 自分以外に同報先があるときは、送信元のみに返信するか、すべての宛先に返信するかを選択できます。
  「送信元へ」または「すべてへ」を選択します。

2 **本文を入力**

- (□)を押すごとにメール本文入力画面の操作と受信メール詳細画面の操作を切り替えることができます。
  (iα)(機能)を押して「ウィンドウ切替」を選択しても切り替わります。
- (□)を1秒以上押すと、本文のプレビューを表示できます。(iα)(閉)を押すと元の画面に戻ります。
- メール本文入力画面を全画面に表示するには、(iα)(機能)を押して「全画面／参照切替」を選択します。もう一度操作すると画面下に受信メール詳細画面が表示されます。

3 **題名を入力して送信する**

P.228手順3へ進みます。
送信すると「 」が「 」に変わります。

お知らせ

- 返信できない送信元(メールアドレスが半角文字で50文字を超えているときなど)には「 」が表示されます。
- 返信または引用返信、参照返信する際は題名に「Re:」が追加されます。題名の文字数が全角文字で15文字を超えたときは、超えた部分が削除されます。(すでに「Re:」が付いているときは「Re2:」となり、「Re99:」まで付きます。)
- ｉモードメール本文に、貼り付けデータがある場合、返信をしても貼り付けデータは引用できません。また、データリンクソフト使用時や赤外線通信時も貼り付けデータは引用できません。貼り付けデータについては、P.247参照。
- メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像がデコメールの本文に挿入されている場合、画像が削除されて返信されます。
- FOMA端末外への出力が禁止されているデータを含むトルカ(詳細)が添付されているメールを引用返信する場合、添付ファイルは詳細を取得する前のトルカになります。

＜転送＞

受信したｉモードメールを転送する

ｉモードメールやSMSを他の人に転送できます。

1 **受信メール一覧画面・受信メール詳細画面 ▶ (機能) ▶ 転送**

2 **宛先を入力して送信する**

ｉモードメールを選択していた場合はP.228手順2へ進みます。
SMSを選択していた場合はP.266手順2へ進みます。
送信すると「 」が「 」に変わります。

お知らせ

- 転送する際は題名に「Fw:」が追加されます。題名の文字数が全角文字で15文字を超えたときは、超えた部分が削除されます。(すでに「Fw:」が付いているときは「Fw2:」となり、「Fw99:」まで付きます。)
- 取得されていないファイルがあるｉモードメールを転送すると、ファイルの情報は削除されます。
- ｉモードメール本文に、貼り付けデータがある場合、転送をしても貼り付けデータは引用できません。また、データリンクソフト使用時や赤外線通信時も貼り付けデータは引用できません。貼り付けデータについては、P.247参照。
- FOMA端末外への出力が禁止されているデータを含むトルカ(詳細)が添付されているメールを転送する場合、添付ファイルは詳細を取得する前のトルカになります。
- microSDメモリーカード内に保存されているメールを転送する場合は、添付ファイルは削除されます。

ファイルが添付または貼り付けられたｉモードメールを受信したときは

FOMA端末では、2Mバイトまでの添付ファイルを受信できます。ただし、100Kバイトを超えるファイルは添付ファイルの情報だけが受信されますので、改めてｉモードセンターから取得する必要があります。

FOMA端末が対応しているのは以下のファイルです。

・静止画　・動画／ｉモーション
・メロディ　・トルカ　・PDF
・電話帳　・スケジュール　・ToDo
・Bookmark

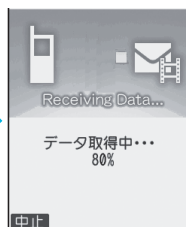
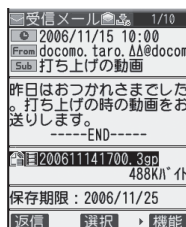
上記以外のファイルはFOMA端末で再生・表示できません。「SDその他ファイル」内の任意のフォルダに保存するか、またはｉモードメールで転送できます。

「添付ファイル優先受信」で受信するファイルを選択できます。

- 複数のデータが貼り付けされている場合、その貼り付けデータ自体が表示されないことがあります。

未取得添付ファイルを取得する

ｉモードセンターに保管されている未取得添付ファイルを取得します。

1 **受信メール詳細画面 ▶ 取得前の添付ファイルを選択**

取得完了後、ファイルが再生／表示されます。

- 取得しながら再生できるｉモーションの場合は、取得中にｉモーションが再生されます。

お知らせ

- 受信BOX内の空き容量が添付ファイルより少ないときは取得できません。

添付または貼り付けられたファイルを再生／表示する

取得済みの添付または貼り付けられたファイルを再生または表示できます。

1 送信メール詳細画面・受信メール詳細画面 ▶添付ファイルを選択

ファイルが再生または表示されます。

- 電話帳、スケジュール・ToDo、ブックマーク、FOMA端末では対応していないファイルの場合は、保存するかどうかの確認画面が表示されます。

お知らせ

- 送信元がFOMA P903i以外の場合、送られてきたメロディが正しく再生できない場合があります。
- 添付ファイルの1件目が100Kバイト未満の静止画の場合は、メール表示時にその静止画のみ自動的に表示されます。
- ｉモードメール内で表示される静止画のサイズはQXGA（1536×2048）サイズまでです。ただし、画像のサイズがディスプレイより大きいときは、縮小して表示されます。
- 100Kバイトを超えるメロディの場合は再生できません。
- トルカの場合1Kバイト、トルカ（詳細）の場合100Kバイトを超えていると表示できません。

添付または貼り付けられたファイルを保存する

取得済みの添付または貼り付けられたファイルを保存できます。ファイルによっては着信音に設定できたり、待受画面やウェイクアップ画面などに設定できます。

1 送信メール詳細画面・受信メール詳細画面 ▶添付ファイルを選んで(機能) ▶データ保存▶YES

- FOMA端末では対応していないファイルの場合は、「SDその他ファイル」内の保存先フォルダに保存されます。操作が終了します。
- FOMA端末に対応しているファイルでも、サイズが大きすぎたり無効なデータのファイルなど、ファイルによってはFOMA端末に保存できないものがあります。この場合microSDメモリーカードに保存するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は「SDその他ファイル」内の保存先フォルダに保存されます。
- 添付ファイルによっては、一部登録できない旨の確認画面が表示される場合があります。

2 保存したい保存先またはフォルダを選択

メロディの場合はP.209「メロディダウンロード」手順2へ進みます。
静止画の場合はP.208手順2へ進みます。
ｉモーションの場合はP.221手順2へ進みます。

- 保存されているファイルがいっぱいのときはP.211参照。

お知らせ

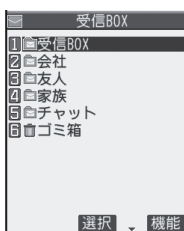
- 100Kバイトを超えるメロディの場合、FOMA端末には保存できません。
- トルカの場合1Kバイト、トルカ（詳細）の場合100Kバイトを超えていると、FOMA端末には保存できません。

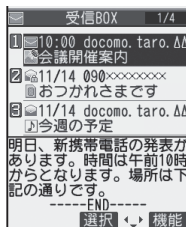
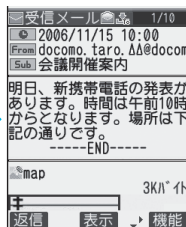
<受信BOX><送信BOX><保存BOX>

受信／送信／保存BOXのメールを表示する

受信BOXのメールを表示する

受信したｉモードメールは、SMSと合わせて最大1000件まで保存できます。
受信したｉモードメールやSMSを確認できます。

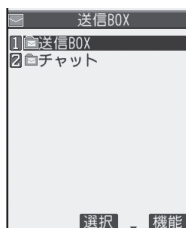
1 待受画面▶(✉)(✉)▶受信BOX ▶フォルダを選択

受信フォルダ一覧画面

- 「(メニュー)▶(メール)」の操作を行ってもメールメニューが表示されます。

2 メールを選択

受信メール一覧画面　　受信メール詳細画面

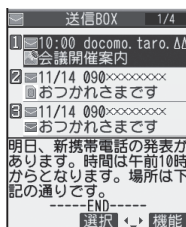
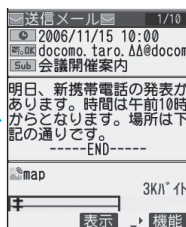
- 未読のメールを選択した場合は「（ピンク）」が「」に変わります。
- で他のメールを確認できます。
- メールの本文が長い場合はで画面をスクロールして確認できます。また、▼や▲を押すと画面単位でスクロールします。
- メロディが添付されている場合は、自動的に再生されます。（「開封時メロディ再生設定」で変更できます。）

送信BOXのメールを表示する

送信したｉモードメールやSMSは合わせて最大400件まで保存できます。
送信したｉモードメールやSMSを確認できます。

1 待受画面▶（ ）▶送信BOX ▶フォルダを選択

送信フォルダ一覧画面

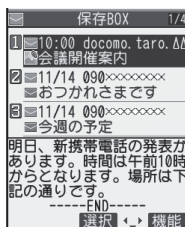
- 「▶」の操作を行ってもメールメニューが表示されます。

2 メールを選択

送信メール一覧画面　　送信メール詳細画面

- で他のメールを確認できます。
- メールの本文が長い場合はで画面をスクロールして確認できます。また、▼や▲を押すと画面単位でスクロールします。

保存BOXのメールを表示する

送信せずに保存してあるｉモードメールやSMSを編集して送信できます。
ｉモードメールとSMSを合わせて最大20件まで保存できます。

1 待受画面▶（ ）▶保存BOX

保存メール一覧画面

- 「▶」の操作を行ってもメールメニューが表示されます。

2 メールを選択

ｉモードメールを選択していた場合はP.228手順2へ進みます。
SMSを選択していた場合はP.266手順2へ進みます。

お知らせ

- ｉアプリメール用フォルダを選択すると、それに対応するメール連動型ｉアプリが起動します。

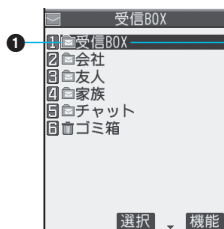
■お願い■
FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、保存内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え、FOMA端末に保存した内容は、別にメモを取ったり、microSDメモリーカード（P.334参照）を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink（P.417参照）やデータリンクソフト（P.468参照）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに保管できます。

受信／送信／保存メール一覧画面・詳細画面の見かた

■メールメニュー

アイコンには以下のマークが付くことがあります。

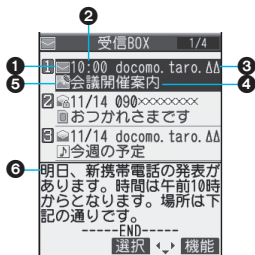
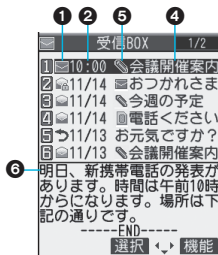
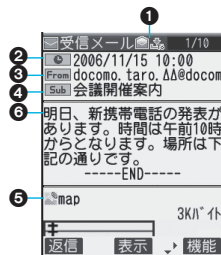
NEW	受信BOXに未読メールあり
❗	送信BOXに送信に失敗したメールあり 保存BOXに保存メールあり
🔑	「メールセキュリティ設定」設定中(チャットメールにも表示されます。)

■受信フォルダ一覧画面

❶フォルダの状態

未読のメールがあるときは「NEW」、メールセキュリティを設定すると「🔑」が表示されます。

(通常フォルダアイコン)	通常のフォルダ
(iアプリフォルダアイコン)	ｉアプリメール用フォルダ
(ゴミ箱アイコン)	ゴミ箱フォルダ

❷フォルダ名

■受信メール一覧画面と受信メール詳細画面

受信メール一覧画面
2行表示(本文あり)の場合

受信メール一覧画面
1行表示(本文あり)の場合

受信メール詳細画面

❶メールの状態やタイプ

保護設定すると「🔒」が表示されます。

✉(ピンク)	未読メール
(既読アイコン)	既読メール
↪	転送済みメール

↩	返信済みメール
To　Cc　Bcc	受信したメールのタイプ (詳細画面のみ)

❷受信した時刻や日付

メール一覧画面では、当日受信したメールは時刻が表示され、前日までに受信したメールは日付が表示されます。詳細画面では、受信した日時が表示されます。日付･時刻が補正されている場合は「🕐」が表示されます。

❸送信元･同報先の電話番号またはメールアドレス

電話番号またはメールアドレスが電話帳に登録されているときは、電話帳に登録されている名前が表示されます。

From	送信元メールアドレス(詳細画面のみ)
Fm	返信できない送信元メールアドレス(詳細画面のみ)
To　Cc	同報メールアドレス(詳細画面のみ)
	返信できない同報メールアドレス(詳細画面のみ)

❹題名

SMSの場合は、本文の最初の部分が表示されます。(詳細画面では｢SMS｣と表示されます。)

(青色)	FOMA端末内のSMS
	FOMAカード内のSMS

❺添付または貼り付けられているデータ

詳細画面ではデータの容量も表示されます。

<受信メール一覧画面(2行表示の場合)と受信メール詳細画面>

｢添付ファイル削除｣するとアイコンに｢ ｣が付きます。(詳細画面のみ)

	メロディデータ
	画像データ
	挿入画像データ(一覧画面のみ)
	ｉモーションデータ
	トルカデータ
	PDFデータ
	電話帳データ
	スケジュールまたはToDoデータ
	ブックマークデータ

	その他ファイルデータ
	取得前の添付データ
	取得途中で中断された添付データ
	取得に失敗した添付データ
	ｉアプリ起動情報(一覧画面のみ)
	ｉアプリメール(一覧画面のみ)
	複数のデータ(一覧画面のみ)
	複数の貼付データ
	FOMAカード動作制限機能がかかっているデータ

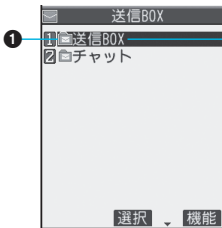
<受信メール一覧画面(1行表示の場合)>

	添付データ
	ｉアプリメール

	FOMAカード動作制限機能がかかっているデータ

❻本文

｢メール一覧表示設定｣で｢2行表示｣や｢1行表示｣に設定している場合、受信メール一覧画面に本文は表示されません。

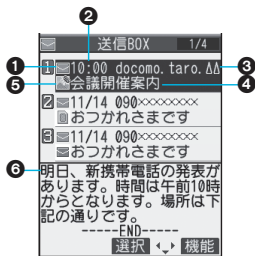
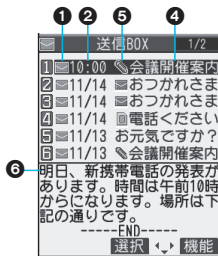
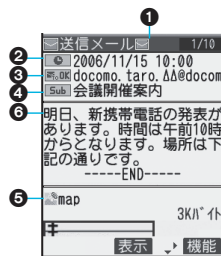
■送信フォルダ一覧画面

❶フォルダの状態

メールセキュリティを設定すると｢ ｣が表示されます。

	通常のフォルダ
	ｉアプリメール用フォルダ

❷フォルダ名

次ページにつづく

■送信メール一覧画面と送信メール詳細画面

送信メール一覧画面
2行表示（本文あり）の場合

送信メール一覧画面
1行表示（本文あり）の場合

送信メール詳細画面

❶メールの状態

保護設定すると「 」が表示されます。

（ピンク）	送信に成功したメール
	送信に失敗したメール
	すべての宛先に送信できた同報メール

（グレー）	一部の宛先に送信できた同報メール
（ピンク）	すべての宛先に送信できなかった同報メール

❷送信した時刻や日付

メール一覧画面では、当日送信したメールは時刻が表示され、前日までに送信したメールは日付が表示されます。詳細画面では、送信した日時が表示されます。日付・時刻が補正されている場合は「 」が表示されます。

❸送信先の電話番号またはメールアドレス

電話番号またはメールアドレスが電話帳に登録されているときは、電話帳に登録されている名前が表示されます。

TO OK　CC OK　BCC OK	送信に成功したメールアドレス（詳細画面のみ）
TO ×　CC ×　BCC ×	送信に失敗したメールアドレス（詳細画面のみ）

❹題名

SMSの場合は、本文の最初の部分が表示されます。（詳細画面では「SMS」と表示されます。）

（青色）	FOMA端末内のSMS
	FOMAカード内のSMS

	SMS送達通知受信済み （一覧画面（2行表示）と詳細画面のみ）

❺添付されているデータ

詳細画面ではデータの容量も表示されます。

<送信メール一覧画面（2行表示の場合）と送信メール詳細画面>

「添付ファイル削除」するとアイコンに「 」が付きます。（詳細画面のみ）

	メロディデータ
	画像データ
	挿入画像データ（一覧画面のみ）
	ｉモーションデータ
	トルカデータ
	PDFデータ
	電話帳データ

	スケジュールまたはToDoデータ
	ブックマークデータ
	その他ファイルデータ
	ｉアプリメール（一覧画面のみ）
	複数のデータ（一覧画面のみ）
	FOMAカード動作制限機能がかかっているデータ

<送信メール一覧画面（1行表示の場合）>

	添付データ
	ｉアプリメール

	FOMAカード動作制限機能がかかっているデータ

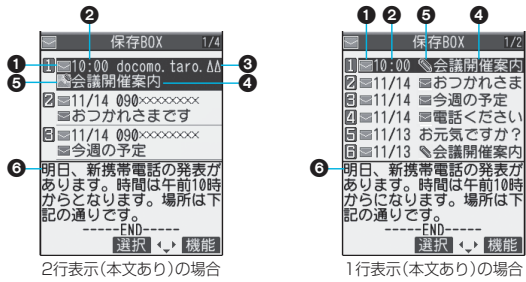
❻本文
「メール一覧表示設定」で「2行表示」や「1行表示」に設定している場合、送信メール一覧画面に本文は表示されません。

■保存メール一覧画面

2行表示(本文あり)の場合

1行表示(本文あり)の場合

❶メールの状態

(ピンク)	通常のメール
	同報メール

❷保存した時刻や日付
メール一覧画面では、当日保存したメールは時刻が表示され、前日までに保存したメールは日付が表示されます。日付・時刻が補正されている場合は「 」が表示されます。

❸送信先の電話番号またはメールアドレス
電話番号またはメールアドレスが電話帳に登録されているときは、電話帳に登録されている名前が表示されます。

❹題名
SMSの場合は、本文の最初の部分が表示されます。

(青色)	SMSを示す

❺添付されているデータ
＜2行表示の場合＞

	メロディデータ
	画像データ
	挿入画像データ
	iモーションデータ
	トルカデータ
	PDFデータ
	電話帳データ

	スケジュールまたはToDoデータ
	ブックマークデータ
	その他ファイルデータ
	複数のデータ(一覧画面のみ)
	FOMAカード動作制限機能がかかっているデータ

＜1行表示の場合＞

	添付データ
	FOMAカード動作制限機能がかかっているデータ

❻本文
「メール一覧表示設定」で「2行表示」や「1行表示」に設定している場合、保存メール一覧画面に本文は表示されません。

お知らせ

- 送信先や送信元の電話番号またはメールアドレスが、電話帳に登録されている内容と一致した場合は、名前で表示されます。送信元が「電話番号@docomo.ne.jp」の場合、電話帳のメールアドレス欄に「電話番号@docomo.ne.jp」を登録していても名前表示されません。電話番号のみを登録すると名前表示されます。
- 送信元や送信先の電話番号またはメールアドレスが、シークレット登録された電話帳と一致した場合は、名前で表示されません。シークレットモードもしくはシークレット専用モードに設定すると名前で表示されます。送信元や送信先の電話番号またはメールアドレスが、シークレット登録されていない電話帳と一致しても、シークレット専用モードに設定していると、名前で表示されません。シークレットモードに設定するかシークレット専用モードを解除すると名前で表示されます。

メールを管理する

受信フォルダ一覧画面・送信フォルダ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
フォルダ追加	新規フォルダを追加します。「受信BOX」フォルダ・「送信BOX」フォルダ・「チャット」フォルダ・「ゴミ箱」フォルダ・ｉアプリメール用フォルダ以外に22件までフォルダを追加できます。 ▶**フォルダ名を入力** ●全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。
自動振分け設定	フォルダに振分け条件を設定します。(P.256参照)
再振分け	「自動振分け設定」で設定した振分け条件に従ってメールを再振分けします。 ▶YES ●メールセキュリティ(P.250参照)が設定されているフォルダがある場合は、端末暗証番号の入力が必要です。
フォルダ名編集	フォルダ名を編集します。追加したフォルダのみ編集できます。 ▶**フォルダ名を編集** ●全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。
メールセキュリティ	端末暗証番号を入力しないとフォルダ内を表示できないように設定します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶YES フォルダが「 」に変わります。 ●解除する場合も同様の操作を行います。
フォルダ削除	フォルダを削除します。フォルダ内のメールもシークレットメールを含めてすべて削除されます。 ▶**端末暗証番号を入力**▶YES
フォルダ並び替え	フォルダの順番を変更できます。追加したフォルダ、ｉアプリメール用フォルダのみ並べ替えできます。 ▶**Ⓞでフォルダの順番を変更** ▶Ⓞ(選択)
保存件数確認	受信メール 全件. . . 全受信フォルダ内の総メール件数※ 未読. . . 全受信フォルダ内の未読メール件数※ 保護. . . 全受信フォルダ内の保護メール件数 送信メール 全件. . . 全送信フォルダ内の総メール件数※ 保護. . . 全送信フォルダ内の保護メール件数 FOMAカード(UIM) 受信. . . FOMAカード内の受信SMS件数 送信. . . FOMAカード内の送信SMS件数 ※FOMAカード内のSMS件数、各フォルダのメール件数を含みます。 ●確認が終われば(chクリア)を押します。
フォルダ内表示	フォルダ内のメールを表示します。ｉアプリ用メールフォルダを「フォルダ内表示」すると、メール連動型ｉアプリを起動することなくフォルダ内のメールを表示できます。
赤外線全件送信	赤外線で全件送信します。(P.347参照)
iC全件送信	iC通信で全件送信します。(P.349参照)
既読メール全削除 [受信フォルダのみ]	全受信フォルダ内の既読メールをシークレットメールを含めてすべて削除します。FOMAカード内の既読SMSもすべて削除されます。 ▶YES
受信メール全削除 [受信フォルダのみ]	全受信フォルダ内のメールをシークレットメールを含めてすべて削除します。FOMAカード内の受信SMSもすべて削除されます。 ▶**端末暗証番号を入力**▶YES
送信メール全削除 [送信フォルダのみ]	全送信フォルダ内のメールをシークレットメールを含めてすべて削除します。FOMAカード内の送信SMSもすべて削除されます。 ▶**端末暗証番号を入力**▶YES

お知らせ

<再振分け>
- 「チャット」フォルダ、「ゴミ箱」フォルダのメールは振分けされません。

<メールセキュリティ>
- メールセキュリティが設定されたフォルダは、削除またはフォルダ名編集できません。

お知らせ

<フォルダ削除>

●対応するメール連動型ｉアプリがある場合、ｉアプリメール用フォルダは削除できません。
ソフトがない場合はｉアプリメール用フォルダを削除できますが、送信フォルダ一覧画面、受信フォルダ一覧画面に作成されたフォルダがともに削除されます。

受信メール一覧画面･送信メール一覧画面･保存メール一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作･補足
返信 [受信メールのみ]	返信します。(P.242参照)
引用返信 [受信メールのみ]	引用して返信します。(P.242参照)
参照返信 [受信メールのみ]	受信メールを見ながら返信します。(P.242参照)
転送 [受信メールのみ]	転送します。(P.243参照)
再編集 [送信メールのみ]	送信したメールを再編集して送信します。 ｉモードメールを選択していた場合はP.228手順2へ進みます。 SMSを選択していた場合はP.266手順2へ進みます。
フォルダ移動 [受信メール･送信メール]	▶**移動先のフォルダを選択** ▶**移動したいメールにチェック** ▶**✉(完了)**▶**YES**
メール検索(送信元検索) [受信メールのみ]	送信元のメールアドレスや電話番号からメールを検索します。 ▶**送信元検索**▶**項目を選択** **電話帳** . . .電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択します。 **受信アドレス一覧** . . .電話番号またはメールアドレスを選択して◉(選択)を押します。 **送信アドレス一覧** . . .電話番号またはメールアドレスを選択して◉(選択)を押します。 **直接入力** . . .メールアドレスや電話番号を入力します。 ●半角50文字まで入力できます。
メール検索(宛先検索) [送信メールのみ]	宛先のメールアドレスや電話番号からメールを検索します。 ▶**宛先検索**▶**項目を選択** **電話帳** . . .電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択します。 **送信アドレス一覧** . . .電話番号またはメールアドレスを選択して◉(選択)を押します。 **受信アドレス一覧** . . .電話番号またはメールアドレスを選択して◉(選択)を押します。 **直接入力** . . .メールアドレスや電話番号を入力します。 ●半角50文字まで入力できます。
メール検索(題名検索) [受信メール･送信メール]	題名からメールを検索します。 ▶**題名検索**▶**題名を入力** ●全角15文字まで、半角30文字まで入力できます。
全表示 [受信メール･送信メール]	メール検索･ソート機能･フィルタ機能を行ったあと、すべてのメールを「新しい順」で表示します。
送信＋受信メール [受信メール･送信メール]	選択または表示中の送信元や宛先との送受信履歴を表示します。日付･時刻の新しい順に1000件まで表示します。 ▶**送信元または宛先を選択** 対象の送受信メールが表示されます。 ⇦ . . .送信メール ⇨ . . .受信メール ●履歴を選択すると受信メール詳細画面または送信メール詳細画面を表示できます。CLRを押すと元の画面に戻ります。
ソート [受信メール･送信メール]	表示される順番を変更します。 ▶**順番を選択**
フィルタ [受信メール･送信メール]	条件に合うメールのみを表示します。 ▶**種類を選択**
一覧表示切替	一覧画面で表示する内容を選択します。送信元や宛先を電話帳に登録されている名前で表示するか、メールアドレスや電話番号で表示するかも選択できます。 ▶**表示する内容を選択** ●#を押しても切り替えることができます。

次ページにつづく

機能メニュー	操作・補足
全件既読 [受信メール のみ]	フォルダ内の未読メールを既読メールに変更します。 メール検索機能やフィルタ機能でメールを表示させているときは、表示されているメールのみ既読メールになります。 ▶YES
保護/保護解除 [受信メール・送信メール]	メールを上書き・削除されないように保護します。受信メール、送信メールともに全件保護できます。(受信メール1000件、送信メール400件) 保護すると「🔒」が表示されます。 ●保護を解除する場合も同様の操作を行います。 ●受信メール詳細画面や送信メール詳細画面で(1)を押しても、保護/保護解除が切り替わります。
選択保護/保護解除 [受信メール・送信メール]	▶**保護したいメールにチェック/保護解除したいメールのチェックを外す** ▶(✉)(完了) ●すでに保護されているメールにはチェックが付いています。
カラーラベル [受信メール・送信メール]	受信メール一覧画面や送信メール一覧画面の文字に色を付け分別できます。 「指定なし」を選択すると通常の文字色になります。 ▶**カラーを選択**
赤外線送信	赤外線で1件送信します。(P.346参照)
赤外線全件送信 [保存メール のみ]	赤外線で全件送信します。(P.347参照)
iC送信	iC通信で1件送信します。(P.348参照)
iC全件送信 [保存メール のみ]	iC通信で全件送信します。(P.349参照)
microSDへコピー	microSDメモリーカードへ1件コピーします。(P.336参照)
お預かりセンターに保存	FOMA端末内に保存されているメールをお預かりセンターに保存します。なお、電話帳お預かりサービスはお申し込みが必要な有料サービスです。 ▶**端末暗証番号を入力** ▶**保存したいメールにチェック** ▶(✉)(完了)▶YES ●10件まで選択できます。 ●受信メール詳細画面、送信メール詳細画面表示中は、メールをチェックする操作は不要です。

機能メニュー	操作・補足
FOMAカード操作 [受信メール・送信メール]	FOMAカードまたはFOMA端末(本体)へコピー、移動します。(P.391参照)
メール情報 [受信メール のみ]	送信元のメールアドレスや電話番号、受信日時、題名を確認します。 ●確認が終われば(CLR)を押します。
保存件数確認	受信メール フォルダ内 ......フォルダ内の総メール件数※1 未読...フォルダ内の未読メール件数※1 保護...フォルダ内の保護メール件数 送信メール フォルダ内 ......フォルダ内の総メール件数※2 保護...フォルダ内の保護メール件数 保存メール 全件...保存BOX内の総メール件数 FOMAカード(UIM) 受信...FOMAカード内の受信SMS件数 送信...FOMAカード内の送信SMS件数 ※1「受信BOX」フォルダ選択時はFOMAカード内のSMS件数を含みます。 ※2「送信BOX」フォルダ選択時はFOMAカード内のSMS件数を含みます。 ●確認が終われば(CLR)を押します。
ゴミ箱へ捨てる [受信メール のみ]	メールを「ゴミ箱」フォルダに移動します。「ゴミ箱」フォルダに移動したメールは、優先的に上書き(消去)されます。 ▶**ゴミ箱に捨てたいメールにチェック** ▶(✉)(完了)▶YES
削除	▶YES
選択削除	▶**削除したいメールにチェック** ▶(✉)(完了)▶YES
既読削除 [受信メール のみ]	フォルダ内の既に読んだメールをすべて削除します。 ▶YES
SMS送達通知全削除 [受信メール のみ]	SMS送達通知をすべて削除します。 メール検索機能やフィルタ機能でSMS送達通知を表示させているときは、表示されているSMS送達通知のみ削除されます。 ▶**端末暗証番号を入力**▶YES
全削除	フォルダ内のメールをすべて削除します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶YES

お知らせ

<メール検索>

- ●メール検索の題名検索で「無題」と設定しても、題名が未入力で「無題」と表示されているｉモードメールは検索できません。

<保護／保護解除><選択保護／保護解除>

- ●「ゴミ箱」フォルダにあるメールは保護できません。
- ●送信メールが最大保存件数まである状態で、送信メールを全件保護するとｉモードメールの作成ができません。

<カラーラベル>

- ●microSDメモリーカードへコピーした場合や、FOMAカードへコピー･移動、FOMAカードからコピー･移動した場合、または赤外線送信、iC送信した場合は、カラーラベルは解除されます。
- ●FOMAカード内のSMSにカラーラベルを設定した場合、FOMAカードを抜き差しすると、カラーラベルは解除されます。

<お預かりセンターに保存>

- ●FOMAカードに保存されているSMSは保存できません。
- ●メールに添付された以下のデータは保存されません。
  ･FOMA端末外への出力が禁止されているファイル
  ･1Kバイトを超えるトルカまたは100Kバイトを超えるトルカ(詳細)
  ･SDその他ファイル
- ●圏外のときは電話帳お預かりサービスを利用できません。
- ●電話帳お預かりサービスを契約されていない場合は、その旨をお知らせする画面が表示されます。
- ●お預かりセンターに保存したメールは、お預かりセンターのサイトからFOMA端末に保存できます。詳しくは「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。

<ゴミ箱へ捨てる>

- ●未読メールをゴミ箱に捨てると、既読メールになります。

受信メール詳細画面･送信メール詳細画面の機能メニュー

機能メニュー	操作･補足
返信 [受信メールのみ]	返信します。(P.242参照)
引用返信 [受信メールのみ]	引用して返信します。(P.242参照)
参照返信 [受信メールのみ]	受信メールを見ながら返信します。(P.242参照)
再編集 [送信メールのみ]	送信したメールを再編集して送信します。 ｉモードメールを選択していた場合はP.228手順2へ進みます。 SMSを選択していた場合はP.266手順2へ進みます。
再送信 [送信メールのみ]	送信したメールを再送信します。 ▶YES
キラリメール確認	キラリメールを確認します。(P.240参照)
転送 [受信メールのみ]	転送します。(P.243参照)
保護／保護解除	メールを保護／保護解除します。(P.252参照)
送信＋受信メール	メールの相手との送受信履歴を表示します。(P.251参照)
カラーラベル	メールに色を付けます。(P.252参照)
フォルダ移動	▶**移動先のフォルダを選択**
コピー	▶**コピーしたい項目を選択** ●コピーの方法についてはP.425参照。 ●送信元の他に同報先があるとき、または複数の宛先があるときは、コピーしたいメールアドレスや電話番号を選択します。
アドレス登録	送信元や同報先を電話帳に登録します。(P.114参照)
電話帳登録	電話帳に登録します。(P.114参照)
自動振分け登録	送信元や題名を振分け条件に登録します。(P.256参照)
データ保存	データを保存します。(P.244参照)
挿入画像保存	本文に挿入された画像を保存します。(P.236参照)
デスクトップ貼付	デスクトップに貼り付けます。(P.149参照)
テンプレート保存	送受信したデコメールをテンプレートとして保存します。 ▶YES ●保存されているテンプレートがいっぱいのときはP.211参照。 ●保存したテンプレートの確認方法についてはP.235参照。
プロパティ	本文に挿入されている画像のファイル名とファイルサイズを表示します。 ▶**画像を選択** ●確認が終われば「OK」を選択します。

次ページにつづく

機能メニュー	操作・補足
チャット起動 ［受信メールのみ］	送信元のメールアドレスがチャットメンバーに登録され、チャットメールが起動します。 P.261手順2へ進みます。
SMS送達通知表示 ［送信メールのみ］	SMSの送信結果や相手に届いた日時などを確認します。SMS送達通知を受信するには、「SMS送達通知設定」を「要求する」に設定してください。
赤外線送信	赤外線で1件送信します。（P.346参照）
iC送信	iC通信で1件送信します。（P.348参照）
microSDへコピー	microSDメモリーカードへ1件コピーします。（P.336参照）
お預かりセンターに保存	メールをお預かりセンターに保存します。（P.252参照）
FOMAカード操作	FOMAカードまたはFOMA端末（本体）へコピー、移動します。（P.391参照）
スクロール設定	スクロールする行数を設定します。（P.258参照）
文字サイズ設定	文字サイズを設定します。（P.258参照）
添付ファイル削除	▶YES
ゴミ箱へ捨てる ［受信メールのみ］	メールを「ゴミ箱」フォルダに移動します。「ゴミ箱」フォルダに移動したメールは、優先的に上書き（消去）されます。 ▶YES
削除	▶YES ●(0)を押しても削除できます。
アドレス表示切替	送信元や宛先を電話帳に登録されている名前で表示するか、メールアドレスや電話番号で表示するかを切り替えます。 ●(5)を押しても切り替わります。

お知らせ

＜再送信＞

●送信に失敗したメールは、再送信すると送信済みのメールとして保存されます。すべての宛先に送信失敗している同報メールも、再送信すると送信済みのメールとして保存されます。

＜送信アドレス一覧＞＜受信アドレス一覧＞

送受信したメールの履歴を表示する

iモードメールやSMSを送受信すると、送信アドレス一覧と受信アドレス一覧にそれぞれ30件まで記憶され、相手のメールアドレスや電話番号を確認できます。同じメールアドレスまたは電話番号との送受信があった場合、古いデータは削除されます。

1 送信アドレス一覧の場合

待受画面▶◎（1秒以上）

送信アドレス一覧画面

SMS ‥送信に成功したSMS
MAIL ‥送信に成功したiモードメール
SMS ‥送信に失敗したSMS
MAIL ‥送信に失敗したiモードメール
‥時差補正による時刻

●「(メニュー)▶電話帳▶発着信履歴▶発信履歴▶(iα)（機能）▶送信アドレス一覧」の操作を行っても送信アドレス一覧画面が表示されます。

●最新のデータが一番上に表示されます。

●送信アドレス一覧画面で(✉)（切替）を押すとリダイヤルが表示されます。発信履歴から送信アドレス一覧画面を表示していた場合は、(✉)（切替）を押すと発信履歴が表示されます。

受信アドレス一覧の場合

待受画面▶◎（1秒以上）

受信アドレス一覧画面

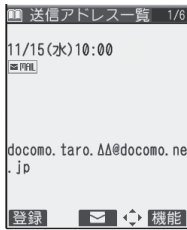
SMS ‥ SMS
MAIL ‥ iモードメール
‥‥時差補正による時刻

●「(メニュー)▶電話帳▶発着信履歴▶着信履歴▶全着信・不在着信▶(iα)（機能）▶受信アドレス一覧」の操作を行っても受信アドレス一覧画面が表示されます。

●最新のデータが一番上に表示されます。

●受信アドレス一覧画面で(✉)（切替）を押すと着信履歴が表示されます。

2 表示したい履歴を選択

送信アドレス一覧 1/6
11/15(水)10:00
MAIL
docomo.taro.ΔΔ@docomo.ne.jp
登録 機能

送信アドレス一覧の場合

アドレス一覧の詳細画面が表示されます。

- ●相手のメールアドレスや電話番号が電話帳に登録されているときは、名前やアイコンなども表示されます。
- ●相手の電話番号が通知されなかったSMSの場合は、非通知理由が表示されます。
- ●表示されたアドレスにｉモードメールを送るには◉(✉)を押してP.228手順3へ進みます。電話番号にSMSを送るには◉(✉)を押してP.266手順3へ進みます。
- ●電話帳に登録する場合は、✉(登録)を押します。P.114手順2へ進みます。

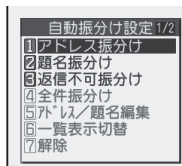
送信アドレス一覧・受信アドレス一覧表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
電話帳登録	電話帳に登録します。(P.114参照)
デスクトップ貼付	デスクトップに貼り付けます。(P.149参照)
ｉモードメール作成	ｉモードメールを作成します。宛先欄にメールアドレスが入力されます。P.228手順3へ進みます。
SMS作成	SMSを作成します。宛先欄に電話番号が入力されます。P.266手順3へ進みます。
電話発信	メールアドレスが電話帳に登録されているとき、電話帳の電話番号に音声電話発信、テレビ電話発信、プッシュトーク発信します。 ▶発信方法を選択 ●「テレビ電話画像選択」を選択した場合はテレビ電話中に相手に送信する画像を選択します。設定を解除する場合は「設定解除」を選択します。 ●電話帳に複数の電話番号が登録されている場合は、1番目の電話番号に電話をかけます。 ▶発信 ●国際電話をかける場合は「国際ダイヤルアシスト」を選択し、国際プレフィックス番号を選択したあと、再度機能メニューから「電話発信」を選択し、上記の操作を行います。(P.65参照) ●発信者番号通知を設定する場合は「発番号設定」を選択します。(P.48手順2参照)
リダイヤル表示・発信履歴表示［送信アドレス一覧のみ］	リダイヤル一覧画面または発信履歴一覧画面を表示します。
着信履歴表示［受信アドレス一覧のみ］	着信履歴一覧画面を表示します。すべての着信履歴(全着信)を表示します。
1件削除	▶YES
選択削除	▶削除したい履歴にチェック▶✉(完了)▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

<自動振分け設定>

送受信メールを自動的にフォルダに振り分ける

設定した条件に合うメールを、自動的に指定のフォルダに保存します。追加したフォルダ、iアプリメール用フォルダにのみ設定できます。

1 受信フォルダ一覧画面・送信フォルダ一覧画面▶ⓘ(機能)▶自動振分け設定

自動振分けメニュー画面

自動振分け設定画面

P.256の機能メニュー表の操作を行って自動振分けを設定します。
すでに振り分け条件が設定されているフォルダを選択した場合は、自動振分け設定画面が表示されます。

自動振分け登録

送受信したメールの詳細画面から振り分ける条件とフォルダを設定します。

1 送信メール詳細画面・受信メール詳細画面▶ⓘ(機能)▶自動振分け登録▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
アドレス振分け	表示している送信元や宛先を振り分け条件として設定します。 ▶フォルダを選択 ●複数の宛先があるときは、アドレスを選択します。
題名振分け	表示している題名を編集して振り分け条件として設定します。 ▶題名を編集▶フォルダを選択

■条件を変更するときは
再設定または上書きするかどうかの確認画面が表示されます。
「YES」を選択すると以前に設定されていた条件が解除され、新たに再設定されます。

■同じ条件が他のフォルダに設定されているときは
変更するかどうかの確認画面が表示されます。
「YES」を選択すると他のフォルダに設定されていた条件は解除され、選択しているフォルダに設定を変更します。
●メールセキュリティがかかっているフォルダに設定されている場合は、設定を変更できません。

■「アドレス振分け」が設定されているフォルダに別のアドレスを登録するときは
追加するかどうかの確認画面が表示されます。
「YES」を選択すると追加登録されます。

お知らせ

●各フォルダに登録したアドレスの合計が700件まで登録できます。
●複数の条件にあてはまる場合、以下の優先順位で自動振り分けをします。
①全件振分け
②題名振分け
③返信不可振分け・送信失敗振分け
④アドレス振分け(アドレス参照入力・直接入力)
⑤アドレス振分け(メールグループ参照)
⑥アドレス振分け(グループ参照)
●同報送信した送信メールは、「アドレス振分け」や「送信失敗振分け」では振り分けされません。

自動振分け設定画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
アドレス振分け(アドレス参照入力)	フォルダに振り分けるメールアドレスや電話番号を電話帳や送信・受信アドレス一覧から設定します。 ▶アドレス参照入力▶項目を選択 **電話帳** . . . 電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択します。 **送信アドレス一覧** . . . 電話番号またはメールアドレスを選択して◎(選択)を押します。 **受信アドレス一覧** . . . 電話番号またはメールアドレスを選択して◎(選択)を押します。
アドレス振分け(グループ参照)	フォルダに振り分けるグループを設定します。 ▶グループ参照▶グループを選択
アドレス振分け(メールグループ参照)	フォルダに振り分けるメールグループを設定します。 ▶メールグループ参照 ▶メールグループを選択

機能メニュー	操作・補足
アドレス振分け（直接入力）	フォルダに振り分けるメールアドレスや電話番号を、直接入力します。 ▶直接入力 ▶メールアドレスや電話番号を入力 ●メールアドレスや電話番号は半角50文字まで入力できます。 ●メールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、電話番号のみを入力してください。電話番号のみを入力するとSMSも振り分けることができます。
題名振分け	フォルダに振り分けるｉモードメールの題名を入力します。1つのフォルダに設定できる題名は1件です。 ▶題名を入力
返信不可振分け	返信不可のメールを振り分けるよう設定します。1つのフォルダにのみ設定できます。
送信失敗振分け	送信に失敗したメールを振り分けるよう設定します。1つのフォルダにのみ設定できます。
全件振分け	ｉアプリメール用フォルダにすべてのメールを振り分けるよう設定します。受信と送信それぞれ1つのｉアプリメール用フォルダにのみ設定できます。「全件振分け」を設定すると、他の振り分け設定は無効となります。 ▶YES
アドレス／題名編集	フォルダに設定したメールアドレス、電話番号、題名を編集・登録します。 ▶メールアドレス、電話番号、題名を編集
一覧表示切替	メールの宛先を電話帳に登録されている名前で表示するか、メールアドレスや電話番号で表示するかを切り替えます。 ▶名前表示・アドレス表示 ●(#)を押しても切り替えることができます。
解除	振り分け条件を解除します。（自動振分け設定画面から削除されます。） ▶YES
選択解除	メールアドレスや電話番号などを選択して解除します。（自動振分け設定画面から削除されます。） ▶解除したいメールアドレスや電話番号などにチェック▶(✉)(完了) ▶YES ●(#)を押して名前とメールアドレス（電話番号）を切り替えることができます。
全解除	振り分け条件をすべて解除します。（自動振分け設定画面から削除されます。） ▶YES

お知らせ

<アドレス振分け（グループ参照）>
- 自動振分け設定画面では、グループ名の前に「GR」が表示されます。
- FOMAカード内のグループは設定できません。
- 「シークレットモード」「シークレット専用モード」以外の通常のモードでシークレットメールを受信した場合は、フォルダに振り分けられません。

<アドレス振分け（メールグループ参照）>
- 自動振分け設定画面では、メールグループ名の前に「✉」が表示されます。

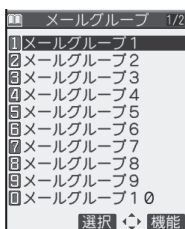
<題名振分け>
- 題名が複数のフォルダの振り分け条件にあてはまる場合、「受信BOX」や「送信BOX」に最も近いフォルダに振り分けられます。
- 「無題」と設定しても、題名が未入力で「無題」と表示されているｉモードメールは振り分けできません。
- SMSは題名振り分けできません。

<全件振分け>
- SMS送達通知やFOMAカードに直接受信したSMSは振り分けされません。

<メールグループ> (メニュー)(2)(6)

メールグループを作成する

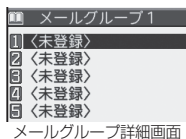
メールアドレスをグループごとに登録します。決まった複数の相手にメールを送信できます。
1グループには5件までのメールアドレスが登録できます。グループは20件まで作成できます。

1 (メニュー)▶(電話帳)▶**電話帳設定**
▶**メールグループ**
▶**登録したいメールグループを選択**

メールグループ一覧画面

- メールグループにメールアドレスが登録されている場合、画面左下に「✉」が表示されます。(✉)(✉)を押すと、選択しているメールグループにｉモードメールを送信します。P.228手順3へ進みます。

次ページにつづく

2 <未登録>を選んで✉(編集)を押す

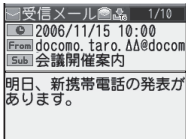
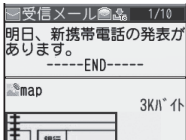
メールグループ詳細画面

●登録済みのメールアドレスを選択すると、メールグループアドレス確認画面が表示されます。

3 メールアドレスを入力

●半角50文字まで入力できます。
手順2〜手順3を繰り返して複数のメールアドレスを登録します。

メールグループ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
iモードメール作成	メールグループ宛のiモードメールを作成します。 P.228手順3へ進みます。
グループ名編集	▶メールグループ名を入力 ●全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。
グループ名初期化	メールグループ名をお買い上げ時の名前に戻します。 ▶YES

メールグループ詳細画面・メールグループアドレス確認画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
アドレス編集	P.258手順3へ進みます。 ●✉(編集)を押してもアドレス編集できます。
アドレス参照入力	電話帳、送信アドレス一覧、受信アドレス一覧から電話番号やメールアドレスを呼び出して入力します。 ▶項目を選択 **電話帳** ...電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択します。 **送信アドレス一覧** ...電話番号またはメールアドレスを選択して●(選択)を押します。 **受信アドレス一覧** ...電話番号またはメールアドレスを選択して●(選択)を押します。
1件削除	▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

<メール設定>

iモードメールやSMS(ショートメッセージ)の詳細設定について

1 待受画面▶✉(✉)▶メール設定▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
スクロール設定 お買い上げ時 1行スクロール	メール詳細画面・メール作成画面・プレビュー表示の画面で◎を押したときにスクロールする行数を設定します。 ▶行数を選択 ●送信メールや受信メール表示中は、iα(機能)を押して「スクロール設定」を選択します。
文字サイズ設定 お買い上げ時 標準表示	メール詳細画面の本文の文字サイズを設定します。 ▶文字サイズを選択 ●送信メールや受信メール表示中は、iα(機能)を押して「文字サイズ設定」を選択するか、3を押します。 標準表示 縮小表示 拡大表示
メール一覧表示設定 お買い上げ時 2行表示(本文あり)	メール一覧画面でメールを表示する行数や画面下に本文を表示するかどうかを設定します。 ▶表示方法を選択

項目	操作・補足
本文表示設定 お買い上げ時 通常表示	受信メールを通常表示(先頭から表示)するか、本文から表示するか設定します。 ▶**通常表示・本文から表示** 通常表示 本文から表示
開封時メロディ再生設定 お買い上げ時 自動再生する	受信メールの本文を表示時に、添付または貼り付けられているメロディを自動再生するかどうかを設定します。 ▶**自動再生する・自動再生しない**
冒頭文／署名設定	冒頭文・署名・引用符を登録します。(P.260参照)
メールセキュリティ設定	メールメニューの受信・送信・保存BOXにセキュリティを設定します。(P.171参照)
受信表示設定 お買い上げ時 通知優先	他の機能を操作中でもメール受信中やメール受信結果の画面を表示するかどうかを設定します。 ▶**通知優先・操作優先** **通知優先**. . メール受信時に受信中や受信結果画面を優先します。 **操作優先**. . メール受信時に操作中の画面を優先します。
メール選択受信設定	iモードメールを選択受信するかどうかを設定します。(P.241参照)
添付ファイル優先受信 お買い上げ時 すべてチェックあり	iモードメール受信時に添付ファイルも受信するかどうかを設定します。チェックを外している添付ファイルはiモードセンターに保管されます。(チェックを付けていても100Kバイトを超える添付ファイルはiモードセンターに保管されます。) ▶**受信したい項目にチェック** ▶✉(完了) **ピクチャ** . . . . .静止画を受信します。 **メロディ** . . . . .メロディを受信します。 **iモーション**. . iモーションを受信します。 **トルカ**. . . . . . .トルカを受信します。 **PDF** . . . . .PDFを受信します。 **ツールデータ**. .電話帳、スケジュール、ToDo、ブックマークを受信します。 **その他**. . . . . . .FOMA端末では対応していないファイルを受信します。
えチャット表示設定 お買い上げ時 自動表示する	えチャットを受信したときに、自動的に静止画を表示するかどうかを設定します。 ▶**自動表示する・自動表示しない**
キラリメール設定	キラリメール受信時の動作を設定します。(P.241参照)
チャット設定	チャットメールの設定を行います。(P.264参照)
SMS送達通知設定	SMS送達通知を要求するかどうかを設定します。(P.267参照)
SMS有効期間設定	SMSがSMSセンターに保存される期間を設定します。(P.268参照)
SMS本文入力設定	SMSの本文に入力できる文字を設定します。(P.268参照)
シークレットメール表示設定	シークレットメールの表示方法を設定します。(P.171参照)

次ページにつづく

項目	操作・補足
カラーラベル自動設定	受信メール一覧画面での送信元や受信した日付・時刻などの表示色をメールアドレスごとに指定します。10件まで登録できます。 ▶＜未登録＞▶項目を選択 **電話帳** . . .電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択します。 **送信アドレス一覧** . . .電話番号またはメールアドレスを選択して◎(選択)を押します。 **受信アドレス一覧** . . .電話番号またはメールアドレスを選択して◎(選択)を押します。 **直接入力** . . .メールアドレスや電話番号を入力します。 ●iα(機能)を押して「カラー選択」を選択してもカラーを選択できます。 ●設定済みの項目を削除するにはiα(機能)を押して「1件削除」または「全削除」を選択し、「YES」を選択します。「全削除」を選択した場合は端末暗証番号の入力が必要です。 ▶カラーを選択
メール設定確認	メール設定の各項目の設定状態を確認します。 ●◎で画面をスクロールして確認できます。 ●確認が終わればchクリアを押します。
メール設定リセット	「メール設定」の各設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。 リセットされる項目については「機能一覧表」を参照してください。(P.438参照) ▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

＜文字サイズ設定＞
- デコメ絵文字の文字サイズは変わりません。
- メール本文表示中に◎を1秒以上押しても、文字サイズを変更できます。(P.239、P.267参照)その場合、本機能の設定も変更されます。
- 詳細画面以外では標準表示になります。

＜メール一覧表示設定＞
- 2行表示に設定すると一覧画面では名前が表示され、1行表示に設定すると題名が表示されます。
- 本文ありに設定すると、受信メール一覧画面から「返信」「引用返信」「参照返信」「転送」が操作でき、送信メール一覧画面から「再編集」が操作できます。

＜本文表示設定＞
- 「本文から表示」に設定していても、メール本文の文字数により本文から表示されない場合があります。

お知らせ

＜開封時メロディ再生設定＞
- SDオーディオ再生中は、「開封時メロディ再生設定」の設定に関わらず添付または貼り付けられているメロディは再生されません。

＜カラーラベル自動設定＞
- 本機能を設定しても、すでに受信したメールの表示色は変更されません。

冒頭文／署名設定

冒頭文・署名・引用符を登録します。また、冒頭文や署名を自動的に貼り付けるかどうかも設定します。

1 待受画面▶✉(✉)▶メール設定▶冒頭文／署名設定▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
冒頭文 お買い上げ時：未入力(自動貼付する)	冒頭文とは、本文の最初に書く挨拶文のことです。 ▶冒頭文の欄を選択▶冒頭文を入力 ▶✉(完了) ●全角5000文字まで、半角10000文字まで入力できます。 ●冒頭文の入力方法についてはP.229手順4参照。 ●冒頭文を自動で貼り付けない場合は、「自動貼付」を選択して「☑」を「□」にします。
署名 お買い上げ時：未入力(自動貼付する)	署名とは、本文の最後に書く自分の名前などのことです。 ▶署名の欄を選択▶署名を入力 ▶✉(完了) ●全角5000文字まで、半角10000文字まで入力できます。 ●署名の入力方法についてはP.229手順4参照。 ●署名を自動で貼り付けない場合は、「自動貼付」を選択して「☑」を「□」にします。
引用符 お買い上げ時：＞	引用符とは、引用返信するときなどに受信メールから引用したことを表す記号です。 ▶引用符を入力 ●全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。

お知らせ
- 「自動貼付」にチェックを付けていても、えチャット・テンプレート・iアプリからiモードメールを作成するときは、貼り付けられません。
- SMSには冒頭文、署名、引用符を貼り付けることはできません。

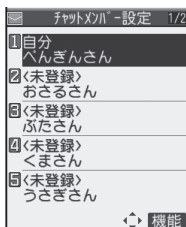
<チャットメール>

チャットメールを利用する

チャットメールでは、1つの画面で複数の相手とメールのやりとりができます。

チャットメンバーを登録する

チャットメールを行うには、あらかじめチャットメンバーに相手のメールアドレスを登録しておく必要があります。
チャットメンバーはユーザ(自分)を含めて6人まで登録できます。

1 待受画面▶✉(✉)▶チャットメール▶i(機能)▶チャットメンバー▶<未登録>▶メールアドレスを入力

チャットメンバー一覧画面

- 編集する場合は、登録済みのメンバーを選択します。
- メールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、電話番号のみを登録してください。
- 半角50文字まで入力できます。

お知らせ

- 登録済みのメンバーのメールアドレスを編集した場合は、メンバー名と画像も変更されます。

チャットメンバー一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
編集	メールアドレスを編集します。 P.261「チャットメンバーを登録する」手順1へ進みます。
メンバー参照入力	電話帳、受信アドレス一覧、送信アドレス一覧から電話番号やメールアドレスを呼び出して入力します。 ▶項目を選択 **電話帳** . . .電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択します。 **送信アドレス一覧** . . .電話番号またはメールアドレスを選択して◉(選択)を押します。 **受信アドレス一覧** . . .電話番号またはメールアドレスを選択して◉(選択)を押します。
メンバー入れ替え(チャットグループ)	チャットグループに登録されているメンバーをチャットメンバーに登録します。 ▶チャットグループ ▶グループ一覧・メンバー一覧 **グループ一覧** . .チャットグループ単位で選択します。 **メンバー一覧** . .チャットグループに登録されている全メンバーから選択します。 ●「グループ一覧」を選択した場合は、チャットグループを選択します。選択したチャットグループのメンバーが登録されます。 ●「メンバー一覧」を選択した場合は、登録したいメンバーをチェックし、✉(完了)を押します。
メンバー入れ替え(メールグループ)	メールグループに登録されているメールアドレスをチャットメンバーに登録します。 ▶メールグループ ▶メールグループを選択
詳細設定確認	チャットメンバーのメンバー名、画像、背景色、メールアドレスを確認します。 ●◎でメンバーを切り替えることができます。 ●確認が終われば ch/クリア を押します。 ●ユーザ(自分)のメールアドレスは表示されません。
削除	▶YES
全削除	▶YES

チャットメールをやりとりする

1 待受画面▶✉(✉)▶チャットメール

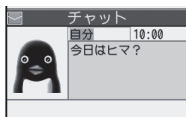
チャットメール画面

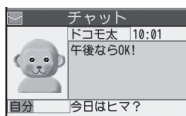
2 ◉(選択)▶文字を入力

入力した文字が入力ボックスに表示されます。

- 全角250文字まで、半角500文字まで入力できます。

次ページにつづく

3 ✉(送信)を押す

チャットメールが送信されます。
送信したチャットメールは、チャットメール画面の一番上に表示されます。

4 受信中の画面が表示され、チャットメールを受信する

受信したチャットメールは、チャットメール画面の一番上に表示されます。
手順2～手順4を繰り返してチャットメールをやりとりします。

5 iα(機能)▶チャット終了▶YES・NO

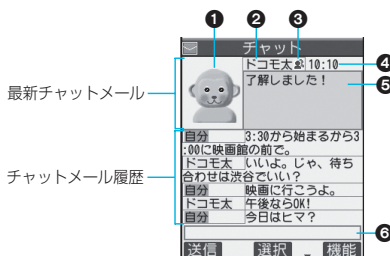
YES. . . 既読のチャットメールと送信したチャットメールを「チャット」フォルダから削除します。

NO. . . . 既読のチャットメールと送信したチャットメールを「チャット」フォルダから削除しません。

チャットメールが終了します。

- chクリアまたは☎を押してチャットメールを終了できます。
- 送受信したチャットメールが1件もない場合、確認画面は表示されません。

■チャットメール画面

チャットメール画面は以下のように表示されます。

❶画像

チャットグループで登録した画像が表示されます。

- チャットメール履歴には表示されません。

❷メンバー名

チャットグループに登録されているメンバー名が表示されます。また、設定されている背景色で表示されます。

- チャットグループに登録されていない場合は、メールアドレスの先頭から半角8文字までが表示されます。メールアドレスが電話帳に登録されているときは、電話帳に登録されている名前の先頭から全角4文字、半角8文字までが表示されます。

❸同報マーク

複数の宛先が設定されているチャットメールを受信した場合に表示されます。

(青色):すべての宛先がチャットメンバーに登録されている場合

(紺色):チャットメンバーに登録されていない宛先がある場合

❹送受信日時

送受信した日時を表示します。当日送受信したチャットメールは時刻が表示され、前日までに送受信したチャットメールは日付が表示されます。

❺本文

チャットメールの本文を表示します。表示される本文は全角250文字、半角500文字までです。
本文が4行を超える場合は が表示され、 を押してページを切り替えることができます。

- チャットメール履歴の本文はページを切り替えることができません。
- 正常に送信されたチャットメールの本文は黒色で表示されます。送信に失敗したチャットメールの本文はグレーで表示されます。

❻入力ボックス

入力した文字(送信する文字)の先頭から1行分を表示します。

お知らせ

- 複数の相手とチャットメールをやり取りした場合の通信料は、1通のみ送信した場合と同じです。(ただし、追加した宛先の情報量については通信料が増えます。)

お知らせ

- 「メール選択受信設定」が「ON」に設定されていると、チャットメールは行えません。
- 受信メールが未読や保護でいっぱいの場合は、チャットメールは行えません。不要なメールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除してから再度操作してください。
- 添付ファイルや貼付データは表示されません。
- 送受信したチャットメールは「チャット」フォルダに保存されます。(「自動振分け設定」で変更できます。)
- 送信したチャットメールの題名は「チャットメール」(半角)となります。
- チャットメール画面表示中は、チャットメール本文に電話番号･メールアドレス･URLが含まれていても、Phone To/AV Phone To 機能･Mail To 機能･Web To 機能は利用できません。ただし、チャットメールを終了し、「受信BOX」や「送信BOX」からチャットメールを表示した場合は利用できます。

待受中にチャットメールを受信すると

待受中にチャットメールを受信すると、デスクトップに「チャット」が表示されます。
◉を押し、「チャット」を選んで◉(選択)を押すとチャットメールが起動します。

お知らせ

- 以下の場合に、チャットメールと認識します。
  - ･送信元や宛先のアドレスが、チャットメンバーやチャットグループに登録されている場合
  - ･題名に「チャットメール」(すべて全角、またはすべて半角)が含まれている場合
- チャットメール起動中に、チャットメンバー以外のチャットグループのメンバーからチャットメールを受信した場合も「チャット」が表示されます。

■デスクトップ･受信メール･チャットグループからチャットメールを起動すると

チャットメンバーに登録されていないメールアドレスやチャットグループから起動した場合は、登録されているメンバーを削除して起動するかどうかの確認画面が表示されます。
「YES」を選択すると現在のチャットメンバーを削除して、送信元のメールアドレスやチャットグループのメンバーをチャットメンバーに登録します。

＜デスクトップや受信メールから起動した場合＞
送信元のメールアドレスがチャットメンバーに登録されます。送信元のメールアドレスがチャットグループに登録されている場合は、そのグループのメンバーがチャットメンバーに登録されます。ただし、送信先に選択されているのは、送信元のメールアドレスのみです。

＜チャットグループから起動した場合＞
チャットグループのメンバーがチャットメンバーに登録されます。送信先にはグループのメンバーすべてが選択されています。

チャットメール画面の機能メニュー

機能メニュー	操作･補足
送信	チャットメールを送信します。
送信先選択	チャットメンバーの中から、チャットメールを送信する宛先を選択します。 ▶**送信したい宛先にチェック** ▶✉(完了)
チャットメンバー	チャットメンバーを登録します。 (P.261参照)
同報宛先確認	同報送信されたチャットメールの宛先を確認します。 ●確認が終われば「OK」を選択します。 ●チャットメンバーに登録されていない宛先がある場合は、チャットメンバーに登録するかどうかの確認画面が表示されます。登録する場合は、「YES」を選択し、登録したい宛先をチェックして✉(完了)を押します。
更新	自動的に受信できなかったチャットメールを受信します。新しいチャットメールを受信すると、チャットメール画面が更新されます。
先頭表示	最も新しいチャットメールを表示します。
最終表示	最も古いチャットメールを表示します。

次ページにつづく

機能メニュー	操作・補足
既読削除	受信した既読のチャットメールと送信したチャットメールをシークレットメールや送信に失敗したチャットメールも含めてすべて削除します。 ▶YES
チャット終了	チャットメールを終了します。(P.262参照)

お知らせ

＜同報宛先確認＞
●チャットメンバーはユーザ(自分)を含めて6人まで登録できます。

チャット設定

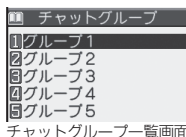
1 待受画面▶✉(［メール］)▶メール設定▶チャット設定▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
お知らせ音設定 お買い上げ時 チャットお知らせ音1	チャットメール画面でチャットメールを送受信したときに鳴るお知らせ音を設定します。 ▶**フォルダを選択▶お知らせ音を選択** ●お知らせ音を鳴らさない場合は「OFF」を選択します。設定が終了します。 ●チャットメンバーに登録されていないメンバーから受信したときは鳴りません。
チャットメール画像設定 お買い上げ時 有効	チャットメール画面で画像を表示するかしないかを設定します。 ▶**有効・無効**
ユーザ詳細設定 お買い上げ時 ユーザ名:自分 画像:ぺんぎんさん	ユーザ(自分)の名前、画像を設定します。 ▶**ユーザ名欄を選択▶ユーザ名を入力** ●全角4文字まで、半角8文字まで入力できます。 ●ユーザ名を変更しない場合は次の操作へ進みます。 ▶**画像欄を選択▶フォルダを選択** ▶**画像を選択**

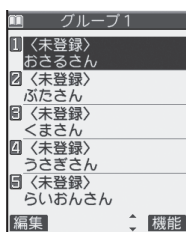
＜チャットグループ＞ メニュー 2 6

チャットグループを作成する

チャットメールを行いたいメールアドレスをグループごとに登録します。
複数のメンバーをグループに登録しておけば、一度にチャットメンバーとして設定できます。
1グループには5件までのメールアドレスが登録できます。グループは5件まで作成できます。

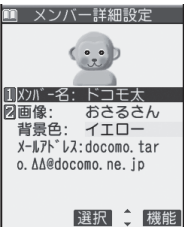
1 メニュー▶［電話帳］▶電話帳設定
▶チャットグループ
▶登録したいチャットグループを選択

チャットグループ一覧画面

●チャットグループにメンバーが登録されている場合、画面左下に「CHAT」が表示されます。✉(CHAT)を押すと、チャットグループのメンバーがチャットメンバーに登録され、チャットメールが起動します。P.261手順2へ進みます。

2 ＜未登録＞を選んで✉(［編集］)を押す

チャットグループ詳細画面

●登録済みのメールアドレスを選択すると、チャットグループアドレス確認画面が表示されます。

3 メールアドレスを入力

●半角50文字まで入力できます。
●入力したメールアドレスが電話帳に登録されており、電話帳に画像が登録されているときは、画像も設定されます。
●メールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、電話番号のみを登録してください。
手順2～手順3を繰り返して複数のメールアドレスを登録します。

チャットグループ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
チャット起動	チャットグループのメンバーがチャットメンバーに登録され、チャットメールが起動します。 P.261手順2へ進みます。

機能メニュー	操作・補足
グループ名編集	▶チャットグループ名を入力 ●全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。
グループ名初期化	チャットグループ名をお買い上げ時の名前に戻します。 ▶YES

チャットグループ詳細画面・チャットグループアドレス確認画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
編集	メールアドレスを編集します。 P.264手順3へ進みます。 ●✉(編集)を押しても編集できます。
メンバー参照入力	電話帳、送信アドレス一覧、受信アドレス一覧から電話番号やメールアドレスを呼び出して入力します。 ▶項目を選択 **電話帳** . . .電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択します。 **送信アドレス一覧** . . .電話番号またはメールアドレスを選択して◉(選択)を押します。 **受信アドレス一覧** . . .電話番号またはメールアドレスを選択して◉(選択)を押します。
メンバー入れ替え	メールグループに登録されているメンバーをチャットグループに登録します。 ▶メールグループ ▶メールグループを選択

機能メニュー	操作・補足
メンバー詳細設定	 メンバーのメンバー名、画像を設定します。◎を押してメンバーを切り替えることができます。 ▶メンバー名欄を選択 ▶メンバー名を入力 ●全角4文字まで、半角8文字まで入力できます。 ●メンバー名を変更しない場合は次の操作へ進みます。 ▶画像欄を選択▶フォルダを選択 ▶画像を選択
削除	▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

<SMS作成>

SMS(ショートメッセージ)を作成して送信する

SMSを作成して送信します。送信したSMSは、iモードメールと合わせて最大400件まで送信BOXに保存できます。

- ●ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国・海外通信事業者についてはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- ●送信・保存したSMSはFOMAカードへ移動・コピーできます。(P.390参照)

1 **待受画面▶✉(✉)▶SMS作成**

SMS作成画面

●「メニュー▶メール」の操作を行ってもメールメニューが表示されます。

次ページにつづく

2 宛先欄を選択▶項目を選択

電話帳 . . . . 電話帳を呼び出して電話番号を選択します。

送信アドレス一覧 . . . 電話番号を選択して◎(選択)を押します。

受信アドレス一覧 . . . 電話番号を選択して◎(選択)を押します。

直接入力. . . . . 電話番号を入力します。

宛先は1件しか指定できません。

- ●21桁まで入力できます。(「+」を含む)
- ●宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合、「+」(0を1秒以上押す)、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。(受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力してください。)

3 本文欄を選択▶本文を入力

- ●入力できる文字数は「SMS本文入力設定」により異なります。

4 ✉(送信)を押す

送信中のアニメーション画面が表示され、メールが送信されます。

5 OK

お知らせ

- ●電波状況により、相手に文字が正しく送信されない場合があります。
- ●FOMA端末に保存した送信メールが最大保存件数を超えた場合は、送信メールのうち古いメールから順に上書きされます。ただし、保護されている送信メールは上書きされません。
- ●送信BOXに送信メールが最大保存容量まで保存されており、そのすべてが保護されている場合、または保存メールが20件ある場合や保存BOXの容量がいっぱいの場合は、SMSを作成できません。送信メールの保護を解除するか保存メールを送信または削除してから操作をやり直してください。
- ●「発信者番号通知設定」を「通知しない」に設定していても、送信相手には発信者番号が通知されます。また、宛先の先頭に「184」または「186」が入力されているSMSを送信しようとすると発番号設定を削除して送信するかどうかの確認画面が表示されます。
- ●「+」は宛先の先頭でのみ有効です。
- ●宛先に数字、「＊」、「#」、「+」以外の文字が含まれている場合は送信できません。
- ●本文編集中に改行できません。
- ●本文に特殊記号(P.461参照)を入力した場合、半角スペースに置き換えられます。

お知らせ

- ●スペースも文字と同じように文字数にカウントされます。
- ●送信元が非通知設定/公衆電話/通知不可能のSMSには返信できません。

SMS作成画面の機能メニュー

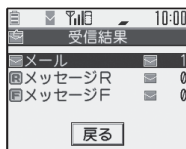
機能メニュー	操作・補足
送信	SMSを送信します。 P.266手順5へ進みます。
送信プレビュー	送信する前に宛先、本文の内容を確認します。 確認が終われば「戻る」を選択します。 ●✉(送信)を押すとSMSを送信できます。
保存	作成中や編集中のSMSを保存BOXに保存します。 ●宛先と本文が未入力の場合は保存できません。
SMS送達通知設定	作成中のSMSの送達通知を要求するかどうかを設定します。(P.267参照)
SMS有効期間設定	作成中のSMSの有効期間を設定します。(P.268参照)
SMS本文入力設定	作成するSMSの本文に入力できる文字を設定します。(P.268参照)
本文消去	本文に入力されている文章をすべて削除します。宛先は削除されません。 ▶YES
SMS削除	編集中のSMSを削除します。 ▶YES

<SMS受信>

SMS(ショートメッセージ)を自動的に受信する

受信したSMSは、iモードメールと合わせて最大1000件まで保存できます。

- ●受信したSMSはFOMAカードへ移動・コピーできます。(P.390参照)

1 SMSを受信すると「✉(ピンク)」が点灯し、受信中のメッセージが表示される

受信結果画面

受信が終わると、受信したSMSの件数が表示されます。

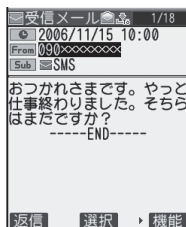
- ●「メール」を選択すると受信メール一覧画面が表示されます。

■何も操作しないで約15秒経過すると
デスクトップに「メール」が表示され、元の画面に戻ります。(P.239参照)
(「メール／メッセージ鳴動」の設定により、秒数は異なります。)

■FOMA端末を閉じているときは
プライベートウィンドウに表示されます。
(P.239参照)
▲を押すと受信したSMSの受信日時、送信元が表示されます。(P.29参照)

お知らせ
- FOMA端末に保存されている未読または保護されている受信メールの合計が最大保存件数になった場合は、新しいメールを受信できず、「(グレー)」が表示されます。SMSを受信するには、「(グレー)」が消えるまで受信メールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除してから「SMS問い合わせ」を行ってください。

新着SMS(ショートメッセージ)を表示する

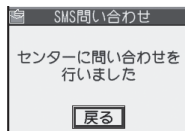
1 **受信結果画面▶メール**
▶表示したいSMSを選択

■SMS表示切替機能
SMSの詳細画面(本文)を表示しているときに◎を1秒以上押して文字の大きさを変更できます。詳細画面以外では標準表示になります。

お知らせ
- 受信したSMSに入力されている文字によっては、スペースで表示されることがあります。
- 表示したSMSの送信元(電話番号)を反転表示した状態で◉(選択)を押すと、表示されている電話番号に電話をかけることができます。(Phone To／AV Phone To 機能)
また、送信元の電話番号が電話帳に登録されているときは、登録されている「名前」が反転表示されます。この場合も同様の操作で電話をかけることができます。
- FOMA端末では、ショートメールをSMSとして受信します。相手の電話番号が通知されない場合は、その理由が送信元欄に表示されます。

<SMS問い合わせ>
SMS(ショートメッセージ)があるかどうかを問い合わせる

SMSセンターに届いたSMSは自動的にFOMA端末へ送信されますが、FOMA端末の電源が入っていないときや、圏外などで受信できないときはSMSセンターに保管されます。
SMSセンターへ問い合わせを行い、それらを受信してください。

1 **待受画面▶✉(メール)**
▶SMS問い合わせ

2 **戻る**

センターにSMSが保管されていれば、自動的に受信されます。

お知らせ
- 問い合わせを行っても、すぐにSMSが届かない場合があります。
- 「(グレー)」「(グレー)」などが表示されたときは、これ以上SMSを受信できません。不要なメールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除してください。(読んだり、保護を解除したりしたメールは、古いものから順に自動的に上書きされます。)
- 本機能でｉモードメールやメッセージR/Fは受信できません。ｉモードメールやメッセージR/Fは「ｉモード問い合わせ」で受信してください。

SMS(ショートメッセージ)の設定を行う

SMS送達通知設定

お買い上げ時	要求しない

SMSの送信時に、SMS送達通知を要求するかどうかを設定します。
SMS送達通知とは、SMSが相手に届いたことをお知らせするメールです。
受信したSMS送達通知は「受信BOX」フォルダで確認できます。

1 **待受画面▶✉(メール)▶メール設定**
▶SMS送達通知設定
▶要求する・要求しない

- SMS作成画面表示中は、ⓘ(機能)を押して「SMS送達通知設定」を選択します。

SMS有効期間設定

お買い上げ時	3日

送信したSMSが圏外などで届かなかった場合にSMSセンターに保存される期間を設定します。

1 待受画面▶(✉)(［✉］)▶メール設定▶SMS有効期間設定▶保存期間を選択

●「0日」に設定すると、一定時間経過後に再送し、SMSセンターから削除します。

●SMS作成画面表示中は、(機能)を押して「SMS有効期間設定」を選択します。

SMS本文入力設定

お買い上げ時	日本語入力(70文字)

SMSの本文に入力できる文字を設定します。
半角英数字、半角記号のみ入力できるように設定できます。

1 待受画面▶(✉)(［✉］)▶メール設定▶SMS本文入力設定▶項目を選択

日本語入力(70文字)
. . . . . 全角文字、半角文字が入力できます。「♥」「☎」(P.457参照)を除く絵文字は入力できません。本文は70文字まで入力できます。

半角英数入力(160文字)
. . . . . 半角英数字、半角記号のみ入力できます。本文は160文字まで入力できます。

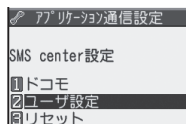
●SMS作成画面表示中は、(機能)を押して「SMS本文入力設定」を選択します。その場合、「日本語入力(70文字)」は「日本語入力」、「半角英数入力(160文字)」は「半角英数入力」と表示されます。

SMS center設定

お買い上げ時	ドコモ

※通常は、設定を変更する必要はありません。

SMSセンターのアドレスと「Type of number」の設定をします。
現在ご利用されているSMSサービスとは別のサービスを受けるときに設定します。

1 (ﾒﾆｭｰ)▶(設定)▶アプリケーション通信設定▶SMS center設定▶ユーザ設定▶アドレスを入力

●半角20文字まで入力できます。

2 International•Unknown

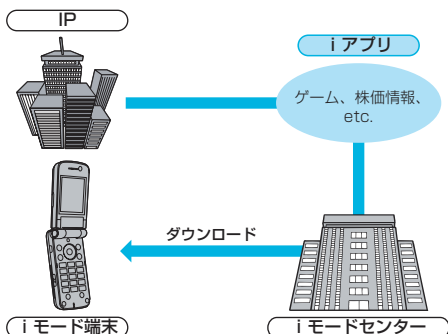
●入力したアドレスに「＊」や「#」が含まれている場合、「International」に設定できません。

■ユーザ設定をリセットして「ドコモ」に戻すには

1. 手順1の画面▶リセット▶端末暗証番号を入力▶YES

ｉアプリ

iアプリとは

iアプリをサイトからダウンロードすることにより、iモード対応FOMA端末(以下、iモード端末)をより便利に活用いただけます。たとえば、iモード端末にいろいろなゲームをダウンロードして楽しんだり、株価情報のiアプリをダウンロードすることにより、株価を定期的に自動チェックするなどが可能です。さらに、地図のiアプリでは必要なデータだけをダウンロードするため、スムーズなスクロールが可能です。また、iアプリから電話帳やスケジュールに直接登録できるものや、画像保存・画像取得などデータBOXと連動できるiアプリもあります。

- iアプリをダウンロードする方法についてはP.271を参照してください。
- iアプリを実行する方法についてはP.273を参照してください。
- iアプリを自動実行する方法についてはP.284を参照してください。
- ・ソフトによっては、iモード端末の携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号を利用する場合があります。
- ・ソフトによっては、実行時に通信を行うものがあります。通信を行わないようにも設定できます。

■登録データを利用する

iアプリのソフトには、お客様のiモード端末の登録データ(電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報)を参照、登録、操作ができるものがあります。

登録データを利用してできることは以下のとおりです。

・電話帳登録　・アイコン情報利用
・ブックマーク登録　・スケジュール登録
・データBOXからの画像取得　・トルカの保存
・データBOXへの画像保存
・microSDメモリーカードの利用

iアプリDXとは

iアプリDXでは、iモード端末の情報(メールや発着信履歴・リダイヤル、電話帳データなど)と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信か知らせたり、メールと連動して、株価などの欲しい情報やゲームの進行がよりリアルタイムに更新されるなど、iアプリをより便利に楽しく利用することが可能です。

■登録データを利用する

iアプリDXのソフトでは、通常のiアプリで利用できる登録データ(電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報)に加えて、メール、リダイヤル、着信履歴、着信音などの登録データを参照、登録、操作できるものがあります。

登録データを利用してできることは以下のとおりです。

・電話帳登録　・電話帳参照
・アイコン情報利用　・ブックマーク登録
・スケジュール登録　・メールメニューの利用
・iモードメール作成画面利用
・最新のリダイヤル参照　・最新の着信履歴参照
・最新の未読メール参照　・着信音保存
・着信音変更(電話、メール、メッセージ)
・データBOXからの画像取得
・データBOXへの画像保存
・画面設定の変更(待受画面、電話発着信、メール送受信、メッセージR/F受信)
・microSDメモリーカードの利用
・トルカの新規登録・選択・取得・検索
・位置情報の利用

- iアプリDXでは、ソフトの有効性を確認するため、ソフトの通信設定に関わらず通信する場合があります。通信回数やタイミングはソフトによって異なります。
- iアプリDXを起動するには、時計設定が必要です。

メール連動型iアプリとは

メール連動型iアプリは、iアプリDXの一種で、iモードメールで情報をやり取りすることにより、株価などの欲しい情報やゲームの進行がリアルタイムに更新されるなど、ソフトをより便利に楽しく利用できます。

- メール連動型iアプリで利用されるiアプリメールは、正しく表示できない場合があります。

おサイフケータイ対応iアプリとは

おサイフケータイ対応iアプリを用いて、ICカード内のデータの読み書きを行い、電子マネーや乗車券をダウンロードすることや、その残高や利用履歴を携帯電話上で参照するなど、便利な機能がご利用いただけます。

- おサイフケータイ対応iアプリを利用すると、ご契約しているサービスのIP(情報サービス提供者)などにICカード内の情報が送信されます。
- おサイフケータイについてはP.288参照。

GPS対応ｉアプリとは

GPS対応ｉアプリでは､GPS機能を利用することにより､現在地のタウン情報などがより簡単に探せたり､地図上に自分の現在地を表示させ目的地までのナビゲーションができるなど､便利な機能がご利用いただけます。

- GPS対応ｉアプリを利用すると､利用するソフトの情報提供者に位置情報が送信されます。
- GPS対応ｉアプリでGPS機能を利用する場合は､利用するソフトの｢ソフト設定｣の｢位置情報利用｣を｢利用する｣に設定する必要があります。

こんなこともできます

■ｉアプリ待受画面

ｉアプリ待受画面ではｉアプリを待受画面として利用でき､そのままメールを受信したり､電話をかけることも可能です。ニュースや天気の最新情報を待受画面に表示させたり､お好みのキャラクタがメール受信やアラームを知らせてくれたり､より便利な待受画面にすることも可能です。(P.285参照)

- ｉアプリ待受画面に対応したソフトで利用できる機能です。

■ｉアプリの自動起動

時刻や日付､曜日などを指定して､ソフトを自動起動できます。あらかじめソフトに設定されている時間間隔で自動起動できるソフトもあります。(P.284参照)

■カメラ撮影

ソフトからｉモード端末のカメラを使って撮影できます。

- カメラ撮影機能に対応したソフトで利用できる機能です。

■赤外線通信

ソフトから､赤外線通信機能が搭載された機器と通信できます。赤外線通信機能搭載機器と連動してより広がった使い方ができます。(P.344参照)

- 赤外線通信機能に対応したソフトで利用できる機能です。
- 相手の機器によっては､赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

■赤外線リモコン

ソフトから赤外線リモコンに対応した家電機器など各種機器を操作できます。(P.348参照)

例えばプリインストールされている｢Gガイド番組表リモコン｣では､テレビ番組表と連動したAVリモコンとして利用できます。(P.282参照)

- 赤外線リモコン機能に対応したソフトで利用できる機能です。相手の機器に対応したソフトが必要です。

<ｉアプリダウンロード>

サイトからｉアプリをダウンロードする

サイトからソフトをFOMA端末にダウンロードします。

ダウンロードしたソフトは10～最大100件まで登録できます。(データ量により実際に登録できる件数が少なくなる場合があります。)

1 ｉアプリダウンロード可能なサイトを表示▶ソフトを選択

2 ダウンロードが完了したら｢OK｣を選択する

- ダウンロード完了後にソフト設定(通信設定､待受画面設定､位置情報利用)の画面が表示されることがあります。設定が終われば✉(完了)を押します。各設定は､ソフト一覧からも設定できます。

3 YES･NO

YES ……ｉアプリが起動します。
NO ………サイト画面に戻ります。

■保存されているソフトがいっぱいのときは

すでにソフトが最大保存件数まで保存されている場合や､メモリの空きが不足している場合は､不要なソフトを削除してから保存するかどうかの確認画面が表示されます。

1. YES▶削除したいソフトにチェック▶✉(完了)▶YES
   - ディスプレイの左下に｢完了｣が表示されるまでチェックを付けます。
   - メール連動型ｉアプリの削除についてはP.276参照。

■ダウンロードが中断したときは

100Kバイト以上のｉアプリをダウンロード中に電波状況などによりダウンロードが中断した場合や､クリアや☎を押してダウンロードを中断した場合は､再取得するかどうかの確認画面が表示されます。｢YES｣を選択すると再度データをダウンロードします。｢NO｣を選択すると途中までダウンロードしたデータを保存するかどうかの確認画面が表示されます。｢YES｣を選択すると部分保存できます。

部分保存したｉアプリはソフト一覧画面から続きをダウンロードできます。

次ページにつづく

■メール連動型ｉアプリのダウンロード

メール連動型ｉアプリをダウンロードすると、送信／受信フォルダ一覧にｉアプリメール用フォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型ｉアプリのタイトルになり、変更できません。

メール連動型ｉアプリは5件まで保存できます。

- 同じフォルダを利用するメール連動型ｉアプリがすでにソフト一覧にある場合、そのソフトはダウンロードできません。
- メールセキュリティ設定中はメール連動型ｉアプリをダウンロードできません。
- 送信／受信フォルダ一覧にｉアプリメール用フォルダが5つある場合、メール連動型ｉアプリはダウンロードできません。

■メール連動型ｉアプリの再ダウンロード

ｉアプリメール用フォルダのみが残っているメール連動型ｉアプリを再ダウンロードしようとした場合、既存のｉアプリメール用フォルダを利用できます。既存のｉアプリメール用フォルダを利用しない場合は、フォルダを削除してｉアプリメール用フォルダを新規作成します。フォルダを新規作成せずにメール連動型ｉアプリをダウンロードすることはできません。

既存のｉアプリメール用フォルダを利用する場合

1.フォルダを利用するかどうかの確認画面▶YES

既存のフォルダを削除し、ｉアプリメール用フォルダを新規作成する場合

1. フォルダを利用するかどうかの確認画面▶NO
2. フォルダを新規作成するかどうかの確認画面▶YES

お知らせ

- 「ｉアプリメール」とは、メール連動型ｉアプリで送信･保存、メール連動型ｉアプリ用として受信したメールのことです。ｉアプリメールは、ｉアプリメール用フォルダに自動的に保存されます。

■お願い■

FOMA端末の故障･修理やその他の取扱いによって、保存内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え、FOMA端末に保存した内容は、microSDメモリーカード(P.334参照)を利用して保管することをおすすめします。

お知らせ

- お買い上げ時に登録されているｉアプリは「P-SQUARE」のサイトからダウンロードできます。
  ｉMenu→メニュー／検索→ケータイ電話メーカー→P-SQUARE

サイト接続用QRコード

お知らせ

- 接続するサイトによっては、ダウンロードできないことがあります。
- ｉアプリのソフトによっては、ダウンロードしたあとも自動的に通信を行う場合がありますが、このサービスを利用するには、あらかじめ「ソフト設定（通信設定）」での設定が必要です。
- SSL対応のページからソフトの情報やソフトをダウンロード中のときは、画面の上に「SSL」が表示されます。
- ダウンロード時に、「携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号」を送信するかどうかの確認画面が表示されることがあります。「YES」を選択するとダウンロードが開始されます。この場合、送信するお客様の「携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号」はインターネットを経由してIP(情報サービス提供者)に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP(情報サービス提供者)などに通知されることはありません。
- 異なるFOMAカードでダウンロード済みのソフトを再ダウンロードする場合、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。おサイフケータイ対応ｉアプリの場合、ICカード内のデータも上書きする旨の確認画面が表示されます。「YES」を選択するとダウンロードが開始されます。ダウンロード終了後、異なるFOMAカードでダウンロードしたソフトとICカード内のデータは削除されます。
- ソフトによっては、ICカード機能動作中やICカードロック中はダウンロードできない場合があります。
- ダウンロード完了後すぐに起動するソフトによっては、保存できないソフトもあります。
- ICカード内のデータ容量によっては、ソフト保存領域に空きがあってもおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードできない場合があります。確認画面に従い、表示されるソフトを削除してから再度ダウンロードを行ってください。(ダウンロードするソフトの種類によって、一部のソフトが削除対象とならない場合があります。)
  ソフトによってはお客様がソフトを起動して、ICカード内のデータを削除してから、ソフト自体の削除を行うものがあります。
- 1件あたり1Mバイトまでのｉアプリを保存できます。
- 3Dポリゴン※エンジン搭載により、ｉアプリで立体画像を表示できます。
  ※多角形を組み合わせることにより、立体的で奥行きのある画像を表現します。

ソフト情報表示設定

お買い上げ時	表示しない

ソフトダウンロード時にソフト情報を表示できます。

1 メニュー▶▶**ｉアプリ設定▶ソフト情報表示設定▶表示する･表示しない**

<ｉアプリ実行>

ｉアプリを起動する

1 待受画面▶(ｉα)（1秒以上）▶起動したいソフトを選択

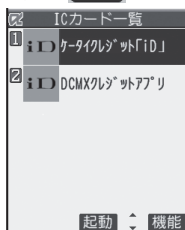
ソフト一覧画面

GPS：GPS対応ｉアプリ
iC：おサイフケータイ対応ｉアプリ
GPS iC：GPS･おサイフケータイ対応ｉアプリ
dx：ｉアプリDX
：メール連動型ｉアプリ
：部分保存しているｉアプリ
：自動起動に設定中
：ｉアプリ待受画面に設定中
：自動起動とｉアプリ待受画面の両方に設定中
：ｉアプリ待受画面に設定可能
SSL：SSLページからダウンロードしたことを表します。
：異なるFOMAカードでダウンロード／バージョンアップされていることを表します。

- 「(メニュー)▶(iアプリ)▶ソフト一覧（本体）」の操作を行ってもソフト一覧画面が表示されます。
- microSDメモリーカード内のソフト一覧画面を表示するには、「(メニュー)▶(iアプリ)▶ｉアプリ(microSD)▶ソフト一覧(microSD)」の操作を行います。
- 「ソフト設定（通信設定）」を「起動ごとに確認」にしていると、通信を許可するかどうかの確認画面が表示される場合があります。
- ｉアプリDXの起動時や実行中に、FOMA端末内の情報や機能を利用する旨の確認画面が表示される場合があります。
- 部分保存しているｉアプリを選択した場合は、残りのデータを取得できます。
- ｉアプリ実行中は「α」や「dx」が表示されます。
- ｉアプリを終了するには(chクリア)を1秒以上または(電源)を押して「YES」を選択します。
- 最後に起動したソフトが最上段に表示されます。ソフトの並び順は手動で変更できません。

ICカード一覧を表示する

おサイフケータイ対応ｉアプリを一覧表示します。

1 (メニュー)▶(LifeKit)▶ICカード一覧

ICカード一覧画面

- ソフトを選択すると起動できます。

■ソフトから他のソフトを起動するには

ソフトによっては、指定されたｉアプリを起動でき、ソフト一覧に戻ることなくソフトを楽しめます。起動させるソフトがあらかじめ指定されているものと、指定されていないものがあります。

起動するソフトが指定されている場合

ｉアプリ実行中に、指定されたソフトを起動するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択します。

起動するソフトが指定されていない場合

起動するソフトが指定されていない場合、ソフトを選択する必要があります。ｉアプリ実行中に、ソフトを選択するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択し、ソフトを選択します。

■ソフトに異常があったときは

ソフトに異常があった場合、その内容を確認できます。

1. (メニュー)▶(iアプリ)▶ｉアプリ実行情報▶トレース情報
   トレース情報の画面が表示されます。

■セキュリティエラーが起こったときは

セキュリティエラーによりｉアプリが終了した場合、その内容を確認できます。
デスクトップに「(エラー)」が表示されている場合は、アイコンを選択してもセキュリティエラー履歴を表示できます。

1. (メニュー)▶(iアプリ)▶ｉアプリ実行情報▶セキュリティエラー履歴
   セキュリティエラー履歴の画面が表示されます。

次ページにつづく

■トレース情報またはセキュリティエラー履歴の画面に「機能」が表示されているときは

(機能)を押して「情報コピー」を選択すると情報をコピーします。「情報削除」を選択し、「YES」を選択すると情報を削除します。

お知らせ

- トレース情報のメモリに空きがなくなると、古い情報から順番に上書きされます。
- ｉアプリ作成者の方へ
  ソフトを作成中、正常に動作しないときはトレース情報表示が参考になる場合があります。
  トレース情報の確認方法は、P.273「■ソフトに異常があったときは」をご覧ください。

お知らせ

- ｉアプリDXを起動するには、あらかじめ「時計設定」で日付・時刻を設定しておいてください。
- ソフトの実行中に再生されるメロディは、「着信音量」の「電話」で設定した音量で鳴ります。ただし、通話中は再生されません。
- ソフトを実行中に、通信設定が必要な場合があります。
- ｉアプリ実行中に一定時間内の通信回数が極端に多い場合は、通信を継続するかどうかの確認画面が表示されます。
- ソフトによっては、ｉアプリからWeb To 機能やPhone To／AV Phone To 機能なども利用できます。ただし、ｉアプリ待受画面として実行している場合は利用できません。
- ｉアプリからカメラを起動した場合、撮影した画像は通常の画像と一緒には保存されず、ｉアプリの一部として保存、利用されます。
- ｉアプリからカメラを起動した場合、ｉアプリによっては、画像サイズや画質などを設定できることがあります。
- ｉアプリからカメラを利用してQRコード、JANコードを読み取れます。読み取った結果はソフトで利用・保存されます。
- ｉアプリで利用する画像※やお客様が入力したデータ等は、自動的にインターネットを経由し、サーバに送信される可能性があります。
  ※ｉアプリで利用する画像とは
  ・カメラ連携（連動）アプリからカメラを起動して撮影した画像
  ・ｉアプリの赤外線通信機能を利用して取得した画像
  ・サイトやインターネットホームページからダウンロードした画像
  ・ｉアプリがデータBOXから取得した画像
- メール連動型ｉアプリで利用されるｉアプリメールは正しく表示できない場合があります。

お知らせ

- ｉアプリによっては、ｉアプリ上で使用している各種情報をｉアプリ終了時に保存することがありますが、ｉアプリ実行中に電池アラームが表示されたり、電池パックを外した場合は、各種情報が保存されないことがあります。電池残量が「」のときは、を押すか各ソフトの操作に従ってｉアプリを終了してください。
- ソフトによっては、microSDメモリーカードにデータを保存できるものもありますが、他の機能では利用できないことがあります。microSDメモリーカードを利用するソフトは「ｉアプリデータ（microSD）」で確認できます。
- ソフトによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたソフトにアクセスし、直接使用停止状態にしたりすることがあります。その場合はそのソフトの起動、待受設定、バージョンアップなどができなくなります。削除やソフト情報の表示などは可能です。再度、ご利用いただくにはソフト停止解除の通信を受ける必要があるため、IP（情報サービス提供者）にお問い合わせください。
- ソフトによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたソフトにデータを送信する場合があります。
- IP（情報サービス提供者）がソフトに対し、停止・再開要求を行ったり、データを送信した場合、携帯電話は通信を行い、「」が表示されます。この際、通信料はかかりません。

ソフト一覧画面・ICカード一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
ｉアプリ To設定	サイトやメールの中のリンクからｉアプリの起動を許可するかどうかを設定します。また、ICカード機能対応読み取り装置（リーダー／ライター）にFOMA端末をかざしたときなどについても設定できます。ソフトごとに設定できます。 ▶**設定したい項目にチェック** ▶(完了) ●ソフトによっては設定できない項目があります。
自動起動時刻設定	自動起動する日時を設定します。 （P.284参照）
ソフト設定（待受画面設定）	ｉアプリ待受画面に設定します。 （P.285参照）
ソフト設定（通信設定）	ｉアプリ実行中に通信するかどうかを設定します。 ▶**通信設定**▶**通信する・通信しない・起動ごとに確認**▶(完了) ●「起動ごとに確認」を選択した場合は、ｉアプリを起動するたびに確認画面が表示されます。

機能メニュー	操作・補足
ソフト設定(待受画面通信)	ｉアプリ待受画面実行中に通信するかどうかを設定します。(P.285参照)
ソフト設定(アイコン情報)	ｉモードメール、SMS、メッセージ(R/F)、電池残量、マナーモード、圏内／圏外アイコンの情報をｉアプリが利用するかどうかを設定します。 ▶**アイコン情報** ▶**利用する・利用しない**▶(完了)
ソフト設定(着信音／画像変更)	ｉアプリが着信音・待受画面などの設定を変更するかどうかを設定します。 ｉアプリDXにのみ設定できます。 ▶**着信音／画像変更**▶**許可する・許可しない・変更ごとに確認**▶(完了) ●「変更ごとに確認」を選択した場合は、ｉアプリから着信音・待受画面などの設定を変更しようとするたびに確認画面が表示されます。
ソフト設定(電話帳／履歴参照)	ｉアプリが電話帳・リダイヤル・着信履歴の参照をするかどうかを設定します。ｉアプリDXにのみ設定できます。 ▶**電話帳／履歴参照** ▶**許可する・許可しない**▶(完了)
ソフト設定(トルカ参照)	ｉアプリがトルカの参照をするかどうかを設定します。ｉアプリDXにのみ設定できます。 ▶**トルカ参照**▶**許可する・許可しない** ▶(完了)
ソフト設定(位置情報利用)	ｉアプリが位置情報を利用するかどうかを設定します。ｉアプリDXのみ設定できます。 ▶**位置情報利用** ▶**利用する・利用しない**▶(完了)
ソフト情報	ｉアプリのソフト名、バージョンなどを表示します。 ●で画面をスクロールして確認できます。
バージョンアップ	ソフトをバージョンアップします。 ▶YES
デスクトップ貼付	デスクトップに貼り付けます。(P.149参照)
削除	▶YES
選択削除	▶**削除したいソフトにチェック** ▶(完了)▶YES
全削除	▶**端末暗証番号を入力**▶YES
microSDへ移動	ソフトをmicroSDメモリーカードに移動します。 ▶YES ●移動したソフトは「(メニュー)▶(iアプリ)▶ｉアプリ(microSD)▶ソフト一覧(microSD)」の操作を行って確認できます。
本体へ移動	microSDメモリーカード内のソフトをFOMA端末に移動します。 ▶YES

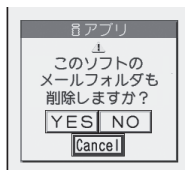
お知らせ

<ソフト設定(アイコン情報)>
- ｉアプリ待受画面の「ソフト設定(アイコン情報)」を「利用する」に設定すると、未読のメール・メッセージ、電池残量、マナーモード、電波受信レベル、圏外のアイコンの有無がお客様の携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号と同様にインターネットを経由してIP(情報提供者)に送信される場合があるため、第三者に知得されることがあります。
- ソフト設定(アイコン情報)が必要なソフトの場合、「利用しない」に設定すると動作しない場合があります。

<バージョンアップ>
- 起動時にソフトが更新されていた場合は、自動でバージョンアップできます。
- バージョンアップ時に、「携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号」を送信するかどうかの確認画面が表示されることがあります。「YES」を選択するとバージョンアップが開始されます。この場合、送信するお客様の「携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号」はインターネットを経由してIP(情報サービス提供者)に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP(情報サービス提供者)などに通知されることはありません。
- 以下の場合は、メール連動型ｉアプリをバージョンアップできません。
  - ・対応するｉアプリメール用フォルダの詳細を表示中
  - ・メールセキュリティ設定中
  - ・対応するｉアプリメール用フォルダにセキュリティが設定されているとき

<削除><選択削除><全削除>
- 待受画面や自動起動に設定されているソフトを削除する場合は、削除するかどうかの確認画面が表示されます。

次ページにつづく

■メール連動型ｉアプリを削除するときは

1件削除の場合

メール連動型ｉアプリを削除する場合、自動的に作られたｉアプリメール用フォルダを削除するかどうかを選択できます。フォルダのみを残した場合、送信／受信メール一覧からメール本文を確認できます。

1.「削除」、「選択削除」または「全削除」の操作を行う

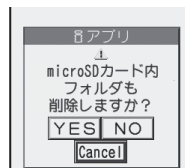
YES . . . . ソフト・ｉアプリメール用フォルダとも削除します。

NO . . . . . ｉアプリメール用フォルダを削除せずソフトのみ削除します。

Cancel . . ソフト・ｉアプリメール用フォルダとも削除せず元の画面に戻ります。

お知らせ

- 以下の場合は、「YES」を選択してもソフト、ｉアプリメール用フォルダともに削除できません。
  - ・フォルダの詳細を表示中
  - ・メールセキュリティ設定中
  - ・フォルダにセキュリティが設定されているとき
  - ・フォルダに保護メールが含まれているとき

■microSDメモリーカード内にデータがあるｉアプリを削除するときは

microSDメモリーカード内にデータがあるｉアプリを削除する場合、microSDメモリーカード内のデータを削除するかどうかを選択できます。

1.「削除」、「選択削除」または「全削除」の操作を行う

YES . . . . ソフト・microSDメモリーカード内のデータとも削除します。確認画面で再度「YES」を選択します。「削除」または「選択削除」を実行した場合は端末暗証番号の入力が必要になります。

NO . . . . . microSDメモリーカード内のデータを削除せずソフトのみ削除します。

Cancel . . ソフト・microSDメモリーカード内のデータとも削除せず元の画面に戻ります。

■おサイフケータイ対応ｉアプリを削除するときは

おサイフケータイ対応ｉアプリを削除する場合、ICカード内のデータも削除する旨の確認画面が表示されます。「YES」を選択します。

お知らせ

- おサイフケータイ対応ｉアプリを起動してICカード内のデータを削除しないと、おサイフケータイ対応ｉアプリを削除できない場合があります。
- ICカード機能動作中やICカードロック中は削除できない場合があります。

■お買い上げ時に登録されているｉアプリのソフト設定

ソフト設定	P-Movie Player	NAVI TIME for P	DC -FFⅦ- LOST EP	ぷよぷよ～ん コラムス	カウントダウン トレイン GPS
待受画面設定	なし	なし	なし	なし	設定しない
通信設定	通信する	通信する	通信する	なし	通信する
待受画面通信	なし	なし	なし	なし	通信する
アイコン情報	利用する	なし	なし	なし	なし
着信音／画像変更	―	なし	なし	なし	なし
電話帳／履歴参照	―	許可する	なし	なし	なし
トルカ参照	―	許可する	なし	なし	なし
位置情報利用	―	利用する	なし	なし	利用する

ソフト設定	ケータイコーディネーター	デコメ絵文字ポケット	Gガイド番組表リモコン	ケータイクレジット「iD」	「DCMX」クレジットアプリ
待受画面設定	なし	なし	なし	なし	なし
通信設定	通信する	通信する	通信する	通信する	通信する
待受画面通信	なし	なし	なし	なし	なし
アイコン情報	利用する	なし	なし	なし	なし
着信音／画像変更	許可する	―	なし	なし	なし
電話帳／履歴参照	なし	―	なし	なし	なし
トルカ参照	なし	―	なし	なし	なし
位置情報利用	なし	―	なし	なし	なし

お買い上げ時に登録されているｉアプリ

お買い上げ時には以下のｉアプリが登録されています。

- お買い上げ時に登録されているｉアプリは削除できます。削除したｉアプリは「P-SQUARE」のサイトから再びダウンロードできます。ダウンロード時と異なるFOMAカードを使用中は、FOMAカード動作制限機能がかかります。(P.39参照)
- 「P-MoviePlayer」「NAVITIME for P」「ダージュ オブ ケルベロス ロストエピソード -ファイナルファンタジーⅦ-」「カウントダウントレインGPS」の再ダウンロードサービスは2009年12月末日、その他のｉアプリについては2010年11月末日に終了の予定です。
- 「ダージュ オブ ケルベロス ロストエピソード -ファイナルファンタジーⅦ-」のｉアプリ用追加データのダウンロードなどは2009年12月末日、「ケータイコーディネーター」については2010年12月末日に終了の予定です。
- 「NAVITIME for P」のご利用期限は2009年12月31日の予定です。
- 再ダウンロードサービスは、期限内であっても予告なく休止または終了する場合があります。

P-MoviePlayer

© Panasonic Mobile Communications Co., Ltd.

MoviePlayerメニュー画面

最大20Mバイトまでの大容量の動画をダウンロードして、microSDメモリーカードに保存し、管理、再生できる便利アプリです。

- 動画のダウンロードには通信が発生します。動画は大容量なため、ご利用になる際はパケホーダイに加入されることをおすすめします。
- microSDメモリーカードに保存されたデータは、P903iを使用し、かつダウンロード時と同一のFOMAカードを使用中の環境でのみご利用になれます。P903i以外のmicroSDメモリーカード対応携帯電話、microSDメモリーカード対応機器およびパソコンへのコピーなどでは著作権保護技術により利用できません。

1 ソフト一覧画面▶P-MoviePlayer▶免責事項に了承して「OK」を選択

- 「次回起動から免責表示しない」にチェックを付けると、次に起動するときには免責事項は表示されません。
- microSDメモリーカードが挿入されていない場合は、挿入を促す旨の画面が表示されます。

2 メニューを選択

チャンネルリスト...チャンネルリストから動画をダウンロードします。

マイデータ........ダウンロードした動画の一覧を表示します。動画の再生や情報を表示したり、削除したりできます。途中までダウンロードした動画のダウンロードを再開することもできます。

更新情報.........サイトに接続して更新情報を確認できます。

ヘルプ・運用状況...サイトに接続してヘルプや運用状況を確認できます。

ご利用の前に......免責事項を表示します。確認が終われば(iα)(戻る)を押します。

■動画のダウンロード

1 MoviePlayerメニュー画面▶チャンネルリスト

通信を行い、現在公開中のチャンネルリストを取得します。

- バージョンアップするかどうかの確認画面が表示された場合は、「YES」を選択してｉアプリのバージョンアップを実行してください。

2 チャンネルを選択▶動画を選択▶項目を選択

ダウンロードする
......動画をダウンロードします。

ダウンロードしない
......動画をダウンロードせず、動画の一覧に戻ります。

ダウンロードしてｉアプリ終了
......動画をダウンロード後ｉアプリを終了します。

「DL」が表示されている動画をダウンロードできます。ダウンロード済みの動画は「▶」が表示され、選択すると動画を再生します。

- 動画に再生期限がある場合は「L」が表示されます。再生期限を確認するには(✉)(メニュー)を押して「再生期限表示」を選択します。再生期限を超えた動画は再生できず削除しかできません。

次ページにつづく

■ダウンロードを途中で中断したときは

ダウンロード中に✉(中断)を押した場合はダウンロードを中断します。途中までダウンロードしたデータは保存されており、再度動画の一覧から選択し「ダウンロードする」を選択すると途中からダウンロードを再開できます。途中までダウンロードした動画には「 」が表示されます。

- チャンネルリスト側で公開が終了している場合は、途中からのダウンロードはできず、動画は削除しかできません。

■チャンネルリストや動画の一覧表示中に✉(メニュー)を押したときは

メニューが表示されます。

ダウンロード
. . . . . . .動画をダウンロードします。

ダウンロード再開
. . . . . . .途中までダウンロードしている動画のダウンロードを再開します。

再生 . . .ダウンロード済みの動画を再生します。

詳細情報表示
. . . . . . .動画のファイル名や時間などの詳細な情報を表示します。

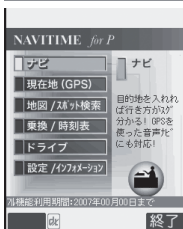
再生期限表示
. . . . . . .再生期限のある動画の再生期限を表示します。

削除 . . .ダウンロード済みまたはダウンロード途中の動画を削除します。

リスト更新
. . . . . . .チャンネルリストを更新します。

microSD空き容量表示
. . . . . . .microSDメモリーカードの空き容量の目安を表示します。

- 通信中に✉(中断)を押すと通信を中断します。
- メニューを閉じる場合は、(閉じる)を押します。

NAVITIME for P

GPS機能を利用して、出発地から目的地までの乗り物、徒歩、自動車向けそれぞれに最適なルートを案内できるGPS対応iアプリです。地図の表示や周辺の店舗／施設の検索なども行えます。

- 通信時には別途パケット通信料がかかる場合があります。通信料の目安については、「設定／インフォメーション」→「ヘルプ」→「通信料のご案内」をご覧ください。

ダージュ オブ ケルベロス ロストエピソード -ファイナルファンタジーⅦ-

世界的なロールプレイングゲーム「ファイナルファンタジー」シリーズの第7作目から3年後の世界を描いたガンアクションゲームの移植版です。

- 本アプリはステージ5までお楽しみいただけます。完全版へアップグレードすることができます。

1 **ソフト一覧画面 ▶DC-FFVII-LOST EP**

2 **メニューを選択**

New Game . ステージ1からゲームを始めます。
Continue . . . 前回終了したステージからゲームを始めます。
Upgrade. . . . 完全版へのアップグレードを行います。
Options . . . . 音量の調節と振動の有無を設定します。
Credits. . . . . クレジットを表示します。
Exit Game . . アプリを終了します。

◆ゲーム中のボタン操作(フィールドモード)

ボタン操作	内容
(上)	前へ移動
(下)	後ろへ移動
(左)	左へ移動
(右)	右へ移動
(決定)	バトルモードに移行
	アクションを実行
1 2 3	武器の切り替え
*	カメラアングルを右回転させる
#	カメラアングルを左回転させる
0	カメラアングルを元に戻す
(メール)	ポーズメニュー画面を表示
	画面左下に表示されている操作を実行
(iα)	ポーズメニュー画面を表示
	画面右下に表示されている操作を実行

◆ゲーム中のボタン操作(バトルモード)

ボタン操作	内容
(上下)	フィールドモードに移行
(左)	左を向く(左の敵に照準を向ける)
(右)	右を向く(右の敵に照準を向ける)
(左)(続けて2回)	左へ回避
(右)(続けて2回)	右へ回避
(決定)	攻撃
1 2 3	武器の切り替え
(メール)	ポーズメニュー画面を表示
	画面左下に表示されている操作を実行
(iα)	ポーズメニュー画面を表示
	画面右下に表示されている操作を実行

- イベントシーンで(メール)または(iα)を押して(決定)を押すと、イベントシーンをスキップできます。
- クレジットを表示中に(メール)または(iα)を押すとキャンセルできます。

ぷよぷよ〜ん&COLUMNS

ゲーム選択画面

家庭用ゲーム機などで大ヒットしたパズルゲーム「ぷよぷよ〜ん」と「コラムス」の移植作です。ひとつのアプリにふたつのゲームをパッケージ。
また、Bluetooth対戦にも対応し、より遊びの幅を広げます。

1 ソフト一覧画面▶ぷよぷよ〜んコラムス▶(決定)または5を押す

- 画面左下に「♪大」などが表示されているときは、(メール)を押すと音量を調節できます。
- ｉアプリを終了する場合は、(iα)(終了)を押して「はい」を選択します。
- 画面右下に「戻る」が表示されているときは、(iα)を押すと1つ前の画面に戻ります。

2 ゲームを選択

ぷよぷよ〜ん . . ぷよぷよ〜んが遊べます。
COLUMNS . . . コラムスが遊べます。
オプション . . . . アプリの音量やバイブレータのON･OFFを設定します。また、データの初期化も行えます。
終了 . . . . アプリを終了します。

■ぷよぷよ〜ん

1 ゲーム選択画面▶ぷよぷよ〜ん▶メニューを選択

ひとりでぷよぷよ
. . . 対コンピュータ戦です。全10回戦を勝利すればゲームクリアとなります。「最初から」を選択します。途中のデータがある場合は、「続きから STAGEXX」が選択できます。
※XXはステージの数字です。

ふたりでぷよぷよ
. . . Bluetooth通信を利用して対戦できるモードです。Bluetooth対戦についてはP.280「Bluetooth対戦するときは」参照。

とことんぷよぷよ
. . . スコアアタックモードです。最初にぷよの大きさや難易度を選択します。難易度によってぷよの色の数が変わります。

ハイスコア
. . . とことんぷよぷよモードのハイスコアが表示されます。

BGMへんこう
. . . BGMを変更します。

ヘルプ
. . . ぷよぷよ〜んの遊び方を表示します。

次ページにつづく

◆ゲーム中のボタン操作

ボタン操作	内容
(5)	ぷよを右回転させます。
*	ぷよを左回転させます。
(4)	左へ移動
(6)	右へ移動
(8)	落下速度UP
(停止)	ゲームを一時停止します。再開する場合は、再度(再開)を押すか、「再開」を選択します。「終了」を選択するとゲームを終了します。

■COLUMNS

1 ゲーム選択画面▶COLUMNS▶メニューを選択

VS CPU
. . .対コンピュータ戦です。全10回戦を勝利すればゲームクリアとなります。「最初から」を選択します。途中のデータがある場合は、「続きから STAGEXX」が選択できます。
※XXはステージの数字です。

VS HUMAN
. . .Bluetooth通信を利用して対戦できるモードです。Bluetooth対戦についてはP.280「Bluetooth対戦するときは」参照。

エンドレス
. . .スコアアタックモードです。最初に難易度を選択します。難易度によってスタート時のレベルとスコアが変わります。

ハイスコア
. . .エンドレスモードのハイスコアが表示されます。

BGM変更
. . .BGMを変更します。

ヘルプ
. . .コラムスの遊び方を表示します。

◆ゲーム中のボタン操作

ボタン操作	内容
(5)	宝石を下にずらして入れ替えます。
*	宝石を上にずらして入れ替えます。
(4)	左へ移動
(6)	右へ移動
(8)	落下速度UP
(停止)	ゲームを一時停止します。再開する場合は、再度(再開)を押すか、「再開」を選択します。「終了」を選択するとゲームを終了します。

■Bluetooth対戦するときは

ぷよぷよ〜んで「ふたりでぷよぷよ」を選択したときや、コラムスで「VS HUMAN」を選択したときは、Bluetoothで対戦相手と接続するために、以下の操作を行う必要があります。

未登録の相手(初めての相手)と対戦する場合

自分側の操作(1P側)		相手側の操作(2P側)
「未登録の相手と対戦(1P側)」を選択して「YES」を選択	◀	「未登録の相手と対戦(2P側)」を選択して端末暗証番号を入力
▼		
見つかった相手のFOMA端末を選択し、「YES」を選択して端末暗証番号を入力	▶	接続要求を受けたら「YES」を選択
		▼
相手側と同じ任意のBluetoothパスキーを入力して「確定」を選択	◀	相手側と同じ任意のBluetoothパスキーを入力して「確定」を選択
▼		
2P側がリクエスト待ちになっているのを確認して「準備完了」を選択	▶	1P側から対戦リクエストを受けたら「はい」を選択

登録済みの相手と対戦する場合

自分側の操作(1P側)		相手側の操作(2P側)
「登録済の相手と対戦(1P側)」を選択	▶	「登録済の相手と対戦(2P側)」を選択
		▼
相手のFOMA端末を選択	◀	相手のFOMA端末を選択
▼		
2P側がリクエスト待ちになっているのを確認して「準備完了」を選択	▶	1P側から対戦リクエストを受けたら「はい」を選択

お知らせ

- 機器登録されているBluetooth機器が1件もない状態で「登録済の相手と対戦(1P側)」または「登録済の相手と対戦(2P側)」を選択した場合は、サーチするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択した場合は「未登録の相手(初めての相手)と対戦する場合」参照。
- 接続する際に、FOMA端末以外のBluetooth機器を選択した場合は接続エラーになります。
- BluetoothについてはP.392参照。

カウントダウントレインGPS

Powered by
JRトラベルナビゲーター

時刻表をダウンロードして、乗りたい列車の発車時刻まで分／秒単位でカウントダウン表示します。発車5～30分前を知らせるアラーム機能もついています。時刻表はメニューから更新できるため、常に最新のものをお使いいただけます。さらに、GPS機能を利用して最寄り駅を探せます。

●詳しくは、メニューの「ヘルプ」をご覧ください。

1 **ソフト一覧画面**
▶カウントダウントレイン-P

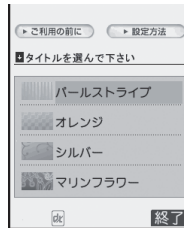
2 **「免責事項」をよく読む▶(次へ)**
▶はい

3 **(メニュー)**
▶最寄駅検索(GPS)・駅名入力検索

最寄駅検索(GPS) . 現在地を測位し、周辺の駅を検索します。

駅名入力検索 . . . . . 駅名を入力し、(決定)を押します。駅名はすべて入力しなくても構いません。

4 **駅名を選択▶路線方面を選択**
▶列車を選んで(保存)▶はい

ケータイコーディネーター

© Panasonic Mobile Communications Co., Ltd.

カスタムジャケットに合わせて用意された画像データやメロディデータなどを一括でダウンロードし、自動設定および設定のガイドを行います。

●データリスト取得と各画像データやメロディデータのダウンロードには、通信が発生します。通信料は、画像の種類や絵柄などによって異なります。

ダウンロードできる項目と手順

・待受画面　　・着信音
・メニュー背景　　・メニューアイコン
・電話発信・着信画像　　・メール送信・受信画像
・プライベートウィンドウ　　・イルミネーション

1 **ソフト一覧画面**
▶ケータイコーディネーター
▶「ご利用の前に」をよく読む▶OK

●画面の文字サイズを設定するには「大」「中」「小」を選択します。

●「次回からこの画面を表示しない。」にチェックを付けると、次に起動するときには「ご利用の前に」は表示されません。

2 **タイトルを選択**
▶変更するテーマにチェック
▶(確定)

ダウンロードが始まります。

●変更したくないテーマは、チェックを外してください。

●各データのダウンロードが終わるたびに、データを保存するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」または「NO」を選択します。

●待受画面、着信音、電話発信・着信画像、メール送信・受信画像、イルミネーションは自動的に設定されます。
「メニューアイコン設定」は「カスタマイズ」に設定され、メニュー背景、メニューアイコンも自動的に設定されます。

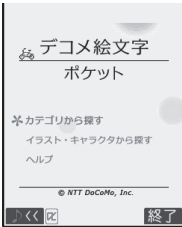
●プライベートウィンドウは自動では設定されませんので手動で設定してください。

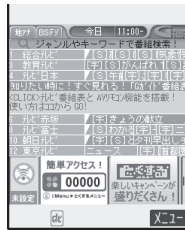
●画面左下に「♪<<」などが表示されているときは、を押すと音量を調節できます。

3 **(終了)を押す**

次ページにつづく

■各テーマの設定方法を表示する
「設定方法」を選択し、さらに各テーマの「設定方法」を選択すると、手動での設定方法が表示されます。
- 設定方法を表示させたまま、マルチを使って画面を切り替えながら設定することもできます。

デコメ絵文字ポケット

「デコメ絵文字ポケット」は、903iから便利に使えるようになったｉモードメール上で絵文字のように使えるデコメ絵文字を、簡単に検索、保存ができるデコメ絵文字専用のｉアプリです。情報サービス提供者から提供されるデコメ絵文字を、「カテゴリ」や「イラスト」、「キャラクタ」などのテーマから探すことができ、簡単にFOMA端末に保存できます。
また、複数のデコメ絵文字を一括して保存することもできます。お気に入りのデコメ絵文字を見つけたら、その画像を提供するサイトの紹介文をご覧いただけ、サイトへアクセスすることもできます。
- 「デコメ絵文字ポケット」の月額情報料は無料です。IP（情報サービス提供者）が提供するサイトをご覧になる場合には別途ｉモード情報料がかかる場合があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 詳しくは、「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください。

Gガイド番組表リモコン

※画面はイメージです。実際の画面とは異なります。
お住まいの地域に応じた番組表が表示されます。

テレビ番組表とAVリモコン機能が1つになった月額利用料は無料の便利アプリです。
知りたい時間の地上アナログもしくは地上デジタルとBSデジタルのテレビ番組情報をいつでもどこでも簡単に取得できます。テレビ番組のタイトル･番組内容･開始／終了時間などを知ることができます。
気になった番組があったら、インターネットを通じて番組をDVDレコーダーに録画予約できます。（リモート録画予約機能に対応しているDVDハードディスクレコーダーが必要になります。ご利用の際には本アプリの初期設定が必要です。）さらにテレビ番組のジャンルや好きなタレントなどのキーワードで番組情報の検索が可能です。また、テレビ、ビデオ、DVDプレイヤーのリモコン操作ができます。（一部対応していない機種もあります。）
- 赤外線リモコンの詳細については、P.348「赤外線リモコン機能を利用する」参照。
- はじめて利用するときは、初期設定を行って利用規約に同意する必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 海外でのご利用時は、携帯電話の時計設定を日本時間に合わせてください。
- 詳しくは、「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください。

■リモート録画予約機能について
リモート録画予約に対応しているDVDレコーダーをお持ちの場合には、インターネットを通じて、外出先などから本アプリの番組表より録画予約ができます。
リモート録画予約には本アプリにおいて初期設定が必要です。

初期設定方法
1. DVDレコーダーにインターネット接続の設定をする（ご利用のDVDレコーダーの取扱説明書をご確認ください）
2. ソフト一覧▶Gガイド番組表リモコン▶iα（ﾒﾆｭｰ）▶リモート録画予約▶ガイダンスに従って操作

番組予約の方法
初期設定完了後、お好きな番組を指定してメニューから「リモート録画予約」を選択すると、インターネット経由で本アプリで設定したDVDレコーダーを接続し、録画予約ができます。
※既に同じ時間に予約がされている場合には、メッセージが番組表に表示されます。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。

ケータイクレジット「iD(アイディ)」

※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

ケータイクレジット「iD(アイディ)」とは、おサイフケータイをかざすだけで買い物やキャッシングのできるクレジットサービスです。今までのようにカードを財布から出したり、サインしたりすることなく、カンタン便利にショッピングができます。

- iDのご利用には、iDに対応した各カード発行会社へのお申し込みとiDアプリ、各カード発行会社提供のカードアプリが必要になります。
- iDアプリをはじめて起動される際は、「ご利用上の注意」に同意し、ご利用の準備を行ったあと、カードアプリのダウンロードを行う必要があります。
- iD対応のクレジットサービスのご利用にかかる費用(年会費等)は、各カード発行会社により異なります。
- iDアプリおよび各カード発行会社のカードアプリをダウンロードするにはパケット通信料がかかります。
- iDに関する情報については、iDのホームページおよびｉモードサイトをご覧ください。
  ホームページ:http://id-credit.com
  ｉモードサイト: ｉMenu→メニュー／検索→ケータイクレジット「iD」

サイト接続用QRコード

「DCMX」クレジットアプリ

※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

「DCMX」とは、「iD(アイディ)」に対応した、エヌ・ティ・ティ・ドコモ・グループが提供するクレジットサービスです。DCMXには、月額1万円まで利用できるDCMX miniと、キャッシングやリボなどのサービスも充実し、クレジットカードも同時発行するDCMX、DCMX goldの各サービスがございます。DCMX miniなら、本アプリからの簡単なお申し込みで今すぐケータイクレジットがご利用いただけます。

入会申し込み・審査※1

↓

カード情報設定

↓

使う
面倒なチャージは不要！
設定済ケータイを店頭の読み取り機にかざすだけで、サインなどすることなくショッピングが楽しめます。

確認する※2
当月のご利用可能残額やご利用明細もケータイから確認！

変更する
お使いのカードの更新および再発行の際にもアプリから設定可能！

※1 お申し込み時にオンラインで簡単な入会審査をさせていただきます。また、DCMX mini以外のお申し込みについては、ｉモードのお申し込みページに接続します。

※2 ご利用状況などの確認機能は、DCMX miniのみ可能です。

- サービス内容やお申し込み方法の詳細については、下記をご参照ください。
  ホームページ:http://www.dcmx.jp
  ｉモードサイト: ｉMenu→メニュー／検索→DCMX(ケータイクレジット)

サイト接続用QRコード

- 本サービスについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

次ページにつづく

お知らせ

- 本アプリを初めて起動される際には、「ご利用上の注意」に同意の上、ご利用ください。
- 本アプリの利用に伴いｉモード通信を利用する際は、パケット通信料がかかります。
- 申し込み･設定完了後は、本アプリからは起動できません。ご利用状況の確認や設定の変更などをご利用になる場合は、iDアプリを起動し、DCMXアプリを選択して連携起動してください。

おサイフケータイ対応ｉアプリに関するご注意

- ICカードに設定された情報につきましては、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ｉアプリを自動起動する

設定した日時に自動的にｉアプリが起動します。自動起動時刻設定で起動する日時を設定します。

自動起動設定

お買い上げ時	許可しない

ｉアプリの自動起動を許可するかどうかを設定します。

1 メニュー▶iアプリ▶自動起動設定▶許可する･許可しない

自動起動時刻設定

自動起動する日時を設定します。3件まで設定できます。

1 ソフト一覧画面･ICカード一覧画面▶(機能)▶自動起動時刻設定

2 設定したい項目にチェック▶(完了)

時間間隔設定 . . .ソフトに設定された間隔で起動します。設定が終了します。
起動時刻設定 . . .設定した時刻に自動的に起動します。

3 起動時刻を選択▶設定する日付･時刻を入力

でカーソルを移動し、ダイヤルボタンで入力します。
- 年は西暦で入力します。
- 時刻は24時間で入力します。

4 繰り返しなし▶項目を選択

設定なし . . 繰り返しなし(1回のみ)設定になります。手順6へ進みます。
毎日. . . . . . 毎日起動する設定になります。手順6へ進みます。
曜日指定 . . 指定した曜日に自動起動します。

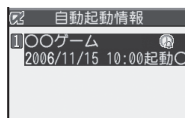
5 設定したい曜日にチェック▶(完了)

- 1つ以上の曜日を選択してください。

6 (完了)を押す

自動起動情報

ソフトが正しく自動起動したかどうかを確認します。また、ICカードからの起動に失敗した場合の情報も確認できます。自動起動情報は3件まで、ICカードからの起動に失敗した場合の情報は1件まで記憶されます。

1 メニュー▶iアプリ▶ｉアプリ実行情報▶自動起動情報

自動起動情報画面

起動○ . . . . .正常に自動起動しました。
起動× . . . . .自動起動しませんでした。
「起動」が表示されている場合は、(起動)を押してソフトを起動できます。
未起動 . . . . .まだ自動起動していません。

お知らせ

- 次の場合、ソフトは自動起動しません。
  - ･FOMA端末の電源がOFFの場合
  - ･日付･時刻が設定されていない場合
  - ･他の機能が動作中の場合
  - ･オールロック、PIMロック設定中
  - ･アニメーション、Flash画像再生中
  - ･「ソフトウェア更新」の予約時刻、「アラーム」、「スケジュール」、「ToDo」のアラームの設定時刻と同じ時刻の場合
  - ･オート表示中
  - ･同じソフトに対して、前回自動起動した時刻から10分以内の起動時刻が設定されていた場合
- 自動起動ができなかった場合、デスクトップに「ソフト」が表示されます。アイコンを選択すると、自動起動情報画面が表示されます。

<ｉアプリ待受画面>

ｉアプリ待受画面を操作する

ソフト設定(待受画面設定)

ｉアプリを待受画面に設定します。一度設定すると、待受画面を表示するたびに自動的にｉアプリ待受画面が表示されます。

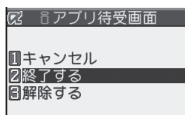
1 **ソフト一覧画面･ICカード一覧画面 ▶ (機能)▶ソフト設定 ▶待受画面設定▶設定する･設定しない**

設定する．．．．ｉアプリ待受画面に設定します。
設定しない．．ｉアプリ待受画面の設定を解除します。

2 **(完了)を押す**

待受画面に設定すると「 」が表示されます。
ｉアプリ待受画面実行中は「 」や「 」が表示されます。

■ｉアプリ待受画面実行中に通常のｉアプリとして操作するには

アプリ待受画面
1キャンセル
2終了する
3解除する

ｉアプリ待受画面でを押します。
「 」や「 」が「 」や「 」の点滅に変わり、通常のｉアプリとして操作できます。

- ｉアプリ待受画面に戻る場合は、を1秒以上押すか、を押して「終了する」を選択します。「解除する」を選択し、「YES」を選択するとｉアプリ待受画面が解除されます。

お知らせ

- ソフトによっては、ｉアプリ待受画面設定中にボタン操作により通常のｉアプリの状態からｉアプリ待受画面の状態に戻せるものもあります。ただし、他のメニュー機能が動作中はｉアプリ待受画面の状態に戻せません。

お知らせ

- ｉアプリ待受画面を実行した状態でFOMA端末の電源を切った場合、次回電源を入れたときにｉアプリを起動するかどうかの確認画面が表示されます。
- ｉアプリ待受画面に設定できるｉアプリは1つのみです。
- ｉアプリによっては、待受画面に設定できないものがあります。
- 「ソフト設定(待受画面通信)」を「通信しない」に設定した場合、タイムリーな情報提供ができない場合がありますのでご注意ください。
- ｉアプリ待受画面からはWeb To 機能やPhone To／AV Phone To 機能などは利用できません。

お知らせ

- ネットワークに接続するソフトをｉアプリ待受画面に設定した場合は、電波状況等により正しく動作しない場合があります。
- メニュー機能の動作中に待受画面を表示したときには、ｉアプリ待受画面を設定していても「画面表示設定」の「待受画面」で設定している画面が表示されます。
- ｉアプリ待受画面を実行中にｉアプリの通信回数が一定時間内で極端に多い場合は、確認を行う旨の画面が表示されます。を押すと、通信を継続するかどうかの確認画面が表示されます。
- ｉアプリ待受画面表示中にオールロックまたはPIMロックを設定すると、ｉアプリ待受画面は終了します。オールロックを設定すると「画面表示設定」の「待受画面」で設定した画像が表示され、PIMロックを設定するとお買い上げ時に登録されている画像が表示されます。オールロックまたはPIMロックを解除すると、ｉアプリ待受画面が再表示されます。

ソフト設定(待受画面通信)

ｉアプリ待受画面実行中の通信を許可するかどうかを設定します。

1 **ソフト一覧画面･ICカード一覧画面 ▶ (機能)▶ソフト設定 ▶待受画面通信▶通信する･通信しない ▶ (完了)**

待受画面終了

実行中のｉアプリ待受画面を一時的に終了します。また、ｉアプリ待受画面を解除します。

1 **▶ 設定 ▶ｉアプリ設定 ▶待受画面終了▶終了･設定解除**

- 「設定解除」を選択した場合は「YES」を選択します。

待受画面終了情報

ｉアプリ待受画面が正しく終了しなかった場合に、その日時と理由を確認します。

1 **▶ iアプリ ▶ｉアプリ実行情報 ▶待受画面終了情報**

- 待受画面終了情報の画面で「 機能 」が表示されているときは、(機能)を押して「情報コピー」を選択すると情報をコピーします。「情報削除」を選択し、「YES」を選択すると情報を削除します。

ｉアプリ起動中の照明やバイブレータを設定する

α照明設定

お買い上げ時	システム依存

ｉアプリ起動中のバックライト点灯のしかたを設定します。

1 メニュー▶設定▶ｉアプリ設定▶α照明設定▶項目を選択

システム依存 . . .「照明設定」に従います。
ソフト依存 . . . . . ソフトの設定に従います。
常時点灯. . . . . . . 常時点灯します。

αバイブレータ

お買い上げ時	システム依存

1 メニュー▶設定▶ｉアプリ設定▶αバイブレータ▶システム依存・ソフト依存

システム依存 . . .「バイブレータ」の設定に関わらず動作しません。ソフトによっては動作する場合があります。
ソフト依存 . . . . . ソフトの設定に従います。

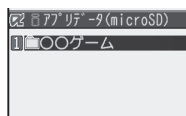
お知らせ

- ソフトによってはバックライト、バイブレータの設定が「OFF」になっているものがあります。「ソフト依存」で実行するとそれらは動作しませんので、動作させたいときは、「システム依存」に設定してください。

<ｉアプリデータ（microSD）>

microSDメモリーカード内のｉアプリデータを表示する

ｉアプリによってはmicroSDメモリーカード内にデータを保存できるものがあります。
microSDメモリーカード内に保存されているｉアプリデータを表示します。

1 メニュー▶ｉアプリ▶ｉアプリ（microSD）▶ｉアプリデータ（microSD）

お知らせ

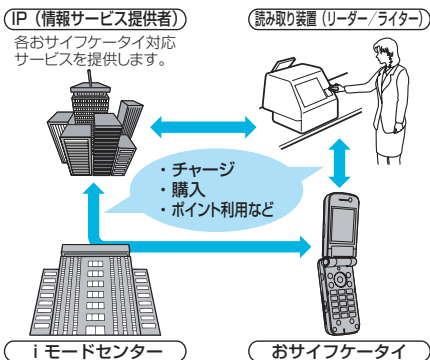
- ｉアプリをダウンロードしたときと同じFOMAカードを使用している場合のみ操作できます。

ｉアプリデータ表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
フォルダ情報	選択したフォルダを利用するソフトやフォルダの利用可／不可、利用不可の場合の原因を表示します。 ● で画面をスクロールして確認できます。
フォルダ削除	選択したフォルダとフォルダ内のデータを削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES

おサイフケータイ／トルカ

おサイフケータイとは

ｉモード端末のICカード機能を使ったｉモードの便利な機能（ｉモード FeliCa ）やICカードを搭載したｉモード端末をおサイフケータイと呼びます。FeliCa とは、かざすだけでデータの読み書きができる非接触ICカードの技術方式の１つです。
おサイフケータイを対応店舗の読み取り装置（リーダー／ライター※）にかざすだけで電子マネーを使ってショッピングの支払いができたり、飛行機のチケットやポイントカードとして利用できるなど携帯電話が実生活の中でますます便利な道具になります。
また従来の FeliCa に対応した非接触ICカードと比べ、おサイフケータイ内のICカードに電子マネーをサイトから入金したり、残高や利用履歴を確認できたりと、より便利に利用できます。
※ICカードの読み書きを行う装置です。

※ICカード機能をご利用いただくには、ICカード機能に対応したおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードしてください。

- 各おサイフケータイ対応サービスのお申し込み･ご利用の方法につきましてはそれぞれ異なりますのでIP（情報サービス提供者）などのお問い合わせ先にご連絡ください。各おサイフケータイ対応サービスのご利用にあたっての注意事項については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- ご利用の各おサイフケータイ対応サービスのサービス名や問い合わせ先などはメモを取り保管してください。おサイフケータイの故障･修理･携帯電話の変更やその他の取扱いによって、ICカード内のデータが消失･変化してしまう場合があります。（修理の場合は、原則データをお客様自身で消去していただきますので、あらかじめご了承ください。）万が一、ICカード内のデータが消失･変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。ICカード内のデータを消去する場合や、消失･変化してしまった場合の対応は、各おサイフケータイ対応サービスにより異なりますので、事前にご契約しているサービスのIP（情報サービス提供者）などにお問い合わせの上、ご確認ください。
- おサイフケータイの紛失にはご注意ください。万が一紛失してしまった場合、ご利用いただいていたおサイフケータイ対応サービスに関することは、ご契約しているサービスのIP（情報サービス提供者）などにお問い合わせください。なお、本製品はICカードロック／おまかせロック／あんしんキーロックでICカード機能を制限できます。（P.159、P.161、P.296参照）

iCお引っこしサービスとは

iCお引っこしサービス※1は、おサイフケータイお取り替え時※2にICカード内のデータを一括※3でお取り替え先のおサイフケータイに移すサービスです。ICカード内データを移し替えた後は、おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードするだけで、簡単におサイフケータイ対応サービスがご利用になれます。
iCお引っこしサービスは、お近くのドコモショップなど窓口にてご利用いただけます。

※1 iCお引っこしサービスご利用には手数料がかかります。（一部手数料がかからない場合もあります。）
また、iCアプリのダウンロード･各種設定にはパケット通信料がかかります。
※2 お取り替えするFOMA端末がiCお引っこしサービス対応のおサイフケータイ（903iシリーズ）である場合に限ります。
※3 おサイフケータイ対応サービスによっては、一部対象外のサービスがあります。対象外サービスはiCお引っこしサービスご利用時に消去されますので、事前に各おサイフケータイ対応サービスのバックアップサービスのご利用や削除などを行ってください。

おサイフケータイ対応ｉアプリを起動する

ICカード内のデータの読み書きを行う

ソフト一覧画面やICカード一覧画面からおサイフケータイ対応ｉアプリを起動します。おサイフケータイ対応ｉアプリを用いて、ICカード内のデータの読み書きを行い、電子マネーや乗車券をチャージ(入金)したり、その残高や利用履歴を携帯電話上で参照するなど、便利な機能がご利用いただけます。

- 端末暗証番号および各サービスのパスワードは、他人に知られないよう十分ご注意ください。
- おサイフケータイ対応ｉアプリを初めて起動する際やダウンロードする際は、「FOMAカード(UIM)情報とICカードの対応付けを行いますか？」と表示されます。「YES」を選択すると、それ以降は対応付けされたFOMAカードを挿入していないとICカード機能を利用することができません。
- 以下の場合は、ソフトからICカード内へのデータの読み書きが中断されます。その際、読み書きされたデータは破棄されます。通話終了後の操作は、ご利用サービスによって異なります。
  - ・ｉアプリ起動中に電話がかかってきた場合
  - ・電池が切れた場合

1 待受画面▶(iα)(1秒以上)▶おサイフケータイ対応ｉアプリを選択

おサイフケータイ対応ｉアプリが起動します。

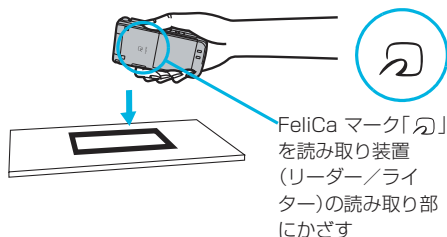
- 「(メニュー)▶(iアプリ)▶ソフト一覧(本体)」の操作を行ってもソフト一覧画面が表示されます。
- 「(メニュー)▶(LifeKit)▶ICカード一覧」の操作を行ってもICカード一覧画面が表示されます。

おサイフケータイを利用する

FOMA端末の FeliCa マーク「」を読み取り装置(リーダー／ライター)にかざして、電子マネーとして支払いに利用したり、乗車券の代わりなどとしてご利用できます。この機能は、ソフトを起動せずにご利用いただけます。

- 通話中やｉモード接続中は、FeliCa マークを読み取り装置(リーダー／ライター)にかざしておサイフケータイをご利用いただけますが、おサイフケータイ対応ｉアプリは起動できません。

1 FOMA端末の FeliCa マーク「」を読み取り装置(リーダー／ライター)にかざして、目的のサービスを利用する

- FOMA端末を読み取り装置(リーダー／ライター)に近づけて通信が可能な状態になると着信／充電ランプが点灯します。

お知らせ

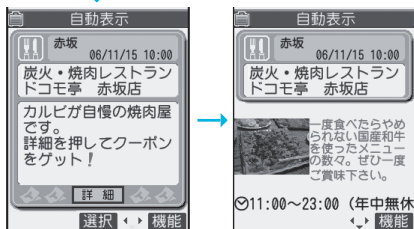
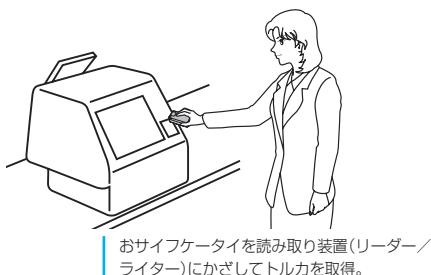
- おサイフケータイご利用時は、電池パックを装着してください。また、電源が入っていないときや電池が消耗してからも FeliCa マークを読み取り装置(リーダー／ライター)にかざしておサイフケータイをご利用いただけますが、おサイフケータイ対応ｉアプリは起動できません。ただし、電池パックを長期間利用しなかったり、電池アラームが鳴った後で充電せずに放置した場合は、ご利用いただけなくなる場合がありますので、充電をしてください。
- FOMA端末の FeliCa マーク「」を読み取り装置(リーダー／ライター)にかざしても認識されない場合は、前後左右にずらしてかざしてください。

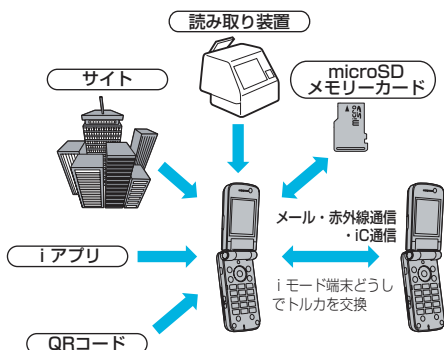
＜トルカ＞
トルカとは

トルカとは、おサイフケータイで取得できる電子カードで、チラシやレストランカード、クーポン券などの用途で便利にご利用いただけます。
トルカは読み取り装置(リーダー／ライター)やサイトなどから取得が可能で、メールや赤外線、microSDメモリーカードを使って簡単に交換できます。
取得したトルカは「LifeKit」の「トルカ」内に保存されます。

- トルカ対応機種でご利用いただけます。詳細は『ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)』をご覧ください。

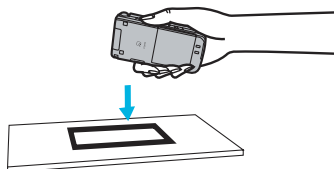
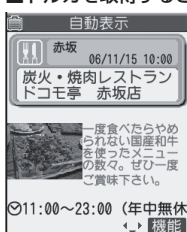
■トルカ利用の流れ

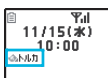
おサイフケータイを読み取り装置(リーダー／ライター)にかざしてトルカを取得。

「詳細」ボタンでより詳しい情報を見ることができます。

■トルカの取得手段

＜トルカ取得＞
トルカを取得する

読み取り装置(リーダー／ライター)から取得する

ICカード機能を利用して、読み取り装置(リーダー／ライター)からトルカを取得します。詳細を取得する前のトルカの場合は詳細情報を取得することにより、より詳しい情報を持ったトルカ(詳細)になります。

1 FOMA端末の FeliCa マーク「 」を読み取り装置(リーダー／ライター)にかざす

■トルカを取得すると

トルカ取得音が鳴り、着信／充電ランプが点灯します。

- 「受信表示設定」が「表示する」に設定されていると、取得したトルカの詳細画面が表示されます。

- 詳細を取得する前のトルカの場合は、詳細をダウンロードするためサイトに接続するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると詳細を取得したトルカ(詳細)を表示します。「NO」を選択すると詳細を取得する前のトルカを表示します。
- 何も操作しないで約15秒経過した場合や、「受信表示設定」が「表示しない」に設定されていた場合は、デスクトップに「トルカ」が表示されます。
◉を押し、「トルカ」を選んで◉(選択)を押すと、トルカ一覧画面が表示されます。
- FOMA端末を閉じているときは、プライベートウィンドウに表示されます。

■トルカの自動読み取り機能を利用する

読み取り装置(リーダー／ライター)にFOMA端末をかざしてトルカを利用する際に、「自動読取設定」を「許容する」に設定していると、利用可能なトルカが自動的に認識されます。利用したトルカは「利用済み」に変更され「利用済みフォルダ」に移動されます。利用済みトルカは20件まで保存され、20件を越えると取得日時の古いものから順に削除されます。

●「自動読取設定」を「許容しない」に設定していても、読み取り装置(リーダー／ライター)から自動読み取り情報が送られてきた場合は、「自動読取設定」を利用するかどうかの確認画面が表示されます。

お知らせ

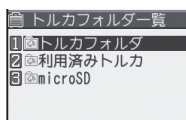
●トルカの取得に失敗した場合は、トルカ取得失敗音が鳴り、着信／充電ランプが点灯します。

●トルカ取得音や取得失敗音は、「着信音量」の「電話」で設定されている音量で鳴ります。

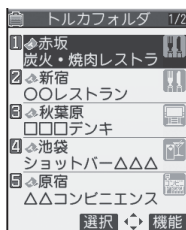
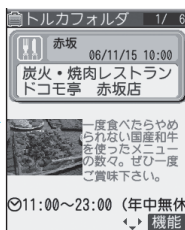
＜トルカビューア＞

トルカを表示する

ICカード機能を利用して取得したり、サイトやメールなどから取得したトルカを表示します。

1 メニュー▶LifeKit▶**トルカ**▶**トルカフォルダ一覧**▶**フォルダを選択**

トルカフォルダ一覧画面

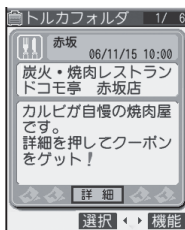
●フォルダ内に未読のトルカがある場合は「NEW」が表示されます。

2 **トルカを選択**

トルカ一覧画面　トルカ詳細画面

■トルカフォルダ一覧画面で「microSD」を選択したときは

microSDトルカフォルダ一覧画面

microSDトルカフォルダ一覧画面が表示されます。フォルダを選択してトルカを一覧表示します。

■トルカから詳細情報を取得するときは

詳細を取得する前のトルカはそのままでは詳細な情報は表示されません。トルカに表示されている「詳細」を選択し、「YES」を選択すると、サイトに接続して詳しい情報を取得できます。

トルカは詳細を取得すると上書き保存されます。

●詳細を取得中に中止する場合は(中止)を押します。

お知らせ

●取得の際は通常のパケット料金がかかります。

トルカフォルダ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
フォルダ追加	ユーザフォルダを新規作成します。20件まで作成できます。 ▶**フォルダ名を入力** ●全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。

次ページにつづく

機能メニュー	操作・補足
自動振分け設定	読み取り装置（リーダー／ライター）からトルカを取得した際に、フォルダに設定した条件に合うトルカを自動で振り分けて保存するように設定します。 ▶振り分け条件を選択 **ジャンル振分け** ．．．．．振り分けたいジャンルにチェックして✉（完了）を押します。複数チェックできます。 **タイトル振分け** ．．．．．振り分け条件とする、タイトル内の文字を入力します。 **インデックス振分け** ．．．．．振り分け条件とする、場所データ内の文字を入力します。 **解除** ．．．．．「YES」を選択すると設定済みの振り分け条件を解除します。 ●タイトル振分けでは全角20文字まで、半角40文字まで、インデックス振分けでは全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。 ●すでに振り分け条件が設定されているフォルダの場合は振り分け条件が表示されます。iα（機能）を押すと、再度振り分け条件を設定できます。
フォルダ名編集	ユーザフォルダのフォルダ名を編集します。 ▶フォルダ名を入力 ●全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。
保存件数確認	空き容量と保存容量（目安）、保存件数を表示します。 ●確認が終わればchクリアを押します。

機能メニュー	操作・補足
全フォルダ検索	FOMA端末内に保存されているすべてのトルカ（「利用済みトルカ」フォルダ内は除く）から検索条件を指定して検索します。 ▶検索条件を選択 **ジャンル検索** ．．．．．ジャンルを選択します。✉（詳細）を押すとジャンルに属するカテゴリアイコンの一覧が表示されます。 **タイトル検索** ．．．．．タイトル内の文字で検索したい文字を入力します。 **インデックス検索** ．．．．．場所データ内の文字で検索したい文字を入力します。 ●タイトル検索では全角20文字まで、半角40文字まで、インデックス検索では全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。
赤外線全件送信	赤外線で全件送信します。（P.347参照）
iC全件送信	iC通信で全件送信します。（P.349参照）
microSDへコピー	FOMA端末内のトルカをmicroSDメモリーカードへフォルダごとコピーします。 ●中止する場合は✉（中止）を押します。
フォルダ削除	フォルダを削除します。フォルダ内のトルカもすべて削除されます。 ▶端末暗証番号を入力▶YES
トルカ全削除	FOMA端末内に保存されているすべてのトルカを削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

<自動振分け設定>
- ジャンル振分けが設定されている場合は「◎」、タイトル振分けが設定されている場合は「▬」、インデックス振分けが設定されている場合は「☰」が表示されます。
- 複数の条件にあてはまる場合、トルカフォルダ一覧画面で並び順が上のフォルダに振り分けられます。

microSDトルカフォルダ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
フォルダ追加	▶フォルダ名を入力 ●全角31文字まで、半角63文字まで入力できます。
フォルダ名編集	▶フォルダ名を入力 ●全角31文字まで、半角63文字まで入力できます。

機能メニュー	操作･補足
本体へコピー	microSDメモリーカード内のトルカをFOMA端末へフォルダごとコピーします。 ●中止する場合は✉(中止)を押します。
フォルダ削除	▶端末暗証番号を入力▶YES
保存先フォルダ選択	FOMA端末からmicroSDメモリーカードへコピーする際の保存先フォルダを設定します。 ▶YES

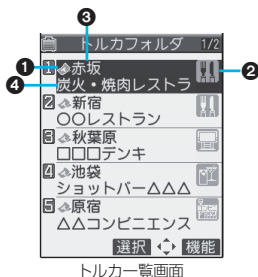
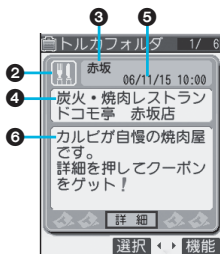
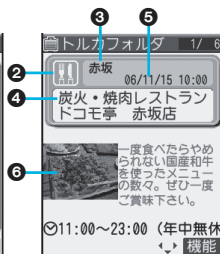
お知らせ

<保存先フォルダ選択>

●保存先に設定されたフォルダには「 」のアイコンが表示されます。

●microSDメモリーカードの保存先フォルダは、microSDチェックディスクを行ったり、パソコンでフォルダを作成･編集すると、保存先フォルダが変更される場合があります。設定が変更された場合は、再度保存先フォルダを設定してください。

トルカ一覧画面･詳細画面の見かた

■トルカ一覧画面とトルカ詳細画面

トルカ一覧画面

トルカ詳細画面
（トルカの場合）

トルカ詳細画面
（トルカ(詳細)の場合）

❶トルカの状態を表示します。

※1	未読のトルカ
	既読のトルカ
※2	FOMA端末に対応していないトルカ

※1 サイトからダウンロードしたトルカは、未読にはなりません。

※2 microSDメモリーカード内のトルカにのみ表示されます。

●有効期限切れのトルカには「 」が付きます。

●FOMA端末外への出力が禁止されているトルカには「 」が付きます。

❷カテゴリを表示します。

トルカの内容に応じたカテゴリアイコンが表示されます。

❸インデックスデータを表示します。

トルカの情報を発行している発行元の場所データが表示されます。

❹タイトルを表示します。

❺取得した時刻や日付を表示します。

❻トルカの情報を表示します。

トルカの場合は簡単な説明文と詳細ボタンが、トルカ(詳細)の場合は発行元の情報が表示されます。

トルカ一覧画面・詳細画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
フォルダ移動	▶**移動先を選択** ●「利用済みトルカ」フォルダは選択できません。
検索 [一覧画面のみ]	フォルダ内のトルカから検索条件を指定して検索します。 ▶**検索条件を選択** **ジャンル検索** .....ジャンルを選択します。 (✉)(詳細)を押すとジャンルに属するカテゴリアイコンの一覧が表示されます。 **タイトル検索** .....タイトル内の文字で検索したい文字を入力します。 **インデックス検索** .....場所データ内の文字で検索したい文字を入力します。 ●タイトル検索では全角20文字まで、半角40文字まで、インデックス検索では、全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。
ソート お買い上げ時 新しい順 [一覧画面のみ]	表示される順番を変更します。 ▶**順番を選択**
デスクトップ貼付	デスクトップに貼り付けます。(P.149参照)
iモードメール添付	トルカを添付し、iモードメールを作成します。 P.228手順2へ進みます。
赤外線送信	赤外線で1件送信します。(P.346参照)
iC送信	iC通信で1件送信します。(P.348参照)
microSDへコピー	FOMA端末内のトルカをmicroSDメモリーカードへコピーします。P.293「保存先フォルダ選択」で設定したフォルダにコピーされます。 ●中止する場合は(✉)(中止)を押します。
本体へコピー	microSDメモリーカード内のトルカをFOMA端末内のトルカフォルダにコピーします。 ●中止する場合は(✉)(中止)を押します。
保存件数確認 [一覧画面のみ]	保存件数を確認します。(P.292参照)
トルカ更新 [詳細画面のみ]	トルカの情報を再取得します。再取得したトルカ(詳細)は自動で上書き保存されます。 ▶**YES** ●中止する場合は(✉)(中止)を押します。 ●トルカによってはトルカ更新できない場合があります。 ●保存されているトルカがいっぱいのときはP.211参照。
電話帳登録 [詳細画面のみ]	電話帳に登録します。(P.114参照)
画像保存 [詳細画面のみ]	トルカに表示されている画像を保存して、待受画面、ウェイクアップ画面などに設定します。 ▶**画像を選択**▶**YES** ▶**保存したいフォルダを選択** P.208手順2へ進みます。 ●保存されている画像がいっぱいのときはP.211参照。
背景画像保存 [詳細画面のみ]	トルカの背景画像を保存して、待受画面、ウェイクアップ画面などに設定します。 ▶**YES**▶**保存したいフォルダを選択** P.208手順2へ進みます。 ●保存されている画像がいっぱいのときはP.211参照。
コピー	表示または選択中のトルカを別のフォルダにコピーします。 ▶**コピー先を選択** ●「利用済みトルカ」フォルダは選択できません。
リトライ [詳細画面のみ]	トルカ内のアニメーション画像やFlash画像を最初から再生します。
1件削除	▶**YES**
選択削除 [一覧画面のみ]	▶**削除したいトルカにチェック** ▶(✉)(完了)▶**YES**
全削除 [一覧画面のみ]	フォルダ内のすべてのトルカを削除します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**
複数選択 [一覧画面のみ]	複数のトルカを選択して操作します。 ▶**選択したいトルカにチェック** ▶(iα)(機能)▶**項目を選択** **フォルダ移動**......P.294参照 **赤外線送信**........P.346参照 **microSDへコピー**..P.294参照 **本体へコピー**......P.294参照 **コピー**...........P.294参照 **全選択**...........全選択します。 **全選択解除**........選択をすべて解除します。

お知らせ

<ｉモードメール添付>
- FOMA端末外への出力が禁止されているデータを含むトルカ(詳細)の場合は、詳細を取得する前のトルカとして添付します。
- トルカのサイズによっては、ｉモードメール添付できない場合があります。

<microSDへコピー>
- FOMA端末外への出力が禁止されているデータを含むトルカ(詳細)の場合は、詳細を取得する前のトルカとしてコピーします。
- microSDメモリーカードの保存先フォルダのファイル数がいっぱいのときは、自動的に新しいフォルダを作成し、その中にトルカを保存します。
  コピーが完了すると、「保存先フォルダXXXXXXXに変更しました」(XXXXXXXはフォルダ名)と表示されます。
- コピーしたトルカのファイル名はTORUCXXX(XXXは数字)になります。
- microSDメモリーカードの保存先フォルダが設定されていない場合は、自動的に新しいフォルダを作成し、その中にトルカを保存します。保存後は新しく作成されたフォルダが保存先フォルダに設定されます。
- トルカのサイズによっては、「microSDへコピー」できない場合があります。

<本体へコピー>
- トルカのサイズによっては、「本体へコピー」できない場合があります。

<画像保存><背景画像保存>
- 以下の条件を満たす画像は、フレームまたはスタンプ画像として保存されます。
  ・アニメーションGIFではない透過GIFファイル
  ・ファイルの拡張子が「ifm」
  ・フレームは画像サイズがCIF(352×288)、待受(240×320)、QCIF(176×144)、Sub-QCIF(128×96)の画像、スタンプはフレーム画像以外のCIF(352×288)サイズ以下の画像

<コピー>
- FOMA端末外への出力が禁止されているトルカの場合は、コピーできません。

＜トルカ設定＞

トルカの詳細設定について

1 メニュー▶LifeKit▶**トルカ**▶**トルカ設定**▶**以下の操作を行う**

項目	操作・補足
トルカ取得設定 お買い上げ時：許容する	ICカード機能を利用して読み取り装置(リーダー／ライター)からトルカを取得するかどうかを設定します。 ▶**許容する・許容しない**
受信表示設定 お買い上げ時：表示する	待受画面表示中にトルカを取得したときに、トルカ詳細画面を表示するかどうかを設定します。 ▶**表示する・表示しない**
重複チェック設定 お買い上げ時：行う	トルカを読み取り装置(リーダー／ライター)から取得する際に、すでに同じトルカが取得済みかを確認するかどうかを設定します。 ▶**行う・行わない** **行う**……確認を行い、取得済みの場合は再取得しません。 **行わない**‥確認を行わず、同じトルカでも再度取得します。
自動読取設定 お買い上げ時：許容しない	読み取り装置(リーダー／ライター)にFOMA端末をかざした際に、利用可能なトルカを自動的に認識させるかどうかを設定します。 ▶**許容する・許容しない** 「許容しない」を選択した場合は設定が終了します。 ▶YES

お知らせ

<重複チェック設定>
- 「利用済みフォルダ」に保存されているトルカや有効期限切れのトルカはチェック対象に含まれません。

<自動読取設定>
- 「自動読取設定」を「許容しない」に設定していると、トルカを利用できない場合があります。

<ICカードロック>

ICカード機能をロックする

お買い上げ時	解除

他人に無断でICカード機能を使用されるのを防ぐために、おサイフケータイやトルカ取得、iC通信などを使用できないようにします。

●ICカードロックを設定しているときに電池が切れた場合、ICカードロックは保持されます。

1 待受画面▶(メニュー)(1秒以上)

「」が表示され、ICカードロックが設定されます。

●「(メニュー)▶設定▶ロック／セキュリティ▶ICカードロック▶端末暗証番号を入力」または「(メニュー)▶LifeKit▶ICカードロックメニュー▶ICカードロック▶端末暗証番号を入力」の操作を行ってもICカードロックを設定できます。

●ICカードロックを解除するには、同様の操作を行い、端末暗証番号を入力します。「あんしんキー／閉じロック」を「閉じタイマーロック」に設定し、「閉じタイマーロック設定」で「ICカードロック」を選択している場合は、FOMA端末を開いてもICカードロック解除の画面が表示されます。
「PIM／ICカードセキュリティモード」を「フェイスリーダー」に設定している場合は、P.168「フェイスリーダーでロックを解除する」の操作を行います。
「ダブルセキュリティ」に設定している場合は、P.168の操作を行ったあとに端末暗証番号を入力します。

電源OFF時ICロック設定

お買い上げ時	電源OFF直前の設定

電源を切っているときにICカード機能をロックするかどうかを設定します。

1 (メニュー)▶設定▶ロック／セキュリティ▶あんしんキー／ロック設定

または

(メニュー)▶LifeKit▶ICカードロックメニュー

2 電源OFF時ICロック設定▶端末暗証番号を入力▶項目を選択

電源OFF直前の設定
. . . . 電源を切る直前のICカードロックの設定に従います。

ロックする. . . ICカードロックを設定します。

GPS機能

GPSとは

GPS(Global Positioning System:全地球測位システム)は、米国国防総省が開発・運営しているシステムで、地球の周回軌道を回る衛星から放射される位置測位用の電波を利用して現在の位置(緯度・経度など)を知ることができるシステムです。
GPS衛星から放射される位置測位用の電波を利用して、お客様のFOMA端末の位置情報(緯度・経度)を取得します。取得した位置情報を利用して、さまざまなサービスが利用できます。

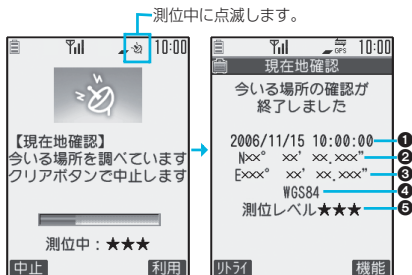
■GPS機能を使ってできること

- **今いる場所の地図や周りの情報を見る、探す(P.298「現在地確認」参照)**
  現在地の位置情報を送信して地図を表示したり、周辺情報を検索したりできます。
- **GPS機能対応のｉアプリを使う(P.299「GPS対応ｉアプリ」参照)**
  位置情報を利用した便利なｉアプリを使うことができます。位置情報を利用して、目的地まで歩いていくときや車で行くときのナビゲーション、乗り換え案内などが利用できます。お買い上げ時に登録されている「NAVITIME for P」でも徒歩や車のナビゲーションが利用できます。(P.299参照)
- **相手からの要求に応えて位置情報を提供する(P.300「位置提供」参照)**
  位置提供機能に対応したサービス(ドコモの「イマドコサーチ」など)であらかじめ検索対象になっていると、現在どこにいるかの要求があった際、位置情報を提供します。※「イマドコサーチ」とは、検索者が、FOMA端末をお持ちの方のおおよその場所を携帯電話やパソコンから地図情報で確認できるサービスです。また、「ケータイお探しサービス」を利用すると、紛失したFOMA端末のおおよその場所をパソコンから地図情報で確認できます。「イマドコサーチ」や「ケータイお探しサービス」に関しての詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。
  ※「位置提供設定」(P.304参照)を「許可」に設定すると、FOMA端末を操作しなくても位置情報が検索者に送信されることがあります。
- **今いる場所の位置情報を通知する(P.301「現在地通知」参照)**
  現在地の位置情報を他の人(現在地通知機能に対応したサービス提供者)に通知します。
- **メールで自分のいる場所やお気に入りの場所の位置情報を送る(P.299「メール貼り付け」参照)**
  位置情報をｉモードメールの本文に貼り付けることができます。受信者は位置情報のURLを利用して周辺地図を見ることができます。
- **位置情報を電話帳に登録する(P.299「電話帳登録」参照)**
  取得した位置情報を電話帳に登録して利用することができます。

<現在地確認>

自分のいる場所を確認する

現在地を測位して表示します。
地図を表示したり、現在地情報をメールで送信したりすることもできます。

1 待受画面▶(GPS)▶現在地確認

現在地が緯度・経度などで表示されます。

❶…測位日時　❷…緯度
❸…経度　❹…測地系
❺…測位レベル

★★★: ほぼ正確な位置情報です。(誤差がおおむね50m未満)
★★☆: 比較的正確な位置情報です。(誤差がおおむね300m未満)
★☆☆: おおよその位置情報です。(誤差がおおむね300m以上)

測位レベルは目安です。周囲の電波状況などにより実際とは異なる場合があります。

- 測位を中止する場合は、(メール)(中止)を押して「OK」を選択します。
- (メール)(リトライ)を押すと、「品質重視モード」(P.303「測位モード設定」参照)で再度測位します。
- 測位中に画面右下に「利用」が表示された場合は、(iα)を押して「OK」を選択すると、測位途中の情報で現在地を表示できます。
- 待受画面で(GPS)を1秒以上押しても現在地を測位できます。測位後は「GPSボタン設定」(P.302参照)の設定に従って動作します。
- 「(メニュー)▶(LifeKit)▶GPS」の操作を行ってもGPSメニューが表示されます。

現在地表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
地図を見る	地図サイトに接続して地図を表示します。 ▶YES ●地図を表示したあと、「ｉエリア」を使って周辺情報を調べることができます。「ｉエリア」に関しての詳細はドコモのホームページをご覧ください。

機能メニュー	操作・補足
対応ｉアプリを利用	現在地情報をGPS対応ｉアプリで利用します。 ▶ｉアプリを選択
メール貼り付け	現在地情報をURL化し、本文に貼り付けてｉモードメールを作成します。 ▶YES P.228手順2へ進みます。
電話帳登録	現在地情報を電話帳に登録します。 ▶YES P.109手順1へ進みます。

<GPS対応ｉアプリ>

GPS対応ｉアプリを利用する

1 待受画面▶[ｉアプリ]▶対応ｉアプリ

GPSに対応したｉアプリの一覧が表示されます。ｉアプリを選択すると起動します。

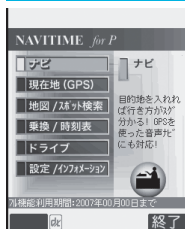
●ソフト一覧画面についてはP.273参照。

お知らせ

●GPS対応ｉアプリを利用すると、利用するソフトの情報提供者に位置情報が送信されます。

●GPS対応ｉアプリでGPS機能を利用する場合、「ソフト設定」の「位置情報利用」を「利用する」に設定してください。

NAVITIME for P

GPS機能を利用して、出発地から目的地までの乗り物、徒歩、自動車向けそれぞれに最適なルートを案内できるGPS対応ｉアプリです。地図の表示や周辺の店舗／施設の検索なども行えます。

© NAVITIME JAPAN
地図：住友電工

●通信時には別途パケット通信料がかかる場合があります。通信料の目安については、「設定／インフォメーション」→「ヘルプ」→「通信料のご案内」をご覧ください。

■メニューについて

ナビ. . . 目的地までのルートを探索し、指定した条件に合ったルートを表示して音声ナビを利用できます。8箇所までの経由地を設定できる「ぐるっとナビ」や、周辺の駐車場の検索などの機能が利用できます。

現在地(GPS)
. . . . . . 現在地の地図を表示できます。現在地を出発地に設定してナビゲーション機能を利用したり、周辺の店舗や施設を検索したりできます。

地図／スポット検索
. . . . . . フリーワードで検索した地点の地図を表示したり、おすすめスポットの情報を表示したりできます。

乗換／時刻表
. . . . . . 乗換検索を利用したり、駅の時刻表を簡単に表示したりできます。

ドライブ
. . . . . . ドライブ向けに最適なルートを案内します。地図に表示した地点周辺の駐車場検索なども行えます。

設定／インフォメーション
. . . . . . NAVITIME for Pの各種設定を行ったり、使いかたやよくある質問などを確認できます。

お知らせ

●使用開始から90日経過すると、一部の機能の利用が制限され、メニューに表示される項目は「トータルナビ」「現在地(GPS)」「地図検索」「設定／インフォメーション」の4項目となります。

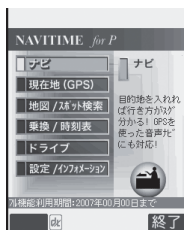
ナビゲーション機能を利用する

目的地を検索して目的地までのナビゲーションなどが行えます。

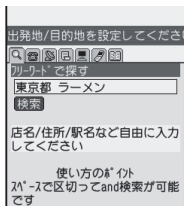
例：トータルナビを利用してナビゲーションを行う

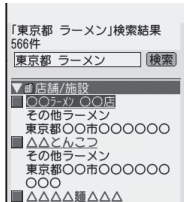
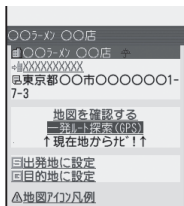
1 待受画面▶[ｉα](1秒以上)
▶NAVITIME for P
▶「ご利用確認」をよく読む
▶確認／利用規約承諾

●「次回以降表示しない」にチェックを付けると、次に起動するときには「ご利用確認」は表示されません。

2 ナビ▶トータルナビ

●使用開始から90日経過すると「ナビ」は「トータルナビ」と表示されます。手順3へ進みます。

次ページにつづく

3 テキストボックスを選んで◉ ▶目的地を入力▶検索

●ここでは例としてフリーワードで検索しています。電話番号や住所などでも検索できます。

4 目的地を選んで◉

5 一発ルート検索(GPS)▶音声ナビ開始

6 注意事項を確認する ▶確認のうえ利用する▶OK

目的地までのナビゲーションが開始されます。

●「次回以降は表示しない」にチェックを付けると、次回から地図表示操作メモは表示されません。

■地図表示中の操作
◉を押すとメニューが表示され、ナビゲーションの表示方法や音量調節などの設定が行えます。
メニューから「地図操作方法」を選択すると、操作の詳細を確認できます。

お知らせ

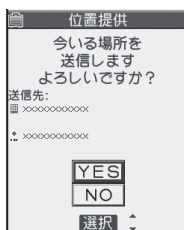
●音声ナビゲーションの音量が小さいときは、メニューの「音量調整」で「大」に設定してください。それでも音量が小さいときは、「着信音量」(P.75参照)の「電話」の音量を上げてください。ナビゲーションの音量も大きくなります。

<位置提供>

要求に応えて現在の位置情報を提供する

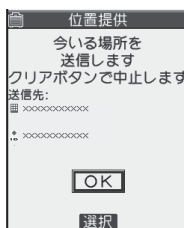
現在地を知らせるように要求があった場合に、現在地を相手に通知できます。利用するサービスによっては、あらかじめ、GPSサービス利用設定を設定する必要があります。(P.302参照)また、「位置提供設定」を「許可」に設定、または「許可期間設定」で許可する期間を設定しておく必要もあります。

<サービスごとの利用設定が「毎回確認」の場合>

1 位置提供要求を受信▶YES・NO

YES . . 現在地を測位して位置情報を送信します。
NO . . . 位置情報の提供を拒否します。

●約20秒間何も操作しないと、現在地を提供せず元の画面に戻ります。

<サービスごとの利用設定が「許可」の場合>

1 位置提供要求を受信▶OK

●「OK」を選択するか、約3秒経過すると、現在地の提供を開始します。

●提供先の情報が表示されないこともあります。
●(chクリア)を押すと提供を中止できます。ただし、タイミングによっては位置情報が送信されることがあります。

お知らせ

●「イマドコサーチ」を利用する場合は、i Menuの「料金&お申込･設定」の「オプション設定」の「位置情報利用設定」(イマドコサーチ設定)の設定が必要です。
●位置提供をご利用になるには、位置提供機能に対応したサービス提供者へのお申し込みやサービス利用料が必要となる場合があります。
●位置情報を送信しても、電波の状況によりサービス提供者には届いていないことがあります。
●「位置提供設定」を「拒否」に設定している場合は、画面表示されずに要求を拒否します。

お知らせ

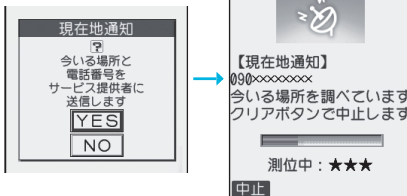
- ●GPSサービス利用設定で、位置提供を毎回確認に設定した場合、公共モード(ドライブモード)中は位置提供の要求に対して、位置情報は提供されません。
- ●GPSサービス利用設定で、位置提供を許可に設定した場合、公共モード(ドライブモード)中は測位鳴動音･バイブレータ･イルミネーションは動作せず、画面表示のみされ、位置情報が提供されます。
- ●位置提供機能の機能利用料は無料です。
- ●ご利用にあたっては、サービス提供者やドコモのホームページなどのお知らせをご確認ください。

<現在地通知>

現在の位置情報を通知する

現在地をサービス提供者に通知します。

1 待受画面▶(i)▶現在地通知

2 直接入力▶通知先を入力▶YES

- ●通知先は、数字、#、*で12文字まで入力できます。
- ●あらかじめ「現在地通知先登録」で通知先を登録しておくと、「通知先一覧参照」から通知先を選択できます。
- ●(✉)(中止)を押すと測位を中止できますが、タイミングによっては通知される場合があります。

3 OK

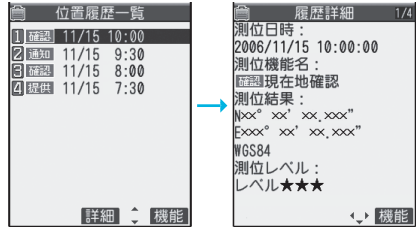
お知らせ

- ●位置情報を送信しても、電波の状況によりサービス提供者には届いていないことがあります。
- ●現在地通知機能の機能利用料は有料です。
- ●現在地通知を利用するには、現在地通知に対応したサービス提供者への申し込みが必要となる場合があります。また、現在地通知に対応したサービスの利用は有料となる場合があります。
- ●ダイヤル発信制限中は直接入力できません。
- ●ご利用にあたっては、サービス提供者やドコモのホームページなどのお知らせをご確認ください。

<位置履歴>

確認した位置情報の履歴を表示する

現在地確認･現在地通知･位置提供の履歴が50件まで記憶されます。

1 待受画面▶(i)▶位置履歴▶位置履歴を選択

確認 現在地確認
提供 位置提供
通知 現在地通知

お知らせ

- ●履歴が50件を超えたときは、古いものから順に自動的に上書きされます。
- ●現在地確認を途中で中止したときや測位に失敗したときは履歴に記憶されません。
- ●位置提供、現在地通知の履歴が記憶されていても、サービス提供者には届いていないことがあります。
- ●位置提供や現在地通知の際に測位に失敗した履歴は「1件削除」と「全削除」以外操作できません。

位置履歴表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作･補足
地図を見る	地図サイトに接続して地図を表示します。 ▶YES ●地図を表示したあと、「iエリア」を使って周辺情報を調べることができます。「iエリア」に関しての詳細はドコモのホームページをご覧ください。
対応iアプリを利用	現在地情報をGPS対応iアプリで利用します。 ▶iアプリを選択
メール貼り付け	位置情報をURL化し、本文に貼り付けてiモードメールを作成します。 ▶YES P.228手順2へ進みます。
電話帳登録	位置情報を電話帳に登録します。 ▶YES P.109手順1へ進みます。
1件削除	▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

＜サービス利用設定＞

GPSサービス利用設定を行う

GPSサービス利用設定(「サービス利用接続先選択」で設定している接続先)に接続して、位置情報の検索許可やパスワードなど、位置提供に対応したサービスの設定を行います。

1 待受画面▶▶サービス利用設定

●サイト表示中の操作についてはP.201参照。

お知らせ

●日本国内からのサイト接続時のパケット通信料は無料ですが、海外からはエラー画面が表示され、パケット通信料がかかります。
●ブックマークや画面メモの機能は利用できません。

＜GPS設定＞

GPSの詳細設定について

GPSボタン設定

お買い上げ時	地図を見る

待受画面でを1秒以上押して現在地を測位したあとの動作を設定できます。

1 待受画面▶▶GPS設定▶GPSボタン設定

2 動作を選択

地図を見る……地図サイトに接続して地図を表示します。
対応ｉアプリを利用……対応しているｉアプリの一覧を表示します。
メール貼り付け……現在地情報をURL化し、本文に貼り付けてｉモードメールを作成します。
電話帳登録……電話帳に現在地情報を登録します。
都度選択……測位するごとに動作を選択します。

測位鳴動音・イルミネーション

お買い上げ時	測位鳴動音選択： 「現在地確認」OFF 「現在地通知」着信音1 「位置提供許可」着信音2 「位置提供毎回確認」着信音2 鳴動時間設定：3秒 バイブレータ選択：OFF イルミネーション選択：色5

現在地確認を行うときや位置情報の提供要求があったときなどに鳴る音を選択します。また、着信／充電ランプの色やバイブレータのパターンなども設定できます。

1 待受画面▶▶GPS設定▶測位鳴動音・イルミネーション▶設定したい動作を選択

2 以下の操作を行う

項目	操作・補足
測位鳴動音選択	**▶フォルダを選択▶着信音を選択** ●「OFF」を選択した場合、音は鳴りません。 ●選択中は、確認のため選択している音が鳴ります。
鳴動時間設定	測位鳴動音の鳴動時間を設定します。 **▶鳴動時間(秒)を入力** ●「00」～「30」の2桁を入力します。ただし、「位置提供毎回確認」の場合のみ「00」～「20」の2桁を入力します。0秒に設定した場合は、音は鳴りません。
バイブレータ選択	**▶バイブレータのパターンを選択** ●「メロディ連動」を選択するとメロディに合わせて振動します。 ●「OFF」を選択した場合は振動しません。 ●選択中は、確認のため選択しているパターンで振動します。
イルミネーション選択	**▶色を選択** ●着信／充電ランプを点滅させない場合は「OFF」を選択します。(「現在地確認」と「現在地通知」のときのみ選択可能) ●選択中は、確認のため選択している色で点滅します。

測位モード設定

お買い上げ時	標準モード

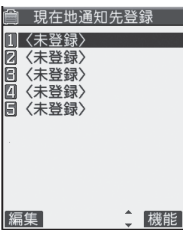
現在地を測位する際のモードを「標準モード」または「品質重視モード」から選択します。
「品質重視モード」にすると時間をかけて測位を行います。その結果、測位の精度がよくなることがあります。
現在地確認・現在地通知・位置提供のそれぞれに測位モードを設定できます。

1 待受画面▶(i)▶GPS設定▶測位モード設定

2 設定したい動作を選択▶標準モード・品質重視モード

現在地通知先登録

あらかじめ通知先を登録しておくと、現在地を通知する際に通知先を選択できます。また、登録した電話番号に電話をかけるときに、自動的に現在地を通知することもできます。
最大5件まで登録できます。

1 待受画面▶(i)▶GPS設定▶現在地通知先登録▶<未登録>を選んで(✉)(編集)

●登録済みの通知先を選択すると、登録内容を確認できます。

2 以下の操作を行う

項目	操作・補足
現在地通知先名称	▶通知先名称を入力 ●全角16文字まで、半角32文字まで入力できます。
通知先ID	▶通知先IDを入力 ●数字、#、＊で12文字まで入力できます。 ●サービス提供者から指定された通知先IDを入力します。
電話番号	▶電話番号を入力 ●26桁まで入力できます。 ●電話番号欄を選んで(iα)(機能)を押し、「電話帳参照入力」を選択すると、電話番号を電話帳から呼び出して入力できます。 ●「現在地通知先名称」を入力していないときに、電話帳に登録されている電話番号を入力すると、電話帳の名前が入力されます。
発信時通知設定	登録されている電話番号に音声電話やテレビ電話をかけるときに現在地を通知するかどうか設定します。 ▶ON・OFF・随時確認 ●電話をかけるたびに確認する場合は、「随時確認」を選択します。

3 (✉)(完了)を押す

お知らせ

●発信時通知設定を「ON」や「随時確認」に設定していても、発信者番号を通知しないで電話をかけた場合は、現在地を通知しません。

通知先表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
1件削除	▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES
電話帳登録	現在地通知先に登録されている現在地通知先名称と電話番号を電話帳に登録します。 ▶YES P.109手順1へ進みます。
編集	P.303「現在地通知先登録」手順2へ進みます。 ●(✉)(編集)を押しても編集できます。

位置提供設定

お買い上げ時	拒否

現在地を知らせるように要求があった場合に、許可する(提供する)かどうかを設定します。また、許可する期間を設定できます。

1 待受画面▶(メニュー)▶GPS設定▶位置提供設定▶端末暗証番号を入力▶項目を選択

許可 . . . . 位置提供の要求を許可します。設定が終了します。
拒否 . . . . 位置提供の要求を拒否します。設定が終了します。
許可期間設定 . . . 許可する時間や期間を設定します。

2 以下の操作を行う

項目	操作・補足
開始時刻	**▶許可する開始時刻を入力** ●時刻は24時間で入力します。
終了時刻	**▶許可する終了時刻を入力** ●時刻は24時間で入力します。
繰り返し	**▶項目を選択** **設定なし** . . . 繰り返しなし(1回のみ)設定になります。繰り返しの設定が終了します。 **毎日** . . . . 毎日同じスケジュールを設定します。繰り返しの設定が終了します。 **曜日指定** . . . 指定した曜日にスケジュールを設定します。 **▶設定したい曜日にチェック▶(メール)(完了)** ●1つ以上の曜日を選択してください。
有効期間	「繰り返し」設定を「毎日」または「曜日指定」にしている場合は、有効にする期間を設定できます。 **▶設定する・設定しない** **設定する** . . . . .期間を設定します。 **設定しない**. . . .期間を設定しません。設定が終了します。 **▶開始日を入力** **▶設定する・設定しない** **設定する** . . . . .終了日を設定します。 **設定しない**. . . .終了日を設定しません。設定が終了します。 **▶終了日を入力**

3 (メール)(完了)を押す

お知らせ

- 「初期値設定」(P.46参照)でも「位置提供設定」を設定できます。
- 「許可」に設定している場合は、FOMA端末を操作しなくても位置情報が送信され、検索者に通知されることがあります。
- 「拒否」に設定している場合は、位置提供の要求を受信しても位置提供を拒否し、位置履歴には位置提供(測位結果:なし)の履歴が記憶されます。
- 「許可期間設定」の有効期間として設定できるのは、2006年1月1日から2037年12月31日までです。

■位置提供を許可する期間を設定したときの動作

<例>現在の日時が「2006/11/15 12:00」のときに開始時刻を14:00、終了時刻を21:00に設定した場合

繰り返し	有効期間	位置提供が行われる期間
設定なし	—	2006/11/15 14:00〜2006/11/15 21:00
毎日	開始日:2006/11/20 終了日:2006/11/30	2006/11/20〜2006/11/30の毎日14:00〜21:00
	開始日:2006/11/10 終了日:2006/11/30	2006/11/15〜2006/11/30の毎日14:00〜21:00
	設定なし	2006/11/15以降毎日14:00〜21:00
曜日指定	開始日:2006/11/20 終了日:2006/11/30	2006/11/20〜2006/11/30の指定した曜日の14:00〜21:00
	開始日:2006/11/10 終了日:2006/11/30	2006/11/15〜2006/11/30の指定した曜日の14:00〜21:00
	設定なし	2006/11/15以降の指定した曜日の14:00〜21:00

<例>現在の日時が「2006/11/15 12:00」のときに開始時刻を10：00、終了時刻を21:00に設定した場合

繰り返し	有効期間	位置提供が行われる期間
設定なし	―	2006/11/15 12:00～ 2006/11/15 21:00
毎日	開始日： 2006/11/20 終了日： 2006/11/30	2006/11/20～ 2006/11/30の毎日 10:00～21:00
	開始日： 2006/11/10 終了日： 2006/11/30	2006/11/15 12:00～ 2006/11/15 21:00と 2006/11/16～ 2006/11/30の毎日 10:00～21:00
	設定なし	2006/11/15 12:00～ 2006/11/15 21:00と 2006/11/16以降毎日 10:00～21:00
曜日指定	開始日： 2006/11/20 終了日： 2006/11/30	2006/11/20～ 2006/11/30の指定した曜日の 10:00～21:00
	開始日： 2006/11/10 終了日： 2006/11/30	2006/11/15が指定した曜日なら、 2006/11/15 12:00～ 2006/11/15 21:00と 2006/11/16～ 2006/11/30の指定した曜日の10:00～21:00
	設定なし	2006/11/15が指定した曜日なら、 2006/11/15 12:00～ 2006/11/15 21:00と 2006/11/16以降の指定した曜日の 10:00～21:00

<例>現在の日時が「2006/11/15 12:00」のときに開始時刻を14：00、終了時刻を10：00に設定した場合

繰り返し	有効期間	位置提供が行われる期間
設定なし	―	2006/11/15 14:00～ 2006/11/16 10:00
毎日	開始日： 2006/11/20 終了日： 2006/11/30	2006/11/20～ 2006/11/30の間 14:00～翌日10:00
	開始日： 2006/11/10 終了日： 2006/11/30	2006/11/15～ 2006/11/30の間 14:00～翌日10:00
	設定なし	2006/11/15以降 14:00～翌日10:00
曜日指定	開始日： 2006/11/20 終了日： 2006/11/30	2006/11/20～ 2006/11/30の間、指定した曜日の 14:00～翌日10:00
	開始日： 2006/11/10 終了日： 2006/11/30	2006/11/15～ 2006/11/30の指定した曜日の 14:00～翌日10:00
	設定なし	2006/11/15以降の指定した曜日の 14:00～翌日10:00

<例>現在の日時が「2006/11/15 12:00」のときに開始時刻を10：00、終了時刻を10：00に設定した場合

繰り返し	有効期間	位置提供が行われる期間
設定なし	―	2006/11/15 12:00～ 2006/11/16 10:00
毎日	開始日： 2006/11/20 終了日： 2006/11/30	2006/11/20 10:00～ 2006/12/1 10:00
	開始日： 2006/11/10 終了日： 2006/11/30	2006/11/15 12:00～ 2006/12/1 10:00
	設定なし	2006/11/15 12:00～ 2006/11/16 10:00と 2006/11/16以降毎日 10:00～翌日10:00
曜日指定	開始日： 2006/11/20 終了日： 2006/11/30	2006/11/20～ 2006/11/30の指定した曜日の 10:00～翌日10:00
	開始日： 2006/11/10 終了日： 2006/11/30	2006/11/15が指定した曜日なら、 2006/11/15 12:00～ 2006/11/16 10:00と 2006/11/16～ 2006/11/30の指定した曜日の 10:00～翌日10:00
	設定なし	2006/11/15が指定した曜日なら、 2006/11/15 12:00～ 2006/11/16 10:00と 2006/11/16以降の指定した曜日の 10:00～翌日10:00

サービス利用接続先選択

お買い上げ時	契約時接続先

※通常は、設定を変更する必要はありません。

サービス利用設定の接続先を変更するときに設定します。

1 待受画面▶(i)▶GPS設定▶サービス利用接続先選択▶<未登録>を選んで(✉)(編集)

サービス利用接続先選択
1 契約時接続先
2 〈未登録〉
3 〈未登録〉
4 〈未登録〉
5 〈未登録〉
6 〈未登録〉
7 〈未登録〉
8 〈未登録〉
9 〈未登録〉
0 〈未登録〉
編集 機能

- 登録済みの接続先を選択すると、接続先が変更されます。
- (iα)(機能)を押して「編集」を選択しても接続先を登録／編集できます。
- 登録済みの接続先を削除するには、(iα)(機能)を押して「削除」を選択し、「YES」を選択します。

2 以下の操作を行う

項目	操作・補足
接続先名称	▶接続先名称を入力 ●全角9文字まで、半角18文字まで入力できます。
接続先番号	▶接続先を入力 ●半角英数字で99文字まで入力できます。
接続先アドレス	▶URLを入力 ●半角英数字で100文字まで入力できます。

3 (✉)(完了)を押す

GPS機能のご利用について

- GPSは米国国防総省により運営されておりますので、米国の国防上の都合により、GPSの電波の状態がコントロール(精度の劣化、電波の停止など)されることがあります。
- FOMA端末の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因(電池切れを含む)によって、測位(通信)結果の確認等の機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FOMA端末が圏外のとき(または海外では)、GPS機能をご利用いただけません。

お知らせ

- 以下の場合はGPS機能を利用できません。
  - ･オールロック中※　･PIMロック中※
  - ･セルフモード設定中　･おまかせロック中※
  - ･あんしんキーロック中※
  - ･FOMAカードを挿入していないとき

  ※位置提供は可能です。
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。
  - ･建物の中や直下　･地下やトンネル、地中、水中
  - ･かばんや箱の中　･ビル街や住宅密集地
  - ･密集した樹木の中や下　･高圧線の近く
  - ･自動車、電車等の室内　･大雨、雪などの悪天候
  - ･FOMA端末の周囲に障害物(人や物)がある場合
  - ･FOMA端末の画面、ボタン、マイクやスピーカ周辺を手で覆い隠すように持っている場合

  このような場合、得られる位置情報の誤差が300m以上になる場合があります。

データ表示／編集／管理

データBOXについて

データBOXには以下のような項目とフォルダがあります。種類に合わせてそれぞれのフォルダに保存されます。

マイピクチャ		
ｉモード		ダウンロードした静止画など
カメラ		カメラで撮影した静止画や撮影したキャラ電ピクチャなど
デコメピクチャ		デコメール作成で使用できる静止画
デコメ絵文字		デコメール作成で使用できる絵文字
プリインストール		お買い上げ時に登録されている静止画
ユーザフォルダ※		ユーザフォルダ内の静止画
自作アニメ		静止画連続再生機能
micro SD	ピクチャ	カメラで撮影した静止画やFOMA端末からコピーしたDCF規格に準ずるJPEG形式、GIF形式の画像
	イメージボックス	FOMA端末からコピーしたGIF形式のアニメーション画像やDCF規格外のJPEG形式の画像
	移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動した著作権のある静止画
	デコメ絵文字	FOMA端末からコピーしたデコメール用の絵文字
フレーム		フレームに使用できる静止画
スタンプ		マーカースタンプ、マジックスタンプに使用できる静止画

ミュージック		
ｉモード		サイトから取得した着うたフル®
ユーザフォルダ※		ユーザフォルダ内の着うたフル®
部分保存データ		ダウンロードが完了していない着うたフル®
micro SD	移行可能ミュージック	FOMA端末から移動した著作権のある着うたフル®
プレイリスト		着うたフル®連続再生機能

ｉモーション		
ｉモード		サイトから取得したｉモーションなど
カメラ		カメラで録画したｉモーションや撮影したキャラ電ムービーなど
プリインストール		お買い上げ時に登録されているｉモーション
ユーザフォルダ※		ユーザフォルダ内のｉモーション
micro SD	ムービー	カメラで撮影した動画やFOMA端末からコピーした動画
	移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動した著作権のある動画
	その他コンテンツ	カメラ機能を使って記録した音声のみのｉモーション、FOMA端末からコピーした音声のみのｉモーション、FOMA端末からコピーした映像が再生不可能なｉモーション
プログラム		ｉモーション連続再生機能
しおり		ｉモーションのしおり機能

メロディ		
ｉモード		ダウンロードしたメロディなど
プリインストール		お買い上げ時に登録されているメロディ
ユーザフォルダ※		ユーザフォルダ内のメロディ
おしゃべり		「おしゃべり機能」で録音したデータ
micro SD	メロディ	FOMA端末からコピーしたメロディ
	移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動した著作権のあるメロディ
プログラム		メロディ連続再生機能

マイドキュメント	
ｉモード	ダウンロードしたPDFデータなど
microSD	ダウンロードしたPDFデータやFOMA端末からコピーしたPDFデータ

キャラ電
お買い上げ時に登録されているキャラ電やダウンロードしたキャラ電

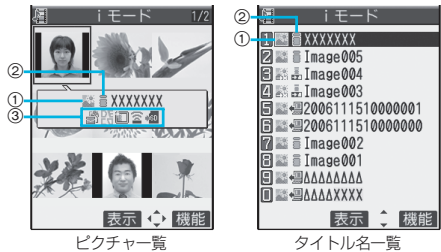
SDオーディオ
microSDメモリーカード内の音楽

SDその他ファイル	
SDその他	メール（添付ファイル）から保存した非対応のファイル

※「フォルダ追加」「フォルダ名編集」により表示されるフォルダ名は異なります。

■ファイル一覧表示中のアイコンについて

ピクチャ一覧

タイトル名一覧

①ファイル種別

アイコン	種別	ファイル形式
(青色)	静止画	JPEG
(橙色)	静止画	GIF
	フレーム	GIF
	マーカースタンプ	GIF
	マジックスタンプ	GIF
	Flash	SWF
	iモーション	MP4(AMR)
	iモーション	MP4(AAC)
	iモーション	MP4(AAC+[HE-AAC])
	iモーション	MP4(Enhanced aacPlus)
	iモーション	ASF
	メロディ	SMF
	メロディ	MFi
	完全なPDFデータ	PDF
	部分的なPDFデータ	PDF
	不完全なPDFデータ	PDF
	壊れているPDFデータ	PDF
	キャラ電	―
	非対応ファイル	―

- ファイル制限が設定されているファイルの場合、アイコンに「」が付きます。ただし、Flash画像には付きません。
- ファイルによっては、再生できる回数・期限・期間が制限されているものがあります。再生制限のあるファイルのアイコンには「」、再生制限切れのファイルのアイコンには「」が付きます。

②取得元

アイコン	説明
※	サイトやiモードメール添付などから取得
	FOMA端末で撮影
	赤外線通信やiC通信、microSDメモリーカードなどから取得
	キャラ電撮影

※ 著作権のあるファイルでmicroSDメモリーカードに移動可の場合は「」が表示されます。

③可能な操作

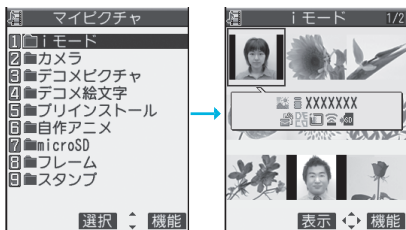
アイコン	説明
	iモードメール添付
	デコメールに画像挿入
	ピクチャ貼付
	赤外線送信・iC送信
	microSDメモリーカードへコピー

■お願い■
FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、保存内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え、FOMA端末に保存した内容は、microSDメモリーカード(P.334参照)を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink(P.417参照)やデータリンクソフト(P.468参照)とFOMA USB接続ケーブル(別売)を利用して、パソコンに保管できます。

<ピクチャビューア>

画像を表示する

FOMA端末内またはmicroSDメモリーカード内に保存した静止画を表示します。

1 メニュー▶データBOX▶**マイピクチャ▶フォルダを選択▶ファイルを選択**

静止画フォルダ一覧画面

静止画一覧画面

- カメラメニューで「マイピクチャ」を選択してもピクチャビューアを起動できます。
- プレビュー画像が表示できないときは以下の画像が表示されます。

- フォルダは以下のプレビュー画像が表示されます。

保存先に設定されている場合

- 他の機能でフォルダや静止画を選択するときは、機能によって表示されないフォルダや静止画があります。また、静止画を選択中に(デモ)を押して静止画を確認できる場合があります。

■静止画再生時の操作

- 機能メニューから操作する場合はP.315参照。

操作	ボタン操作
次のファイルを表示※1	を押します。
前のファイルを表示※1	を押します。
等倍表示※2	(等倍)を押します。再度(戻る)を押すと元に戻ります。

※1 静止画一覧画面の並び順で表示します。
※2 画像サイズやファイル形式によっては操作できない場合があります。

■静止画再生の仕様について

ファイル形式	JPEG※1、GIF、Flash
拡張子	jpg、gif、swf、ifm
画素数	QXGA(1536×2048)サイズ以下のファイル※2
ファイルサイズ	2Mバイト以下の静止画

※1 再生できるJPEGファイルの種類は、Exif/CIFF/JFIF形式のBaselineとProgressiveです。
※2 Progressive形式のファイルの場合は、VGA(480×640)サイズ以下のファイルまで表示できます。
- 対応しているファイル形式でも、ファイルによっては表示できない場合があります。

■静止画フォルダ一覧画面で「microSD」を選択したときは

1. 項目を選択

ピクチャ
. . .カメラで撮影した静止画やFOMA端末からコピーした静止画を表示します。

イメージボックス
. . .FOMA端末からコピーしたアニメーションGIF画像などを表示します。

移行可能コンテンツ
. . .FOMA端末から移動した著作権のある静止画を表示します。

デコメ絵文字
. . .FOMA端末からコピーしたデコメール用の絵文字を表示します。

2. フォルダを選択

静止画の一覧が表示されます。

microSD静止画フォルダ一覧画面

静止画フォルダ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
フォルダ追加	ユーザフォルダを新規作成します。20件まで作成できます。 ▶**フォルダ名を入力** ●全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。
フォルダ名編集	ユーザフォルダのフォルダ名を編集します。 ▶**フォルダ名を入力** ●全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。

機能メニュー	操作・補足
フォルダ削除	ユーザフォルダとフォルダ内のすべてのファイルを削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES
画像全削除	ファイルをすべて削除します。ただし、お買い上げ時に登録されているファイル(デコメ絵文字を除く)やmicroSDメモリーカード内のファイルは削除されません。 ▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

<フォルダ削除><画像全削除>
- 添付元の静止画を削除しても、メールに添付された静止画は削除されません。

microSD静止画フォルダ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
フォルダ名編集	▶フォルダ名を入力 ●全角31文字まで、半角63文字まで入力できます。「移行可能コンテンツ」フォルダ内の場合は、全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。
フォルダ追加	▶フォルダ名を入力 ●全角31文字まで、半角63文字まで入力できます。「移行可能コンテンツ」フォルダ内の場合は、全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。
フォルダ削除	▶端末暗証番号を入力▶YES
保存先フォルダ選択	撮影した静止画や動画、ダウンロードやデータ通信で取得したPDFデータなどをmicroSDメモリーカードに保存する際の保存先フォルダを設定します。 ▶YES

お知らせ

<フォルダ追加>
- 以下の場合はフォルダ追加できません。
  - ・「ピクチャ」内フォルダ数が900件のとき
  - ・「イメージボックス」内フォルダ数が999件のとき
  - ・「デコメ絵文字」内フォルダ数が999件のとき
  - ・「ムービー」内フォルダ数が4095件のとき
  - ・「その他コンテンツ」内フォルダ数が999件のとき
  - ・「マイドキュメント」内フォルダ数が999件のとき
  - ・「SDその他ファイル」内フォルダ数が999件のとき

<フォルダ削除>
- 「イメージボックス」内の「SDイメージ」フォルダ、「デコメ絵文字」内の「SDデコメ絵文字」フォルダは削除できません。

お知らせ

<保存先フォルダ選択>
- 保存先に設定されたフォルダには以下のアイコンが表示されます。
  - 「 」. . 「ピクチャ」フォルダ、「ムービー」フォルダ内のフォルダ
  - 「 」. . 「デコメ絵文字」フォルダ、「イメージボックス」フォルダ、「メロディ」フォルダ内のフォルダや「マイドキュメント」、「SDその他ファイル」内のフォルダ
  - 「 」. . .「移行可能コンテンツ」フォルダ内のフォルダ
  - 「 」. . .「その他コンテンツ」フォルダ内のフォルダ
- microSDメモリーカードの保存先フォルダは、microSDチェックディスクを行ったり、パソコンでフォルダを作成・編集すると、保存先フォルダが変更される場合があります。設定が変更された場合は、再度保存先フォルダを設定してください。

静止画一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
ピクチャ編集	静止画を編集します。(P.316参照)
タイトル編集	▶タイトルを入力 ●FOMA端末内のファイルの場合、全角9文字まで、半角18文字まで入力できます。 ●microSDメモリーカード内のファイルの場合、全角18文字まで、半角36文字まで入力できます。
フォルダ名編集	「移行可能コンテンツ」フォルダ内のフォルダの名前を変更します。 ▶フォルダ名を入力 ●全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。
ピクチャ表示	画像を表示します。 ●(◉)を押すごとに等倍表示と画面サイズに合わせた表示を切り替えることができます。(「表示サイズ設定」の設定やファイル・画像サイズによっては切り替えられない場合があります。)
ピクチャ貼付	待受画面などに貼り付けて表示します。(P.314参照)
ピクチャ情報	情報を表示します。(P.315参照)
iモードメール添付	P.228手順2へ進みます。
赤外線送信	赤外線で1件送信します。(P.346参照)
iC送信	iC通信で1件送信します。(P.348参照)

次ページにつづく

機能メニュー	操作・補足
デコメ作成	「デコメピクチャ」フォルダ、「デコメ絵文字」フォルダからデコメールを作成します。 P.228手順2へ進みます。 ●デコメールについてはP.232参照。
デスクトップ貼付	デスクトップに貼り付けます。(P.149参照)
microSDへコピー	FOMA端末内の静止画をmicroSDメモリーカードへ1件コピーします。(P.338参照)
お預かりセンターに保存	FOMA端末内に保存されている静止画をお預かりセンターに保存します。なお、電話帳お預かりサービスはお申し込みが必要な有料サービスです。 ▶端末暗証番号を入力 ▶保存したい静止画にチェック ▶✉(完了)▶YES ●10件まで選択できます。 ●iα(機能)を押して「ピクチャ一覧」「タイトル名一覧」を切り替えることができます。 ●静止画再生中は、静止画をチェックする操作は不要です。
本体へコピー	FOMA端末に1件コピーします。(P.339参照)
microSDへ移動	microSDメモリーカードに1件移動します。(P.339参照)
本体へ移動	「移行可能コンテンツ」フォルダ内の静止画をFOMA端末に1件移動します。(P.339参照)
電話帳ピクチャ登録	静止画を電話帳に登録します。(P.114参照)
貼付表示位置 お買い上げ時 中央に表示	静止画を待受画面などに貼り付けて表示するときの位置を設定します。ピクチャ貼付についてはP.314参照。 ▶表示位置を選択
切り出し範囲 お買い上げ時 中央を表示	静止画を待受画面などに貼り付けて表示するときの範囲を設定します。ピクチャ貼付についてはP.314参照。 ▶表示範囲を選択
ファイル名編集	▶ファイル名を入力 ●半角英数字で36文字まで入力できます。
ファイル制限	ファイル制限を「あり」にすると、一次配布で受け取った側がｉモードメールに添付できなくなります。 ▶なし・あり ●ファイル制限についてはP.192参照。
DPOF設定	DPOF設定をします。(P.354参照)
スライドショー	フォルダ内の静止画を選択している静止画から順にすべて表示していきます。静止画が切り替わる速度を選択できます。 ▶標準・スロー ◉(停止)を押すとスライドショーを停止します。再度◉(再開)を押すとスライドショーを再開します。
コピー	microSDメモリーカード内の静止画・動画・PDFデータ・SDその他ファイルをmicroSDメモリーカード内の別のフォルダにコピーします。 ▶コピー先を選択
フォルダ移動	静止画・動画・PDFデータ・SDその他ファイルを別のフォルダに移動します。 ▶移動先を選択 ●第2階層目以降にフォルダがある場合は、✉(フォルダ↓)を押すと表示できます。上の階層に戻すにはiα(フォルダ↑)を押します。
1件削除	▶YES
全削除	フォルダ内に保存されているすべてのファイルを削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES
複数選択	複数のファイルを選択して操作します。 ▶操作したいファイルにチェック ▶iα(機能)▶項目を選択 ピクチャ一覧・タイトル名一覧・一覧表示切替 . . . . P.315、P.324、P.351参照 削除 . . . . P.312「1件削除」参照 DPOF設定 . . . P.354参照 コピー . . . . P.312参照 フォルダ移動 . . P.312参照 microSDへコピー . . . . P.338参照 本体へコピー . . P.339参照 赤外線送信 . . . P.346参照 全選択 . . . . 全選択します。 全選択解除 . . . 選択をすべて解除します。
保存容量確認	空き容量と保存容量(目安)を表示します。 ●確認が終われば(CLR)を押します。
ソート お買い上げ時 新しい順	表示される順番を変更します。 ▶順番を選択

機能メニュー	操作･補足
ピクチャ一覧･タイトル名一覧	静止画の一覧表示を切り替えます。(P.315参照)
4枚画像合成	4枚の画像を合成して1枚の画像を作成します。 ▶画像配置<左上><右上><左下><右下>を選択▶フォルダを選択▶画像を選択 上記の手順を繰り返して4つの画像を配置します。 ●JPEGファイルのみ選択できます。 ●配置した画像を解除するには、配置した画像を選択して「ピクチャ解除」を選択します。 ▶(完了)▶(保存) ●(取消)を押すと画像配置を選択する手順に戻ります。 ●保存されている画像がいっぱいのときはP.211参照。
フォルダ追加	「移行可能コンテンツ」フォルダ内にフォルダを作成します。7階層まで作成できます。(P.311参照)
フォルダ削除	「移行可能コンテンツ」フォルダ内のフォルダを削除します。(P.311参照)
保存先フォルダ選択	「移行可能コンテンツ」フォルダ内の保存先フォルダを選択します。7階層までのフォルダに対して設定できます。(P.311参照)

お知らせ

<タイトル編集>

- microSDメモリーカードの空き容量が少ない場合、タイトル編集できない場合があります。
- ファイルによってはタイトル編集できない場合があります。
- お買い上げ時に登録されているデコメピクチャ、フレーム、スタンプ、プリインストールフォルダ内の画像はタイトル編集できません。

<ピクチャ表示>

- ファイルによってはピクチャ表示できない場合があります。
- Flash画像は、「着信音量」の「電話」で設定されている音量で再生されます。「着信音量」の「電話」が「ステップ」に設定されているときは「レベル2」で音が鳴ります。

<ｉモードメール添付>

- 画像によってはｉモードメール作成できない場合があります。
- ファイル制限ありのファイルのメール添付についてはP.192参照。

お知らせ

<デコメ作成>

- 画像サイズがSub-QCIF(128×96)サイズより大きいときは、画像サイズの変更方法を選択する画面が表示されます。変更した静止画は別ファイルとして新規保存されます。
  「そのまま添付」を選択すると画像サイズは変更しません。
  「Sub-QCIF縮小添付」を選択すると縦横比を保ったままSub-QCIF(128×96)サイズ以下に縮小します。
  「Sub-QCIF切出し添付」を選択すると縦横比を保ったままSub-QCIF(128×96)サイズ以下に縮小･切り出しします。
  ファイルサイズがデコメール作成可能サイズを超える場合は、デコメール作成可能サイズ以下に変換します。
- Sub-QCIF(128×96)サイズに縮小または切り出しした場合、(取消)を押すか(機能)を押して「取消」を選択すると再度縮小･切り出しを設定できます。また、(機能)を押して「確定」を選択するとｉモードメール作成画面を表示します。
- 画像によってはデコメール作成できない場合があります。

<お預かりセンターに保存>

- 以下の静止画は保存できません。
  ･1件あたりのサイズが100Kバイトを超える画像
  ･FOMA端末外への出力が禁止されている画像
  ･JPEG形式、GIF形式以外の画像
- 圏外のときは電話帳お預かりサービスを利用できません。
- 電話帳お預かりサービスを契約されていない場合は、その旨をお知らせする画面が表示されます。
- お預かりセンターに保存した静止画は、お預かりセンターのサイトからFOMA端末に保存できます。詳しくは「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。

<貼付表示位置><切り出し範囲>

- Flash画像に貼付表示位置は設定できません。
- 設定した表示位置、切り出し範囲は待受画面、ウェイクアップ表示、電話発信、電話着信、テレビ電話発信、テレビ電話着信、メール送信、メール受信、問い合わせの画面で有効です。ただし、画像のサイズによっては、設定した表示位置、切り出し範囲が機能しない場合があります。

<ファイル名編集>

- ファイルによってはファイル名編集できない場合があります。
- ファイル名に半角スペースは使用できません。

<ファイル制限>

- ファイルによってはファイル制限を設定できない場合があります。

次ページにつづく

お知らせ

＜スライドショー＞
- 画像によっては表示される間隔が異なる場合があります。

＜コピー＞＜フォルダ移動＞
- 複数のファイルをコピー･移動中に着信があった場合、コピー･移動は途中でも中止されます。

＜1件削除＞＜全削除＞
- 他の機能で設定していたファイルを削除すると、お買い上げ時の設定に戻ります。ただし、「テレビ電話発信」「テレビ電話着信」以外のテレビ電話関連項目にピクチャ貼付した画像は変更されません。
- 添付元の静止画を削除しても、メールに添付された静止画は削除されません。
- microSDメモリーカード内の複数のファイルを削除中に着信があった場合は、削除は中止されます。

＜複数選択＞
- 静止画は1000件、動画は150件、メロディは400件、PDFデータは89件、SDその他ファイルは100件まで選択できます。

＜4枚画像合成＞
- VGA（480×640）サイズを除く、CIF（352×288）サイズを超える静止画は選択できません。
- 合成後の画像の取得元は、合成前の画像の取得元と同じ表示になります。ただし、取得元が複数ある場合は、「 」または「 」→「 」→「 」→「 」の優先順位になります。

ピクチャ貼付

画像を待受画面などに貼り付けて表示します。
貼り付ける画像の位置や範囲についてはP.312「貼付表示位置」、P.312「切り出し範囲」参照。

1 静止画一覧画面･静止画再生中
▶ i(機能)▶ピクチャ貼付
▶貼付先を選択

- 貼付された項目には「★」マークが付きます。「テレビ電話発信」「テレビ電話着信」以外のテレビ電話関連の項目には、すでに貼付されていても表示されません。
- 「テレビ電話発信」「テレビ電話着信」以外のテレビ電話関連項目を選択した場合、「応答保留／On Hold」、「保留／Holding」、「カメラオフ／Camera off」、「伝言メモ録画中／Recording」、「伝言メモ準備中／Preparing」、「動画メモ録画中／Recording」と静止画の中央に表示されます。

貼付先	ファイル形式		
	GIF	JPEG	Flash
待受画面（P.137参照）	○	○	○
ウェイクアップ表示（P.138参照）	○	○	○
電話発信（P.138参照）	○	○	○
電話着信（P.138参照）	○	○	○
テレビ電話発信（P.138参照）	○	○	○
テレビ電話着信（P.138参照）	○	○	○
メール送信（P.138参照）	○	○	○
メール受信（P.138参照）	○	○	○
問い合わせ（P.138参照）	○	○	×
テレビ電話応答保留（P.88参照）	×	○	×
テレビ電話通話中保留（P.88参照）	×	○	×
テレビ電話代替画像（P.88参照）	×	○	×
テレビ電話伝言メモ（P.88参照）	×	○	×
テレビ電話伝言準備（P.88参照）	×	○	×
テレビ電話動画メモ（P.88参照）	×	○	×

○：貼付可能
×：貼付不可能

お知らせ

- 画像サイズや貼付先によっては、表示される大きさが実際のものと違う場合があります。
- チャーミーフェイスⅡ画像を「待受画面」以外にピクチャ貼付してもアニメーション表示はされず、最初の1コマ目が表示されます。
- ファイルによってはピクチャ貼付できない場合があります。

ピクチャ情報

1 **静止画一覧画面・静止画再生中 ▶ i α（機能）▶ ピクチャ情報**

- ●で画面をスクロールして確認できます。
- 自作アニメのピクチャ情報では、ピクチャ貼付の項目のみ表示されます。
- 確認が終われば CLR を押します。

項目	情報内容
ファイル名	ファイル名を表示。
ファイル種別	ファイル形式を表示。Flashファイルの場合は表示されません。
ファイルサイズ	ファイルサイズを表示。
保存日時	ファイルの保存日時を表示。情報がない場合は「----/--/-- --:--」と表示されます。
ファイル制限	ファイル制限のあり／なしを表示。
表示サイズ	表示サイズを表示。Flashファイルの場合は表示されません。
取得元	ファイルの取得元を表示。
ピクチャ貼付	設定している貼付先を表示。(「テレビ電話発信」「テレビ電話着信」以外のテレビ電話関連項目は表示されません。)
DPOF設定	DPOF設定のあり／なし(ありの場合は枚数)を表示。100枚以上設定されている場合、「＊＊」が表示されます。(microSDメモリーカードの「ピクチャ」フォルダ内静止画のみ。)
microSDへの移動	ファイルをmicroSDメモリーカードに移動またはコピーできるかどうかを「可／不可／可(同一機種間)」で表示。移動、コピーのどちらかが可能な場合は「可」と表示。
本体への移動	microSDメモリーカード内に保存してあるファイルをFOMA端末に移動またはコピーできるかどうかを「可／不可／可(同一機種間)」で表示。移動、コピーのどちらかが可能な場合は「可」と表示。

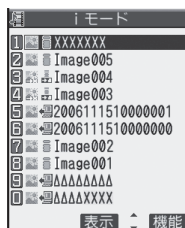
お知らせ

- 「microSD」フォルダ内のファイルには、取得元、ピクチャ貼付は表示されません。ただし、「移行可能コンテンツ」フォルダ内のファイルには取得元、ピクチャ貼付は表示されます。
- 「可(同一機種間)」のファイルはP903i以外のFOMA端末には移動できません。

ピクチャ一覧・タイトル名一覧

お買い上げ時	ピクチャ一覧

1 **静止画一覧画面 ▶ i α（機能）▶ ピクチャ一覧・タイトル名一覧**

ピクチャ一覧

タイトル名一覧

- ピクチャ一覧では、FOMA端末内の静止画は9枚、microSDメモリーカード内の静止画は4枚表示されます。

お知らせ

- 「ピクチャ一覧」で表示すると、画像によっては見えかたが異なる場合があります。

静止画再生中の機能メニュー

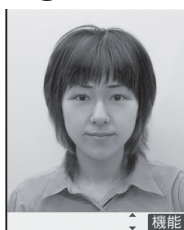
機能メニュー	操作・補足
ピクチャ編集	静止画を編集します。(P.316参照)
ピクチャ貼付	待受画面などに貼り付けて表示します。(P.314参照)
ピクチャ情報	情報を表示します。(P.315参照)
iモードメール添付	iモードメールを作成します。 ✉(✉)を押してもiモードメールを作成できます。(P.311参照)
デコメ作成	デコメールを作成します。(P.312参照)
赤外線送信	赤外線で1件送信します。(P.346参照)
iC送信	iC通信で1件送信します。(P.348参照)
表示サイズ設定 お買い上げ時：標準	静止画を本来のサイズ(等倍)で表示するか画面サイズに合わせて表示するかを設定します。 ▶**標準・画面サイズで表示** ●「標準」に設定しても、画面サイズを超える静止画は画面サイズに縮小されます。
デスクトップ貼付	デスクトップに貼り付けます。(P.149参照)
microSDへコピー	FOMA端末内の静止画をmicroSDメモリーカードへ1件コピーします。(P.338参照)
お預かりセンターに保存	静止画をお預かりセンターに保存します。(P.312参照)

次ページにつづく

機能メニュー	操作・補足
本体へコピー	FOMA端末に1件コピーします。(P.339参照)
電話帳ピクチャ登録	静止画を電話帳に登録します。(P.114参照)
貼付表示位置	貼り付けて表示するときの位置を設定します。(P.312参照)
切り出し範囲	貼り付けて表示するときの範囲を設定します。(P.312参照)
DPOF設定	DPOF設定します。(P.354参照)
1件削除	1件削除します。(P.312参照)
リトライ	アニメーション、Flash画像を最初から再生します。

<ピクチャ編集>

静止画を編集する

1 **静止画一覧画面・静止画再生中▶i α(機能)▶ピクチャ編集**

ピクチャ編集画面

●VGAサイズより大きい静止画の場合、VGAサイズに縮小されます。
●編集する静止画がディスプレイより大きい場合は、◎でスクロールできます。

2 **i α(機能)▶静止画を編集**

操作方法についてはP.317～P.320をご覧ください。

3 **◎(保存)▶YES・NO**

YES. . . 上書きして保存します。
NO. . . . 新しい静止画として保存します。
編集した静止画が保存されます。
●microSDメモリーカード内の静止画を編集して保存する場合は、手順3で◎(保存)を押すと「iモード」フォルダに新規保存されます。
●編集した静止画を保存しない場合は、CLRまたは☎を押して「YES」を選択します。
●保存されている画像がいっぱいのときはP.211参照。

■ピクチャ編集ができる静止画のサイズ

編集メニュー	QXGA UXGA SXGA	VGA	CIF	待受(メインLCD待受)(QVGA)
マーカースタンプ	○	○	○	○
フレーム合成	×	×	○	○
文字スタンプ	○	○	○	○
チャーミーフェイス	×	×	○	○
チャーミーフェイスⅡ	×	×	○	○
マジックスタンプ	×	×	○	○
サイズ変更	○	○	○	○
トリミング	○	○	○	○
フォトレタッチ	×	×	○	○
回転	○	○	○	○
明るさ	○	○	○	○
iモードメール添付	○	○	○	○

編集メニュー	QCIF	Sub-QCIF	CIFより大きいVGA未満のサイズ	CIFより小さいその他のサイズ
マーカースタンプ	○	○	○	○
フレーム合成	○	○	×	×
文字スタンプ	○	○	○	○※1
チャーミーフェイス	○	○	×	○
チャーミーフェイスⅡ	○	×	×	○※2
マジックスタンプ	○	○	×	○
サイズ変更	○	○	○	○
トリミング	○	○	○	○※3
フォトレタッチ	○	○	×	○
回転	○	○	○	○
明るさ	○	○	○	○
iモードメール添付	○	○	○	○

○…ピクチャ編集可　×…ピクチャ編集不可
※1 24×24ドットより小さい静止画は編集できません。
※2 QCIF(176×144)サイズより小さい静止画は編集できません。
※3 サブLCD待受(96×64)サイズより小さいまたはチャット画像サイズ(80×80)より小さい静止画は編集できません。
●1616×1212ドット、1632×1224ドットの画像も編集できます。

お知らせ

- カメラで撮影した静止画やデータ通信で取得した静止画、ダウンロードもしくはｉモードメールから取得した静止画で「ファイル制限」がなしのファイルのみピクチャ編集できます。
- 静止画によってはピクチャ編集できない場合があります。
- 撮影した静止画の画像にフレームやマーカースタンプを貼り付けるなどの画像編集を繰り返し行うと、画質が劣化したり、ファイルサイズが大きくなることがあります。
- 静止画によっては編集効果が現れにくいものもあります。
- 編集中に電池がなくなった場合は、編集した内容は破棄されます。
- 新規保存された静止画のファイル名、タイトル、保存先、取得元については以下のとおりです。
  - ・ファイル名：YYYYMMDDhhmmnnn（Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分、n：番号）
  - ・タイトル：YYYY/MM/DD hh:mm（Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分）
  - ・保存先：変更元のファイルが保存されているフォルダ（microSDメモリーカード内の静止画の場合は「ｉモード」フォルダ）
  - ・取得元：変更元と同じ

ピクチャ編集画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
マーカースタンプ	 スタンプフォルダのマーカースタンプを合成します。 ▶マーカースタンプを選択 ●(機能)を押して「右90度／左90度／180度」を選択すると、マーカースタンプを回転できます。「拡大／縮小」を選択すると、マーカースタンプを拡大・縮小できます。 ●(取消)を押すとマーカースタンプを選択し直せます。 ●お買い上げ時に登録されているマーカースタンプについてはP.449参照。 ▶で位置を決めて(配置)を押す ●(追加)を押すか(機能)を押して「追加」を選択するとマーカースタンプを追加できます。 ▶(確定) ●(機能)を押して「確定」を選択してもマーカースタンプを確定できます。
フレーム合成	 ▶フレームを選択▶(確定) ●編集中の静止画と同じサイズのフレームのみ合成できます。 ●(機能)を押して「確定」を選択してもフレームを確定できます。 ●を押すと、前または次のフレームを表示します。を1秒以上押すと、連続して表示されます。 ●(機能)を押して「180度回転」を選択すると、フレームを回転できます。 ●(取消)を押すか(機能)を押して「取消」を選択するとフレームを選択し直せます。 ●お買い上げ時に登録されているフレームについてはP.449参照。

次ページにつづく

機能メニュー	操作・補足
文字スタンプ	 文字を合成します。 ▶文字を入力 全角15文字まで、半角30文字まで入力できます。ただし、静止画のサイズによっては入力できる文字数は少なくなります。 ●(機能)を押して「文字色」を選択し、色を選択すると、文字の色を変更できます。(切替)を押して16色･256色を切り替えることができます。 「フォント」を選択し、「フォント1／フォント2」を選択すると、文字のフォント(書体)を変更できます。 「文字サイズ」を選択し、「拡大サイズ／通常サイズ／縮小サイズ」を選択すると、文字を拡大･縮小できます。 「文字入力」を選択すると、入力した文字を編集できます。 ▶で位置を決めて(配置)を押す ▶(確定) ●(機能)を押して「確定」を選択しても文字スタンプを確定できます。 ●(取消)を押すか(機能)を押して「取消」を選択すると配置する位置を選択し直せます。
チャーミーフェイス	 人物の表情を変えます。 ▶表情パターンを選択▶(確定) ●(機能)を押して「確定」を選択してもチャーミーフェイスを確定できます。 ●(取消)を押すか(機能)を押して「取消」を選択すると表情パターンを選択し直せます。
チャーミーフェイスⅡ	 人物の表情がシナリオに合わせて動きます。 ▶(ｼﾅﾘｵ) ●顔の輪郭と各部分が自動的に判別されます。顔の各部分の領域を調整したい場合は、(修正)を押します。 で位置を決めて(決定)を押します。 ▶シナリオを選択 ●(デモ)を押すとデモ再生されます。 中止する場合は、(停止)または を押します。 ▶(確定)
マジックスタンプ	 スタンプフォルダのマジックスタンプを合成します。 人物の顔の部分を自動で認識し、ふさわしい位置に貼り付けます。 ▶マジックスタンプを選択 ●(機能)を押して「スタンプ拡大／スタンプ縮小」を選択すると、マジックスタンプを拡大･縮小できます。 ●中止する場合は(取消)を押します。 ●お買い上げ時に登録されているマジックスタンプについてはP.449参照。 ▶で位置を決めて(配置)を押す ●静止画からはみ出したマジックスタンプは、切り取られます。 ●(追加)を押すか(機能)を押して「追加」を選択するとマジックスタンプを追加できます。 ▶(確定) ●(機能)を押して「確定」を選択してもマジックスタンプを確定できます。

機能メニュー	操作・補足
サイズ変更	**▶変更したい画像サイズを選択** ●元の静止画と縦横比が異なるサイズを選択した場合は、元の静止画の縦横比を保ったまま、選択したサイズを超えない大きさに拡大／縮小します。 **▶◉(確定)** ●iα(機能)を押して「確定」を選択してもサイズを確定できます。 ●✉(取消)を押すかiα(機能)を押して「取消」を選択するとサイズを選択し直せます。
トリミング	一定の大きさに切り出します。 **▶切り出したい画像サイズを選択** ●編集中の静止画より大きいサイズは選択できません。 ●「メインLCD待受(240×320)」「発着信画像(240×144)」「CIF(288×352)」を選択した場合は、編集中の静止画やトリミングする枠が縦横ともに1／2に縮小して表示されます。 **▶◎でトリミングする部分を決めて◉(確定)を押す** ●iα(機能)を押して「確定」を選択してもトリミング枠の位置を確定できます。 ●✉(取消)を押すかiα(機能)を押して「取消」を選択するとトリミングするサイズを選択し直せます。 **▶◉(確定)** ●iα(機能)を押して「確定」を選択してもトリミングを確定できます。 ●✉(取消)を押すかiα(機能)を押して「取消」を選択するとトリミングする部分を選択し直せます。
フォトレタッチ	 静止画の質感や色合いなどを設定します。 **▶項目を選択** **シャープ**．．．．輪郭を強調します。 **ソフト**．．．．．輪郭をぼかします。 **セピア**．．．．．色調をセピアにします。 **浮き彫り**．．．．でこぼこの質感にします。 **ネガ**．．．．．．．色調を反転します。 **ミラー**．．．．．左右を反転します。 **スーパークリアシャドウ** ．．．．．．．．．．．暗い静止画を見やすくします。 **記憶色補正**．．色やコントラストを補正します。 **▶◉(確定)** ●iα(機能)を押して「確定」を選択してもフォトレタッチを確定できます。 ●✉(取消)を押すかiα(機能)を押して「取消」を選択すると効果を選択し直せます。
回転	**▶右90度・左90度・180度▶◉(確定)** ●iα(機能)を押して「確定」を選択しても回転を確定できます。 ●✉(取消)を押すかiα(機能)を押して「取消」を選択すると角度を選択し直せます。
明るさ	−3(暗い)から+3(明るい)で調節します。 **▶明るさを選択**
iモードメール添付	iモードメールを作成します。(P.311参照)
保存	編集後の静止画を保存します。(P.316参照)

お知らせ

<マーカースタンプ>
- 以下のサイズのマーカースタンプは選択できません。
  - ・編集する静止画より大きいサイズ
  - ・CIF(352×288)　・待受(240×320)
  - ・QCIF(176×144)　・Sub-QCIF(128×96)
- 編集する静止画より大きく拡大できません。

<文字スタンプ>
- 編集する画像によっては文字色との合成ができない色があります。その場合には別の色を選択してください。

次ページにつづく

お知らせ

<チャーミーフェイス>

- 人物の顔や輪郭を正確に認識できないことがあります。複数の人物の顔がある場合は1人の顔のみ認識します。また、人物がいない場合は画像がゆがむことがあります。

<チャーミーフェイスⅡ>

- 人物の顔や輪郭を正確に認識できないことがあります。複数の人物の顔がある場合は1人の顔のみ認識します。また、人物がいない場合は画像がゆがむことがあります。
- チャーミーフェイスⅡを設定して保存した静止画を再度ピクチャ編集すると、チャーミーフェイスⅡは解除されます。
- チャーミーフェイスⅡ画像をｉモードメールに添付した場合、通常の静止画として送信されます。
- デスクトップの貼り付けアイコンからチャーミーフェイスⅡ画像を表示した場合、通常の静止画として再生されます。
- チャーミーフェイスⅡ画像は対応機種でのみ再生できます。パソコンなど他の機器では通常の静止画として再生されます。

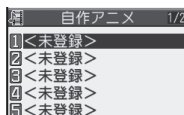
<マジックスタンプ>

- CIF(352×288)サイズより大きいマジックスタンプは選択できません。
- 拡大や縮小は最大3回まで操作できますが、CIF(352×288)サイズより大きく拡大できません。
- 人物の顔や輪郭を正確に認識できないことがあります。複数の人物の顔がある場合は、1人の顔のみ認識します。

<自作アニメ>

アニメを作成する

ｉモードフォルダ、カメラフォルダ、ユーザフォルダ内のVGA(480×640)以下のJPEGファイルを最大20件(20コマ)選択し、アニメ再生できます。自作アニメは20件登録できます。

1 メニュー▶データBOX▶**マイピクチャ▶自作アニメ▶<未登録>**

自作アニメ一覧画面

- 変更する場合は、設定済みの自作アニメを選択します。

2 **コマ順<1コマ目>～<20コマ目>を選択**

3 **フォルダを選択▶静止画を選択**

- 登録済みの静止画を解除する場合は「ピクチャ解除」を選択します。

4 **手順2～手順3を繰り返す**

静止画の登録が完了したら、✉(完了)を押します。

自作アニメ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
タイトル編集	▶タイトルを入力 ●全角9文字まで、半角18文字まで入力できます。
自作アニメ設定	P.320手順2へ進みます。
ピクチャ表示	自作アニメを再生します。
ピクチャ貼付	待受画面などに貼り付けて表示します。(P.314参照)
ピクチャ情報	情報を表示します。(P.315参照)
自作アニメ解除	▶YES

自作アニメ再生中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
ピクチャ貼付	待受画面などに貼り付けて表示します。(P.314参照)
表示サイズ設定	表示方法を設定します。(P.315参照)
リトライ	再度自作アニメを再生します。

お知らせ

- 自作アニメに設定している静止画を削除すると、その静止画を含む自作アニメは解除されます。

<iモーションプレーヤー>

動画／iモーションを再生する

FOMA端末内またはmicroSDメモリーカード内に保存した動画を再生します。

●市販のBluetooth機器を利用して動画の音声をBluetooth機器から再生できます。(P.398参照)

1 メニュー▶データBOX▶iモーション▶フォルダを選択▶ファイルを選択

動画フォルダ一覧画面　動画一覧画面

●カメラメニューで「iモーション」を選択してもiモーションプレーヤーを起動できます。

●プレビュー画像が表示できないときは以下の画像が表示されます。

再生不可

プレビュー画像なし

再生制限期限切れ など

●他の機能でフォルダやiモーションを選択するときは、機能によって表示されないフォルダやiモーションがあります。また、iモーションを選択中に(デモ)を押してiモーションを確認できる場合があります。

プログラム再生

プログラム編集で選択した動画を繰り返し再生します。

1
メニュー▶データBOX▶iモーション▶プログラム

●終了するにはクリアを押します。

■動画再生時の操作

●機能メニューから操作する場合はP.325参照。

操作	ボタン操作
早見再生	(早見)を押します。(P.325参照)
消音	(消音)を押します。 再度(音声)を押すか音量調節を行うと音が鳴ります。
一時停止※1	(Ⅱ)を押します。再生するには、(▶)を押します。
コマ送り再生※2	一時停止中に(コマ送)を押します。(コマ送)を押すごとに1コマずつ進みます。
音量調節 お買い上げ時 レベル4	またはを押します。押し続けると連続して音量が調整されます。FOMA端末を閉じている場合もで調節できます。レベル0〜6まで設定できます。
次のファイルを表示※3	を押します。
前のファイルを表示※3	を押します。※4
シーク(早送り)※2	を押し続けると、押している間映像を早送りします。
シーク(早戻し)※2	を押し続けると、押している間映像を早戻しします。

※1 ストリーミングタイプのiモーションでは操作できません。

※2 iモーションを取得しながら再生しているときやストリーミングタイプのiモーション、QVGA(320×240)サイズのiモーションでは操作できない場合があります。

※3 動画一覧画面の並び順で表示します。動画一覧から再生した場合に操作できます。

※4 再生時間が10秒以上過ぎた場合は、頭出しになります。

次ページにつづく

■動画再生の仕様について

ファイル形式	MP4、ASF	
符号化方式	MP4ファイル	映像：MPEG4、H.263 音声：AMR、AAC、AAC+(HE-AAC)、Enhanced aacPlus
	ASFファイル	映像：MPEG4 音声：G.726
画素数	MPEG4：QVGA(320×240)以下のファイル	
	H.263：Sub-QCIF(128×96)、QCIF(176×144)のファイルのみ	
拡張子	sdv、3gp、mp4、asf	

●対応しているファイル形式でも、ファイルによっては再生できない場合があります。

■動画フォルダー覧画面で「microSD」を選択したときは

1. 項目を選択

ムービー
…カメラで撮影した動画やFOMA端末からコピーした動画などを表示します。

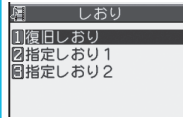
移行可能コンテンツ
…FOMA端末から移動した著作権のあるｉモーションを表示します。

その他コンテンツ
…カメラ機能を使って記録した音声のみのｉモーション、FOMA端末からコピーした音声のみのｉモーション、FOMA端末からコピーした映像が再生不可能なｉモーションを表示します。

2. フォルダを選択

動画の一覧が表示されます。

microSD動画フォルダ一覧画面

■動画フォルダー覧画面で「しおり」を選択したときは

しおり選択画面

しおり選択画面が表示されます。しおりには「指定しおり」と「復旧しおり」があります。
「指定しおり」とは、あらかじめ動画の任意の場面に登録しておくことで、2つまで作成できます。
(P.325参照)
「復旧しおり」とは、動画再生中に着信や各種アラーム動作があった場合や電池がなくなった場合など、再生が中断された場合に自動的に登録されるしおりです。

1. しおりを選択

しおり登録されていた箇所から動画が再生されます。

●iα(機能)を押して「再生」を選択しても再生できます。「削除」を選択するとしおりを削除できます。ただし、「復旧しおり」は削除できません。
●しおりを登録した動画が削除されていた場合や他のフォルダに移動された場合は再生できません。

お知らせ

●シーク(早送り･早戻し)やコマ送り再生中は無音となります。また、テロップは表示されません。シーク(早送り･早戻し)は、動画を一時停止･再生中(スロー再生･早見再生も含む)に実行できます。
●ｉモーションの再生中にメールやメッセージR/Fなどを受信した場合、映像や音声が途切れることがあります。

動画フォルダー覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作･補足
フォルダ追加	フォルダを追加します。(P.310参照)
フォルダ名編集	フォルダ名を編集します。(P.310参照)
フォルダ削除	フォルダを削除します。(P.311参照)
プログラム編集	FOMA端末内のｉモーションを10個まで選択して、好きな順にプログラム編集します。「プログラム」を選択中に表示されます。 ▶**プログラム順<1番目>～<10番目>を選択▶フォルダを選択▶ｉモーションを選択** ●登録済みのｉモーションを解除する場合は「ムービー解除」を選択し、「YES」を選択します。 ▶**操作を繰り返してプログラム編集を完了させる▶**✉(完了)

機能メニュー	操作・補足
プログラム解除	編集したプログラムをすべて解除します。「プログラム」を選択中に表示されます。 ▶YES

microSD動画フォルダ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
フォルダ名編集	フォルダのタイトルを編集します。(P.311参照)
フォルダ追加	フォルダを作成します。(P.311参照)
フォルダ削除	フォルダを削除します。(P.311参照)
保存先フォルダ選択	保存先フォルダを選択します。(P.311参照)

動画一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
iモーション編集	動画／iモーションを編集します。(P.325参照)
タイトル編集	タイトルを編集します。(P.311参照)
iモーション貼付	動画を着信音などに設定します。(P.323参照)
iモーション情報	情報を表示します。(P.324参照)
iモードメール添付	ファイルを添付してiモーションメールを作成します。 P.228手順2へ進みます。
赤外線送信	赤外線で1件送信します。(P.346参照)
iC送信	iC通信で1件送信します。(P.348参照)
microSDへコピー	microSDメモリーカードへ1件コピーします。(P.338参照)
本体へコピー	FOMA端末に1件コピーします。(P.339参照)
microSDへ移動	microSDメモリーカードに1件移動します。(P.339参照)
本体へ移動	「移行可能コンテンツ」フォルダ内の動画をFOMA端末に1件移動します。(P.339参照)
フォルダ移動	フォルダ移動します。(P.312参照)
コピー	コピーします。(P.312参照)
デスクトップ貼付	デスクトップに貼り付けます。(P.149参照)
ファイル名編集	ファイル名を編集します。(P.312参照)
ファイル制限	ファイル制限を設定します。(P.312参照)
タイトル初期化	タイトルを編集前のタイトルに戻します。 ▶YES
1件削除	1件削除します。(P.312参照)
全削除	全削除します。(P.312参照)
複数選択	複数のファイルを選択します。(P.312参照)
保存容量確認	保存容量を確認します。(P.312参照)
ソート	表示順を変更します。(P.312参照)
一覧表示切替	動画の一覧表示を切り替えます。(P.324参照)
フォルダ追加	「移行可能コンテンツ」フォルダ内にフォルダを作成します。7階層まで作成できます。(P.311参照)
フォルダ削除	「移行可能コンテンツ」フォルダ内のフォルダを削除します。(P.311参照)
保存先フォルダ選択	「移行可能コンテンツ」フォルダ内の保存先フォルダを選択します。7階層までのフォルダに対して設定できます。(P.311参照)

お知らせ

<iモードメール添付>
- iモーションによってはiモードメール作成できない場合があります。
- iモーションによっては、ファイルサイズが増減する場合があります。

iモーション貼付

動画を着信音、待受画面、ウェイクアップ表示のいずれかに設定します。

1 **動画一覧画面・一時停止中・再生終了時▶(i)(機能)▶iモーション貼付**

2 **以下の操作を行う**

項目	操作・補足
着信音	▶着信の種類を選択 ●設定された項目には「★」マークが付きます。
待受画面	▶YES
ウェイクアップ表示	▶YES

3 **(✉)(完了)を押す**

お知らせ

●取得元が「[icon]」のiモーションは着信音に設定できません。

iモーション情報

1 **動画一覧画面・一時停止中・再生終了時▶ (機能)▶iモーション情報**

●で画面をスクロールして確認できます。
●確認が終われば を押します。

項目	情報内容	
ファイル名	ファイル名を表示。	
ファイル種別	ファイル形式を表示。	
タイトル	ファイルの初期タイトル名を表示。初期タイトル名がない場合は「不明」と表示。	
作成者	ファイルの著作者情報を表示。情報がない場合は「不明」と表示。	
コピーライト	ファイルの著作権情報の有無を表示。情報がない場合は「不明」と表示。	
保存日時	ファイルの保存日時を表示。情報がない場合は「----/--/-- --:--」と表示。	
説明	ファイルの説明を表示。説明がない場合は「不明」と表示。	
ファイルサイズ	ファイルサイズを表示。	
表示サイズ	表示サイズを表示。音声のみのiモーションの場合や再生不可のファイルの場合は「不明」と表示。	
取得元	ファイルの取得元を表示。	
着信音設定	着信音設定の可／不可を表示。着信音に設定されている場合、設定先を表示。情報がない場合は「不明」と表示。	
着信画面設定	着信画面設定の可／不可を表示。着信画面に設定されている場合、設定先を表示。	
iモーション設定	iモーションの設定先を表示。設定されていない場合は「設定なし」と表示。	
ファイル制限	ファイル制限のあり／なしを表示。	
再生制限	回数制限がある場合	「あとYY回(YY/XX)」(YY:残り再生回数、XX:全再生回数)と表示。
	期限制限がある場合	「～再生期限日時」を表示。
	期間制限がある場合	「再生開始可能日時～再生期限日時」を表示。
	再生制限がない場合	「なし」と表示。
microSDへの移動	ファイルをmicroSDメモリーカードに移動またはコピーできるかどうかを「可／不可／可(同一機種間)」で表示。移動、コピーのどちらかが可能な場合は「可」と表示。	
本体への移動	microSDメモリーカード内に保存してあるファイルをFOMA端末に移動またはコピーできるかどうかを「可／不可／可(同一機種間)」で表示。移動、コピーのどちらかが可能な場合は「可」と表示。	
ビデオ	映像のあり／なし／再生不可を表示。	
オーディオ	AAC／HE-AAC／AMR／Enhanced aacPlus／なし／再生不可／再生可能を表示。	
テキスト	テキストのあり／なし／再生不可を表示。	

お知らせ

●「microSD」フォルダ内のファイルには、取得元は表示されません。ただし、「移行可能コンテンツ」フォルダ内のファイルには取得元は表示されます。
●「移行可能コンテンツ」フォルダ内のファイルには、着信画面設定は表示されません。
●「可(同一機種間)」のファイルはP903i以外のFOMA端末には移動できません。

一覧表示切替

お買い上げ時	タイトル＋画像

動画一覧画面の表示内容を変更します。microSDメモリーカードの一覧画面では、タイトルで表示するかファイル名で表示するかを選択できます。

1 **動画一覧画面▶ (機能)▶一覧表示切替▶表示方法を選択**

タイトル . . タイトルまたはファイル名が一覧表示されます。

タイトル＋画像
. . . . タイトルまたはファイル名と画像が同時に表示されます。表示される画像は動画の1コマ目です。

タイトル表示／ファイル名表示
. . . . タイトルを表示するかファイル名を表示するかを選択します。

●microSDメモリーカードの一覧画面の場合、「タイトル」「タイトル＋画像」は「名前」「名前＋画像」と表示されます。

タイトル

タイトル＋画像

一時停止中・再生終了時の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
通常再生	通常の速度で再生します。
スロー再生	通常の約1/2の速度で再生します。 ●スロー再生を解除するには、(▶)を押すか「通常再生」の操作を行います。
早見再生(1.25倍速)	通常の約1.25倍の速度で再生します。 ●()を押すと2倍速再生されます。(▶)を押すと通常再生に戻ります。
早見再生(2倍速)	通常の約2倍の速度で再生します。 ●早見再生を解除するには、(▶)を押すか「通常再生」の操作を行います。
停止	再生を終了します。
再生位置選択	動画の再生を開始する位置を設定します。 ▶でタイムバーのカーソルを移動させて(確定)を押す ●中止する場合はを押します。
しおり登録	動画にしおりを登録します。登録したい位置で一時停止中に登録します。 ▶しおり1に登録・しおり2に登録
ｉモーション編集	動画／ｉモーションを編集します。(P.325参照)
ｉモードメール添付	ｉモーションメールを作成します。(P.323参照)
ｉモーション貼付	動画を着信音などに設定します。(P.323参照)
ｉモーション情報	情報を表示します。(P.324参照)
赤外線送信	赤外線で1件送信します。(P.346参照)
iC送信	iC通信で1件送信します。(P.348参照)
本体へコピー	FOMA端末に1件コピーします。(P.339参照)
デスクトップ貼付	デスクトップに貼り付けます。(P.149参照)
表示サイズ設定 お買い上げ時 等倍表示	動画を本来のサイズで表示(等倍表示)するか画面サイズに合わせて表示するかを設定します。 ▶等倍表示・画面サイズで表示 ●「等倍表示」に設定しても、画面サイズを超える動画は画面サイズに縮小されます。
横全画面再生	動画を90度右方向に回転して全画面で再生します。 ●すでに横画面で再生しているときは縦画面に戻ります。 ●再生中・一時停止中・再生終了時にを押しても切り替えられます。

お知らせ

<スロー再生>
- スロー再生中は無音です。
- 以下のｉモーションはスロー再生できません。
  - ・ストリーミングタイプのｉモーション
  - ・データを取得しながら再生中のｉモーション

<早見再生>
- ｉモーションによっては、早見再生されない場合があります。
- 以下のｉモーションは早見再生できません。
  - ・ストリーミングタイプのｉモーション
  - ・データを取得しながら再生中のｉモーション
  - ・待受画面から再生したｉモーション
- 早見再生中はステレオで再生されません。

<再生位置選択>
- 動画／ｉモーションによっては、再生位置を選択できない場合があります。

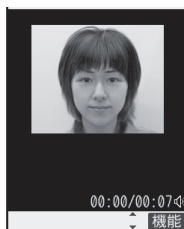
<しおり登録>
- 動画／ｉモーションによっては、しおりを登録できない場合があります。

<表示サイズ設定>
- 画像サイズによっては、画面の右側や下側が切り取られて表示される場合があります。

<横全画面再生>
- 本機能は現在の再生中のみ有効です。再生画面を終了すると縦画面に戻ります。

<ｉモーション編集>
動画／ｉモーションを編集する

動画／ｉモーションを編集します。編集した動画／ｉモーションは、編集元の動画／ｉモーションがあるフォルダに保存されます。

1 **動画一覧画面・一時停止中・再生終了時 ▶(機能)▶ｉモーション編集**

ｉモーション編集画面

- またはで音量を調節できます。

次ページにつづく

2 (機能)
▶動画／iモーションを編集

操作方法についてはP.326～P.328をご覧ください。

3 (保存)を押す

●編集した動画／iモーションを保存しない場合は、またはを押して「YES」を選択します。

4 YES

編集した動画／iモーションが保存されます。
●保存されているiモーションがいっぱいのときはP.211参照。

■iモーション編集中・デモ再生中の操作

操作	ボタン操作
一時停止	(‖)を押します。 再度(▶)を押すと再生されます。
早送り	を押し続けると、押している間映像を早送りします。
早戻し	を押し続けると、押している間映像を早戻しします。
コマ送り	一時停止中にを押します。
コマ戻し	一時停止中にを押します。
音量調節	または▲▼を押します。

●状況によっては実行できない操作もあります。

お知らせ
●以下の動画／iモーションは編集できません。
・サイトもしくはiモードメールから取得した「ファイル制限」、「再生制限」ありのファイル
・QCIF（176×144）、Sub-QCIF（128×96）サイズ以外のファイル
・microSDメモリーカードに保存されているファイル
●iモーションによっては編集できない場合があります。
●iモーション編集により、画質が劣化したりファイルサイズが増減することがあります。
●編集中に電話がかかってきたり、電池がなくなった場合、FOMA端末を閉じた場合は、確定した編集内容を反映した状態で保存されます。ただし、保存されているiモーションがいっぱいのときは保存されません。

iモーション編集画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
iモーション切り出し	動画／iモーションを切り出します。(P.326参照)
ピクチャ切り出し	静止画を切り出して保存します。 **▶でフレームを表示して(確定)▶YES▶フォルダを選択** ●保存されている画像がいっぱいのときはP.211参照。
アフレコ編集	音声を録音します。(P.327参照)
テロップ編集	テロップを編集します。(P.327参照)
メール(小)切り出し	動画／iモーションを約500Kバイト以下のサイズに切り出します。 **▶で開始フレームを表示して(始点)を押す** 動画／iモーションが再生されます。約500Kバイトのサイズになると、自動的に再生が停止します。 **▶(確定)** ●(デモ)を押すとデモ再生され、編集した動画／iモーションを確認できます。
iモードメール添付	iモーションメールを作成します。(P.323参照)
ファイル制限	ファイル制限を設定します。(P.312参照)

iモーション切り出し

iモーションから任意の範囲を切り出します。

1 iモーション編集画面▶(機能)
▶iモーション切り出し

2 で開始フレームを表示して
(始点)を押す

開始フレームが設定され、動画／iモーションが再生されます。

3 切り出したいところまで再生したら
(‖)を押す

動画／iモーションの再生が一時停止します。

4 で終了フレームを表示して
(終点)を押す

切り出した範囲が再生されます。
●ファイルサイズが約2Mバイトになると自動的に終了フレームが設定されます。

5 (確定)を押す

●(デモ)を押すとデモ再生され、編集した動画／iモーションを確認できます。

お知らせ
●iモーション切り出しを行うと、再生時間が長くなる場合があります。

アフレコ編集

iモーションの任意の範囲に音声を録音します。

1 **iモーション編集画面▶iα(機能)▶アフレコ編集**

2 **✉(始点)を押す**

録音が開始されます。送話口に向かってお話しください。

- 平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)を接続しているときは、平型スイッチ付イヤホンマイクのマイクから録音します。
- 動画／iモーションの途中から録音したい場合は、◉(▶)を押して動画／iモーションを再生します。

3 **✉(終点)を押す**

録音が終了します。

- 続けて録音する場合は、手順2〜手順3を繰り返します。

4 **◉(完了)を押す**

アフレコ編集が終了します。

5 **◉(確定)を押す**

- ✉(デモ)を押すとデモ再生され、編集した動画／iモーションを確認できます。

テロップ編集

iモーションのテロップ情報(再生中に表示される文字情報)を作成・編集します。

「新規作成」の場合

1つの動画／iモーションに作成できるテロップは5つまでです。

1 **iモーション編集画面▶iα(機能)▶テロップ編集▶新規作成**

2 **開始フレームを表示して✉(始点)を押す**

- 早戻しにより、以前設定したテロップの終点に到達した場合、始点を決定する旨の確認画面が表示されます。「YES」を選択すると始点が決定され、前のテロップと隙間なくテロップを作成できます。

3 **テロップを入力**

- 全角20文字まで、半角40文字まで入力できます。

4 **テロップ効果を選択▶効果の内容を選択**

- 続けてテロップ効果を設定する場合は、手順4を繰り返します。
- テロップ効果の設定を終了する場合は、「設定完了」を選択します。

5 **◉で終了フレームを表示して✉(終点)を押す**

- 開始フレームから終了フレームまで十分な間隔がない場合、終了フレームを選択できない場合があります。
- 他のテロップが設定されているフレームを表示した場合、終了フレームを決定する旨の確認画面が表示されます。「YES」を選択すると終了フレームが決定され、他のテロップと隙間なくテロップを作成できます。

6 **iα(機能)▶テロップ編集完了**

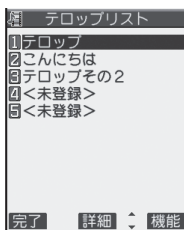
- テロップの作成を続ける場合は手順2〜手順5を繰り返します。

7 **◉(確定)を押す**

- ✉(デモ)を押すとデモ再生され、編集した動画／iモーションを確認できます。
- iα(修正)を押すとテロップリスト画面が表示され、作成したテロップを修正できます。

「編集」の場合

1 **iモーション編集画面▶iα(機能)▶テロップ編集▶YES▶編集**

テロップリスト
1テロップ
2こんにちは
3テロップその2
4<未登録>
5<未登録>
完了 詳細 機能

テロップリスト画面

登録されているテロップが表示されます。

- テロップが1つも登録されていない場合は、編集できません。

次ページにつづく

2 テロップを選んで🅸(機能)▶項目を選択

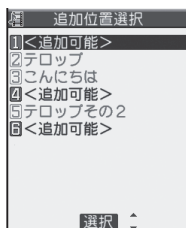
文字変更……P.327「新規作成」手順3参照
効果変更……P.327「新規作成」手順4参照
開始位置変更‥P.327「新規作成」手順2参照
終了位置変更‥P.327「新規作成」手順5参照
テロップ追加‥P.328「テロップ追加」参照
テロップ削除‥テロップを削除します。「YES」を選択します。

- テロップを選んで◉(詳細)を押すと、そのテロップの詳細が確認できます。確認が終われば(chクリア)を押します。
- 続けてテロップを編集する場合は、手順2を繰り返します。

3 テロップリスト画面で✉(完了)▶◉(確定)

テロップ追加

テロップを追加します。1つの動画/iモーションに作成できるテロップは5つまでです。

1 テロップリスト画面▶🅸(機能)▶テロップ追加

上が先頭フレーム、下が最終フレームと見立てて、テロップを追加できる位置が表示されます。

2 <追加可能>

P.327「新規作成」手順2~手順5へ進みます。

- 5つのテロップを作成した場合は、テロップリスト画面に戻ります。✉(完了)を押し、◉(確定)を押します。
- テロップが5つ未満の場合は、P.327手順6~手順7へ進みます。

お知らせ

- 赤外線通信やデータ通信で取得したiモーションなどでテロップが6つ以上登録されていた場合は、編集時に6つ目以降のテロップは削除されます。また、全角20文字を超えるテロップは全角21文字目以降が削除され、対応していない効果なども削除されます。
- FOMA P903i未対応のテロップ効果は削除・変更される場合があります。
- テロップ編集を行うと、編集したデータは着信音に設定できません。

iモーション編集中・デモ再生一時停止中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
通常再生	通常の速度で再生します。
スロー再生	通常の約1/2の速度で再生します。
早見再生(1.25倍速)	通常の約1.25倍の速度で再生します。
早見再生(2倍速)	通常の約2倍の速度で再生します。
始点	iモーション切り出し、メール(小)切り出しの開始フレームを設定します。
終点	iモーション切り出しの終了フレームを設定します。
確定	ピクチャ切り出しのフレームを設定します。
停止	停止します。
テロップ表示始点	テロップ編集の開始フレームを設定します。
テロップ表示終点	テロップ編集の終了フレームを設定します。
テロップ編集完了	テロップ編集を終了します。

<キャラ電>

キャラ電とは

キャラ電とは、テレビ電話画像として相手に送れるお客様の分身キャラクタのことです。
キャラ電プレーヤーでキャラ電を再生したり、キャラ電を撮影したりできます。

■お買い上げ時に登録されているキャラ電

男性

女性

Dimo

■お買い上げ時に登録されているキャラ電の操作
●機能メニューから操作する場合はP.330参照。

ボタン	男性	女性	Dimo
1	手を振る	手を振る	笑う
2	笑う	笑う	泣く
3	悲しむ	悲しむ	怒る
4	喜ぶ	喜ぶ	こんにちは
5	困る	困る	OK
6	はい	はい	NG
7	いいえ	いいえ	サメ
8	拍手する	拍手する	博士風メガネ
9	驚く	驚く	ガーン

●お買い上げ時に登録されているキャラ電にはパーツアクションはありません。
●これらのキャラ電は削除できます。「P-SQUARE」のサイトから再びダウンロードできます。ダウンロード時と異なるFOMAカードを使用中は、FOMAカード動作制限機能がかかります。(P.39参照)

<キャラ電プレーヤー>

キャラ電を表示して操作する

登録されているキャラ電を表示します。
ボタン操作によりキャラ電にアクションを付けることができます。

●キャラ電によっては、送話口に向かって話した音声に合わせて自動で動くものもあります。

1 メニュー▶データBOX▶**キャラ電**▶**キャラ電を選択**

キャラ電一覧画面　キャラ電表示画面

■キャラ電操作のボタン割当
「アクション一覧」で操作できるアクションを確認できます。

ボタン操作	内容
1～9 #1～#9※1※2 (全体アクションモード時)	全体アクション: 身体全体でアクションを表現します。
11～99※1 (パーツアクションモード時)	パーツアクション: 身体の一部でアクションを表現します。
0	実行中のアクションを中断します。
*	「アクション一覧」を表示します。
✉	アクションモードを切り替えます。

※1 お買い上げ時に登録されているキャラ電では利用できません。
※2 1桁目の#を取り消すにはもう一度#を押します。

お知らせ
●操作できるアクション数はキャラ電により異なります。

キャラ電一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
キャラ電発信	キャラ電を利用してテレビ電話をかけます。(P.83参照)
代替画像設定	代替画像に設定します。(P.83参照)
キャラ電撮影	キャラ電を撮影します。(P.330参照)
タイトル編集	▶**タイトルを入力** ●全角18文字まで、半角36文字まで入力できます。
情報表示	キャラ電のタイトル、ファイル名などを表示します。 ●◎で画面をスクロールして確認できます。 ●確認が終わればchクリアを押します。
保存容量確認	空き容量と保存容量(目安)を表示します。 ●確認が終わればchクリアを押します。
デスクトップ貼付	デスクトップに貼り付けます。(P.149参照)
1件削除	▶YES

次ページにつづく

機能メニュー	操作・補足
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES ●お買い上げ時にインストールされているキャラ電も削除されます。
複数選択	複数のキャラ電を選択して削除します。 ▶削除したいキャラ電にチェック ▶(i)(機能)▶削除▶YES
表示サイズ設定 お買い上げ時 画面サイズで表示	キャラ電を等倍で表示するか画面サイズで表示するかを設定します。 ▶等倍表示・画面サイズで表示
タイトル初期化	タイトルを編集前のタイトルに戻します。 ▶YES

お知らせ

<情報表示>

●「撮影後ファイル制限」とは、キャラ電撮影により作成された静止画・動画のメールへの添付、microSDメモリーカードへの保存、編集などを規制するかどうかを表したものです。

<1件削除><全削除><複数選択>

●代替画像に設定しているDimo以外のキャラ電を削除した場合、代替画像はDimoに設定されます。Dimoを削除した場合、「内蔵」の代替画像を送信します。

キャラ電表示画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
キャラ電発信	キャラ電を利用してテレビ電話をかけます。(P.83参照)
代替画像設定	代替画像に設定します。(P.83参照)
キャラ電撮影	キャラ電を撮影します。(P.330参照)
デスクトップ貼付	デスクトップに貼り付けます。(P.149参照)
アクション一覧	操作できるアクションの一覧を表示します。 ●アクションを選んで◎(選択)を押すとアクションを実行でき、✉(詳細)を押すとアクションの詳細を確認できます。 ●(＊)を押してもアクション一覧を表示できます。
アクション切替 お買い上げ時 全体アクションモード	アクションモードを全体アクションモード(▣)またはパーツアクションモード(▣)に切り替えます。 ●✉を押しても切り替えることができます。
情報表示	情報を表示します。(P.329参照)
表示サイズ設定	表示方法を設定します。(P.330参照)

<キャラ電撮影>

キャラ電を撮影する

表示されているキャラ電を、静止画や動画として撮影します。

1 (メニュー)▶(データBOX)▶**キャラ電**
▶**撮影したいキャラ電を選択**
▶(i)(機能)▶**キャラ電撮影**

キャラ電撮影画面

●キャラ電一覧画面の機能メニューからも選択できます。

静止画を撮影する

1 **キャラ電撮影画面で「📷」を表示して◎(撮影)を押す**

表示中のキャラ電の静止画が撮影されます。

●「🎥」が表示されているときは▲を押して「📷」を表示します。

2 **◎(保存)を押す**

撮影した静止画を「カメラ」フォルダに保存します。

動画を撮影する

1 **キャラ電撮影画面で「🎥」を表示して◎(撮影)を押す**

表示中のキャラ電の録画を開始します。

●「📷」が表示されているときは▲を押して「🎥」を表示します。

2 **◎(終了)▶◎(保存)**

撮影した動画を「カメラ」フォルダに保存します。

お知らせ

●画像サイズはQCIF(176×144)に固定されます。

●マナーモード中や「着信音量」の「電話」や「メール」が「消去」に設定されている場合は、撮影確認音・撮影開始音・撮影終了音は鳴りません。

●「映像／音声選択」が「映像＋音声」に設定されている場合は、音声も録音されます。(平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)を接続しているときは、イヤホンマイクから音声が録音されます。)

キャラ電撮影画面の機能メニュー

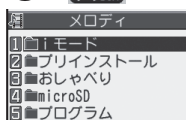
機能メニュー	操作・補足
キャラ電切替	▶表示したいキャラ電を選択
代替画像設定	代替画像に設定します。(P.83参照)
アクション一覧	アクション一覧を表示します。(P.330参照)
アクション切替	アクションを切り替えます。(P.330参照)
表示サイズ設定	表示方法を設定します。(P.330参照)
記録サイズ設定 お買い上げ時 QCIF(176×144)	キャラ電の静止画を撮影、保存する際の画像サイズを設定します。フォトモード時のみ設定できます。 ▶QCIF(176×144)・縮小サイズ(117×96)
映像／音声選択 お買い上げ時 映像＋音声	キャラ電の動画を撮影、保存する際の映像・音声の有無を設定します。ムービーモード時のみ設定できます。 ▶映像＋音声・映像のみ
記録品質設定 お買い上げ時 標準	キャラ電の動画を保存する際の画質を設定します。ムービーモード時のみ設定できます。 ▶画質を選択

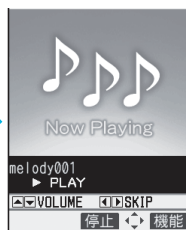
お知らせ

<キャラ電切替>
- ●キャラ電を切り替えると、アクションモードは「全体アクションモード」になります。

<メロディプレーヤー>

メロディを再生する

1 メニュー▶▶**メロディ**

メロディフォルダ一覧画面

2 **フォルダを選択▶メロディを選択**

メロディ一覧画面　メロディ再生画面

- ●他の機能でフォルダやメロディを選択するときは、機能によって表示されないフォルダやメロディがあります。また、メロディ選択中は確認のためにメロディが再生される場合や、✉(デモ)を押してメロディを再生できる場合があります。

プログラム再生

プログラム編集で選択したメロディを繰り返し再生します。

1 メニュー▶▶**メロディ▶プログラム**

- ●再生を止めるには●(停止)を押します。

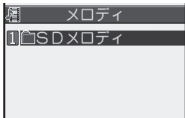
■メロディ再生時の操作

操作	ボタン操作
停止	●(停止)、📞、📱、0〜9、＊、＃、✉、📷、🔊を押します。
音量調節	○または▲▼を押します。押し続けると連続して音量が調節されます。
次のファイルを再生※	○を押します。
前のファイルを再生※	○を押します。

※メロディ一覧画面から再生した場合、有効です。

次ページにつづく

■メロディフォルダ一覧画面で「microSD」を選択したときは

1. 項目を選択
   メロディ
   . . . FOMA端末からコピーしたメロディを表示します。
   移行可能コンテンツ
   . . . FOMA端末から移動した著作権のあるメロディを表示します。
2. フォルダを選択
   メロディの一覧が表示されます。

microSDメロディフォルダ一覧画面

お知らせ

- FOMA端末を閉じてもメロディは再生されます。
- メロディは「着信音量」の「電話」で設定されている音量で再生されます。「着信音量」の「電話」が「消去」または「ステップ」に設定されていると、「レベル2」で再生されます。ただし、メロディ選択中に再生されるメロディの場合、鳴りません。
- 再生中に音量を変更しても、メロディプレーヤーを終了すると「着信音量」の「電話」で設定されている音量に戻ります。

メロディフォルダ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
フォルダ追加	ユーザフォルダを新規作成します。20件まで作成できます。 ▶**フォルダ名を入力** ●全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。
フォルダ名編集	ユーザフォルダのフォルダ名を編集します。 ▶**フォルダ名を入力** ●全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。
フォルダ削除	ユーザフォルダとフォルダ内のすべてのメロディを削除します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶YES
プログラム編集	メロディなどを10曲まで選択して、好きな順にプログラム編集します。「プログラム」を選択中に表示されます。 ▶**プログラム順＜1曲目＞～＜10曲目＞を選択**▶**フォルダを選択** ▶**メロディを選択** ●登録済みのメロディを解除する場合は「メロディ解除」を選択します。 ▶**操作を繰り返してプログラム編集を完了させる**▶(✉)(完了)
プログラム解除	編集したプログラムをすべて解除します。「プログラム」を選択中に表示されます。 ▶YES

お知らせ

＜フォルダ削除＞
- 他の機能に設定していたメロディを削除するとお買い上げ時の設定に戻ります。(「スケジュール」、「ToDo」のアラーム音や「アラーム」に設定されていた場合、「時刻アラーム音」になります。)

＜プログラム編集＞
- プログラムに登録したメロディのファイル名、タイトルや内容を変更したり削除したりすると、プログラムは全解除されます。

microSDメロディフォルダ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
フォルダ名編集	▶**フォルダ名を入力** ●全角31文字まで、半角63文字まで入力できます。「移行可能コンテンツ」フォルダ内の場合は、全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。
フォルダ追加	▶**フォルダ名を入力** ●全角31文字まで、半角63文字まで入力できます。「移行可能コンテンツ」フォルダ内の場合は、全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。
フォルダ削除	▶**端末暗証番号を入力**▶YES
保存先フォルダ選択	メロディをmicroSDメモリーカードに保存する際の保存先フォルダを設定します。 ▶YES

お知らせ

＜フォルダ名編集＞
- 「SDメロディ」フォルダはタイトル編集できません。

＜フォルダ追加＞
- microSDメモリーカード内の「メロディ」内フォルダ数が999件のときはフォルダ作成できません。

お知らせ

<フォルダ削除>
- 「SDメロディ」フォルダは削除できません。
- フォルダ内に非対応ファイルが含まれているフォルダは削除できません。

<保存先フォルダ選択>
- 保存先に設定されたフォルダには以下のアイコンが表示されます。
 「 」. .「メロディ」フォルダ内のフォルダ
 「 」. .「移行可能コンテンツ」フォルダ内のフォルダ
- microSDメモリーカードの保存先フォルダは、microSDチェックディスクを行ったり、パソコンでフォルダを作成・編集すると、保存先フォルダが変更される場合があります。設定が変更された場合は、再度保存先フォルダを設定してください。

メロディ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
タイトル編集	▶タイトルを編集 ●全角25文字まで、半角50文字まで入力できます。
ファイル名編集	▶ファイル名を編集 ●半角英数字で36文字(拡張子を除く)まで入力できます。
メロディ再生	メロディを再生します。(P.331参照)
着信音設定	▶着信の種類を選択 ●設定された項目には「★」マークが付きます。
ファイル制限	選択したメロディのファイル制限を設定します。 ▶なし・あり ●ファイル制限についてはP.192参照。
デスクトップ貼付	デスクトップに貼り付けます。(P.149参照)
ｉモードメール添付	選択しているメロディをｉモードメールに添付して作成します。 P.228手順2へ進みます。
赤外線送信	赤外線で1件送信します。(P.346参照)
iC送信	iC通信で1件送信します。(P.348参照)
microSDへコピー	microSDメモリーカードへ1件コピーします。(P.338参照)
メロディ情報	メロディのタイトル、ファイル名などを表示します。 ●(◎)で画面をスクロールして確認できます。 ●確認が終われば(ch/クリア)を押します。
本体へコピー	FOMA端末に1件コピーします。(P.339参照)
本体へ移動	「移行可能コンテンツ」フォルダ内のメロディをFOMA端末に1件移動します。(P.339参照)
コピー	microSDメモリーカード内のメロディをmicroSDメモリーカード内の別のフォルダにコピーします。 ▶コピー先を選択
保存容量確認	空き容量と保存容量(目安)を表示します。 ●確認が終われば(ch/クリア)を押します。
タイトル初期化	タイトルを編集前のタイトルに戻します。 ▶YES
削除(1件削除)	FOMA端末内のメロディを1件削除します。 ▶1件削除▶YES
削除(選択削除)	FOMA端末内のメロディを選択して削除します。 ▶選択削除▶削除したいメロディにチェック▶(✉)(完了)▶YES
削除(全削除)	FOMA端末内の選択したフォルダに保存されているすべてのメロディを削除します。 ▶全削除▶端末暗証番号を入力▶YES
1件削除	microSDメモリーカード内のメロディを1件削除します。 ▶YES
全削除	microSDメモリーカード内の選択したフォルダに保存されているすべてのメロディを削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES
複数選択	microSDメモリーカード内の複数のメロディを選択して操作します。 ▶操作したいメロディにチェック ▶(i)(機能)▶項目を選択 削除. . . . . . . P.333「1件削除」参照 コピー. . . . . P.333参照 フォルダ移動 . . . . P.334参照 全選択. . . . . 全選択します。 全選択解除. . 選択をすべて解除します。
ソート	表示される順番を変更します。 ▶順番を選択

次ページにつづく

機能メニュー	操作・補足
フォルダ移動	メロディを別のフォルダに移動します。 ▶移動先のフォルダを選択 ▶移動したいメロディにチェック ▶✉(完了)▶YES ●第2階層目以降にフォルダがある場合は、✉(フォルダ)を押すと表示できます。上の階層に戻すにはiα(フォルダ)を押します。 ●microSDメモリーカード内の場合は、メロディをチェックする操作は不要です。
microSDへ移動	microSDメモリーカードに1件移動します。(P.339参照)
フォルダ追加	「移行可能コンテンツ」フォルダ内にフォルダを作成します。7階層まで作成できます。(P.332参照)
フォルダ削除	「移行可能コンテンツ」フォルダ内のフォルダを削除します。(P.332参照)
保存先フォルダ選択	「移行可能コンテンツ」フォルダ内の保存先フォルダを選択します。7階層までのフォルダに対して設定できます。(P.332参照)

お知らせ

<ファイル名編集>
●取得元アイコンが「」や「」で、「」や「」のアイコンが表示されているメロディはファイル名を変更できません。
●記号など、一部の文字はファイル名に使用できません。
<ファイル制限>
●取得元アイコンが「」のメロディにのみファイル制限を設定できます。
●ファイル制限を設定することによって100Kバイトを超える場合、ファイル制限を設定できません。
<ｉモードメール添付>
●取得元アイコンが「」や「」で、「」や「」のメロディ、100Kバイトを超えるメロディは添付できません。
<メロディ情報>
●メロディ情報のファイル制限が「なし」でも、ｉモードメールに添付できないことがあります。
<削除>
●他の機能に設定していたメロディを削除するとお買い上げ時の設定に戻ります。(「スケジュール」、「ToDo」のアラーム音や「アラーム」に設定されていた場合、「時刻アラーム音」になります。)
<ソート>
●ソート機能でメロディ一覧を表示させたあとその画面を終了し、再度メロディ一覧画面を表示したときは、「新しい順」に戻ります。

メロディ再生画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
着信音設定	着信音に設定します。(P.333参照)
デスクトップ貼付	デスクトップに貼り付けます。(P.149参照)
ｉモードメール添付	ｉモードメールを作成します。(P.333参照)
メロディ情報	メロディの情報を表示します。(P.333参照)
microSDへコピー	microSDメモリーカードへ1件コピーします。(P.338参照)
本体へコピー	FOMA端末に1件コピーします。(P.339参照)

microSDメモリーカードについて

microSDメモリーカードをご利用になるには、別途microSDメモリーカードが必要となります。microSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。

●FOMA P903iは、2GバイトまでのmicroSDメモリーカード(市販品)に対応しています。
最新の動作確認状況については下記をご覧ください。
ｉモード　　ｉMenu→メニュー／検索→ケータイ電話メーカー→P-SQUARE
パソコンなど　http://panasonic.jp/mobile/

サイト接続用QRコード

ただし、すべてのmicroSDメモリーカードの動作を保証するものではありません。
●カード処理を行っているときは「」が表示されます。カード処理を行っているときは絶対にmicroSDメモリーカードを抜いたり、FOMA端末の電源を切らないでください。カード処理を行っていないことを確認してからFOMA端末の電源を切って、microSDメモリーカードを抜いてください。
●本体・microSDメモリーカード内のデータが多い場合、アクセスに時間がかかることがあります。
●microSDメモリーカードには寿命があります。長期間ご使用になると、新しくデータを書き込めなかったり、使用できなくなることがあります。
●FOMA端末では、ダウンロードしたファイル制限のある静止画、ｉモーション、メロディ、着うたフル®、ｉアプリをmicroSDメモリーカードに保存できます。IP(サービス提供者)が許可していない場合は、保存できません。

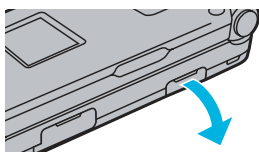
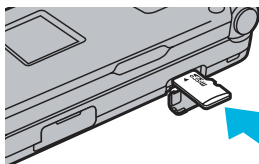
お知らせ

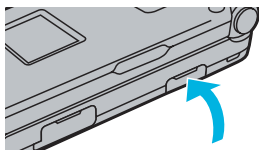
- パソコンなど他機器でフォーマットしたmicroSDメモリーカードは使用できないことがあります。必ずFOMA P903iでフォーマットしたmicroSDメモリーカードをご使用ください。
- 本FOMA端末以外の機器でmicroSDメモリーカードの読み書きを行うと、ご利用の機器や操作方法によってはmicroSDメモリーカードが使用できなくなる場合があります。
- パソコンなど他機器で使用しているmicroSDメモリーカードをFOMA P903iで使用すると、FOMA P903iで使用するための新しいファイルやフォルダが作成されます。

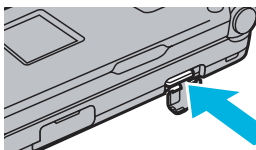
フォーマットを行うと、microSDメモリーカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

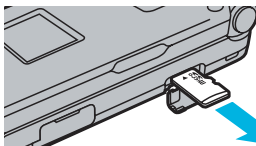
microSDメモリーカードの取り付けかた／取り外しかた

■取り付けかた

1 microSDメモリーカード差込口のカバーを開ける

2 microSDメモリーカードのおもて面を上に向けて差し込む

- 「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。

3 microSDメモリーカード差込口のカバーを閉める

■取り外しかた

1 取り付けかたの手順1に従ってカバーを開け、microSDメモリーカードをいったん奥まで押し込む

- 奥まで押し込むとmicroSDメモリーカードが出ます。

2 microSDメモリーカードを抜き取る

■画面表示について

microSDメモリーカードを取り付けると以下のアイコンが表示されます。

SD：データを保存したり読み出したりできます。

SD：microSDメモリーカードにライトプロテクトがかかっています。データの保存、「microSDチェックディスク」、「microSDフォーマット」はできません。

SD：microSDメモリーカードを使用できません。microSDメモリーカードを取り外して、再度取り付けてください。
それでも「SD」が表示される場合は、「microSDチェックディスク」または「microSDフォーマット」を行ってください。

お知らせ

- FOMA端末の電源を入れた状態で取り付けたり取り外したりしないでください。microSDメモリーカードに損傷を与えたり、データが壊れることがあります。
- microSDメモリーカードを取り付けたり取り外したりするときは、飛び出すことがありますので注意してください。
- microSDメモリーカードの向きを確認してまっすぐに出し入れしてください。斜めに差し込むとmicroSDメモリーカードが破損する恐れがあります。
- microSDメモリーカードを取り付けたあと、最初の読み込みまたは書き込みができるまで時間がかかることがあります。

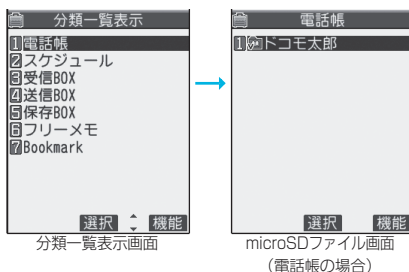
<SD-PIM>

microSDメモリーカードのデータを表示する

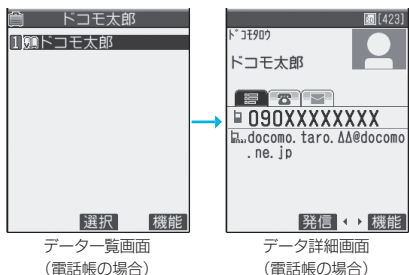
microSDメモリーカードに登録している電話帳、スケジュール、ToDo、メール、フリーメモ、ブックマークを表示します。

- 電話帳、メール、ブックマークの詳細画面では、FOMA端末内のデータを表示したときと同様の操作が行えます。
  電話帳の詳しい操作についてはP.121参照。
  メールの詳しい操作についてはP.253参照。
  ブックマークの詳しい操作についてはP.206参照。

1 メニュー▶LifeKit▶SD-PIM▶分類を選択

分類一覧表示画面　microSDファイル画面（電話帳の場合）

- 「スケジュール」を選択すると、ToDoも表示されます。

2 ファイルを選択▶データを選択

データ一覧画面（電話帳の場合）　データ詳細画面（電話帳の場合）

分類一覧表示画面・microSDファイル画面・データ一覧画面・データ詳細画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
タイトル編集	▶タイトルを入力 ●全角15文字まで、半角31文字まで入力できます。
本体へ追加コピー	FOMA端末に追加でコピーします。(P.337参照)
本体へ上書コピー	FOMA端末に上書きでコピーします。(P.338参照)
1件本体へ追加コピー	FOMA端末に追加で1件コピーします。(P.337参照)
全件本体へ追加コピー	FOMA端末に追加で全件コピーします。(P.337参照)
全件本体へ上書コピー	FOMA端末に上書きで全件コピーします。(P.337参照)
microSDへコピー	FOMA端末からmicroSDメモリーカードへコピーします。(P.337参照)
1件削除	▶YES
全削除	現在表示している分類にあるファイルを全件削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES
microSD情報表示	microSDメモリーカードの容量を表示します。(P.341参照)
プロパティ表示	データ詳細画面を表示します。
microSDフォーマット	microSDメモリーカードをフォーマットします。(P.340参照)
microSDチェックディスク	microSDメモリーカードをチェックします。(P.341参照)

お知らせ

<1件削除><全削除>
- パソコンなどでアクセス権が読み取り専用に設定されている場合、削除するかどうかの確認画面が表示されます。

FOMA端末内のデータをmicroSDメモリーカードへコピーする

FOMA端末に登録している電話帳、スケジュール、ToDo、メール、フリーメモ、ブックマークをmicroSDメモリーカードにコピーします。

1件microSDへコピー

FOMA端末内の1件のデータをmicroSDメモリーカードにコピーします。コピーしたデータは、1件が1ファイルとして保存されます。
電話帳データに登録したシークレットコードはコピーされません。

1 コピーしたいデータの画面▶i(機能)▶microSDへコピー▶YES

全件microSDへコピー

分類一覧画面で選択している分類やmicroSDファイル画面で表示している分類のデータをFOMA端末からmicroSDメモリーカードにコピーします。コピーしたデータは、全件が1ファイルとして保存されます。
電話帳データに登録したシークレットコードやボイスダイヤルはコピーされません。

1 分類一覧表示画面・microSDファイル画面▶ⓘα(機能)▶microSDへコピー▶端末暗証番号を入力▶YES

- スケジュールをコピーするときは、「スケジュール」･「ToDo」･「すべて」(スケジュールとToDo)のいずれかを選択します。

お知らせ

- シークレットで登録されているデータを1件コピーした場合、通常のデータとしてコピーされます。
- データを全件コピーした場合、シークレットで登録されているデータもコピーされます。
- 電話帳を全件コピーした場合、プッシュトーク電話帳の情報や「自局番号表示」の内容もコピーされます。
- メールのコピーを行った場合、メールに添付されているファイルは種類によっては削除されることがあります。
- ｉアプリを起動させるリンクのあるメールをコピーした場合、そのメール内のｉアプリ起動に関する情報は削除されます。
- コピー中は圏外と同じ状態になります。

microSDメモリーカード内のデータをFOMA端末にコピーする

microSDメモリーカードに保存している電話帳、スケジュール、ToDo、メール、フリーメモ、ブックマークをFOMA端末にコピーします。

- microSDメモリーカードに保存できる件数についてはP.343参照。

1件本体へ追加コピー

データ一覧画面で選択しているデータや、データ詳細画面で表示しているデータをFOMA端末にコピーします。

1 データ一覧画面・データ詳細画面▶ⓘα(機能)▶1件本体へ追加コピー▶YES

全ファイル本体へ追加コピー

分類一覧表示画面で選択している分類の全ファイルの全データや、microSDファイル画面で表示している全ファイルの全データをFOMA端末にコピーします。
FOMA端末内のデータに追加登録されます。

1 分類一覧表示画面▶ⓘα(機能)▶全件本体へ追加コピー▶端末暗証番号を入力▶YES
または
microSDファイル画面▶ⓘα(機能)▶全件本体へ追加コピー▶端末暗証番号を入力▶YES

1ファイル本体へ追加コピー

microSDファイル画面で選択している1ファイル内の全データや、データ一覧画面で表示している全データをFOMA端末にコピーします。
FOMA端末内のデータに追加登録されます。

1 microSDファイル画面▶ⓘα(機能)▶本体へ追加コピー▶端末暗証番号を入力▶YES
または
データ一覧画面▶ⓘα(機能)▶全件本体へ追加コピー▶端末暗証番号を入力▶YES

全ファイル本体へ上書コピー

分類一覧表示画面で選択している分類の全ファイルの全データや、microSDファイル画面で表示している全ファイルの全データをFOMA端末にコピーします。
FOMA端末内のデータに上書登録されるため、FOMA端末内に登録されているデータは消去されますのでご注意ください。

1 分類一覧表示画面▶ⓘα(機能)▶全件本体へ上書コピー▶端末暗証番号を入力▶YES▶YES
または
microSDファイル画面▶ⓘα(機能)▶全件本体へ上書コピー▶端末暗証番号を入力▶YES▶YES

次ページにつづく

1ファイル本体へ上書コピー

microSDファイル画面で選択している1ファイル内の全データや、データ一覧画面で表示している全データをFOMA端末にコピーします。
FOMA端末内のデータに上書登録されるため、FOMA端末内に登録されているデータは消去されますのでご注意ください。

1 **microSDファイル画面▶ (機能)▶本体へ上書コピー▶端末暗証番号を入力▶YES▶YES**
または
データ一覧画面▶ (機能)▶全件本体へ上書コピー▶端末暗証番号を入力▶YES▶YES

お知らせ

- コピー中にFOMA端末の容量がいっぱいになった場合は、途中でコピーが中断されます。コピー済みのデータは登録されます。
- 電話帳を追加コピー時、microSDファイルに登録されているグループ番号･グループ名がFOMA端末に登録されているグループ番号･グループ名と異なる場合、グループは設定されません。
- 電話帳をコピーすると、プッシュトーク電話帳にも登録されます。上書きでコピーするとプッシュトークグループの内容も上書きされます。
「1件本体へ追加コピー」した場合は、登録するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択する（複数の電話番号が登録されている場合は、電話番号を選択する）とプッシュトーク電話帳にも登録されます。
- 電話帳を上書きでコピーすると、ボイスダイヤルは削除されます。
- 電話帳を上書きでコピーした場合は、先頭のデータを「自局番号表示」に設定するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると「自局番号表示」に設定されます。「NO」を選択すると「自局番号表示」は設定されずに全データが電話帳に登録されます。
- 送信BOX、受信BOXがいっぱいのときにメールを1件コピーすると、保護されていない最も古いメール（受信メールの場合は既読メール）が上書きされます。
- 「全件本体へ追加コピー」した場合、以下のデータはコピーされません。
  - ･日付時刻の設定が同じスケジュール
  - ･同じURLのブックマーク
- microSDメモリーカードに保存されているファイル数が多くなると、読み込みまたは書き込みに時間がかかる場合があります。
- コピー中は圏外と同じ状態になります。

静止画や動画などをコピーする

FOMA端末内のファイルをmicroSDメモリーカードへコピーする

FOMA端末内のファイルをmicroSDメモリーカードへコピーします。
コピー先とファイル名は以下のとおりです。

静止画（DCF規格）	「ピクチャ」内の保存先フォルダ PXXXXXXX（Xは数字）
静止画（DCF規格外）	「イメージボックス」内の保存先フォルダ STILXXXX（Xは数字）
静止画（デコメ絵文字）	「デコメ絵文字」内の保存先フォルダ DIMGXXXX（Xは数字）
動画（映像あり）	「ムービー」内の保存先フォルダ MOLXXX（Xは英数字）
動画（映像なし）	「その他コンテンツ」内の保存先フォルダ MMFXXXX（Xは数字）
メロディ	保存先フォルダ RINGXXX（Xは数字）
PDF	保存先フォルダ PDFDCXXX（Xは数字）

1 **静止画一覧画面･静止画再生中･動画一覧画面･メロディ一覧画面･メロディ再生中･PDFデータ一覧画面▶ (機能)▶microSDへコピー**
- 中止する場合は（中止）を押します。
- 「複数選択」でコピーしたいファイルを選択しておくと、複数ファイルを一度にコピーできます。

お知らせ

- 「iモード」、「カメラ」、「ユーザフォルダ」、「デコメピクチャ」、「デコメ絵文字」内のJPEGファイル、GIFファイル、MP4ファイル、MFiファイル、SMFファイル、PDFデータをコピーできます。
- JPEGファイル、GIFファイル、MP4ファイルのみ複数コピーできます。
- 保存先フォルダのファイル数がいっぱいのときは、自動的に新しいフォルダを作成して保存します。
静止画以外の場合は、コピーが完了すると「保存先フォルダXXXXXXXに変更しました」（XXXXXXXはフォルダ名）と表示されます。
- 以下のファイルはコピーできません。
  - ･「撮影後ファイル制限あり」のキャラ電を撮影したファイル
  - ･FOMA端末外への出力が禁止されているファイル
  - ･お買い上げ時に登録されているデコメピクチャ
  - ･再生制限付きファイル
  - ･ページ単位で部分的にダウンロードしたPDFデータ

お知らせ

- microSDメモリーカードへコピーすると、画質が劣化したりファイルサイズが大きくなる場合があります。

microSDメモリーカード内のファイルをFOMA端末にコピーする

microSDメモリーカード内にあるファイルを、本体内のｉモードフォルダにコピーします。(デコメ絵文字の場合はデコメ絵文字フォルダにコピーされます。)

1 microSDメモリーカードの静止画一覧画面・静止画再生中・動画一覧画面・動画一時停止中・動画再生終了時・メロディ一覧画面・メロディ再生中・PDFデータ一覧画面▶(機能)▶本体へコピー

- 中止する場合は(中止)を押します。
- 「複数選択」でコピーしたいファイルを選択しておくと、複数ファイルを一度にコピーできます。
- 保存されている画像・ｉモーション・メロディ・PDFデータがいっぱいのときはP.211参照。

お知らせ

- コピー処理中はmicroSDメモリーカードを抜かないでください。
- JPEGファイル、GIFファイル、MP4ファイル、MFiファイル、SMFファイル、PDFデータをコピーできます。ただし、100Kバイトを超えるメロディはコピーできません。
- JPEGファイル、GIFファイル、MP4ファイルのみ複数コピーできます。ただし、ASF形式の動画、QVGA(320×240)サイズの動画、2Mバイトを超える動画は、複数コピーできません。
- 動画コピー時は動画を切り出し・変換・縮小を行うため、画質が劣化したり、ファイルサイズが増減することがあります。
- QVGA(320×240)サイズの動画をコピーする場合、QCIF(176×144)サイズに変換し、テロップ情報が失われる旨の確認画面が表示されます。QVGA(320×240)サイズの動画、ASFファイル、2Mバイトを超えるファイルをコピーする場合、時間がかかる旨の確認画面が表示されます。
- 2Mバイトを超える動画で以下の場合はコピーできません。
  - ・音声コーデックがAAC、AAC+、Enhanced aacPlusのとき
  - ・動画像ビットレートが制限を超えるとき
  - ・シーク(早送り・早戻し)ができないとき
  - ・動画サイズがQVGA(320×240)、QCIF(176×144)、Sub-QCIF(128×96)以外のとき

  上記の条件以外でも動画によってはコピーできない場合があります。

お知らせ

- ASFファイルをコピーすると、再生時間が長くなる場合があります。
- コピー後のファイルのタイトルはmicroSDメモリーカード内で設定したタイトルになります。ただし、microSDメモリーカード内でタイトルを設定していない場合や初期タイトルが不明な場合はファイル名になります。

<コンテンツ移行対応>

著作権のあるファイルを移動する

FOMA端末内のファイルをmicroSDメモリーカードへ移動する

サイトから取得した著作権のあるファイルを暗号化してmicroSDメモリーカードに移動します。移動したファイルは「移行可能コンテンツ」フォルダ内の保存先フォルダ(着うたフル®の場合は保存先に設定されているフォルダ)に保存されます。microSDメモリーカードに移動したファイルには、移動したときと同じFOMAカードを使用している場合のみ操作できるものと、移動したときと同じFOMAカード、機種を使用している場合のみ操作できるものがあります。

- ｉアプリのソフトもmicroSDメモリーカードに移動できます。(P.275参照)

1 静止画一覧画面・動画一覧画面・メロディ一覧画面・着うたフル®一覧画面▶(機能)▶microSDへ移動▶OK

- 中止する場合は(中止)を押します。

お知らせ

- 取得元アイコンが「 」のファイルのみmicroSDメモリーカードへ移動できます。
- 他の機能で設定されているファイルを移動すると、設定が解除されます。

microSDメモリーカード内のファイルをFOMA端末へ移動する

microSDメモリーカード内の著作権のあるファイルをFOMA端末の「ｉモード」フォルダに移動します。

1 microSDメモリーカードの静止画一覧画面・動画一覧画面・メロディ一覧画面・着うたフル®一覧画面▶(機能)▶本体へ移動

- 中止する場合は(中止)を押します。

次ページにつづく

お知らせ

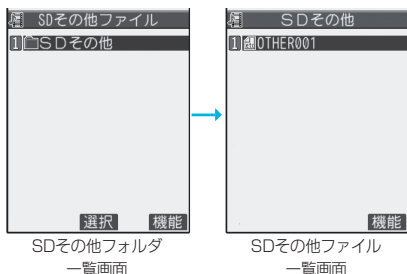
- 著作権のあるファイル(ファイル制限あり)で本体へ移動「可」または「可(同一機種間)」のファイルのみFOMA端末へ移動できます。また、「可(同一機種間)」のファイルはP903i以外のFOMA端末には移動できません。本体へ移動「可」「不可」「可(同一機種間)」を確認するには「ピクチャ情報」「iモーション情報」「メロディ情報」「ミュージック情報」参照。
- 他の機能で設定しているファイルを移動すると、設定が解除されます。
- 移動したファイルは「iモード」フォルダに保存されます。

<SDその他ファイル>

非対応ファイルを管理する

iモードメールで添付されてきたFOMA端末では対応していないさまざまなファイルをmicroSDメモリーカードに保存できます。(P.244参照)
保存したファイルはiモードメールに添付して送信したり、パソコンなどで確認できます。

1 メニュー▶データBOX▶SDその他ファイル▶フォルダを選択

SDその他フォルダ一覧画面　　SDその他ファイル一覧画面

- FOMA端末でファイルの内容は表示できません。

SDその他フォルダ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
フォルダ名編集	フォルダのタイトルを編集します。(P.311参照)
フォルダ追加	フォルダを作成します。(P.311参照)
フォルダ削除	フォルダを削除します。(P.311参照)
保存先フォルダ選択	保存先フォルダを選択します。(P.311参照)

SDその他ファイル一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
タイトル編集	タイトルを編集します。(P.311参照)
ファイル情報	ファイル名やファイル種別などを表示します。 ●◎で画面をスクロールして確認できます。 ●確認が終わればクリアを押します。
iモードメール添付	ファイルを添付してiモードメールを作成します。 P.228手順2へ進みます。
コピー	コピーします。(P.312参照)
フォルダ移動	フォルダ移動します。(P.312参照)
1件削除	1件削除します。(P.312参照)
全削除	全削除します。(P.312参照)
複数選択	複数のファイルを選択します。(P.312参照)
保存容量確認	保存容量を確認します。(P.312参照)

<microSDフォーマット>

microSDメモリーカードをフォーマットする

microSDメモリーカードを初めて利用するときには、フォーマット(初期化)する必要があります。
フォーマットは必ずFOMA P903iで行ってください。パソコンなど他機器でフォーマットしたmicroSDメモリーカードは正常に使用できない場合があります。

フォーマットを行うと、microSDメモリーカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

1 メニュー▶LifeKit▶SD-PIM▶i(機能)▶microSDフォーマット▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

- フォーマット中にmicroSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDメモリーカードの故障の原因となります。
- microSDフォーマット中に✉(中止)や☎を押したり、音声電話、テレビ電話の着信があった場合はフォーマットは中止されます。再度フォーマットしてください。
- フォーマットを中止したmicroSDメモリーカードに保存されたデータの保証はいたしかねます。
- 未対応のメモリーカードはフォーマットできません。
- フォーマット後にmicroSDメモリーカードにデータを保存するときは、必要なフォルダが自動的に作成されます。

＜microSDチェックディスク＞

microSDメモリーカードをチェックする

microSDメモリーカードのチェックを行い、修復します。

1 (メニュー)▶LifeKit▶SD-PIM▶(機能)▶microSDチェックディスク▶YES

お知らせ

- チェックディスク中にmicroSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDメモリーカードの故障の原因となります。
- フォーマットされていないmicroSDメモリーカードや、未対応のメモリーカードはチェックディスクできません。
- microSDメモリーカードのチェックディスクを行った場合、microSDメモリーカードの状態により正常に修復できなかったり、チェックディスク前に存在したデータが削除されたり、カード全体が初期化されることがあります。
- microSDチェックディスク中に(中止)や(電源)を押したり、音声電話、テレビ電話の着信があった場合は、チェックディスクは中止されます。
- microSDチェックディスクを中断した場合、修復中のデータが残る場合があります。このような場合、再度チェックディスクを行ってください。
- microSDメモリーカード内のデータにより、時間がかかる場合があります。

＜microSD情報表示＞

microSDメモリーカードの容量を表示する

microSDメモリーカードの空き容量と保存容量(目安)を表示します。

静止画、動画の保存容量を確認するにはP.312参照。

1 (メニュー)▶LifeKit▶SD-PIM▶(機能)▶microSD情報表示

- 確認が終われば(クリア)を押します。

お知らせ

- microSDメモリーカードにはカード用のシステムファイルが内蔵されているため、データを保存していなくても保存容量はmicroSDメモリーカードに表示された容量より少なくなります。

microSDメモリーカードをパソコンなどで使う

microSDメモリーカードをmicroSDメモリーカードアダプタに接続すると、SDメモリーカード対応のパソコンなどで利用できます。
microSDメモリーカードアダプタは、家電量販店などでお買い求めいただけます。
microSDメモリーカードアダプタの取り付けかたなどは、microSDメモリーカードアダプタの取扱説明書をご覧ください。

FOMA端末をmicroSDリーダーライターとして使う

お買い上げ時	通信モード

microSDメモリーカードをFOMA端末に挿入した状態でパソコンに接続し、microSDメモリーカード内のデータを読み込み／書き込みできます。
以下の機器が必要です。

- 接続ケーブル：FOMA USB接続ケーブル(別売)
- パソコン：FOMA USB接続ケーブル(別売)が使用できるUSBポート(Universal Serial Bus Specification Rev1.1準拠)が使用可能なパソコン
- 対応OS：Windows® 2000、Windows® XP(各日本語版)

1 (メニュー)▶設定▶その他▶USBモード設定▶microSDモード

- 「microSDモード」に設定すると、待受画面に「」が表示されます。
- パケット通信、64Kデータ通信、データ送受信(OBEX)やUSBハンズフリー対応機器での通話で使用する場合は「通信モード」に設定します。

2 **FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブル(別売)で接続する**

パソコンがmicroSDメモリーカードを認識します。

- 待受画面に「」が表示されます。また、microSDメモリーカードを装着中は「」が表示されます。

お知らせ

- FOMA端末とパソコンが正しく接続されていない場合や、FOMA端末の電池残量がほとんど残っていない状態や電池切れの状態では、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。

次ページにつづく

お知らせ

- データの読み込み／書き込み中はFOMA USB接続ケーブルを抜かないでください。データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
- データの読み込み／書き込み中は本機能を設定できません。また、読み込み／書き込み中に「設定リセット」、「端末初期化」は行わないでください。microSDメモリーカードの故障の原因となります。
- FOMA端末から読み込み／書き込み中はパソコンからは読み込み／書き込みできません。また、パソコンからの読み込み／書き込み中はFOMA端末からは読み込み／書き込みできません。
- ドコモケータイdatalinkやデータリンクソフトを使用する場合は、「通信モード」でご利用ください。

microSDメモリーカードのフォルダ構成

FOMA端末はmicroSDメモリーカード内に次のようなフォルダを作成し、そのフォルダ内に保存します。パソコンなどで確認できます。

- DCIM（DCF規格静止画用フォルダ）
  - △△△_PANA
- PRIVATE
  - DOCOMO
    - STILL（DCF規格外静止画フォルダ）
      - SUD□□□
    - DOCUMENT（PDF用フォルダ）
      - PUD□□□
    - RINGER（メロディ用フォルダ）
      - RUD□□□
    - TORUCA（トルカ用フォルダ）
      - TRC□□□
    - MMFILE（SD-VIDEO規格外動画用フォルダ）
      - MUD□□□
    - DECOIMG（デコメ絵文字用フォルダ）
      - DUD□□□
    - OTHER（SDその他ファイル用フォルダ）
      - OUD□□□
    - TABLE（付加情報フォルダ）
- SD_VIDEO（動画用フォルダ〔音楽データ含む〕）
  - PRL◇◇◇（ムービー用フォルダ）
- SD_AUDIO（SDオーディオ用フォルダ）
- SD_PIM
  （電話帳、スケジュール、ToDo、メール、フリーメモ、ブックマーク用フォルダ）
- SD_BIND
  （ｉアプリや移行可能コンテンツ用フォルダ）
  - SVC▲▲▲▲▲
    - ■■■■◆◆◆◆
- MISC
  （DPOF用フォルダ〔P.354「DPOF設定」を設定するときに自動作成されるフォルダです。〕）

△△△：100～999の3桁の半角数字
□□□：001～999の3桁の半角数字
◇◇◇：0～9の半角数字とA～Fの半角英字を用いた001～FFFの16進数※の文字
▲▲▲▲▲：00001～65535の5桁の半角数字
■■■■、◆◆◆◆：0～9の半角数字とA～Fの半角英字を用いた0001～FFFFの16進数※の文字
※10ごとに繰り上がる10進数とは異なり、16進数とは16ごとに繰り上がる数え方です。

■パソコンなどからmicroSDメモリーカードにファイルを書き込むときは

パソコンなどからmicroSDメモリーカードにファイルを書き込んで利用する場合は、それぞれのフォルダに指定のファイル名で書き込む必要があります。ファイル名については以下のとおりです。

ファイル	ファイル名
静止画（DCF規格）	Pxxxzzzz.JPG（JPEGファイル） Pxxxzzzz.GIF（GIFファイル）
静止画（DCF規格外）	STILzzzz.JPG（JPEGファイル） STILzzzz.GIF（アニメーションGIFファイル）
動画（ムービー）	MOL＊＊＊.3GP（3GPファイル） MOL＊＊＊.SDV（SDVファイル） MOL＊＊＊.ASF（ASFファイル） MOL＊＊＊.MP4（MP4ファイル）
動画（SD-VIDEO規格外）	MMFzzzz.3GP（3GPファイル） MMFzzzz.SDV（SDVファイル） MMFzzzz.ASF（ASFファイル） MMFzzzz.MP4（MP4ファイル）
メロディ	RINGzzzz.MLD（MFiファイル） RINGzzzz.SMF（SMFファイル）
PDFデータ	PDFDCyyy.PDF（PDFファイル） ●全角／半角問わず227文字までの自由な文字で書き込むこともできますが、FOMA端末でコピーや移動を行うとファイル名が変更されます。
トルカ	TORUCyyy.TRC（トルカファイル）
デコメ絵文字	DIMGzzzz.JPG（JPEGファイル） DIMGzzzz.GIF（GIFファイル）
SDその他ファイル	OTHERyyy.### ●全角／半角問わず230文字までの自由な文字で書き込むこともできますが、FOMA端末でコピーや移動を行うとファイル名が変更されます。
電話帳 スケジュール ToDo メール フリーメモ ブックマーク	PIM$$$$$.VCF（vCardファイル） PIM$$$$$.VCS（vCalendarファイル） PIM$$$$$.VMG（vMessageファイル） PIM$$$$$.VNT（vNoteファイル） PIM$$$$$.VBM（vBookmarkファイル）

xxx：フォルダ名の「△△△」と同じ半角数字
zzzz：0001～9999の4桁の半角数字
＊＊＊：0～9の半角数字とA～Fの半角英字を用いた001～FFFの16進数※の文字
※10ごとに繰り上がる10進数とは異なり、16進数とは16ごとに繰り上がる数え方です。
yyy：001～999の3桁の半角数字
###：FOMA端末が認識できない3桁までの拡張子
$$$$$：00001～65535の5桁の半角数字

■microSDメモリーカードに保存できる件数・時間について

microSDメモリーカードに保存できる件数・時間は、ご使用になるmicroSDメモリーカードの容量によって変わります。フォルダを追加して、コピーする場所を変えたりすることによって、より多くのファイルを保存できます。ただし、ファイルの容量によっては最大件数まで保存できない場合があります。

ファイル	フォルダ	保存可能数・時間
静止画（DCF規格）	DCIM	P.182参照
静止画（DCF規格外）	STILL	約58390件
動画（ムービー）	SD_VIDEO	P.183参照
動画（SD-VIDEO規格外）	MMFILE	約58390件
メロディ	RINGER	約58390件
PDFデータ	DOCUMENT	約58390件
SDオーディオ	SD_AUDIO	999件
トルカ	TORUCA	約58390件
デコメ絵文字	DECOIMG	約58390件
SDその他ファイル	OTHER	約58390件
電話帳、スケジュール、ToDo、メール、フリーメモ、ブックマーク	SD_PIM	約58390件
ｉアプリ	SD_BIND	約58390件
移行可能コンテンツ	SD_BIND	

microSDメモリーカードの空き容量と保存容量は「microSD情報表示」で確認できます。
microSDメモリーカードにはカード用のシステムファイルが内蔵されているため、データを保存していなくても保存容量はmicroSDメモリーカードに表示された容量より少なくなります。

お知らせ

- ●お使いのパソコンによってはフォルダ名、ファイル名が小文字で表示される場合があります。
- ●パソコンの設定で拡張子や隠しフォルダなどが表示されない設定になっている場合は、表示される設定に変更してから操作してください。設定の変更方法についてはお使いのパソコンの取扱説明書またはヘルプをご覧ください。
- ●microSDメモリーカード内のフォルダをパソコンで削除したり、移動したりしないでください。FOMA P903iでmicroSDメモリーカードを読めなくなることがあります。
- ●「SD_AUDIO」、「SD_BIND」フォルダ内のファイルは暗号化されているため、パソコンで見ることはできません。

次ページにつづく

お知らせ

- パソコンでファイルの削除や上書き、書き込みを行う場合は、一度使用したファイル名は使用しないでください。例え、そのファイルを削除していたとしても、別のファイル名を使用してください。
- 他の機器からmicroSDメモリーカードに保存したデータは、FOMA端末で表示･再生できない場合があります。また、FOMA端末からmicroSDメモリーカードに保存したデータは、他の機器で表示･再生できない場合があります。
- microSDリーダーライターおよびPCカードリーダーアダプタについては、microSDメモリーカードの動作を各メーカにご確認のうえお買い求めください。

■用語解説

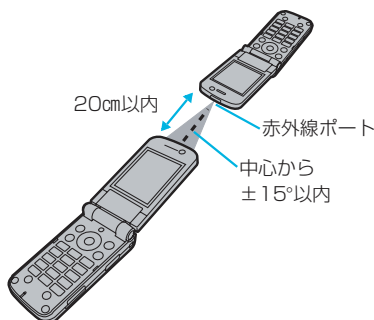
- **DCF**
  Design rule for Camera File Systemの略でファイルシステムの規格です。
- **MPEG4**
  Moving Picture Experts Group Phase4の略で、移動体通信やインターネットに向けた高能率符号化(データ圧縮)方式の動画です。
- **MP4形式(拡張子:3gp)**
  「3gp」は3GPP(3rd Generation Partnership Project)により規定されたフォーマットです。
- **MP4形式(拡張子:mp4)**
  動画像圧縮符号化の標準規格であるMPEG4で規定されたフォーマットです。
- **ASF形式(拡張子:asf)**
  Advanced Streaming Formatの略で、映像、音声や文字などの情報を持つことのできるストリーミング配信に適したフォーマットです。

		撮影種別	
		音声のみ	通常･映像のみ
記録媒体設定	本体	MP4(3gp)	MP4(3gp)
	microSD	MP4(mp4)	ASF(asf)

FOMA端末、microSDメモリーカード間でコピー、移動すると、ファイル形式が変換されます。

赤外線通信について

FOMA端末はIrMCバージョン1.1に準拠しています。赤外線通信機能を持つ機器との間でデータを送受信できます。
ただし、相手機器によっては送受信できないデータがあります。

- 赤外線の通信距離は、20cm以内でご利用ください。また、データの送受信が終わるまで相手側の赤外線ポート部分に向けたままにして動かさないでください。
- FOMA端末を手に持つ場合は、ぶれないようにしっかりと固定させてください。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の直下･赤外線装置の近くではその影響により、正常に通信できない場合があります。
- 受信側を先に設定し、30秒以内に送信側の送信を開始します。
- 通信中は、圏外と同じ状態になるため、音声電話、テレビ電話、プッシュトーク、iモード･メールなどのパケット通信、データ通信などは利用できません。

■転送できるデータの一覧

転送条件 / 転送可能データ	1件	複数件	全件
電話帳(自局番号表示)	○	×	800件まで
スケジュール※1	○	×	400件まで
ToDo	○	×	100件まで
受信メール	○	×	1000件まで
送信メール	○	×	400件まで
保存メール	○	×	20件まで
フリーメモ	○	×	20件まで
メロディ※2、※3	○	×	×
静止画ファイル※3、※4	○	○	×
動画ファイル※3、※5	○	○	×
PDFデータ※2、※3、※6	○	×	×
トルカ※3	○	○	495件まで
ブックマーク※7	○	×	100件まで

※1 休日･記念日は送受信できません。
※2 ファイルによっては送受信できません。
※3 vntファイルに変換して送受信されます。
※4 自作アニメは送受信できません。
※5 ASFファイルは送受信できません。
※6 転送先によってはｉモードしおりが消去される場合があります。
※7 ブックマークを送受信した場合、相手の機種によっては、フォルダ分けの設定が反映されない場合があります。

■受信したデータの保存場所や保存順

データ		保存場所／保存順
電話帳(自局番号表示)	1件受信	電話帳のメモリ番号「010」～「799」の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号に登録されます。「010」～「799」がすべて登録されているときは、「000」～「009」(「ツータッチダイヤル」)の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号に登録されます。
	全件受信	送信元と同じメモリ番号で登録されます。
スケジュール	1件受信	スケジュールの開始日時に登録されます。
	全件受信	送信元と同じ日時に登録されます。
ToDo	1件受信	ToDoリストの1番目に登録されます。
	全件受信	送信元と同じ順番で登録されます。
受信メール	1件受信	「受信フォルダ一覧」の「受信BOX」フォルダに、送信元と同じ日時で登録されます。
	全件受信	送信元と同じフォルダに同じ日時で登録されます。
送信メール	1件受信	「送信フォルダ一覧」の「送信BOX」フォルダに、送信元と同じ日時で登録されます。
	全件受信	送信元と同じフォルダに同じ日時で登録されます。
保存メール	1件受信	送信元と同じ日時で登録されます。
	全件受信	送信元と同じ日時で登録されます。
フリーメモ	1件受信	<未登録>の一番目に登録されます。
	全件受信	送信元に登録されている順番で、1番目から順に登録されます。
メロディ	1件受信	「データBOX」内の「メロディ」内の「ｉモード」フォルダの1番目に登録されます。
静止画ファイル	1件受信／複数件受信	「データBOX」内の「マイピクチャ」内の「ｉモード」フォルダの1番目に登録されます。
動画ファイル	1件受信／複数件受信	「データBOX」内の「ｉモーション」内の「ｉモード」フォルダの1番目に登録されます。
PDFデータ	1件受信	「データBOX」内の「マイドキュメント」内の「ｉモード」フォルダの1番目に登録されます。
トルカ	1件受信／複数件受信	「トルカフォルダ」フォルダの1番目に登録されます。
ブックマーク	1件受信	「Bookmark」フォルダの1番目に登録されます。
	全件受信	送信元と同じフォルダに同じ順番で登録されます。

お知らせ

- 以下のデータは送信できません。
  - ･FOMA端末外への出力が禁止されているファイル
  - ･お買い上げ時に登録されているデコメピクチャ
  - ･FOMAカード内の電話帳やSMS
- microSDメモリーカード内のデータは送信できません。FOMA端末にコピーまたは移動してから送信してください。
- 静止画、動画、PDFデータのタイトルは、全角で9文字、半角で18文字、メロディのタイトルは、全角で25文字、半角で50文字まで送受信されます。
- メールの送信を行った場合、メールに添付されているファイルも送信されます。ただし、種類によっては送信されないことがあります。

次ページにつづく

お知らせ

- 未取得の添付ファイルがあるメールや、iアプリを起動させるリンク情報があるメールはそれらが削除されて送信されます。
- 受信メールの最大保存件数(P.493参照)を超えた場合は、①「ゴミ箱」フォルダのメール②古い受信メールの順に上書きされます。
- 送信メールの最大保存件数(P.493参照)を超えた場合は、送信BOXフォルダの保護されていない最も古い送信メールに上書きされます。
- 赤外線通信でトルカの送信を行った場合は、詳細も含めて転送するかどうかの確認画面が表示されます。トルカ(詳細)の場合は「YES」を選択すると詳細も含めて送信されます。「NO」を選択すると詳細を取得する前のトルカとして送信されます。詳細を取得する前のトルカの場合は、「YES」「NO」どちらを選択してもそのまま送信されます。
- FOMA端末外への出力が禁止されているデータを含むトルカ(詳細)の場合は、詳細を取得する前のトルカとして送信されます。
- 指定発信制限を設定中に、電話帳は受信できません。送信の際には、指定発信制限を設定した電話帳データ、自局番号表示のデータを送信できます。
- データの大きさによっては、転送に長い時間がかかることがあります。また、受信できないことがあります。
- 静止画･動画は2Mバイト、メロディは100Kバイト、PDFデータは1Mバイト、トルカは1Kバイト、トルカ(詳細)は100Kバイトをそれぞれ超えたデータの場合、登録できません。
- FOMA USB接続ケーブル(別売)が接続されている場合、赤外線通信ができないことがあります。
- 受信側の端末が対応していないデータは、送信できません。

データを1件または複数件送受信する

赤外線でデータを1件ずつ送受信します。
静止画ファイル、動画ファイル、トルカは複数件送受信できます。

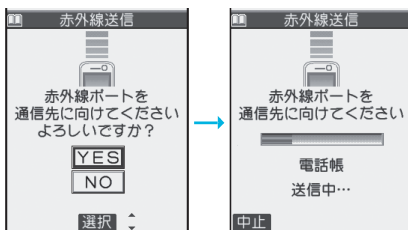
■送受信時のご注意

- シークレットモード時はシークレットデータも送信できます。ただし、シークレット専用モード時はシークレットデータのみ送信できます。
- 「シークレットモード」、「シークレット専用モード」でシークレットデータとして登録した電話帳を受信した場合、通常の電話帳として登録されます。
- 電話帳データを1件送信する場合、登録したシークレットコードやボイスダイヤルは送信されません。

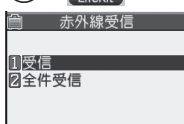
データを1件または複数件送信する

1 送信したいデータの画面▶iα(機能)▶赤外線送信

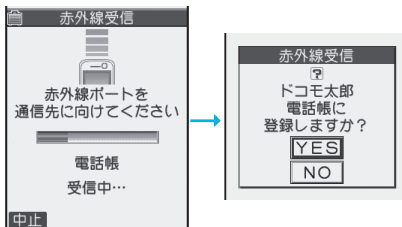
- 電話帳を送信する場合は、機能メニューから「赤外線送信」を選択し、「電話帳送信」を選択します。
- 複数件送信する場合は、「複数選択」で送信したいファイルを選択します。iα(機能)を押して「赤外線送信」を選択します。

2 YES

- 中止する場合は✉(中止)を押します。
- 複数件送信の場合は、選択したファイル数分「YES」を選択してファイルを送信します。

データを1件または複数件受信する　メニュー 7 9

1 メニュー▶LifeKit▶赤外線受信

赤外線受信選択画面

- iα(機能)を押して「デスクトップ貼付」を選択すると、デスクトップに貼り付けます。(P.149参照)

2 受信▶YES

- 中止する場合は✉(中止)を押します。
- 1件受信後に続けて受信するかどうかの確認画面が表示されます。複数件受信の場合は「YES」を選択し、手順2を繰り返します。

お知らせ

- ●ソフトを起動する指示を受信した場合、対応するソフトがダウンロード済みであればそのソフトが起動します。ただし、i アプリ To 設定で「赤外線から i アプリ To」にチェックを入れていない場合は起動しません。

データを全件送受信する

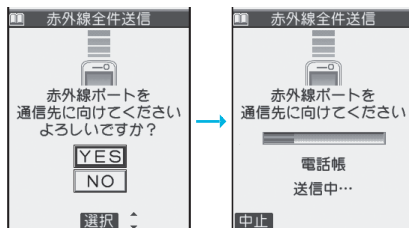
赤外線で電話帳、スケジュール、ToDo、フリーメモ、ブックマーク、メール、トルカのデータを全件送受信できます。
全件送信するには、認証パスワード(任意の4桁の番号)の入力が必要です。受信側でも同じ認証パスワードの入力が必要です。

■全件送受信時のご注意

- ●全件受信を行うと、登録されていたデータはシークレットデータや保護データも含めすべて削除され、受信したデータで上書きされます。「シークレットモード」で登録されていたデータも削除されます。全データの受信を行う前に、大切なデータが登録されていないことを確認してください。
- ●電話帳を全件送信すると「自局番号表示」のデータも一緒に送信されます。受信側の「自局番号表示」は、自局番号以外はすべて書き替わります。メールアドレスも送信側のアドレスに書き替わりますので、受信側のメールアドレスに変更してください。
- ●電話帳データを全件送信すると、プッシュトーク電話帳の情報も送信されます。ボイスダイヤルの情報は送信されません。
- ●シークレットモード時に限らず「シークレットデータ」として登録されている電話帳も送信されます。送信した「シークレットデータ」は受信側でも「シークレットデータ」として登録されます。
- ●受信した電話帳のグループ名も登録されますので、「グループ設定」のデータも上書きされます。
- ●ToDoに対応していない端末にToDoを全件送信すると、受信側のスケジュールデータがすべて削除されますのでご注意ください。
- ●保護されている受信メール、送信メールも送受信されます。

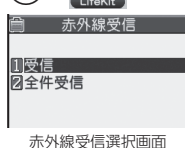
データを全件送信する

1 送信したいデータの画面▶i✉(機能)▶赤外線全件送信▶端末暗証番号を入力

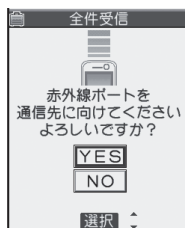
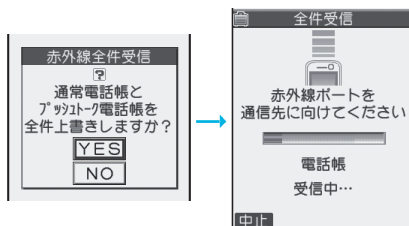
- ●電話帳を送信する場合は、機能メニューから「赤外線送信」を選択し、「電話帳全件送信」を選択します。

2 認証パスワードを入力▶YES

- ●認証パスワードは、任意の4桁の番号を入力してください。
- ●中止する場合は✉(中止)を押します。

データを全件受信する

1 メニュー▶LifeKit▶赤外線受信

赤外線受信選択画面

- ●i✉(機能)を押して「デスクトップ貼付」を選択すると、デスクトップに貼り付けます。(P.149参照)

2 全件受信▶端末暗証番号を入力▶送信側で入力した認証パスワードと同じ番号を入力▶YES

3 YES

登録済みのデータを削除し、受信を開始します。

- ●中止する場合は✉(中止)を押します。

お知らせ

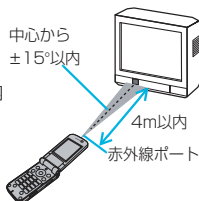
- ●静止画が登録された電話帳やファイルが添付されたメールを受信したとき、同じファイルが複数ある場合は1つだけ登録されます。

赤外線リモコン機能を利用する

ｉアプリを起動してFOMA端末をテレビのリモコンとして使用できます。

- リモコン機器を利用する場合は、機器に対応したソフトをダウンロードする必要があります。(お買い上げ時に登録されている「Gガイド番組表リモコン」は赤外線リモコン機能に対応しています。)また、リモコンのボタン操作はソフトにより異なります。
- 機器によっては操作できないものもあります。
- 対応機器や周囲の明るさにより、通信に影響がある可能性があります。
- セルフモード設定中は、赤外線リモコンを利用できません。

リモコン操作について

- 機器の正面にFOMA端末の赤外線ポートを向けて操作してください。操作ができる範囲は正面でおよそ4m以内です。
- 赤外線放射角度は中心から±15°以内です。

<電話帳画像転送> メニュー 2 6

通信の設定を行う

お買い上げ時	する

赤外線、iC通信、SD-PIM、ドコモケータイdatalinkやデータリンクソフトで電話帳を転送したときに、登録されている静止画も合わせて転送するかどうかを設定します。

1 メニュー▶電話帳▶**電話帳設定**▶**電話帳画像転送**▶**する・しない**

<iC送信>

iC通信について

iC通信とは、FeliCa リーダー／ライター機能を利用して他のFOMA端末とデータを送受信できる機能です。iC通信機能対応の他のFOMA端末と、FeliCa マーク「」を重ね合わせることでデータを送受信します。

- 転送できるデータの種類と転送条件などは赤外線通信と同様です。(P.345参照)
  ただし、複数件送信はできません。
- 「ICカードロック」を設定中はiC通信はできません。

FeliCa マーク「」をお互いに重ねる

データを1件送受信する

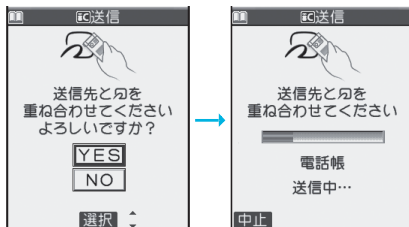
iC通信でデータを1件ずつ送受信します。

- P.346「■送受信時のご注意」もご覧ください。

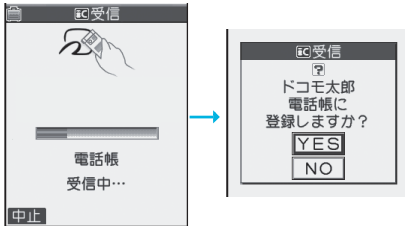
データを1件送信する

1 **送信したいデータの画面**▶ｉα(機能)▶**iC送信**

- 電話帳を送信する場合は、機能メニューから「iC送信」を選択し、「電話帳送信」を選択します。

2 **YES**

- 中止する場合は✉(中止)を押します。

データを1件受信する

1 待受画面を表示中に送信側の FeliCa マーク「」とFOMA端末の FeliCa マーク「」を重ねる▶YES

●中止する場合は(中止)を押します。

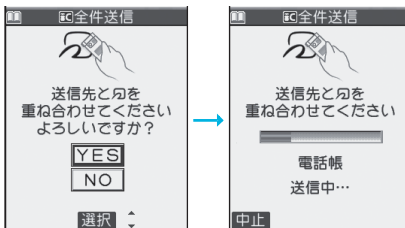
データを全件送受信する

iC通信で電話帳、スケジュール、ToDo、フリーメモ、ブックマーク、メール、トルカのデータを全件送受信できます。
全件送信するには、認証パスワード(任意の4桁の番号)の入力が必要です。受信側でも同じ認証パスワードの入力が必要です。
●P.347「■全件送受信時のご注意」もご覧ください。

データを全件送信する

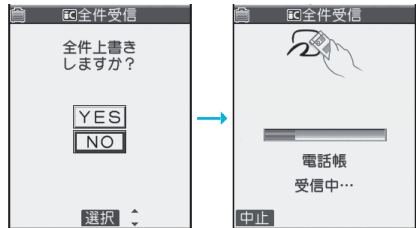
1 送信したいデータの画面▶(機能)▶iC全件送信▶端末暗証番号を入力

●電話帳を送信する場合は、機能メニューから「iC送信」を選択し、「電話帳全件送信」を選択します。

2 認証パスワードを入力▶YES

●認証パスワードは、任意の4桁の番号を入力してください。
●中止する場合は(中止)を押します。

データを全件受信する

1 待受画面を表示中に送信側の FeliCa マーク「」とFOMA端末の FeliCa マーク「」を重ねる

2 YES▶端末暗証番号を入力▶送信側で入力した認証パスワードと同じ番号を入力

登録済みのデータを削除し、受信を開始します。
●中止する場合は(中止)を押します。

お知らせ

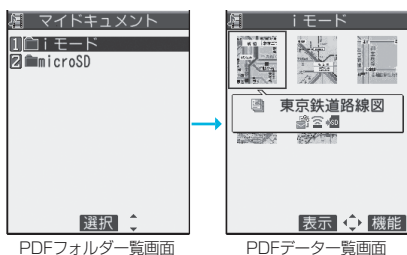
●静止画が登録された電話帳やファイルが添付されたメールを受信したとき、同じファイルが複数ある場合は1つだけ登録されます。

<PDF対応ビューア>

PDFデータを表示する

サイトからPDFに対応したデータをFOMA端末にダウンロードし、表示したり、保存したりできます。

●お買い上げ時は、「東京鉄道路線図」「名古屋鉄道路線図」「大阪鉄道路線図」「東京近郊鉄道路線図」「大阪近郊鉄道路線図」が登録されています。

1 メニュー▶データBOX▶**マイドキュメント**▶**フォルダを選択**▶**PDFデータを選択**

PDFフォルダ一覧画面　PDFデータ一覧画面

●プレビュー画像が表示できないときは以下の画像が表示されます。

表示不可

プレビュー非対応（「 」や「 」のPDFデータ）

プレビュー非対応（「 」のPDFデータ）

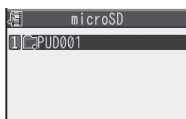
●PDFデータにパスワードが設定されているときはP.209参照。

■PDFデータ表示時の操作

●機能メニューから操作する場合はP.351参照。

操作	ボタン操作
上スクロール	上
下スクロール	下
左スクロール	左
右スクロール	右
ボタン操作のガイドを表示	メール
ズームイン	3
ズームアウト	1
全画面表示	2

操作	ボタン操作
次のページ	9 ▼
前のページ	7 ▲
検索	5
次を検索	6
前を検索	4
しおり一覧の表示	8
しおりの追加	8（1秒以上）

■PDFフォルダ一覧画面で「microSD」を選択したときは

microSD PDFフォルダ一覧画面

1.フォルダを選択
PDFデータの一覧が表示されます。

お知らせ

●本体・microSDメモリーカード内のデータが多い場合、アクセスに時間がかかることがあります。また、PDFデータによっては表示に時間がかかる場合があります。
●PDF対応ビューアに対応していない形式や複雑なデザインなどを含むPDFデータの場合、正しく表示されないことがあります。
●部分的にダウンロードしたPDFデータを表示中に、ダウンロードしていないページを表示しようとすると、そのページをダウンロードします。
●ダウンロードしていないページをダウンロードする際に、サーバ側のPDFデータが変更されている場合は、最初のページからダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。

microSD PDFフォルダ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
フォルダ名編集	フォルダのタイトルを編集します。（P.311参照）
フォルダ追加	フォルダを作成します。（P.311参照）
フォルダ削除	フォルダを削除します。（P.311参照）
保存先フォルダ選択	保存先フォルダを選択します。（P.311参照）

PDFデータ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
タイトル編集	タイトルを編集します。（P.311参照）
ドキュメント情報	PDFデータのファイル名、保存日時などを表示します。 ●（マルチカーソル）で画面をスクロールして確認できます。 ●確認が終われば ch/クリア を押します。
iモードメール添付	PDFを添付してiモードメールを作成します。 P.228手順2へ進みます。
赤外線送信	赤外線で1件送信します。（P.346参照）
iC送信	iC通信で1件送信します。（P.348参照）
microSDへコピー	microSDメモリーカードへ1件コピーします。（P.338参照）

機能メニュー	操作・補足
本体へコピー	FOMA端末に1件コピーします。(P.339参照)
コピー	コピーします。(P.312参照)
フォルダ移動	移動します。(P.312参照)
デスクトップ貼付	デスクトップに貼り付けます。(P.149参照)
1件削除	1件削除します。(P.312参照)
全削除	全削除します。(P.312参照)
複数選択	複数のPDFデータを選択します。(P.312参照)
保存容量確認	保存容量を確認します。(P.312参照)
ソート	表示順を変更します。(P.312参照)
一覧表示切替	PDFデーター覧表示を切り替えます。(P.351参照)

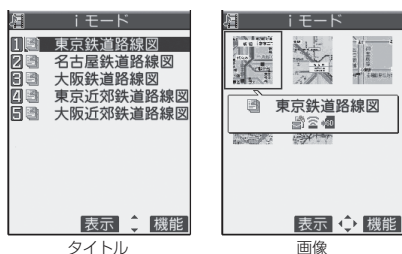
一覧表示切替

お買い上げ時	画像

PDFデーター覧画面の表示内容を変更します。

1 PDFデーター覧画面▶i𝛼(機能)▶一覧表示切替▶タイトル・画像

タイトル

画像

- 「画像」では、FOMA端末内のPDFデータは9枚、microSDメモリーカード内のPDFデータは4枚表示されます。

お知らせ

- 「画像」で表示すると、PDFデータによっては実際と見えかたが異なる場合があります。

PDFデータ表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
ズームイン	PDFデータ表示サイズを拡大します。1000%まで拡大できます。 ●PDFデータ表示中に3を押してもズームインできます。
ズームアウト	PDFデータ表示サイズを縮小します。8%まで縮小できます。 ●PDFデータ表示中に1を押してもズームアウトできます。
ページ移動	PDFデータ内の他のページに移動します。 ▶**移動したいページを選択** ●「指定のページ」を選択した場合は、ページ番号欄に移動したいページ数を入力して「OK」を選択すると指定したページへ移動します。 ●PDFデータ表示中に7を押しても前のページへ、9を押しても次のページへ移動できます。
表示	PDFデータの表示方法を変更します。 ▶**表示方法を選択** ●「倍率指定」を選択した場合は、指定倍率欄に倍率を入力して「OK」を選択すると指定した倍率で表示します。 ●倍率指定で指定できる倍率は8〜1000%までです。 ●PDFデータ表示中に2を押しても全体表示できます。 ●表示方法を変更して保存すると、次に起動したときは保存したときの倍率で表示されます。
ページレイアウト ビューア起動時: 単一ページ	PDFデータの表示レイアウトを変更します。 ▶**単一ページ・連続ページ・見開きページ**
表示を回転	▶**右90°回転・左90°回転**
リンク表示	PDFデータ内に設定されているリンクを表示します。リンクの種類には内部リンク(表示中のPDFデータ内に設定されているリンク)、Web To、Mail To、Phone To/AV Phone Toがあります。 ▶**リンクを選択** ●画面内に複数のリンクがある場合は、◎で選べます。 ●内部リンクを選択するとPDFデータ内のリンクされているページへ移動します。その他のリンクについてはP.211参照。 ●chクリアを押すと元の表示に戻ります。

次ページにつづく

機能メニュー	操作・補足
検索	指定した文字列を含む画面を表示します。指定した文字と一致した箇所は、黄緑色にマーキングされます。 ▶**検索文字列の欄を選択** ▶**検索したい文字を入力** ●全角8文字まで、半角16文字まで入力できます。 ▶**指定したい検索条件にチェック** ▶✉(検索) ●PDFデータ表示中に5を押しても検索機能が起動できます。
次を検索	次に検索条件に該当する箇所を表示します。 ●PDFデータ表示中に6を押しても次を検索できます。
前を検索	1つ前に検索条件に該当する箇所を表示します。 ●PDFデータ表示中に4を押しても前を検索できます。
しおり表示	PDFデータに設定されているしおりを表示します。(P.353参照)
しおりの追加	現在表示しているページにしおりを設定します。しおりを選択して目的のページを簡単に表示できます。10件まで設定できます。 ▶**YES**▶**タイトルの欄を選択** ▶**タイトルを入力**▶**OK** ●タイトルは全角64文字まで、半角128文字まで入力できます。 ●PDFデータ表示中に8を1秒以上押してもしおりを追加できます。 ●しおりがいっぱいのときはP.353参照。
マーク表示	PDFデータに登録されているマークの一覧を表示します。(P.353参照)
マークの追加	現在表示しているページ番号とページ内の位置をマークとして登録します。ポイントとなる箇所の目印などとして利用できます。10件まで設定できます。 ▶**YES**
保存	PDFデータを現在の状態で保存します。(P.353参照)
残り全てを取得	ページ単位で部分的にダウンロードしたPDFデータや通信が途中で切断された場合などダウンロードに失敗したPDFデータの、ダウンロードしていない部分をすべてダウンロードします。 ▶**YES**

機能メニュー	操作・補足
iモードメール添付	iモードメールを作成します。(P.350参照)
画面切り出し	画面の一部を切り出し、JPEG形式の画像として保存します。 ▶◉(選択)▶**YES** ▶**フォルダを選択** ●保存されている画像がいっぱいのときはP.211参照。
表示情報設定 ビューア起動時 表示する	PDFデータを表示する際に、拡大倍率、ページ番号、スクロールバーを表示するかどうかを設定します。 ▶**項目を選択**▶**表示する・表示しない**
ドキュメント情報	PDFデータの情報を表示します。(P.350参照)

お知らせ

<表示>

●ビューア起動時は「ドキュメント表示設定」で設定されている表示サイズになります。

<ページレイアウト>

●部分的なPDFデータの場合はページレイアウトの変更はできません。

<検索>

●各検索条件の動作は次の通りです。

大文字小文字を区別:
　大文字、小文字を区別して検索します。

単語にマッチ:
　単語単位で完全に一致した文字列を検索します。

逆向きに検索:
　「次を検索」をしたとき、開始したページから先頭ページ方向へ検索を進めます。

'?'をワイルドカードとする:
　検索文字列の欄に入力した「?」マーク(半角)の部分は任意の文字として検索条件に設定します。

現在のページ内で検索:
　現在表示中のページ内でのみ検索します。

<しおりの追加>

●タイトルを空白にすると「無題」と登録されます。

<画面切り出し>

●PDFデータのセキュリティ設定によっては、画面の切り出しができない場合があります。

しおり表示

PDFデータに設定されているしおりと追加で設定したｉモードしおりを一覧表示します。
しおりを選択すると設定されているページを表示できます。

1 **PDFデータ表示中▶（機能）▶しおり表示▶しおり・ｉモードしおり▶しおりを選択**

- PDFデータ表示中に8を押してもしおりを表示できます。
- あらかじめ設定されているしおりには階層が分かれているものがあります。（進む）を押すと、下階層のしおりを表示できます。ただし、3階層目以降はすべて3階層目に表示されます。

ｉモードしおり表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
タイトル編集	▶タイトルを入力 ●全角64文字まで、半角128文字まで入力できます。
1件削除	▶YES
選択削除	▶削除したいしおりにチェック▶（完了）▶YES
全削除	ｉモードしおりをすべて削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES

マーク表示

PDFデータに登録されているマークのページと位置を一覧表示します。
マークを選択すると登録されているマークのページを表示できます。

1 **PDFデータ表示中▶（機能）▶マーク表示▶マークを選択**

マーク一覧表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
1件削除	▶YES
選択削除	▶削除したいマークにチェック▶（完了）▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

保存

表示しているPDFデータを現在の状態で保存します。新たにページをダウンロードしたり、しおりやマークを追加したりするたびに保存できます。
最大89件まで保存できます。（データ量により実際に保存できる件数が少なくなる場合があります。）

1 **PDFデータ表示中▶（機能）▶保存▶YES**

一度FOMA端末またはmicroSDメモリーカードに保存しているPDFデータの場合は、保存するたびに上書き保存されます。（手順2の操作は不要です。）FOMA端末またはmicroSDメモリーカードに保存されていないPDFデータの場合は、新規保存されます。

- サーバ側の変更により最初のページから再度ダウンロードしたPDFデータの場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。
「YES」を選択すると上書き保存されます。
「NO」を選択すると新規保存されます。

2 **保存したいフォルダを選択**

- FOMA端末内に保存されているPDFデータがいっぱいのときはP.211参照。

■しおり・マークがいっぱいのときは
すでにしおり・マークが10件設定されているPDFデータにしおり・マークを追加しようとした場合や、しおり・マークが11件以上設定されているPDFデータを保存しようとした場合は、不要なしおり・マークを削除してから追加／保存するかどうかの確認画面が表示されます。
1. YES
2. 削除するしおり・マークを選択▶YES
または
削除するしおり・マークにチェック
▶（完了）▶YES
●「完了」が表示されるまでチェックを付けます。

ドキュメント表示設定

お買い上げ時	全体表示

PDFデータをサイトから表示する際の表示方法を設定します。

1 **待受画面▶（ｉ）▶ｉモード設定▶ドキュメント表示設定▶表示方法を選択**

保存した画像を印刷する

microSDメモリーカードに保存されている画像の印刷方法を設定する

DPOFとは、デジタルカメラで撮影された静止画用のプリント情報を記録するための指定方式です。microSDメモリーカード内の静止画にプリントするかどうかの情報とその枚数を設定します。プリントサービスショップに持ち込んだり、DPOFに対応したプリンタで設定通りに印刷できます。

1 **静止画再生中・静止画一覧画面 ▶ (i)(機能) ▶ DPOF設定 ▶ プリント指定 ▶ プリント枚数(枚)を入力**

- 「01」～「99」の2桁を入力します。
- 選択した静止画のプリント指定を解除する場合は、「プリント指定解除」を選択します。すべての静止画のプリント指定を解除する場合は、「プリント指定全解除」を選択します。

お知らせ

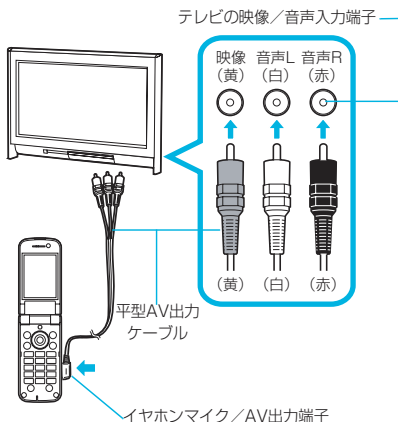
- DPOF設定した画像は種別アイコンが「 」や「 」になります。
- 999件までの画像にDPOF設定を設定できます。
- 2MバイトやQXGA(1536×2048)サイズを超える画像には設定できません。
- パソコンなど他機器で設定したDPOF設定は枚数情報以外は無効となります。
- microSDメモリーカードの空き容量が少ない場合、DPOFが設定されないことがあります。(アイコン表示とピクチャ情報は設定済みとなります。)不要なファイルを削除するなどして、容量を空けてから再度設定してください。
- P903iで撮影した静止画はPRINT Image MatchingⅢにも対応しています。PRINT Image Matching対応プリンタでの出力および対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。なお、PRINT Image MatchingⅢより前の対応プリンタでは、一部機能が反映されません。

<AV出力>

テレビに静止画や動画／iモーションを表示する

平型AV出力ケーブル　P01(別売)を使ってFOMA端末とテレビを接続すると、静止画、動画／iモーションの画像やテレビ電話中の画像をテレビに表示できます。その他の画面は表示されません。

FOMA端末とテレビを接続する

FOMA端末のイヤホンマイク／AV出力端子のカバーを開け、平型AV出力ケーブルを接続します。テレビの映像／音声入力端子に平型AV出力ケーブルを接続します。

お知らせ

- テレビ以外の機器にも接続して出力できます。
- 平型AV出力ケーブルを接続するときは、確実に差し込んでください。また、ケーブルを強くひっぱったり、プラグ付近をねじったり、無理な力を加えないでください。
- 平型AV出力ケーブルをテレビなどの機器に接続するときや抜くときは、接続する機器の音量を一度「OFF」にしてください。
- プラグを抜くときは、プラグを持ってゆっくり抜いてください。

静止画をテレビに表示する

1 平型AV出力ケーブル接続中に静止画を再生する
または
静止画再生中に平型AV出力ケーブルを接続する

- ●(自動)を押すとスライドショーを開始します。再度●(停止)を押すと停止します。
- ◎を押すと前の静止画や次の静止画を表示できます。
- ✉(回転)を押すたびに、静止画を時計回りに90°ずつ回転します。
- 静止画の再生方法についてはP.310参照。
- AV出力を中止する場合は、FOMA端末から平型AV出力ケーブルを抜きます。再生を終了した場合や他の機能が起動した場合もAV出力は中止されます。

お知らせ

- 以下の場合はAV出力できません。
  - ･静止画一覧画面やデスクトップに貼り付けたアイコン以外から再生している場合
  - ･ｉモードフォルダ、カメラフォルダ、ユーザフォルダ、ピクチャフォルダ(microSD)、イメージボックスフォルダ(microSD)以外のフォルダ内の静止画を再生している場合
  - ･取得元アイコンが「 」や「 」で、「ファイル制限」が「あり」の静止画を再生している場合
  - ･「撮影後ファイル制限あり」のキャラ電を撮影したキャラ電ピクチャを再生している場合
  - ･等倍表示中やスライドショーで再生している場合
- 静止画がVGA(480×640)サイズより大きい場合は、縦横比を保ったままVGA(480×640)サイズ以下に縮小してテレビに表示します。
- チャーミーフェイスⅡ画像はアニメーション表示されず、最初の1コマ目が表示されます。

動画／ｉモーションをテレビに表示する

1 平型AV出力ケーブル接続中に動画／ｉモーションを再生する
または
動画／ｉモーション再生中に平型AV出力ケーブルを接続する

- 動画／ｉモーションの再生方法や再生中の操作についてはP.321参照。
- AV出力を中止する場合は、FOMA端末から平型AV出力ケーブルを抜きます。他の機能が起動した場合もAV出力は中止されます。

お知らせ

- 以下の場合はAV出力できません。
  - ･動画一覧画面やデスクトップに貼り付けたアイコン以外から再生している場合
  - ･「横全画面再生」で再生している場合
  - ･取得元アイコンが「 」や「 」で、「ファイル制限」が「あり」の動画／ｉモーションを再生している場合
  - ･「撮影後ファイル制限あり」のキャラ電を撮影したキャラ電ムービーを再生している場合
  - ･プリインストールフォルダ、移行可能コンテンツフォルダ(microSD)のフォルダ内の動画／ｉモーションを再生している場合
  - ･テロップ付きの動画／ｉモーションを再生している場合

テレビ電話中の画像をテレビに表示する

1 **平型AV出力ケーブル接続中にテレビ電話をする**
または
テレビ電話中に平型AV出力ケーブルを接続する

- AV出力中は「」が表示されます。
- AV出力を中止する場合は、FOMA端末から平型AV出力ケーブルを抜きます。テレビ電話を終了した場合や他の機能が起動した場合もAV出力は中止されます。

お知らせ
- 遠隔監視中の画像はAV出力できません。
- AV出力中はマイクの感度が高くなります。
- AV出力中は「（ハンズフリーマーク）」が表示されませんが、音声は接続している機器より出力されます。ハンズフリー切替はできません。

音楽再生

音楽を聴く

着うたフル®をダウンロードする

サイトから着うたフル®をダウンロードして保存します。着うたフル®は最大100件まで保存できます。(データ量により実際に保存できる件数が少なくなる場合があります。)

1 **着うたフル®ダウンロード可能なサイトを表示▶着うたフル®を選択▶保存▶YES**

取得完了画面

- 「再生」を選択すると着うたフル®が再生されます。着うたフル®再生中の操作についてはP.360参照。
- 「情報表示」を選択すると着うたフル®の情報が表示されます。(P.362参照)
- 保存されている着うたフル®がいっぱいのときはP.211参照。

2 **保存したいフォルダを選択**

- 第2階層目以降にフォルダがある場合は、(✉)( )を押すと表示できます。上の階層に戻すには(i)( )を押します。

■着うたフル®ダウンロード中にダウンロードが中断したときは

着うたフル®ダウンロード中に(✉)(中止)を押してダウンロードを中断したときや、着信などで中断したあとダウンロード画面に戻ったときは、ダウンロードを再開するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると続きからダウンロードを再開します。「NO」を選択すると少しでもデータをダウンロードしていた場合は取得完了画面が表示されます。「部分保存」を選択すると「データBOX」の「ミュージック」内の「部分保存データ」フォルダに保存されます。
部分保存したデータは「データBOX」から選択することで再ダウンロードできます。

- 部分保存した着うたフル®のタイトルは、ダウンロードした日時となります。

お知らせ

- 1件あたり5Mバイトまでの着うたフル®を保存できます。

お知らせ

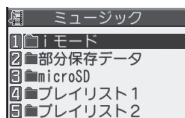
- 再生回数·再生期間·再生期限に制限がある着うたフル®は、タイトルの先頭に「 」が表示されます。長い期間電池パックを外していると、FOMA端末で保持している日付時刻情報がリセットされることがあります。その場合、再生期間や再生期限が決められている着うたフル®は再生できません。再生制限を確認するには「ミュージック情報」参照。

<着うたフル®プレーヤー>

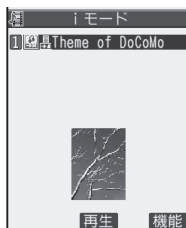
着うたフル®プレーヤーを利用する

サイトから取得した着うたフル®を再生します。

- 着うたフル®プレーヤーを使用すると電池の消耗が早くなりますのでご注意ください。
- 平型ステレオイヤホンセット(別売)を接続してステレオサウンドで着うたフル®を楽しめます。また、市販のBluetooth機器を利用してワイヤレスで着うたフル®を楽しめます。(P.398参照)

1 **(メニュー)▶(データBOX)▶ミュージック**

ミュージック(着うたフル®)フォルダ一覧画面

- 待受画面で(P)を1秒以上押すと、「着うたフル®プレーヤー」と「SDオーディオ」のうち、最後に操作した機能(お買い上げ時は「着うたフル®プレーヤー」)が起動します。FOMA端末を閉じた状態でも起動できます。
- 前回再生した着うたフル®の情報がある場合は、再生画面(停止状態)が表示されます。(ch/クリア)を押すごとに、着うたフル®一覧画面とミュージック(着うたフル®)フォルダ一覧画面に戻れます。

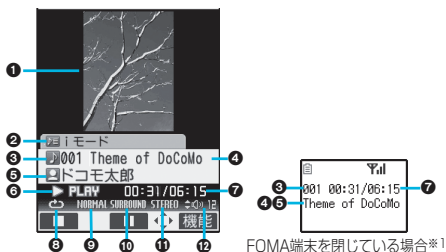
2 フォルダを選択▶着うたフル®を選択

着うたフル®一覧画面

- プレビュー画像が表示できないときなどは、以下の画像が表示されます。

表示不可

再生制限切れ など

- 再生中にFOMA端末を閉じても再生は継続されます。
- 再生中･一時停止中･停止中に[P]を1秒以上押すか[☎]を押すと着うたフル®プレーヤーを終了します。
- 他の機能で着うたフル®を選択中に[✉]（デモ）を押したり、機能メニューから「再生」を選択して着うたフル®を再生できる場合があります。

■着うたフル®再生時の画面について

FOMA端末を閉じている場合※1

❶…着うたフル®のジャケット画像や歌詞画像※2

❷…フォルダ名　❸…曲番号

❹…曲名　❺…アーティスト名

❻…再生状態　❼…再生時間／総演奏時間

❽…再生モード（「ノーマル」の場合は、何も表示されません。）

[→]：1曲終了　[⟲]：1曲リピート

[⟲]：全曲リピート　[⤨]：ランダム

[⤨]：ランダムリピート

❾…音質モード

NORMAL：ノーマル　S-XBS：S-XBS

TRAIN：トレイン

❿…サラウンド

SURROUND：ON

⓫…ステレオ／モノラル種別

STEREO：ステレオ　MONO：モノラル

⓬…音量

※1 再生開始後、約15秒経過すると「再生中･･･」の表示に切り替わります。ボタン操作で一時停止や再生などを行うと再度曲情報が表示されます。

※2 画像が登録されていない場合は、アニメーションが表示されます。

次ページにつづく

■着うたフル®再生時の操作

操作	ボタン操作
停止	( )を押します。再生するには( )または を押します。
一時停止	( )または を押します。再生するには( )または を押します。FOMA端末を閉じている場合も で再生または一時停止できます。
音量調節 お買い上げ時 レベル12	または を押します。押し続けると連続して音量が調節されます。FOMA端末を閉じている場合も で調節できます。レベル0〜25まで設定できます。
次の曲を再生	を押します。
前の曲を再生※1	を押します。また、再生時間が3秒以上の場合は頭出しになります。
シーク(早送り)※2	を押し続けると、押している間早送りします。
シーク(早戻し)※2	を押し続けると、押している間早戻しします。
画像切り替え	を押すごとにジャケット画像と歌詞画像を切り替えます。
次の画像を表示	3 を押します。
前の画像を表示	1 を押します。

※1「ランダム」「ランダムリピート再生」時や前の曲がない場合は曲の頭出しになります。
※2 停止中・一時停止中は操作できません。

着うたフル®再生時の画面でFOMA端末を閉じた場合は、平型ステレオイヤホンセット(別売)または平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)のスイッチを使って、下記の操作を行えます。

●FOMA端末を開いている場合は下記の操作はできません。

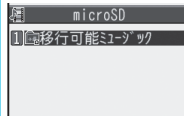
操作	スイッチ操作
一時停止	1回押します。再生するには再度1回押します。
次の曲を再生	連続2回押します。
前の曲を再生※	連続3回押します。また、再生時間が3秒以上の場合は頭出しになります。

※「ランダム」「ランダムリピート再生」時や前の曲がない場合は曲の頭出しになります。

■着うたフル®再生の仕様について

ファイル形式	MP4	
ビットレート	MPEG-4 AAC	8〜128kbps
	MPEG-4 AAC+(HE-AAC)	8〜64kbps
	Enhanced aacPlus	16〜48kbps
拡張子	3gp	

■ミュージック(着うたフル®)フォルダ一覧画面で「microSD」を選択したときは

microSD
1 移行可能ﾐｭｰｼﾞｯｸ

microSDミュージック(着うたフル®)フォルダ一覧画面

1.フォルダを選択
着うたフル®の一覧が表示されます。

■ミュージック(着うたフル®)フォルダ一覧画面で「部分保存データ」を選択したときは

途中までダウンロードしている着うたフル®の一覧が表示されます。続きをダウンロードできます。
1.着うたフル®を選択▶YES
ダウンロードが開始されます。

■着うたフル®一覧表示中のアイコンについて

<ファイル形式>

ファイル形式	音声の形式	アイコン
MP4ファイル	AAC、AAC+(HE-AAC)、Enhanced aacPlus	

●着うたフル®によっては、再生できる回数・期限・期間が制限されているものがあります。再生制限のあるファイルのアイコンには、「 」、再生制限切れのファイルのアイコンには「 」が付きます。「ミュージック情報」で着うたフル®の再生制限を確認できます。
●着うたフル®はすべてファイル制限ありのファイルになります。ファイル制限についてはP.192参照。

<取得元>

取得元	アイコン
サイト	※

※著作権のあるファイルでmicroSDメモリーカードに移動可の場合は「 」が表示されます。

お知らせ

- 以下の操作を行うと、前回再生した着うたフル®の情報は消去されます。
  - ･FOMA端末の電源をOFF／ONした場合
  - ･「設定リセット」や「端末初期化」を行った場合
  - ･前回再生した着うたフル®を削除したり、FOMA端末、microSDメモリーカード間で移動した場合
  - ･前回再生した着うたフル®がmicroSDメモリーカード内の着うたフル®で、microSDメモリーカードが挿入されていない場合
- 電池残量が少ない状態で、着うたフル®を再生しようとした場合は、再生するかどうかの確認画面が表示されます。また、再生中に電池残量が少なくなった場合は、再生が一時停止され、電池残量警告音が鳴り、終了するかどうかの確認画面が表示されます。
- 一時停止や早送りなどを頻繁に行うと電池の消耗が早くなりますのでご注意ください。
- 以下の場合は、再生が一時停止され、操作終了後も一時停止状態になります。
  - ･音声電話、テレビ電話、プッシュトークの着信があった場合
  - ･「受信表示設定」を「通知優先」に設定しているときにメールやメッセージR/Fなどを受信した場合
  - ･「アラーム」「スケジュール」「ToDo」のアラームが鳴った場合
  - ･「位置提供設定」やサービスごとの利用設定を「拒否」以外に設定しているときに、位置提供の要求を受信した場合
  - ･(マルチ)を押して機能を切り替えた場合
- 前の曲や次の曲に切り替わるときに、その曲が再生期限、再生期間の切れた着うたフル®の場合はスキップされます。また、再生回数が制限されている着うたフル®は、残りの再生回数に関わらずスキップされます。

ミュージック(着うたフル®)フォルダ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
再生モード変更 お買い上げ時 ノーマル	▶再生モードを選択 **ノーマル** . . . フォルダ内の着うたフル®を着うたフル®一覧画面の並び順に再生します。 最後の着うたフル®まで再生すると終了します。 **1曲終了** . . . 選択した着うたフル®を1回再生します。 **1曲リピート** . . . 選択した着うたフル®を繰り返し再生します。 **全曲リピート** . . . フォルダ内の着うたフル®を着うたフル®一覧画面の並び順に繰り返し再生します。 **ランダム** . . . フォルダ内の着うたフル®をランダムに再生します。 フォルダ内のすべての着うたフル®を再生すると終了します。 **ランダムリピート** . . . フォルダ内の着うたフル®をランダムに繰り返し再生します。
音質モード変更 お買い上げ時 ノーマル	音質を変更します。平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)を接続しているときに効果が得られます。 ▶音質を選択 **ノーマル** . . 通常の音質。 **S-XBS** . . . 低音を強調します。 **トレイン** . . 音漏れの原因となる「シャカシャカ音」を低減します。
サラウンド設定 お買い上げ時 OFF	自然な立体感のある音で再生できます。 ▶ON・OFF
フォルダ追加	ユーザフォルダを新規作成します。 ▶フォルダ名を入力 ●全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。 ●FOMA端末内では、第7階層までフォルダを作成でき、合わせて25件まで作成できます。

次ページにつづく

機能メニュー	操作・補足
フォルダ名編集	ユーザフォルダのフォルダ名を編集します。 ▶フォルダ名を入力 ●全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。
フォルダ削除	ユーザフォルダとフォルダ内のすべての着うたフル®を削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES
検索	FOMA端末、microSDメモリーカードに保存されているすべての着うたフル®の中から、曲名またはアーティスト名で着うたフル®を検索します。 ▶曲名検索・アーティスト名検索 ▶曲名またはアーティスト名を入力 ▶◎ 該当する着うたフル®が一覧で表示されます。 ●60文字まで入力できます。 ●曲名やアーティスト名は先頭の文字から入力します。また、すべてを入力しなくても構いません。 ●部分保存している着うたフル®は検索されません。

お知らせ

<フォルダ削除>
●他の機能に設定していた着うたフル®を削除すると、お買い上げ時の設定に戻ります。
<検索>
●FOMA端末に保存されている着うたフル®には「□」が、microSDメモリーカードに保存されている着うたフル®には「■」が表示されます。

microSDミュージック(着うたフル®)フォルダ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
再生モード変更	再生モードを変更します。(P.361参照)
音質モード変更	音質モードを変更します。(P.361参照)
サラウンド設定	サラウンドを設定します。(P.361参照)
フォルダ名編集	フォルダ名を編集します。(P.362参照)
フォルダ追加	フォルダを追加します。(P.361参照)
フォルダ削除	フォルダを削除します。(P.362参照)
保存先フォルダ選択	着うたフル®をmicroSDメモリーカードに移動する際の保存先フォルダを設定します。 ▶YES
検索	着うたフル®を検索します。(P.362参照)

お知らせ

<保存先フォルダ選択>
●保存先に設定されたフォルダには「□」が表示されます。
●microSDメモリーカードの保存先フォルダは、microSDチェックディスクを行ったり、パソコンでフォルダを作成・編集すると、保存先フォルダが変更される場合があります。設定が変更された場合は、再度保存先フォルダを設定してください。

着うたフル®一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
再生モード変更	再生モードを変更します。(P.361参照)
音質モード変更	音質モードを変更します。(P.361参照)
サラウンド設定	サラウンドを設定します。(P.361参照)
タイトル編集	▶タイトルを入力 ●FOMA端末内の着うたフル®の場合、全角9文字まで、半角18文字まで入力できます。 ●microSDメモリーカード内の着うたフル®の場合、全角18文字まで、半角36文字まで入力できます。
着信音設定	着うたフル®を着信音に設定します。(P.363参照)
ミュージック情報	着うたフル®の曲名やアーティスト名、画像枚数や演奏時間などを表示します。 ●◎で画面をスクロールして確認できます。 ●ミュージック情報表示中に(機能)を押して「曲情報編集」を選択すると情報内容を編集できます。編集したい情報を選択して編集します。「曲情報初期化」を選択すると、編集した情報を編集前の情報に戻せます。戻したい情報を選択し、「YES」を選択します。 ●確認が終われば(クリア)を押します。
サイト接続	着うたフル®にURL情報がある場合に、そのURLに接続します。 ▶YES
画像表示	着うたフル®に登録されているジャケット画像を表示します。 ●複数のジャケット画像が登録されている場合は、◎を押すと前または次のジャケット画像を表示できます。最大3枚まで表示できます。 ●表示しているジャケット画像は、◉(保存)を押して保存できる場合があります。(P.364「画像保存・歌詞保存」参照) ●(クリア)を押すと一覧画面に戻ります。

機能メニュー	操作･補足
歌詞表示	着うたフル®に登録されている歌詞画像を表示します。 ●複数の歌詞画像が登録されている場合は、Ⓞを押すと前または次の歌詞画像を表示できます。最大7枚まで表示できます。 ●表示している歌詞画像は、◉(保存)を押して保存できる場合があります。(P.364｢画像保存･歌詞保存｣参照) ●CLRを押すと一覧画面に戻ります。
microSDへ移動	microSDメモリーカードに1件移動します。(P.339参照)
本体へ移動	｢移行可能ミュージック｣フォルダ内の着うたフル®をFOMA端末に1件移動します。(P.339参照)
フォルダ移動	FOMA端末内の着うたフル®をFOMA端末内の別のフォルダに、microSDメモリーカード内の着うたフル®をmicroSDメモリーカード内の別のフォルダに移動します。 ▶**移動先を選択** ●第2階層目以降にフォルダがある場合は、✉(📁↓)を押すと表示できます。上の階層に戻すには iα(📁↑)を押します。
フォルダ追加	フォルダを作成します。7階層まで作成できます。(P.361参照)
フォルダ名編集	フォルダ名を編集します。(P.362参照)
フォルダ削除	フォルダを削除します。(P.362参照)
保存先フォルダ選択	保存先フォルダを選択します。7階層までのフォルダに対して設定できます。(P.362参照)
検索	着うたフル®を検索します。(P.362参照)
1件削除	▶YES
全削除	フォルダ内に保存されているすべての着うたフル®を削除します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶YES ●フォルダ内にユーザフォルダがある場合は、ユーザフォルダ内の着うたフル®もすべて削除されます。ユーザフォルダは削除されません。
タイトル初期化	タイトルを編集前のタイトルに戻します。 ▶YES

機能メニュー	操作･補足
複数選択	複数の着うたフル®を選択して操作します。 ▶**操作したい着うたフル®にチェック** ▶iα(機能)▶**項目を選択** **削除**. . . . . P.363｢1件削除｣参照 **フォルダ移動** . . P.363参照 **全選択** . . . . 全選択します。 **全選択解除** . . . 選択をすべて解除します。
保存容量確認	空き容量と保存容量(目安)を表示します。 ●確認が終わればCLRを押します。
一覧表示切替	着うたフル®の一覧表示を切り替えます。(P.364参照)

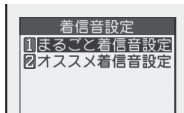
お知らせ

<1件削除><全削除>

●他の機能に設定していた着うたフル®を削除すると、お買い上げ時の設定に戻ります。

着信音設定

着うたフル®を着信音に設定します。
1曲をそのまま設定する｢まるごと着信音設定｣と、曲の一部分をｉモーションとして切り出して設定する｢オススメ着信音設定｣があります。(切り出せる範囲はあらかじめ設定されています。)

1 **着うたフル®一覧画面･再生中･停止中･一時停止中▶iα(機能)▶着信音設定**

2 まるごと着信音設定の場合

まるごと着信音設定▶項目を選択

●microSDメモリーカード内の着うたフル®の場合は設定できません。

オススメ着信音設定の場合

オススメ着信音設定
▶切り出したい部分を選択▶YES
▶保存したいフォルダを選択▶YES
▶項目を選択

●✉(デモ)を押すと切り出す部分を確認できます。
●保存されているｉモーションがいっぱいのときはP.211参照。

一覧表示切替

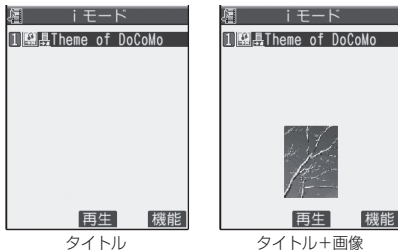
お買い上げ時	タイトル＋画像

着うたフル®一覧画面の表示内容を変更します。

1 着うたフル®一覧画面▶(機能)▶一覧表示切替▶表示方法を選択

タイトル . . . . タイトルが一覧表示されます。
タイトル＋画像 . . タイトルと画像が同時に表示されます。表示される画像はジャケット画像の1枚目です。

タイトル

タイトル＋画像

再生中・停止中・一時停止中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
曲変更	再生する着うたフル®を変更します。P.359手順2へ進みます。
再生モード変更	再生モードを変更します。(P.361参照)
音質モード変更	音質モードを変更します。(P.361参照)
サラウンド設定	サラウンドを設定します。(P.361参照)
ミュージック情報	着うたフル®の曲名やアーティスト名、画像枚数や演奏時間などを表示します。 ●で画面をスクロールして確認できます。 ●確認が終われば(クリア)を押します。
着信音設定	着うたフル®を着信音に設定します。(P.363参照)
画像保存・歌詞保存	表示されているジャケット画像・歌詞画像を保存します。 ▶YES▶保存したいフォルダを選択 ●保存されている画像がいっぱいのときはP.211参照。
サイト接続	URL情報に基づきサイトに接続します。(P.362参照)
画像表示・歌詞表示	着うたフル®に登録されているジャケット画像・歌詞画像を表示します。 ●再生時の画面で(カメラ)を押すごとに画像表示と歌詞表示が切り替わります。 ●ジャケット画像は最大3枚まで、歌詞画像は最大7枚まで表示できます。
前画像表示・前歌詞表示	前のジャケット画像・歌詞画像を表示します。 ●再生時の画面で1を押しても前の画像を表示できます。
次画像表示・次歌詞表示	次のジャケット画像・歌詞画像を表示します。 ●再生時の画面で3を押しても次の画像を表示できます。

プレイリストを登録する

FOMA端末、microSDメモリーカードに保存されている着うたフル®を30曲まで選択し、好きな順にプレイリスト登録します。
プレイリストは5件まで作成できます。

1 (メニュー)▶(データBOX)▶ミュージック▶プレイリスト1～5を選択

2 <1番目>～<30番目>を選択▶フォルダを選択▶着うたフル®を選択

3 手順2を繰り返す

プレイリスト登録した着うたフル®を再生するには(再生)を押します。

●登録した着うたフル®を解除するには、(機能)を押して「1件解除」を選択します。「全解除」を選択すると、登録済みのすべての着うたフル®を解除します。

お知らせ

●FOMA端末に保存されている着うたフル®には「」が、microSDメモリーカードに保存されている着うたフル®には「」が表示されます。
●プレイリスト登録している着うたフル®を削除したり、FOMA端末とmicroSDメモリーカードの間で移動したりすると、プレイリストから解除されます。
●microSDメモリーカード内のファイルが、プレイリスト登録されていても、microSDメモリーカードが挿入されていない場合などは再生できません。ただし、プレイリストからは解除されません。

<SDオーディオ>

SDオーディオを利用する

音楽CDなどからmicroSDメモリーカードにパソコンを利用して保存した曲を、FOMA端末で再生できます。

- SDオーディオを使用すると電池の消耗が早くなりますのでご注意ください。

microSDメモリーカードに音楽を保存する

添付のFOMA P903i用CD-ROMのSD-Jukeboxを利用して、パソコンでmicroSDメモリーカードに音楽を保存します。

- microSDメモリーカードアダプタ(別売)を使って、パソコンから直接microSDメモリーカードに保存することもできます。

※以下のステップは、FOMA端末をmicroSDリーダーライターとして使用し、音楽を保存する場合の一例です。

ステップ

1 音楽を保存するために必要なものを準備する

はじめに音楽を保存するために必要なものを準備します。

- FOMA P903i本体
- microSDメモリーカード
- FOMA USB接続ケーブル(別売)
- パソコン(Windows® XPまたはWindows® 2000 Professional)
- SD-Jukebox(添付のFOMA P903i用CD-ROM)
- 保存したい音楽CD

ステップ

2 SD-Jukeboxをインストールする

添付のFOMA P903i用CD-ROMからパソコンにSD-Jukeboxをインストールします。

- SD-JukeboxのインストールについてはP.369参照。

ステップ

3 FOMA端末をリーダーライターとして使う

FOMA端末をリーダーライターとして使用するための準備をします。(P.341参照)

ステップ

4 microSDメモリーカードに音楽を保存する

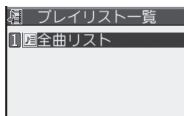
SD-Jukeboxを起動してパソコンに音楽CDを入れます。SD-Jukeboxを使用してmicroSDメモリーカードに音楽を保存します。

- SD-Jukeboxの操作方法についてはSD-Jukeboxのヘルプをご覧ください。
- 保存が完了したら、FOMA端末からFOMA USB接続ケーブルを取り外します。

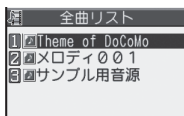
FOMA端末で音楽を再生する

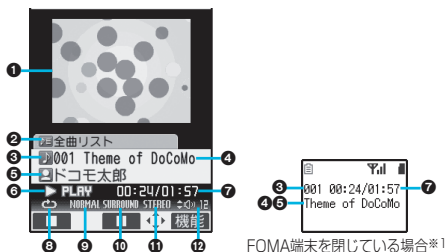
microSDメモリーカードに保存した音楽データをFOMA端末で再生します。

- 平型ステレオイヤホンセット(別売)を接続してステレオサウンドで音楽を楽しめます。また、市販のBluetooth機器を利用してワイヤレスで音楽を楽しめます。(P.398参照)

1 (メニュー)▶▶**SDオーディオ**

プレイリスト一覧画面

- 待受画面で(P)を1秒以上押すと、「着うたフル®プレーヤー」と「SDオーディオ」のうち、最後に操作した機能(お買い上げ時は「着うたフル®プレーヤー」)が起動します。FOMA端末を閉じた状態でも起動できます。
- 前回再生した曲の情報がある場合は、再生画面(一時停止状態)が表示されます。(chクリア)を押すごとに、曲一覧画面とプレイリスト一覧画面に戻れます。
- 現在再生中のプレイリストや前回再生したプレイリストには「★」マークが付いています。
- (✉)(再生)を押すと選択したプレイリスト内の先頭の曲から再生します。ただし、再生モードを「ランダム」や「ランダムリピート」に設定している場合は、プレイリスト内のいずれかの曲から再生されます。

2 **プレイリストを選択▶曲を選択**

曲一覧画面

- 現在再生中の曲や前回再生した曲には「★」マークが付いています
- 再生中にFOMA端末を閉じても再生は継続されます。
- 再生中･一時停止中･停止中に(P)を1秒以上押すか(☎)を押すとSDオーディオを終了します。

次ページにつづく

■曲再生時の画面について

FOMA端末を閉じている場合※1

❶…曲に登録されている画像※2

❷…プレイリスト名　❸…曲番号

❹…曲名　❺…アーティスト名

❻…再生状態　❼…再生時間／総演奏時間

❽…再生モード(「ノーマル」の場合は、何も表示されません。)

- ：1曲終了　：1曲リピート
- ：全曲リピート　：ランダム
- ：ランダムリピート

❾…音質モード

- NORMAL：ノーマル　S-XBS：S-XBS
- TRAIN：トレイン

❿…サラウンド

- SURROUND：ON

⓫…ステレオ／モノラル種別

- STEREO：ステレオ　MONO：モノラル

⓬…音量

※1 再生開始後、約15秒経過すると「再生中･･･」の画面に切り替わります。ボタン操作で一時停止や再生などを行うと再度曲情報が表示されます。

※2 複数の画像が登録されている場合、曲によっては再生中に画像が自動で順次表示されます。また、画像が登録されていない場合や総演奏時間が5秒未満の曲の場合は、アニメーションが表示されます。

■曲再生時の操作

操作	ボタン操作
停止	(■)を押します。再生するには(▶)またはを押します。
一時停止	(❚❚)またはを押します。再生するには(▶)またはを押します。FOMA端末を閉じている場合もで再生または一時停止できます。
音量調節 お買い上げ時 レベル12	または▲▼を押します。押し続けると連続して音量が調節されます。FOMA端末を閉じている場合も▲▼で調節できます。レベル0～25まで設定できます。
次の曲を再生	を押します。
前の曲を再生※1	を押します。また、再生時間が3秒以上の場合は頭出しになります。
シーク(早送り)※2	を押し続けると、押している間早送りします。
シーク(早戻し)※2	を押し続けると、押している間早戻しします。
次の画像を表示	3を押します。
前の画像を表示	1を押します。

※1 「ランダム」「ランダムリピート再生」時や前の曲がない場合は曲の頭出しになります。

※2 停止中･一時停止中は操作できません。

曲再生時の画面でFOMA端末を閉じた場合は、平型ステレオイヤホンセット(別売)または平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)のスイッチを使って、下記の操作を行えます。

- FOMA端末を開いている場合は下記の操作はできません。

操作	スイッチ操作
一時停止	1回押します。再生するには再度1回押します。
次の曲を再生	連続2回押します。
前の曲を再生※	連続3回押します。また、再生時間が3秒以上の場合は頭出しになります。

※「ランダム」「ランダムリピート再生」時や前の曲がない場合は曲の頭出しになります。

■曲再生の仕様と保存曲数について

ファイル形式	MPEG-2 AAC、 MPEG-2 AAC+SBR
ビットレート	32～128kbps
最大保存可能曲数	999曲
最大プレイリスト数	99件(1件のプレイリストには最大99曲まで登録可能※)

※「全曲リスト」を除く。

お知らせ

- 以下の操作を行うと、前回再生した曲の情報は消去されます。
  - ･microSDメモリーカードを取り外し／取り付けした場合
  - ･FOMA端末の電源をOFF／ONした場合
  - ･「設定リセット」や「端末初期化」を行った場合
- 再生中にチャットメールを起動してチャットメールを受信しても、お知らせ音は鳴りません。
- 電池残量が少ない状態で、音楽を再生しようとした場合は、再生するかどうかの確認画面が表示されます。また、再生中に電池残量が少なくなった場合は、再生が一時停止され、電池残量警告音が鳴り、終了するかどうかの確認画面が表示されます。マルチタスクで他の機能を起動中は、再生中の画面を表示すると確認画面が表示されます。
- 一時停止や早送りなどを頻繁に行うと電池の消耗が早くなりますのでご注意ください。
- microSDメモリーカード内の音楽データはFOMA端末で編集／削除できません。
- 曲名やアーティスト名などにFOMA端末で表示できない文字がある場合、FOMA端末では「･」で表示されることがあります。
- 以下の場合は、再生が一時停止され、操作終了後も一時停止状態になります。
  - ･音声電話、テレビ電話、プッシュトークの発着信があった場合
  - ･「受信表示設定」を「通知優先」に設定しているときまたは待受画面を表示しているときにメールやメッセージR/Fなどを受信した場合
  - ･「アラーム」「スケジュール」「ToDo」のアラームが鳴った場合
  - ･赤外線でデータを送信した場合

プレイリスト一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作･補足
再生モード変更 お買い上げ時 ノーマル	▶再生モードを選択 **ノーマル** . . . プレイリスト内の曲を曲一覧画面の並び順に再生します。 最後の曲まで再生すると終了します。 **1曲終了** . . . 選択した曲を1回再生します。 **1曲リピート** . . . 選択した曲を繰り返し再生します。 **全曲リピート** . . . プレイリスト内の曲を曲一覧画面の並び順に繰り返し再生します。 **ランダム** . . . プレイリスト内の曲をランダムに再生します。 プレイリスト内のすべての曲を再生すると終了します。 **ランダムリピート** . . . プレイリスト内の曲をランダムに繰り返し再生します。
音質モード変更 お買い上げ時 ノーマル	音質を変更します。平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)を接続しているときに効果が得られます。 ▶音質を選択 **ノーマル** . . 通常の音質。 **S-XBS** . . . 低音を強調します。 **トレイン** . . 音漏れの原因となる「シャカシャカ音」を低減します。
サラウンド設定 お買い上げ時 OFF	自然な立体感のある音で再生できます。 ▶ON･OFF
プレイリスト名編集	作成したプレイリストの名前を変更します。 ▶プレイリスト名を編集 ●60文字まで入力できます。
プレイリストコピー	プレイリストを複製します。 ▶プレイリスト名を入力 ●60文字まで入力できます。
プレイリスト1件削除	作成したプレイリストを削除します。 ▶YES
プレイリスト全削除	作成したプレイリストをすべて削除します。 ▶YES

次ページにつづく

機能メニュー	操作・補足
複数選択	複数の作成したプレイリストを選択して削除します。 ▶削除したいプレイリストにチェック ▶(機能)▶プレイリスト削除 ▶YES

お知らせ

＜プレイリストコピー＞
- 「全曲リスト」を複製する場合、99曲目までがコピーされます。

曲一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
再生モード変更	再生モードを変更します。(P.367参照)
音質モード変更	音質モードを変更します。(P.367参照)
サラウンド設定	サラウンドを設定します。(P.367参照)
曲詳細情報	曲の曲名やアーティスト名、画像枚数や演奏時間などを表示します。 ●で画面をスクロールして確認できます。 ●確認が終われば(clr)を押します。
プレイリスト作成	新しいプレイリストを作成します。また、選択中の曲が新しく作成されたプレイリストに登録されます。 ▶プレイリスト名を入力 ●60文字まで入力できます。
1件登録	選択中の曲をプレイリストに登録します。登録した曲はプレイリストの最後に登録されます。 ▶プレイリストを選択
1件解除	選択中の曲をプレイリストから解除します。 ▶YES
全解除	プレイリスト内のすべての曲をプレイリストから解除し、プレイリストも削除します。 ▶YES
複数選択	複数の曲を選択して操作します。 ▶操作したい曲にチェック ▶(機能)▶項目を選択 **曲登録** . . . . . P.368「1件登録」参照 **曲解除** . . . . . P.368「1件解除」参照 **全選択** . . . . . すべての曲を選択します。 **全選択解除** . . 選択をすべて解除します。 **プレイリスト作成** . . . . P.368「プレイリスト作成」参照
曲順変更	▶1つ目の曲を選択 ▶2つ目の曲を選択 2つの曲の順番を入れ替えます。上記の手順を繰り返して曲順を変更します。 ▶(確定)
検索	「全曲リスト」の中から、曲名またはアーティスト名で曲を検索します。 ▶曲名検索・アーティスト名検索 ▶曲名またはアーティスト名を入力 ▶ 該当する曲が一覧で表示されます。 ●全曲リストの曲一覧画面で(検索)を押しても検索できます。全曲リスト以外の曲一覧画面を表示している場合は、(全リスト)を押すと全曲リストの曲一覧画面を表示できます。 ●60文字まで入力できます。 ●曲名やアーティスト名は先頭の文字から入力します。また、すべてを入力しなくても構いません。
画像表示	曲に登録されている画像を表示します。 ●複数の画像が登録されている場合は、を押すと前または次の画像を表示できます。

お知らせ

＜複数選択＞
- 99件まで選択できます。
- プレイリストをまたいで選択できません。

＜検索＞
- 曲名やアーティスト名にFOMA端末で表示できない文字(「･」で表示されている文字)や半角文字が含まれている場合は、正しく検索できない場合があります。

＜画像表示＞
- 画像容量が700Kバイトより大きい場合は正しく表示されない場合があります。

再生中・停止中・一時停止中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
プレイリスト変更	再生するプレイリストを変更します。 P.365手順2へ進みます。
曲変更	再生する曲を変更します。 P.365手順2へ進みます。
再生モード変更	再生モードを変更します。(P.367参照)
音質モード変更	音質モードを変更します。(P.367参照)
サラウンド設定	サラウンドを設定します。(P.367参照)

機能メニュー	操作・補足
曲詳細情報	曲の詳細情報を表示します。(P.368参照)
1件登録	停止中の曲をプレイリストに登録します。登録した曲はプレイリストの最後に登録されます。 ▶プレイリストを選択
1件解除	停止中の曲をプレイリストから解除します。 ▶YES
前画像表示	前の画像を表示します。
次画像表示	次の画像を表示します。

SD-Jukeboxについて

SD-Jukeboxは、音楽CDの曲をパソコンに録音して管理したり、録音した曲をmicroSDメモリーカードに書き込んでP903iで楽しめるソフトウェアです。

- P903iをFOMA USB接続ケーブル(別売)でパソコンと接続し、録音した曲をmicroSDメモリーカードに書き込めます。(P.341参照)
- SD-Jukeboxをご利用いただく場合は、同梱の別紙「SDオーディオ簡易操作ガイド」およびSD-Jukeboxのヘルプを必ずお読みください。

■対応するデータ形式

項　目	対応するデータ形式
入力形式	音楽CD、WMA、MP3、WAV、MPEG-4 AAC
出力形式	WMA、MPEG-2 AAC、MPEG-2 AAC+SBR、MP3

- パソコンの環境によっては変換できないファイルもあります。
- ディスクレーベル面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO のマークが入っていない音楽CDの再生／録音には対応していません。
- P903iではMPEG-2 AAC形式、MPEG-2 AAC+SBR形式の音楽データのみ再生できます。

■動作環境

SD-Jukeboxをお使いいただくためには、以下のような性能を満たしたパソコンが必要です。

項　目	説　明
対応OS(日本語版)	Microsoft® Windows® 2000 Professional、Microsoft® Windows® XP Professional/Home Edition
必要なソフトウェア	DirectX® 8.1以降 (インストールされていない場合、添付の「FOMA P903i用CD-ROM」からインストールしてください。)

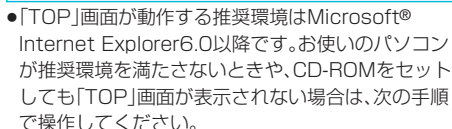
- SD-Jukeboxのヘルプ(取扱説明書)をご覧になるには、Adobe Reader(バージョン6.0以上を推奨)が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、添付の「FOMA P903i用CD-ROM」からAdobe Readerをインストールしてご覧ください。ご使用方法などの詳細につきましては、Adobe Readerヘルプを参照してください。
- 著作権保護機能対応のSDメモリーカードスロット付パソコンやSDメモリーカードリーダーライターのみ動作します。

次ページにつづく

■SD-Jukeboxのインストール
添付の「FOMA P903i用CD-ROM」をパソコンにセットして「TOP」画面が表示されたら、「エンターテイメントツール」をクリックしてSD-Jukeboxの「インストール」をクリックします。SD-Jukeboxのセットアップが開始されます。以降、画面に従って操作します。

「インストール」をクリックすると、下記のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。
※画面はWindows® XPを使用した場合の例です。お使いのパソコンの環境により異なる場合があります。

●**「ファイルのダウンロードーセキュリティの警告」ウィンドウが表示された場合**
「実行」をクリックしてください。

●**「Internet Explorerーセキュリティの警告」ウィンドウが表示された場合**
「実行する」をクリックしてください。

●「TOP」画面が動作する推奨環境はMicrosoft® Internet Explorer6.0以降です。お使いのパソコンが推奨環境を満たさないときや、CD-ROMをセットしても「TOP」画面が表示されない場合は、次の手順で操作してください。
1.Windows® のスタートメニューで「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
2.「<CD-ROMドライブのID>:¥SD-Jukebox¥SD-JukeboxV6¥Setup.exe」と入力し、「OK」をクリックします。
以降、画面に従って操作します。

●SD-Jukeboxをインストールする際は、CD-ROMに添付されているシールのシリアル番号を入力する必要があります。シリアル番号を入力しないとインストールできませんので、シリアル番号は大切に保存してください。

本ソフトウェアに関するお問い合わせ先
Panasonic ソフトウェアサポート窓口
365日/受付9時~20時
一般電話からは 0120-853-334
携帯電話からは 0570-087-555(有料)
※PHSからはご利用になれません。
●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。
●ホームページもご覧ください。
http://panasonic.jp/support/software/sdjb/

その他の便利な機能

<マルチアクセス>

マルチアクセスについて

マルチアクセスとは、音声電話・パケット通信・SMSの3回線を同時に使用できる機能です。
マルチアクセスの組み合わせパターンについての詳細は、P.464参照。

音声電話	1回線
iモード、iアプリ、iモードメール、パソコンをつないだパケット通信	1回線
SMS	1回線

お知らせ

- マルチアクセス中は、それぞれの通信回線について通信料金がかかります。

iモード中・パケット通信中に音声電話をかける

iモードやパケット通信を終了せずに音声電話をかけることができます。

1 **iモード中・パケット通信中▶(メニュー)（1秒以上）**

待受画面が表示されます。

2 **電話をかける**

- iモード中にテレビ電話をかけると、iモード接続を切断し、テレビ電話の発信を行います。テレビ電話を終了すると、iモードの画面に戻ります。
- 画面を切り替えるときは(マルチ)を1秒以上押すか、(マルチ)を押してタスクメニューから切り替えます。（P.373参照）

iモード中・パケット通信中に音声電話を受ける

iモードやパケット通信を終了せずに音声電話を受けることができます。

1 **電話がかかってくると電話着信画面が表示される▶(通話)で電話に出る**

- 画面を切り替えるときは(マルチ)を1秒以上押すか、(マルチ)を押してタスクメニューから切り替えます。（P.373参照）
- 電話に出ないでiモードやパケット通信の画面に戻るには(マルチ)を1秒以上押します。もう一度(マルチ)を1秒以上押すと電話着信画面に戻ります。
  相手にはメッセージは流れず、呼出中になります。

音声電話中に他の通信を利用する

音声電話を終了せずにiモードやメールの送受信などができます。

1 **音声電話中▶(メニュー)**

アイコンを選択して各機能の操作を行います。

- 画面を切り替えるときは(マルチ)を1秒以上押すか、(マルチ)を押してタスクメニューから切り替えます。（P.373参照）

お知らせ

- 通話中にメールやメッセージR/Fを受信した場合、「受信表示設定」の設定に関わらず、着信音は鳴らず、着信イルミネーションも点滅しません。
- 「受信表示設定」を「通知優先」に設定しているときは、以下の場合を除いて、着信音が鳴り受信結果画面が表示されます。
  ・通話中　　　　　・カメラ起動中
  ・iアプリ待受画面に設定したiアプリを通常のiアプリとして実行中
- パソコンをつないだパケット通信を利用する場合は、音声電話中にパソコンから発信操作を行います。

<マルチタスク>

マルチタスクについて

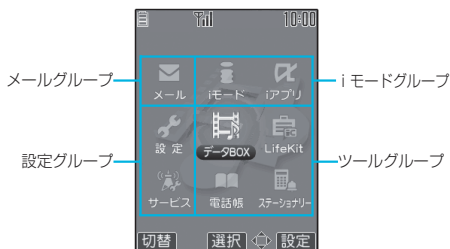
FOMA端末は、メニュー機能（P.32参照）など最大3つの機能を同時に使用できる「マルチタスク」に対応しています。
マルチアクセスとマルチタスクを組み合わせることにより、次の機能を同時に使えます。
（マルチタスクの組み合わせパターンについては、P.465参照）

■**メールグループ**
iモードメール機能、SMS機能

■**iモードグループ**
メインメニューの「iモードグループ」内のメニュー機能

■**設定グループ**
メインメニューの「設定グループ」内のメニュー機能

■**ツールグループ**
メインメニューの「ツールグループ」内のメニュー機能

■**その他グループに属さない機能**
音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信など

新しい機能を実行する

1 各種機能を実行中▶(メニュー)▶新しい機能を実行

ツールグループの機能を実行中の場合

■機能の使用状況を確認するには

アイコンで確認するには

「▰」. . 使用している機能が一つのときに表示されます。

「▰」. . 複数の機能を使用中に表示されます。

タスクメニューで確認するには

(マルチ)を押します。

現在使用中のメニューが一覧表示されます。

一覧から選択してメニューを切り替えることもできます。

■マルチタスク中のグループを確認するには

「メニューアイコン設定」を「パターン1〜4」に設定しているときは使用中のグループのアイコンに「▼」などが付きます。「パターン5」「カスタマイズ」に設定しているときはグループが枠で囲んで表示されます。

■メニュー機能を呼び出す操作をしたときは

すでに同じグループのメニュー機能が呼び出されている場合は、機能を切り替えるかどうかの確認画面が表示されます。

「YES」を選択すると元のメニュー機能は終了し、新しいメニュー機能が呼び出されます。

すでにタスクを3つ起動しているときに、さらに機能を起動しようとした場合、「これ以上機能を起動できません」と表示されます。

お知らせ

- 通話中に他の機能を同時に使っている間でも、通話料金は加算されます。
- 他の機能が動作中に着信があった場合、正しく着信動作しないことがあります。その場合、「伝言メモ」や「転送でんわサービス」などが設定した呼出時間よりも短い時間で動作することがあります。
- 処理負荷の高い機能を実行中にマルチタスクで機能を切り替えた場合、表示などの動作に遅れが発生することがあります。

画面を切り替える

複数のメニュー機能が動作しているときは、(マルチ)を1秒以上押すことで画面を切り替えることができます。最近選択したものから新しい順で切り替わります。

お知らせ

- メインメニュー以外で(メニュー)を1秒以上押すと待受画面が表示されます。
- (マルチ)で画面を切り替えても、動作中のメニュー機能が終了したり、電話が切れたりすることはありません。また、文字入力画面(P.420参照)から他のメニューに切り替え、そのメニューで文字編集などを行っても、タスクを切り替えれば、元の文字編集を続けることができます。

機能を終了する

メニュー機能の画面が表示されている状態で(☎)を押すと、そのメニュー機能が終了します。

- タスクメニューで(iα)(End)を押し、「YES」を選択するとメニュー機能がすべて終了し、待受画面に戻ります。

＜音声読み上げ＞
着信やメールの内容を音声で知らせる

着信を着信音の代わりに音声で知らせたり、メールの内容を自動で読み上げるように設定できます。また、ボイスダイヤルやボイス検索の操作を音声ガイダンスで案内します。

音声読み上げ設定

お買い上げ時	OFF

1 メニュー▶設定▶**その他**▶**ボイス設定**▶**音声読み上げ設定**▶**ON・OFF**

●「OFF」を選択した場合は設定が終了します。

2 **読み上げたい項目にチェック**▶✉(完了)

ボイスダイヤル
..........ボイスダイヤル呼出の操作を音声ガイダンスで案内します。

ボイス検索.ボイス検索の操作を音声ガイダンスで案内します。

電話着信...音声電話をかけてきた相手の情報を着信中に音声でお知らせします。

テレビ電話着信
..........テレビ電話をかけてきた相手の情報を着信中に音声でお知らせします。

メール／メッセージ受信
..........メールやメッセージR/Fの受信時に件数を音声でお知らせします。「メール／メッセージ鳴動」の設定は無効になります。

送受信メール一覧表示
..........メール一覧画面で送信元／宛先、題名などを読み上げます。

送受信メール詳細表示
..........メール詳細画面で送信元／宛先、題名、本文などを読み上げます。「開封時メロディ再生設定」を「自動再生する」に設定中は読み上げません。

メールプレビュー
..........プレビュー表示の画面で宛先、本文などを読み上げます。

●いずれかのボタンを押すとメールの音声読み上げを途中で止めることができます。ただし、画面をスクロールした場合は、音声読み上げは継続されます。
●microSDメモリーカードに保存されているメールは音声読み上げは行いません。

音声読み上げ音量

お買い上げ時	レベル4

1 メニュー▶▶**その他**▶**ボイス設定**▶**音声読み上げ音量**▶◎**で音量を調節**

音声読み上げ出力先

お買い上げ時	スピーカ

音声読み上げ時に鳴る音を、スピーカから鳴るようにするか受話口に耳をあてて聞くようにするかを設定します。

1 メニュー▶設定▶**その他**▶**ボイス設定**▶**音声読み上げ出力先**▶**スピーカ・受話口**

お知らせ

●「受話口」に設定していても、「電話着信」「テレビ電話着信」「メール／メッセージ受信」はスピーカから音が鳴ります。
●平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)を接続すると、「イヤホン切替」の設定に従って音が鳴ります。ただし、「音声読み上げ出力先」を「受話口」に設定し、「イヤホン切替」を「イヤホン+スピーカ」に設定した場合は、「電話着信」「テレビ電話着信」「メール／メッセージ受信」以外はイヤホンからのみ音が鳴ります。
●ハンズフリー対応機器からは「電話着信」「テレビ電話着信」のみ音声読み上げを行う場合があります。
●平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)のスイッチを押しても音声読み上げを止めることはできません。

音声読み上げ有効設定

お買い上げ時	標準

平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)を接続しているときのみ音声読み上げを行うように設定します。

1 メニュー▶設定▶**その他**▶**ボイス設定**▶**音声読み上げ有効設定**▶**標準・イヤホン接続時のみ**

標準.....常に音声読み上げを行います。

イヤホン接続時のみ
........平型スイッチ付イヤホンマイクを接続しているときのみ音声読み上げを行います。

お知らせ

●「イヤホン接続時のみ」に設定しているときは、音声読み上げ中に平型スイッチ付イヤホンマイクを外しても音声読み上げが継続されます。また、平型スイッチ付イヤホンマイクを外しているときに着信などがあった場合は、平型スイッチ付イヤホンマイクを接続しても、音声読み上げは行いません。

■音声読み上げのルールについて

電話帳やメールなどの内容は、おおむね次のルールに基づいて読み上げられます。

- ●使用する機能によっては、各ルールとは異なって読み上げる場合があります。

＜数字＞

- ●数字が並んでいる場合は、16桁まで桁読みします。ただし、先頭に「0」がある場合やURL、メールアドレスと判定された場合は、桁読みは行わず、数字を読み上げます。
  ＜例＞12345：イチマンニセンサンビャクヨンジューゴ
- ●数字を「/」や「.」で区切ると、日付として読み上げます。
  ＜例＞2006/11/15（2006.11.15）
  ：ニセンロクネンジューイチガツジューゴニチ
  06/11/15（06.11.15）
  ：ゼロロクネンジューイチガツジューゴニチ
- ●「1日」は日付とそれ以外で読みが異なります。「1日」以外は常に日付と同様に読み上げます。
  ＜例＞11月1日：ジューイチガツツイタチ
  1日後：イチニチゴ
- ●数字を「:」で区切ると、時刻として読み上げます。
  ＜例＞10:30：ジュージサンジュップン
  AM10:30：ゴゼンジュージサンジュップン
  22:30:30：ニジューニジサンジュップンサンジュービョー
- ●電話番号や郵便番号は「－」「（」「）」は読み上げず、数字だけを読み上げます。
  ＜例＞090－1234－XXXX
  ：ゼロキューゼロイチニサンヨンXXXX
- ●数字の先頭に「￥」「＄」「￠」「￡」がある場合は、金額として読み上げます。「,」が使用されている場合は、3桁ごとに区切られていなければ「,」より前を金額、あとを数字と判定します。
  ＜例＞￥980：キューヒャクハチジューエン
  ￥2,980：ニセンキューヒャクハチジューエン
  ￥29,80：ニジューキューエンハチジュー
- ●「（数字）分の（数字）」は分数として読み上げます。

＜英字＞

- ●FOMA端末に内蔵されている音声読み上げ用の辞書に従って読み上げます。
- ●4文字以上でローマ字読みできる場合は、ローマ字読みで読み上げます。
- ●数字のあとに英字がある場合は、単位として読み上げるものもあります。
- ●日付の前にある「M」「T」「S」「H」は年号に変換して読み上げます。
- ●上記の条件以外の場合は、アルファベット読みで読み上げます。

＜記号＞

- ●「記号一覧表」に従って読み上げます。ただし、同じ記号が3つ以上続く場合は、その記号を読み上げません。
- ●以下の文字列は「ヘンシン」と読み上げます。
  「Re:」「Re>」「Re2:」「Re2>」「Re2＊」
- ●以下の文字列は「テンソー」と読み上げます。
  「Fw:」「Fw>」「Fw2:」「Fw2>」「Fw2＊」「Fwd:」「Fwd>」「Fwd2:」「Fwd2>」「Fwd2＊」
- ●「ヘンシン」「テンソー」が複数連続する場合は、1回のみ読み上げます。
  ＜例＞Re:Re>：ヘンシン
  Fw>Fw:：テンソー
  Re:Fw:Fw:Re:Re:Re:：ヘンシンテンソーヘンシン

＜絵文字＞

- ●「絵文字一覧表」に従って読み上げます。

＜顔文字＞

- ●FOMA端末に内蔵されている音声読み上げ用の辞書に従って顔文字を読み上げます。ただし、URLやメールアドレスと判定した場合は、記号として読み上げます。

＜その他＞

- ●句読点や「！」「？」などがある場合は、区切って読み上げます。
- ●曜日を表す漢字が「（」「）」ではさまれている場合は、曜日として読み上げます。
  ＜例＞11/15（水）
  ：ジューイチガツジューゴニチスイヨービ
- ●文章の内容や記載の内容（特に地名や固有名詞など）により、正しく読み上げが行われない場合があります。

＜自動電源ON／OFF設定＞

指定した時刻に自動的に電源を入れる／切る

お買い上げ時	自動電源ON：OFF 自動電源OFF：OFF

設定した時刻に自動的に電源をON／OFFします。

1 ﾒﾆｭｰ▶設定▶**時計**
▶**自動電源ON／OFF設定**
▶**自動電源ON・自動電源OFF**
▶**項目を選択**

OFF. . .自動電源ON／OFFを設定しません。設定が終了します。

1回 . . .設定した時刻に1回のみ電源をON／OFFします。

毎日. . .設定した時刻に毎日電源をON／OFFします。

次ページにつづく

2 時刻を入力

●時刻は24時間で入力します。

お知らせ

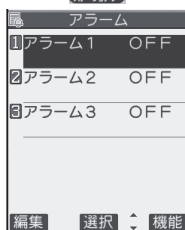
●「自動電源ON」と「自動電源OFF」を同時刻に設定した場合、設定した時刻になったときにFOMA端末の電源が切れていると電源が入り、FOMA端末の電源が入っていると電源が切れます。
●アラームやスケジュールアラームと同時刻に「自動電源OFF」を設定すると、アラームやスケジュールアラームが優先されます。
●「自動電源OFF」を設定しても、待受画面以外を表示中に指定した時刻になった場合は電源は切れません。動作中のそれぞれの機能を終了したあと、電源が切れます。
●高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近く、航空機内、病院など、使用を禁止された区域に入るときは、あらかじめ「自動電源ON」を「OFF」に設定し、FOMA端末の電源をOFFにしてください。

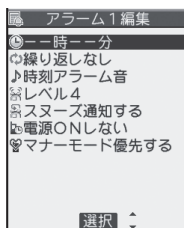
<アラーム> メニュー44

アラームを利用する

お買い上げ時	OFF

設定した時刻になるとアラーム音とアニメーション、イルミネーションでお知らせします。3件まで登録できます。

1 メニュー▶ステーショナリー▶アラーム

●i𝛼(機能)を押して「編集」を選択してもアラームを登録/編集できます。

2 アラームを選んで✉(編集) ▶以下の操作を行う

●登録済みのアラームを選択するか、i𝛼(機能)を押して「詳細表示」を選択すると、登録内容を確認できます。
●アラームを「OFF」にする場合は、i𝛼(機能)を押して「1件OFF」または「全件OFF」を選択し、「YES」を選択します。

項目	操作・補足
(時刻)	**▶アラームを鳴らす時刻を入力** ●時刻は24時間で入力します。 ●すでに設定されているアラームと同じ時刻は設定できません。
(繰り返し)	**▶繰り返し設定を選択** **設定なし**…繰り返さない(1回のみ)設定になります。繰り返しの設定が終了します。 **毎日**……毎日同じアラームを設定します。詳細画面に「D」が表示されます。繰り返しの設定が終了します。 **曜日指定**…指定した曜日にアラームを設定します。 **▶設定したい曜日にチェック ▶✉(完了)** ●1つ以上の曜日を選択してください。 ●詳細画面に「W」が表示されます。
(アラーム音)	**▶アラーム音の種類を選択** ●「OFF」を選択した場合は、アラーム音の設定が終了します。 **▶フォルダを選択▶アラーム音を選択**
(音量)	**▶◎で音量を調節** ●「ステップ」に設定すると、約3秒間の無音のあとにレベル1〜6の順で約3秒ごとに音量が上がります。

項目	操作・補足
(スヌーズ通知)	スヌーズ通知するかどうかを設定します。スヌーズ通知しない場合は、アラーム音が鳴り続ける時間を設定します。 ▶スヌーズ通知する・スヌーズ通知しない ●「スヌーズ通知する」を選択した場合は、設定が終了します。 ●スヌーズ通知の動作についてはP.377参照。 ▶鳴動時間(分)を入力 ●「01」〜「10」の2桁を入力します。
(電源ON)	電源を切っているときにアラーム時刻になった場合、自動的に電源をONにしてアラーム通知するかどうかを設定します。 ▶電源ONする・電源ONしない
(マナーモード優先)	マナーモード中のアラーム音量について設定します。 ▶項目を選択 マナーモード優先する . . . . .P.135「アラーム音量」に従って音が鳴ります。 アラーム優先する . . . . .本機能で設定した音量で音が鳴ります。

3 ✉(完了)を押す

お知らせ

●通話中にアラームが鳴ったときはいずれかのボタンを押すとアラーム音を止めることができます。もう一度いずれかのボタンを押すとスヌーズを含めてアラームを終了します。通話中の相手が電話を切った場合は、スヌーズを含めてアラームを終了します。
●通話中のアラーム音の音量は、「受話音量」で設定した音量になります。
●スヌーズ中に以下の動作が発生した場合、スヌーズは解除されます。
・音声電話、テレビ電話、プッシュトークの着信があった場合
・「受信表示設定」を「通知優先」に設定しているときにメールやメッセージR/Fを受信した場合
・「位置提供設定」やサービスごとの利用設定を「拒否」以外に設定しているときに、位置提供の要求を受信した場合
●自動的に電源をONにしてアラームを通知する場合、FOMAカード動作制限の対象となるアラーム音が選択されていると、お買い上げ時のアラーム音が鳴ります。
●高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近く、航空機内、病院など、使用を禁止された区域に入るときは、あらかじめ自動電源の設定を「電源ONしない」に設定し、FOMA端末の電源をOFFにしてください。

■「アラーム」、「スケジュール」、「ToDo」のアラームを設定しているときは

「アラーム」、「スケジュール」、「ToDo」のアラームを設定しているとデスクトップにアイコンが表示されます。

「🔔」. . 当日の設定(過ぎた時刻の設定は除く)がある場合に表示されます。
「🔔」. . 明日以降の設定のみの場合に表示されます。

●「時計表示設定」の「表示方法」を「OFF」に設定した場合や、スケジュール・ToDoを「通知しない」に設定して登録した場合は、アイコンは表示されません。

■「アラーム」、「スケジュール」、「ToDo」で設定した時刻になると

アラーム音が約5分間(「アラーム」は設定した時間)鳴り、イルミネーションが点灯します。また、「バイブレータ」の「電話」で設定した動作で振動してお知らせします。アラームを「スヌーズ通知する」に設定した場合は、☎を押してスヌーズを解除するまで約5分おきに約1分間、最大6回アラーム音が鳴ります。通話中のときは、受話口からアラームが3回繰り返し鳴ります。画面には、設定したアラームメッセージと選択したアイコンに連動したアニメーションまたはｉモーションが表示されます。

●操作中は
「アラーム通知設定」で操作中の通知のしかたを設定できます。(P.384参照)

●アラーム通知の設定を同じ時刻にしたときは
「アラーム」→「ToDo」→「スケジュール」の優先順位で通知します。通知できなかったスケジュールまたはToDoについては「未通知アラームあり」のアイコンを表示してお知らせします。

●電源OFFのときは
<アラーム>
自動電源の設定を「電源ONする」に設定している場合は、自動的に電源をONにしてアラーム通知します。「電源ONしない」に設定している場合は、電源はOFFのままでアラーム通知しません。電源をONにしたあとも「未通知アラームあり」のアイコンは表示されません。
<スケジュール・ToDo>
アラーム通知はしません。電源をONにしたあとも「未通知アラームあり」のアイコンは表示されません。

次ページにつづく

●マナーモード中は
<アラーム>
バイブレータとイルミネーションの点灯でお知らせします。ただし、マナーモード設定中の動作を「オリジナルマナー」に設定し、その設定内容で「アラーム音量」を「消去」以外に設定しているときはアラーム音が鳴ります。
<スケジュール･ToDo>
バイブレータとメッセージ表示、イルミネーションの点灯でお知らせします。ただし、マナーモード設定中の動作を「オリジナルマナー」に設定し、その設定内容で「電話着信音量」を「消去」以外に設定しているときはアラーム音が鳴ります。

●オールロック中、PIMロック中は
アラーム通知はしません。オールロックやPIMロック解除後に「未通知アラームあり」のアイコンを表示してお知らせします。また、電源もOFFにしていたときは、電源はONにならず、オールロックやPIMロック解除後も「未通知アラームあり」のアイコンは表示されません。

●SD-PIM動作中、赤外線通信中は
アラーム通知はしません。
各機能の終了後に「未通知アラームあり」のアイコンを表示してお知らせします。

●ソフトウェア更新中は
アラーム通知はしません。
書き換え中に設定した時刻になった場合は、ソフトウェア更新終了後も「未通知アラームあり」のアイコンは表示されません。

■アラーム音／アラームメッセージ･アニメーション／ｉモーションの表示を消すには

いずれかのボタンを押せばアラーム音は停止しますが、アニメーション／ｉモーションは静止画になり、アラームメッセージは表示されたまま残ります。もう一度いずれかのボタン(アラームを「スヌーズ通知する」に設定した場合は(☎))を押すと消せます。ただし、FOMA端末を閉じているときは、サイドボタンでスケジュールのアラームメッセージの表示は消せません。また、電話がかかってきたときはアラームは停止します。

お知らせ

●ｉモーション／着うたフル®によってはアラーム音に設定できない場合があります。
●アラーム音に設定したｉモーションによってはアラーム通知時に音声のみが再生される場合があります。
●着うたフル®をアラーム音に設定した場合は、アラーム通知時に音声のみが再生されます。
また、アラーム音選択時のデモ再生時とアラーム通知時のイルミネーションが異なる場合があります。

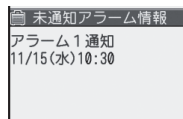
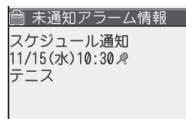
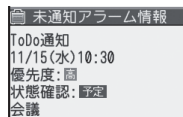
■「アラーム通知」ができなかったときは

アラーム通知ができなかったときは、デスクトップに「未通知アラームあり」のアイコンが表示されます。そのアイコンから通知できなかったアラームの内容(未通知アラーム情報)を確認できます。
未通知アラーム情報は通知できなかった最新のものを表示します。

1. 待受画面▶(◉)▶ (アラーム) を選択
●(☎)または(ch クリア)を押すと元の状態に戻ります。
●未通知アラーム情報を確認すると、「未通知アラームあり」のアイコンは消えます。

アラームの場合

スケジュールの場合

未通知アラーム情報
ToDo通知
11/15(水)10:30
優先度：高
状態確認：予定
会議

ToDoの場合

お知らせ

●「アラーム通知設定」を「通知優先」に設定している場合、発信中にアラーム時刻になったときは相手を呼び出したあとに、着信中にアラーム時刻になったときは通話を開始したあとにお知らせします。

<スケジュール>

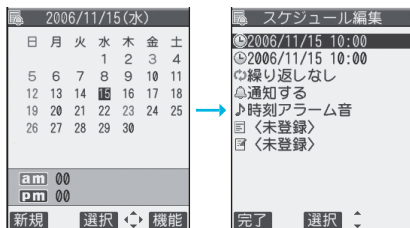
カレンダーでスケジュールを管理する

1ヶ月単位または1週間単位でカレンダーを表示し、登録したスケジュールを確認できます。
2006年1月1日から2037年12月31日まで表示・登録できます。

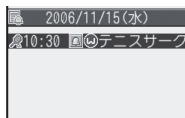
- アラーム通知の動作についてはP.377参照。

スケジュールを登録する

指定した日付・時刻になるとアラーム音やイルミネーション、アラームメッセージ(スケジュールの要約や内容)および設定したアイコンに対応したアニメーションで用件をお知らせします。
スケジュールは400件まで登録できます。

1 ▶▶**スケジュール**
▶(新規)▶**スケジュール**
▶**以下の操作を行う**

カレンダー画面

項目	操作・補足
(開始日時)	▶スケジュールを開始する日付、時刻を入力 ●時刻は24時間で入力します。
(終了日時)	▶スケジュールを終了する日付、時刻を入力 ●時刻は24時間で入力します。
(繰り返し)	▶繰り返し設定を選択 **設定なし** . . 繰り返しなし(1回のみ)設定になります。繰り返しの設定が終了します。 **毎日** . . . . . . 毎日同じスケジュールを設定します。繰り返しの設定が終了します。 **曜日指定** . . 指定した曜日にスケジュールを設定します。 ●繰り返し(毎日/曜日指定)を設定したスケジュールも1件としてカウントされます。 ▶設定したい曜日にチェック ▶(完了) ●1つ以上の曜日を選択してください。
(通知)	▶通知方法を選択 **通知する** . . . . . 開始日時に設定した時刻に通知します。通知の設定が終了します。 **事前通知する** . . 設定した事前通知時刻にのみ通知します。 **通知しない** . . . 通知しません。通知の設定が終了します。 ▶何分前に通知するかを入力 ●「01」~「99」の2桁を入力します。
(アラーム音)	▶アラーム音の種類を選択 ●「OFF」を選択した場合は、アラーム音の設定が終了します。 ▶フォルダを選択▶アラーム音を選択
(要約)	▶スケジュール要約を入力 ●全角20文字まで、半角40文字まで入力できます。
(内容)	▶スケジュール内容を入力 ●全角256文字まで、半角512文字まで入力できます。 ▶アイコンを選択 ●ユーザアイコンを設定しているときは ~ が表示されます。 ●アラーム通知のとき、選択したアイコンに対応したアニメーションが表示されます。 ●内容を入力せずに(完了)を押した場合、「予定あり」と登録されます。

2 **(完了)を押す**

- 設定により、画面に以下のアイコンが表示されます。
  :アラームでお知らせ
  :毎日繰り返し
  :曜日指定繰り返し

次ページにつづく

■同じ日時に2つのスケジュールを設定しようとしたときは

同時刻に設定できるのは「繰り返し」(毎日／曜日指定)と「繰り返しなし」(設定なし)の組み合わせだけです。2つのスケジュールがともに「繰り返しなし」(設定なし)またはともに「繰り返し」(毎日／曜日指定)の場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。
「繰り返しなし」のスケジュールと「繰り返し」のスケジュールの場合は、「繰り返しなし」が優先される旨の確認画面が表示されます。

お知らせ

- シークレットデータとして登録したスケジュールは、「シークレットモード」「シークレット専用モード」以外の通常のモードでのアラーム通知時にシークレットのアニメーションが表示され、アラームメッセージは表示されません。
- 待受中のときは、「着信音量」の「電話」で設定した音量でアラーム音が鳴ります。また、通話中のアラーム音は、「受話音量」で設定した音量になります。
- iモーションのユーザアイコンを設定したスケジュールのアラーム音にiモーション、着うたフル®または「おしゃべり1」「おしゃべり2」を設定した場合、設定したユーザアイコンは無効になります。
- アラーム音にiモーション、着うたフル®または「おしゃべり1」「おしゃべり2」を設定したスケジュールにiモーションのユーザアイコンは設定できません。

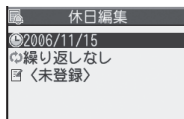
■お願い■

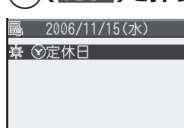
FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、登録内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え、FOMA端末に登録した内容は、別にメモを取ったり、microSDメモリーカード(P.334参照)を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink(P.417参照)やデータリンクソフト(P.468参照)とFOMA USB接続ケーブル(別売)を利用して、パソコンに保管できます。

休日・記念日を登録する

休日と記念日は1日1件ずつ、それぞれ100件まで登録できます。

1 メニュー▶ステーショナリー▶**スケジュール**
▶✉(新規)▶**休日・記念日**
▶**以下の操作を行う**

休日編集
2006/11/15
繰り返しなし
〈未登録〉

項目	操作・補足
(日付)	▶**日付を入力**
(繰り返し)	▶**繰り返し設定を選択** **設定なし**...繰り返しなし(1回のみ)設定になります。 **毎年**.......毎年同じ休日・記念日を設定します。 ●繰り返し(毎年)を設定した休日・記念日も1件としてカウントされます。
(内容)	▶**休日または記念日の内容を入力** ●全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。

2 ✉(完了)**を押す**

設定した休日()・記念日()が登録されます。
:毎年繰り返し

スケジュールの内容を確認する

スケジュール、休日または記念日の内容を確認します。

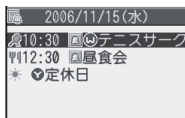
1 メニュー▶ステーショナリー▶**スケジュール**

カレンダー画面が表示されます。

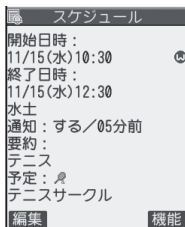
- 選択されている日付は反転表示され、画面の下にその日のスケジュールが表示されます。
- カレンダー画面の表示
  - ＿：当日
  - □：午前にスケジュールあり
  - ■：午後にスケジュールあり
- 休日は赤色、記念日は赤丸で囲んで表示されます。

1ヶ月表示
❶スケジュール件数
❷スケジュール、休日、記念日のアイコン

1週間表示
❸スケジュール件数
❹スケジュール、休日、記念日のアイコンと内容

2 **日付を選択**

スケジュール一覧画面

選択した日付のスケジュールの一覧が時刻順に表示されます。

3 **スケジュール、休日または記念日を選択**

スケジュール詳細画面

お知らせ

- 祝日は「国民の祝日に関する法律」（昭和23年法律第178号）、及び2005年5月までに既に公布されている一部改正法に基づいて作成しています。また、春分の日、秋分の日の日付は前年の2月1日の官報で発表されるため異なる場合があります。
- 1ヶ月表示のカレンダー画面では、休日、記念日のアイコンは午後の欄に表示されます。

カレンダー画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
新規登録	▶**項目を選択** **スケジュール** ．．．．．．．．P.379手順1へ進みます。 **休日**．．．．．P.380手順1へ進みます。 **記念日**．．．P.380手順1へ進みます。
1ヶ月表示・1週間表示 お買い上げ時 1ヶ月表示	カレンダー画面の表示を切り替えます。 ▶**1ヶ月表示・1週間表示**
アイコン別表示	▶**表示したいアイコンを選択** 選択したアイコンで登録されているスケジュールの一覧が表示されます。 ●スケジュールを選択すると詳細が表示されます。
ユーザアイコン設定	ユーザアイコンを設定します。（P.382参照）
登録件数確認	スケジュール、休日、記念日の件数を表示します。シークレットモード、シークレット専用モード中は、シークレットデータとして登録されているスケジュールの件数を表示します。 ●確認が終わればchクリアを押します。
赤外線全件送信	赤外線で全件送信します。（P.347参照）
iC全件送信	iC通信で全件送信します。（P.349参照）
前日まで削除	選択した日付の前日までのスケジュールや休日、記念日を削除します。 ▶**削除したい項目を選択**▶**YES**
全削除	すべてのスケジュールや休日、記念日を削除します。 ▶**端末暗証番号を入力** ▶**削除したい項目を選択**▶**YES** ●休日をすべて削除すると、祝日の設定はお買い上げ時の状態に戻ります。
祝日リセット	削除した祝日をお買い上げ時の初期状態に戻します。休日はリセットされません。 ▶**YES**

お知らせ

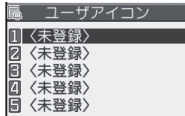
<アイコン別表示>

- アイコン別表示では、繰り返しを設定しているスケジュール（「Ⓦ」または「Ⓓ」）は1件として表示されます。日付は、今後のスケジュールの中で最も近い日付が表示されます。

ユーザアイコン設定

静止画、アニメーションまたはｉモーションをユーザアイコンとして登録すると、用件をお知らせするときに登録した画像が表示されます。
ユーザアイコンは5件まで登録でき、アイコン選択の画面では「 」〜「 」と表示されます。

1 カレンダー画面・スケジュール一覧画面・スケジュール詳細画面▶ (機能)▶ユーザアイコン設定▶<未登録>

ユーザアイコン
1 〈未登録〉
2 〈未登録〉
3 〈未登録〉
4 〈未登録〉
5 〈未登録〉

- 静止画、アニメーションまたはｉモーションが1件も登録されていないときは、「ユーザアイコン設定」は選択できません。
- 変更する場合は、登録済みのユーザアイコンを選択します。

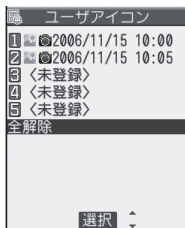
2 ユーザアイコンの種類を選択▶フォルダを選択▶画像を選択

- 選択した画像が大きい場合は「貼付表示位置」で設定した位置に表示されます。

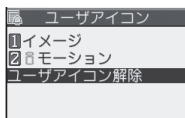
お知らせ

- 画像によってはユーザアイコンに設定できない場合があります。

■ユーザアイコンの設定を解除するには

ユーザアイコン
1 2006/11/15 10:00
2 2006/11/15 10:05
3 〈未登録〉
4 〈未登録〉
5 〈未登録〉
全解除
選択

手順1の画面で「全解除」を選択し、「YES」を選択します。
解除されたアイコンを使用していたスケジュールのアイコンは「 」に変わります。

■選択したユーザアイコン1件だけを解除するには

ユーザアイコン
1 イメージ
2 モーション
ユーザアイコン解除

手順2で「ユーザアイコン解除」を選択します。

スケジュール一覧画面・スケジュール詳細画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
新規登録	▶項目を選択 スケジュール . . . . P.379手順1へ進みます。 休日. . . . . P.380手順1へ進みます。 記念日. . . P.380手順1へ進みます。
編集	スケジュールはP.379手順1へ進みます。休日と記念日はP.380手順1へ進みます。 ● (編集)を押しても編集できます。 ●祝日は編集できません。
コピー	スケジュール、休日または記念日をコピーして別の日付に登録します。 ▶貼り付け先の日付、時刻を入力 スケジュールはP.379手順1へ進みます。休日と記念日はP.380手順1へ進みます。 ●コピー元に「繰り返し(毎日／曜日指定／毎年)」が設定されていても、貼り付け先では「繰り返しなし」に変更されます。 ●祝日はコピーできません。
カレンダー表示	アイコン別表示からカレンダー表示に戻ります。アイコン別表示中のみ操作できます。
アイコン別表示	スケジュールをアイコン別に表示します。(P.381参照)
ユーザアイコン設定	ユーザアイコンを設定します。(P.382参照)
シークレット設定・シークレット解除	スケジュールをシークレットに設定／解除します。 ▶YES ●「シークレットモード」「シークレット専用モード」以外の通常のモードで「シークレット設定」を選択した場合、端末暗証番号を入力します。
ｉモードメール作成	スケジュールの日付と内容が本文に入力されたｉモードメールを作成します。 P.228手順2へ進みます。
ｉモードメール添付	スケジュールをｉモードメールに添付して送信します。 P.228手順2へ進みます。
赤外線送信	赤外線で1件送信します。(P.346参照)
赤外線全件送信	赤外線で全件送信します。(P.347参照)
iC送信	iC通信で1件送信します。(P.348参照)
iC全件送信	iC通信で全件送信します。(P.349参照)

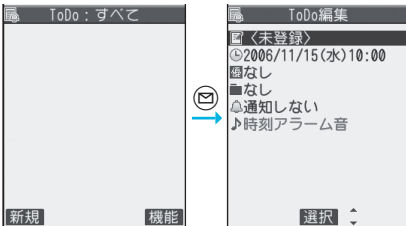
機能メニュー	操作・補足
microSDへコピー	microSDメモリーカードへ1件コピーします。(P.336参照)
1件削除	▶YES ●繰り返し(毎日／曜日指定／毎年)が設定されているスケジュール、休日または記念日を削除した場合、繰り返しデータがすべて削除されます。 ●祝日は「1件削除」でのみ削除できます。
前日まで削除	選択した日付の前日までのスケジュールを削除します。(P.381参照)
選択削除	▶削除したいスケジュールにチェック▶✉(完了)▶YES
全削除	スケジュール、休日または記念日をすべて削除します。アイコン別表示中のみ操作できます。(P.381参照)

<ToDo>

ToDoでスケジュールを管理する

予定をリストで管理し、設定の時刻にアラームでお知らせします。ToDoを最大100件登録してスケジュールを管理できます。

●アラーム通知の動作についてはP.377参照。

1 メニュー▶ステーショナリー▶ToDo▶✉(新規)▶以下の操作を行う

●すでにToDoが登録されている場合は、機能メニューから「新規登録」を選択します。
●登録済みのToDoを選択すると、登録内容を確認できます。

項目	操作・補足
(本文)	▶本文(ToDo内容)を入力 ●全角100文字まで、半角200文字まで入力できます。
(期日)	▶項目を選択 **直接入力** . . . . . . 期日(期限)を直接入力します。 **カレンダーから入力** . . . . . . カレンダーから期日(期限)を選択します。期日を確認し、◉(確定)を押します。 **なし** . . . 期日(期限)を設定しません。アラーム通知しません。
(優先度)	▶優先度を選択 ●期日順でソートしたときに、同一日付の場合優先度の高い順に表示されます。
(カテゴリー)	▶カテゴリーを選択
(通知)	▶通知方法を選択 **通知する** . . . . . 設定した時刻になるとアラームで通知します。通知の設定が終了します。 **事前通知する** . . 設定した事前通知時刻にのみ通知します。 **通知しない** . . . 通知しません。通知の設定が終了します。 ▶何分前に通知するかを入力 ●「01」～「99」の2桁を入力します。
(アラーム音)	▶アラーム音の種類を選択 ●「OFF」を選択した場合は、アラーム音の設定が終了します。 ▶フォルダを選択▶アラーム音を選択

2 ✉(完了)を押す

高：優先度高い
低：優先度低い
●本文(ToDo内容)を入力していない場合、「完了」は表示されず登録できません。

■お願い■
FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、登録内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え、FOMA端末に登録した内容は、別にメモを取ったり、microSDメモリーカード(P.334参照)を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink(P.417参照)やデータリンクソフト(P.468参照)とFOMA USB接続ケーブル(別売)を利用して、パソコンに保管できます。

ToDo表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
新規登録	P.383手順1へ進みます。
編集	P.383手順1へ進みます。 ●(✉)(編集)を押しても編集できます。 ●ToDoの状態が「完了」に設定されていて「完了日」を編集する場合は、「完」を選択し、P.383手順1「期日」と同様の操作を行います。
状態	ToDoの一覧では設定した状態が状態アイコンで表示されます。 ▶**状態を選択** ●状態アイコンは、期日を過ぎると青色から赤色に変わります。 ●「完了」を選択した場合は、P.383手順1「期日」と同様の操作を行います。
カテゴリー別表示	▶**カテゴリーを選択** ●ToDoを選択すると詳細が表示されます。
ソート／フィルタ	並べ替えて表示します。また、状態別にも表示できます。 ▶**表示したい順番や状態を選択**
デスクトップ貼付	デスクトップに貼り付けます。(P.149参照)
iモードメール添付	ToDoをiモードメールに添付して送信します。 P.228手順2へ進みます。
赤外線送信	赤外線で1件送信します。(P.346参照)
赤外線全件送信	赤外線で全件送信します。(P.347参照)
iC送信	iC通信で1件送信します。(P.348参照)
iC全件送信	iC通信で全件送信します。(P.349参照)
microSDへコピー	microSDメモリーカードへ1件コピーします。(P.336参照)
1件削除	▶YES
選択削除	▶**削除したいToDoにチェック** ▶(✉)(完了)▶YES
完了済み削除	状態が「完了」に設定されているToDoを削除します。 ▶YES
全削除	▶**端末暗証番号を入力**▶YES

お知らせ

●待受中のときは、「着信音量」の「電話」で設定した音量でアラーム音が鳴ります。また、通話中のアラーム音は、「受話音量」で設定した音量になります。

<アラーム通知設定>

アラームで通知するときの状況を設定する

お買い上げ時	通知優先

他の機能を操作中に「アラーム」、「スケジュール」と「ToDo」のアラーム通知をするかどうかを設定します。

1 (メニュー)▶(設定)▶**時計**▶**アラーム通知設定**▶**操作優先・通知優先**

操作優先‥アラーム通知は待受画面表示中にだけ行われます。

通知優先‥FOMA端末を操作しているときや通話中もアラーム通知を行います。

お知らせ

●アラーム通知ができなかったときは、デスクトップに「未通知アラームあり」のアイコンが表示されます。

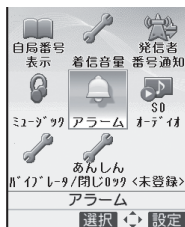
<プライベートメニュー設定>

オリジナルのメニューを使う

お買い上げ時	自局番号表示　着信音量 発信者番号通知　ミュージック アラーム　SDオーディオ バイブレータ あんしんキー／閉じロック

よく使う機能を「プライベートメニュー」に登録します。
電話帳、設定、データBOX、LifeKit、ステーショナリー、サービス、iモード、メール、iアプリの各機能(P.438参照)から9件まで登録できます。

プライベートメニューから機能を選択する

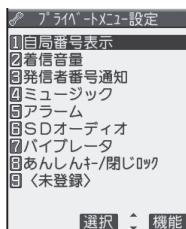
1 (メニュー)**を2回押す**

プライベートメニュー

プライベートメニューが表示されます。
●(iα)(設定)を押すとプライベートメニュー一覧画面が表示されます。
●15秒以上ボタンを押さなかった場合は待受画面に戻ります。

2 **アイコンを選択**

選択した機能の画面が表示されます。

プライベートメニュー一覧を表示する メニュー 5 2

1 メニュー▶設定▶ディスプレイ▶プライベートメニュー設定

プライベートメニュー一覧画面

プライベートメニュー一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
メニュー登録	プライベートメニューによく使う機能を登録します。 ▶登録する機能を選択 ●プライベートメニュー一覧画面で項目を選択しても登録画面が表示されます。 ●Oを押すとメニュー機能の大項目もしくは中項目ごとに登録できる機能が表示されます。Oを押して登録する機能を選びます。
背景イメージ変更 お買い上げ時 スタンダード	▶フォルダを選択▶画像を選択
デスクトップ貼付	デスクトップに貼り付けます。(P.149参照)
メニュー初期化	プライベートメニューをお買い上げ時の項目に戻します。 ▶YES
1件解除	▶YES
全解除	▶YES

お知らせ

<メニュー登録>

●「iモード」、「iアプリ」および「メール」はメニュー機能の大項目のみ登録できます。その中の各機能は登録できません。

<背景イメージ変更>

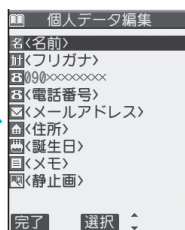
●設定できる画像は、画像サイズがVGA(480×640)以下で最大100KバイトまでのJPEG画像、GIF画像です。それ以外の画像は「サイズ変更」または「トリミング」を行って設定してください。ただし、アニメーションGIFを設定した場合は、最初の1コマ目が表示されます。

<自局番号表示> メニュー 0

自分の名前やメールアドレスなどを登録する

ご契約の電話番号(自局番号)の他にお客様の個人データとして名前とフリガナ、電話番号(3件)、メールアドレス(3件)、住所、誕生日、メモ、静止画を登録できます。
メールアドレスを変更またはシークレットコードを登録したときは、本機能のメールアドレスも変更してください。

1 メニュー▶電話帳▶自局番号表示▶✉(編集)▶端末暗証番号を入力

自局番号表示画面

P.109手順2の操作を行って個人データを登録します。

●自局番号は変更、削除できません。

●「全データ表示」などの操作で、すでに端末暗証番号を入力している場合は、端末暗証番号の入力画面は表示されません。

2 ✉(完了)を押す

お知らせ

●自局番号以外の項目はFOMA端末に登録されるため、他のFOMAカードをセットしても表示されます。

●本機能で変更するメールアドレスは、自局番号表示で表示するメールアドレスだけです。実際のメールアドレスは変更されません。

自局番号表示画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
個人データ編集	個人データを編集します。 P.385「自分の名前やメールアドレスなどを登録する」手順1へ進みます。
全データ表示	登録した電話番号やメールアドレスなどをすべて表示します。 ▶端末暗証番号を入力 Oでそれぞれの項目を表示します。
名前コピー	名前をコピーします。

次ページにつづく

機能メニュー	操作・補足
電話番号コピー・メールアドレスコピー・住所コピー・誕生日コピー・メモコピー	各項目をコピーします。 ●表示した項目によって機能メニュー項目は異なります。
赤外線送信	赤外線で1件送信します。(P.346参照)
iC送信	iC通信で1件送信します。(P.348参照)
microSDへコピー	microSDメモリーカードへ1件コピーします。(P.336参照)
電話番号削除・メールアドレス削除・住所削除・誕生日削除・メモ削除・静止画削除	各項目を削除します。 ▶YES ●端末暗証番号の入力画面が表示された場合は、端末暗証番号を入力します。 ●表示した項目によって機能メニュー項目は異なります。
個人データ初期化	自局番号以外の電話番号やメールアドレスなど、登録したすべての個人データを初期化(削除)して、お買い上げ時の状態に戻します。 ▶YES ●端末暗証番号の入力画面が表示された場合は、端末暗証番号を入力します。

<通話中音声メモ><音声メモ録音>

音声電話中、待受中の声を音声メモとして録音する

音声メモには、音声電話中に相手の声を録音する「通話中音声メモ」と、待受中に自分の声を録音する「音声メモ録音」の2つがあります。
録音できる件数は、「通話中音声メモ」または「音声メモ録音」のどちらか一方で1件、録音時間は約20秒間です。

●「通話中音声メモ」「音声メモ録音」の再生／消去についてはP.82参照。

音声電話中に相手の声を録音する

1 音声電話中▶▼(1秒以上)

「ピッ」と鳴って録音が始まります。
●以下の操作でも録音できます。
1.音声電話中▶メニュー▶LifeKit▶通話中音声メモ
●録音を途中で止めるときは◉(停止)、chクリアまたは▼(1秒以上)を押します。
●録音中に☎を押すと、録音を停止し、通話を終了します。
●録音時間(約20秒間)が終わる約5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。
録音が終わると「ピピッ」という音が鳴り、通話中の画面に戻ります。

お知らせ
●「通話中音声メモ」「音声メモ録音」のどちらかがすでに保存されているときに録音をした場合は、再生・未再生に関わらず上書きされます。
●機能メニューの各項目の操作中などは録音できません。

待受中に自分の声を録音する メニュー55

1 メニュー▶LifeKit▶伝言メモ／音声メモ▶音声メモ録音▶YES

「ピッ」と鳴って録音が始まります。送話口に向かってお話しください。
●録音を途中で止めるときは◉(停止)、chクリアまたは☎を押します。
●録音時間(約20秒間)が終わる約5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。
録音が終わると「ピピッ」という音が鳴り、元の画面に戻ります。

お知らせ
●録音中に電話がかかってきたときやアラーム、スケジュール、ToDoのアラームが鳴ったとき、マルチタスクで画面を切り替えたときには、録音が中断されます。

■お願い■
FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、保存内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え、FOMA端末に保存した内容は、別にメモを取るなどして保管することをおすすめします。

＜動画メモ＞

テレビ電話中の画像を動画メモとして録画する

テレビ電話中に相手のカメラ画像と音声を録画できます。
1件につき約20秒間、5件まで録画できます。

●「動画メモ」の再生／消去についてはP.82参照。

1 テレビ電話中▶▼(1秒以上)

「ピッ」と鳴って録画が始まります。録画が始まると「●REC」が表示されます。

- 相手には「画像選択」の「動画メモ選択」で設定した静止画が表示されます。
- 録画を途中で止めるときは◉(停止)または▼(1秒以上)を押します。
- 録画中に☎を押すと、録画を停止し、通話を終了します。
- 録画時間(約20秒間)が終わる約5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。
  録画が終わると「ピピッ」という音が鳴り、通話中の画面に戻ります。

お知らせ

- 「動画メモ」がすでに5件保存されているときに録画をした場合は、再生・未再生に関わらず最も古い「動画メモ」が上書きされます。
- 機能メニューの各項目の操作中などは録画できません。

■お願い■

FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、保存内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え、FOMA端末に保存した内容は、別にメモを取るなどして保管することをおすすめします。

＜通話中時間表示＞

通話時間の表示を設定する

お買い上げ時	ON

通話中に通話時間を表示するかどうかを設定します。

●表示される通話時間はあくまで目安であり、実際の通話時間とは異なる場合があります。

1 メニュー▶設定▶時間／料金▶通話中時間表示▶ON・OFF

音声電話の場合

テレビ電話の場合

●テレビ電話中はiα(機能)を押して「通話中時間表示」を選択します。

お知らせ

- 通話中に音声電話／テレビ電話を切り替えた場合や、通話時間の表示が「19時間59分59秒」を超えた場合は、「0秒」に戻ってカウントします。

<通話時間／料金> メニュー 6 1

通話時間と通話料金を確認する

音声電話、テレビ電話などの前回および積算の通話時間と通話料金を確認できます。

- 表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の通話時間／料金とは異なる場合があります。また、通話料金に消費税は含まれておりません。
- 通話時間は、音声電話通話時間とデジタル通信通話時間(テレビ電話通話時間＋64Kデータ通信時間)が表示され、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
- 通話料金は、かけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内(104)などに通話した場合は、「￥0」もしくは「￥＊＊」が表示されます。
- 通話料金はFOMAカードに蓄積されるため、FOMAカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金(2004年12月から積算)が表示されます。
  ※901iシリーズより前に発売されたFOMA端末では、FOMAカードに蓄積された料金は表示できません。(FOMAカードには蓄積されています。)
- 表示される通話時間および通話料金はリセットできます。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ **時間／料金** ▶ **通話時間／料金**

前回通話時間
　音声通話：直前の音声電話の通話時間を表示します。
　デジタル：直前のテレビ電話、64Kデータ通信の通話時間を表示します。

前回通話料金
　音声通話：直前の音声電話の通話料金を表示します。
　デジタル：直前のテレビ電話、64Kデータ通信の通話料金を表示します。

積算通話時間
　音声通話：積算時間リセット時から現在までの音声電話の通話時間を表示します。
　デジタル：積算時間リセット時から現在までのテレビ電話、64Kデータ通信の通話時間を表示します。

積算通話料金
　積算通話料金リセット時から現在までの通話料金を表示します。

時間リセット日時
　前回積算時間リセットを行った日付時刻を表示します。

料金リセット日時
　前回積算通話料金リセットを行った日付時刻を表示します。

- 確認が終われば クリア を押します。

お知らせ

- 前回通話時間が「19時間59分59秒」、積算通話時間が「199時間59分59秒」を超えると、「0秒」に戻ってカウントします。
- 通話中に音声電話／テレビ電話を切り替えた場合は、それぞれの通話時間･通話料金としてカウントされます。「切替中」(P.56参照)が表示されている間は料金は課金されません。
- プッシュトーク、iモード通信、パケット通信の通信時間･通信料金はカウントされません。iモード利用料などの確認方法については、iモードご契約時にお渡しする「ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)」をご覧ください。
- 着もじの送信料金はカウントされません。
- 着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。
- 電源を切るかFOMAカードを外すと、前回通話時間の表示は「0秒」、前回通話料金の表示は「￥＊＊」になります。

<積算リセット> メニュー 6 0

積算時間／積算通話料金をリセットする

1 メニュー ▶ 設定 ▶ **時間／料金** ▶ **積算リセット** ▶ **端末暗証番号を入力** ▶ **以下の操作を行う**

項目	操作･補足
積算時間リセット	前回通話時間および積算通話時間を「0秒」に戻します。 ▶**YES**
積算通話料金リセット	前回通話料金および積算通話料金を「￥0」に戻します。 ▶**YES**▶**PIN2コードを入力** ●PIN2コードについてはP.155参照。

<通話料金通知>

通話料金の上限値を設定する

お買い上げ時	通話料金通知：OFF 上限料金：0円(ON設定時) 通知方法：アイコン(ON設定時) 自動リセット設定：OFF(ON設定時)

積算通話料金の上限値を設定し、金額が上限料金を超えたときにお知らせします。「自動リセット設定」を「ON」に設定すると、毎月1日の0時に積算通話料金がリセットされ、「￥」が消去されます。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ **時間／料金** ▶ **通話料金通知** ▶ **端末暗証番号を入力** ▶ **ON･OFF**

- 「OFF」を選択した場合は、設定が終了します。

2 上限料金を入力

10円から100000円まで、10円単位で設定できます。

3 通知方法を選択▶ON・OFF ▶PIN2コードを入力

●PIN2コードについてはP.155参照。

■積算通話料金が上限料金を超えたときは
「¥」が表示されます。通知方法に「アイコン＋アラーム」を設定している場合は、待受画面に戻ったときに通話料金が上限料金を超えた旨のメッセージが表示され、スピーカから警告音が鳴ります。

上限値アイコン消去

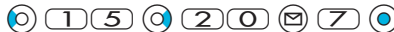
通話料金通知で表示された「¥」を消去します。

1 メニュー▶設定▶時間／料金 ▶上限値アイコン消去 ▶端末暗証番号を入力

お知らせ

- 積算通話料金リセット、設定リセット、端末初期化を行うと、「¥」は消去されます。
- 上限値を超えた場合、設定した上限値で再度通知させたいときは、積算通話料金をリセットしてください。

<電卓> メニュー 8 5

電卓を使う

電卓を表示して四則演算(＋、－、×、÷)を行います。10桁まで表示できます。

1 メニュー▶ステーショナリー▶電卓 ▶以下の操作で計算を行う

右	＋	上	×	決定	＝
左	－	下	÷	メール	小数点
ch/クリア	C(クリア) 直前に入力した数字を取り消します。				
	AC(オールクリア) 入力した計算をすべて取り消します。				

■計算の例(－15＋20.7を計算します。)
－ 1 5 ＋ 2 0 . 7 ＝ 5.7
左 1 5 右 2 0 メール 7 決定

お知らせ

- 計算の途中に負数は入力できません。
- 計算結果が10桁を超えた場合や0で割り算をするなど誤った計算を行った場合は、「.E」を表示します。

<フリーメモ> メニュー 4 2

フリーメモを作成する

フリーメモを20件まで登録できます。

1 メニュー▶ステーショナリー▶フリーメモ ▶<未登録>を選んでメール(編集)

●登録済みのフリーメモを選択すると、登録内容を確認できます。フリーメモが長い場合は上下で画面をスクロールして確認できます。

2 フリーメモを入力

●全角256文字まで、半角512文字まで入力できます。

■お願い■
FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、登録内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え、FOMA端末に登録した内容は、別にメモを取ったり、microSDメモリーカード(P.334参照)を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink(P.417参照)やデータリンクソフト(P.468参照)とFOMA USB接続ケーブル(別売)を利用して、パソコンに保管できます。

フリーメモ表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
編集	P.389「フリーメモを作成する」手順2へ進みます。 ●メール(編集)を押しても編集できます。
iモードメール作成	フリーメモの内容が本文に入力されたiモードメールを作成します。 P.228手順2へ進みます。

次ページにつづく

機能メニュー	操作・補足
スケジュール作成	フリーメモの内容が入力されたスケジュールを作成します。 ▶スケジュール P.379手順1へ進みます。
赤外線送信	赤外線で1件送信します。(P.346参照)
赤外線全件送信	赤外線で全件送信します。(P.347参照)
iC送信	iC通信で1件送信します。(P.348参照)
iC全件送信	iC通信で全件送信します。(P.349参照)
microSDへコピー	microSDメモリーカードへ1件コピーします。(P.336参照)
フリーメモ情報	フリーメモの作成日時、最終更新日時、分類を表示します。 ●確認が終われば(ch クリア)を押します。
分類	フリーメモをカテゴリー別に設定します。 ▶分類を選択 ●設定しない場合は「なし」になります。
1件削除	▶YES
選択削除	▶削除したいフリーメモにチェック ▶(✉)(完了)▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

<FOMAカード(UIM)操作>

FOMAカードと本体の間でデータをコピー・削除する

FOMA端末(本体)とFOMAカードの間で、電話帳やSMSのデータをやりとりします。また、FOMA端末(本体)やFOMAカードに記憶している電話帳やSMSのデータを削除します。
FOMAカードには、受信したSMSと送信したSMSを合わせて20件まで保存できます。

データをコピー・削除する

1 (メニュー)▶(電話帳)▶FOMAカード(UIM)操作▶端末暗証番号を入力

端末暗証番号を入力すると「(圏外)」が表示され、電話やメールの機能は使えません。
●端末暗証番号入力前に着信があった場合は、FOMAカード(UIM)操作を終了します。

2 コピー・削除▶コピー先や削除元を選択▶電話帳・SMS

電話帳
電話帳を検索し、一覧画面を表示します。

SMS
受信BOX. . .受信BOX内のデータをコピー・削除します。
送信BOX. . .送信BOX内のデータをコピー・削除します。
フォルダを選択し、一覧画面を表示します。

3 コピー・削除したいデータにチェック▶(✉)(完了)▶YES

電話帳またはSMS一覧表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
コピー開始・削除開始	コピー・削除を開始します。
1件選択	1件選択します。
タブ内全選択	表示しているタブ内のすべての電話帳を選択します。
全選択	全選択します。
1件解除	選択を解除します。
タブ内全選択解除	表示しているタブ内の電話帳の選択を解除します。
全解除	すべての選択を解除します。
詳細表示	電話帳またはSMSの詳細画面を表示します。 ●確認が終われば(ch クリア)を押します。

電話帳の機能メニューからコピーする

電話帳をFOMA端末(本体)またはFOMAカードへコピーします。

1 電話帳詳細画面▶(iα)(機能)▶FOMAカードへコピー・本体へコピー▶YES

●FOMA端末(本体)の電話帳の場合は「FOMAカードへコピー」、FOMAカードの電話帳の場合は「本体へコピー」と表示されます。

メールの機能メニューから移動･コピーする

送受信したSMSをFOMA端末またはFOMAカードへ移動･コピーします。

1 送信メール一覧画面･送信メール詳細画面･受信メール一覧画面･受信メール詳細画面▶(i α)(機能)▶FOMAカード操作▶移動またはコピーする方法を選択▶YES

「✉(青色)」はFOMA端末内のSMSを表します。
「▯」はFOMAカード内のSMSを表します。

お知らせ

- FOMA端末(本体)とFOMAカードでは、1つの電話帳に登録できる電話番号／メールアドレスの件数が異なるため、FOMA端末(本体)に登録された2つ目以降の電話番号／メールアドレスはFOMAカードへコピーできません。また、住所などFOMAカードに登録できないデータもコピーできません。
- FOMA端末(本体)とFOMAカードでは、利用できる文字の種類が異なるため、絵文字がスペースに変換されます。
- FOMA端末(本体)からFOMAカードへ電話帳をコピーする場合、名前は全角10文字まで、半角21文字まで、フリガナは半角12文字までのデータが全角カタカナに変換されてコピーされ、残りのデータはコピーされません。
- シークレットデータとして登録された電話帳は、シークレットモードまたはシークレット専用モードに設定中でもFOMAカードへコピーできません。
- FOMA端末(本体)とFOMAカードに同じグループ名が設定されている場合は、電話帳のグループ設定は保持されます。FOMA端末(本体)とFOMAカードに同じグループ名が設定されていない場合は、グループは設定されません。
- SMS送達通知の移動･コピーはできません。
- FOMAカードへ移動･コピーしたSMSは保護できません。保護されているSMSをFOMAカードへ移動･コピーした場合、FOMAカード内のSMSは保護が解除されます。また、返信や転送のマークは既読のマークになります。
- FOMA端末からFOMAカードへSMSを移動･コピーした場合は、「受信BOX」フォルダまたは「送信BOX」フォルダで確認できます。
- FOMAカードからFOMA端末へSMSを移動･コピーした場合は、「受信BOX」フォルダまたは「送信BOX」フォルダへ移動･コピーされます。

平型スイッチ付イヤホンマイクで電話をかける／受ける

イヤホンマイク／AV出力端子(P.25参照)のカバーを開け、平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)の接続プラグを差し込んで使用します。

平型スイッチ付イヤホンマイクで電話をかける

1 電話番号を入力
または
電話帳･リダイヤル･発信履歴･着信履歴を表示

2 平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す▶相手が出たら話す

「ピッ」という音が鳴り、電話がつながります。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押してテレビ電話をかけることはできません。

3 お話が終わったら、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押して通話を終了する

「ピピッ」という音が鳴り、電話が切れます。

平型スイッチ付イヤホンマイクで電話を受ける

1 着信中▶平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押す

「ピッ」という音が鳴り、電話がつながります。
テレビ電話の場合、相手には自分のカメラ画像が送信されます。テレビ電話中に(⊡)を押して自分のカメラ画像と代替画像を切り替えることができます。(P.84参照)
- FOMA端末を閉じた状態でも利用できます。
- FOMA端末の操作でも、電話を受けることができます。
- 「オート着信」をONに設定していると、呼出時間経過後に自動的に応答します。

2 お話が終わったら、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押して通話を終了する

「ピピッ」という音が鳴り、電話が切れます。

お知らせ

- 「ボタン確認音」の設定に関係なく、電話がつながったときの音や電話が切れたときの音は鳴ります。
- 着信音が鳴ってから平型スイッチ付イヤホンマイクを接続するときに、電話を受けてしまうことがありますのでご注意ください。

次ページにつづく

お知らせ

- 応答保留中、通話保留中に平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押すと、保留を解除できます。(テレビ電話を保留していた場合、自分のカメラ画像を送信し、テレビ電話を開始します)
- 平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを連続して押したり離したりしないでください。自動的に電話を受けてしまうことがあります。
- キャッチホンをご契約され、通話中に「マルチ接続中」と表示されている場合は、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押して通話する相手を切り替えることができます。ただし、スイッチでは終了できません。
- 通話中に▲(音量を上げる)、▼(音量を下げる)を押すと、音量調節ができます。

<オート着信> メニュー 9 4

イヤホンをつないで自動で電話を受ける

お買い上げ時	オート着信:OFF 呼出時間:6秒(ON設定時)

平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)を接続しているときに着信があった場合、設定した呼出時間が経過すると自動的に応答します。

1 メニュー▶設定▶外部オプション▶オート着信▶ON・OFF

- 「OFF」を選択した場合は、設定が終了します。

2 呼出時間(秒)を入力

- 「001」〜「120」の3桁を入力します。
- 遠隔監視設定、オート着信、伝言メモ設定の応答時間・呼出時間は同じ時間に設定できません。それぞれ違う時間に設定してください。

お知らせ

- テレビ電話をオート着信した場合、相手には代替画像が送信されます。テレビ電話中に(画)を押して代替画像と自分のカメラ画像を切り替えることができます。(P.84参照)
- 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスとオート着信を同時に設定する場合、オート着信を優先させるには、オート着信の呼出時間を留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間よりも短く設定してください。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクを着信中に接続しても、オート着信は動作しませんが、着信中に接続を外すとオート着信は動作します。
- 64Kデータ通信中や平型AV出力ケーブル(別売)接続中は、オート着信は行われません。

<Bluetooth>

Bluetoothを利用する

Bluetooth機器どうしをワイヤレスで接続できます。例えばFOMA端末とBluetoothヘッドセット(市販品)をBluetoothで接続すると、FOMA端末を鞄などに入れたまま通話をしたり音楽を聴いたりできます。

- Bluetooth接続を使用すると電池の消耗が早くなりますのでご注意ください。

Bluetoothでできること

FOMA端末では、ヘッドセットサービス、ハンズフリーサービス、オーディオサービス、ダイヤルアップ通信サービス、オブジェクトプッシュサービス、シリアルポートサービスの6つのサービスを利用できます。また、オーディオサービスではオーディオ／ビデオリモートコントロールサービスも利用できる場合があります。(対応しているBluetooth機器のみ)

対応バージョン
Bluetooth標準規格Ver.1.2準拠
対応プロファイル(対応サービス)
HSP:Headset Profile (ヘッドセットプロファイル) HFP:Hands-Free Profile (ハンズフリープロファイル) A2DP:Advanced Audio Distribution Profile (アドバンスドオーディオディストリビューションプロファイル) AVRCP:Audio Video Remote Control Profile (オーディオ／ビデオリモートコントロールプロファイル) DUNP:Dial-up Networking Profile (ダイヤルアップネットワーキングプロファイル) OPP:Object Push Profile (オブジェクトプッシュプロファイル) SPP:Serial Port Profile (シリアルポートプロファイル)

■ヘッドセットで通話する

Bluetoothヘッドセット　F01(別売)やBluetoothヘッドセット(市販品)とFOMA端末をBluetoothで接続すると、ワイヤレスで通話できます。

・ご利用にはヘッドセットサービスを使います。

■ハンズフリーで通話する

カーナビなどのBluetooth対応機器(市販品)とFOMA端末をBluetoothで接続すると、カーナビなどのマイクとスピーカを利用してハンズフリーで通話できます。

・ご利用にはハンズフリーサービスを使います。

■オーディオ機器で再生する

ワイヤレスイヤホンセット　P01(別売)やBluetooth対応オーディオ機器(市販品)とFOMA端末をBluetoothで接続すると、高音質なステレオサウンドをワイヤレスで再生できます。

・ご利用にはオーディオサービスを使います。

■ワイヤレスで通信する

Bluetooth対応パソコンとFOMA端末をBluetoothで接続すると、FOMA端末をモデム代わりにしてパケット通信や64Kデータ通信を行えます。

・ご利用にはダイヤルアップ通信サービスを使います。
・詳しくはPDF版「データ通信マニュアル」をご覧ください。

■Bluetoothで電話帳を送信する

Bluetooth機器とFOMA端末をBluetoothで接続して、電話帳データを送信できます。電話帳の機能メニューから送信します。

・ご利用にはオブジェクトプッシュサービスを使います。

■ｉアプリからBluetoothを利用する

Bluetoothを利用して他の携帯電話やBluetooth対応機器と接続することにより、ｉアプリで対戦ゲームを行ったり、データを管理したりできます。

・ご利用にはシリアルポートサービスを使います。

■Bluetooth機器から出力される音

		接続しているサービス		
		HSP	HFP	A2DP
音声電話発信音		○	○	×
音声電話・テレビ電話着信音		○	○	×
音声電話・テレビ電話時の呼び出し音		○	○	×
音声電話・テレビ電話時の相手の音声		○	○	×
音声電話時の相手の伝言メモの音声		○	○	×
ｉモーション再生音		×	×	○※1
着うたフル®再生音		×	×	○
SDオーディオ再生音		×	×	○
アラーム通知音	通知優先	○※2	○※2	×
	操作優先	×※3	×※3	×※3

○：Bluetooth機器から出力されます

×：Bluetooth機器からは出力されずFOMA端末から鳴ります

※1 サイトから取得中に再生しているｉモーションの場合は鳴りません。

※2 通話中のみBluetooth機器から鳴ります。
Bluetooth機器から鳴る音はアラーム音に設定した音ではなく「ピッピピッ」という通知音が鳴ります。

※3 待受画面以外を表示中はアラーム通知音は鳴りません。

●プッシュトーク発着信時の音や、メール・メッセージR/F着信音などは出力されません。

●「HSP」で接続中は「○」の場合、「イヤホン切替」を「イヤホン＋スピーカ」に設定しているとBluetooth機器、FOMA端末の両方から音が鳴ります。

●お使いのBluetooth機器によっては、上記の動作にならない場合があります。

お知らせ

●Bluetooth機器の取扱説明書もご覧ください。

Bluetooth利用の流れ

Bluetooth機器を利用するには、あらかじめFOMA端末にBluetooth機器を登録し、各機能に対応したサービスで接続する必要があります。

<例>ワイヤレスイヤホンセット　P01（別売）との接続

ワイヤレスイヤホンセット　P01をFOMA端末に登録する（P.395参照）

利用したい機能に対応したサービスで接続する（P.395参照）

Bluetoothを利用して通話したい	Bluetoothを利用して動画の音声や音楽などを再生したい

ハンズフリーサービスで接続する	オーディオサービスで接続する

ワイヤレスイヤホンセット　P01を使って通話する（P.397参照）	ワイヤレスイヤホンセット　P01を使って動画の音声や音楽などを再生する（P.398参照）

■用語解説

●Bluetoothパスキー

Bluetooth機器を他人に許可なく使われないためのパスワードで、接続する機器ごとに設定します。半角英数字で最大16桁まで設定できますが、機器によってはあらかじめ設定され、変更できない場合があります。ワイヤレス接続するBluetooth機器とFOMA端末の両方に同じBluetoothパスキーを入力する場合と、FOMA端末だけに入力する場合があります。安全のため、Bluetoothパスキーを設定する場合は最大16桁のできるだけ長い桁数でのご使用をおすすめします。また、名前や誕生日など容易に推測できる言葉をBluetoothパスキーに使わないようにご注意ください。

●機器登録(ペアリング)

Bluetooth機器が周囲の接続可能なBluetooth機器を検索し、Bluetoothパスキーが一致するかどうかをチェックして登録することです。

●プロファイル

Bluetoothの接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

●サービス

プロファイルと同義で使用されます。同一の特性を持つBluetooth機器に対する通信を総称して「○○サービス」と呼びます。

●サーチ

Bluetooth機器が周囲の接続可能なBluetooth機器を探す動作です。Bluetooth機器が見つかってもBluetoothパスキーが一致しないと接続できません。

●暗号化

Bluetooth機器の中には他のBluetooth機器とデータをやり取りする際に、データを暗号化できるものがあります。暗号化することによって第三者から盗聴されにくくします。

Bluetooth機器取扱上のご注意

■良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。

●他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。周囲の環境(壁、家具など)、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。FOMA端末と他のBluetooth機器の間に障害物がある場合も、接続可能距離は短くなります。特に鉄筋コンクリートの建物では、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁をはさんで設置した場合、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。

●他の機器(電気製品/AV機器/OA機器など)からなるべく離して接続してください。(電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。)近づいていると、他の機器の電源が入っているときには、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。(UHFや衛星放送の特定のチャンネルではテレビ画面が乱れることがあります。)

●放送局や無線機などが近く、正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の場所を変更してください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。

●Bluetooth機器を鞄やポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器とFOMA端末の間に身体を挟むと通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。

■無線LANとの電波干渉について

Bluetooth機器と無線LAN(IEEE802.11b/g)は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

●FOMA端末やワイヤレス接続するBluetooth機器は、無線LANと10m以上離してください。

●10m以内で使用する場合は、FOMA端末とワイヤレス接続するBluetooth機器または無線LANの電源を切ってください。

■Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。

場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所ではFOMA端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。

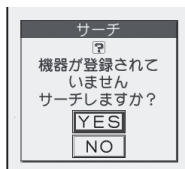
・電車内　・航空機内　・病院内

・自動ドアや火災報知機から近い場所

・ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所

Bluetooth機器を登録する

Bluetooth機器をFOMA端末に登録します。10件まで登録できます。

1 ⓜ▶LifeKit▶Bluetooth▶登録機器リスト▶YES

FOMA端末の周辺にあるBluetooth機器を探します。Bluetooth機器が見つかると、登録機器リスト画面に最大20件まで表示されます。

●登録機器リスト画面で✉(サーチ)を押しても、Bluetooth機器を検索します。

●すでにBluetooth機器が登録されている場合は、登録機器リスト画面が表示され、登録されているBluetooth機器が表示されます。

登録機器リスト画面

2 登録したいBluetooth機器を選択▶YES▶端末暗証番号を入力

3 Bluetoothパスキーのテキストボックスを選択▶Bluetoothパスキーを入力▶確定

続いてBluetooth機器との接続を行います。P.395「Bluetooth機器と接続する」手順1へ進みます。

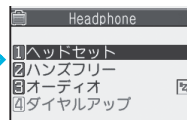
●Bluetoothパスキーについては Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

●すでに10件のBluetooth機器が登録されている場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると、保護設定、優先機器設定に設定されておらず、接続中または接続待機中以外で通信日時の最も古いBluetooth機器に上書きされます。

Bluetooth機器と接続する

登録したBluetooth機器とFOMA端末を接続します。

1 ⓜ▶LifeKit▶Bluetooth▶登録機器リスト▶接続したいBluetooth機器を選択▶接続したいサービスを選択

登録機器リスト画面　サービス選択画面

Bluetooth機器と接続され「(青色)」が点滅します。一定時間、Bluetooth機器との通信がないと、低消費電力状態となり「(グレー)」の点灯に変わります。

●複数のサービスで接続できるBluetooth機器の場合は、続けて別のサービスにも接続するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると続けてサービスを選択できます。

●接続待機中のサービスを選択しても接続します。接続待機中はサービス名の横に「(グレー)」が表示されています。

●「ダイヤルアップ」を選択した場合は、FOMA端末を接続待機中にします。

■接続を解除するには

1. 接続機器リスト画面
▶接続中のBluetooth機器を選択
2. 接続中のサービスを選択▶YES
接続中はサービス名の横に「(青色)」が表示されています。

●接続待機中のサービスを解除するには、「接続待機」参照。

次ページにつづく

■登録機器リスト画面について

登録機器リスト画面

❶機器種別
Bluetooth機器の種別によって以下のアイコンが表示されます。
「　」「　」「　」「♪」「　」「　」「　」

❷機器名称
Bluetooth機器の名称が表示されます。
サーチ時に名称が検出できなかった場合は機器アドレスが表示されます。

❸接続状態
:接続中　:未接続
:未検出　NEW:未登録

❹保護
登録内容が保護されている場合に表示されます。

❺プロファイル状態
各プロファイルの状態が色で表示されます。

表示例	文字色	背景色	枠色	状態
HSP	青	グレー	なし	未接続（未登録）
HSP	青	グレー	青	未接続（登録済み）
HSP	白	緑	なし	接続中
HSP	青	グレー	緑	接続待機中
HSP	白	薄緑	なし	優先機器設定
HSP	グレー	グレー	なし	未対応

お知らせ
- 接続処理中や切断処理中にBluetooth機器の電源が切れていたり、Bluetooth機器からの応答がない場合は、処理に最大約110秒かかります。
- ヘッドセットサービス、ハンズフリーサービス、ダイヤルアップ通信サービスで接続中にBluetooth機器から切断された場合、接続待機中になります。また、接続中または接続待機中にFOMA端末の電源をOFFにした場合も、次回電源を入れたときに接続待機中になります。オーディオサービスで接続中はどちらも未接続状態になります。

登録機器リスト画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
機器登録	▶端末暗証番号を入力 P.395手順3へ進みます。
優先機器設定	電話がかかってきたときに優先して接続するBluetooth機器に設定します。設定できるのはヘッドセットサービスに対応しているBluetooth機器のみです。 ●すでに他のBluetooth機器が設定されていた場合、その設定は解除され、選択したBluetooth機器が優先機器に設定されます。 ●解除する場合も同様の操作を行います。
保護／解除	Bluetooth機器を削除しないように、または登録時に上書きされないように保護します。5件まで保護できます。 ●解除する場合も同様の操作を行います。
機器名称変更	登録されているBluetooth機器の名称を変更します。 ▶機器名称を入力 ●全角16文字まで、半角32文字まで入力できます。
登録機器削除	登録されているBluetooth機器を削除します。 ▶YES
登録機器情報	Bluetooth機器の機器名称、機器アドレス、機器種別、対応サービスを表示します。 ●確認が終われば（ch/クリア）を押します。
デスクトップ貼付	デスクトップに貼り付けます。（P.149参照）

お知らせ

<機器登録>
- すでに登録済みのBluetooth機器を選択すると登録情報が更新されます。（機器名称を変更していた場合は元に戻ります。）登録済みと異なるプロファイルを選択した場合は、プロファイルを追加登録します。

<優先機器設定>
- 優先機器設定を設定していても、ヘッドセットサービスを接続待機中にしていないと接続されません。また、他のBluetooth機器がヘッドセットサービスで接続中の場合は、接続中のBluetooth機器が優先されます。

<登録機器削除>
- Bluetooth機器の状態が以下の場合は削除できません。
  ・接続中の場合　・接続待機中の場合

Bluetooth機器を接続待機にする

登録されているすべてのBluetooth機器の接続状態をヘッドセット、ハンズフリー、ダイヤルアップ通信の各サービスごとに接続待機に設定します。

1 (メニュー)▶(LifeKit)▶**Bluetooth**▶**接続待機**▶**待機中にしたいサービスにチェック**▶(✉)(完了)

- 解除する場合は解除したいサービスのチェックを外し(✉)(完了)を押します。
- 接続待機中は「(青色)」が点灯します。

FOMA端末のBluetooth機能を停止する

接続中や接続待機中のサービスをすべて停止し、FOMA端末のBluetoothの電源をオフにします。

1 (メニュー)▶(LifeKit)▶**Bluetooth**▶**Bluetooth電源オフ**▶**YES**

Bluetooth機器を使って通話する

FOMA端末をBluetooth機器とヘッドセットサービスやハンズフリーサービスで接続すると、ワイヤレスで通話できます。

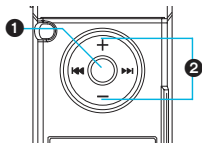
1 Bluetooth機器とヘッドセットサービスまたはハンズフリーサービスで接続する

- Bluetoothの接続方法についてはP.395参照。

2 Bluetooth機器で電話をかけるまたは受ける

Bluetooth機器で通話中は「」が表示されます。

- Bluetooth機器の操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

■ワイヤレスイヤホンセット　P01(別売)を使用するときの操作

❶着信中に押すと、電話がつながります。待受画面を表示中に1秒以上押すと、電話帳のメモリ番号000に登録されている相手に電話をかけます。応答メッセージが流れているときや伝言メモの録音・録画中に押しても応答できません。
❷通話中に受話音量を調節します。押し続けると連続して音量が調節されます。
- 詳しい操作についてはワイヤレスイヤホンセットP01の取扱説明書をご覧ください。

■通話中に機器を切り替えるときは

FOMA端末で通話するかBluetooth機器で通話するかを切り替えられます。

ヘッドセットサービスで接続している場合

通話していない側の機器から操作する必要があります。

1. Bluetooth機器で通話中▶(☎)(1秒以上)

- (iα)(機能)を押して「通話機切替」を選択し、「本体通話」を選択してもFOMA端末に切り替えられます。
- FOMA端末で通話中はBluetooth機器側から操作します。お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

ハンズフリーサービスで接続している場合

FOMA端末、Bluetooth機器のどちら側からでも操作できます。

1. FOMA端末またはBluetooth機器で通話中▶(☎)(1秒以上)

- (☎)を1秒以上押すごとに、FOMA端末とBluetooth機器が切り替わります。
- (iα)(機能)を押して「通話機切替」を選択し、「Bluetooth」または「本体通話」を選択しても切り替えられます。
- Bluetooth機器側からの操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- Bluetooth機器に切り替えても、USBハンズフリー対応機器や平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)、平型AV出力ケーブル(別売)接続中は、Bluetooth機器で通話できません。
- 遠隔監視中はBluetooth機器に切り替えられません。

お知らせ

- Bluetooth機器をヘッドセットサービスやハンズフリーサービスで接続中に着信があった場合は、FOMA端末でマナーモードや「着信音量」を「消去」に設定中でもBluetooth機器から着信音が鳴ります。
- Bluetooth機器で通話中はFOMA端末の音量を調節してもBluetooth機器の音量は変わりません。
- Bluetooth機器で通話中は「クローズ動作設定」の設定に関わらず、FOMA端末を閉じても通話状態は変わりません。
- Bluetooth機器で通話中にBluetoothが切断されたときは、「切断時通話設定」の設定に従って動作します。ただし、FOMA端末を閉じているときに切断され、「切断時通話設定」が「本体で通話継続」に設定されている場合は、「クローズ動作設定」の設定に従います。「クローズ動作設定」が「終話」に設定されている場合は、「ミュート」の動作になります。

Bluetooth機器を使って動画の音声や音楽などを再生する

FOMA端末をBluetooth機器とオーディオサービスで接続すると、動画の音声や着うたフル®、SDオーディオの音楽をBluetooth機器から出力できます。

1 **Bluetooth機器とオーディオサービスで接続する**

●Bluetoothの接続方法についてはP.395参照。

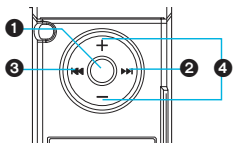
2 **データBOXから動画や音楽を再生する**

●Bluetooth機器への出力を開始するかどうかの確認画面が表示されます。

3 **YES**

Bluetooth機器から音が出力されます。

●Bluetooth機器の操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

■ワイヤレスイヤホンセット　P01（別売）を使用するときの操作

❶再生／一時停止
押すごとに再生と一時停止を繰り返します。1秒以上押すと停止します。

❷次のファイルまたは曲を再生

❸前のファイルまたは曲を再生
再生時間が3秒以上（動画は10秒以上）の場合は頭出しします。

❹音量調節
押し続けると連続して音量が調節されます。

●再生時の画面を表示中にのみ操作できます。

●詳しい操作についてはワイヤレスイヤホンセットP01の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

●動画の音声や音楽などをBluetooth機器から再生中は、FOMA端末の音量を調節してもBluetooth機器の音量は変わりません。

●平型ステレオイヤホンセット（別売）や平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）接続中は、Bluetooth機器で再生できません。

お知らせ

●Bluetooth機器から再生中に動画の音声や音楽などが停止した場合は、以下のことが考えられますのでFOMA端末を確認してください。
・Bluetooth機器との接続が途切れたとき
・メールやメッセージR/Fを受信したとき
・プッシュトーク着信があったとき
・GPSの位置提供要求を受信したとき
・電池残量が少なくなったとき
・電池切れアラームが鳴ったとき
このとき、Bluetooth機器によってはオーディオサービスが切断される場合があります。再度、Bluetooth機器から再生するには、オーディオサービスを接続し直す必要があります。

Bluetooth設定

1 **メニュー▶LifeKit▶Bluetooth▶Bluetooth設定▶以下の操作を行う**

●通話中やデータ通信中は操作できません。

項目	操作・補足
セキュリティ設定 お買い上げ時 セキュリティ設定無し	Bluetooth機器で電話帳データを送信するときの認証の有無とデータを暗号化するかどうかを設定します。 **▶セキュリティ設定有り・セキュリティ設定無し** ●「セキュリティ設定無し」を選択した場合は、設定が終了します。 **▶暗号化有り・暗号化無し**
全件転送パスワード設定 お買い上げ時 パスワード無し	電話帳を全件送信する際にパスワードを入力するかどうかを設定します。 **▶パスワード有り・パスワード無し**
サーチ時間 お買い上げ時 5秒	FOMA端末周辺のBluetooth対応機器を検索する時間を設定します。 **▶サーチ時間（秒）を入力** ●「05」～「20」の2桁を入力します。
着信音送出設定 お買い上げ時 送る	接続しているヘッドセット機器やハンズフリー機器に音声電話とテレビ電話の着信音を送信するかどうかを設定します。「優先機器設定」で優先機器を設定している場合は、その機器が接続待機中でも接続を行い着信音を送信します。 **▶送る・送らない**
切断時通話設定 お買い上げ時 通話終了	ヘッドセット機器やハンズフリー機器で通話中にBluetoothが切断されたとき、通話を終了するかFOMA端末で通話するかを設定します。 **▶通話終了・本体で通話継続**
ヘッドセット操作による発信 お買い上げ時 有効	ヘッドセット機器のスイッチで電話をかけることができるかどうか設定します。 **▶有効・無効**

項目	操作・補足
自局情報	FOMA端末に搭載しているBluetoothの機器名称、機器アドレス、機器種別、対応サービスを表示します。また、機器名称の変更もできます。 ●確認が終われば[chクリア]を押します。 ●機器名称を変更する場合は、[✉]（編集）を押して機器名称を入力します。全角16文字まで、半角32文字まで入力できます。

お知らせ

<セキュリティ設定>
- 電話帳データを送信するBluetooth機器とオブジェクトプッシュ以外のサービスで接続中のときは、本設定に関わらず認証有り・暗号化有りで送信します。
- 接続中や接続待機中のBluetooth機器がある場合は設定できません。

<着信音送出設定>
- ヘッドセットサービスやハンズフリーサービスで接続中または接続待機中のBluetooth機器がある場合は設定できません。

<自局情報>
- 機器名称に絵文字を設定した場合、相手のBluetooth機器によっては正しく表示されない場合があります。

<設定リセット> [メニュー][2][3]

各種機能の設定をリセットする

「機能一覧表」の[　　]の項目をお買い上げ時の状態に戻します。(P.438参照)

1 [メニュー]▶[設定]▶その他▶設定リセット▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

- PIMロック中、Bluetooth機器との接続中または接続待機中はリセットできません。
- 「PIM／ICカードセキュリティモード」を「フェイスリーダー」または「ダブルセキュリティ」に設定している場合、ICカードロック中はリセットできません。
- 設定リセットを行った場合、テロップは表示されなくなります。その後、情報が自動更新されるか、[chクリア]を押して最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。

<端末初期化>

登録データを一括して削除する

登録されているデータを削除し、各種機能の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。
お買い上げ時の状態については「機能一覧表」を参照してください。(P.438参照)

- お買い上げ時に登録されているデータは削除されません。ただし、ダウンロード辞書はお買い上げ時に登録されているものも含めてすべて削除されます。
- お買い上げ時に登録されているｉアプリは削除されません。
- お買い上げ時に登録されているｉアプリに保存されたデータは削除されます。ただし、おサイフケータイ対応ｉアプリに保存されたデータは削除されません。
- 保護しているデータも削除されます。
- お買い上げ時に登録されているデコメール用のテンプレート、キャラ電、PDFデータ、デコメ絵文字を削除していても、端末初期化を行うと元に戻ります。ただし、お買い上げ時に登録されているｉアプリを削除した場合は元に戻りません。
- 端末初期化を行うときは、電池をフル充電しておいてください。電池残量が不十分の場合は、初期化できないことがあります。
- 端末初期化を行っているときは、電源を切らないでください。
- 端末初期化を行っているときは、他の機能を使用できません。また、電話の着信やメールの受信などもできません。

1 [メニュー]▶[設定]▶その他▶端末初期化▶端末暗証番号を入力▶YES▶YES

初期化が完了すると、自動的に電源が切れたあと、再度電源が入り、「初期値設定」の画面が表示されます。

お知らせ

- PIMロック中、Bluetooth機器との接続中または接続待機中は初期化できません。
- 「PIM／ICカードセキュリティモード」を「フェイスリーダー」または「ダブルセキュリティ」に設定している場合、ICカードロック中は初期化できません。
- FOMAカードやmicroSDメモリーカードに保存・登録・設定されているデータは削除されません。
- パソコンから設定したデータ通信の設定は削除されません。
- ダウンロード辞書やｉアプリを元に戻したいときは、「P-SQUARE」のサイトからダウンロードしてください。ダウンロードには別途通信料がかかります。
- 端末初期化を行った場合、テロップは表示されなくなります。その後、情報が自動更新されるか、[chクリア]を押して最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。
- 削除するデータが多いときなどは端末初期化に時間がかかる場合があります。

ネットワークサービス

本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳しくは「ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）」をご覧ください。

FOMA端末から利用できるネットワークサービス

FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。
各サービスの概要や利用方法などについては、以下の表の参照先をご覧ください。

- サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用できません。
- 詳しくは「ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)」をご覧ください。
- お申し込み、お問い合わせについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

サービス名称	お申し込み	月額使用料	参照先
留守番電話サービス	要	有料	P.403
キャッチホン	要	有料	P.404
転送でんわサービス	要	無料	P.406
迷惑電話ストップサービス	要	無料	P.407
発信者番号通知サービス	不要	無料	P.48
番号通知お願いサービス	不要	無料	P.408
デュアルネットワークサービス	要	有料	P.408
英語ガイダンス	不要	無料	P.409
マルチナンバー	要	有料	P.410
公共モード(ドライブモード)	不要	無料	P.77
公共モード(電源OFF)	不要	無料	P.79
OFFICEED	要	有料	P.411

- 「サービス停止」とは、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどの契約そのものを解約するものではありません。

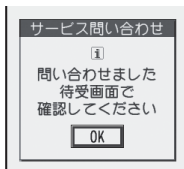
お知らせ

- ドコモから新しいネットワークサービスが追加提供されたときには、新しいサービスをメニューに登録できます。(P.411参照)

<サービス問い合わせ>

新しい伝言メッセージがあるか確認する

留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが入っているかどうかを確認します。

1 メニュー▶サービス▶**サービス問い合わせ**▶**OK**

■問い合わせ結果について

- 伝言メッセージがあるときは「留守番電話あり」のアイコン( )と留守番電話アイコン(など)を表示してお知らせします。
- 伝言メッセージがあることを示す留守番電話アイコン(など)は、留守番電話サービスセンターに電話をかけて伝言メッセージの保存または消去の操作をするか、「留守番アイコン消去」の操作を行うと消去されます。
- 留守番電話サービスセンターでお預かりしている伝言メッセージの件数によって、 、 、 … (10件以上)と表示が変わります。表示される件数は、新しい伝言メッセージを再生するときにガイダンスで案内する件数です。保存した伝言メッセージの件数は含まれません。
- 「件数増加鳴動設定」を設定すると、伝言メッセージが増加したときに着信音が鳴ります。
- 伝言メッセージの再生のしかたについてはP.403参照。

■「圏外」が表示されているときは

伝言メッセージの問い合わせができません。「圏外」が消える場所でご利用ください。

<留守番電話>

留守番電話サービスを利用する

電波の届かない所にいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、音声電話/テレビ電話でかけてきた相手に応答メッセージでお応えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

- 伝言メモ(P.80参照)を同時に設定しているとき、留守番電話サービスを優先させるためには、伝言メモの呼出時間よりも留守番電話サービスの呼出時間を短く設定してください。
- 留守番電話サービスを「開始」にしているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合には、「着信履歴」には「不在着信」として記録され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。

■留守番電話サービスについて

- 留守番電話サービスは音声電話、テレビ電話に有効です。
- 伝言メッセージは1件あたり最長3分、音声電話とテレビ電話それぞれ最大20件まで録音/録画でき、最長72時間保存されます。
- テレビ電話の伝言メッセージが留守番電話サービスセンターにあるときは、SMSにて通知されます。
- 留守番電話のテレビ電話対応設定について変更するには、「1412」へ音声電話発信してください。
- 32Kテレビ電話による留守番電話接続はできません。
- キャラ電で留守番電話に接続された場合、DTMF操作が行えません。機能メニューよりDTMF送信モードに切り替えてください。(P.87参照)
- 留守番電話サービスを「開始」に設定しているときに電話がかかってきた場合は、着信音(「着信音選択」で設定した着信音)が鳴ります。(着信音が鳴る時間は変更可能です。P.403参照)その間に応答すれば、そのまま通話できます。応答しなかった電話は、留守番電話サービスセンターに接続します。
- かかってきた電話をボタン操作だけで留守番電話サービスセンターに接続できます。また、通話中にかかってきた電話も接続できます。

留守番電話サービスの基本的な流れ

ステップ1:サービスを開始に設定する
ステップ2:電話をかけてきた方が伝言を録音/録画する※
ステップ3:伝言メッセージを再生する

※急いでいるときなど、留守番電話の応答メッセージを省略して伝言メッセージを録音したい場合は、応答メッセージが流れているときに「#」を押すと、すぐに伝言メッセージの録音モードに切り替えることができます。

留守番電話サービスを利用する

1 メニュー▶サービス▶**留守番電話**
▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
留守番メッセージ再生	留守番電話に録音された伝言メッセージを再生します。 **▶YES▶音声ガイダンスの指示に従って操作する**
留守番電話サービス開始	**▶YES▶YES▶呼出時間(秒)を入力** ●「000」~「120」の3桁を入力します。 ●留守番設定確認の機能メニューから「留守番サービス開始」を選択しても開始できます。
留守番サービス停止	▶YES ●留守番設定確認の機能メニューから「留守番サービス停止」を選択しても停止できます。
留守番呼出時間設定	留守番電話サービスセンターに接続するまでの呼出時間を設定します。 **▶呼出時間(秒)を入力** ●「000」~「120」の3桁を入力します。 ●留守番設定確認の機能メニューから「呼出時間設定」を選択しても設定できます。
留守番設定確認	留守番電話サービスの設定内容を確認します。
留守番サービス設定	留守番電話サービスの設定内容を切り替えます。 **▶YES▶音声ガイダンスの指示に従って操作する**
件数増加鳴動設定 お買い上げ時 YES	伝言メッセージが増えたときに着信音を鳴らすように設定します。「着信音選択」の「メール」で設定した着信音が約5秒間鳴ります。 ▶YES・NO
留守番アイコン消去	待受画面にある留守番電話アイコン(など)を消去します。 ▶YES

次ページにつづく

項目	操作・補足
着信通知開始	電波の届かない所にいるとき、電源を切っているときなどにかかってきた電話の着信履歴をSMSでお知らせします。SMS1通につき5件までの着信履歴が通知されます。 ▶項目を選択 **全着信** . . . . . . すべての着信についてお知らせします。 **発番号あり** . . . 相手の電話番号が通知された着信についてのみお知らせします。 ▶YES
着信通知停止	▶YES
着信通知設定確認	着信通知の設定内容を確認します。 ●確認が終われば「OK」を選択します。

お知らせ

<留守番メッセージ再生><留守番サービス設定>
- ●通話中は操作できません。
- ●音声ガイダンスに従ってボタン操作(0〜9、＊、＃)を行った場合、☎を押しても通話が終わらないことがあります。この場合は☎をもう一度押してください。

<留守番呼出時間設定>
- ●0秒に設定した場合は、着信履歴には残りません。

<留守番アイコン消去>
- ●留守番電話アイコンを消去しても、留守番電話サービスセンターに保存されているメッセージは消去されません。

<着信通知開始>
- ●SMS一括拒否を設定している場合でも着信履歴は通知されます。

着信中の電話を留守番電話サービスセンターに接続する

かかってきた電話を簡単なボタン操作で留守番電話サービスセンターに接続できます。留守番電話サービスを「開始」に設定していないときでも、この機能を使って留守番電話を利用できます。

1 **着信中▶i α(機能)▶留守番電話**

- ●着信中にi α(機能)を押し、＃を押してもかかってきた電話が留守番電話サービスセンターに接続されます。

指定留守番電話

電話帳に登録されている電話番号からの電話を、留守番電話サービスの開始／停止の設定に関わらず、留守番電話サービスセンターへ自動的に接続できます。
電話番号は20件まで指定できます。
相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。
「番号通知お願いサービス」も合わせて設定することをおすすめします。

1 **電話帳詳細画面▶i α(機能)▶電話帳指定設定▶端末暗証番号を入力▶指定留守番電話**

「指定留守番電話」に「★」マークが付きます。
- ●指定留守番電話を解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ

- ●本機能を設定した電話番号から電話がかかってきたときは、着信音を約1秒間鳴らしてから留守番電話サービスセンターに接続します。このとき電話がかかってきたことをデスクトップのアイコン(P.80、P.148参照)と「着信履歴」でお知らせします。

<キャッチホン>

キャッチホンを利用する

通話中に別の電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができます。
また、通話中の電話を保留にして、新たにお客様の方から別の相手へ電話をかけることもできます。
- ●キャッチホンを利用する場合は、あらかじめ「着信動作選択」(P.409参照)を「通常着信」に設定してください。ほかの設定になっている場合は、キャッチホンを開始しても音声通話中にかかってきた音声電話に応答できません。

キャッチホンサービスを利用する

1 **メニュー▶サービス▶キャッチホン▶以下の操作を行う**

項目	操作・補足
キャッチホンサービス開始	▶YES
キャッチホンサービス停止	▶YES
キャッチホンサービス設定確認	キャッチホンの設定内容を確認します。 ●確認が終われば「OK」を選択します。

通話中にかかってきた電話に出る

お話し中の通話を保留にして、かかってきた電話に出ます。

1 通話中着信▶( )

最初の方との通話は自動的に保留になり、あとからかかってきた電話を受けることができます。

- 保留中の相手がいるときは「マルチ接続中」と表示されます。
- ( )を押すたびに通話する相手が切り替わります。

お知らせ

- キャッチホンを利用できない通信・着信の場合、着信画面で( )を押すと、通話を終了すれば新しい着信に応答できる旨の確認画面が表示されます。( )を押すと元の通話が終了し、着信画面が表示されます。「OK」を選択すると、通話中着信の画面に戻ります。
- テレビ電話中に着信があった場合は、以下のような動作になります。
  - ･着信時の画像に設定された動画／iモーション、Flash画像は表示されません。
  - ･元の通話の相手には「内蔵」の代替画像が送信されます。
  - ･バイブレータは動作しません。
- 117にかけているときに音声電話がかかってきた場合、通話中着信音は鳴りますが電話に出ることはできません。着信履歴には不在着信として残ります。

通話を終了してかかってきた電話に出る

お話し中の通話を終わらせて、かかってきた電話に出ます。

1 通話中着信▶( )

着信音が鳴ります。かかってきた電話に応答できます。

元の通話を続ける

1 通話中着信▶( )(機能)▶以下の操作を行う

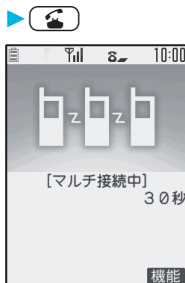
機能メニュー	操作・補足
着信拒否	着信を拒否し、元の通話に戻ります。
転送でんわ	かかってきた電話を転送先に転送し、元の通話に戻ります。
留守番電話	かかってきた電話を留守番電話サービスセンターに接続し、元の通話に戻ります。

お知らせ

- テレビ電話接続中、遠隔監視中、応答保留中、伝言メモ動作中の着信は拒否されます。元の通話を終了後に「不在着信あり」のアイコンが表示され、着信履歴が残ります。（留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスの契約及び設定により、「不在着信あり」のアイコンは表示されず、着信履歴にも残らない場合があります。）

通話を保留して電話をかける

お話し中の通話を保留にして、新たに別の相手に電話をかけます。

1 通話中に別の相手の電話番号を入力▶( )

新しくかけた相手とお話しができます。
最初の方との通話は自動的に保留されます。

- 保留中の相手がいるときは「マルチ接続中」と表示されます。
- ( )を押すたびに通話する相手が切り替わります。

通話中の電話を終了して保留中の電話に出る

お話し中の通話を終わらせて、保留中の電話に出ます。

1 マルチ接続中▶( )

着信音が鳴ります。

2 ( )または( )(通話)を押す

- 通話中の相手が通話を終了したときは、( )を押して保留中の相手と通話します。

保留中の電話を終了する

1 **マルチ接続中▶(iα)(機能)**
▶保留呼切断

お知らせ
- 保留中に着信があった場合は、保留が解除されます。
- マルチ接続中に別の電話がかかってきた場合、着信画面が表示されます。(iα)(機能)を押して「保留呼切断」を選択すると保留中の電話を終了します。「通話呼切断」を選択するとお話し中の電話を終了します。

＜転送でんわ＞
転送でんわサービスを利用する

電波が届かないところにいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答しなかったときなどに、音声電話／テレビ電話を転送するサービスです。

- 伝言メモ(P.80参照)や遠隔監視(P.90参照)を同時に設定しているとき、転送でんわサービスを優先させるためには、「伝言メモ設定」の呼出時間や「遠隔監視」の応答時間よりも転送でんわサービスの呼出時間を短く設定してください。
- 転送でんわサービスを「開始」にしているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合には、「着信履歴」には「不在着信」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。

■転送でんわサービスについて
- 転送でんわサービスを「開始」に設定しているときに電話がかかってきた場合は、着信音(「着信音選択」で設定した着信音)が鳴ります。(着信音が鳴る時間は変更可能です。P.406参照)その間に応答すれば、そのまま通話できます。
- かかってきた電話をボタン操作だけで転送できます。また、通話中にかかってきた電話も転送できます。

転送でんわサービスの基本的な流れ

ステップ1: **転送先の電話番号を登録する**
ステップ2: **転送でんわサービスを開始に設定する**
ステップ3: **お客様のFOMA端末に電話がかかる**
ステップ4: **電話に出ないと指定した転送先へ自動的に転送される**

転送でんわサービスを利用する

1 **(メニュー)▶(サービス)▶転送でんわ**
▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
転送サービス開始	**▶転送先設定** **▶転送先の電話番号を入力** ●(◎)を押すと電話帳検索画面から電話番号を選択できます。(P.116参照) **▶呼出時間設定▶呼出時間(秒)を入力** ●「000」～「120」の3桁を入力します。 **▶開始▶YES**
転送サービス停止	**▶YES**
転送先変更	**▶転送先の電話番号を入力** **▶項目を選択** **転送先変更** . . . 現在転送でんわサービスを使っているときに選択します。 **転送先変更+転送開始** . . . 転送でんわサービス停止中で、転送先の変更と同時に転送でんわサービスを開始したいときに選択します。 ●(◎)を押すと電話帳検索画面から電話番号を選択できます。(P.116参照)
転送先通話中時設定	転送先が通話中のときは留守番電話に録音するように設定します。 留守番電話を使うには「留守番電話サービス」のご契約が必要です。 **▶YES**
転送サービス設定確認	転送先の電話番号や呼出時間などを確認します。 ●確認が終われば(CLR)を押します。

お知らせ
- 着信中に応答すれば、転送されずに通話できます。
- 電波の届かない場合や、電源が入っていないときは、着信音は鳴らずに自動的に転送されます。この場合も転送元から転送先までの通話料金は、転送でんわサービスのご契約者のご負担となります。
- 転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定した場合は、着信履歴には残りません。

転送ガイダンスの有無を設定する

1 **待受画面▶1 4 2 9▶(通話キー)**

音声ガイダンスに従って操作してください。

- 詳しくは「ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）」をご覧ください。

着信中の電話を転送する

かかってきた電話を簡単なボタン操作で「転送先」に設定した電話番号に転送できます。転送でんわサービスを「開始」に設定していないときでも、この機能を使って転送できます。

1 **着信中▶(i)(機能)▶転送でんわ**

指定転送でんわ

指定した電話帳に登録されている電話番号からの電話を、転送でんわサービスの開始／停止の設定に関わらず、着信音を約1秒間鳴らしてから自動的に転送できます。
電話番号は20件まで指定できます。
相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。
「番号通知お願いサービス」も合わせて設定することをおすすめします。

1 **電話帳詳細画面▶(i)(機能)▶電話帳指定設定▶端末暗証番号を入力▶指定転送でんわ**

「指定転送でんわ」に「★」マークが付きます。

- 指定転送でんわを解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ

- 本機能を設定していても、転送でんわサービス停止中に「PIMロック」を設定すると、すべての着信が転送されなくなります。
- 転送先が未設定の場合、転送でんわサービス未契約の場合は、不在着信となります。

<迷惑電話ストップ>

迷惑電話ストップサービスを利用する

いたずら電話などの「迷惑電話」を着信しないように拒否するサービスです。
着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。

- 着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。また、着信履歴にも記録されません。

■迷惑電話ストップサービスに設定中の着信と各サービスとの関係

サービス名	迷惑電話拒否登録した方からの着信の取扱い
留守番電話サービス	着信拒否ガイダンスが流れます。（メッセージはお預かりしません）
転送でんわサービス	着信拒否ガイダンスが流れます。（転送先には転送されません）
キャッチホン	着信拒否ガイダンスが流れます。
番号通知お願いサービス	着信拒否ガイダンスが流れます。
公共モード（ドライブモード）	着信拒否ガイダンスが流れます。（公共モード（ドライブモード）のガイダンスは流れません）

詳しくは「ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）」をご覧ください。

1 **(メニュー)▶(サービス)▶迷惑電話ストップ▶以下の操作を行う**

項目	操作・補足
迷惑電話着信拒否登録	最後に着信通話した相手の電話番号を着信できないように拒否登録します。 ▶YES▶OK
電話番号指定拒否登録	指定した電話番号を着信できないように拒否登録します。 ▶電話番号を入力▶YES ●(下)を押すと電話帳検索画面、(左)を押すと発信履歴一覧画面、(右)を押すと着信履歴一覧画面から電話番号を選択できます。
迷惑電話1登録削除	最後に登録した電話番号を1件削除します。同様の操作を繰り返し行うことにより、最後に登録した順より1件ずつ削除することができます。 ▶YES▶OK
迷惑電話全登録削除	▶YES▶OK
拒否登録件数確認	拒否登録している件数を確認します。

＜番号通知お願いサービス＞

番号通知お願いサービスを利用する

電話番号を通知してこない音声電話／テレビ電話に対して、番号通知のお願いガイダンスで応答し、自動的に電話を切るサービスです。

- 番号通知お願いサービスによって着信しなかった電話は、「着信履歴」に記憶されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも表示されません。

■番号通知お願いサービスが「開始」中の着信と各サービスとの関係

サービス名	発信者番号を通知しない方からの着信の取扱い
留守番電話サービス	番号通知お願いガイダンスが流れます。（メッセージはお預かりしません）
転送でんわサービス	番号通知お願いガイダンスが流れます。（転送先には転送されません）
キャッチホン	番号通知お願いガイダンスが流れます。
迷惑電話ストップサービス	拒否登録している電話番号からの着信の場合、着信拒否ガイダンスが流れます。
公共モード（ドライブモード）	番号通知お願いガイダンスが流れます。（公共モード（ドライブモード）のガイダンスは流れません）

1 メニュー▶サービス▶番号通知お願いサービス▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
番号通知お願い開始	▶YES▶OK
番号通知お願い停止	▶YES▶OK
番号通知お願い確認	番号通知お願いサービスの設定内容を確認します。 ●確認が終われば「OK」を選択します。

お知らせ

- FOMA端末の「非通知着信設定」を「拒否」に設定しているときに本サービスを同時に設定した場合は、本サービスが優先されます。
- 本機能の設定・確認は、お客様ご自身のFOMAカードをセットしたFOMA端末から行います。一般電話、公衆電話、他の携帯電話からの遠隔操作はできません。

＜デュアルネットワーク＞

デュアルネットワークサービスを利用する

お使いになっているFOMA端末の電話番号でmova端末をご利用いただけるサービスです。FOMAとmovaのサービスエリアに応じた使い分けが可能です。

- FOMA端末とmovaを同時に利用することはできません。
- デュアルネットワークサービスの切り替え操作は、利用不可状態の端末から行ってください。

1 メニュー▶サービス▶デュアルネットワーク▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
デュアルネットワーク切替	FOMA端末を利用できるように切り替えます。FOMA端末がFOMAエリア内にあるときに操作してください。 **▶YES▶ネットワーク暗証番号を入力** ●ネットワーク暗証番号についてはP.154参照。
デュアルネットワーク状態確認	デュアルネットワークサービスの設定内容を確認します。 ●確認が終われば「OK」を選択します。

ボタン操作でのデュアルネットワークサービス

FOMA端末のメニュー操作を使わずに、ボタン操作によってデュアルネットワークサービスを利用します。

■端末を切り替えるには（利用不可状態の端末から）

1 5 4 0 発信→ネットワーク暗証番号入力→切替ガイダンス→終話

■デュアルネットワーク状態確認（確認したい方の端末から）

1 5 4 6 発信→確認→終話

お知らせ

- 詳しくは、「ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）」をご覧ください。
- 音声ガイダンスに従ってボタン操作（0～9、*、#）を行った場合、終話を押しても通話が終わらないことがあります。この場合は終話をもう一度押してください。

<英語ガイダンス>
ガイダンスを日本語と英語で切り替える

「留守番電話サービス」などの各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。
発信時・着信時に設定できるガイダンスは以下の通りです。

■**発信時**(お客様ご自身へのガイダンス)

ガイダンス言語	説明
日本語	日本語でガイダンスします。
英語	英語でガイダンスします。

■**着信時**(お客様へ電話をかけてきた方へのガイダンス)

ガイダンス言語	説明
日本語	日本語でガイダンスします。
日本語+英語	日本語でガイダンスしたあとに英語でガイダンスします。
英語+日本語	英語でガイダンスしたあとに日本語でガイダンスします。

1 メニュー▶サービス▶**英語ガイダンス**
▶**以下の操作を行う**

項目	操作・補足
ガイダンス設定	▶項目を選択 **発信時+着信時** .... 発信時と着信時のガイダンスを一度に設定します。 **発信時** .. 発信時のガイダンスを設定します。 **着信時** .. 着信時のガイダンスを設定します。 ▶ガイダンスに設定する言語を選択 ▶YES ●「発信時+着信時」を選択した場合は、発信時のガイダンスを設定したあとに、着信時のガイダンスを設定します。
ガイダンス設定確認	英語ガイダンスの設定内容を確認します。 ●確認が終われば(chクリア)を押します。

お知らせ
●本機能の設定・確認はお客様ご自身のFOMAカードをセットしたFOMA端末から行います。一般電話、公衆電話、他の携帯電話からの遠隔操作はできません。

<サービスダイヤル>
サービスダイヤルを利用する

ドコモ総合案内・受付や故障の問い合わせ先へ電話をかけることができます。
●お使いのFOMAカードによっては、表示される項目が異なる場合や表示されない場合があります。

1 メニュー▶サービス▶**サービスダイヤル**
▶**以下の操作を行う**

項目	操作・補足
ドコモ故障問合せ	故障お問い合わせ先へ電話をかけます。 ▶◎(発信) 113番に発信します。
ドコモ総合案内・受付	総合お問い合わせ先へ電話をかけます。 ▶◎(発信) 151番に発信します。

<着信動作選択>
通話中に電話がかかってきたときの応対方法を選択する

お買い上げ時	通常着信

「留守番電話サービス」、「転送でんわサービス」、「キャッチホン」をご契約されているお客様の通話中にかかってきた音声電話/テレビ電話、および64Kデータ通信にどのように対応するかを設定できます。
●「留守番電話サービス」、「転送でんわサービス」、「キャッチホン」が未契約の場合は、通話中にかかってきた着信に応答できません。
●着信動作選択を利用するには、通話中着信設定を「開始」に設定してください。

1 メニュー▶サービス▶**着信動作選択**
▶**以下の操作を行う**

項目	操作・補足
留守番電話	「キャッチホン」や「留守番電話サービス」の設定にかかわらず、通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話を留守番電話サービスセンターへ接続します。
転送でんわ	「キャッチホン」や「転送でんわサービス」の設定にかかわらず、通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話を転送先へ転送します。
着信拒否	通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信の着信を拒否します。

次ページにつづく

項目	操作・補足
通常着信	音声通話中に音声電話がかかってきた場合、「キャッチホン」が「開始」に設定されているときは「キャッチホン」の利用が可能です。音声通話中(「キャッチホン」が「停止」に設定されているとき)、テレビ電話中や64Kデータ通信中の場合、以下のいずれかの動作が可能です。 ●通話中の音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信を終了し、かかってきた音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信に出ることができます。 ●通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信を、機能メニューから手動で操作できます。 ●「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」が「開始」に設定されている場合は、その設定に従います。

通話中着信設定

着信動作選択で選択した機能の使用を開始／停止したり、設定内容を確認できます。

1 (メニュー)▶▶**通話中着信設定**
▶**以下の操作を行う**

項目	操作・補足
通話中着信設定開始	▶YES
通話中着信設定停止	▶YES
通話中着信設定確認	着信動作の設定内容を確認します。 ●確認が終われば「OK」を選択します。

お知らせ

●本機能の設定・確認はお客様ご自身のFOMAカードをセットしたFOMA端末から行います。一般電話、公衆電話、他の携帯電話からの遠隔操作はできません。

<遠隔操作設定>

遠隔操作を設定する

「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」などを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。

●海外で「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を利用する場合は、あらかじめ遠隔操作設定を設定しておく必要があります。

1 (メニュー)▶(サービス)▶**遠隔操作設定**
▶**以下の操作を行う**

項目	操作・補足
遠隔操作開始	▶YES
遠隔操作停止	▶YES
遠隔操作設定確認	遠隔操作の設定内容を確認します。 ●確認が終われば「OK」を選択します。

お知らせ

●本機能の設定・確認はお客様ご自身のFOMAカードをセットしたFOMA端末から行います。一般電話、公衆電話、他の携帯電話からの遠隔操作はできません。

<マルチナンバー>

付加番号を設定する

FOMA端末の電話番号として基本契約番号のほかに、付加番号1と付加番号2の最大2つの番号を追加してご利用いただけるサービスです。

●FOMAカードを抜いたり、差し替えた場合、FOMA端末に登録していたマルチナンバーの設定(名称、電話番号など)が消去されることがあります。このような場合は、再度登録を行ってください。
●発信中／着信中の画面には、マルチナンバー(基本契約番号／付加番号1／付加番号2)に対応した名称が表示されます。
●リダイヤル、発信履歴、着信履歴から発信する場合、以前の発信や着信したマルチナンバーが表示され、この番号で発信します。

電話番号登録

付加番号を登録します。

1 (メニュー)▶(サービス)▶**マルチナンバー**
▶**電話番号登録**▶**付加番号を選択**

●(i)(機能)を押して「編集」を選択しても付加番号を登録／編集できます。
●登録済みの付加番号を選択すると、登録名と電話番号を確認できます。
●登録済みの付加番号を削除するには(i)(機能)を押して「1件削除」または「全削除」を選択し、「YES」を選択します。

2 登録名を入力▶電話番号を入力

- 登録名は全角8文字まで、半角16文字まで入力できます。

通常発信番号設定

通常発信番号設定を切り替えることにより、すべての発信先に設定した番号で電話をかけることができます。

1 (メニュー)▶(サービス)▶マルチナンバー▶通常発信番号設定▶電話番号を選択

基本契約番号 . . . ご契約の電話番号で発信します。

付加番号1～2 . . 付加番号で発信します。登録名を変更している場合は、それぞれの登録名が表示されます。ただし、PIMロック中は登録名は表示されません。

2 YES

電話をかけるときに発信番号を設定する

電話をかける前に、機能メニューから相手に通知する番号を選択して発信します。

1 電話番号を入力

または

電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面を表示

2 (機能)▶マルチナンバー▶電話番号を選択

- 付加した電話番号を消去する場合は、「発番号設定消去」を選択します。
- マルチナンバー未契約の場合は、付加番号を選択しても基本契約番号での発信となります。

お知らせ

- 「基本契約番号」「付加番号1～2」を選択した場合は、電話番号のあとに「＊590＃」「＊591＃」「＊592＃」が付加されます。

通常発信番号設定確認

通常発信番号を確認します。

1 (メニュー)▶(サービス)▶マルチナンバー▶通常発信番号設定確認

- 確認が終われば「OK」を選択します。

着信音設定

お買い上げ時	通常着信音と同じ

付加番号に着信した場合の着信音を設定します。

1 (メニュー)▶(サービス)▶マルチナンバー▶着信音設定▶付加番号を選択

P.129手順3へ進みます。

「通常着信音と同じ」に設定すると、「着信音選択」の「電話」または「テレビ電話」で設定した着信音になります。

OFFICEEDを利用する

「OFFICEED」は指定されたIMCS（屋内モバイル通信システム）で提供されるグループ内定額サービスです。ご利用には別途お申し込みが必要となります。詳細はドコモの法人向けWebサイト（http://www.docomo.biz/d/212/）をご確認ください。

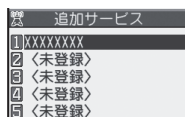
<追加サービス>

サービスを登録して利用する

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用します。

サービスを登録する

1 (メニュー)▶(サービス)▶追加サービス▶追加サービス▶<未登録>を選んで(機能)▶設定追加

追加サービス
1 XXXXXXXX
2 〈未登録〉
3 〈未登録〉
4 〈未登録〉
5 〈未登録〉

- (機能)を押して「設定変更」を選択すると、登録済みのサービスの設定を変更できます。
- 登録済みのサービスを削除するには(機能)を押して「1件削除」または「全削除」を選択し、「YES」→「OK」と選択します。
- 10件まで登録できます。

2 サービス名を入力▶特番・USSD

追加するサービス内容によって「特番」または「USSD」を選択します。

- サービス名は全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。

3 特番またはサービスコード(USSD)を入力▶YES

次ページにつづく

お知らせ

●サービスを利用する場合には、ドコモから通知される「特番」または「サービスコード」の確認･入力が必要です。
特番
. . . サービスセンターに接続するための番号です。
サービスコード（USSD）
. . . FOMA端末ではUSSDとして入力します。サービスセンターに通知するためのコードです。

登録したサービスを利用する

1 **(メニュー)▶[サービス]▶追加サービス▶追加サービス▶サービスを選択▶◉(送信)**

サービスセンターに発信します。

応答メッセージを登録する

追加したサービスを実行したとき、サービスセンターから返ってくるコード(USSD)に対応した応答メッセージを10件まで登録できます。登録したコマンドが応答として返ってきたときに応答メッセージ名が表示されます。

1 **(メニュー)▶[サービス]▶追加サービス▶応答メッセージ設定▶<未登録>を選んで(iα)(機能)▶設定追加**

応答メッセージ設定
1 〈未登録〉
2 〈未登録〉
3 〈未登録〉
4 〈未登録〉
5 〈未登録〉

●登録済みの応答メッセージを選択すると、設定を確認できます。
●(iα)(機能)を押して「設定変更」を選択すると、登録済みの応答メッセージの設定を変更できます。
●登録済みの応答メッセージを削除するには(iα)(機能)を押して「1件削除」または「全削除」を選択し、「YES」→「OK」と選択します。

2 **コマンドを入力**

●ドコモから通知されたコード(USSD)を入力します。

3 **応答メッセージ名を入力▶YES**

●全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。

データ通信

データ通信について、詳細は添付のCD-ROM内のPDF版「データ通信マニュアル」をご覧ください。
「FOMA P903i用CD-ROM」をパソコンにセットし、「取扱説明書」→「データ通信マニュアル（PDFファイル）」の順にクリックします。
PDF版「データ通信マニュアル」をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。
お使いのパソコンにインストールされていない場合は、添付のCD-ROMからAdobe Readerをインストールしてご覧ください。
ご使用方法などの詳細につきましては、Adobe Readerヘルプを参照してください。

FOMA端末から利用できるデータ通信について

FOMA端末とパソコンを接続してご利用できるデータ通信は、パケット通信・64Kデータ通信とデータ転送(OBEX)に分類されます。
FOMA端末はパケット通信用アダプタ機能を内蔵しています。

- ●データ通信中に他の機能を起動したり操作したりできないことがあります。詳しくはP.464「マルチアクセスの組み合わせについて」をご覧ください。
- ●海外では、パケット通信・64Kデータ通信はご利用になれません。

パケット通信

送受信したデータ量に応じて通信料金がかかる通信形態です。(受信最大384kbps、送信最大64kbps)ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」など、FOMAパケット通信に対応した接続先を利用します。
パケット通信はFOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブル(別売)やBluetoothで接続し、各種設定を行うことで利用でき、高速通信を必要とするアプリケーションの利用に適しています。

- ●パケット通信では送受信したデータ量に応じて課金されます。画像を多く含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

64Kデータ通信

接続している時間に応じて、通信料金がかかる通信形態です。FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブル(別売)やBluetoothで接続し64kbpsの通信を行います。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」などのFOMA 64Kデータ通信対応の接続先、またはISDNの同期64K対応の接続先をご利用ください。

- ●64Kデータ通信では、接続した時間量に応じて課金されます。長時間にわたる接続を行った場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

データ転送(OBEX)

赤外線やFOMA USB接続ケーブル(別売)を使ってデータを送受信する通信形態です。赤外線通信では、FOMA端末またはパソコンなど赤外線通信機能を持つ機器とデータを送受信できます。
FOMA端末とパソコン間でFOMA USB接続ケーブルを使ってデータ転送(OBEX)を行う際には、ドコモケータイdatalink(P.417参照)やデータリンクソフト(P.468参照)をインストールしてください。

お知らせ

- ●FOMA端末からは、PIAFSなどのPHSサービス(32Kデータ通信および、64Kデータ通信)はご利用できません。
- ●FOMA端末は、Remote Wakeupには対応していません。
- ●FOMA端末はFAX通信をサポートしていません。
- ●FOMA端末をドコモのPDA「sigmarion II」や「musea」と接続してデータ通信を行う場合、「sigmarion II」「musea」をアップデートしてご利用ください。アップデートの方法などの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

ご使用になる前に

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットをご利用の場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」をご利用いただけます。
「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要(有料)となります。「mopera」をご利用いただく場合は、お申し込み不要、月額使用料無料です。

接続先(インターネットサービスプロバイダなど)の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- ●DoPaの接続先には接続できません。
- ●PIAFSなどのPHS64K/32Kデータ通信の接続先には接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザ認証(IDとパスワード)が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト(ダイヤルアップネットワーク)でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、そちらにお問い合わせください。

ブラウザ利用時のアクセス認証について

FirstPass(ユーザ証明書)が必要な場合は、添付のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定を行ってください。
詳しくはCD-ROM内の「FirstPassPCSoft」フォルダ内の「FirstPassManual」(PDF形式)をご覧ください。「FirstPassManual」(PDF形式)をご覧になるには、Adobe Reader(バージョン6.0以上を推奨)が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、添付のCD-ROMからAdobe Readerをインストールしてご覧ください。
ご使用方法などの詳細につきましては、Adobe Readerヘルプを参照してください。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA端末で通信を行うには、以下の条件が必要になります。

- FOMA USB接続ケーブル(別売)が利用できるパソコンであること
- Bluetoothで接続する場合は、パソコンがBluetooth標準規格Ver.1.1またはVer.1.2のDial-up Networking Profile(ダイヤルアップネットワーキングプロファイル)に対応していること
- FOMAパケット通信、64Kデータ通信に対応したPDAであること
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、接続先がFOMAのパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

ただし、上の条件が整っていても、基地局が混雑している、または電波状況が悪い場合は通信ができないことがあります。

動作環境について

データ通信におけるパソコンの動作環境は以下のとおりです。

■パソコン本体
PC-AT互換機
FOMA USB接続ケーブル(別売)を使用する場合:
　USBポート(Universal Serial Bus Specification Rev1.1準拠)
Bluetoothを使用する場合:
　Bluetooth標準規格Ver.1.1またはVer.1.2準拠(ダイヤルアップネットワーキングプロファイル)
ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color16ビット以上を推奨。

■OS
Microsoft® Windows® 2000 Professional、Windows® XP Professional/Home Edition(各日本語版)

■必要メモリ
Microsoft® Windows® 2000 Professional:64Mバイト以上
Windows® XP Professional/Home Edition:128Mバイト以上 (各日本語版)

■ハードディスク容量
5Mバイト以上の空き容量

- OSアップグレードからの動作は保証いたしかねます。
- 必要メモリおよびハードディスクの空き容量はシステム環境によって異なることがあります。

必要な機器について

FOMA端末とパソコン以外に以下のハードウェア、ソフトウェアを使います。

- FOMA USB端末ケーブル(別売)
- 添付CD-ROM「FOMA P903i用CD-ROM」

お知らせ

- USBケーブルは専用の「FOMA USB接続ケーブル」をお買い求めください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。

FOMA端末と他の機器との接続方法

FOMA端末と他の機器を接続するには、次の3つの方法があります。

FOMA USB接続ケーブルを使う

FOMA USB接続ケーブル(別売)を使って、USBポートを装備したパソコンと接続します。
パケット通信、64Kデータ通信、データ転送のすべての通信形態に利用できます。

- 「USBモード設定」を「通信モード」に設定してください。
- ご使用前に「P903i通信設定ファイル」(ドライバ)のインストールが必要です。

Bluetoothを使う

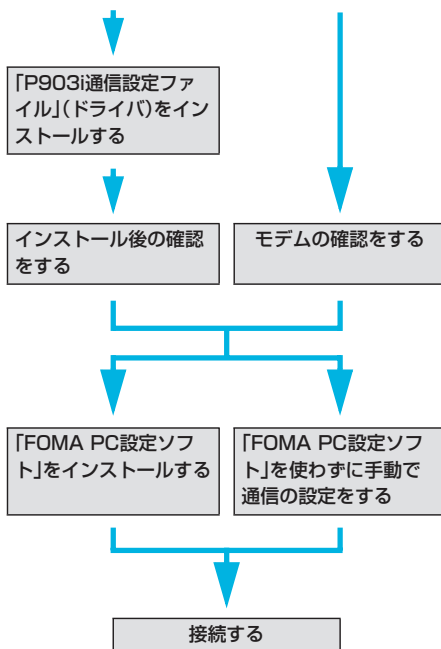
Bluetooth対応パソコンとFOMA端末をワイヤレス接続します。
パケット通信、64Kデータ通信を行う場合に利用できます。

- 通信の際はBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムをご使用ください。ご使用になる場合のインストール方法や設定方法については、ご使用のパソコンメーカまたはBluetooth機器メーカにご確認ください。

赤外線通信を使う

赤外線を使って、FOMA端末と赤外線通信機能が搭載された他のFOMA端末、携帯電話、パソコンなどとデータを送受信します。(P.344参照)
データ転送を行う場合のみ利用できます。

データ通信の準備の流れ

パケット通信・64Kデータ通信を行う場合の準備について説明します。以下のような流れになります。
詳しくはPDF版「データ通信マニュアル」をご覧ください。

■添付の「FOMA P903i用CD-ROM」について

FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブルで接続してパケット通信を行うときには、添付の「FOMA P903i用CD-ROM」の「P903i通信設定ファイル」(ドライバ)をパソコンにインストールしてください。また、通信を行う際にAPNやダイヤルアップの設定が簡単に行える「FOMA PC設定ソフト」をインストールすることをおすすめします。

通信設定ファイル(ドライバ)をインストールする

通信設定ファイル(ドライバ)のインストールは、ご使用になるパソコンにFOMA端末をFOMA USB接続ケーブルで初めて接続するときに必要です。

Bluetooth通信を準備する

Bluetooth対応パソコンとFOMA端末をワイヤレス接続して、データ通信を行います。

●Bluetoothの詳細についてはP.392参照。

FOMA PC設定ソフトについて

FOMA端末をパソコンに接続してパケット通信や64Kデータ通信を行うには、通信に関するさまざまな設定が必要です。「FOMA PC設定ソフト」を使うと、簡単な操作で設定ができます。「FOMA PC設定ソフト」を使わずに、パケット通信や64Kデータ通信を設定することもできます。

ATコマンドについて

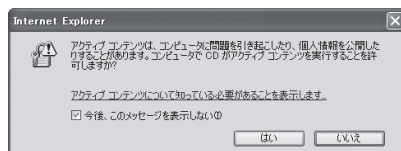
ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の機能の設定や変更を行うためのコマンド(命令)です。

CD-ROMについて

添付のCD-ROMには、FOMA端末でデータ通信をご利用になる際のソフトウェアや、「データ通信マニュアル」「区点コード一覧」取扱説明書(PDF)が収録されております。詳細は、添付のCD-ROMをご覧ください。

＜収録ソフト／PDF＞

- P903i通信設定ファイル(ドライバ)
- FOMA PC設定ソフト
- ドコモケータイdatalink(ご案内)
- FOMA P903i データリンクソフト(ご案内)
- FirstPass PCソフト
- SD-Jukebox
- PDF版「データ通信マニュアル」／「Manual for Data Communication」
- PDF版「区点コード一覧」／「Kuten Code List」
- Adobe®Reader®7.0
- mopera U(ご案内)

CD-ROMをパソコンにセットすると、下記のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。
「はい」をクリックしてください。
※画面はWindows® XPを使用した場合の例です。
お使いのパソコンの環境により異なる場合があります。

ドコモケータイdatalinkのご紹介

「ドコモケータイdatalink」は、お客様の携帯電話の「電話帳」や「メール」などをパソコンにバックアップして、編集等を行うソフトです。ドコモのWEBサイトにて提供しており、詳細及びダウンロードは下記サイトのページをご覧ください。また、添付のCD-ROMから下記サイトへのアクセスも可能です。

http://datalink.nttdocomo.co.jp

ダウンロード方法、転送可能なデータ、動作環境、インストール方法、操作方法、制限事項などの詳細については、上記ホームページをご覧ください。また、インストール後の操作方法については、ソフト内のヘルプをご覧ください。なお、ドコモケータイdatalinkをご利用になるには、別途FOMA USB接続ケーブルが必要となります。

■対応OS

Microsoft® Windows® 2000(Service Pack 4)、Microsoft® Windows® XP Home/Pro
(共にService Pack 1とService Pack 2)
※各日本語版

文字入力

「区点コード一覧」について、添付のCD-ROM内のPDF版「区点コード一覧」をご覧ください。
「FOMA P903i用CD-ROM」をパソコンにセットし、「取扱説明書」→「区点コード一覧(PDFファイル)」の順にクリックします。
PDF版「区点コード一覧」をご覧になるには、Adobe Reader(バージョン6.0以上を推奨)が必要です。
お使いのパソコンにインストールされていない場合は、添付のCD-ROMからAdobe Readerをインストールしてご覧ください。
ご使用方法などの詳細につきましては、Adobe Readerヘルプを参照してください。

<文字入力>

文字を入力する

FOMA端末には、電話帳やメールなど、文字を入力して活用する多くの機能があります。

文字入力画面

文字入力(編集)画面には、文字入力方式や入力モード、残文字数などの情報が表示されます。

❶文字入力方式
2:モード2(2タッチ方式)
:モード3(ニコタッチ方式)
●モード1(かな方式)のときは表示されません。

❷入力モード
漢:漢字ひらがな入力モード
カナ:カタカナ入力モード
英:英字入力モード
数:数字入力モード

❸全角/半角
全:全角入力モード
半:半角入力モード

❹入力可能な残りバイト数/最大入力バイト数
●機能によっては「入力済み文字数」が表示される場合があります。

文字入力方式を選択する　メニュー 3 5

お買い上げ時	入力モード:すべてチェックあり 優先入力方式:モード1(かな方式)

文字入力方式には、次の3種類の方式があります。

モード1(かな方式) P.420参照
1つのボタンに複数の文字が割り当ててあり、ボタンを押すごとに文字が変わります。

モード2(2タッチ方式) P.427参照
2つの数字の組み合わせで文字を入力します。

モード3(ニコタッチ方式) P.427参照
2つの数字の組み合わせで文字を入力します。

1 メニュー▶設定▶その他▶文字入力方式▶入力モード▶使用したいモードにチェック▶✉(完了)
●2つ以上のモードを選択してください。

2 優先的に使うモードを選択
●手順1で選択したモードの中から、優先的に使うモードを選択します。

■文字入力(編集)画面での切り替え方法
文字入力(編集)画面では、次の2つの方法でモードを切り替えることができます。
●✉(文字)を1秒以上押す
●機能メニューから「入力モード切替」を選択する(P.424参照)

<モード1(かな方式)>

モード1(かな方式)で文字を入力する

文字を入力する操作手順で✉(文字)を押して入力モードを切り替えます。入力する機能によっては表示されない入力モードがあります。

入力モード	入力できる文字
漢字ひらがな入力モード	ひらがな・文字変換(漢字、カタカナなど)・記号
カタカナ入力モード	カタカナ・記号
英字入力モード	英字・数字・記号
数字入力モード	数字・「＊」「#」「+」

文字を入力する

少ない文字を入力するだけで予測される文字に変換できる予測変換機能や、文節間の関係から次の文節の変換候補を表示する関係候補を利用して文字を入力できます。
●文字を学習することにより予測変換候補や関係候補が増えます。

<例>フリーメモに「タダの菓子」を入力する

1 メニュー▶ステーショナリー▶フリーメモ▶✉(編集)
予測変換モードで文字入力(編集)画面が表示されます。

2 ひらがなを入力
た→4を1回、○を1回
だ→4を1回、＊を1回
の→5を5回
か→2を1回
し→3を2回
●一度に24文字まで入力できます。8文字以上入力すると、自動的に通常変換モードに切り替わります。
●同じボタンで入力する文字が続く場合は、○を押してカーソルを進めてから次の文字を入力します。
「文字確定時間」を設定すると、カーソルを移動する操作が省略できます。
●大文字・小文字を切り替える場合は文字を入力したあとに☎を押します。
●📷を押すと、押すごとに逆順に文字が表示されます。
●✉を押すごとに通常変換モードと予測変換モードが切り替わります。
●(英数カナ)を押すと英数字、カタカナの候補リストが表示されます。
●変換せずにそのまま確定する場合は◉(確定)を押します。

3 ○で「の」までカーソルを移動
●自動的に通常変換モードに切り替わります。

4 で候補リストにカーソルを移動 ▶ で「タダの」を選んで（選択）

- 「候補自動表示」を「OFF」に設定している場合は候補リストは表示されません。を押して文字を変換します。
- 変換候補を選択中にを押すと文字入力（編集）画面に戻ります。
- を押すと全文節を確定できます。

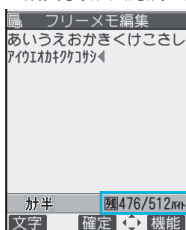
5 で候補リストにカーソルを移動 ▶ で「菓子」を選んで（選択）

選択した文字が確定します。

- 「候補自動表示」を「OFF」に設定している場合は候補リストは表示されません。を押して文字を変換します。
- 文字を確定後、関係候補となる文字列がある場合は、関係候補が表示されます。を押して候補リストにカーソルを移動すると関係候補を入力できます。
- 関係候補を選択中にを押すと文字入力（編集）画面に戻ります。

お知らせ

- 学習機能により、最大1000単語分まで記憶され、変換率の高い文字は表示順位が上がります。
- 候補の文字列は、通常の変換を行った文字やダウンロードした辞書から表示されます。
  - ･お買い上げ時は、少数の文字列しか登録されていないため候補を表示しない場合があります。通常の変換を行うことにより、それが候補に加えられます。
  - ･辞書をサイトからダウンロードして候補に加えることもできます。ただし、ダウンロードした辞書を削除すると、候補からも削除されます。（P.210、P.426参照）
- 2タッチ方式、ニコタッチ方式の漢字ひらがな入力モードでも予測変換機能、関係候補を利用できます。
- 変換できる漢字には限りがあるため、変換できない漢字もあります。変換できない漢字は区点コードを使って入力できます。入力できるのは、JIS第一水準漢字、第二水準漢字の6355文字です。
- 複雑な漢字は一部を変形もしくは省略しています。

■残文字数、入力済み文字数について

文字入力画面では入力可能な残り文字数と最大入力文字数がバイト数で表示されます。（SMS本文入力時など、機能によっては入力済み文字数が文字数単位で表示されます。）

文字入力（編集）画面の文字数は以下の規則に従ってカウントされます。

- 文字数は、半角1文字が1バイト、全角1文字が2バイトとしてカウントされます。
- 全角：あいうえお　5文字（カウントは10バイト）
  半角：ｱｲｳｴｵｶｷｸｹｺ　10文字（カウントは10バイト）

■文字の組み合わせについて

文字入力の際は、文字の組み合わせに注意してください。

<例>「ﾄﾞｺﾓ」を半角カタカナ入力モードで、
「の携帯電話」を漢字ひらがな入力モードで入力したとき

ﾄ	ﾞ	ｺ	ﾓ	の	携	帯	電	話
1	1	1	1	2	2	2	2	2

- 画面に表示される文字数は9文字でカウントは14バイト、半角文字14文字分となります。
- 半角文字の濁点「ﾞ」半濁点「ﾟ」は、1文字分としてカウントされます。

その他の入力機能

項目	操作・補足
カタカナ入力	(文字)を数回押してカタカナ入力モードにする ▶ボタンを押して文字を入力
英数字入力	(文字)を数回押して英字入力モードにする ▶ボタンを押して文字を入力
数字入力	(文字)を数回押して数字入力モードにする ▶ボタンを押して文字を入力
改行入力	を押す ●文末にカーソルがあり、文字が確定されているときは、を押しても改行できます。
顔文字入力	「かお」と入力▶で候補リストにカーソルを移動▶で顔文字を選択 ●お買い上げ時に登録されている定型文にも顔文字が登録されています。

お知らせ

<改行入力>
- ●改行は、全角1文字分としてカウントされます。
- ●ｉモードのテキストボックスの編集など、機能によっては改行できない場合があります。

文字を修正する

1 カーソルを修正したい文字の左側へ移動 ▶ ch クリア

カーソルの右側の文字が削除されます。
ch クリアを1秒以上押すとカーソル以降の文字がすべて削除されます。
- ●カーソルの右側に文字がない場合は、カーソルの左側の文字が削除されます。、ch クリアを1秒以上押すとすべての文字が削除されます。

2 正しい文字を入力

カーソルの位置に文字が挿入されます。

■編集中のデータについて

電池が切れたときは

「フリーメモ」、新規メールの文字編集中などに電池残量が少なくなると、自動的に文字編集を終了し電池切れアラームが鳴ります。編集中のデータは自動的に確定して保存されますので、充電するか、充電済みの電池パックと交換したあとにもう一度編集できます。ただし、変換中の確定していない文字は保存されません。

を押したときは

文字を入力、編集中にを押すと、編集を終了するかどうかの確認画面が表示されます。(データを変更していないときは確認画面は表示されません。)

●編集中の内容を破棄して終わるときは

「YES」を選択します。
編集中のデータを破棄して編集前の画面または待受画面に戻ります。
※を押してもデータを破棄して編集前の画面または待受画面に戻ります。

●編集を続けるときは

「NO」を選択します。
編集中のデータはそのままで元の画面に戻ります。
※ch クリアを押しても元の画面に戻ります。

マルチタスク機能を利用したときは

文字編集の途中でマルチタスク機能を利用して他の文字入力(編集)画面に切り替えた場合でも、元の編集途中の画面はそのまま保持されます。タスクを切り替えれば、元の文字編集を行えます。

電話がかかってきたり、メールを受信したときは

文字編集中に電話がかかってきたり、メールを受信したときでも、マルチタスク機能が働くため編集中のデータはそのままで応対できます。

シークレット学習設定 メニュー 3 5

お買い上げ時	学習する

シークレットモード、シークレット専用モード中に行った文字変換を、学習履歴として記憶するかどうかを設定します。

1 メニュー▶設定▶その他▶文字入力方式▶シークレット学習設定▶端末暗証番号を入力▶学習する・学習しない

文字入力(編集)中の機能メニュー

●メール本文入力画面での機能メニューについてはP.231参照。

機能メニュー	操作・補足
絵文字入力	絵文字を画面に表示しながら入力します。 ▶**絵文字を選んで**✉(連続) 上記の操作を繰り返して、他の絵文字を入力できます。 ●漢字ひらがな入力モードで＊を押しても、絵文字の一覧が表示されます。 ●iαを押すと、絵文字1→絵文字2→絵文字D(デコメ絵文字)→履歴の順で絵文字の一覧が切り替わります。ただし、絵文字D(デコメ絵文字)はｉモードメールの本文を編集中にのみ入力できます。 ●行番号(左側の番号)→列番号(上側の番号)の順にダイヤルボタンを押しても絵文字を選択できます。 ●絵文字の一覧についてはP.461参照。 ●お買い上げ時に登録されているデコメ絵文字についてはP.450参照。 ▶●(選択) 選んでいる絵文字が入力され、文字入力(編集)画面に戻ります。
記号入力	記号を画面に表示しながら入力します。 ▶**記号を選んで**✉(連続) 上記の操作を繰り返して、他の記号を入力できます。 ●#を1秒以上押しても、記号の一覧が表示されます。 ●iαを押すと、半角記号→全角記号→履歴の順で記号の一覧が切り替わります。 ●行番号(左側の番号)→列番号(上側の番号)の順にダイヤルボタンを押しても記号を選択できます。 ●記号の一覧についてはP.459参照。 ▶●(選択) 選んでいる記号が入力され、文字入力(編集)画面に戻ります。
全角切替・半角切替	全角、半角を切り替えます。
コピー	文字をコピーします。(P.425参照)
切り取り	文字を切り取ります。(P.425参照)
貼り付け	切り取り・コピーした文字を貼り付けます。(P.425参照)
定型文入力	▶**フォルダを選択**▶**定型文を選択** ●数字入力モード以外のときは、＊を1秒以上押しても定型文のフォルダの一覧が表示されます。 ●定型文の一覧についてはP.463参照。
スペース入力	全角入力モードのときは全角スペース、半角入力モードのときは半角スペースを入力します。 ●文末にカーソルがある場合、○を押してもスペースを入力できます。
区点入力	区点コード一覧表(添付のCD-ROM内のPDF版「区点コード一覧」参照)にある文字・数字・記号を入力します。 漢字ひらがな入力モードのときに操作できます。 ▶**区点コード(4桁)を入力** 入力した区点コードに対応した文字が表示され、元の入力モードに戻ります。 ●入力した区点コードに対応する文字がないときは、スペースが入力されます。
電話帳引用	電話帳を呼び出して引用します。引用できる項目は以下のとおりです。 <FOMA端末内> 名前、フリガナ、電話番号、 メールアドレス、住所、位置情報、 誕生日、メモ <FOMAカード内> 名前、フリガナ、電話番号、 メールアドレス ▶**電話帳を検索**▶**電話帳を選択** ▶**引用したい項目にチェック** ▶✉(完了)
個人データ引用	お客様の個人データを呼び出して引用します。引用できる項目は以下のとおりです。 名前、フリガナ、電話番号、 メールアドレス、住所、誕生日、メモ ▶**端末暗証番号を入力** ▶**引用したい項目にチェック** ▶✉(完了)
バーコードリーダー	バーコードリーダーを起動します。(P.193参照)
日付/時刻入力	▶**日付/時刻の形式を選択** ▶**日付/時刻を入力** ●ダイヤルボタンで日付/時刻を入力します。 ●年数は1800年から2099年まで入力できます。

次ページにつづく

機能メニュー	操作・補足
ユーザ辞書	ユーザ辞書に単語を登録します。(P.425参照)
学習履歴	学習履歴を確認／削除します。(P.426参照)
入力モード切替	文字入力方式を切り替えます。 ▶入力モードを選択 ●「文字入力方式」の「入力モード」(P.420参照)で選択していない入力モードは選択できません。 ●文字入力(編集)画面で ✉(文字)を1秒以上押しても入力モードが切り替わります。
2タッチ／ニコタッチガイダンス お買い上げ時 ON	モード2(2タッチ方式)、モード3(ニコタッチ方式)で入力中に、1桁目のボタンを押したときに文字の変換候補を画面の下に一覧表示するかどうかを設定します。 ▶ON・OFF
候補自動表示 お買い上げ時 4行	画面の下に表示する変換候補リストの行数を設定します。 ▶3行・4行・OFF
関係候補表示 お買い上げ時 ON	関係候補を使用するかどうかを設定します。 ▶ON・OFF
文字確定時間 お買い上げ時 OFF	モード1(かな方式)で文字入力中に、入力した文字を自動的に確定するかどうかを設定します。また、確定するまでの時間を選択できます。 同じボタンを押して入力する文字が続く場合でも、Ⓞを押してカーソルを移動する操作を省略できます。 ▶速い・普通・遅い・OFF
ヘルプ	文字入力の操作方法を確認できます。 ▶項目を選択 ●確認が終われば、CLRを何度か押して文字入力(編集)画面に戻ります。
JUMP	カーソルを文頭または文末に移動させます。 ▶文頭へJUMP・文末へJUMP ●文字入力(編集)画面が複数のページにわたるときは、カーソルはページの先頭または最後に移動します。

お知らせ

<絵文字入力>
- 文字入力(編集)画面によっては絵文字を入力できない場合があります。
- 履歴には、入力した絵文字1･2の履歴とデコメ絵文字の履歴がそれぞれ18件まで表示されます。
- デコメ絵文字は20件まで入力できますが、他に挿入画像を挿入する場合は、挿入した画像の数だけ入力できる件数が少なくなります。

<記号入力>
- 数字入力モードで0を1秒以上押すと、「＋」を入力できます。
- 文字入力(編集)画面によっては、入力できない記号があります。
- 履歴には、入力した半角記号の履歴と全角記号の履歴がそれぞれ18件まで表示されます。

<全角切替･半角切替>
- ニコタッチ方式の漢字ひらがな入力モードで半角切替した場合、半角カタカナ入力モードに切り替わります。

<定型文入力>
- 文字入力(編集)画面によっては定型文を入力できない場合があります。
- FOMA端末にあらかじめ登録された定型文は入力モードによって呼び出される内容が異なります。

<電話帳引用><個人データ引用>
- 住所を引用する場合、郵便番号の「〒」や「-」は引用されません。

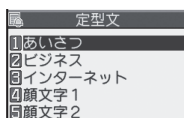
<文字確定時間>
- 文字確定時間の設定とボタン操作の速さによっては、うまく入力できない場合があります。

<定型文> メニュー 3 8

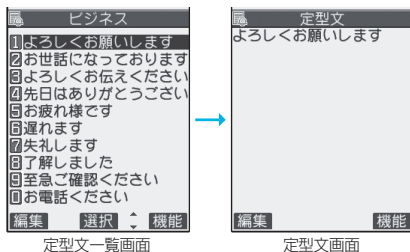
定型文を使用する

FOMA端末にあらかじめ登録された定型文や自作の定型文を文字入力(編集)画面から呼び出して入力できます。
定型文は5つのフォルダに分かれていて、各フォルダに10件ずつ登録されています。登録されている定型文を編集し、自作の定型文として保存できます。

定型文を表示する

1 メニュー▶ステーショナリー▶定型文／辞書▶定型文▶フォルダを選択

定型文フォルダ一覧画面

2 定型文を選択

定型文一覧画面　　定型文画面

●定型文の一覧についてはP.463参照。

お知らせ

●メールの作成時に使用する自作の定型文には、「半角カタカナ」と「絵文字」は使わないでください。正しく表示されない場合があります。(iモードメールどうしでは絵文字を使用できます。)
●「あいさつ」「ビジネス」フォルダにあらかじめ登録されている定型文は、漢字ひらがな入力モードでは漢字ひらがな表現、それ以外の入力モードでは半角カタカナ表現で呼び出されます。

定型文フォルダ一覧画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
フォルダ名編集	▶フォルダ名を入力 ●全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。 ●フォルダ名に入力した文字をすべて削除した場合は、お買い上げ時のフォルダ名に戻ります。
フォルダ名初期化	フォルダ名をお買い上げ時のフォルダ名に戻します。 ▶YES

定型文一覧画面・定型文画面の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
編集	▶定型文を入力 ●全角64文字まで、半角128文字まで入力できます。 ●あらかじめ登録されている定型文の文字をすべて削除した場合は、お買い上げ時の定型文に戻ります。 ●(✉)(編集)を押しても編集できます。
1件初期化	定型文をお買い上げ時の定型文に戻します。 ▶YES
全件初期化	フォルダ内のすべての定型文をお買い上げ時の定型文に戻します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES

文字の切り取り・コピーと貼り付け

切り取り・コピー

文字を最大全角5000文字まで、半角10000文字まで切り取り・コピーできます。

1 **文字入力(編集)画面▶(iα)(機能)▶切り取り・コピー**

2 **始点を選択**

●(iα)(全選択)を押すとすべての文字を選択できます。

3 **終点を選択**

お知らせ

●デコメール本文入力中に切り取り・コピーして貼り付けた場合、デコレーションの情報も貼り付けられます。
●デコメールの本文など、データの容量によってはメモリが不足するため切り取り・コピーできない場合があります。

貼り付け

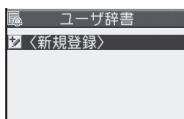
切り取り・コピーした文字を貼り付けます。

1 **文字入力(編集)画面▶カーソルを貼り付け開始位置へ移動▶(iα)(機能)▶貼り付け**

<ユーザ辞書>　(メニュー)(3)(8)

ユーザ辞書に単語を登録する

よく使う単語に好きな読み(ひらがな)を付けてユーザ辞書に100件まで登録できます。

1 **(メニュー)▶(ステーショナリー)▶定型文／辞書▶ユーザ辞書▶<新規登録>**

●登録済みのユーザ辞書を選択すると、登録内容を確認できます。
●文字入力(編集)中の機能メニューから「ユーザ辞書」を選択してもユーザ辞書を表示できます。

2 **単語を入力**

●全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。ただし、改行は入力できません。

次ページにつづく

3 読みを入力

- ●ひらがなで10文字まで入力できます。また、「長音(ー)」以外の記号は登録できません。ただし、「゛」や「゜」を付けることができる文字のときには「゛」や「゜」は登録できます。
- ●スペースを入力しても、自動的につめて登録されます。

ユーザ辞書表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
新規登録	P.425「ユーザ辞書に単語を登録する」手順2へ進みます。
編集	P.425「ユーザ辞書に単語を登録する」手順2へ進みます。 ●(編集)を押しても編集できます。
1件削除	▶YES
選択削除	▶削除したいユーザ辞書にチェック▶(完了)▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

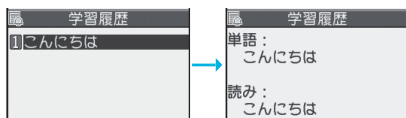
お知らせ

＜選択削除＞

- ●文字入力(編集)中の機能メニューからユーザ辞書を表示した場合は表示されません。

学習履歴を確認する

FOMA端末は一度入力した文字列を自動的に記憶し、学習履歴として変換時の候補にします。

1 文字入力(編集)中の機能メニュー▶学習履歴▶行を選択▶履歴を選択

- ●学習履歴を削除するには(機能)を押して「1件削除」または「全削除」を選択し、「YES」を選択します。「全削除」を選択した場合は端末暗証番号の入力が必要です。

学習履歴初期化 メニュー 3 5

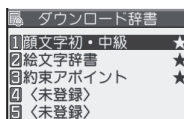
学習履歴をお買い上げ時の初期状態に戻します。

1 メニュー▶設定▶その他▶文字入力方式▶学習履歴初期化▶端末暗証番号を入力▶YES

＜ダウンロード辞書＞ メニュー 3 8

ダウンロードした辞書を使用する

サイトからダウンロードした辞書(P.210参照)を有効にします。

1 メニュー▶ステーショナリー▶定型文／辞書▶ダウンロード辞書▶ダウンロード辞書を選択

選択したダウンロード辞書が有効になり、「★」マークが付きます。

- ●ダウンロード辞書を無効にするには、同様の操作を行います。
- ●お買い上げ時は、「顔文字初･中級」「絵文字辞書」「約束アポイント」が登録されています。

ダウンロード辞書表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
タイトル編集	▶タイトルを編集 ●全角10文字まで、半角20文字まで入力できます。
辞書ファイル設定 お買い上げ時 すべて有効	辞書を有効／無効にします。操作するごとに有効／無効が切り替わります。
辞書情報	辞書のタイトル、バージョンを表示します。 ●確認が終われば(ch クリア)を押します。
1件削除	▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

＜タイトル編集＞

- ●タイトルに入力した文字をすべて削除した場合は、元のタイトルに戻ります。

<モード2(2タッチ方式)>

モード2(2タッチ方式)で文字を入力する

2桁の数字をダイヤルボタンで押すと、それに対応した文字(記号)が入力されます。1つ目のボタンを押すと変換候補となる文字(記号)が画面の下に一覧表示されます。変換候補を表示するには、あらかじめ「2タッチ／ニコタッチガイダンス」を「ON」に設定します。

- ダイヤルボタンの文字割り当て(2タッチ方式)についてはP.457参照。
- 「2タッチ方式」への切り替えについてはP.420参照。

入力モードの切替(2タッチ方式)

文字入力(編集)画面で✉(文字)を押して入力モードを切り替えます。入力する機能によっては表示されない入力モードがあります。

入力モード	入力できる文字
漢字ひらがな入力モード	ひらがな・英数字・記号など・文字変換(漢字・カタカナ・数字・記号など)
カタカナ入力モード	カタカナ・英数字・記号など
英字入力モード	英字・記号
数字入力モード	数字・「＊」「#」「+」

文字を入力する

<例>フリーメモに「タダの菓子」を入力する

1 メニュー▶ステーショナリー▶**フリーメモ**▶✉(編集)

文字入力(編集)画面が表示されます。

2 **ひらがなを入力**

た→4 1
だ→4 1、＊
の→5 5
か→2 1
し→3 2

- 濁点、半濁点を入力する場合、文字を入力後＊を押します。
- 8 0と押すと、大文字／小文字入力モードが切り替わります。大文字／小文字の切り替えが可能な文字を入力し☎を押しても、大文字／小文字が切り替わります。

ひらがなを入力後、P.420手順3へ進みます。

<モード3(ニコタッチ方式)>

モード3(ニコタッチ方式)で文字を入力する

2桁の数字をダイヤルボタンで押すと、それに対応した文字(記号)が入力されます。1つ目のボタンを押すと変換候補となる文字(記号)が画面の下に一覧表示されます。変換候補を表示するには、あらかじめ「2タッチ／ニコタッチガイダンス」を「ON」に設定します。

- ダイヤルボタンの文字割り当て(ニコタッチ方式)についてはP.458参照。
- 「ニコタッチ方式」への切り替えについてはP.420参照。

入力モードの切替(ニコタッチ方式)

文字入力(編集)画面で✉(文字)を押して入力モードを切り替えます。入力する機能によっては表示されない入力モードがあります。

入力モード	入力できる文字
漢字ひらがな入力モード	ひらがな・英数字・記号・文字変換(漢字・カタカナ・数字・記号) ●「半角切替」をすると、半角カタカナ入力モードに切り替わり、半角カタカナが入力できます。
数字入力モード	数字・「＊」「#」「+」

文字を入力する

<例>フリーメモに「タダの菓子」を入力する

1 メニュー▶ステーショナリー▶**フリーメモ**▶✉(編集)

文字入力(編集)画面が表示されます。

2 **ひらがなを入力**

た→4 1
だ→4 1、＊
の→5 5
か→2 1
し→3 2

- 濁点、半濁点を入力する場合、文字を入力後＊を押します。
- 大文字／小文字の切り替えが可能な文字を入力し☎を押すと、大文字／小文字が切り替わります。

ひらがなを入力後、P.420手順3へ進みます。

海外利用

国際ローミング(WORLD WING)の概要

国際ローミング(WORLD WING)とは、FOMAネットワークのサービスエリア外の海外でも、提携する通信事業者のネットワークを利用して通話や通信ができるサービスです。

- 本FOMA端末は、3Gローミングエリアで利用できます。エリア詳細については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。(GSM/GPRSサービスエリアでは利用できません。)
- 3Gローミングエリアは、世界標準規格である3GPP※に準拠した第3世代移動通信ネットワークです。
  ※3GPP(3rd Generation Partnership Project)は、第3世代移動体通信システム(IMT-2000)に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。
- お買い上げ時は、海外でのネットワークの切り替えが自動で行われるよう設定されています。(P.433参照)
- 海外でFOMA端末をご利用いただく前に、以下の冊子もあわせてご覧ください。

冊子名	内容
ご利用ガイドブック(国際サービス編)	サービス内容や利用料金、注意事項など、国際ローミングサービスの詳細を説明しています。
ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)	各ネットワークサービスのサービス内容や注意事項などを説明しています。

お知らせ

- 本書の巻末には、クイックマニュアル「海外利用」を記載していますので、海外でFOMA端末をご利用いただく際にご活用ください。
- 国番号、ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号、国際プレフィックス番号については、「ご利用ガイドブック(国際サービス編)」またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- 海外でのご利用料金は毎月のご利用料金と合わせてご請求させていただきます。ただし、渡航先通信事業者などの事情により、翌月以降の請求書にてお支払いいただく場合があります。また、同一課金対象期間のご利用であっても同一月に請求されない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

海外で利用できるサービスについて

通信サービス	説明
音声電話	日本国内で利用している電話番号のまま、滞在国内での発着信や、日本や別の国への国際電話発信ができます。
テレビ電話	海外の特定3G携帯通信事業者のユーザや、FOMAユーザと国際テレビ電話ができます。
iモード	海外でもiモードを利用できます。海外利用設定を行ってください。詳しくは「ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)」をご覧ください。
iモードメール	日本国内で使用しているアドレスのまま、海外でもiモードメールの送受信ができます。
SMS	海外でもSMSの送受信ができます。
iチャネル※	海外でもiチャネルを利用できます。

※自動更新は海外の通信事業者に接続されたとき、自動的に一時停止されます。iチャネルの自動更新を再開するには、再度iチャネル設定を行う必要があります。なお、iチャネルの海外利用時には、ベーシックチャネルの自動更新についても通信料がかかります。(日本国内では、月額サービス利用料に含まれます。)

- 海外では、GPS機能をご利用いただけません。
- 使用する通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。接続可能な国・地域および通信事業者などの情報については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください
- 海外では、パケット通信・64Kデータ通信はご利用になれません。

■各通信方式と利用できる通信サービス

日本国内と海外のネットワークでは、利用できる通信サービスが異なります。

- 利用する海外の通信事業者によってもご利用いただける通信サービスは異なります。国際ローミング中にご利用できる通信サービスについて、詳しくはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

ご利用時の確認について

ご出発前の確認

海外でFOMA端末を利用する際は、日本国内で次の確認をしてください。

■ご契約について
- 2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいた方は、お申し込み不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいた方や途中でご解約された方は、再度お申し込みが必要です。
- 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約で「WORLD WING」をお申し込みいただいていない方はお申し込みが必要です。
- 「WORLD WING」に対応しているFOMAカード(青色以外)をFOMA端末に取り付けておいてください。(P.38参照)
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。

■充電について

滞在先の国や場所で利用できる電圧を確認して、FOMA海外兼用ACアダプタ　01(別売)を使用してください。
- FOMA海外兼用ACアダプタ　01はAC100Vから240Vまで対応していますが、付属のAC電源コードのプラグの形状はAC100V用(国内仕様)です。海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。
- 海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- ACアダプタの取扱上のご注意についてはP.18参照。
- ACアダプタでの充電方法についてはP.43参照。

■ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、一部を除くネットワークサービスの設定／解除などの操作を、海外からも行えます。
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外の通信事業者によっては利用できないことがあります。また、日本国内でのみ操作が可能なネットワークサービスもあります。海外でネットワークサービスをご利用の際は、ご出発前に「ご利用ガイドブック(国際サービス編)」や「ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)」をご覧ください。

■SMSについて

国際ローミングを利用中でも、日本国内や海外でFOMA端末をご使用の相手や、海外通信事業者をご利用の相手との間でSMSの送受信ができます。
- 宛先は、相手の電話番号の前に「＋」と相手の国番号を入力します。ただし、相手の電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いた電話番号を入力します。ただし、イタリアなど一部の国･地域に送信するときは「0」が必要な場合があります。
- 海外の通信事業者を利用している相手にSMSを送信したときに、本文中に相手側が対応していない文字が含まれる場合は、それらの文字が正しく表示されないことがあります。詳しくは、「ご利用ガイドブック(国際サービス編)」や「ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)」をご覧ください。

滞在先での確認

本FOMA端末は3Gローミングエリアでご利用いただけます。海外に到着後、FOMA端末の電源を切った状態から電源を入れると、利用可能な通信事業者が自動的に設定されます。また、「ネットワーク名表示設定」を「表示あり」に設定しているときは、接続している通信事業者が待受画面に表示されます。
- 設定されたネットワークのサービスエリア外に移動した場合は、自動的に他の利用できる通信事業者のネットワークを検索して設定し直されます。
- 海外で時刻情報を受信した際、時差補正値が前回受信した値と異なる場合、時差を補正するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると時差補正が行われます。「NO」を選択すると時差補正は行われません。

■お問い合わせについて

海外での紛失や盗難、精算、故障については、取扱説明書裏面の「海外での紛失、盗難、精算などについて」または「海外での故障に関して」をご覧ください。なお、紛失･盗難された後に発生した通話･通信料もお客様のご負担となりますので、ご注意ください。
- 各お問い合わせ番号の先頭には、滞在先に割り当てられている「ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号」または「滞在国の国際プレフィックス番号」が必要になります。

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にネットワークが検索され、FOMAネットワークに設定されます。ネットワークを手動で切り替えている場合は、P.433「ネットワークサーチ設定」でFOMAネットワーク(DoCoMo)に設定し直してください。

滞在先で電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、海外から音声電話やテレビ電話をかけることができます。

滞在国外(日本を含む)に電話をかける

電話帳を利用して日本に国際電話をかける

滞在先から日本の一般電話、携帯電話に電話をかける場合、相手が電話帳に登録されていれば、簡単な操作で国際電話をかけることができます。

- 電話帳に登録されている電話番号が「0」で始まる場合のみ有効です。また、あらかじめ「国際ダイヤルアシスト設定」の「自動変換機能設定」を「ON」および「日本(81)」に設定しておく必要があります。(お買い上げ時の設定)

1 電話帳詳細画面▶(発信キー)または(●)(発信)

- (テレビ電話キー)を押すと国際テレビ電話発信します。

2 発信

電話番号の先頭の「0」を「+81」に置き換えて発信します。

- 「元の番号で発信」を選択した場合は、電話帳に登録されている電話番号のまま発信します。

お知らせ

- 電話帳を使ってかけた場合のリダイヤルや発信履歴などからも、同様の操作で国際電話をかけることができます。

「+」を利用して国際電話をかける

発信時に(0)を1秒以上押すと「+」が入力できます。「+」を利用すれば、滞在先から日本など滞在国以外に国際電話をかけることができます。

1 (0)(1秒以上)▶国番号→地域番号(市外局番)→相手先電話番号の順に入力▶(発信キー)または(●)(発信)

- 日本に国際電話をかける場合は、国番号に「81」を入力してください。
- 地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。
- (テレビ電話キー)を押すと国際テレビ電話発信します。

国際電話発信

あらかじめ、国際プレフィックス設定(P.65参照)で国際プレフィックス番号を、および国番号設定(P.66参照)で国番号を登録している場合、滞在先の国際プレフィックス番号を利用して、滞在先から日本など滞在国以外に国際電話をかけることができます。なお、下記の手順は、海外でのみ有効です。

1 電話番号を入力

または

電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面を表示

2 (iα)(機能)▶国際ダイヤルアシスト▶電話をかけたい国の国名称を選択▶(発信キー)または(●)(発信)

- (テレビ電話キー)を押すと国際テレビ電話発信します。

滞在国内に電話をかける

日本国内で電話をかけるように、相手の電話番号を入力して音声電話やテレビ電話をかけます。(P.53参照)

- 電話帳を利用して滞在国内に電話をかける場合は、P.432「滞在国外(日本を含む)に電話をかける」手順2で「元の番号で発信」を選択してください。

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

相手が国際ローミング中の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。

電話を受ける

日本国内での操作と同じ操作で海外でも音声電話やテレビ電話を受けることができます。(P.70参照)

■日本から電話をかけてもらうときは

日本国内で通常と同じように、お客様の電話番号を入力して電話をかけてもらうだけで、海外で日本からかかってきた電話を受けることができます。

「090−XXXX−XXXX」を入力して電話をかける

または

「080−XXXX−XXXX」を入力して電話をかける

■日本以外の国から電話をかけてもらうときは

滞在先に関わらず日本経由で電話をかけるため、日本への国際電話と同じように「発信国の国際プレフィックス番号」と「81」(日本の国番号)を先頭に付け、お客様の電話番号から先頭の「0」を除いた電話番号を入力して電話をかけてもらいます。

「発信国の国際プレフィックス番号−81−90−XXXX−XXXX」を入力して電話をかける

または

「発信国の国際プレフィックス番号−81−80−XXXX−XXXX」を入力して電話をかける

お知らせ

- 国·地域により、着信の場合であっても国際転送料を含んだ着信料がかかります。
- 相手が発信者番号を通知してきて電話をかけてきた場合でも、海外の通信事業者によっては、発信者番号が通知されない場合があります。また、相手が利用しているネットワークによっては、相手の発信者番号とは異なる番号が通知される場合があります。
- 海外でのご利用時には、「非通知着信設定」、「登録外着信拒否」、「電話帳指定設定(指定発信制限は除く)」の設定は無効になります。また、「着信動作選択」の設定に関わらず、「通常着信」として動作します。
- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれかの国からの電話であっても日本から国際転送されます。発信者には日本までの通話料がかかり、着信者には国際転送料を含んだ着信料がかかります。

＜ネットワークサーチ設定＞

通信事業者の検索方法を設定する

お買い上げ時	オート

利用中のネットワークが圏外になった場合に、自動的にネットワークを検索して他の通信事業者に接続し直すかどうかを設定します。

1 メニュー▶▶**ネットワーク設定▶ネットワークサーチ設定▶項目を選択**

オート. . . 自動的に他の通信事業者に接続し直します。設定が終了します。

マニュアル

. . . . 通信事業者の一覧が表示されます。利用できない通信事業者には「×」が表示されます。

ネットワーク再検索

. . . . 「オート」に設定しているときは、自動的に接続先が切り替わり、設定が終了します。

「マニュアル」に設定しているときは、通信事業者の一覧が表示されます。

2 通信事業者を選択

- ✉(更新)を押すと再度通信事業者の一覧を表示します。

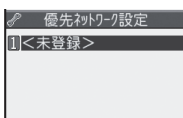
お知らせ

- FOMAカードが挿入されていないときは設定できません。
- 「マニュアル」に設定しているときに圏外になった場合は「 」が表示されます。
- 「マニュアル」に設定しているときにFOMA端末の電源を入れなおした場合は、通信事業者を選択してください。

＜優先ネットワーク設定＞

優先的に接続する通信事業者を設定する

「ネットワークサーチ設定」を「オート」に設定しているときに接続する通信事業者の優先順位を設定します。通信事業者は20件まで登録できます。

1 メニュー▶ 設定 ▶**ネットワーク設定▶優先ネットワーク設定**

- 登録済みの通信事業者を選択すると、登録内容を確認できます。

次ページにつづく

2 i((機能))▶リストから登録

- 国名で通信事業者を検索する場合は、✉(検索)を押して国名を選択します。国選択リストで再度✉(検索)を押し、国名を入力して検索することもできます。

3 通信事業者を選択▶●(確定)▶✉(完了)▶YES

優先ネットワーク設定表示中の機能メニュー

機能メニュー	操作・補足
マニュアル登録	国番号とオペレータ番号を入力して通信事業者を登録します。リストにない通信事業者も登録できます。 ▶国番号(3桁)とオペレータ番号(2〜3桁)を入力▶✉(完了)▶YES
リストから登録	リストから通信事業者を登録します。(P.433「優先的に接続する通信事業者を設定する」参照)
在圏ネットワーク登録	現在接続している通信事業者を登録します。 ▶✉(完了)▶YES
優先順位変更	▶変更後の優先順位を選択▶✉(完了)▶YES
1件削除	▶YES▶✉(完了)▶YES
全削除	▶YES▶✉(完了)▶YES

お知らせ

- 本機能の設定に関わらず、「DoCoMo」のネットワークが利用可能な場合は、優先的に接続されます。
- 本機能の設定はFOMAカードに記憶されます。
- FOMAカードが挿入されていないときは設定できません。

<ネットワーク名表示設定>

通信事業者を待受画面に表示する

お買い上げ時	表示あり

現在接続している通信事業者を待受画面に表示するかどうかを設定します。

1 メニュー▶設定▶ネットワーク設定▶ネットワーク名表示設定▶表示あり・表示なし

- 「表示あり」に設定すると、待受画面の時計表示の下に通信事業者名が表示されます。

お知らせ

- 「表示あり」に設定していても、「DoCoMo」のネットワークを利用している場合は、通信事業者は表示されません。

<ローミング設定>

ローミング中の動作について設定する

国際ローミング中に音声電話やテレビ電話がかかってきたときの動作を設定します。

ローミングガイダンス設定

国際ローミング中に音声電話やテレビ電話がかかってきたときに、相手に国際ローミング中であることを通知するガイダンスを流すように設定します。

- ローミングガイダンスを設定した場合でも、海外通信事業者により、外国語のガイダンスが流れる場合があります。
- ガイダンス設定を行わない場合でも、海外通信事業者で設定している呼び出し音が流れます。

1 メニュー▶サービス▶ローミング設定▶ローミングガイダンス設定▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
開始	▶YES
停止	▶YES
確認	「ローミングガイダンス設定」の設定内容を確認します。 ●確認が終われば「OK」を選択します。

ローミング時着信規制

国際ローミング中に着信を受け付けないように設定します。

- 一部の海外通信事業者では、ご利用いただけません。

1 メニュー▶サービス▶ローミング設定▶ローミング時着信規制▶以下の操作を行う

項目	操作・補足
開始	▶項目を選択 全着信規制 ....音声電話やテレビ電話を含め、すべての着信を受け付けません。 デジタル通信着信規制 ....テレビ電話の着信のみを受け付けません。 ▶YES▶ネットワーク暗証番号を入力 ●ネットワーク暗証番号についてはP.154参照。
停止	▶YES▶ネットワーク暗証番号を入力 ●ネットワーク暗証番号についてはP.154参照。

項目	操作・補足
確認	「ローミング時着信規制」の設定内容を確認します。 ●確認が終われば「OK」を選択します。

<海外用サービス>

ローミング中にネットワークサービスを利用する

海外から留守番電話サービスや転送でんわサービスなどの機能を利用します。

●海外から操作した場合は、ご利用いただいた国の国際通話料がかかります。

1 メニュー▶ サービス ▶**海外用サービス**
▶**以下の操作を行う**

項目	操作・補足
留守番電話(海外)	海外から留守番電話サービスを操作します。 ▶**項目を選択** **留守番サービス開始** . . . 留守番電話サービスを開始します。 **留守番サービス停止** . . . 留守番電話サービスを停止します。 **留守番メッセージ再生** . . . 伝言メッセージを再生します。 **留守番サービス設定** . . . 留守番電話サービスの設定を変更します。 **留守番呼出時間設定**※ . . . 留守番電話の呼出時間を設定します。
転送でんわ(海外)	海外から転送でんわサービスを操作します。 ▶**項目を選択** **転送サービス開始** . . . 転送でんわサービスを開始します。 **転送サービス停止** . . . 転送でんわサービスを停止します。 **転送サービス設定**※ . . . 転送でんわサービスの設定を変更します。
ローミングガイダンス(海外)	海外からローミングガイダンス設定を操作します。
遠隔操作設定(海外)※	海外から遠隔操作設定を操作します。
番号通知お願いサービス※	海外から番号通知お願いサービスを操作します。

※2006年9月現在、本機能はご利用いただけません。

2 **YES▶音声ガイダンスの指示に従って操作する**

付録／外部機器連携／困ったときには

機能一覧表

の項目はP.399「設定リセット」、※1の項目はP.260「メール設定リセット」、※2の項目はP.213「ｉモード設定リセット」を行うと、お買い上げ時の設定に戻ります。
P.399「端末初期化」を行うと、すべての項目がお買い上げ時の状態に戻ります。

- 端末初期化を行うと、ダウンロード辞書はお買い上げ時に登録されているものも含めてすべて削除されます。
- 端末初期化を行っても、削除したプリインストールｉアプリは元に戻りません。

	メニュー	機能名称	お買い上げ時	参照先
メール		受信BOX	メールなし（FOMAカード内は除く）	P.244
			ユーザ作成フォルダ：なし	
			ｉアプリメール用フォルダ：なし	
		送信BOX	メールなし（FOMAカード内は除く）	P.245
			ユーザ作成フォルダ：なし	
			ｉアプリメール用フォルダ：なし	
		保存BOX	メールなし（FOMAカード内は除く）	P.245
		新規メール作成	－	P.228
		チャットメール	チャットメンバー：未登録（「自分」は除く）	P.261
		ｉモード問い合わせ	－	P.241
		SMS作成	－	P.265
		SMS問い合わせ	－	P.267
		テンプレート	プリインストールデータのみ	P.235
		メール選択受信	－	P.241
		メール設定※1	スクロール設定：1行スクロール	P.258
			文字サイズ設定：標準表示	P.258
			メール一覧表示設定：2行表示（本文あり）	P.258
			本文表示設定：通常表示	P.259
			開封時メロディ再生設定：自動再生する	P.259
			冒頭文／署名設定［冒頭文］：未入力（自動貼付する） ［署名］：未入力（自動貼付する） ［引用符］：＞	P.260
			メールセキュリティ設定：すべてチェックなし	P.171
			受信表示設定：通知優先	P.259
			メール選択受信設定：OFF	P.241
			添付ファイル優先受信：すべてチェックあり	P.259
			えチャット表示設定：自動表示する	P.259
			キラリメール設定：すべてチェックあり	P.241
			チャット設定［お知らせ音設定］：チャットお知らせ音1 ［チャットメール画像設定］：有効 ［ユーザ詳細設定］：自分（ユーザ名） ぺんぎんさん（画像）	P.264
			SMS送達通知設定：要求しない	P.267
			SMS有効期間設定：3日	P.268
			SMS本文入力設定：日本語入力（70文字）	P.268
			シークレットメール表示設定：表示する	P.171
			カラーラベル自動設定：未登録	P.260
iモード		ｉMenu	－	P.200
		Bookmark	未登録	P.205
			ユーザ作成フォルダ：なし	
		画面メモ	未登録	P.207
			ユーザ作成フォルダ：なし	
		Internet	URL入力履歴：履歴なし	P.204
		ラストURL※2	ｉMenu	P.203
		メッセージR/F	メッセージなし	P.215

	メニュー	機能名称	お買い上げ時	参照先
iモード		iチャネル	－	P.224
		iモード問い合わせ	－	P.241
		ユーザ証明書操作	－	P.218
		iモード設定※2	スクロール設定：1行スクロール	P.212
			文字サイズ設定：標準表示	P.213
			画像表示設定：表示する	P.213
			iモーション設定[自動再生設定]：自動再生する [iモーションタイプ設定]：標準タイプ	P.222
			メッセージ自動表示設定：メッセージR優先	P.215
			開封時メロディ再生設定：自動再生する	P.215
			端末情報データ利用設定：利用する	P.213
			効果音設定：効果音ON	P.213
			ドキュメント表示設定：全体表示	P.353
			iモード通信中着信設定：プッシュトーク着信優先	P.105
iアプリ		ソフト一覧(本体)	プリインストールiアプリのみ	P.273
		iアプリ(microSD)	－	P.286
		自動起動設定	許可しない	P.284
		iアプリ実行情報	情報／履歴なし	P.284
設定		着信		
	50	着信音量	レベル4	P.75
	13	着信音選択	電話：着信音1	P.128
			プッシュトーク：着信音1	
			テレビ電話：着信音1	
			メール：着信音2	
			チャットメール：着信音2	
			メッセージR：着信音3	
			メッセージF：着信音3	
	64	サウンド効果	iモーションステレオ拡張：OFF	P.130
			ステレオ・3Dサウンド設定：ON	
	54	バイブレータ	OFF	P.130
	20	マナーモード選択	マナーモード	P.135
			オリジナルマナー設定時[伝言メモ]：OFF [バイブレータ]：ON [電話着信音量]：消去 [メール着信音量]：消去 [アラーム音量]：消去 [メモ確認音]：ON [ボタン確認音]：OFF [通話中マイク感度]：アップ [低電圧アラーム]：OFF	
		電話帳画像着信設定	ON	P.139
	58	着信アンサー設定	エニーキーアンサー	P.73
	68	メール／メッセージ鳴動	ON	P.133
			鳴動時間：5秒	
	90	呼出時間表示設定	呼出動作開始時間：OFF	P.174
			開始時間：1秒(ON設定時)	
			時間内不在着信表示：表示する	
	65	確認機能設定	電子音	P.147
		オープン設定	着信継続	P.74
		パケット通信中着信設定	テレビ電話優先	P.89

次ページにつづく

	メニュー	機能名称	お買い上げ時	参照先
設定		ディスプレイ		
	56	画面表示設定	待受画面［本体色「ブラウン×シルバー」］ ：デジタルワールド ［本体色「ホワイト×パールストライプ」］ ：ダイアモンド ［本体色「オレンジ×オレンジ」］ ：レモン	P.137
			ウェイクアップ表示：Hello!	
			電話発信：スタンダード	
			電話着信：スタンダード	
			テレビ電話発信：スタンダード	
			テレビ電話着信：スタンダード	
			メール送信：スタンダード	
			メール受信：スタンダード	
			問い合わせ：スタンダード	
			省電力：ON	
	70	照明設定	通常時：ON＋省電（バックライト：ON） （省電力モード：ON） （待ち時間　：5分）	P.142
			充電時：標準	
			範囲：液晶＋ボタン（ボタン照明：省電力ON）	
			明るさ：レベル2	
	86	配色パターン	スタンダード	P.143
	93	プライベートウィンドウ	ON	P.140
			省電力モード：ON	
			明るさ：レベル5	
			待受表示固定：OFF	
			待受画面表示：デジタル時計1（ピクト表示：ON）	
			背景設定［本体色「ブラウン×シルバー」］：Square ［本体色「ホワイト×パールストライプ」］：Stripe ［本体色「オレンジ×オレンジ」］：Orange	
			着信表示：ON	
			メール表示：OFF	
			通信中表示：ON＋ OFF	
		iチャネルテロップ設定	テロップ表示設定：ON	P.224
			テロップ速度設定：標準	
	66	フォント設定	フォント1	P.150
	63	デスクトップ	使いかたナビ　Bluetooth	P.148
	15	バイリンガル	Japanese	P.151
	52	プライベートメニュー設定	自局番号表示 着信音量 発信者番号通知 ミュージック アラーム SDオーディオ バイブレータ あんしんキー／閉じロック	P.384
			背景イメージ変更：スタンダード	
	57	メニューアイコン設定	パターン1	P.144
		オープン新着表示	OFF	P.142
	47	オート表示	OFF	P.141
		液晶AI	ON	P.143
	36	表示アイコン説明	–	P.28

	メニュー	機能名称	お買い上げ時	参照先
設定		イルミネーション設定		
	89	着信イルミネーション	着信イルミネーション選択[電話]:call [プッシュトーク]:poc [テレビ電話]:call [メール]:mail [チャットメール]:mail [メッセージR]:mail [メッセージF]:mail (お買い上げ時のイルミネーションは本体色によって異なります。)	P.146
			パターン設定:固定パターン	
			カラー設定:初期状態	
		通話中イルミネーション	OFF	P.145
		不在未読イルミネーション	ON	P.145
		クローズイルミネーション	ON	P.145
		ミュージック イルミネーション	ON	P.145
		ICカードイルミネーション	ON	P.145
		プッシュトーク イルミネーション	ON	P.145
		サイドボタン イルミネーション	view (お買い上げ時のイルミネーションは本体色によって異なります。)	P.145
		明るさ設定	通常	P.146
		設定確認	−	P.146
		ロック/セキュリティ		
		セルフモード	解除	P.159
		オールロック	解除	P.158
		PIMロック	解除	P.160
		ICカードロック	解除	P.296
		あんしんキー/閉じロック	OFF	P.164
	40	シークレットモード	解除	P.170
	41	シークレット専用モード	解除	P.170
		ダイヤル発信制限	解除	P.169
		登録外着信拒否	許可	P.174
	10	非通知着信設定	すべて許可/通常着信音と同じ	P.173
	29	端末暗証番号変更	0000	P.156
		FOMAカード(UIM)設定	−	P.156
		スキャン機能	スキャン機能:有効	P.488
			メッセージスキャン:有効	
		あんしんキー/ロック設定	あんしんキー有効範囲:広い	P.164
			あんしんキー登録/削除:未登録	P.163
			閉じタイマーロック設定:5分	P.165
			PIM/ICカードセキュリティモード:端末暗証番号	
			電源OFF時ICロック設定:電源OFF直前の設定	P.296
			フェイスリーダー設定:未登録	P.166
			フェイスリーダーセキュリティ:標準	
			フェイスリーダー暗証番号:0000	

次ページにつづく

	メニュー	機能名称	お買い上げ時	参照先
設定		時間／料金		
	61	通話時間／料金	前回通話時間･積算通話時間：0秒	P.388
			前回通話料金：￥＊＊	
			時間リセット日時･料金リセット日時：--/-- --:--	
	60	積算リセット	－	P.388
	48	通話中時間表示	ON	P.387
		通話料金通知	OFF	P.388
			上限料金：0円（ON設定時）	
			通知方法：アイコン（ON設定時）	
			自動リセット設定：OFF（ON設定時）	
		上限値アイコン消去	－	P.389
		時計		
	31	時計設定	自動	P.47
	39	時計表示設定	表示方法：日本語	P.150
			表示サイズ：大きく表示	
		自動電源ON／OFF設定	自動電源ON：OFF	P.375
			自動電源OFF：OFF	
		アラーム通知設定	通知優先	P.384
		通話		
		受話音量	レベル4	P.75
	76	ノイズキャンセラ	ON	P.68
	75	通話品質アラーム	アラーム高音	P.132
	77	再接続機能	アラーム高音	P.68
	18	クローズ動作設定	電話／テレビ電話：終話	P.74
			プッシュトーク：スピーカ通話	
		保留音設定	応答保留音：応答保留音1	P.77
			通話中保留音：主よ人の望みの喜びよ	
		プッシュトーク		
		自動応答設定	自動応答なし	P.104
		呼出時間設定	30秒	P.104
		プッシュトーク ハンズフリー設定	ON	P.104
		番号通知設定	非通知	P.104
		プッシュトーク 通信中着信設定	通常着信	P.105
		テレビ電話		
		画像品質設定	標準	P.87
		画像選択	応答保留選択：内蔵	P.88
			通話保留選択：内蔵	
			代替画像選択：キャラ電（Dimo）	
			伝言メモ選択：内蔵	
			伝言メモ準備選択：内蔵	
			動画メモ選択：内蔵	
		テレビ電話 ハンズフリー設定	ON	P.87
		音声自動再発信	OFF	P.89
		遠隔監視設定	対局番号登録：未登録	P.90
			応答時間設定：5秒	
			設定：OFF	
		テレビ電話切替機能通知	－	P.89

	メニュー	機能名称	お買い上げ時	参照先
設定		アプリケーション通信設定		
		接続待ち時間設定	60秒間	P.213
		iモード問い合わせ設定	すべてチェックあり	P.242
	81	接続先選択	iモード	P.214
		SMS center設定	ドコモ	P.268
		証明書	すべて有効	P.217
		証明書センター接続設定	ドコモ	P.219
			ユーザ指定接続先:未登録	
		iアプリ設定		
		ソフト情報表示設定	表示しない	P.272
		α照明設定	システム依存	P.286
		αバイブレータ	システム依存	P.286
		待受画面終了	–	P.285
		外部オプション		
	51	イヤホン切替	イヤホン+スピーカ	P.133
	94	オート着信	OFF	P.392
			呼出時間:6秒(ON設定時)	
		ネットワーク設定		
		プレフィックス設定	WORLD CALL(009130010)	P.67
		国際ダイヤルアシスト設定	自動変換機能設定:ON	P.65
			国際プレフィックス設定:WORLD CALL(009130010)	
			国番号設定:日本(81)	
		ネットワークサーチ設定	オート	P.433
		優先ネットワーク設定	–	P.433
		ネットワーク名表示設定	表示あり	P.434
		その他		
	30	ボタン確認音	ON	P.132
		充電確認音	ON	P.132
	71	電池残量	–	P.44
		サイドボタン操作	閉じた時有効	P.169
	35	文字入力方式	入力モード:すべてチェックあり	P.420
			優先入力方式:モード1(かな方式)	
			シークレット学習設定:学習する	P.422
		履歴表示設定	着信履歴:ON	P.170
			リダイヤル/発信履歴:ON	
	84	ポーズダイヤル	未登録	P.63
		サブアドレス設定	ON	P.67
		ボイス設定	ボイスダイヤル自動発信:OFF	P.125
			ボイスイヤホン発信:OFF	
			ボイス認識ユーザ設定:男性向け	
			音声読み上げ設定:OFF	P.374
			音声読み上げ音量:レベル4	
			音声読み上げ出力先:スピーカ	
			音声読み上げ有効設定:標準	
		USBモード設定	通信モード	P.341
	23	設定リセット	–	P.399
		端末初期化	–	P.399
		ソフトウェア更新	–	P.484

次ページにつづく

	メニュー	機能名称	お買い上げ時	参照先
データBOX	46	マイピクチャ	プリインストールデータのみ	P.310
			ユーザ作成フォルダ:なし	
			ピクチャ貼付:すべて解除	P.314
			貼付表示位置:中央に表示	P.312
			切り出し範囲:中央を表示	P.312
			ソート:新しい順	P.312
			ピクチャ一覧・タイトル名一覧:ピクチャ一覧	P.315
			表示サイズ設定:標準	P.315
			文字スタンプ[文字色]:16色、黒 [フォント]:フォント1 [文字サイズ]:通常サイズ	P.318
			自作アニメ:未登録	P.320
		ミュージック	データなし	P.358
			ユーザ作成フォルダ:なし	
			プレイリスト:未登録	P.364
			音量調節:レベル12	P.360
			再生モード変更:ノーマル	P.361
			音質モード変更:ノーマル	P.361
			サラウンド設定:OFF	P.361
			一覧表示切替:タイトル+画像	P.364
		iモーション	プリインストールデータのみ	P.321
			ユーザ作成フォルダ:なし	
			プログラム編集:未登録	P.322
			音量調節:レベル4	P.321
			iモーション貼付:すべて解除	P.323
			ソート:新しい順	P.312
			一覧表示切替:タイトル+画像	P.324
			表示サイズ設定:等倍表示	P.325
	16	メロディ	プリインストールデータのみ	P.331
			ユーザ作成フォルダ:なし	
			プログラム編集:未登録	P.332
			着信音設定:すべて解除	P.333
		マイドキュメント	プリインストールデータのみ	P.350
			ソート:新しい順	P.312
			一覧表示切替:画像	P.351
		キャラ電	プリインストールデータのみ	P.328
			代替画像設定:Dimo	P.83
			表示サイズ設定:画面サイズで表示	P.330
			カメラモード:フォトモード	P.330
			記録サイズ設定:QCIF(176×144)	P.331
			映像/音声選択:映像+音声	P.331
			記録品質設定:標準	P.331
		SDオーディオ	音量調節:レベル12	P.366
			再生モード変更:ノーマル	P.367
			音質モード変更:ノーマル	P.367
			サラウンド設定:OFF	P.367
		SDその他ファイル	−	P.340

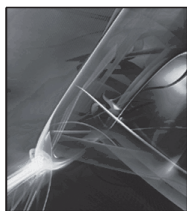
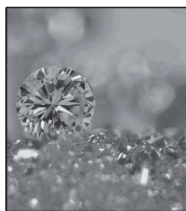
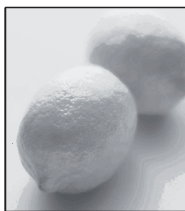
	メニュー	機能名称	お買い上げ時	参照先
LifeKit		バーコードリーダー	保存データ:なし	P.193
	79	赤外線受信	─	P.346
		トルカ	なし	P.291
			ユーザ作成フォルダ:なし	
			ソート:新しい順	P.294
			トルカ取得設定:許容する	P.295
			受信表示設定:表示する	
			重複チェック設定:行う	
			自動読取設定:許容しない	
		ICカード一覧	プリインストールｉアプリのみ	P.273
		ICカードロックメニュー	ICカードロック:解除	P.296
			電源OFF時ICロック設定:電源OFF直前の設定	
		SD-PIM	─	P.336
		カメラ	アウトカメラ	P.189
			画像サイズ設定[フォトモード]:待受(240×320) [連写モード]:CIF(352×288) [えチャット撮影]:QCIF(176×144)	P.189
			動画容量設定:メール制限(大)	P.189
			画質設定[フォト·連写モード]:ファイン [ムービーモード]:標準	P.190
			シャッター音選択:シャッター音1	P.190
			ちらつき補正設定:自動	P.190
			記録媒体設定:本体	P.191
			自動保存設定:OFF	P.191
			ファイル制限:なし	P.192
			連写モード設定:オート	P.191
			撮影間隔[CIF(352×288)]:1.0秒 [待受(240×320)·QCIF(176×144)·Sub-QCIF(128×96)]:0.5秒	P.191
			撮影枚数[CIF(352×288)]:4枚(固定) [待受(240×320)·QCIF(176×144)·Sub-QCIF(128×96)]:5枚	P.191
			手ぶれ補正:ON	P.191
			表示サイズ設定:等倍表示	P.191
			撮影日付挿入設定:OFF	P.191
		Bluetooth	未登録	P.395
			優先機器設定:未設定	P.396
			セキュリティ設定:セキュリティ設定無し	P.398
			全件転送パスワード設定:パスワード無し	
			サーチ時間:5秒	
			着信音送出設定:送る	
			切断時通話設定:通話終了	
			ヘッドセット操作による発信:有効	

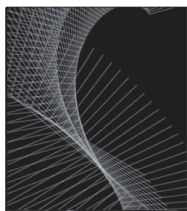
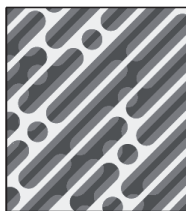
次ページにつづく

	メニュー	機能名称	お買い上げ時	参照先
LifeKit		GPS	位置履歴:履歴なし	P.301
			GPSボタン設定:地図を見る	P.302
			測位鳴動音・イルミネーション [測位鳴動音選択]:「現在地確認」OFF 「現在地通知」着信音1 「位置提供許可」着信音2 「位置提供毎回確認」着信音2 [鳴動時間設定]:3秒 [バイブレータ選択]:OFF [イルミネーション選択]:色5	P.302
			測位モード設定:標準モード	P.303
			現在地通知先登録:未登録	P.303
			位置提供設定:拒否	P.304
			サービス利用接続先選択:契約時接続先	P.306
		テキストリーダー	保存データ:なし	P.196
	55	伝言メモ/音声メモ	伝言メモ:未登録	P.82
			テレビ電話伝言メモ:未登録	
			伝言メモ設定:OFF	P.80
			応答メッセージ:標準(ON設定時)	
			呼出時間:13秒(ON設定時)	
			音声メモ:未登録	P.386
			動画メモ:未登録	P.387
			おしゃべり機能:未登録	P.131
		通話中音声メモ (通話中のみ実行可能)	未登録	P.386
		電話帳お預かりサービス	電話帳通信履歴表示:履歴なし	P.126
			電話帳内画像送信設定:しない	
サービス	25	サービス問い合わせ	–	P.402
	17	発信者番号通知	–	P.48
		留守番電話	件数増加鳴動設定:YES	P.403
		キャッチホン	–	P.404
		転送でんわ	–	P.406
		迷惑電話ストップ	–	P.407
		番号通知お願いサービス	–	P.408
		着信動作選択	通常着信	P.409
		通話中着信設定	–	P.410
		遠隔操作設定	–	P.410
		デュアルネットワーク	–	P.408
		英語ガイダンス	–	P.409
		海外用サービス	–	P.435
		ローミング設定	–	P.434
		追加サービス	未登録	P.411
			応答メッセージ設定:未登録	
		サービスダイヤル	–	P.409
		マルチナンバー	電話番号登録:未登録	P.410
			着信音設定:通常着信音と同じ	
		着もじ	メッセージ作成:未登録	P.60
			メッセージ表示設定:番号通知ありのみ	
			送信メッセージ詳細履歴:履歴なし	
			着もじ優先設定:OFF	

	メニュー	機能名称	お買い上げ時	参照先
電話帳		電話帳登録	未登録(FOMAカード内は除く)	P.109
		電話帳検索	全検索	P.116
		プッシュトーク電話帳	未登録	P.99
	24	発着信履歴	履歴なし	P.57
			送信アドレス一覧:履歴なし	P.254
			受信アドレス一覧:履歴なし	
		FOMAカード(UIM)操作	–	P.390
	0	自局番号表示	未登録(自局番号は除く)	P.385
	26	電話帳設定	グループ設定:未登録(グループ名:グループ01～19 FOMAカード内は除く)(設定:なし)	P.115
			ボイスダイヤル設定:未登録	P.123
			メールグループ:未登録(グループ名:グループ1～20)	P.257
			チャットグループ:未登録(グループ名:チャットグループ1～5)	P.264
			電話帳指定設定:すべて解除	P.172
			電話帳画像転送:する	P.348
ステーショナリー	44	アラーム	未登録	P.376
			OFF	
	45	スケジュール	未登録	P.379
			1ヶ月表示･1週間表示:1ヶ月表示	P.381
			ユーザアイコン設定:未登録	P.382
	95	ToDo	未登録	P.383
	42	フリーメモ	未登録	P.389
	85	電卓	–	P.389
		使いかたナビ	–	P.36
	38	定型文/辞書	定型文:初期状態	P.424
			ユーザ辞書:未登録	P.425
			ダウンロード辞書:プリインストールデータのみ(辞書ファイル設定:すべて有効)	P.426
その他		テレビ電話	照明設定:常時点灯	P.86
		えチャット	画像サイズ設定:QCIF(176×144)	P.189
		マナーモード	解除	P.134
		公共モード(ドライブモード)	解除	P.77
		リダイヤル	履歴なし	P.57
		文字入力	2タッチ/ニコタッチガイダンス:ON	P.424
			候補自動表示:4行	P.424
			関係候補表示:ON	P.424
			文字確定時間:OFF	P.424
			学習履歴:未登録	P.426

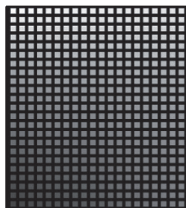
お買い上げ時に登録されているデータ

待受画面・ウェイクアップ画面

デジタルワールド

ダイアモンド

レモン

アイランド

ブラック

レッド

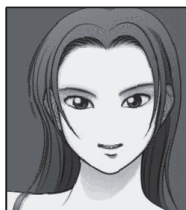
グリーン

Oriental ※1

Plant ※1 ※2

Geometry ※1

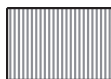
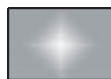
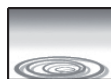
Hello! ※1

チャーミー ぬいぐるみ ※3

チャーミー ペット ※3

チャーミー イラスト ※3

※1 Flash画像
※2 背景色や模様が変化します。
※3 チャーミーフェイスⅡ画像

プライベートウィンドウ

Square

Stripe

Orange

Water

Dot

Leaf

Pattern

フレーム

スタンプ

お知らせ

●マジックスタンプで選択できるスタンプは「マジック ネコ耳」から「マジック 居眠り」までです。

デコメ絵文字

列1	列2	列3	列4
顔　笑う1	矢印　ダウン	メール　ノーマル	食　鍋※1
顔　笑う2	ハート　1	メール　ペンギン	実　さくらんぼ
顔　ニッコリ	ハート　2	メール　レッサーパンダ	実　いちご
顔　ウィンク	ハート　3	電話　レッサーパンダ	実　みかん
顔　ひや～	ハート　4	電話　着信	実　りんご
顔　目がハート	ハート　5	飲　コーヒー1	実　スイカ※1
顔　冷や汗1	ハート　6	飲　コーヒー2	実　柿※1
顔　冷や汗2	ハート　ブレイク	飲　ペットボトル※1	実　栗※1
顔　眠い	音符　1	飲　牛乳※1	実　どんぐり※1
顔　悲しい	音符　2	飲　ビール	実　さつまいも※1
顔　がまん	音符　3	食　ごはん	実　キノコ※1
顔　泣く	五線譜※1	食　おにぎり1	甘　ケーキ小
顔　涙	花　1	食　おにぎり2※1	甘　ショートケーキ※1
顔　怒る	花　2	食　弁当※1	甘　チーズケーキ※1
顔　ぷっくっく	花　3	食　寿司	甘　ロールケーキ※1
顔　ベー	星　1	食　ぎょうざ※1	甘　ホールケーキ※1
顔　げっそり	星　キラキラ	食　ハンバーグ※1	甘　ケーキ大
人　走る	星　2	食　カレー※1	甘　カキ氷
手　バイバイ	天気　晴	食　パスタ※1	甘　ハートチョコ※1
手　グッド	天気　曇	食　ラーメン※1	甘　アイス※1
手　OK	天気　雨	食　てんぷら※1	動　電車
手　BAD!	天気　雨がえる	食　とんかつ※1	動　バス
手　ピース!	天気　雪	食　うどん※1	動　トラック※1
手　パチパチ	天気　雷	食　おでん※1	動　車
矢印　アップ	天気　風	食　肉まん※1	動　タクシー

	動　救急車
	動　パトカー
	動　消防車※1
	動　飛行機
	動　バイク
	動　スクーター
	動　自転車
	動　走る
	動　ドライブ
	動　バス停※1
	場所　南国※1
	場所　海※1
	場所　山※1
	ブーツ※1
	えんぴつ
	マイク
	目覚まし時計※1
	スーツケース※1
	一升瓶※1
	カバン※1
	カード※1
	時計
	料理
	掃除
	洗濯

	風呂
	うんち
	病院
	注射
	床屋
	家でゴロゴロ※1
	コピー※1
	お金　0円※1
	お金　100円※1
	お金　500円※1
	お金　ドル※1
	お金　円※1
	お金　お札羽※1
	お金　コイン羽※1
	お金　ATM※1
	学校　先生※1
	学校　机※1
	学校　教室※1
	学校　建物※1
	サーフィン
	山歩き
	ボーリング
	ゴルフ
	スキー
	テニス

	釣り
	バスケ※1
	ホッケー※1
	卓球※1
	バドミントン※1
	野球※1
	バレー※1
	柔道※1
	剣道※1
	相撲※1
	映画　見る
	映画　チケット※1
	お酒　乾杯
	お酒　酔っ払い※1
	お酒　どんちゃん騒※1
	装飾　リボン
	装飾　キャンディ
	装飾　チューリップ1
	装飾　チューリップ2
	装飾　バラ
	装飾　ひまわり※1
	装飾　きのこ
	装飾　てんとう虫
	装飾　蝶
	装飾　赤ちゃん天使

	装飾　天使の羽
	装飾　赤ちゃん
	装飾　にゃん
	装飾　王冠
	装飾　ティアラ
	装飾　流れ星
	装飾　UFO
	装飾　アンテナ
	装飾　炎
	季節　門松
	季節　羽子板
	季節　花見
	季節　花粉症※1
	季節　ランドセル※1
	季節　つくし※1
	季節　場所取り※1
	季節　キャンプ※1
	季節　海水浴※1
	季節　風鈴※1
	季節　うちわ※1
	季節　浴衣※1
	季節　蚊取り線香※1
	季節　線香花火
	季節　花火1※1
	季節　花火2

※1 © I-FREEK CO.,INC.

次ページにつづく

	季節　金魚すくい※1
	季節　お祭り※1
	季節　太鼓※1
	季節　ハッピ※1
	季節　温泉※1
	季節　紅葉※1
	季節　月とススキ※1
	季節　ハロウィン※1
	季節　雪だるま※1
	季節　はんてん※1
	季節　ストーブ※1
	季節　嬉クリスマス※1
	季節　悲クリスマス※1
	季節　クリスマス1
	季節　クリスマス2
	喜　ひよこ
	喜　ぱんだ
	喜　うさぎ
	喜　くま
	喜　ハコ太
	喜　かえる
	嬉　ペンギン
	嬉泣　アメーバ
	嬉　顔文字
	嬉　ひよこ

	嬉　ズボンジャンプ※1
	嬉　スカートジャンプ※1
	祝　ペンギン
	祝　Good※1
	祝　拍手※1
	笑　口※1
	笑　横顔※1
	感謝　ひよこ
	感謝　ぱんだ
	感謝　うさぎ
	感謝　くま
	感謝　ハコ太
	感謝　かえる
	感謝　ペンギン
	好　ペンギン1
	好　ペンギン2
	好　ペンギン3
	好　顔文字
	好　アメーバ1
	好　アメーバ2
	好　ウィンク※1
	好　キラッ※1
	謝　ひよこ
	謝　ぱんだ
	謝　うさぎ

	謝　くま
	謝　ハコ太
	謝　かえる
	謝　おわん
	謝　ペンギン
	泣　ひよこ
	泣　ぱんだ
	泣　うさぎ
	泣　くま
	泣　ハコ太
	泣　かえる
	泣　ぴょこねこ
	泣　ペンギン
	泣　顔文字
	泣　鼻水※1
	泣　涙目※1
	泣　うつむく横顔※1
	泣　大涙する横顔※1
	怒　ひよこ1
	怒　ぱんだ
	怒　うさぎ
	怒　くま
	怒　ハコ太
	怒　かえる
	怒　ひよこ2

	怒　ペンギン
	怒　ペンギン　ベー
	怒　ペンギン　フン
	怒　ペンギン　鼻息
	怒　ぴょこねこ
	怒　おわん
	怒　顔文字
	怒　爆発
	怒　ちゃぶ台
	怒　鼻息※1
	怒　パンチ※1
	怒　口　イーッ※1
	怒　にらみ目※1
	怒　キック※1
	怒　にらむ正面顔※1
	怒　モヒカン男※1
	焦　ひよこ
	焦　ぱんだ
	焦　うさぎ
	焦　くま1
	焦　ハコ太
	焦　かえる
	焦　ペンギン1
	焦　ペンギン2
	焦　くま2

焦　顔文字
落胆　ひよこ
驚　ぴょこねこ
驚　おわん
驚　おじさん
驚　顔文字
驚　ペンギン1
驚　ペンギン2
驚　ペンギン3
眠　ペンギン
眠　ひよこ
眠　おわん
嫌　ペンギン
嫌　アメーバ
嫌　への字口※1
くんくん　鼻※1
バイバイ　手※1
バイバイ　ペンギン
ウィンク　ペンギン
暑い　ペンギン
ハロー　ペンギン
ファイト　ペンギン
かぜ1　ペンギン
かぜ2　ペンギン
赤面　ペンギン

悩む　ペンギン
疲れた　ペンギン
さみしい　ペンギン
ニヤリ　ぴょこねこ
おばけ
ねこかぶり
殿
はにわ
よだれ口※1
キョロ目※1
冷や汗　Dimo※2
ガーン　Dimo※2
がっかり　Dimo※2
動物　パンダが兎に
動物　熊がパンダに
動物　クマ
動物　パンダ※1
動物　ブタ※1
動物　ゾウ※1
動物　キリン※1
動物　カバ※1
動物　ゴリラ※1
動物　コアラ※1
動物　フラミンゴ※1
動物　アシカ※1

動物　アザラシ※1
動物　フクロウ※1
動物　さかな
文字　バナナ
文字　ピチピチ魚
文字　ありがとう
文字　おはよう
文字　おやすみ
文字　印鑑OK
文字　印鑑NG
文字　吹き出し
文字　？
文字　！
文字　チュ
文字　ウフ
文字　フニャ～
文字　マジ
文字　ムリ
文字　ガーン
文字　笑
文字　着もじ
文字　テレ電
文字　プッシュトーク
文字　デコメ
文字　満

文字　空
文字　割
文字　指
文字　秘
文字　得
文字　有
文字　無
文字　GW※1
文字　[NG]
文字　[NO]
文字　[oh]
文字　[OK]
文字　[Yes]
星座　おひつじ
星座　おうし
星座　ふたご
星座　かに
星座　しし
星座　おとめ
星座　てんびん
星座　さそり
星座　いて
星座　やぎ
星座　みずがめ
星座　うお

デコメピクチャ

大丈夫かぁ！？※1　ごめんなさい※1　それではカンパイ※1　すきです※1　もうすぐかえる！※1　OK※1　NG※1　やったね※1　ガンバレ※1　おつかれさん※1

おひさしぶり※1　涙※1　わーいわーい※1　ぷーっおこった！※1　ええええっ！※1　ガクガクブルブル※1　めんこい※1　なんでやねん※1　おっかない※1　たまげた※1

せからしか※1　おいでやす※1　えがった※1　けっぱれ※1　どえりゃー※1　なんぎだな※1　ひよこうれしい　ひよこきらい　ひよこ寒い　ひよこ暑い

ひよこショック　ひよこさみしい　ひよこおやすみ　ひよこ泣く　くま怒る　くま泣く　うれしい！　カップ悩む　ショック！　Hello

Good-Bye　おつかれ！　Thank you!　おめでとう　ヒマ？　遅れる～　ダッシュ　ラーメン　ラインスター　ライン猫

ライン犬　うぉ～！　ショック　お腹すいた～　疲れた　ヤバイ･･･　カンパーイ　寒い　暑い　ごめーん！

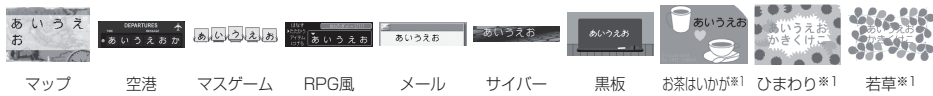
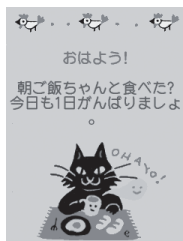
ひつじすき　女の子きらい　女の子さみしい　おやすみ　忙しい！　発熱　ファイト！　眠い　晴れ　曇り

雨　サッカー　野球　やったー※2　ごめんなさい※2　雪だるま※2　しょんぼり※2　おやすみ※2　トナカイ※2　クラッカー※2

動く文字スタンプ

マップ　空港　マスゲーム　RPG風　メール　サイバー　黒板　お茶はいかが※1　ひまわり※1　若草※1

うごくIDドッグ※2　うごくIDペンギン※2　リング※1　LOVELY※1　PIGEON※1　メガホン　看板クマ　ごめんね･･･　ペンギン　フキダシ犬

テンプレート

おはよう！※

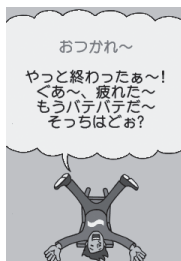
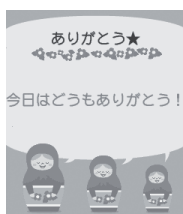
がんばれ～！※

OK※

NG※

I LOVE YOU.※

旅行に行ってきます！※

出掛けよう！！※

おつかれ～※

ありがとう※

おやすみなさい※

うれしい！！※

乾杯！！※

またね※

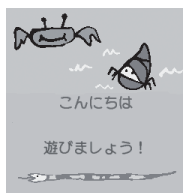
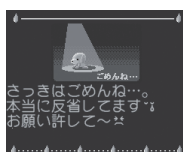
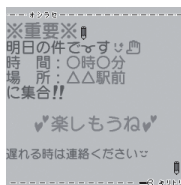
おめでとう
おめでとう！よかったよか
った
おめでとう※

大丈夫！？※

びっくり！※

こんにちは
遊びましょう！
こんにちは※

ごめん･･･。

飲みに行こう！

オシラセ
※重要※
明日の件ですす
時　間：○時○分
場　所：△△駅前
に集合!!
楽しもうね
遅れる時は連絡ください
キリトリ
ノート

※ © I-FREEK CO.,INC.

ダイヤルボタンの文字割り当て一覧（かな方式）

ボタン＼表示	漢	カナ	英	数
1	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォ	. - @ _ / : ~ ※2 ー ※1 1	1
2	かきくけこ	カキクケコ	a b c A B C 2	2
3	さしすせそ	サシスセソ	d e f D E F 3	3
4	たちつてとっ	タチツテトッ	g h i G H I 4	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ	j k l J K L 5	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ	m n o M N O 6	6
7	まみむめも	マミムメモ	p q r s P Q R S 7	7
8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	t u v T U V 8	8
9	らりるれろ	ラリルレロ	w x y z W X Y Z 9	9
0	わをんゎー □（スペース）	ワヲンヮ※1ー □（スペース）	0 □（スペース）	0
＊	゛ ゜ ※3	゛ ゜	.ne.jp .co.jp .or.jp .com http://www. https://www. @docomo.ne.jp ※2	＊
＃	、。・！？	、。・！？	, ！？￥＆（）＊ ＃ " ' ＝ ＾ ＋ ;	＃

※1：全角で文字を入力しているときに表示
※2：半角で文字を入力しているときに表示
※3：文字に続けて入力しているときに表示
　　文字を確定後に＊を押すと絵文字が表示されます。

- 文字を入力後、📷を押すと押すごとに逆順に文字が変わります。
- ひらがな、カタカナ、英字を入力後、☎を押すと大文字／小文字が切り替わります。
- 数字入力モードで0を1秒以上押すと、「＋」を入力できます。

ダイヤルボタンの文字割り当て一覧(2タッチ方式)

漢字ひらがな入力モード

<大文字入力モード>

		2桁目									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1桁目	1	あ	い	う	え	お	A	B	C	D	E
	2	か	き	く	け	こ	F	G	H	I	J
	3	さ	し	す	せ	そ	K	L	M	N	O
	4	た	ち	つ	て	と	P	Q	R	S	T
	5	な	に	ぬ	ね	の	U	V	W	X	Y
	6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Z	？	！	ー	／
	7	ま	み	む	め	も	￥	＆		☎	
	8	や	（	ゆ	）	よ	＊	＃		♥	■
	9	ら	り	る	れ	ろ	1	2	3	4	5
	0	わ	を	ん	゛	゜	6	7	8	9	0

<小文字入力モード>

		2桁目									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1桁目	1	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	a	b	c	d	e
	2						f	g	h	i	j
	3						k	l	m	n	o
	4			っ			p	q	r	s	t
	5						u	v	w	x	y
	6						z				
	7										
	8	ゃ		ゅ		ょ					■
	9										
	0	ゎ			、	。					

カタカナ入力モード

<大文字入力モード>

		2桁目									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1桁目	1	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	A	B	C	D	E
	2	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	F	G	H	I	J
	3	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	K	L	M	N	O
	4	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	P	Q	R	S	T
	5	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	U	V	W	X	Y
	6	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	Z	?	!	-	/
	7	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	¥	&		☎	
	8	ﾔ	(	ﾕ	)	ﾖ	*	#		♥	■
	9	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	1	2	3	4	5
	0	ﾜ	ｦ	ﾝ	ﾞ	ﾟ	6	7	8	9	0

<小文字入力モード>

		2桁目									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1桁目	1	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ	ｫ	a	b	c	d	e
	2						f	g	h	i	j
	3						k	l	m	n	o
	4			ｯ			p	q	r	s	t
	5						u	v	w	x	y
	6						z				
	7										
	8	ｬ		ｭ		ｮ					■
	9										
	0	ヮ※1			,	.					

英字入力モード

		2桁目									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1桁目	1	"	$	%	'	+	a	b	c	d	e
	2	,	.	:	;	<	f	g	h	i	j
	3	=	>	@	[	]	k	l	m	n	o
	4	^	_	‘※1`※2	{	|	p	q	r	s	t
	5	}	￣※1~※2				u	v	w	x	y
	6						z	?	!	-	/
	7						¥	&			
	8		(		)		*	#			
	9						1	2	3	4	5
	0						6	7	8	9	0

■：大文字入力モード／小文字入力モードの切り替え

※1：全角で文字を入力しているときに表示されます。

※2：半角で文字を入力しているときに表示されます。

お知らせ

- 文字割り当てのない空白部分の入力操作をするとスペースが入力されます。
- 漢字ひらがな、カタカナ入力モードの場合、文字の入力に続けて(＊)を押しても濁点･半濁点を入力できます。濁点は(＊)を1回、半濁点は(＊)を2回押します。
- 数字入力モードで(0)を1秒以上押すと、「＋」を入力できます。

ダイヤルボタンの文字割り当て一覧（ニコタッチ方式）

漢字ひらがな入力モード

＜大文字入力＞

1桁目＼2桁目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	あ	い	う	え	お	.	ー	@	_	1
2	か	き	く	け	こ		a	b	c	2
3	さ	し	す	せ	そ		d	e	f	3
4	た	ち	つ	て	と	っ	g	h	i	4
5	な	に	ぬ	ね	の		j	k	l	5
6	は	ひ	ふ	へ	ほ		m	n	o	6
7	ま	み	む	め	も	p	q	r	s	7
8	や	ゆ	よ	ゃ	ゅ	ょ	t	u	v	8
9	ら	り	る	れ	ろ	w	x	y	z	9
0	わ	を	ん	、	。	ー	・	!	?	0

＜小文字入力＞

1桁目＼2桁目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ					
2	ヵ			ヶ			A	B	C	
3							D	E	F	
4			っ			つ	G	H	I	
5							J	K	L	
6							M	N	O	
7						P	Q	R	S	
8	ゃ	ゅ	ょ	や	ゆ	よ	T	U	V	
9						W	X	Y	Z	
0	ゎ									

カタカナ入力モード

＜大文字入力＞

1桁目＼2桁目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	.	-	@	_	1
2	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ		a	b	c	2
3	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ		d	e	f	3
4	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	ｯ	g	h	i	4
5	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ		j	k	l	5
6	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ		m	n	o	6
7	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	p	q	r	s	7
8	ﾔ	ﾕ	ﾖ	ｬ	ｭ	ｮ	t	u	v	8
9	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	w	x	y	z	9
0	ﾜ	ｦ	ﾝ	､	｡	ｰ	･	!	?	0

＜小文字入力＞

1桁目＼2桁目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ	ｫ					
2							A	B	C	
3							D	E	F	
4			ｯ			ﾂ	G	H	I	
5							J	K	L	
6							M	N	O	
7						P	Q	R	S	
8	ｬ	ｭ	ｮ	ﾔ	ﾕ	ﾖ	T	U	V	
9						W	X	Y	Z	
0										

お知らせ

- 文字割り当てのない空白部分の入力操作をするとスペースが入力されます。
- (＊)を押すと濁点・半濁点を入力できます。濁点は(＊)を1回、半濁点は(＊)を2回押します。漢字ひらがな入力モードの場合、文字に続けて入力しないと入力できません。
- 数字入力モードで(0)を1秒以上押すと、「＋」を入力できます。

記号一覧表

「音声読み上げ設定」を「ON」に設定している場合は記号を音声で読み上げます。

記号	音声読み上げ
、	―
。	―
，	コンマ※1
．	ドット※1
・	テン
：	コロン
；	セミコロン
？	ギモンフ※1
！	カンタンフ※1
゛	ダクテン
゜	ハンダクテン
´	―
｀	―
¨	ウムラウト
＾	ヤマガタキゴウ※1
￣	オーバーライン
＿	アンダーライン
ヽ	―
ヾ	―
ゝ	―
ゞ	―
〃	―
仝	ドウ
々	―
〆	シメ
〇	ゼロ
ー	チョーオン※2
―	ダッシュ
‐	ハイフン
／	スラッシュ
＼	バックスラッシュ
～	カラ※3
‖	―
｜	タテセン※1
…	テンテンテン
‥	テンテン
‘	―
’	アポストロフィ※1
“	―
”	インヨウフ※1
（	カッコ
）	トジカッコ
〔	カッコ
〕	トジカッコ
［	カッコ
］	トジカッコ
｛	カッコ
｝	トジカッコ

記号	音声読み上げ
〈	カッコ
〉	トジカッコ
《	カッコ
》	トジカッコ
「	カギカッコ
」	トジカギカッコ
『	カギカッコ
』	トジカギカッコ
【	カッコ
】	トジカッコ
＋	プラス
－	マイナス※4
±	プラスマイナス
×	カケル
÷	ワル
＝	イコール
≠	ノットイコール
＜	ショーナリ
＞	ダイナリ
≦	ショーナリイコール
≧	ダイナリイコール
∞	ムゲンダイ
∴	ユエニ
♂	オス
♀	メス
°	ド
′	フン
″	ビョー
℃	ドシー
￥	エン
＄	ドル
¢	セント
£	ポンド
％	パーセント
＃	イゲタ
＆	アンド
＊	アスタリスク
＠	アットマーク
§	セクション
☆	ホシ
★	クロホシ
○	マル
●	クロマル
◎	ニジューマル
◇	ヒシガタ
◆	クロヒシガタ
□	シカク
■	クロシカク

記号	音声読み上げ
△	サンカク
▲	クロサンカク
▽	ギャクサンカク
▼	クロギャクサンカク
※	コメジルシ
〒	ユービンバンゴー
→	ミギヤジルシ
←	ヒダリヤジルシ
↑	ウエヤジルシ
↓	シタヤジルシ
〓	ゲタキゴー
∈	ゾクスル
∋	フクム
⊆	ブブンシューゴー
⊇	ブブンシューゴーフクム
⊂	シンブブンシューゴー
⊃	シンブブンシューゴーフクム
∪	ガッペー
∩	キョーツー
∧	オヨビ
∨	マタワ
¬	ヒテー
⇒	ナラバ
⇔	ドーチ
∀	スベテノ
∃	アル
∠	カク
⊥	スイチョク
⌒	コ
∂	ラウンドディー
∇	ナブラ
≡	ゴードー
≒	ニアリーイコール
≪	ショーナリショーナリ
≫	ダイナリダイナリ
√	ルート
∽	ソージ
∝	ヒレー
∵	ナゼナラバ
∫	インテグラル
∬	ダブルインテグラル
Å	オングストローム

記号	音声読み上げ
‰	パーミル
♯	シャープ
♭	フラット
♪	オンプ
†	ダガー
‡	ダブルダガー
¶	ダンラクキゴー
◯	マル
ゐ	イ
ゑ	エ
ヰ	イ
ヱ	エ
ヴ	ヴ
ヵ	カ
ヶ	ケ
Α	アルファ
Β	ベータ
Γ	ガンマ
Δ	デルタ
Ε	イプシロン
Ζ	ゼータ
Η	イータ
Θ	シータ
Ι	イオタ
Κ	カッパ
Λ	ラムダ
Μ	ミュー
Ν	ニュー
Ξ	グザイ
Ο	オミクロン
Π	パイ
Ρ	ロー
Σ	シグマ
Τ	タウ
Υ	ユプシロン
Φ	ファイ
Χ	カイ
Ψ	プサイ
Ω	オメガ
α	アルファ
β	ベータ
γ	ガンマ
δ	デルタ
ε	イプシロン
ζ	ゼータ
η	イータ
θ	シータ
ι	イオタ

次ページにつづく

記号	音声読み上げ
κ	カッパ
λ	ラムダ
μ	ミュー
ν	ニュー
ξ	グザイ
ο	オミクロン
π	パイ
ρ	ロー
σ	シグマ
τ	タウ
υ	ユプシロン
φ	ファイ
χ	カイ
ψ	プサイ
ω	オメガ
А	アー
Б	ベー
В	ヴェー
Г	ゲー
Д	デー
Е	イェー
Ё	ヨー
Ж	ジェー
З	ゼー
И	イー
Й	イークラトコエ
К	カー
Л	エリ
М	エム
Н	エヌ
О	オー
П	ペー
Р	エル
С	エス
Т	テー
У	ウー
Ф	エフ
Х	ハー
Ц	ツェー
Ч	チェー
Ш	シャー
Щ	シチャー
Ъ	ツボルディーズナーク
Ы	ウイ
Ь	ミャーフィーズナーク
Э	エー
Ю	ユー
Я	ヤー

記号	音声読み上げ
а	アー
б	ベー
в	ヴェー
г	ゲー
д	デー
е	イェー
ё	ヨー
ж	ジェー
з	ゼー
и	イー
й	イークラトコエ
к	カー
л	エリ
м	エム
н	エヌ
о	オー
п	ペー
р	エル
с	エス
т	テー
у	ウー
ф	エフ
х	ハー
ц	ツェー
ч	チェー
ш	シャー
щ	シチャー
ъ	ツボルディーズナーク
ы	ウイ
ь	ミャーフィーズナーク
э	エー
ю	ユー
я	ヤー
─	−
│	−
┌	−
┐	−
┘	−
└	−
├	−
┬	−
┤	−
┴	−
┼	−
━	−
┃	−
┏	−
┓	−

記号	音声読み上げ
┛	−
┗	−
┣	−
┳	−
┫	−
┻	−
╋	−
┠	−
┯	−
┨	−
┷	−
┿	−
┝	−
┰	−
┥	−
┸	−
╂	−
①	マルイチ
②	マルニ
③	マルサン
④	マルヨン
⑤	マルゴ
⑥	マルロク
⑦	マルナナ
⑧	マルハチ
⑨	マルキュー
⑩	マルジュー
⑪	マルジューイチ
⑫	マルジューニ
⑬	マルジューサン
⑭	マルジューヨン
⑮	マルジューゴ
⑯	マルジューロク
⑰	マルジューナナ
⑱	マルジューハチ
⑲	マルジューキュー
⑳	マルニジュー
Ⅰ	イチ
Ⅱ	ニ
Ⅲ	サン
Ⅳ	ヨン
Ⅴ	ゴ
Ⅵ	ロク
Ⅶ	ナナ
Ⅷ	ハチ
Ⅸ	キュー
Ⅹ	ジュー
㍉	ミリ
㌔	キロ
㌢	センチ

記号	音声読み上げ
㍍	メートル
㌘	グラム
㌧	トン
㌃	アール
㌶	ヘクタール
㍑	リットル
㍗	ワット
㌍	カロリー
㌦	ドル
㌣	セント
㌫	パーセント
㍊	ミリバール
㌻	ページ
㎜	ミリメートル
㎝	センチメートル
㎞	キロメートル
㎎	ミリグラム
㎏	キログラム
㏄	シーシー
㎡	ヘーホーメートル
㍻	ヘーセー
〝	−
〟	−
№	ナンバー
㏍	ケーケー
℡	デンワ
㊤	マルウエ
㊥	マルナカ
㊦	マルシタ
㊧	マルヒダリ
㊨	マルミギ
㈱	カッコカブ
㈲	カッコユー
㈹	カッコダイ
㍾	メージ
㍽	タイショー
㍼	ショーワ
≒	ニアリーイコール
≡	ゴードー
∫	インテグラル
∮	ファイ
∑	シグマ
√	ルート
⊥	スイチョク
∠	カク
∟	チョッカク
⊿	サンカッケー
∵	ナゼナラバ
∩	キョーツー
∪	ガッペー

※1 URL、メールアドレス以外の場合は読み上げません。
※2 ひらがな、カタカナ、漢字のあとにある場合は直前の文字の語尾をのばして読み上げます。
※3 ひらがな、カタカナのあとにある場合は直前の文字の語尾をのばして読み上げます。
※4 URL、メールアドレスの場合は「ハイフン」と読み上げます。

お知らせ

- 「①」～「U」の特殊記号は、i モード対応端末以外の携帯電話やパソコンに送信した場合、正しく表示されないことがあります。また、　の特殊記号は、SMSの本文には入力できず、半角スペースに置き換えて入力されます。

記号入力変換表

文字入力(編集)画面で「きごう」と入力して変換すると記号の候補が表示されます。次のような文字を入力して変換しても記号を入力できます。

入力	変換
おなじ	〃 々
から	～
かんま	，
こんま	，
たてせん	‖ ｜
てんてん	… ‥
りーだ	…
しめ	〆
かっこ	‘’ “” （）〔〕 ［］｛｝〈〉《》 「」『』【】
たす	＋
ひく	－
ぷらすまいなす	±
かける	×
わる	÷

入力	変換
いこーる	＝
ふとうごう	＜＞≦≧
しょうなり	＜
だいなり	＞
しょうなりいこーる	≦
だいなりいこーる	≧
むげんだい	∞
おす	♂
めす	♀
ならば	⇒
どうち	⇔
にありいこーる	≒
ちいさい	≪
おおきい	≫

入力	変換
るーと	√
ど	° ℃
ふん	′
びょう	″
どる	＄
せんと	￠
ぽんど	￡
せつ	§
ほし	＊☆★
あっと	＠
まる	。○● ◎〇
しかく	◇◆□■
さんかく	△▲▽▼
こめ	※
ゆうびん	〒
やじるし	→←↑↓

入力	変換
うえ	↑
した	↓
みぎ	→
ひだり	←
あすたりすく	＊
おんぐすとろーむ	Å
しゃーぷ	＃
ふらっと	♭
おんぷ	♪
だがー	†
だぶるだがー	‡
だんらく	¶
おーむ	Ω
でんわ	℡

絵文字一覧表

「音声読み上げ設定」を「ON」に設定している場合は絵文字を音声で読み上げます。

絵文字	音声読み上げ
	ハートマーク
	ユレルハートマーク
	シツレンマーク
	フクスーハートマーク
	ワーイマーク
	プンプンマーク
	ガクーマーク
	モウヤダーマーク
	フラフラマーク
	ルンルンマーク
	オンセンマーク
	カワイイマーク
	チュッマーク
	ピカピカマーク
	ヒラメキマーク
	ムカッマーク
	パンチマーク
	バクダンマーク

絵文字	音声読み上げ
	ムードマーク
	ネムイマーク
	ビックリマーク
	ビックリハテナマーク
	ニジュービックリマーク
	ドーンマーク
	アセアセマーク
	アセタラーッマーク
	ダッシュマーク
	ウーマーク
	ウーンマーク
	グッドマーク
	バッドマーク
	ミギナナメウエヤジルシマーク
	ミギナナメシタヤジルシマーク

絵文字	音声読み上げ
	ヒダリナナメウエヤジルシマーク
	ヒダリナナメシタヤジルシマーク
	ハレマーク
	クモリマーク
	アメマーク
	ユキマーク
	カミナリマーク
	タイフーマーク
	キリマーク
	コサメマーク
	オヒツジザマーク
	オウシザマーク
	フタゴザマーク
	カニザマーク
	シシザマーク
	オトメザマーク
	テンビンザマーク
	サソリザマーク

絵文字	音声読み上げ
	イテザマーク
	ヤギザマーク
	ミズガメザマーク
	ウオザマーク
	スポーツマーク
	ヤキューマーク
	ゴルフマーク
	テニスマーク
	サッカーマーク
	スキーマーク
	バスケットマーク
	モータースポーツマーク
	クイックキャストマーク
	デンシャマーク
	チカテツマーク
	シンカンセンマーク
	セダンマーク

次ページにつづく

絵文字	音声読み上げ
	アールブイマーク
	バスマーク
	フネマーク
	ヒコーキマーク
	イエマーク
	ビルマーク
	ユービンキョクマーク
	ビョーインマーク
	ギンコーマーク
	エーティーエムマーク
	ホテルマーク
	コンビニマーク
	ガソリンスタンドマーク
	チューシャジョーマーク
	シンゴーマーク
	トイレマーク
	レストランマーク
	キッサテンマーク
	バーマーク
	ビールマーク
	ファーストフードマーク
	ブティックマーク
	ビヨーインマーク
	カラオケマーク
	エーガマーク
	ユーエンチマーク
	オンガクマーク
	アートマーク
	エンゲキマーク
	イベントマーク
	チケットマーク
	キツエンマーク
	キンエンマーク
	カメラマーク
	カバンマーク
	ホンマーク
	リボンマーク
	プレゼントマーク
	バースデーマーク
	デンワマーク
	ケータイデンワマーク
	メモマーク
	テレビマーク
	ゲームマーク
	シーディーマーク

絵文字	音声読み上げ
	ハートマーク
	スペードマーク
	ダイヤマーク
	クラブマーク
	メマーク
	ミミマーク
	グーマーク
	チョキマーク
	パーマーク
	アシマーク
	クツマーク
	メガネマーク
	クルマイスマーク
	シンゲツマーク
	カケヅキマーク
	ハンゲツマーク
	ミカヅキマーク
	マンゲツマーク
	イヌマーク
	ネコマーク
	リゾートマーク
	クリスマスマーク
	カチンコマーク
	フクロマーク
	ペンマーク
	ヒトカゲマーク
	イスマーク
	ヨルマーク
	スーンマーク
	オンマーク
	エンドマーク
	トケーマーク
	デンワヘマーク
	メールヘマーク
	ファックスヘマーク
	アイモードマーク
	アイモードマーク
	メールマーク
	ドコモテーキョーマーク
	ドコモポイントマーク
	ユーリョーマーク
	ムリョーマーク
	アイディーマーク
	パスワードマーク
	ツギアリマーク
	クリアマーク
	サーチマーク
	ニューマーク

絵文字	音声読み上げ
	イチジョーホーマーク
	フリーダイヤルマーク
	シャープダイヤルマーク
	モバキューマーク
	シカクイチ
	シカクニ
	シカクサン
	シカクヨン
	シカクゴ
	シカクロク
	シカクナナ
	シカクハチ
	シカクキュー
	シカクゼロ
	ケッテーマーク
	アイアプリマーク
	アイアプリマーク
	ティーシャツマーク
	ガマグチサイフマーク
	ケショーマーク
	ジーンズマーク
	スノボマーク
	チャペルマーク
	ドアマーク
	ドルブクロマーク
	パソコンマーク
	ラブレターマーク
	レンチマーク
	エンピツマーク
	オーカンマーク
	ユビワマーク
	スナドケーマーク
	ジテンシャマーク
	ユノミマーク
	ウデドケーマーク
	ムムマーク
	ホッマーク
	ヒヤアセマーク
	ヒヤアセマーク
	プクッマーク
	ボケーッマーク
	ラブラブマーク
	オーケーマーク
	アッカンベーマーク
	ウィンクマーク

絵文字	音声読み上げ
	ウレシイマーク
	ガマンマーク
	ネコマーク
	ナキマーク
	ナミダマーク
	エヌジーマーク
	クリップマーク
	コピーライトマーク
	トレードマーク
	ハシルヒトマーク
	マルヒマーク
	リサイクルマーク
	レジストレッドマーク
	キケンマーク
	キンシマーク
	クーシツマーク
	ゴーカクマーク
	マンシツマーク
	サユーマーク
	ジョーゲマーク
	ガッコーマーク
	ナミマーク
	フジサンマーク
	クローバーマーク
	サクランボマーク
	チューリップマーク
	バナナマーク
	リンゴマーク
	ワカバマーク
	モミジマーク
	サクラマーク
	オニギリマーク
	ショートケーキマーク
	トックリマーク
	ドンブリマーク
	パンマーク
	カタツムリマーク
	ヒヨコマーク
	ペンギンマーク
	サカナマーク
	ウマイマーク
	ウッシッシマーク
	ウママーク
	ブタマーク
	ワイングラスマーク
	ゲッソリマーク

お知らせ

●絵文字はすべて全角文字でカウントされます。

お知らせ

- 絵文字は、i モード対応端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信すると正しく表示されません。また、「 」～「 」の絵文字は対応していない i モード対応携帯電話では正しく表示されません。
- キラリメール対応絵文字は、一覧画面に黄色の枠で表示されます。

定型文一覧表

No.	漢字ひらがな表現	半角カタカナ表現
「あいさつ」フォルダ		
1	おはようございます	ｵﾊﾖｳｺﾞｻﾞｲﾏｽ
2	こんにちは	ｺﾝﾆﾁﾊ
3	こんばんは	ｺﾝﾊﾞﾝﾊ
4	おやすみなさい	ｵﾔｽﾐﾅｻｲ
5	いってきます	ｲｯﾃｷﾏｽ
6	いってらっしゃい	ｲｯﾃﾗｯｼｬｲ
7	ただいま帰りました	ﾀﾀﾞｲﾏｶｴﾘﾏｼﾀ
8	おかえりなさい	ｵｶｴﾘﾅｻｲ
9	ごめんなさい	ｺﾞﾒﾝﾅｻｲ
10	さようなら	ｻﾖｳﾅﾗ
「ビジネス」フォルダ		
1	よろしくお願いします	ﾖﾛｼｸｵﾈｶﾞｲｼﾏｽ
2	お世話になっております	ｵｾﾜﾆﾅｯﾃｵﾘﾏｽ
3	よろしくお伝えください	ﾖﾛｼｸｵﾂﾀｴｸﾀﾞｻｲ
4	先日はありがとうございました	ｾﾝｼﾞﾂﾊｱﾘｶﾞﾄｳｺﾞｻﾞｲﾏｼﾀ
5	お疲れ様です	ｵﾂｶﾚｻﾏﾃﾞｽ
6	遅れます	ｵｸﾚﾏｽ
7	失礼します	ｼﾂﾚｲｼﾏｽ
8	了解しました	ﾘｮｳｶｲｼﾏｼﾀ
9	至急ご確認ください	ｼｷｭｳｺﾞｶｸﾆﾝｸﾀﾞｻｲ
10	お電話ください	ｵﾃﾞﾝﾜｸﾀﾞｻｲ

No.	漢字ひらがな表現
「インターネット」フォルダ	
1	@docomo.ne.jp
2	.ne.jp/
3	.co.jp/
4	.or.jp/
5	.ac.jp/
6	.com/
7	http://www.
8	https://www.
9	www.
10	.html
「顔文字1」フォルダ	
1	(*￣O￣)ノ
2	♪(￣▽￣)ノ”
3	(_´Д`)ノ~~
4	‹(_ _;)›
5	(￣人￣)
6	O(≧▽≦)O
7	(p_q)エ-ン
8	(T_T)
9	Σ(￣◇￣*)エェッ
10	(*≧m≦*)ププッ
「顔文字2」フォルダ	
1	(」´0`)」オーイ
2	ツンツン(｡°ー°)σ
3	ヾ(・ε・｡)ｵｲｵｲ
4	(・o・)ゞ了解！
5	(;¬_¬) アヤシイ
6	ヾ(≧▽≦)〃ヤダヤダ
7	σ(￣▽￣)
8	‹(`⌒´)›エヘン
9	┐(￣ー￣)┌ フッ
10	~~~~ー(・∀・)ー　ブーン

マルチアクセスの組み合わせについて

通信状態＼通信イベント	音声電話		テレビ電話		プッシュトーク		iモード	iモードメール	
	発信	着信	発信	着信	発信	着信	接続	送信	受信
音声電話	△※1	△※2	×	×※3	×	×※4	○	○	△※5
テレビ電話	×	×※3	×	×※3	×	×	×	×	×
プッシュトーク	×	△※6	×	×	×※7	×	×	×	×
iモード	○	○	△※8	△※9	△※8	△※10	×	○	○
iモードメール	○	○	△※8	△※9	△※8	△※10	○	×	×
SMS	○	○	○	○	○	○	○	×	△※5※11
iアプリ※12	×	○	×	△※9	×	△※10	×	×	△※5
iアプリソフト動作中	○	○	△※8	△※9	△※8	△※10	×	○	△※5
パケット通信(データ通信)	○	○	×	×※4	×	×	×	×	×
64Kデータ通信	×	×※3	×	×	×	×	×	×	×

通信状態＼通信イベント	SMS		iアプリ	iアプリソフト動作中	パケット通信(データ通信)		64Kデータ通信	
	送信	受信	発信	発信	送信	受信	送信	受信
音声電話	○	△※5	×	×	○	△※5	×	×※3
テレビ電話	×	△※5	×	×	×	×	×	×※3
プッシュトーク	×	△※5	×	×	×	×	×	×
iモード	○	○	×	×	×	×	×	×
iモードメール	×	△※5※11	×	×	×	×	×	×
SMS	×	△※5	○	○	○	△※5	○	△※5
iアプリ※12	×	△※5	×	×	×	×	×	×
iアプリソフト動作中	○	△※5	×	×	×	×	×	×
パケット通信(データ通信)	○	○	×	×	×	×※3	×	×
64Kデータ通信	×	○	×	×	×	×	×	×※3

○:起動できます。
△:条件により起動できます。
×:起動できません。現在の通信状態を継続します。(発生した通信は拒否されます。)
※1 :「キャッチホン」を契約されていれば、現在の音声電話を保留にして発信できます。
※2 :最大音声回線数+1の状態のとき、留守番電話、キャッチホン、転送でんわを起動できます。(P.403、P.404、P.406参照)
※3 :「キャッチホン」、「留守番電話」、「転送でんわ」を契約されている場合、通話/通信を終了したあと、着信に応答できます。(P.410参照)
※4 :不在着信として着信履歴に残ります。
※5 :画面に「(ピンク)」を表示して受信をお知らせします。
※6 :「プッシュトーク通信中着信設定」に従って動作します。
※7 :自分が発信者の場合のみ、メンバー追加のための発信は可能です。
※8 :iモード接続を切断し、発信します。
※9 :「パケット通信中着信設定」に従って動作します。
※10:「iモード通信中着信設定」に従って動作します。
※11:iモードメールとSMSは1回線ずつ同時使用が可能です。
※12:iアプリのバージョンアップ、iアプリをダウンロード中の場合です。

マルチタスクの組み合わせについて

同じグループの機能が競合したとき（表中の　　部分）は、起動中の機能を切り替える画面が表示されます。ただし、操作によっては表示されないこともあります。

発生した機能＼使用中の機能	音声電話	テレビ電話	プッシュトーク	メール	iモードグループ		設定グループ		ツールグループ				プライベートメニュー
					iモード	iアプリ	設定	サービス	データBOX	LifeKit※1	電話帳	ステーショナリー	
音声電話	×	×	×	○	○	×	○[※2]	○[※3]	×	○[※4]	○[※5]	○[※6]	○
テレビ電話	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×[※7]	×	×	×
プッシュトーク	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×[※7]	×	×	×
メール	○	○	○	×	○	○	○[※2]	○	○	○	○[※5]	○	○
iモード※8	○	○	○	○	×	×	○[※2]	○	○	○	○[※5]	○	○
iアプリ	○	○	○	○	×	×	○[※2]	○	○[※9]	○	○[※5]	○	○
設定	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○[※5]	○	○
サービス	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○[※5]	○	○
データBOX※8※10	○	○	○	○	○	○[※9]	○[※2]	○	×	×[※11]	×	×	○
LifeKit※1	○[※12]	○[※12]	○[※12]	○[※13]	○	○	○[※2]	○	×	×[※11]	×	×	○
電話帳	○	○	○	○	○	○	○[※2]	○	×	×[※11]	×	×	○
ステーショナリー	○	○	○	○	○	○	○[※2]	○	×	×[※11]	×	×	○

○：同時に起動できます。
×：同時に起動できません。
※1　：「赤外線受信」、「SD-PIM」はマルチタスクで起動できません。
※2　：機能によっては利用できません。
※3　：通話中に「発信者番号通知」は起動できません。
※4　：通話中に起動できるLifeKitは、「バーコードリーダー」、「トルカ」、「カメラ（静止画撮影のみ）」、「Bluetooth」、「GPS」、「テキストリーダー」、「通話中音声メモ」、「電話帳お預かりサービス」の各機能だけです。
※5　：「FOMAカード（UIM）操作」は起動できません。
※6　：通話中に起動できるステーショナリーは、「スケジュール」、「ToDo」、「フリーメモ」、「電卓」、「使いかたナビ」の各機能だけです。
※7　：通話中にGPSの位置提供要求は受信できます。サービスごとの利用設定が「拒否」以外のときは、位置情報を提供できます。
※8　：PDFデータを表示中はｉモードグループとツールグループが使用中になります。
※9　：ｉアプリとSDオーディオは同時に起動できません。
※10：ピクチャビューア（microSDメモリーカード）、ｉモーションプレーヤー、メロディプレーヤー、キャラ電プレーヤー、着うたフル®プレーヤー使用中にマルチタスクで機能を切り替えた場合、再生、表示は終了します。ｉモーション編集中に機能を切り替えることはできません。
※11：GPSの位置提供要求は受信できます。サービスごとの利用設定が「拒否」以外のときは、位置情報を提供できます。
※12：「伝言メモ」、「テレビ電話伝言メモ」、「音声メモ」、「動画メモ」の再生中、「音声メモ録音」の録音中に着信があった場合は、再生／録音を停止します。「バーコードリーダー」、「テキストリーダー」でデータの読み取り中に着信があった場合は、読み取り中のデータを破棄します。
※13：「受信表示設定」を「通知優先」に設定している場合は、「バーコードリーダー」、「テキストリーダー」でデータの読み取り中にメールを受信すると、読み取り中のデータを破棄します。

FOMA端末から利用できるサービス

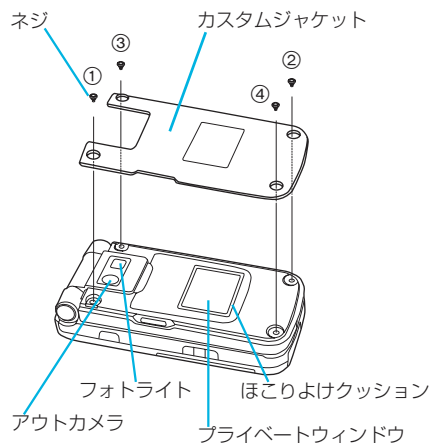
利用できるサービス	電話番号
コレクトコール(料金着信払通話)	(局番なし)106
一般電話の番号案内およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内(有料)(電話番号の案内を希望されないお客様についてはご案内できません)	(局番なし)104
電報の発信(有料:電報料)　午前8時〜午後10時	(局番なし)115
時報サービス(有料)	(局番なし)117
天気予報(有料)	知りたい地域の市外局番+177
警察への緊急連絡通報	(局番なし)110
消防・救急への緊急通報	(局番なし)119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	(局番なし)118
災害用伝言ダイヤル(有料)	(局番なし)171

お知らせ

- コレクトコール(106)をご利用の際には、通話を受けた方に、通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円(税込94.5円)がかかります。(2006年9月現在)
- 番号案内(104)をご利用の際には、案内料100円(税込105円)に加えて通話料がかかります。目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内しております。詳しくは一般電話から116番(NTT営業窓口)までお問い合わせください。(2006年9月現在)
- FOMA端末から110番・119番・118番通報の際は発信場所が特定できません。警察・消防機関側などから確認等の電話をする場合があるため携帯電話からかけていることと、電話番号と、明確な現在位置を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署などに接続されない場合があります。接続されない場合は、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。
- 一般電話の「転送電話」をご利用のお客様で転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話/携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、サービスエリア外および電源を切っているときでも発信者には呼び出し音が聞こえることがあります。
- 116番(NTT営業窓口)、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください。(一般電話または公衆電話から、FOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話はご利用できます)

カスタムジャケットについて

FOMA端末のカスタムジャケット　P06を別売のカスタムジャケットと取り替えます。
詳しくはカスタムジャケット　P06の取扱説明書をご覧ください。

●カスタムジャケットを取り替えるときは、必ず電源を切ってから行ってください。

■取り外しかた

1 FOMA端末の4本のネジを外し、カスタムジャケットを取り外す

●FOMA端末のプライベートウィンドウの周りには、ほこりよけクッションが貼られています。

■取り付けかた

1 カスタムジャケットに添付の4本の専用ネジを使用して、新しいカスタムジャケットを確実に取り付ける

ネジがゆるまないように注意して取り付けてください。このときFOMA端末を傷つけないようにご注意ください。また、カスタムジャケットとFOMA端末の間にごみが入らないようにしてください。

●カスタムジャケットをFOMA端末のカメラ部と確実に合わせてから、ネジを締めてください。ネジを締めるときは、①～④の順番で行ってください。

お知らせ

●カスタムジャケットの付け外しをするときは、添付の専用ドライバを使用してください。
●カスタムジャケットを外した状態でFOMA端末を使用しないでください。
●無理な取扱いをすると破損する場合がありますので、ご注意ください。
●FOMA端末とカスタムジャケットの間にほこりなどが入った場合は、カスタムジャケットを外して、柔らかい布で拭き取ってください。
●カスタムジャケット　P06については一部取り扱っていない店舗がございます。あらかじめご了承ください。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。また、オプションの詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

・電池パック　P09
・リアカバー　P13
・あんしんキー　P01
・FOMA ACアダプタ　01
・FOMA海外兼用ACアダプタ　01※1
・FOMA DCアダプタ　01
・卓上ホルダ　P15
・キャリングケースL　01
・FOMA USB接続ケーブル
・カスタムジャケット　P06
・ワイヤレスイヤホンセット　P01
・Bluetoothヘッドセット　F01※2
・Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ　F01
・平型スイッチ付イヤホンマイク　P01/P02
・平型ステレオイヤホンセット　P01
・スイッチ付イヤホンマイク　P001/P002※3
・ステレオイヤホンセット　P001※3
・イヤホンジャック変換アダプタ　P001
・骨伝導レシーバマイク　01
・平型AV出力ケーブル　P01
・車載ハンズフリーキット　01※4
・FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル　01
・車内ホルダ　01
・FOMA室内用補助アンテナ
・FOMA乾電池アダプタ　01

※1 海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。
※2 Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ　F01が必要です。
※3 イヤホンジャック変換アダプタ　P001が必要です。
※4 USB接続で利用／充電するためには、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル　01が必要です。

データリンクソフトのご紹介

「FOMA P903i データリンクソフト」を使うと、FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブル(別売)で接続して、電話帳、スケジュール、メール、ブックマークなどを双方向に転送できます。パソコンに取り込むことにより、データの編集・バックアップなどが可能になります。

■「FOMA P903i データリンクソフト」のダウンロード

「FOMA P903i データリンクソフト」については、WEBサイトからダウンロードできます。添付の「FOMA P903i用CD-ROM」をパソコンにセットして「TOP」画面が表示されたら、「データリンクソフト・各種設定ソフト」をクリックして「FOMA P903i データリンクソフト」の「最新版ダウンロード」をクリックするとWEBサイトへ接続します。インストールにあたっては使用許諾をご確認の上、インストールしてください。

http://panasonic.jp/mobile/download/datalink/p903i/index.html

●「TOP」画面が動作する推奨環境はMicrosoft® Internet Explorer6.0以降です。お使いのパソコンが推奨環境を満たさないときや、CD-ROMをセットしても「TOP」画面が表示されない場合は、上記URLから接続してください。

ダウンロード方法、転送可能データ、動作環境、操作方法、制限事項などの詳細については、上記ホームページをご覧ください。

お知らせ

●ダウンロードするにはインターネットと接続した環境のパソコンが必要です。
●ダウンロード時には別途通信料がかかります。

■対応OS
Microsoft® Windows® 2000 Professional、Windows® XP Professional/Home Edition(各日本語版)
※上記OSが動作するPC-AT互換機
■免責事項について
パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社は、本ソフトウェアの瑕疵担保責任、その他一切の保証責任を負わないものとします。また、パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社は、データリンクソフトおよび関連資料に関して、いかなる保証も行いません。データリンクソフトおよび関連資料に関して発生するいかなる問題も、お客様の責任と費用負担より解決されるものとします。

「FOMA P903i データリンクソフト」に関するお問い合わせ先
パナソニックソフトウェアサポートデスク
電話番号 0120-568-721　受付時間 午前9:00～12:00 午後1:00～5:00
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。　(土･日･祝日･所定の休日は除く)
●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

動画再生ソフトのご紹介

パソコンで動画(MP4形式のファイル)を再生するには、アップルコンピュータ(株)のQuickTimePlayer(無料)ver.6.4以上(またはver.6.3+3GPP)が必要です。
QuickTimeは下記のホームページよりダウンロードできます。
http://www.apple.com/jp/quicktime/download/

お知らせ
●ダウンロードするにはインターネットと接続した環境のパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては、別途通信料がかかります。
●動作環境、ダウンロード方法、操作方法など詳細については、上記ホームページを参照してください。

AV機器とのリンクについて

他の機器からmicroSDメモリーカードに保存したASF形式の動画をFOMA端末で再生できる場合があります。FOMA端末で録画した動画を他の機器で再生できる場合もあります。対応AV機器とのリンクに関する情報はこちらをご覧ください。
http://panasonic.jp/mobile/

対応AV機器とのリンクに関するお問い合わせ先

パナソニック モバイルコミュニケーションズ　お客様ご相談センター
一般電話からは 0120-15-8729　受付時間　午前9:00～午後5:00
携帯電話･PHSからは　045-938-4023　(土･日･祝日･所定の休日は除く)
●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

故障かな？と思ったら、まずチェック

●まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックしていただき、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。ソフトウェア更新についてはP.484参照。

症状	チェックする箇所	参照先
FOMA端末の電源が入らない （FOMA端末が使えない）	●電池が正しく取り付けられていますか。 ●電池切れになっていませんか。 ●デュアルネットワークサービスでmovaが利用可能になっている場合、FOMAサービスは利用できません。FOMAが利用可能になっていますか。詳しくは「ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）」をご覧ください。	P.41 P.42 P.408
ダイヤルボタンを押しても発信できない	●ダイヤル発信制限を設定していませんか。 ●指定発信制限を設定していませんか。 ●オールロックを設定していませんか。 ●セルフモードを設定していませんか。	P.169 P.172 P.158 P.159
ダイヤルしたが話中音（プープー音）がでてつながらない	●市外局番を忘れていませんか。 ●発信音を聞かず、急いでダイヤルしていませんか。 ●「圏外」の表示がでていませんか。	P.53 P.45
「圏外」が表示されて話中音（プープー音）がでる	●サービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。	P.45
「 」と「オールロック」が表示され、ボタンを押しても動作しない	●オールロックを設定していませんか。	P.158
FOMA端末を閉じているときに、サイドボタンを押しても動作しない	●サイドボタン操作を「閉じた時無効」に設定していませんか。	P.169
ピピピ…という警告音が鳴っている	●電池が少なくなっています。充電してください。	P.42
充電ができない （FOMA端末の着信／充電ランプが点灯しない、または点滅する）	●FOMA端末に電池パックが正しく取り付けられていますか。 ●アダプタの電源プラグがコンセントにしっかりと差し込まれていますか。 ●アダプタとFOMA端末が正しくセットされていますか。 ACアダプタ（別売）をご使用の場合、ACアダプタのコネクタがFOMA端末または卓上ホルダ（別売）にしっかりと接続されていますか。	P.41 P.43
ディスプレイが暗くなり、何も表示されない	●省電力モードになっていませんか。	P.139
メールを受信したときに、異なる着信音が鳴る	●電話帳の設定項目でメール着信音を設定した相手からのメールではありませんか。 ●グループ設定でメール着信音を設定したグループに登録されている相手からのメールではありませんか。	P.112 P.115
着信またはメールの受信があったときに、異なる着信／充電ランプが点灯／点滅する	●電話帳の設定項目で着信イルミネーション／メールイルミネーションを設定した相手からの着信／メールではありませんか。 ●グループ設定で着信イルミネーション／メールイルミネーションを設定したグループに登録されている相手からの着信／メールではありませんか。	P.112 P.115
各機能で設定した画像やメロディなどが動作せず、お買い上げ時の設定で動作する	●画像やメロディなどの取得時に挿入していたFOMAカードが挿入されていますか。	P.39
積算通話料金がカウントされない	●FOMAカードに蓄積されている積算通話料金が上限（約1677万円）を超えていませんか。積算料金をリセットすることにより0円に戻せます。	P.388
あんしんキーを登録できない	●あんしんキーの電源は入っていますか。 ●あんしんキーのID番号は正しく入力されていますか。	P.161 P.163
あんしんキーロックがかからない	●あんしんキーの電源は入っていますか。 ●セルフモードを設定していませんか。 ●あんしんキーとP903iの距離が有効範囲を超えていますか。 利用環境によりロックするまでの距離が変化しますので、「あんしんキー有効範囲」の設定を変更してみてください。	P.161 P.159 P.164
あんしんキーロックが解除できない	●あんしんキーの電池が切れていませんか。 ●セルフモードやおまかせロックを設定していませんか。 ●あんしんキーのそばに金属や非接触型ICカードがありませんか。 ●あんしんキーロックの状態が長時間続いていませんか。 あんしんキーの電源が自動的に切れています。あんしんキーの電源を入れ直してから、一度FOMA端末を開きなおしてください。	P.161 P.159

こんな表示が出たときは

●エラーメッセージの中の「(数字)」は、i モードセンターより送信されたエラーを区別するためのコードです。

表　示	説　　明	参照先
相手に接続できませんでした	エラーが発生したためBluetooth機器と接続できませんでした。	－
相手を発見できませんでした	Bluetooth機器からの応答がないため、登録または接続できませんでした。	－
暗号化に失敗しました	暗号化する際にエラーが発生したため、Bluetooth機器の登録または接続ができませんでした。	－
あんしんキーロック設定できませんでした	あんしんキーが登録されていないため、「あんしんキー／閉じロック」を「あんしんキーロック」に設定できません。あんしんキーを登録したあと再度操作してください。	P.163
以下の宛先にはメール送信できませんでした(561)	表示された宛先にメールが正しく送信できませんでした。	－
一部移動できませんでした	選択したファイルに移動できないファイルが含まれていたため、一部移動できませんでした。	－
一部コピーできませんでした	選択したファイルにコピーできないファイルが含まれていたため、一部コピーできませんでした。	－
一部の画像が保存できません	エラーが発生したため一部の画像が保存できません。	－
一部保存できませんでした	選択したファイルにFOMA端末またはmicroSDメモリーカードにコピーできないファイルが含まれていたため、一部保存できませんでした。	－
移動機情報送信が許可されていません	端末情報データ利用設定が「利用しない」に設定されているため、FOMA端末の情報が送信されませんでした。	P.213
移動できません	FOMA端末に移動することのできない i アプリのためmicroSDメモリーカードからFOMA端末に移動できませんでした。	－
移動できませんでした 移動に失敗しました	エラーが発生したため移動できませんでした。	－
今いる場所の確認に失敗しました 今いる場所の送信に失敗しました	圏外などエラーが発生したため、現在地の確認または位置提供に失敗しました。電波の強い場所で再度操作してください。	－
映像が再生できません	非対応データのため映像が再生できません。	－
映像／音声が再生できません	非対応データのため映像や音声が再生できません。	－
映像／テキストが再生できません	非対応データのため映像やテロップが再生できません。	－
遠隔操作可能なサービスは未契約です	留守番電話サービス･転送でんわサービスなど遠隔操作可能なサービスに契約されていないため利用できません。サービスをお申し込みいただいてから再度操作してください。	取扱説明書裏面
応答がありませんでした(408)	サイトやインターネットホームページからの応答がないため接続できませんでした。再度操作してください。	－
同じサービスを利用するソフトがあるためダウンロードできません該当するサービスを削除しますか？ 同じサービスを利用するソフトがあるためバージョンアップできません該当するサービスを削除しますか？	同じICカードを使ったサービスを利用するソフトがすでにダウンロード済みの場合、すでに登録されている該当サービスを削除しないと、新しいサービスをダウンロードまたはバージョンアップできません。「YES」を選択すると削除対象となるサービスが表示されますので、登録済みのサービスを削除してください。	－
音声が再生できません	非対応データのため音声が再生できません。	－
音声／テキストが再生できません	非対応データのため音声やテロップが再生できません。	－
解除できませんでした	エラーが発生したため曲を解除できませんでした。	－
外部機器接続中です 起動できません	外部機器を接続中のため起動できませんでした。外部機器を外してから再度操作してください。	－
書換え完了しました しばらくたってからソフトウェア更新を再度実行してください	ソフトウェア更新は終了しましたが、更新完了の画面を表示できませんでした。しばらくしてからソフトウェア更新を再度起動してください。	P.484
書換え失敗しました	ソフトウェア更新に失敗しました。ドコモショップなど窓口にお問い合わせください。	取扱説明書裏面
書き込みできません	microSDメモリーカードがライトプロテクトされているため書き込みできません。外部機器などでmicroSDメモリーカードのライトプロテクトを解除してから再度操作してください。	－
画像がありません	着うたフル®に登録されている画像が1枚もないため表示できません。	－
画像がいっぱいのため画像以外を登録しました	画像がいっぱいになったため画像以外が登録されました。	－
画像が登録できなかった電話帳があります	画像がいっぱいになったため一部の電話帳の画像が登録できませんでした。	－

次ページにつづく

表　示	説　　明	参照先
画像に誤りがあり正しく動作しません	Flash画像に誤りがあったため、Flash画像の再生が正常に終了できませんでした。	－
画像の数がオーバーするため入力できません	挿入画像の最大数を超えたため、入力できませんでした。	－
画像の容量がオーバーするため入力できません	デコメ絵文字入力時に挿入画像最大サイズを超えたため、入力できませんでした。	－
画像表示設定がOFFのため画像取得できません	画像表示設定が「表示しない」に設定されているため画像を取得できません。設定を「表示する」にしてから再度操作してください。	P.213
カメラ起動失敗しました	エラーが発生したためカメラを起動できませんでした。	－
規定のアクセス回数を超えたため参照できません(491)	アクセス可能な回数を超えたため、表示できませんでした。	－
起動に失敗しました	ｉアプリDXの起動に失敗しました。	－
記念日がいっぱいです	記念日がいっぱいです。不要な記念日を削除してから再度操作してください。	P.381 P.383
キャッチホン未契約です	キャッチホンに契約されていないため利用できません。サービスをお申し込みいただいてから再度操作してください。	取扱説明書裏面
休日がいっぱいです	休日がいっぱいです。不要な休日を削除してから再度操作してください。	P.381 P.383
休日／記念日がいっぱいです	休日／記念日がいっぱいです。不要な休日／記念日を削除してから再度操作してください。	P.381 P.383
圏外です	電波が届いていません。電波の強い場所で再度操作してください。	－
このカードでは無効な機能です	挿入されているFOMAカードでは操作できない機能です。	－
このカードは使用できません	FOMA P903iでは使用できないメモリーカードです。FOMA P903iに対応したmicroSDメモリーカードをご利用ください。	P.334
このカードは認識できません	正しいFOMAカードが差し込まれているかご確認ください。	P.38
	FOMAカードにエラーが発生したか、PINロック解除コードがロックされています。ドコモショップ窓口にお問い合わせください。	取扱説明書裏面
この画像は添付できません	ｉモードメールに添付できない画像です。	－
この画像は表示できません	画像データが不正なため表示できません。	－
この画像は保存できません	正常に表示できなかった画像のため保存できません。また、正常に表示された場合でも、ファイルの形式によっては保存できない場合があります。	－
この記念日は登録できません	すでに登録されているデータと同じ日付の記念日を受信したため登録できません。	－
この機能は利用できません	挿入されているFOMAカードでは操作できない機能です。	－
この休日は登録できません	すでに登録されているデータと同じ日付の休日を受信したため登録できません。	－
この休日／記念日は登録できません	すでに登録されているデータと同じ日付の休日／記念日を受信したため登録できません。	－
この言葉は設定できません 記号等消してください	登録できない文字が使われているためユーザ辞書に登録できません。	－
このサイトとのSSL通信は無効です	改ざんされたSSL証明書を受信したため接続できませんでした。	－
このサイトの安全性が確認できません SSL通信を切断します	対応していないSSL証明書のため接続を中断しました。	－
このサイトは安全でない可能性があります SSL通信を切断します	SSL証明書の有効期限が切れているため接続を中断します。	－
この辞書は保存できません	ダウンロードした辞書が不正なため保存できません。	－
このスケジュールは登録できません	すでに登録されているデータと同じ日時のスケジュールを受信したため登録できません。	－
この接続先の安全性が確認できません SSL通信を切断します	SSL証明書の有効期限が切れているため接続を中断します。	－
この接続先は安全でない可能性があります SSL通信を切断します	SSL証明書の内容が一致していないため接続を中断します。	－
このソフトは現在利用できません	使用期限が過ぎたかサーバ側から使用停止状態に設定されているため起動できません。	－
このデータは取得できません(301) このデータは取得できません(412)	データが不正またはエラーが発生したため取得できません。	－
このデータはダウンロードできません	データが不正なためダウンロードできません。	－

表　示	説　明	参照先
このデータは貼り付けできません	使用できない文字を貼り付けようとしています。貼り付ける文字を確認してから再度操作してください。	P.425
このデータは保存できません	サイトから取得したデータが不正なため保存できません。	－
このトルカは保存できません	トルカデータが不正なため保存できません。	－
このファイルは表示できません	対応していないファイルのため表示できません。	－
このミュージックは再生できません	エラーが発生したため着うたフル®を再生できません。	－
このメールは再送信できません	宛先が不正であったり、メール本文が入力可能なサイズを超えているため再送信できません。	－
このメールは再送信できません 再編集して送信してください	宛先が不正であったり、メール本文が入力可能なサイズを超えているため再送信できません。再編集してから送信してください。	P.251
このメロディは再生できません	メロディデータが不正なため再生できません。	－
このメロディは保存できません	メロディデータが不正なため保存できません。	－
この文字は登録できません	登録できない文字が使われているため登録できません。	－
このｉモーションは再生できません	ｉモーションデータが不正なため再生できません。	－
コピーできませんでした	エラーが発生したためコピーできませんでした。	－
これ以上機能を起動できません	マルチタスクで使用できる最大数の機能が起動しています。使っていない機能を終了してから再度操作してください。	P.373
これ以上検索／フィルタはできません	すでに最大回数までフィルタがかけられているため、これ以上できません。	－
これ以上保護できません	すでに最大保護可能件数まで保護されているためこれ以上保護できません。他のデータの保護を解除してから再度操作してください。	P.207 P.216 P.252
コンテンツに誤りがあるためダウンロードできません	データが不正なためダウンロードできません。	－
サービス停止できませんでした	エラーが発生したためサービス停止ができませんでした。	－
再生可能日前です 再生できません	再生可能日前のためｉモーションまたは着うたフル®を再生できません。	－
再生制限データに誤りがあるため取得できません	ｉモーションまたは着うたフル®の再生制限データが不正なため取得できませんでした。	－
再生に失敗しました	エラーが発生したため再生に失敗しました。	－
最大サイズを超えたので中断しました	データ量が最大サイズを超えたので正常にダウンロードできませんでした。	－
	サイトやインターネットホームページのサイズが大きいため受信を中断し、取得できた分のみ表示します。	－
最大サイズを超えています 受信できません(452)	最大サイズを超えるデータを受信しようとしたため、受信できませんでした。	－
最大サイズを超えているためダウンロードできません	最大サイズを超えるPDFデータをダウンロードしようとしたため、ダウンロードできませんでした。	－
サイトに接続できませんでした(403)	サイトやインターネットホームページに接続できません。	－
削除できませんでした	エラーが発生したため削除できませんでした。	－
作成可能サイズを超えるため一部削除されます	宛先・題名・本文のいずれか(または複数)が入力可能文字数を超えていたため、一部削除されました。	－
参照返信起動中 テンプレートを利用できません	参照返信が起動しているためテンプレートを利用できません。	－
シークレットデータではないため呼び出せません	シークレット専用モードに切り替えているため呼び出せません。シークレット専用モードを解除してから操作してください。	P.170
シークレットデータのため呼び出せません	シークレットモードまたはシークレット専用モードに切り替えていないため呼び出せません。シークレットモードまたはシークレット専用モードに切り替えてから操作してください。	P.170
時差補正情報を受信していないため再生できません	時差補正情報を受信していないため、再生期間・再生期限付きのｉモーション、着うたフル®を再生できませんでした。	－
失敗しました	エラーが発生したため操作できませんでした。	－
	フェイスリーダーの認証や登録に失敗しました。	－
指定サイトがみつかりません(404)	サイトやインターネットホームページが存在しないか、URLが間違っている可能性があります。URLを確認してから再度操作してください。	P.205
指定したサイトへは接続できませんでした(504)	サーバからの応答がなかったため接続できません。	－
指定したファイルが見つかりません(492)	選択したファイルがFOMA端末内にありません。	－
指定のページ番号は無効です	入力されたページ番号は無効です。正しいページ番号を入力して再度操作してください。	P.351

次ページにつづく

表示	説明	参照先
自動更新設定ができませんでした	エラーが発生したため自動更新設定が設定できませんでした。	－
自動変換機能設定中 削除できません	自動変換機能設定で設定されている国際プレフィックス番号や国番号は削除できません。設定を変更／解除してから再度操作してください。	P.65
自動変換機能設定中 全削除できません		
しばらくお待ちください	音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。110番、119番、118番には電話をかけることができます。ただし、状況によりつながらない場合があります。	－
しばらくお待ちください (パケット)	パケット通信設備が故障、またはパケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。	－
しばらくたってから操作してください	現在、起動できない状態になっています。しばらくしてから再度操作してください。	－
受信できませんでした	接続先選択で設定した接続先アドレスが間違っているため選択受信できません。設定を確認してから再度操作してください。	P.214
受信できませんでした iモードセンターが混み合っています	回線設備が故障、または回線が非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。	－
取得できなかったメッセージがあります	FOMA端末内の受信メールがいっぱいになったため、一部のメールが受信できませんでした。不要なメールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除してから再度操作してください。	P.244 P.252
	SMSを受信する際に一定時間が過ぎたのでSMSを受信できませんでした。	－
詳細に誤りがあるため取得できません	エラーが発生したためデータを取得できません。	－
詳細を保存することができません	トルカの詳細データが非対応データのため保存できませんでした。	－
シリアルポート登録待機できませんでした	シリアルポート登録待機中にエラーが発生したためシリアルポート登録待機できませんでした。	－
スキャンが異常終了しました	エラーが発生したためスキャンできませんでした。	－
スケジュールがいっぱいです	FOMA端末内のスケジュールがいっぱいになったため受信できませんでした。不要なスケジュールを削除してから再度操作してください。	P.381 P.383
すでに他の機能が起動中です 起動できません	マルチタスクで同時に起動できない機能です。使っていない機能を終了してから再度操作してください。	P.373
すでに他の機能が起動中です 設定できません		
すべて保護のため削除できません	すべて保護されているため削除できません。保護を解除してから再度操作してください。	P.207 P.216 P.252
正常に接続できませんでした (400)	接続先にエラーがあるため正常に接続できませんでした。	－
赤外線送信できません	エラーが発生したため赤外線送信ができませんでした。	－
赤外線送信できませんでした		
セキュリティエラーのため終了しました	iアプリDXが強制終了しました。	P.273
セキュリティエラーのためiアプリ待受画面を解除しました		
接続相手が見つかりません	iC通信の際に、接続先が見つかりませんでした。	－
接続先が対応していません	接続先選択で設定した接続先アドレスが対応していないため操作できません。設定を確認してから再度操作してください。	P.214
	ユーザ証明書を操作中のため接続できません。ユーザ証明書の操作を終了してから再度操作してください。	－
接続待機解除できませんでした	エラーが発生したため登録機器接続待機の解除ができませんでした。	－
接続待機できませんでした	エラーが発生したため登録機器接続待機ができませんでした。	－
接続できません	接続先選択で設定した接続先アドレスが間違っているため接続できません。設定を確認してから再度操作してください。	P.214
	電波が弱いため接続できません。電波の強い場所で再度操作してください。	－
接続できませんでした	ネットワークの問題で接続できませんでした。しばらくしてから再度操作してください。	－
接続できませんでした 相手機器の状況を確認してください	接続しようとしたサービスが、相手のBluetooth機器で有効になっていないため接続できませんでした。	－
	FOMA端末が対応しているサービスにBluetooth機器が対応していないため、登録できませんでした。	－

表　示	説　明	参照先
接続できませんでした(503) **接続できませんでした(562)**	ネットワークの問題で接続できませんでした。しばらくしてから再度操作してください。	－
接続に失敗しました	通話中に、音声をBluetooth機器に切り替える際に、Bluetooth機器との接続に失敗しました。	－
設定できません	着うたフル®をオススメ着信音に設定する際に、エラーが発生したため設定できませんでした。	－
設定できませんでした **設定に失敗しました**	エラーが発生したため設定できませんでした。	－
前回のソフトウェア更新は正しく終了されませんでした **ソフトウェア更新を最初から実行してください**	ソフトウェア更新中にFOMA端末の電源が切られました。再度ソフトウェア更新を行ってください。	P.484
全件受信できません	エラーが発生したため赤外線全件受信ができませんでした。	－
全件送信できません	選択したファイルがすべてFOMA端末外への出力が禁止されているファイルのため送信できませんでした。	－
全件本体へコピーできませんでした	エラーが発生したため全件FOMA端末にコピーできませんでした。	－
全件microSDへコピーできませんでした	エラーが発生したため全件microSDメモリーカードにコピーできませんでした。	－
全削除できません	エラーが発生したため全削除できませんでした。	－
選択受信設定中です **起動できません**	メール選択受信設定が「ON」に設定されているため起動できません。設定を「OFF」にしてから再度操作してください。	P.241
選択操作が中断されました	メッセージR/Fを選択削除中にメールまたはメッセージR/Fを受信したため操作が中断されました。	－
選択できません	「ｉモーション切り出し」、「テロップ編集」で終点を選択する際に、始点より前または始点と同位置を選択したため選択できませんでした。もう一度始点から選択し直してください。	P.326
操作が行われていない可能性があります	処理中にmicroSDメモリーカードが取り外されたため、またはエラーが発生したため操作が行われていない可能性があります。「ムービー」フォルダ内のデータを確認してください。	P.322
操作できませんでした **操作内容をご確認ください**	エラーが発生したため操作できませんでした。	－
送信先にデータを登録できません	送信相手がデータをロックしています。	－
送信できない宛先があります **送信できなかった宛先があります**	いくつかの宛先が正しくありません。宛先を正しく入力してから送信してください。	P.228 P.264 P.266
送信できませんでした **送信できませんでした(552)** **送信できませんでした(XXX)**	メールが正しく送信できませんでした。 XXXには3桁の数字が表示されます。	－
送信できません **宛先を確認してください(451)**	メールが正しく送信できませんでした。宛先を確認してから再度操作してください。	P.228 P.264 P.266
送信できませんでした **送信先のメールがいっぱいです(551)**	送信相手のメールがいっぱいです。	－
送信できませんでした **ｉモードセンターが混み合っています**	回線が非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。	－
送信に失敗しました	現在地通知中に圏外になるなどで、現在地の通知に失敗しました。電波の強い場所で再度操作してください。	－
送信不可のファイルが添付されているため再送信できません	メールにFOMA端末外への出力が禁止されているファイルが添付されているため、再送信できませんでした。	－
送信メールが壊れているため再送信できません	メールの本文のサイズがオーバーしていたり、本文の添付情報が壊れていたりしているため再送信できませんでした。	－
そのソフトは最新です	目的のソフトが更新されていないため実行できません。	－
ソフトウェア更新機能起動中です **起動できません**	ソフトウェア更新中のため起動できませんでした。ソフトウェア更新が終了してから再度操作してください。	－
ソフトに誤りがあります **ソフトに誤りがあるためダウンロードできません**	ソフトのデータが不正なためダウンロードやバージョンアップができません。	－
ソフトに誤りがあるためバージョンアップを中止しました	ソフトのデータが不正なためバージョンアップが中止されました。	－
ソフトに継続動作できない障害が発生しました	ｉアプリ起動中や実行中にエラーが発生しました。	－

次ページにつづく

表　示	説　　明	参照先
ソフトを起動しICカード内データを削除後ソフトを削除してください	ICカード内にデータが残っているためおサイフケータイ対応ｉアプリを削除できません。おサイフケータイ対応ｉアプリを起動して登録データを削除してから再度操作してください。	－
ソフトをダウンロード中です 起動できません	ダウンロード中のため起動できませんでした。ダウンロードが終了してから再度操作してください。	－
対応機種ではありません	ダウンロードやバージョンアップしようとしているソフトがFOMA端末に対応していません。	－
対応していないコンテンツがあります	FOMA端末に対応していないデータが含まれています。	－
対応ソフトがあるため削除できません	対応するメール連動型ｉアプリがあるため削除できません。	－
対応ソフトが削除されています フォルダ内表示を参照してください	対応するメール連動型ｉアプリが削除されています。	－
タイトル変更できません	タイトル編集時に文字を入力しなかったり、空白のみ入力したりすることはできませんのでタイトルを変更できませんでした。文字を入力してから再度操作してください。	P.311
タイムアウトしました	Bluetoothパスキー入力中に相手のBluetooth機器から切断されました。	－
	Bluetooth機器からの応答がないため登録または接続できませんでした。	－
	ダイヤルアップ登録待機の最大待機時間が経過したためダイヤルアップ登録待機を終了しました。	－
ダイヤルアップ登録待機できませんでした	エラーが発生したためダイヤルアップ登録待機ができませんでした。	－
ダイヤル発信制限設定中です	ダイヤル発信制限が設定されています。ダイヤル発信制限を解除してから再度操作してください。	P.169
ダウンロードが中断されました	エラーが発生したためダウンロードが中断されました。	－
ダウンロードできません	他の機能が動作中、またはエラーが発生したためダウンロードができませんでした。	－
ダウンロードできませんでした		
ダウンロードできませんでした 更新を中止します		
ただいま利用制限中のためしばらくしてからご利用ください	パケ・ホーダイをご利用の場合、一定時間内に大量の通信を行うと、一定時間接続できなくなることがあります。しばらくしてから再度操作してください。	－
ただいま利用制限中の為しばらくしてからご利用下さい		
ただいまｉモードメールが混みあっています しばらくお待ち下さい(553)	回線が非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。	－
着信通知未契約です	留守番電話サービスに契約されていないため利用できません。サービスをお申し込みいただいてから再度操作してください。	取扱説明書裏面
チャネル情報取得に失敗しました	ｉチャネルで情報を取得する際に、チャネル情報が一部不足またはすべて取得できなかったため取得に失敗しました。	－
中断されました	データ通信中にパソコン側から接続が切断されました。	－
中断しました	エラーが発生したため中断されました。	－
通信が許可されていません	通信設定が「通信しない」に設定されています。設定を「通信する」にしてから再度操作してください。	P.274
通知アイコン点灯していません	上限通知アイコンが点灯していないため上限通知アイコンは消去できません。	－
通話中です 起動できません	通話中のため起動できませんでした。通話を終了してから再度操作してください。	P.54 P.71
通話中です 設定できません	通話中のため設定できませんでした。通話を終了してから再度操作してください。	P.54 P.71
通話中です 操作できません	通話中のため操作できませんでした。通話を終了してから再度操作してください。	P.54 P.71
通話中です 発信できません	通話中のため発信できませんでした。通話を終了してから再度操作してください。	P.54 P.71
通話中のため起動できません	通話中のため起動できませんでした。通話を終了してから再度操作してください。	P.54 P.71
通話中のため発信できません	通話中のため発信できませんでした。通話を終了してから再度操作してください。	P.54 P.71
データが不足しているため起動できません	起動しようとしたｉアプリが部分データしか保存されていないため起動できませんでした。ｉアプリをすべてダウンロードしてから再度操作してください。	P.271
データ結合できませんでした	読み取ったデータを結合できませんでした。今まで読み込んだデータは破棄されます。	－

表　示	説　明	参照先
データ取得できませんでした	iモーションまたは着うたフル®データが不正なため取得できませんでした。	－
	トルカデータが不正なため取得できませんでした。	－
データ通信中です 起動できません	データ通信中のため起動できませんでした。データ通信を終了してから再度操作してください。	－
データ通信中です 切り替えできません	64Kデータ通信中のため切り替えできません。64Kデータ通信を終了してから再度操作してください。	－
データ通信中です 設定できません	データ通信中のため設定できませんでした。データ通信を終了してから再度操作してください。	－
データに誤りがあります	データに不正な箇所があります。	－
テキストが再生できません	非対応データのためテロップが再生できません。	－
テキストリーダーを起動できません	エラーが発生したためテキストリーダーを起動できませんでした。	－
デュアルネットワークサービス未契約です	デュアルネットワークサービスに契約されていないため利用できません。サービスをお申し込みいただいてから再度操作してください。	取扱説明書裏面
テレビ電話中のため発信できません	テレビ電話中のため発信できませんでした。テレビ電話を終了してから再度操作してください。	P.54
テロップ表示設定ONのため設定できません	テロップ表示設定が「ON」に設定されているためiアプリを待受画面に設定できません。設定を「OFF」にしてから再度操作してください。	P.224
転送サービス未契約です	転送でんわサービスに契約されていないため利用できません。サービスをお申し込みいただいてから再度操作してください。	取扱説明書裏面
テンプレートに保存できません	メールをテンプレートとして保存できませんでした。	－
電話帳がいっぱいです	FOMA端末内の電話帳がいっぱいになったため受信できませんでした。不要な電話帳を削除してから再度操作してください。	P.119
電話帳画像いっぱいのため画像以外を登録しました	電話帳に登録されている画像がいっぱいになったため画像以外のデータを登録しました。	－
電話帳に登録がないため起動できません	通話相手の電話番号とメールアドレスが電話帳に登録されていません。登録してから再度操作してください。	P.110
電話番号が通知されていないため起動できません	通話相手の電話番号が通知されていないため起動できませんでした。	－
登録外着信拒否設定中です	登録外着信拒否が「拒否」に設定されています。設定を「許可」にしてから再度操作してください。	P.174
登録機器情報を取得できませんでした	エラーが発生したため登録済みBluetooth機器の情報が取得できませんでした。	－
登録件数がいっぱいです 上書きできる機器がありません	Bluetooth機器が最大登録台数まで登録されているためこれ以上登録できません。不要なBluetooth機器を削除してください。	P.396
登録中です しばらくしてからご利用ください(554)	ユーザ登録中のため操作できません。しばらくしてから再度操作してください。	－
登録できませんでした 登録に失敗しました	エラーが発生したため登録できませんでした。	－
トルカがいっぱいです	FOMA端末内のトルカがいっぱいになったため受信できませんでした。不要なトルカを削除してから再度操作してください。	P.294
トルカがいっぱいのためコピーできません いずれかのトルカを削除してください	トルカが最大保存件数まで保存されているため、コピーできません。不要なトルカを削除してください。	P.294
トルカがいっぱいのため取得できません いずれかのトルカを削除してください	トルカが最大保存件数まで保存されているため、取得できません。不要なトルカを削除してください。	P.294
トルカがいっぱいのため保存できません いずれかのトルカを削除してください	トルカが最大保存件数まで保存されているため、保存できません。不要なトルカを削除してください。	P.294
トルカが保存されていません	トルカが1件も保存されていません。	－
トルカに誤りがあるため取得できません	トルカデータが不正なため取得できませんでした。	－
トルカを取得できません	受信したトルカが不正なため取得できません。	－
入力形式が正しくありません	入力したUSSDが間違っています。正しいUSSDを入力してください。	P.411
入力データまたはURLが長すぎます	入力した文字数が多すぎて送信できません。文字数を減らしてから再度送信してください。	P.202

次ページにつづく

表　示	説　　明	参照先
入力データをご確認ください(205)	入力内容が間違っています。入力内容を確認してから再度操作してください。	−
認識できません	テキストが読み取りできませんでした。認識モードを変更するか、反転モードを変更するなどして再度読み取りを行ってください。	P.198
認証タイプに未対応です(401)	対応していない認証タイプのため接続できません。	−
認証できませんでした	認証エラーが発生しました。	−
残りのデータをダウンロードできません データを削除しました	部分的に保存したファイルの残りのデータをダウンロードする際に、エラーが発生してダウンロードできないため、データが削除されました。	−
バーコードリーダーを起動できません	エラーが発生したためバーコードリーダーを起動できませんでした。	−
バージョンアップが中断されました	エラーが発生したためバージョンアップができませんでした。	−
バージョンアップできません		
バージョンアップできませんでした		
バージョン表示できませんでした	エラーが発生したためバージョンを表示できませんでした。	−
倍率を入力してください	倍率が入力されていません。倍率を入力してから再度操作してください。	P.351
パターンデータは最新です	パターンデータが最新のため更新は必要ありません。	−
パターンデータを更新してください	エラーが発生したためスキャン機能を利用できません。パターンデータを更新してから再度操作してください。	P.489
発信できません	エラーが発生したため発信できませんでした。	−
発信に失敗しました		
貼り付けできませんでした	ｉモードメールに位置情報を貼り付けできませんでした。本文の文字を短くしてから再度操作してください。	P.229
ピクチャがいっぱいです	画像が最大保存件数まで登録されているため、これ以上登録できません。不要な画像を削除してください。	P.312
ピクチャが表示できません	画像データが不正なため表示できません。	−
ピクチャを再生できません	非対応データのため画像が再生できません。	−
非対応ファイルがあります 削除できません	対応していないデータがあるため削除できません。	−
表示できません	対応するソフトが起動中です。ソフトを終了してから再度操作してください。	P.273
ファイルが壊れていました(493)	取得したファイルが壊れているため、操作できません。	−
ファイル名変更できません	ピリオドから始まるファイル名や半角英数字以外の禁止文字を含んだファイル名には変更できません。正しいファイル名を入力してから再度操作してください。	P.312
フォーマットエラーです 正しいフォーマットのカードを挿入してください	FOMA P903i未対応フォーマットのmicroSDメモリーカードです。FOMA P903iでフォーマットしてください。	P.340
フォトが大きすぎるため作成できません	撮影した画像が大きすぎるためｉモードメールに添付できません。	−
フォルダ移動できませんでした	エラーが発生したためフォルダを移動できませんでした。	−
フォルダ削除できませんでした	エラーが発生したためフォルダを削除できませんでした。	−
フォルダ追加できませんでした	エラーが発生したためフォルダを追加できませんでした。	−
フォルダ名編集できませんでした	エラーが発生したためフォルダ名を編集できませんでした。	−
付加番号1は未契約です	付加番号を契約されていないため利用できません。付加番号をお申し込みいただいてから再度操作してください。	取扱説明書裏面
付加番号2は未契約です		
プッシュトーク電話帳に登録できませんでした	プッシュトーク電話帳には登録できない電話帳のため登録できませんでした。	−
振分け条件がいっぱいのため登録できません	すでに最大件数設定されています。不要な設定を解除してから再度操作してください。	P.257
プレイリスト作成できませんでした	エラーが発生したためプレイリストを作成できませんでした。	−
プレイリスト名編集できませんでした	エラーが発生したためプレイリスト名を編集できませんでした。	−
変更できませんでした	エラーが発生したため曲順を変更できませんでした。	−
編集中のため削除できません	他の機能で使用しているため削除できません。他の機能を終了してから再度操作してください。	P.373
編集に失敗しました	エラーが発生したため編集できませんでした。	−
他の機能が起動中のため起動できません	マルチタスクで同時に起動できない機能です。使っていない機能を終了してから再度操作してください。	P.373
他の機能が起動中のため取得できません	他の機能が起動しているため取得できません。他の機能を終了してから再度操作してください。	P.373

表　示	説　　明	参照先
保護のため削除できません	保護されているデータのため削除できませんでした。保護を解除してから再度操作してください。	P.216
保存可能サイズを超えているため設定できません	「ファイル制限」を設定することによって保存可能サイズを超えてしまったため設定できませんでした。	－
保存期限が過ぎたためファイルを受信できません(492)	未取得の添付ファイルがｉモードセンターの保存期間を過ぎているため取得できませんでした。	－
保存先設定できません	フォルダ内に保存できる空き番号が存在しないため設定できません。	－
保存できません	サイトからデータを取得できなかったため保存できませんでした。	－
保存できませんでした	撮影した画像を保存できませんでした。	－
	エラーが発生したためトルカのコピーができませんでした。	－
	エラーが発生したため保存できませんでした。	－
保存に失敗しました	エラーが発生したため保存できませんでした。	－
本文中画像が削除されます	FOMA端末外への出力が禁止されている画像がメール本文に貼り付けられているため削除されました。	－
本文編集できません	添付ファイルが10000バイトあるため、本文を入力できません。	－
待受画面貼付できませんでした	エラーが発生したためデスクトップに貼り付けできませんでした。	－
まばたきを検出できませんでした	まばたき検出に失敗しました。顔の向きや場所を変えて再度操作してください。	P.168
マルチナンバー未契約です	マルチナンバーに契約されていないため利用できません。サービスをお申し込みいただいてから再度操作してください。	取扱説明書裏面
見つかりませんでした	FOMA端末の周辺にBluetooth機器が1台も見つかりませんでした。	－
ミュージック再生サイズを超えています	データ量が最大サイズを超えたので着うたフル®を再生できません。	－
ムービーが大きすぎるため作成できません	撮影した動画が大きすぎるためｉモードメールに添付できません。「ｉモーション切り出し」や「メール(小)切り出し」で動画を切り出してから作成してください。	P.326
無効なデータを受信しました	受信したデータにエラーがあるため表示または保存できません。受信したデータは破棄されます。 XXXには3桁の数字が表示されます。	－
無効なデータを受信しました(XXX)		
迷惑電話ストップサービス未契約です	迷惑電話ストップサービスに契約されていないため利用できません。サービスをお申し込みいただいてから再度操作してください。	取扱説明書裏面
メールセキュリティ設定中のためダウンロードできません	メールセキュリティ設定中のためダウンロードできません。メールセキュリティを解除してから再度操作してください。	P.171 P.250
メール選択受信設定が受信しないに設定されています	メール選択受信設定が「OFF」に設定されています。設定を「ON」にしてから再度操作してください。	P.241
メールフォルダ利用中のため起動できません	対応するソフトが使用中です。ソフトを終了してから再度操作してください。	P.273
メールフォルダ利用中のため削除できません		
メールフォルダ利用中のためダウンロードできません		
メールを作成できません	FOMA端末が読み込み中のためｉモードメールを作成できませんでした。しばらくしてから再度操作してください。	－
メモリ機能動作中 設定できません	microSDメモリーカードが使用中のため設定できません。	－
メモリ番号:XXX 書き換えできません	シークレットデータとして登録した電話帳や「オート表示」に設定した電話帳のメモリ番号と同じメモリ番号のため登録できません。違うメモリ番号に登録してください。 XXXには3桁の数字が表示されます。	P.112
メモリ不足です	メモリが不足したため処理を中断します。	－
メモリ不足です 更新を中止します		
メモリ不足です トルカ一覧に戻ります		
メモリ不足です 文字スタンプが作成できませんでした		
メモリ不足です ｉモードメニューに戻ります		
メロディが再生できません	エラーが発生したためメロディが再生できませんでした。	－
メロディが設定されていません	プログラム編集がされていない状態でプログラムを再生しようとしたときに表示します。プログラムを編集後、プログラム再生してください。	P.332

次ページにつづく

表　示	説　　明	参照先
容量不足です	保存容量がいっぱいのため操作できません。	–
呼出時間表示設定中です	呼出時間表示設定が「ON」に設定されています。設定を「OFF」にしてから再度操作してください。	P.174
読み込みエラーです	microSDメモリーカードの情報読み込み中にエラーが発生しました。	–
読み込みできませんでした		
読み込みできませんでした 終了します	動画再生時にエラーが発生しました。	–
	microSDメモリーカードの情報読み込み中にmicroSDメモリーカードが抜かれました。microSDメモリーカードを装着してから再度操作してください。	P.335
	「移行可能コンテンツ」フォルダ内に保存されているファイルを、保存したときと異なるFOMAカードを挿入して再生しようとしたため読み込みできません。ファイルの保存時に挿入していたFOMAカードを挿入してから再度操作してください。	P.38
読み取りできませんでした	読み取りに失敗しました。	–
リセット失敗しました	エラーが発生したため顔データのリセットに失敗しました。	–
利用可能なピクチャがありません	サイズに合ったフレームがありません。	–
履歴表示OFF設定中です	履歴表示設定が「OFF」に設定されています。設定を「ON」にしてから再度操作してください。	P.170
リンク先のページをダウンロードしていません	PDFデータにリンクが設定されていて、そのリンク先がダウンロードされていないため表示できませんでした。	–
リンクを選択できません ズームインしてください	PDFデータを表示している際の文字が小さすぎるため、リンクを選択できません。ズームインを行ってから再度操作してください。	P.351
留守番および転送サービス未契約です	留守番電話サービスまたは転送でんわサービスに契約されていないため利用できません。サービスをお申し込みいただいてから再度操作してください。	取扱説明書裏面
留守番サービス未契約です	留守番電話サービスに契約されていないため利用できません。サービスをお申し込みいただいてから再度操作してください。	取扱説明書裏面
AV出力できません	エラーが発生したため、AV出力を中止しました。	–
Bluetoothの電源をオフできませんでした	エラーが発生したためBluetoothの電源をオフできませんでした。	–
FOMAカード(UIM)が異なるため起動できませんでした	FOMAカード動作制限機能によりｉアプリを起動できません。ｉアプリダウンロード時に挿入していたFOMAカードを挿入してから再度操作してください。	P.39
FOMAカード(UIM)が異なるためご利用できません	FOMAカード動作制限機能により操作できません。データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを挿入してから再度操作してください。	P.39
FOMAカード(UIM)が異なるため指定されたソフトが起動できませんでした	FOMAカード動作制限機能によりｉアプリを起動できません。データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを挿入してから再度操作してください。	P.39
FOMAカード(UIM)が異なるため正しく表示できません	FOMAカード動作制限機能により画面メモが正しく表示できません。画面メモ保存時に挿入していたFOMAカードを挿入してから再度操作してください。	–
FOMAカード(UIM)情報が一致しないため移動できません	ICカードに対応付けしたFOMAカードとは異なるFOMAカードが挿入されているため移動、起動、削除またはダウンロード、バージョンアップできません。ICカードに対応付けしたFOMAカードを挿入してから再度操作してください。	P.39
FOMAカード(UIM)情報が一致しないため起動できません		
FOMAカード(UIM)情報が一致しないため削除できません		
FOMAカード(UIM)情報が一致しないためダウンロードできません		
FOMAカード(UIM)情報が一致しないためバージョンアップできません		
ｉアプリ機能起動中です 操作できません	ｉアプリ起動中のためSDオーディオを起動できませんでした。ｉアプリを終了してから再度操作してください。	P.273
ｉアプリ To 設定されていません	「ｉアプリ To 設定」でチェックが付いていないためｉアプリを起動できません。チェックを付けてから再度操作してください。	P.274
ｉモードグループ機能起動中です 起動できません	ｉモードグループの機能が起動中のため起動できませんでした。ｉモードグループの機能を終了してから再度操作してください。	P.373
ｉモードしおりはありません	ｉモードしおりが1件も設定されていません。	–
ｉモードセンターが混みあっています しばらくお待ち下さい(555)	回線設備が故障、または回線が非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。	–
ｉモード問い合わせがすべて無効に設定されています	ｉモード問い合わせ設定の項目すべてにチェックが付いていません。問い合わせる項目にチェックを付けてから再度操作してください。	P.242
ICカード機能停止中のためダウンロードできません	ICカードロック中のためダウンロードやバージョンアップができませんでした。ICカードロックを解除してから再度操作してください。	P.296

表　示	説　明	参照先
ICカード動作中のため削除できません	ICカード機能が動作中のため削除できません。ICカード機能を終了してから再度操作してください。	－
ICカード動作中のためダウンロードできません	ICカード機能が動作中のためダウンロードやバージョンアップができませんでした。ICカード機能を終了してから再度操作してください。	－
ICカード内データがいっぱいのためダウンロードできません いずれかのサービスを削除しますか？	おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードする際、ICカード内データの容量が足りない場合に表示されます。 「YES」を選択すると、すでに登録しているおサイフケータイのサービス名と、ICカード内の容量（バイト数）が表示されますので、不足エリアサイズを確認したあと、削除するサービスを選択し、ｉアプリを起動して削除してください。	－
ICカード内データにエラーがあります	ICカード内のデータにエラーがあるため操作できませんでした。	－
ICカード内データにエラーがあるため削除できません	ICカード内のデータにエラーがあるため削除できませんでした。	－
ICカードロック設定中です	ICカードロックが設定されています。ICカードロックを解除してから再度操作してください。	P.296
IC送信できませんでした	エラーが発生したためiC送信できませんでした。	－
IDに誤りがあります	入力したIDに間違いがあります。正しいIDを入力してください。	P.303
microSDの交換またはチェックディスクをおすすめします	microSDメモリーカードのフォーマットが異常です。microSDメモリーカードをチェックディスクしてください。	P.341
microSDへコピーできませんでした	エラーが発生したためmicroSDメモリーカードにコピーできませんでした。	－
PIMファイルが保存されていません	microSDメモリーカード内に電話帳やスケジュールなどがありません。	－
PIMロック設定中です	PIMロックが設定されています。PIMロックを解除してから再度操作してください。	P.160
PIMロック設定中です 内蔵代替画像を送信します	PIMロック設定中は「内蔵」の代替画像が送信されます。	－
PIN1がロックされました PINロック解除コードを入力してください	PIN1コードを3回間違えるとPINロックがかかります。PINロック解除コードを入力してください。	P.157
PIN1コードが違います	入力したPIN1コードが間違っています。正しいPIN1コードを入力してください。	P.155
PIN1コードが認識できませんでした	PIN1コードを3回間違えるとPINロックがかかります。PINロック解除コードを入力してください。	P.157
PIN1コードがロックされています		
PIN1コードがロックされました PINロック解除コードを入力してください		
PINロック解除コードが認識できませんでした	PINロック解除コードを10回間違えるとPINロック解除コードがロックされます。ドコモショップ窓口にお問い合わせください。	取扱説明書裏面
PINロック解除コードがロックされています		
PINロック解除コードがロックされました		
SMS送達通知がないため削除できません	SMS送達通知が1件もないため削除できませんでした。	－
SMS center設定を確認してください	SMS center設定でSMSセンターが正しく設定されていません。SMS center設定を設定してから再度操作してください。	P.268
SSL通信が切断されました	改ざんされたSSL証明書を受信したか、SSLエラーが発生したため接続できませんでした。	－
SSL通信が無効です	サーバの認証エラーのため接続できません。	－
SSL通信が無効に設定されています	証明書設定でそのサーバのSSL証明書が無効に設定されています。有効に設定してから再度操作してください。	P.217
Toの宛先を設定してください	「To」に宛先が入力されていません。「To」に宛先を入力してから再度操作してください。	P.228 P.230
ToDoがいっぱいです	FOMA端末内のToDoがいっぱいになったため受信できませんでした。不要なToDoを削除してから再度操作してください。	P.384
1件削除できません	エラーが発生したためmicroSDメモリーカード内のデータを1件削除できませんでした。	－
1件本体へコピーできませんでした	エラーが発生したため1件FOMA端末にコピーできませんでした。	－
10～100000円の間で設定してください	通話料金通知の上限料金は10～100000円の間で設定してください。	P.389
＋の位置が不正です	「＋」の位置が間違っています。電話番号の先頭に入力してください。	P.64

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無償保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障・修理やその他取扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。また、FOMA端末の修理などを行った場合、iモード・iアプリにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により修理済みのFOMA端末などに移行を行っておりません。

  ※本FOMA端末は、電話帳などのデータをmicroSDメモリーカードに保存していただくことができます。

  ※本FOMA端末は、iモーション、iアプリの利用するデータ、その他iモード経由で取得した全コンテンツ（画面メモ、メールの添付ファイル、メッセージR等含む）をmicroSDメモリーカードに移し替えしていただくことができます。

  ※本FOMA端末は電話帳お預かりサービス（お申し込みが必要な有料サービス）をご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターに保存していただくことができます。

  ※パソコン（Microsoft® Windows® 2000 Professional、Windows® XP Professional/HomeEdition）をお持ちの場合は、ドコモケータイdatalinkやデータリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）をご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。

アフターサービスについて

◎調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧になってお調べください。それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先にご連絡のうえ、ご相談ください。

◎お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

■保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無償で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取扱い不良による故障・損傷等は有償修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有償修理となります。

■以下の場合は、修理できないことがあります。

水濡れシールが反応している場合、試験の結果、水濡れ、結露・汗等による腐食が発見された場合、および内部の基板が破損・変形している場合は修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有償修理となります。

■保証期間が過ぎたときは

ご要望により有償修理いたします。

■部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理できない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先へお問い合わせください。

◎お願い

●FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
 ・火災・けが・故障の原因となります。
 ・FOMA端末・FOMAカードは、電波の混信やネットワークの故障を防ぐため、法律により技術基準が定められており、技術基準を満たさないFOMA端末・FOMAカードは使用できません。
 ・改造(部品の交換・改造・塗装等)が施されたFOMA端末の故障修理は、改造部分を元の状態(ドコモ純正品状態)に戻していただいた場合のみ、故障修理のお取扱いをさせていただきます。ただし、改造の内容によっては、故障修理をお断りする場合があります。
 ・改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有償修理となります。

●FOMA端末に貼付されている銘板シールは、剥がさないでください。
銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意に剥がされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。

●各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他取扱いによって、クリア(リセット)される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。

●FOMA端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
使用箇所:スピーカ、受話口部

●FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

◎メモリダイヤル(電話帳機能)およびダウンロード情報などについて

・お客様ご自身でFOMA端末などに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。

・FOMA端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合があります。本FOMA端末はFOMA端末にダウンロードされた画像・着信メロディを含むデータおよびお客様が作成されたデータを故障修理時に限り移し替えを行います。(一部移し替えできないデータもあります。また、故障の程度によっては移し替えできない場合があります。)
※FOMA端末に保存されたデータの容量により、移し替えに時間がかかる場合もしくは移し替えができない場合がございます。

＜ソフトウェア更新＞

ソフトウェア更新について

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかチェックし、必要な場合にはパケット通信を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。
※ソフトウェア更新を行う場合のパケット通信料は無料となります。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよびｉMenuの「お知らせ」にてご案内させて頂きます。
ソフトウェアを更新するには、「即時更新」と「予約更新」の2つの方法があります。
【即時更新】：更新したいときすぐに更新を行います。
【予約更新】：更新したい日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。

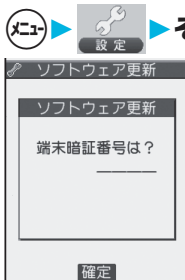
- ｉモード接続先をユーザ接続先に設定している場合もソフトウェア更新を行えます。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- 以下の場合はソフトウェアを更新できません。

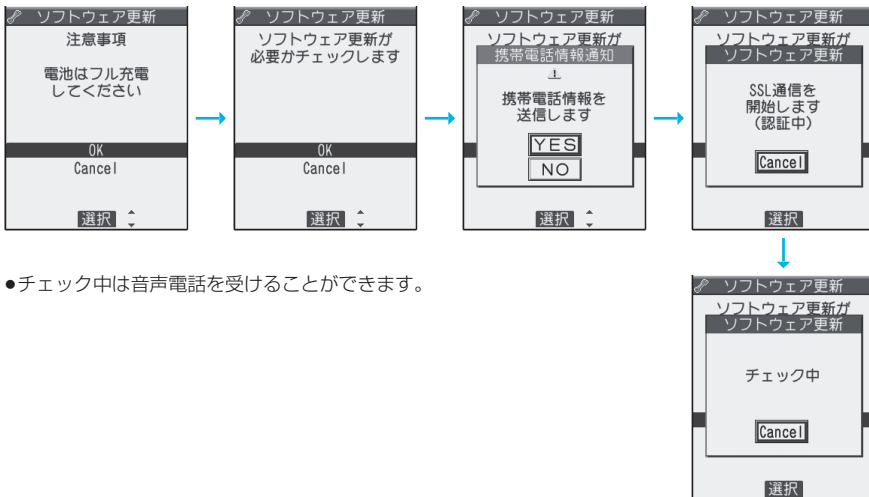
・電源が入っていないとき	・日付時刻を設定していないとき	・通話中
・圏外にいるとき	・海外で利用中のとき	・PIN1コードロック中
・オールロック中	・おまかせロック中	・セルフモード設定中
・PIMロック中	・あんしんキーロック中	・他の機能が動作中のとき
・FOMAカードを挿入していないとき	・パソコンなどの外部機器と接続中のとき	

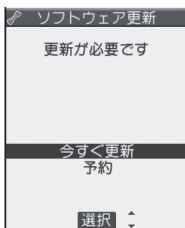
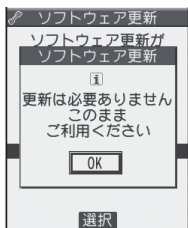
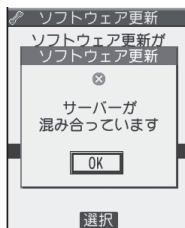
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかることがあります。
- PIN1コード入力設定を「ON」に設定中にソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書き換え終了後の自動再起動時に、PIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、電話の発信、着信、各種通信機能の操作ができません。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能および、その他の機能を利用できません。（ダウンロード中は音声着信・着信転送・伝言メモ操作が可能です。）
- ソフトウェア更新の際にはサーバー（当社のサイト）へSSL通信を行います。SSL証明書を有効にしておいてください。（お買い上げ時：有効。設定方法についてはP.217参照。）
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。
  ※ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態の良い場所でソフトウェア更新を行ってください。
- 既にソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に「更新は必要ありません　このままご利用ください」と表示されます。
- 「メール選択受信設定」を「ON」に設定してある場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にメールがあることを通知する画面が表示されないことがあります。
- ソフトウェア更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバー（当社が管理するソフトウェア更新用サーバー）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- お客様の確認操作なしでソフトウェア更新が終了すると、待受画面に「 」（ソフトウェア更新完了）の「お知らせアイコン」が表示されます。ご確認いただきたい内容がある場合には「 」（ソフトウェア更新　説明あり）が表示されます。「 」を選択し、端末暗証番号を入力すると、更新結果の内容が表示されます。

- ソフトウェア更新中は絶対に電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新は、携帯電話に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様の携帯電話の状態（故障・破損・水濡れ等）によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承願います。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。（ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承願います。）
- ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願い申し上げます。

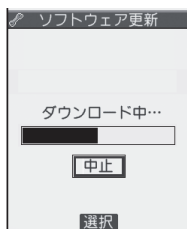
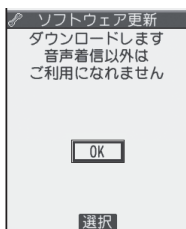
ソフトウェア更新を起動する

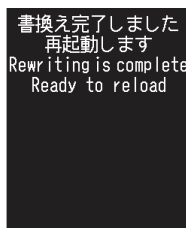
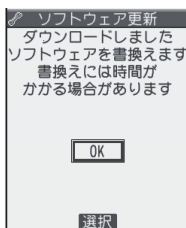
1 メニュー▶設定▶その他▶ソフトウェア更新▶端末暗証番号を入力

- 4～8桁の端末暗証番号入力画面が表示されます。
- 入力した端末暗証番号は「_」で表示されます。
- お買い上げ時の端末暗証番号は「0000」に設定されています。

2 注意事項を確認し、ソフトウェア更新が必要かチェックします。

- チェック中は音声電話を受けることができます。

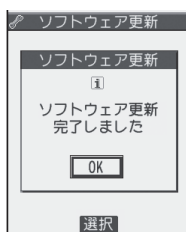
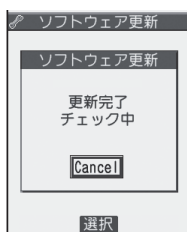
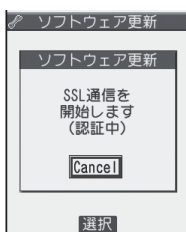
3 ソフトウェア更新が不要の際は「更新は必要ありません」と表示されますので、そのままご利用ください。更新が必要な場合には「更新が必要です」と表示されます。
このとき、「今すぐ更新」するか「予約」するかを選択できます。

ソフトウェア更新画面

※更新が必要ない場合の画面

※サーバーが混み合っていて、ソフトウェア更新ができない場合の画面（しばらく待ってから再度ソフトウェア更新を起動してください。）

すぐにソフトウェアを更新する(即時更新)

1 **「今すぐ更新」を選択すると「ダウンロードします」と表示され、しばらくするとダウンロードを開始します。(「OK」を選択するとすぐにダウンロードを開始します。)**

- ダウンロード中は音声電話を受けることができます。
- ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードされたデータは削除されます。
- ダウンロードを開始すると、あとはメニューなどを選択しなくても更新処理を実行します。

2 **ダウンロードが終わると、ソフトウェアを書き換えます。(「OK」を選択すると、すぐに書き換えを開始します。)**
書き換えが終わると、自動的に再起動します。

- 書き換えを開始するまでにしばらく時間がかかる場合があります。
- 書き換え中は電話を受けることもできません。

※ソフトウェア書き換え中は、すべてのボタン操作が無効となります。更新を中止することもできません。また、ACアダプタ(別売)などを接続していても、一時的に充電を停止します。

3 **再起動すると再びサーバーと通信を行いますので、しばらくお待ちください。**
更新の完了を確認したら「OK」を選択して終了です。

日時を予約してソフトウェアを更新する（予約更新）

ダウンロードに時間がかかる場合、サーバーが混み合っている場合には、あらかじめソフトウェア更新を起動する時刻をサーバーと通信して設定しておけます。

1 ソフトウェア更新画面で「予約」を選択します。

予約可能な日時が表示されます。

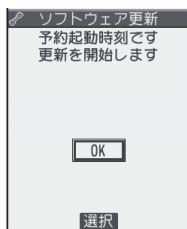
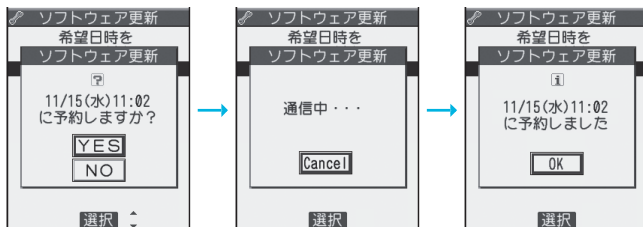
- ソフトウェア更新の予約では、サーバーの時刻が表示されます。

「その他の日時」を選択した場合

サーバーと通信をしたあと、希望日と時間帯を選べます。時間帯を選択する画面には各時間帯の予約空き状況が

○：空きあり、△：空きわずか、×：空きなし

のように表示されます。希望する時間帯を1つ選択すると、再びサーバーと通信して予約時刻の候補が表示されます。

2 選択した日時の確認を行います。「YES」を選択します。再度サーバーと通信を行い、予約は完了です。

予約時刻になると左の画面が表示され、自動的にソフトウェア更新を開始します。予約時刻前には、電池パックをフル充電し、電波の十分届くところでFOMA端末を待受画面にしておいてください。他の機能を使用していると予約時刻になっても起動しないことがあるのでご注意ください。

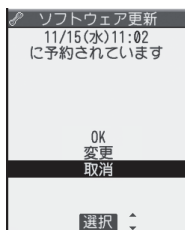
- オールロック中・PIMロック中などは、更新を開始するメッセージが表示されず、ソフトウェア更新も起動しません。P.485手順1の操作を行うと起動できなかった理由が表示されます。

お知らせ

- アラーム等が起動している場合には、ソフトウェア更新が起動しない場合があります。
- iモードメール、SMS、メッセージR/Fの受信中は、ソフトウェア更新は起動しません。受信を継続し、待受画面に「お知らせアイコン」を表示します。
- 予約が完了したあとにP.399「端末初期化」を行うと、予約時刻になってもソフトウェア更新は起動しません。再度ソフトウェア更新の予約を行ってください。

次ページにつづく

予約を確認する

設定メニューから「ソフトウェア更新」を選択し、端末暗証番号を入力すると、予約時刻を確認できます。

予約を確認した画面から予約日時の変更や予約を取り消せます。変更する場合には「変更」を選択します。取り消す場合には「取消」を選択します。

ソフトウェアの更新を終了する

各画面で「NO」や「Cancel」を選択した場合は、操作終了の画面が表示されます。

「YES」を選択すると、ソフトウェア更新を終了して待受画面に戻ります。「NO」を選択すると前の画面に戻ります。

お知らせ

- 操作中に電池の残量が「 」になった場合、ソフトウェアのダウンロードや書き換えは行われず、操作を終了します。

<スキャン機能>

障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る

まず初めに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

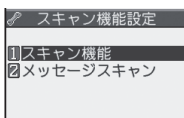
サイトからのダウンロード・ｉモードメールやSMSなど外部からFOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

- チェックのためにパターンデータを使います。パターンデータは新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされますので、パターンデータを更新してください。(P.489参照)
- スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際に携帯電話に何らかの障害を引き起こすデータの侵入から一定の防衛手段を提供する機能です。各障害に対応したパターンデータが携帯電話にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能にて障害等の発生を防げませんのであらかじめご了承ください。
- パターンデータは携帯電話の機種ごとにデータの内容が異なります。よって弊社の都合により端末発売開始後3年を経過した機種向けパターンデータの配信は、停止することがありますのであらかじめご了承ください。

スキャン機能を設定する<スキャン機能設定>

お買い上げ時	スキャン機能：有効　メッセージスキャン：有効

スキャン機能を「有効」に設定すると、データやプログラムを実行する際、自動的にチェックします。
また、メッセージスキャンを「有効」に設定すると、受信したSMSを表示する際、自動的にチェックします。

1 メニュー▶ 設定 ▶ロック／セキュリティ▶スキャン機能▶スキャン機能設定▶項目を選択

スキャン機能. . . . . .スキャン機能を実行するかどうかを設定します。
メッセージスキャン . . .SMSを表示する際にスキャン機能を実行するかどうかを設定します。

- 「スキャン機能」を「無効」に設定しているときは、「メッセージスキャン」は設定できません。

2 有効・無効▶YES

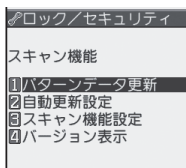
●スキャン機能を設定すると、障害を引き起こすデータを検出した場合に、5段階の警告レベルで表示されます。（P.490参照）

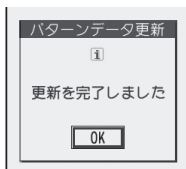
お知らせ

●moperaメールの着信通知、留守番電話の着信通知機能などのSMSはスキャン対象外となります。

パターンデータを更新する＜パターンデータ更新＞

パターンデータを更新します。

1 ﾒﾆｭｰ▶設定▶ロック／セキュリティ▶スキャン機能▶パターンデータ更新▶YES▶YES

●ｉモード接続中に中止する場合は「Cancel」を選択します。

2 OK

●パターンデータ更新が必要ないときは「パターンデータは最新です」と表示されます。そのままお使いください。

お知らせ

●パターンデータ更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバー（当社が管理するスキャン機能用サーバー）に送信されます。当社は送信された情報を、スキャン機能以外の目的には利用いたしません。

●FOMA端末の日付（年月日）を正しく設定しておいてください。

●以下の場合はパターンデータを更新できません。

- ･日付時刻を設定していないとき
- ･通話中
- ･圏外にいるとき
- ･FOMAカードを挿入していないとき
- ･オールロック中
- ･他の機能が動作中のとき
- ･パソコンなどの外部機器と接続中のとき
- ･セルフモード設定中
- ･PIMロック中

●ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードされたデータは削除されます。

パターンデータを自動的に更新する＜自動更新設定＞

パターンデータが新しくなったときに、FOMA端末内のパターンデータを自動的に更新するかどうかを設定します。

1 ﾒﾆｭｰ▶設定▶ロック／セキュリティ▶スキャン機能▶自動更新設定▶有効・無効

2 YES▶OK

●手順1で「有効」を選択した場合は、自動更新時に携帯電話情報を送信する旨の確認画面が表示されます。「YES」を選択します。

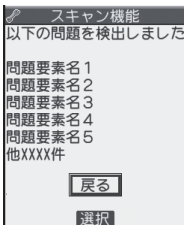
●ｉモード接続中に中止する場合は「Cancel」を選択します。

次ページにつづく

お知らせ

- 自動更新設定および自動更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバー（当社が管理するスキャン機能用サーバー）に送信されます。当社は送信された情報を、スキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- 自動更新が終了すると、待受画面に「更新」（パターン更新完了）の「お知らせアイコン」が表示されます。更新できなかった場合には「更新」（パターン更新失敗）が表示されます。「更新」を選択すると、更新結果の内容が表示されます。

スキャン結果の表示について

■スキャンされた問題要素の表示について

障害を引き起こす可能性を含むデータがあった場合は警告画面が表示されます。警告画面で「詳細」を選択すると問題要素の名前が表示されます。

- 問題要素が6個以上検出された場合は、6個目以降の問題要素名は省略されます。
- 検出した問題要素によっては、「詳細」が表示されない場合があります。

■スキャン結果の表示について

警告レベル0	警告レベル1	警告レベル2
スキャン機能 正常に動作できない場合があります OK 詳細 選択	スキャン機能 正常に動作できない場合があります動作を中止しますか？ YES NO 詳細 選択	スキャン機能 正常に動作できない場合があるため終了します OK 詳細 選択
OK ... 動作を継続します。	YES.... 動作を中止し、終了します。 NO ...... 動作を継続します。	OK .... 動作を中止し、終了します。
警告レベル3	**警告レベル4**	
スキャン機能 正常に動作できない場合がありますデータを削除しますか？ YES NO 詳細 選択	スキャン機能 正常に動作できないためデータを削除します OK 詳細 選択	
YES ... データを削除し、終了します。 NO ..... 動作を中止し、終了します。	OK .... データを削除し、終了します。	

- ｉモードメールやSMSを表示する際の警告画面は、上記の画面と異なる場合があります。

パターンデータのバージョンを確認する<バージョン表示>

パターンデータのバージョンを確認します。

1 Ⓜ▶▶ロック／セキュリティ▶スキャン機能▶バージョン表示

●確認が終われば「戻る」を選択します。

主な仕様

項目		仕様
品名		FOMA P903i
サイズ		高さ103mm×幅50mm×厚さ23mm（閉じたとき）
質量		約125g（電池パック装着時）
連続待受時間		静止時：約640時間　移動時：約420時間
連続通話時間		音声電話時：約190分　テレビ電話時：約120分
充電時間		ACアダプタ：約140分　DCアダプタ：約140分
液晶部	方式	ディスプレイ：TFT　262,144色 プライベートウィンドウ：STN　4,096色
	サイズ	ディスプレイ：約2.4inch プライベートウィンドウ：約1.0inch
	画素数	ディスプレイ：76,800画素（240×320） プライベートウィンドウ：6,144画素（96×64）
撮像素子	種類	インカメラ：CMOS　アウトカメラ：νMaicovicon®
	サイズ	インカメラ：1/11inch　アウトカメラ：1/3.2inch
カメラ部	有効画素数	インカメラ：約11万画素　アウトカメラ：約320万画素
	記録画素数	インカメラ：約10万画素　アウトカメラ：約320万画素
	ズーム（デジタル）	インカメラ：最大2.75倍　アウトカメラ：最大12倍
記録部	静止画記録枚数	約300枚（本体保存時）※1
	静止画連続撮影	CIF：4枚　待受：5～10枚　QCIF：5～20枚　Sub-QCIF：5～20枚
	静止画ファイル形式	JPEG
	動画録画時間	約483秒（本体保存時）※2
	動画ファイル形式	本体：MP4　microSDメモリーカード：ASF
音楽再生	連続再生時間※3	SDオーディオ：約70時間※4　着うたフル®：約17時間※4 ｉモーション：約17時間※4、※5

- νMaicovicon®（ニューマイコビコン）とは、高性能・低消費電力次世代イメージセンサー「New Matsushita Advanced Image Converter for Vision Construction」の略語です。

※1 画像サイズ：128×96、画質：ノーマル、ファイルサイズ：10Kバイト
※2 記録サイズ・画質、および撮影する映像によって異なります。
※3 連続再生時間とは、FOMA端末を閉じた状態で、平型ステレオイヤホンセット　P01を使用して再生できる時間の目安です。
※4 ファイル形式：AAC形式
※5 ｉモードで取得した音声のみのｉモーションを、ｉモーションプレーヤーで再生できる時間の目安です。

FOMA端末の保存・登録・保護件数

以下の表は、FOMA端末で保存・登録、保護できるデータの最大件数を示しています。（各機能の詳細については、表中の参照ページをご覧ください。）

		保存・登録件数	保護件数	参照先
電話帳		最大800※1	－	P.109
スケジュール	スケジュール	400	－	P.379
	休日	100	－	P.380
	記念日	100	－	P.380
ToDo		100	－	P.383
フリーメモ		20	－	P.389
メール（SMSとｉモードメールの合計）	受信メール	最大1000※2、※3、※4	最大1000※2	P.244
	送信メール	最大400※2、※4、※5	最大400※2	P.245
	保存メール※6	最大20※2	－	P.245
	ユーザ作成フォルダ（受信BOX）	22	－	P.250
	ユーザ作成フォルダ（送信BOX）	22	－	P.250
テンプレート		最大45※2、※7	－	P.235
メッセージ	メッセージR	最大100※2	最大50※2	P.215
	メッセージF	最大100※2	最大50※2	P.215
ブックマーク	ブックマーク	100	－	P.205
	ブックマークフォルダ	10（「Bookmark」を含む）	－	P.206
画面メモ	画面メモ	最大100※2	最大50※2	P.207
	画面メモフォルダ	10（「画面メモ」を含む）	－	P.207
ｉアプリ		最大100※2	－	P.270
	メール連動型ｉアプリ	5	－	P.272
静止画		最大1000※2、※8、※9	－	P.310
	ユーザ作成フォルダ	20	－	P.310
着うたフル®		最大100※2	－	P.358
	ユーザ作成フォルダ	25	－	P.361
動画／ｉモーション		最大150※2、※8	－	P.321
	ユーザ作成フォルダ	20	－	P.322
メロディ		最大400※2、※8	－	P.331
	ユーザ作成フォルダ	20	－	P.332
キャラ電		10※7	－	P.328
PDFデータ		最大89※2	－	P.350
トルカ		最大495※2	最大495※2	P.290
	ユーザ作成フォルダ	20	－	P.291

※1：50件までFOMAカードに保存できます。
※2：データ量によって実際に保存・登録、保護できる件数が少なくなる場合があります。
※3：「チャット」フォルダ、「ゴミ箱」フォルダ、ｉアプリメール用フォルダ内のメールも含めます。
※4：SMSは、さらに受信メールと送信メールを合わせて20件までFOMAカードに保存できます。（P.390参照）
※5：「チャット」フォルダ、ｉアプリメール用フォルダ内のメールも含めます。
※6：作成中の未送信メールを保存できます。
※7：お買い上げ時に登録されているデータも含めます。
※8：お買い上げ時に登録されているデータは含みません。（ただし、デコメ絵文字は含みます。）
※9：サイトから保存した静止画やフレーム、スタンプなども含めます。

■お願い■

FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、保存／登録内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え、FOMA端末に保存／登録した内容は、別にメモを取ったり、microSDメモリーカード（P.334参照）を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink（P.417参照）やデータリンクソフト（P.468参照）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに保管できます。

携帯電話機の比吸収率などについて

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種FOMA P903iの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR:Specific Absorption Rate)について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機FOMA P903iのSARの値は0.665W/kgです。
この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ: http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ: http://www.arib-emf.org/index.html
ドコモのホームページ: http://www.nttdocomo.co.jp/product/
パナソニックモバイルコミュニケーションズ株式会社のホームページ:
http://panasonic.jp/mobile/

※技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

Declaration of Conformity

The product “FOMA P903i” is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://panasonic.co.jp/pmc/products/en/support/index.html.

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.647W/kg. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.**

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.
** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.
***Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

※The European RTTE approval of this product is limited to the use of the P903i handset, Battery and FOMA Global Use AC Adapter (100 to 240 V AC) only. Other accessories are not part of the approval.

Important Safety Information

AIRCRAFT

Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers a ‘flight mode’ or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING

Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS

Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS

Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE

Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers

Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15cm be maintained between a mobile phone and a pacemaker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and do not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids

Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

For other Medical Devices:

Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

輸出管理規制について

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。

詳しい手続きについては経済産業省へお問い合せください。

索引／クイックマニュアル

索引の引きかた

●本索引は、本書に記載されている用語や記載内容を要約した用語を50音順に収録しています。知りたい内容が見つからない場合は、別の用語で探してください。

＜例：ｉアプリの「ソフト設定」でｉアプリ待受画面を設定したいとき＞

◆◇◆ ア ◆◇◆

◆◇◆ カ ◆◇◆

◆◇◆ サ ◆◇◆

索引

◆◇◆ タ ◆◇◆

◆◇◆ ラ ◆◇◆

◆◇◆ ワ ◆◇◆

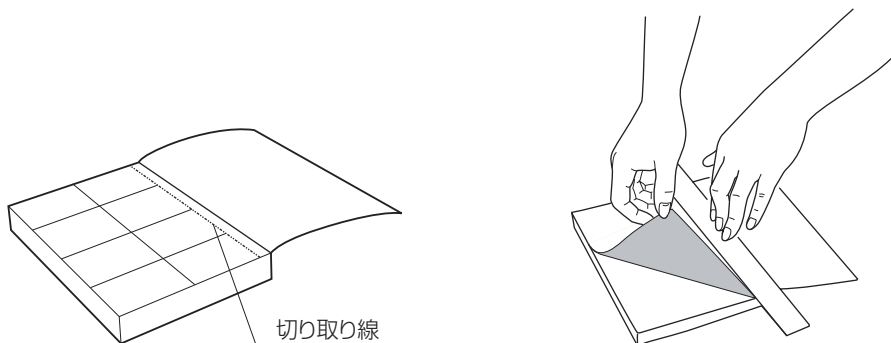
◆◇◆ 英数字 ◆◇◆

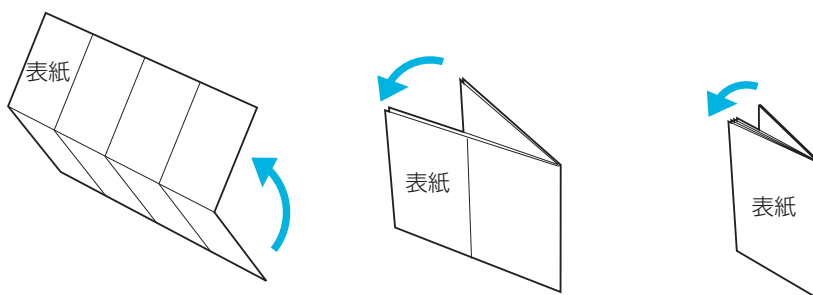
クイックマニュアル

クイックマニュアルのご使用方法

本書に綴じ込みされているクイックマニュアルは切り取り線で切り取り、下記のように折ってご使用ください。
クイックマニュアル(海外利用編)は、海外で国際ローミング(WORLD WING)をご利用いただく際に携帯してください。

■切り取りかた

切り取り線でクイックマニュアルのページを切り取ります。
下図のように定規などを切り取り線に合わせて切り取れます。
●はさみなどで切り取る際には、けがなどに気を付けてください。

■折りかた

下図のように、表紙面が見えるように、折れ線に合わせて折り畳んでお使いください。
●2枚目のクイックマニュアルの場合は、P.16「機能一覧表」が表紙になるように折り畳んでお使いください。

NTT DoCoMo FOMA P903i

クイックマニュアル

総合お問い合わせ先 <DoCoMo インフォメーションセンター>

ドコモの携帯電話、PHSからの場合
(局番なしの)151(無料) ※一般電話などからはご利用になれません。
一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。
- ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

故障お問い合わせ先

ドコモの携帯電話、PHSからの場合
(局番なしの)113(無料) ※一般電話などからはご利用になれません。
一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。
- ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。
- なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

電話帳の登録(本体)

■登録先選択
待受画面→(1秒以上)→本体

■名前入力
名前を入力

■フリガナ編集
→フリガナを編集

■グループ選択
<グループ>→グループを選択

■電話番号入力(4番号まで)
<電話番号>→電話番号を入力
→アイコンを選択

■メールアドレス入力(3アドレスまで)
<メールアドレス>
→メールアドレスを入力→アイコンを選択

■住所入力
<住所>→郵便番号を入力
→住所を入力

■位置情報登録
<位置情報>→項目を選択
現在地確認から付加
・・・現在地を測位して位置情報を登録します。位置情報を確認し、(確定)を押します。
位置履歴から付加
・・・位置履歴から位置情報を選択して登録します。

■誕生日入力
<誕生日>→誕生日を入力

■メモ入力
<メモ>→メモを入力

■静止画登録
<静止画>→静止画選択
→フォルダを選択→静止画を選択

■メモリ番号入力
<メモリ番号>
→3桁のメモリ番号を入力→

リダイヤル・発信履歴・着信履歴から登録

■FOMA端末(本体)に追加登録
リダイヤル・発信履歴・着信履歴を表示
→→電話帳登録→本体→追加登録
→検索方法を選択→電話帳を検索
→登録する電話帳を選択→→
→YES

電話帳の修正

電話帳詳細画面を表示→→修正したい項目を選択→内容を修正→→YES

文字の入力

■文字入力画面

フリーメモ編集
漢全 512/512バイト
文字 確定 機能

■入力文字
漢・・・・漢字ひらがな
カナ・・・カタカナ
英・・・・英字
数・・・・数字

■文字入力方式の選択
→設定→その他→文字入力方式
→入力モード→

モード1(かな方式)にチェック
モード2(2タッチ方式)にチェック
モード3(ニコタッチ方式)にチェック

→→優先的に使うモードを選択

■濁点、半濁点入力
文字を入力→＊を数回押す

■句読点入力
＃を数回押す

■漢字ひらがな、カタカナ、英字、数字入力モードの切替
を数回押す

■絵文字入力
→絵文字入力→絵文字を選択

■記号入力
→記号入力→記号を選択

■改行入力
を押す

■スペース入力
→スペース入力

■文字消去
でカーソル移動→クリア

■大文字／小文字切替
文字を入力→

フリーメモに「タダの菓子」を入力

■文字入力(編集)画面を表示
→ステーショナリー→フリーメモ→

■ひらがなを入力(モード1)
た→4を1回、を1回
だ→4を1回、＊を1回
の→5を5回
か→2を1回
し→3を2回

■文字を変換
で「の」までカーソルを移動
→→で「タダの」を選んで
→同様に残りの文字を確定

<切り取り線>

カメラ

■静止画撮影
待受画面→[📷]→[●]→[●]
→保存したいフォルダを選択

■連続撮影
待受画面→[📷]（1秒以上）→[📷]→[●]
→静止画を選んで[✉]→[●]
→保存したいフォルダを選択
※連続撮影した静止画を1枚だけ選択して保存する場合の手順です。

■動画撮影
待受画面→[📷]（1秒以上）→[●]→[●]
→[●]→保存したいフォルダを選択

ビューア・プレーヤー

■静止画再生
[メニュー]→[データBOX]→マイピクチャ
→フォルダを選択→静止画を選択

■動画再生
[メニュー]→[データBOX]→ｉモーション
→フォルダを選択→動画を選択

■キャラ電再生
[メニュー]→[データBOX]→キャラ電→キャラ電を選択

■メロディ再生
[メニュー]→[データBOX]→メロディ→フォルダを選択
→メロディを選択

■PDF表示
[メニュー]→[データBOX]→マイドキュメント
→フォルダを選択→PDFデータを選択

音楽再生

■着うたフル®再生
[メニュー]→[データBOX]→ミュージック
→フォルダを選択→着うたフル®を選択

■SDオーディオ再生
[メニュー]→[データBOX]→SDオーディオ
→プレイリストを選択→曲を選択

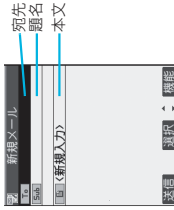
テレビ電話をかける・受ける

■テレビ電話をかける
相手の電話番号を入力→[テレビ電話]
→お話が終わったら[終話]で通話を終了する

■テレビ電話を受ける
着信音が鳴り、着信／充電ランプが点滅
→[テレビ電話]・[ハンズフリー]・[●]→お話が終わったら
[終話]で通話を終了する
[テレビ電話]・[ハンズフリー]で受けると自分のカメラ画像、[●]で受けると代替画像を相手に送信します。

■ハンズフリーに切り替える
通話中・発信中・接続中→[ハンズフリー]

ｉモードメール

ｉモードメールの作成・送信

■作成画面を表示
待受画面→[✉]→[✉]

■宛先入力
宛先欄を選択→入力方法を選択
→宛先を入力または選択

■題名入力
題名欄を選択→題名を入力

■本文入力
本文欄を選択→本文を入力

■メール送信
[✉]→送信完了後[●]

ファイルの添付

■メロディ・ピクチャ・ｉモーション・トルカ・PDF
作成画面を表示→[iα]→添付ファイル追加
→添付したいファイルの種類を選択
→フォルダを選択→ファイルを選択

ｉモードメールの受信

「[✉]（ピンク）」が点滅
→受信結果画面が表示
→「メール」を選択
→表示したいｉモードメールを選択

ｉモード問い合わせ

待受画面→[✉]（1秒以上）

その他のメール機能

■返信
返信したいメールを選択または表示
→[iα]→返信・引用返信・参照返信
→本文欄を選択※→本文を入力
→[✉]→送信完了後[●]
※参照返信時は不要

■転送
転送したいメールを選択または表示
→[iα]→転送→宛先欄を選択
→入力方法を選択
→宛先を入力または選択→[✉]
→送信完了後[●]

＜切り取り線＞

機能一覧表

	メニュー	機能名称
メール	－	受信BOX
	－	送信BOX
	－	保存BOX
	－	新規メール作成
	－	チャットメール
	－	ｉモード問い合わせ
	－	SMS作成
	－	SMS問い合わせ
	－	テンプレート
	－	メール選択受信
	－	メール設定
iモード	－	ｉMenu
	－	Bookmark
	－	画面メモ
	－	Internet
	－	ラストURL
	－	メッセージR/F
	－	ｉチャネル
	－	ｉモード問い合わせ
	－	ユーザ証明書操作
	－	ｉモード設定
iアプリ	－	ソフト一覧(本体)
	－	ｉアプリ(microSD)
	－	自動起動設定

16

	メニュー	機能名称
	－	ｉアプリ実行情報
設定	着信	
	50	着信音量
	13	着信音選択
	64	サウンド効果
	54	バイブレータ
	20	マナーモード選択
	－	電話帳画像着信設定
	58	着信アンサー設定
	68	メール／メッセージ鳴動
	90	呼出時間表示設定
	65	確認機能設定
	－	オープン設定
	－	パケット通信中着信設定
	ディスプレイ	
	56	画面表示設定
	70	照明設定
	86	配色パターン
	93	プライベートウィンドウ
	－	ｉチャネルテロップ設定
	66	フォント設定
	63	デスクトップ
	15	バイリンガル
	52	プライベートメニュー設定
	57	メニューアイコン設定
	－	オープン新着表示
	47	オート表示

17

	メニュー	機能名称
設定	－	液晶AI
	36	表示アイコン説明
	イルミネーション設定	
	89	着信イルミネーション
	－	通話中イルミネーション
	－	不在未読イルミネーション
	－	クローズイルミネーション
	－	ミュージックイルミネーション
	－	ICカードイルミネーション
	－	プッシュトークイルミネーション
	－	サイドボタンイルミネーション
	－	明るさ設定
	－	設定確認
	ロック／セキュリティ	
	－	セルフモード
	－	オールロック
	－	PIMロック
	－	ICカードロック
	－	あんしんキー／閉じロック
	40	シークレットモード
	41	シークレット専用モード
	－	ダイヤル発信制限
	－	登録外着信拒否
	10	非通知着信設定
	29	端末暗証番号変更
	－	FOMAカード(UIM)設定
	－	スキャン機能

18

	メニュー	機能名称
設定	－	あんしんキー／ロック設定
	時間／料金	
	61	通話時間／料金
	60	積算リセット
	48	通話中時間表示
	－	通話料金通知
	－	上限値アイコン消去
	時計	
	31	時計設定
	39	時計表示設定
	－	自動電源ON/OFF
	－	アラーム通知設定
	通話	
	－	受話音量
	76	ノイズキャンセラ
	75	通話品質アラーム
	77	再接続機能
	18	クローズ動作設定
	－	保留音設定
	プッシュトーク	
	－	自動応答設定
	－	呼出時間設定
	－	プッシュトークハンズフリー設定
	－	番号通知設定
	－	プッシュトーク通信中着信設定

19

	メニュー	機能名称
設定	テレビ電話	
	－	画像品質設定
	－	画像選択
	－	テレビ電話ハンズフリー設定
	－	音声自動再発信
	－	遠隔監視設定
	－	テレビ電話切替機能通知
	アプリケーション通信設定	
	－	接続待ち時間設定
	－	ｉモード問い合わせ設定
	81	接続先選択
	－	SMS center設定
	－	証明書
	－	証明書センター接続設定
	ｉアプリ設定	
	－	ソフト情報表示設定
	－	α照明設定
	－	αバイブレータ
	－	待受画面終了
	外部オプション	
	51	イヤホン切替
	94	オート着信
	ネットワーク設定	
	－	プレフィックス設定
	－	国際ダイヤルアシスト設定
	－	ネットワークサーチ設定
	－	優先ネットワーク設定

20

	メニュー	機能名称
設定	－	ネットワーク名表示設定
	その他	
	30	ボタン確認音
	－	充電確認音
	71	電池残量
	－	サイドボタン操作
	35	文字入力方式
	－	履歴表示設定
	84	ポーズダイヤル
	－	サブアドレス設定
	－	ボイス設定
	－	USBモード設定
	23	設定リセット
	－	端末初期化
	－	ソフトウェア更新
データBOX	46	マイピクチャ
	－	ミュージック
	－	ｉモーション
	16	メロディ
	－	マイドキュメント
	－	キャラ電
	－	SDオーディオ
	－	SDその他ファイル
LifeKit	－	バーコードリーダー
	79	赤外線受信
	－	トルカ
	－	ICカード一覧

21

	メニュー	機能名称
LifeKit	－	ICカードロックメニュー
	－	SD-PIM
	－	カメラ
	－	Bluetooth
	－	GPS
	－	テキストリーダー
	55	伝言メモ／音声メモ
	－	通話中音声メモ
	－	電話帳お預かりサービス
サービス	25	サービス問い合わせ
	17	発信者番号通知
	－	留守番電話
	－	キャッチホン
	－	転送でんわ
	－	迷惑電話ストップ
	－	番号通知お願いサービス
	－	着信動作選択
	－	通話中着信設定
	－	遠隔操作設定
	－	デュアルネットワーク
	－	英語ガイダンス
	－	海外用サービス
	－	ローミング設定
	－	追加サービス
	－	サービスダイヤル
	－	マルチナンバー
	－	着もじ

22

	メニュー	機能名称
電話帳	－	電話帳登録
	－	電話帳検索
	－	プッシュトーク電話帳
	24	発着信履歴
	－	FOMAカード(UIM)操作
	0	自局番号表示
	26	電話帳設定
ステーショナリー	44	アラーム
	45	スケジュール
	95	ToDo
	42	フリーメモ
	85	電卓
	－	使いかたナビ
	38	定型文／辞書

マナーモード

待受中・通話中→#（1秒以上）

公共モード(ドライブモード)

待受画面→＊（1秒以上）

23

<切り取り線>

ネットワークサービス

留守番電話サービス

■留守番電話サービス開始
メニュー→サービス→留守番電話
→留守番電話サービス開始→YES→YES
→呼出時間(秒)を入力

■留守番サービス停止
メニュー→サービス→留守番電話
→留守番サービス停止→YES

■留守番メッセージ再生
メニュー→サービス→留守番電話
→留守番メッセージ再生→YES
→音声ガイダンスの指示に従って操作

キャッチホン

■キャッチホンサービス開始
メニュー→サービス→キャッチホン
→キャッチホンサービス開始→YES

■キャッチホンサービス停止
メニュー→サービス→キャッチホン
→キャッチホンサービス停止→YES

■通話中にかかってきた電話に出る
通話中着信→開始キー
開始キーを押すたびに通話する相手が切り替わります。

転送でんわサービス

■転送サービス開始
メニュー→サービス→転送でんわ
→転送サービス開始→転送先設定
→転送先の電話番号を入力
→呼出時間設定→呼出時間(秒)を入力
→開始→YES

■転送サービス停止
メニュー→サービス→転送でんわ
→転送サービス停止→YES

FOMA端末から利用できるサービス

利用できるサービス	電話番号
コレクトコール（料金着信払通話）	（局番なし）106
一般電話の番号案内およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内（有料）	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）午前8時～午後10時	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急連絡通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171

主なアイコン

- :電池残量(目安)
- :オールロック中
- :PIMロック中
- :ダイヤル発信制限中
- :シークレットモード、シークレット専用モード中
- :ICカードロック中
- :あんしんキーロック中

- (ピンク) :未読iモードメール・SMSあり
- R F(黄色) :未読メッセージR/Fあり
- (ピンク) :iモードセンターにiモードメールあり
- (黄色) :iモードセンターにメッセージR/Fあり
- :iモードセンターにiモードメールあり（メール選択受信設定を「ON」に設定中）

- :電波受信レベル(目安)
- self :セルフモード中
- :バイブレータを「ON」に設定中（P.17参照）
- :着信音量を「消去」に設定中またはメール／メッセージ鳴動を「OFF」に設定中
- :マナーモード中(P.23参照)
- :公共モード(ドライブモード)中（P.23参照）
- :サイドボタン操作を「閉じた時無効」に設定中(P.21参照)

おまかせロック

おまかせロックの設定／解除
0120-524-360
受付時間 24時間

その他緊急連絡先

<連絡先：　　　　　　　　>

<連絡先：　　　　　　　　>

<連絡先：　　　　　　　　>

- ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

<切り取り線>

NTT DoCoMo **FOMA P903i**

クイックマニュアル「海外利用」

海外での紛失、盗難、精算などについて

<DoCoMo インフォメーションセンター>(24時間受付)

● ユニバーサルナンバー

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号 -800-0120-0151

※携帯電話でかけた場合は滞在国内通話料がかかります。

● 上記ユニバーサルナンバーがご利用できない場合

滞在国の国際プレフィックス番号 -81-3-5366-3114※

※日本向け通話料がかかります。

※P903iから、ご利用の場合は+81-3-5366-3114でつながります。(「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。)

※ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号／主要国の国際プレフィックス番号は、「ご利用ガイドブック(国際サービス編)」をご覧ください。

※携帯電話や公衆電話、ホテルなどからユニバーサルナンバーはご利用いただけない場合が多いため、ご注意ください。

海外での故障に関して

<ネットワークテクニカルオペレーションセンター>(24時間受付)

● ユニバーサルナンバー

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号 -800-5931-8600

※携帯電話でかけた場合は滞在国内通話料がかかります。

● 上記ユニバーサルナンバーがご利用できない場合

滞在国の国際プレフィックス番号 -81-3-6718-1414※

※日本向け通話料がかかります。

※ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号／滞在国の国際プレフィックス番号の番号は変更になる場合があります。

※P903iから、ご利用の場合は+81-3-6718-1414でつながります。(「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。)

※ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号／主要国の国際プレフィックス番号は、「ご利用ガイドブック(国際サービス編)」をご覧ください。

※携帯電話や公衆電話、ホテルなどからユニバーサルナンバーはご利用いただけない場合が多いため、ご注意ください。

滞在先での設定について

本FOMA端末は3Gローミングエリアでご利用になれます。

電話をかける

滞在国外(日本を含む)に電話をかける

■電話帳を利用して日本に国際電話をかける

電話帳詳細画面を表示→[発信]・[決定]→発信

[テレビ電話]を押すと国際テレビ電話発信します。

■「+」を利用して国際電話をかける

[0](1秒以上)→「国番号－地域番号(市外局番)－相手先電話番号」を入力

→[発信]・[決定]

[テレビ電話]を押すと国際テレビ電話発信します。

日本に国際電話をかける場合は、国番号に「81」を入力してください。

地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。

■国際電話発信

あらかじめ、国際プレフィックス設定(P.5参照)で国際プレフィックス番号を、および国番号設定(P.6参照)で国番号を登録している場合、滞在先の国際プレフィックス番号を利用して、滞在先から日本など滞在国以外に国際電話をかけることができます。

下記の手順は、海外でのみ有効です。

相手先電話番号を入力→[iα]

→国際ダイヤルアシスト

→国際プレフィックス番号の名称を選択

→電話をかけたい国の国名称を選択

→[発信]・[決定]

[テレビ電話]を押すと国際テレビ電話発信します。

滞在国内に電話をかける

相手先電話番号を入力→[発信]・[決定]

[テレビ電話]を押すとテレビ電話発信します。

■電話帳を利用して電話をかける

電話帳詳細画面を表示→[発信]・[決定]

→元の番号で発信

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

相手が国際ローミング中の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。

国際電話発信の設定

■「+」を自動的に国際プレフィックス番号に置き換えるように設定

[メニュー]→[設定]→ネットワーク設定

→国際ダイヤルアシスト設定

→自動変換機能設定→ON→名称を選択

→国名称を選択

■国際プレフィックス番号を登録

[メニュー]→[設定]→ネットワーク設定

→国際ダイヤルアシスト設定

→国際プレフィックス設定

→<未登録>を選んで[メール]→名称を入力

→国際プレフィックス番号を入力

■国番号を登録

[メニュー]→[設定]→ネットワーク設定

→国際ダイヤルアシスト設定

→国番号設定→<未登録>を選んで[メール]

→国名称を入力→国番号を入力

電話を受ける

電話がかかってきたら[発信]・[決定]

テレビ電話の場合、[テレビ電話]・[発信]で受けると自分のカメラ画像、[決定]で受けると代替画像を相手に送信します。

■日本から電話をかけてもらう

お客様の電話番号をダイヤル

■日本以外の国から電話をかけてもらう

「発信国の国際プレフィックス番号－81－先頭の0を除いたお客様の電話番号」をダイヤル

通信事業者の検索方法の設定

お買い上げ時の設定:オート

[メニュー]→[設定]→ネットワーク設定

→ネットワークサーチ設定→項目を選択

オート……自動的に他の通信事業者に接続し直します。設定が終了します。

マニュアル……通信事業者の一覧が表示されます。

ネットワーク再検索

……「オート」に設定しているときは、自動的に接続先が切り替わり、設定が終了します。「マニュアル」に設定しているときは、通信事業者の一覧が表示されます。

→通信事業者を選択

<切り取り線>

優先的に接続する通信事業者の設定

(メニュー)→[設定]→ネットワーク設定
→優先ネットワーク設定
→＜未登録＞を選んで(i αa)→リストから登録
→通信事業者を選択→(●)→(✉)→YES

通信事業者を待受画面に表示

(メニュー)→[設定]→ネットワーク設定
→ネットワーク名表示設定
→表示あり・表示なし

ローミング中の動作の設定

ローミングガイダンス設定

■ローミングガイダンス開始
(メニュー)→[サービス]→ローミング設定
→ローミングガイダンス設定→開始
→YES

■ローミングガイダンス停止
(メニュー)→[サービス]→ローミング設定
→ローミングガイダンス設定→停止
→YES

ローミング時着信規制

■ローミング時着信規制開始
(メニュー)→[サービス]→ローミング設定
→ローミング時着信規制→開始
→全着信規制・デジタル通信着信規制
→YES→ネットワーク暗証番号を入力

■ローミング時着信規制停止
(メニュー)→[サービス]→ローミング設定
→ローミング時着信規制→停止→YES
→ネットワーク暗証番号を入力

ネットワークサービスの利用

留守番電話サービス

■留守番サービス開始
(メニュー)→[サービス]→海外用サービス
→留守番電話(海外)
→留守番サービス開始→YES
→音声ガイダンスの指示に従って操作

■留守番サービス停止
(メニュー)→[サービス]→海外用サービス
→留守番電話(海外)
→留守番サービス停止→YES
→音声ガイダンスの指示に従って操作

■留守番メッセージ再生
(メニュー)→[サービス]→海外用サービス
→留守番電話(海外)
→留守番メッセージ再生→YES
→音声ガイダンスの指示に従って操作

■留守番サービス設定
(メニュー)→[サービス]→海外用サービス
→留守番電話(海外)
→留守番サービス設定→YES
→音声ガイダンスの指示に従って操作

■留守番呼出時間設定
(メニュー)→[サービス]→海外用サービス
→留守番電話(海外)
→留守番呼出時間設定→YES
→音声ガイダンスの指示に従って操作

転送でんわサービス

■転送サービス開始
(メニュー)→[サービス]→海外用サービス
→転送でんわ(海外)→転送サービス開始
→YES→音声ガイダンスの指示に従って操作

■転送サービス停止
(メニュー)→[サービス]→海外用サービス
→転送でんわ(海外)→転送サービス停止
→YES→音声ガイダンスの指示に従って操作

■転送サービス設定
(メニュー)→[サービス]→海外用サービス
→転送でんわ(海外)→転送サービス設定
→YES
→音声ガイダンスの指示に従って操作

ローミングガイダンス設定

(メニュー)→[サービス]→海外用サービス
→ローミングガイダンス(海外)
→YES→音声ガイダンスの指示に従って操作

遠隔操作設定

(メニュー)→[サービス]→海外用サービス
→遠隔操作設定(海外)→YES
→音声ガイダンスの指示に従って操作

番号通知お願いサービス

(メニュー)→[サービス]→海外用サービス
→番号通知お願いサービス→YES
→音声ガイダンスの指示に従って操作

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にネットワークが検索され、FOMAネットワークに設定されます。

- ネットワークを手動で切り替えている場合は、FOMAネットワーク(DoCoMo)に設定し直してください。

お問い合わせについて

海外での紛失や盗難、精算、故障については、クイックマニュアル「海外利用」表紙の「海外での紛失、盗難、精算などについて」、またはP.1の「海外での故障に関して」をご覧ください。

- 各お問い合わせ番号の先頭には、滞在先に割り当てられている「ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号」または「滞在国の国際プレフィックス番号」が必要になります。
- 携帯電話や公衆電話、ホテルなどからユニバーサルナンバーはご利用いただけない場合が多いため、ご注意ください。

<切り取り線>

マナーもいっしょに携帯しましょう

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合
航空機内、病院内では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。
※医療用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。
ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■運転中の場合
FOMA端末のご使用は、安全な走行の妨げとなり危険です。
※車を安全なところに停車させてからご使用になるか、公共モードをご利用ください。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合
静かにするべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末をご使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

●公共モード（ドライブモード／電源OFF）（P.77、P.79）
電話をかけてきた相手に、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンス、または電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

●伝言メモ機能（P.80）
電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音します。

●バイブレータ（P.130）
電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。

●マナーモード／スーパーサイレント／オリジナルマナー（P.134）
ボタン確認音・着信音などFOMA端末から鳴る音を消します（マナーモード・スーパーサイレント）。
マナーモードに伝言メモ機能の有無の設定やバイブレータ・着信音の設定の変更もできます（オリジナルマナー）。
※ただし、シャッター音は消せません。

そのほかにも、留守番電話サービス（P.403）、転送でんわサービス（P.406）などのオプションサービスが利用できます。

「ドコモeサイト」では住所変更、料金プラン変更などの各種お手続き、資料請求を承っております。

iモードから	i Menu ▶ 料金&お申込・設定 ▶ ドコモeサイト	パケット通信料無料
パソコンから	My DoCoMo (http://www.mydocomo.com/) ▶ 各種手続き(ドコモeサイト)	

※iモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※iモードからご利用いただく場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※パソコンからご利用になる場合、「DoCoMo ID/パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「DoCoMo ID/パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は下記総合お問い合わせ先にご相談ください。
※ご契約内容によってはご利用いただけない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

総合お問い合わせ先 <DoCoMo インフォメーションセンター>

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

 (局番なしの) 151 (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

 (局番なしの) 113 (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。
●なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

海外での紛失、盗難、精算などについて

<DoCoMo インフォメーションセンター>(24時間受付)

●ユニバーサルナンバー

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号 -800-0120-0151

※携帯電話でかけた場合は滞在国内通話料がかかります。

●上記ユニバーサルナンバーがご利用できない場合

滞在国の国際プレフィックス番号 -81-3-5366-3114※

※日本向け通話料がかかります。

※P903iから、ご利用の場合は+81-3-5366-3114でつながります。(「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。)
※ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号/主要国の国際プレフィックス番号は、「ご利用ガイドブック(国際サービス編)」をご覧ください。

海外での故障に関して

<ネットワークテクニカルオペレーションセンター>(24時間受付)

●ユニバーサルナンバー

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号 -800-5931-8600

※携帯電話でかけた場合は滞在国内通話料がかかります。

●上記ユニバーサルナンバーがご利用できない場合

滞在国の国際プレフィックス番号 -81-3-6718-1414※

※日本向け通話料がかかります。
※ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号/滞在国の国際プレフィックス番号の、番号は変更になる場合があります。

※P903iから、ご利用の場合は+81-3-6718-1414でつながります。(「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。)
※ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号/主要国の国際プレフィックス番号は、「ご利用ガイドブック(国際サービス編)」をご覧ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元 NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道　株式会社NTTドコモ東北　株式会社NTTドコモ
株式会社NTTドコモ東海　株式会社NTTドコモ北陸　株式会社NTTドコモ関西
株式会社NTTドコモ中国　株式会社NTTドコモ四国　株式会社NTTドコモ九州

製造元 パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社

'06.12(第4.2版)

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。

Li-ion

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています。

この取扱説明書は大豆油インキで印刷しています。

3TR004620DAA
F0906F3116-Ⓕ

FOMA® P903i

データ通信マニュアル

データ通信マニュアルについて
本マニュアルでは、FOMA P903iでデータ通信をする際に必要な事項についての説明をはじめ、CD-ROM内の「P903i通信設定ファイル」（ドライバ）・「FOMA PC設定ソフト」のインストール方法などを説明しています。

Windows® XPの操作について
本マニュアルは、Windows® XP Service Pack 2に対応した内容となっております。
お使いの環境によっては操作手順や画面が一部異なる場合があります。

FOMA端末から利用できるデータ通信について

FOMA端末とパソコンを接続してご利用できるデータ通信は、パケット通信・64Kデータ通信とデータ転送（OBEX）に分類されます。
FOMA端末はパケット通信用アダプタ機能を内蔵しています。

- 海外では、パケット通信・64Kデータ通信はご利用になれません。
- 本FOMA端末は、IP接続に対応していません。

パケット通信

送受信したデータ量に応じて通信料金がかかる通信形態です。（受信最大384kbps、送信最大64kbps）
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」など、FOMAパケット通信に対応した接続先を利用します。
パケット通信はFOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブル（別売）やBluetoothで接続し、各種設定を行うことで利用でき、高速通信を必要とするアプリケーションの利用に適しています。
P.3以降の説明に従って、設定と接続を行ってください。

- パケット通信では送受信したデータ量に応じて課金されます。画像を多く含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

64Kデータ通信

接続している時間に応じて、通信料金がかかる通信形態です。FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブル（別売）やBluetoothで接続し64kbpsの通信を行います。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」などのFOMA 64Kデータ通信対応の接続先、またはISDNの同期64K対応の接続先をご利用ください。
P.3以降の説明に従って、設定と接続を行ってください。

- 64Kデータ通信では、接続した時間量に応じて課金されます。長時間にわたる接続を行った場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

データ転送（OBEX）

赤外線やFOMA USB接続ケーブル（別売）を使ってデータを送受信する通信形態です。赤外線通信では、FOMA端末またはパソコンなど赤外線通信機能を持つ機器とデータを送受信できます。
FOMA端末とパソコン間でFOMA USB接続ケーブルを使ってデータ転送（OBEX）を行う際には、ドコモケータイdatalinkやデータリンクソフトをインストールしてください。

お知らせ

- FOMA端末からは、PIAFSなどのPHSサービス（32Kデータ通信および、64Kデータ通信）はご利用できません。
- FOMA端末は、Remote Wakeupには対応していません。
- FOMA端末はFAX通信をサポートしていません。
- FOMA端末をドコモのPDA「sigmarion II」や「musea」と接続してデータ通信を行う場合、「sigmarion II」「musea」をアップデートしてご利用ください。アップデートの方法などの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

ご使用になる前に

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットをご利用の場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」をご利用いただけます。
「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。「mopera」をご利用いただく場合は、お申し込み不要、月額使用料無料です。

接続先（インターネットサービスプロバイダなど）の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaの接続先には接続できません。
- PIAFSなどのPHS64K/32Kデータ通信の接続先には接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザ認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト（ダイヤルアップネットワーク）でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、そちらにお問い合わせください。

ブラウザ利用時のアクセス認証について

FirstPass（ユーザ証明書）が必要な場合は、添付のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定を行ってください。
詳しくはCD-ROM内の「FirstPassPCSoft」フォルダ内の「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧ください。

次ページにつづく

パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA端末で通信を行うには、以下の条件が必要になります。
- ・FOMA USB接続ケーブル（別売）が利用できるパソコンであること
- ・Bluetoothで接続する場合は、パソコンがBluetooth標準規格Ver.1.1またはVer.1.2のDial-up Networking Profile（ダイヤルアップネットワーキングプロファイル）に対応していること
- ・FOMAパケット通信、64Kデータ通信に対応したPDAであること
- ・FOMAサービスエリア内であること
- ・パケット通信の場合、接続先がFOMAのパケット通信に対応していること
- ・64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

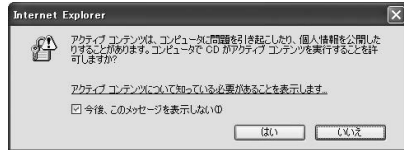
ただし、上の条件が整っていても、基地局が混雑している、または電波状況が悪い場合は通信ができないことがあります。

動作環境について

データ通信におけるパソコンの動作環境は以下のとおりです。

項　目	説　明
パソコン本体	PC-AT互換機 FOMA USB接続ケーブル（別売）を使用する場合： USBポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1準拠） Bluetoothを使用する場合： Bluetooth標準規格Ver.1.1またはVer.1.2準拠（ダイヤルアップネットワーキングプロファイル） ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color16ビット以上を推奨。
OS	Microsoft® Windows® 2000 Professional、Windows® XP Professional/Home Edition（各日本語版）
必要メモリ	Microsoft® Windows® 2000 Professional：64Mバイト以上 Windows® XP Professional/Home Edition：128Mバイト以上 （各日本語版）
ハードディスク容量	5Mバイト以上の空き容量

- ●OSアップグレードからの動作は保証いたしかねます。
- ●必要メモリおよびハードディスクの空き容量はシステム環境によって異なることがあります。

CD-ROMをパソコンにセットすると、下記のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。
「はい」をクリックしてください。
※画面はWindows® XPを使用した場合の例です。お使いのパソコンの環境により異なる場合があります。

必要な機器について

FOMA端末とパソコン以外に以下のハードウェア、ソフトウェアを使います。
- ・FOMA USB接続ケーブル（別売）
- ・添付CD-ROM「FOMA P903i用CD-ROM」

お知らせ
- ●USBケーブルは専用の「FOMA USB接続ケーブル」をお買い求めください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。

FOMA端末と他の機器との接続方法

FOMA端末と他の機器を接続するには、次の3つの方法があります。

FOMA USB接続ケーブルを使う

FOMA USB接続ケーブル（別売）を使って、USBポートを装備したパソコンと接続します。（P.3参照）
パケット通信、64Kデータ通信、データ転送のすべての通信形態に利用できます。
- ●データ通信を行うには「USBモード設定」を「通信モード」に設定してください。
  「(メニュー)▶設定▶その他▶USBモード設定▶通信モード」の操作を行います。
- ●ご使用前にP903i通信設定ファイル（ドライバ）のインストールが必要です。

Bluetoothを使う

Bluetooth対応パソコンとFOMA端末をワイヤレス接続します。（P.7参照）
パケット通信、64Kデータ通信を行う場合に利用できます。
- ●通信の際はBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムをご使用ください。ご使用になる場合のインストール方法や設定方法については、ご使用のパソコンメーカまたはBluetooth機器メーカにご確認ください。

赤外線通信を使う

赤外線を使って、FOMA端末と赤外線通信機能が搭載された他のFOMA端末、携帯電話、パソコンなどとデータを送受信します。
データ転送を行う場合のみ利用できます。

■用語解説

- APN
  Access Point Nameの略です。パケット通信において、接続先のインターネットサービスプロバイダや企業内LANを識別します。例えばmopera Uの場合は「mopera.net」のような文字列で表します。
- cid
  Context Identifierの略です。パケット通信をする際に、FOMA端末にあらかじめ登録するAPNの登録番号です。FOMA端末では、1から10までの10件を登録できます。
- Administrator権限・管理者権限
  本書では、Windows® XP、Windows® 2000 Professionalのシステムのすべてにアクセスできる権限のことを指しています。通常、Administratorsのグループに所属したユーザーはこの権限を持っています。一方、Administrator権限または管理者権限を持たないユーザーはシステムへのアクセスが限定されているため、通信設定ファイル（ドライバ）のインストールなどを行うとエラーになります。パソコンの管理者権限の設定については、各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合わせください。
- DNS
  Domain Name Systemの略です。「nttdocomo.co.jp」のような人間が理解しやすい名前を、コンピュータが管理しやすい数字で表したアドレスに変換するシステムのことです。
- OBEX
  OBEX（Object Exchange）は、IrDA（Infrared Data Association）が規定したデータ通信についての国際規格（プロトコル）です。
  OBEX規格に対応した機器やソフトウェアを使うことで、携帯電話、パソコン、デジタルカメラ、プリンタなどさまざまな情報機器間で、データの送受信ができます。
- IrDA
  Infrared Data Associationの略です。赤外線を用いたデータ通信の規格の制定、促進を行う国際的な組織です。
- IrMC
  Ir Mobile Communicationsの略です。IrDAが定めた規格で、電話帳、スケジュール、メール、フリーメモ等のデータ交換方法が定められています。また、機器間の通信には、OBEX規格を使用することが規定されています。
- QoS
  Quality of Serviceの略でネットワークのサービス品質です。FOMA端末のQoS設定では、速度を限定しないで接続するかあるいは最高速度（上り64kbps、下り384kbps）でのみ接続するかを設定できます。（接続後の速度は可変します。）詳しくはP.36参照。
- W-TCP
  FOMAネットワークでパケット通信を行うときに、TCP/IPの伝送能力を最大限に生かすためのTCPパラメータです。「Wireless」、「W-CDMA」、「Windows®」の環境下でFOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、TCPパラメータの最適化が必要です。
- W-CDMA
  世界標準規格として認定された第三世代移動通信システム（IMT-2000）の1つです。
  FOMA端末は、W-CDMA規格に準拠しています。

データ通信の準備の流れ

パケット通信・64Kデータ通信を行う場合の準備について説明します。以下のような流れになります。

■添付の「FOMA P903i用CD-ROM」について

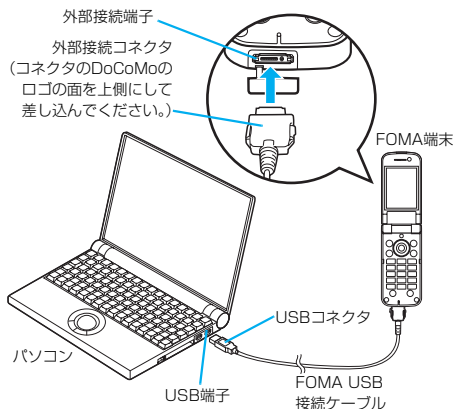
FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブルで接続してパケット通信を行うときには、添付の「FOMA P903i用CD-ROM」の「P903i通信設定ファイル」（ドライバ）をパソコンにインストールしてください。また、通信を行う際にAPNやダイヤルアップの設定が簡単に行える「FOMA PC設定ソフト」をインストールすることをおすすめします。
「P903i通信設定ファイル」（ドライバ）のインストール方法はP.4～P.6参照。
「FOMA PC設定ソフト」のインストール方法はP.9参照。

パソコンとFOMA端末を接続する

FOMA USB接続ケーブル（別売）の取り付け方法について説明します。

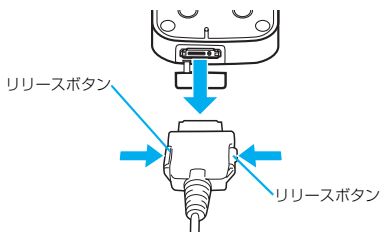
1 FOMA端末の外部接続端子の向きを確認し、FOMA USB接続ケーブルの外部接続コネクタをまっすぐ「カチッ」と音がするまで差し込む

次ページにつづく

2 FOMA USB接続ケーブルのUSBコネクタをパソコンのUSB端子に接続する

お知らせ

- FOMA USB接続ケーブルのコネクタは無理に差し込まないでください。故障の原因となります。各コネクタは正しい向き、正しい角度で差し込まないと接続できません。正しく差し込んだときは、強い力を入れなくてもスムーズに差し込めるようになっています。うまく差し込めないときは、無理に差し込まず、もう一度コネクタの形や向きを確認してください。
- USBケーブルは専用のFOMA USB接続ケーブルをお買い求めください。（パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。）
- FOMA端末に表示される「 」は、パケット通信または64Kデータ通信の通信設定ファイル（ドライバ）のインストールを行い、パソコンとの接続が認識されたときに表示されます。通信設定ファイル（ドライバ）のインストール前には、パソコンとの接続が認識されず、「 」も表示されません。

■取り外し方

1. FOMA USB接続ケーブルの外部接続コネクタのリリースボタンを押しながら、まっすぐ引き抜く。
2. パソコンのUSB端子からFOMA USB接続ケーブルを引き抜く。

お知らせ

- FOMA USB接続ケーブルは無理に取り外さないでください。故障の原因となります。
- データ通信中はFOMA USB接続ケーブルを取り外さないでください。パソコンやFOMA端末の誤動作や故障、データ消失の原因となります。
- FOMA USB接続ケーブルの取り付け・取り外しは連続して行わないでください。一度、取り付け・取り外しを行った場合は、間隔をおいてから再び行ってください。

通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

通信設定ファイル（ドライバ）のインストールは、ご使用になるパソコンにFOMA端末をFOMA USB接続ケーブルで初めて接続するときに必要です。

- Bluetoothでワイヤレス接続する場合は通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする必要はありません。
- 必ずAdministrator権限またはパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。

Windows® XPの場合

1 FOMA端末とFOMA USB接続ケーブル（別売）を接続する（P.3参照）

2 Windows®を起動し「FOMA P903i用CD-ROM」をパソコンにセットする

3 「FOMA P903i CD-ROM」の画面を閉じる

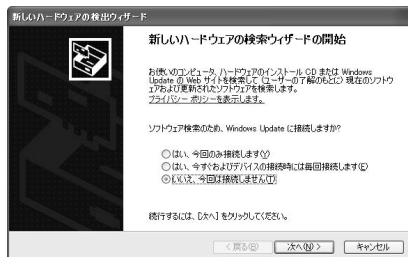
- この画面は「FOMA P903i用CD-ROM」をパソコンにセットすると、自動的に表示されますが、お使いのパソコンの設定によっては、表示されないことがあります。その場合は、手順4へ進みます。
- 「P903i通信設定ファイル」（ドライバ）のインストール中にこの画面が表示された場合も画面を閉じてください。

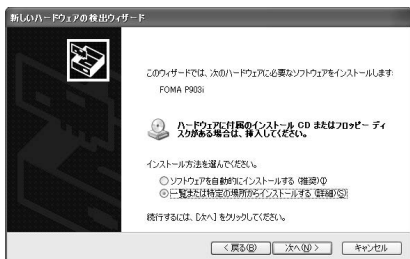
4 FOMA端末の電源を入れて、FOMA端末と接続したFOMA USB接続ケーブルをパソコンに接続する

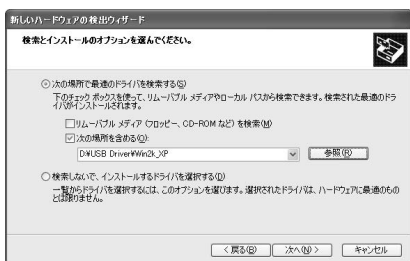
5 インストールを始める

タスクバーのインジケータから「新しいハードウェアが見つかりました」というポップアップのメッセージが数秒間表示されたあと、下の画面が表示されます。
「いいえ、今回は接続しません」を選択し、「次へ」をクリックします。

- お使いのパソコンにより、この画面は表示されない場合があります。

次ページにつづく

6 インストール方法を選ぶ

「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択し、「次へ」をクリックします。

7 ドライバを選ぶ

「次の場所で最適のドライバを検索する」を選んだあと、「リムーバブル メディア（フロッピー、CD-ROMなど）を検索」のチェックを外し、「次の場所を含める」をチェックします。「参照」をクリックし、「<CD-ROMドライブ名>:¥USB Driver¥Win2k_XP」を指定し、「次へ」をクリックします。（CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります。）

8 「完了」をクリックする

4つの「P903i通信設定ファイル」（ドライバ）（P.6参照）がすべてインストールされます。
すべての「P903i通信設定ファイル」（ドライバ）のインストールが完了すると、タスクバーのインジケータから「新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました。」というポップアップメッセージが数秒間表示されます。

引き続き、「P903i通信設定ファイル」（ドライバ）が正しくインストールされていることを確認します。（P.6）

Windows® 2000 Professionalの場合

1 FOMA端末とFOMA USB接続ケーブル（別売）を接続する（P.3参照）

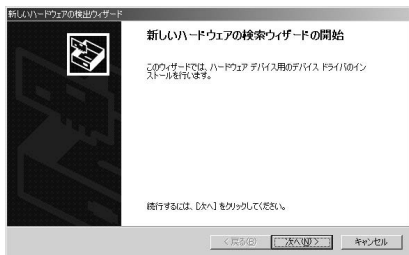
2 Windows®を起動し「FOMA P903i用CD-ROM」をパソコンにセットする

3 「FOMA P903i CD-ROM」の画面を閉じる

- この画面は「FOMA P903i用CD-ROM」をパソコンにセットすると、自動的に表示されますが、お使いのパソコンの設定によっては、表示されないことがあります。
  その場合は、手順4へ進みます。
- 「P903i通信設定ファイル」（ドライバ）のインストール中にこの画面が表示された場合も画面を閉じてください。

4 FOMA端末の電源を入れて、FOMA端末と接続したFOMA USB接続ケーブルをパソコンに接続する

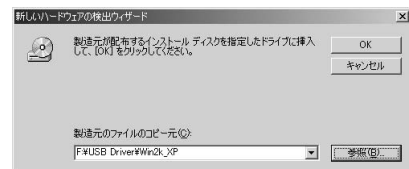
5 インストールを始める

「次へ」をクリックします。

6 「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、「次へ」をクリックする

- お使いのパソコンによっては「USB DEVICE」と表示されることがあります。

7 「場所を指定」を選択し、「次へ」をクリックする

8 検索するフォルダを指定する

フォルダ名は、「<CD-ROMドライブ名>:¥USB Driver¥Win2k_XP」です。
検索するフォルダを指定したら、「OK」をクリックします。（CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります。）
- ドライバはWindows® XPと共通です。

9 ドライバ名（P.6参照）を確認して、「次へ」をクリックする

ここでは「FOMA P903i」と表示されます。
- お使いのパソコンによっては「USB DEVICE」と表示されることがあります。

10 「完了」をクリックする

4つの「P903i通信設定ファイル」（ドライバ）（P.6参照）がすべてインストールされます。

引き続き、「P903i通信設定ファイル」（ドライバ）が正しくインストールされていることを確認します。（P.6）

インストールしたドライバを確認する

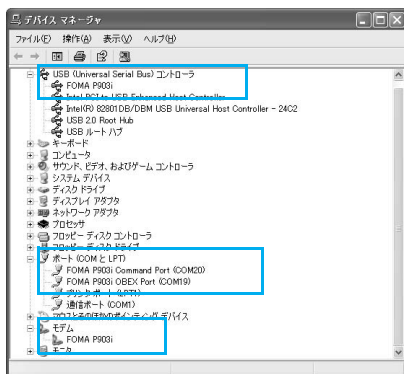
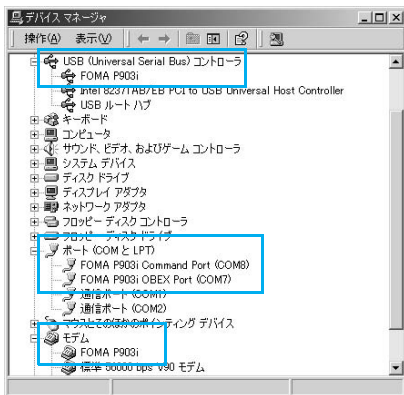
「P903i通信設定ファイル」（ドライバ）が正しくインストールされていることを確認します。

1 <Windows® XPの場合>
「スタート」▶「コントロールパネル」を開く ▶「パフォーマンスとメンテナンス」 ▶「システム」を開く

<Windows® 2000 Professionalの場合>
「スタート」▶「設定」▶「コントロールパネル」を開く▶「システム」を開く

2 「ハードウェア」タブをクリック ▶「デバイスマネージャ」をクリックする

3 各デバイスをクリックして、インストールされたドライバ名を確認する

「ポート（COMとLPT）」、「モデム」、「USB（Universal Serial Bus）コントローラ」の下にすべてのドライバ名が表示されていることを確認します。

Windows® XPの場合

Windows® 2000 Professionalの場合

※COMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。

「P903i通信設定ファイル」（ドライバ）をインストールすると、以下のドライバがインストールされます。

デバイス名	P903i通信設定ファイル（ドライバ）名
ポート（COMとLPT）	· FOMA P903i Command Port · FOMA P903i OBEX Port
モデム	· FOMA P903i
USB（Universal Serial Bus）コントローラ	· FOMA P903i

「FOMA PC設定ソフト」を使って接続先の設定をするにはP.9参照。
「FOMA PC設定ソフト」を使わずに接続先の設定をするにはP.19、P.29参照。

通信設定ファイル（ドライバ）をアンインストールする

「P903i通信設定ファイル」（ドライバ）のアンインストールが必要になった場合（バージョンアップする場合など）は、次の手順で行ってください。ここではWindows® XPを例にしてアンインストールを説明します。

- 必ずAdministrator権限またはパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。

1 FOMA端末とパソコンがFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続されている場合は、FOMA USB接続ケーブルを取り外す

2 「スタート」▶「コントロールパネル」 ▶「プログラムの追加と削除」を開く

3 「FOMA P903i USB」を選択して、「変更と削除」をクリックする

4 「OK」をクリックする

5 「はい」をクリックしてWindows®を再起動する

以上でアンインストールは終了です。
- 「いいえ」をクリックした場合は、手動で再起動をしてください。

お知らせ

- 「P903i通信設定ファイル」（ドライバ）をインストールするときに、途中でパソコンからFOMA USB接続ケーブルを抜いてしまったり、「キャンセル」ボタンをクリックしてインストールを中止してしまった場合は、「P903i通信設定ファイル」（ドライバ）が正常にインストールされない場合があります。このような場合は、「FOMA P903i用CD-ROM」内の「USB Driver」→「Uninst」を開き「p903iun.exe」を実行して「P903i通信設定ファイル」（ドライバ）を一度削除してから、再度インストールし直してください。

<ダイヤルアップ通信サービス>

Bluetooth通信を準備する

Bluetooth対応パソコンとFOMA端末をワイヤレス接続して、データ通信を行います。

初めてパソコンと接続する

初めてFOMA端末に接続するパソコンの場合、パソコンをFOMA端末に登録します。

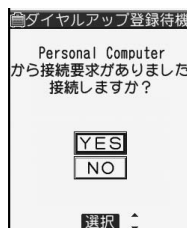
1 メニュー▶LifeKit▶Bluetooth▶ダイヤルアップ登録待機

2 端末暗証番号を入力

- 解除する場合は待機中に◎（中止）を押します。また、待機中に5分間接続がなかった場合は自動的に解除されます。
- 接続待機中は「(青色)」が点灯します。

3 パソコンからBluetoothデバイスの検索と機器登録をする

- FOMA端末が接続待機中に、パソコンで機器登録を行ってください。
- パソコンの操作方法の詳細は、ご使用になるパソコンの取扱説明書をお読みください。
（ご覧になる取扱説明書によっては、「検索」の代わりに「探索」または「サーチ」、「機器登録」の代わりに「ペアリング」と表記されています。）

4 接続要求の画面が表示されたら「YES」を選択

5 Bluetoothパスキーのテキストボックスを選択▶Bluetoothパスキーを入力▶確定

- Bluetoothパスキーは半角英数字で1～16桁入力できます。
- FOMA端末とパソコンに同一のBluetoothパスキーを入力してください。

6 パソコンが機器登録されワイヤレス接続が開始されます

接続が完了すると、「(青色)」が点滅します。

お知らせ

- ダイヤルアップ登録待機中はヘッドセットサービスまたはハンズフリーサービスの接続待機はできません。
- パソコンにFOMA端末を登録する際、パソコンが複数の機器を検索した場合は、機器名称でFOMA端末を判別してください。パソコンが同一名称の機器を複数検索した場合は、機器アドレスで判別してください。
- ダイヤルアップ登録待機中は、周囲のすべてのBluetooth機器から検索されますが、ダイヤルアップ通信サービス以外のサービスは接続できません。

■登録済みのパソコンと接続するには
登録済みのパソコンからFOMA端末に接続する場合、「接続待機」で「ダイヤルアップ」を接続待機に設定しておけば、パソコンから接続操作を行うとFOMA端末に接続できます。
「ダイヤルアップ登録待機」中でも接続できます。

モデムの確認をする

通信の設定を行う前にご使用になるモデムのモデム名やダイヤルアップ接続用に設定されたCOMポート番号を確認しておきます。

1 <Windows® XPの場合>
「スタート」▶「コントロールパネル」を開く▶「パフォーマンスとメンテナンス」▶「システム」を開く

<Windows® 2000 Professionalの場合>
「スタート」▶「設定」▶「コントロールパネル」を開く▶「システム」を開く

2 「ハードウェア」タブをクリック▶「デバイスマネージャ」をクリックする

3 各デバイスをクリックして、モデム名またはCOMポート番号を確認する

「ポート（COMとLPT）」、「モデム」の下にモデム名またはCOMポート番号が表示されています。

「FOMA PC設定ソフト」を使って接続先の設定をするにはP.9参照。
「FOMA PC設定ソフト」を使わずに接続先の設定をするにはP.19、P.29参照。

ダイヤルアップ通信サービスを停止する

接続中のダイヤルアップ通信サービスを停止します。

1 メニュー▶LifeKit▶Bluetooth▶登録機器リスト

2 接続中のBluetooth機器を選択

3 ダイヤルアップ▶YES

ダイヤルアップ通信サービスが停止します。

FOMA PC設定ソフトによる通信の設定

STEP1　ソフトのインストール

「FOMA PC設定ソフト」をインストールします。

インストール方法についてはP.9参照。
本「FOMA PC設定ソフト」（バージョン3.0.1）より以前のバージョンがインストールされている場合は、本「FOMA PC設定ソフト」をインストールできませんので、あらかじめアンインストールしてください。旧「W-TCP設定ソフト」および、旧「FOMAデータ通信設定ソフト」がインストールされているという画面が出た場合はP.10参照。

STEP2　設定前の準備

各種設定前の準備をします。

各種設定の前にFOMA端末にパソコンが接続され、正しく認識されていることを確認してください。FOMA USB接続ケーブル（別売）の取り付け方法ついてはP.3参照。
Bluetoothの接続方法についてはP.7参照。
FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、各種設定および通信を行えません。FOMA端末がパソコンに正しく認識されているか確認するにはP.6参照。
「P903i通信設定ファイル」（ドライバ）のインストール方法についてはP.4～P.6参照。

STEP3　各種設定作業

ご利用の通信に対応した設定をします。

かんたん設定からパケット通信を設定する
　「mopera U」または「mopera」を
　接続先として利用する場合 P.11
　「mopera U」または「mopera」以外の
　プロバイダを利用する場合 P.12
かんたん設定から64Kデータ通信を設定する
　「mopera U」または「mopera」を
　接続先として利用する場合 P.14
　「mopera U」または「mopera」以外の
　プロバイダを利用する場合 P.14
W-TCP設定でパケット通信性能を最適化するにはP.17参照。
接続先（APN）を設定するにはP.18参照。

STEP4　接　続

インターネットに接続します。

FOMA PC設定ソフトについて

FOMA端末をパソコンに接続してパケット通信や64Kデータ通信を行うには、通信に関するさまざまな設定が必要です。「FOMA PC設定ソフト」を使うと、簡単な操作で以下の設定ができます。「FOMA PC設定ソフト」を使わずに、パケット通信や64Kデータ通信を設定することもできます。（P.19、P.29参照）

■かんたん設定
ガイドに従い操作することで「FOMAデータ通信用ダイヤルアップの作成」や「W-TCPの設定」などをかんたんに行います。

■W-TCPの設定
「FOMAパケット通信」を利用する前に、パソコン内の通信設定を最適化します。
通信性能を最大限に活用するには、W-TCP設定による通信設定の最適化が必要になります。

■接続先（APN）の設定
パケット通信に必要な接続先（APN）の設定を行います。
FOMAパケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり通常の電話番号は使用しません。
あらかじめ接続先ごとに、FOMA端末にAPN（Access Point Name）と呼ばれる接続先名を登録し、その登録番号（cid）を接続先番号欄に指定して接続します。
お買い上げ時、cid※の1番にはmoperaの接続先（APN）「mopera.ne.jp」が、cid※の3番にはmopera Uの接続先（APN）「mopera.net」が登録されていますが、その他のプロバイダや企業内LANに接続する場合は接続先（APN）の設定が必要になります。
※「Context Identifier」のことで、パケット通信の接続先（APN）をFOMA端末に登録する番号

お知らせ

- 旧「W-TCP設定ソフト」、旧「FOMAデータ通信設定ソフト」または、本「FOMA PC設定ソフト」（バージョン3.0.1）より以前のバージョンをインストールされている場合は、あらかじめそれらのソフトをアンインストールしてください。

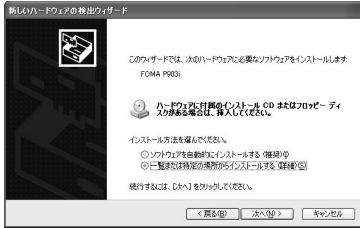
FOMA PC設定ソフトをインストールする

FOMA端末をパソコンに接続してパケット通信や64Kデータ通信を行うには、通信に関するさまざまな設定が必要です。
「FOMA PC設定ソフト」を使うと、簡単な操作でダイヤルアップ、W-TCPや接続先（APN）の設定ができます。
- 必ずAdministrator権限またはパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。

FOMA PC設定ソフトインストール時の注意

FOMA端末がパソコンに正しく認識されているかご確認ください

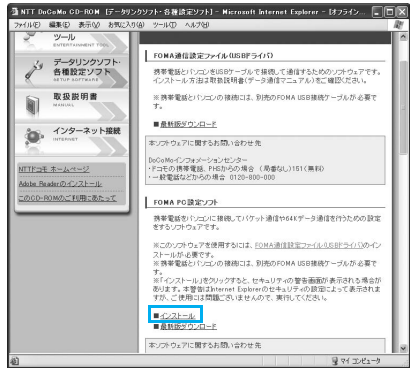
「FOMA PC設定ソフト」をインストールする前に、パソコンのデバイス上に「P903i通信設定ファイル」（ドライバ）（P.6参照）が正しく登録されている必要があります。（P.6参照）

■FOMA端末をはじめてパソコンに接続すると
下のようなウィザードが開始されます。FOMAデータ通信を利用するには、ご利用のパソコン側に、FOMA端末が「通信デバイス」として登録されている必要があります。
「P903i通信設定ファイル」（ドライバ）のインストールについてはP.4～P.6参照。

FOMA PC設定ソフトをインストールする

ここではWindows® XPにインストールするときの画面を掲載しています。お使いのパソコンにより画面の表示が多少異なります。

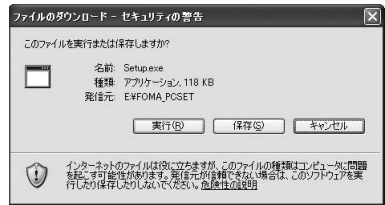
1 添付の「FOMA P903i用CD-ROM」をパソコンにセットする

2 「FOMA PC設定ソフト」をインストールするには「データリンクソフト・各種設定ソフト」をクリックする

メニューが動作する推奨環境はMicrosoft® Internet Explorer6.0以降です。お使いのパソコンが推奨環境を満たさないときや、CD-ROMをセットしてもメニューが表示されない場合は次の手順で操作してください。
マイコンピュータ等でCD-ROMを参照して、「FOMA_PCSET」フォルダ内にある「setup.exe」をダブルクリックしてください。
- 「FOMA PC設定ソフト」のインストール中にこの画面が表示された場合は画面を閉じてください。

3 「FOMA PC設定ソフト」の「インストール」をクリックする

「インストール」をクリックすると、下記のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。
- 「ファイルのダウンロードーセキュリティの警告」ウィンドウが表示された場合
「実行」をクリックしてください。

- 「Internet Explorerーセキュリティの警告」ウィンドウが表示された場合
「実行する」をクリックしてください。

次ページにつづく

4 「次へ」をクリックする

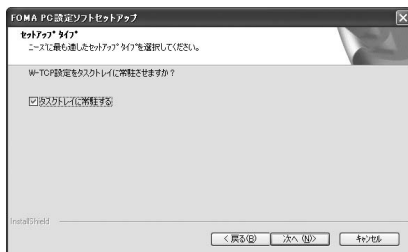
セットアップを始める前に、現在稼働中の他のプログラムがないことをご確認ください。ご使用中のプログラムがあった場合は、「キャンセル」をクリックして、ご使用中のプログラムを保存終了させたあとインストールを再開してください。

- 「旧W-TCP設定ソフト」、「旧FOMAデータ通信設定ソフト」および「旧FOMA PC設定ソフト」がインストールされているという画面が出た場合はP.10参照。

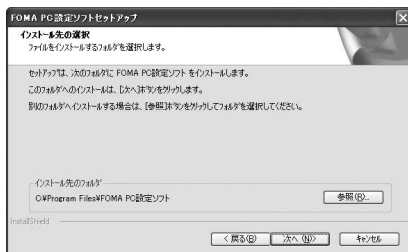
5 内容をご確認の上、契約内容にご同意いただける場合は、「はい」をクリックする

6 セットアップタイプを選択する

セットアップ後、タスクトレイに「W-TCP設定」を常駐させるかどうか選択できます。「W-TCP設定」がタスクトレイにあれば、「W-TCP通信」の設定・解除が簡単に操作できます。通常は「タスクトレイに常駐する」にチェックを付けたまま、「次へ」をクリックしてインストールを続けてください。

- 「タスクトレイに常駐する」のチェックを外して設定した場合でも「FOMA PC設定ソフト」の「メニュー」→「W-TCP設定をタスクトレイに常駐させる」を選択することにより設定変更可能です。

デスクトップの右下（通常）のタスクトレイに表示されます。

7 インストール先を確認して、「次へ」をクリックする

変更する場合は、「参照」をクリックして、任意のインストール先を指定して「次へ」をクリックしてください。
（異なったドライブにもインストールできますが、ハードディスクスペースなどの問題がなければそのままお進みください。）

8 プログラムフォルダのフォルダ名を確認して、「次へ」をクリックする

変更する場合は、新規フォルダ名を入力して、「次へ」をクリックしてください。

9 「完了」をクリックする

セットアップが完了すると、「FOMA PC設定ソフト」の操作画面が起動します。

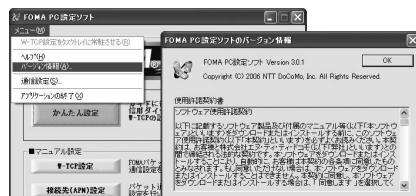
■「FOMA PC設定ソフト」インストール時の画面表示

旧「W-TCP設定ソフト」がインストールされている場合
警告画面が表示されます。
「アプリケーションの追加と削除」から旧バージョンの「W-TCP設定ソフト」をアンインストールしてください。

旧「FOMAデータ通信設定ソフト」がインストールされている場合
警告画面が表示されます。
「アプリケーションの追加と削除」から旧バージョンの「FOMAデータ通信設定ソフト」をアンインストールしてください。

本「FOMA PC設定ソフト」（バージョン3.0.1）より以前のバージョンがインストールされている場合
警告画面が表示されます。
「アプリケーションの追加と削除」から旧バージョンの「FOMA PC設定ソフト」をアンインストールしてください。

インストール途中で「キャンセル」を押した場合
セットアップの途中で「キャンセル」や「いいえ」をクリックした場合、確認画面が表示されます。インストールを継続する場合は「いいえ」を、意図的に中止する場合は「はい」をクリックし、「完了」をクリックしてください。

■「FOMA PC設定ソフト」のバージョン情報の確認について

「FOMA PC設定ソフト」の「メニュー」→「バージョン情報」を選択します。
「FOMA PC設定ソフト」のバージョン情報が表示されます。

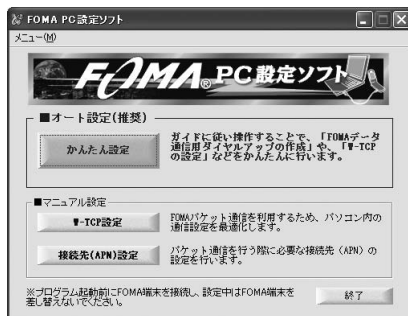
通信の設定を行う

パケット通信や64Kデータ通信に関するさまざまな設定をします。
簡単に設定できる「オート設定」とパソコンの知識が必要な「マニュアル設定」があります。
設定の前にFOMA端末がパソコンに接続されているかご確認ください。

1 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「FOMA PC設定ソフト」▶「FOMA PC設定ソフト」を開く

<Windows® 2000 Professionalの場合>
「スタート」→「プログラム」→「FOMA PC設定ソフト」→「FOMA PC設定ソフト」を開く

この設定ソフトでは、お客様の選択した「接続方法」および「接続プロバイダの情報」に従い、表示される設問に対する選択・入力を進めていくと、簡単にFOMA用ダイヤルアップを作成できます。

・「かんたん設定」からパケット通信を設定する場合はP.11参照。
・「かんたん設定」から64Kデータ通信を設定する場合はP.14参照。
・「W-TCP設定」を設定する場合はP.17参照。
・「接続先（APN）設定」をする場合はP.18参照。

通信ポート指定について

1 「FOMA PC設定ソフト」の「メニュー」▶「通信設定」を選択する

・自動設定（推奨）
　自動的に接続されているFOMA端末を指定します。
　通常は自動設定をお選びください。
・COMポート指定
　COMポート番号を指定したい場合に、ご利用のFOMA端末が接続されているCOMポート番号（COM1～99）を指定します。

●Bluetoothでワイヤレス接続する場合に、自動設定で接続できなかったときはCOMポート番号を指定してください。
●COMポート番号の確認方法についてはP.20参照。

2 「OK」をクリックする

設定が適用されます。

かんたん設定からパケット通信を選択する

「mopera U」または「mopera」を接続先として利用する場合

パケット通信は、通信時間や距離に関係なく送受信されたデータ量に応じて料金が計算される通信方式です。（受信最大384kbps、送信最大64kbps）
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」をご利用いただけます。

1 「かんたん設定」をクリックする

2 「パケット通信」を選択して、「次へ」をクリックする

「パケット通信」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」をクリックしてください。

3 「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択して、「次へ」をクリックする

mopera Uを利用する場合は「『mopera U』への接続」を選択します。moperaを利用する場合は「『mopera』への接続」を選択します。
「『mopera U』への接続」を選択した場合は、ご契約がお済みかどうかの確認画面が表示されます。ご契約がお済みの場合、「はい」をクリックします。

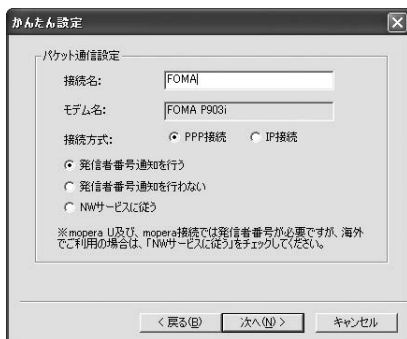
●「mopera U」または「mopera」以外のプロバイダをご利用の場合はP.12参照。

4 「OK」をクリックする

●パソコンに接続されたFOMA端末から接続先（APN）設定を取得します。しばらくお待ちください。

5 接続名を入力して、「次へ」をクリックする

現在作成している接続の名前を自由に設定できます。わかりやすい名前を「接続名」欄にご入力ください。

●半角の「¥」「/」「:」「*」「?」「!」「<」「>」「|」「"」は入力できません。
●Bluetoothでワイヤレス接続する場合は、「モデム名」がご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの名前になります。
●本端末はPPP接続のみに対応しておりますので、接続方式は「PPP接続」を選択してください。
●ダイヤルアップ時に発信者番号通知を行うかどうかを選択してください。「mopera U」および「mopera」に接続する場合は発信者番号が必要です。

6 「次へ」をクリックする

接続先が「mopera U」または「mopera」の場合は、ユーザー名・パスワードについては空欄でも接続できます。

●ユーザーの選択は任意に行ってください。

7 「最適化を行う」にチェックを付け、「次へ」をクリックする

●すでに最適化されている場合、最適化を行うための確認画面は表示されません。

8 設定情報の確認をして、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りのないことを確認して、「完了」をクリックしてください。

●設定内容を変更する場合は、「戻る」をクリックします。
●「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」にチェックが付いていれば、デスクトップにショートカットが作成されます。

9 「OK」をクリックする

設定が完了しました。

デスクトップに自動作成されたダイヤルアップのショートカットアイコンを開くと、通信接続を開始するための接続画面が表示されます。接続確認後、インターネットブラウザやメールブラウザを起動して通信できます。（P.15参照）

●「最適化」を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。

「mopera U」または「mopera」以外のプロバイダを接続先として利用する場合

パケット通信は、通信時間や距離に関係なく送受信されたデータ量に応じて料金が計算される通信方式です。（受信最大384kbps、送信最大64kbps）「mopera」以外のプロバイダを利用する場合は、別途契約申し込み等が必要となる場合があります。

1 「かんたん設定」をクリックする

2 「パケット通信」を選択して、「次へ」をクリックする

「パケット通信」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」をクリックしてください。

3 「その他」を選択して、「次へ」をクリックする

「その他」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」をクリックしてください。

4 「OK」をクリックする

●パソコンに接続されたFOMA端末から接続先（APN）設定を取得します。しばらくお待ちください。

次ページにつづく

5 接続名を入力する

現在作成している接続の名前を自由に設定できます。わかりやすい名前を「接続名」欄にご入力ください。

- 半角の「¥」「/」「:」「*」「?」「!」「<」「>」「|」「"」は入力できません。
- 「接続先（APN）の選択」欄には標準で「mopera.ne.jp（PPP接続）」が設定されていますが、「接続先（APN）設定」画面に進んでください。
- Bluetoothでワイヤレス接続する場合は、「モデム名」がご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの名前になります。
- ダイヤルアップ時に発信者番号通知を行うかどうかを選択します。発信者番号通知の設定については、ご利用になるプロバイダの指示情報に従ってください。

6 「接続先（APN）設定」をクリックする

お買い上げ時、番号（cid）1には「mopera.ne.jp」が、番号（cid）3には「mopera.net」が設定されています。「追加」をクリックして、「接続先（APN）の追加」画面で、FOMAパケット通信に対応した接続先名（APN）を正しく入力して、「OK」をクリックします。
「パケット通信設定」の画面に戻ります。新たに設定した接続先（APN）を選択して、よろしければ「OK」をクリックしてください。

- 本端末はPPP接続のみに対応しておりますので、接続方式は「PPP接続」を選択してください。
  プロバイダの接続先（APN）、対応する接続方式については、各プロバイダにお問い合わせください。

7 「詳細情報の設定」をクリックする

「IPアドレス」・「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報をもとに、各種アドレスを設定して「OK」をクリックします。

8 「次へ」をクリックする

9 ユーザー名・パスワードを設定して、「次へ」をクリックする

ユーザー名・パスワードの設定は、インターネットサービスプロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字などに注意し、正確に入力してください。

- ユーザーの選択は任意に行ってください。

10 「最適化を行う」にチェックを付け、「次へ」をクリックする

- すでに最適化されている場合、最適化を行うための確認画面は表示されません。

11 設定情報の確認をして、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りのないことを確認して、「完了」をクリックしてください。

- 設定内容を変更する場合は、「戻る」をクリックします。
- 「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」にチェックが付いていれば、デスクトップにショートカットが作成されます。

12 「OK」をクリックする

設定が完了しました。
デスクトップに自動作成されたダイヤルアップのショートカットアイコンを開くと、通信接続を開始するための接続画面が表示されます。接続確認後、インターネットブラウザやメールブラウザを起動して通信できます。（P.15参照）

- 「最適化」を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。

かんたん設定から64Kデータ通信を選択する

「mopera U」または「mopera」を接続先として利用する場合

64Kデータ通信は接続した時間量に応じて料金が計算される通信方式です。(通信速度最大64kbps)
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」をご利用いただけます。

1 「かんたん設定」をクリックする

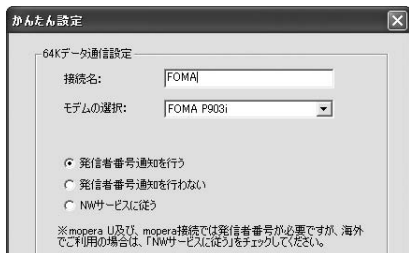
2 「64Kデータ通信」を選択して、「次へ」をクリックする

「64Kデータ通信」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」をクリックしてください。

3 「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択して、「次へ」をクリックする

mopera Uを利用する場合は「『mopera U』への接続」を選択します。moperaを利用する場合は「『mopera』への接続」を選択します。
「『mopera U』への接続」を選択した場合は、ご契約がお済みかどうかの確認画面が表示されます。ご契約がお済みの場合、「はい」をクリックします。
- 「mopera U」または「mopera」以外のプロバイダをご利用の場合はP.14参照。

4 接続名を入力して、「次へ」をクリックする

現在作成している接続の名前を自由に設定できます。わかりやすい名前を「接続名」欄にご入力ください。
また、「モデムの選択」欄で、FOMA P903iが表示されていることをご確認ください。
- 半角の「¥」「/」「:」「*」「?」「!」「<」「>」「|」「"」は入力できません。
- Bluetoothでワイヤレス接続する場合は、「モデムの選択」で、ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの名前を選択してください。
- ダイヤルアップ時に発信者番号通知を行うかどうかを選択してください。「mopera U」および「mopera」に接続する場合は発信者番号が必要です。

5 「次へ」をクリックする

接続先が「mopera U」または「mopera」の場合は、ユーザー名・パスワードについては空欄でも接続できます。
- ユーザーの選択は任意に行ってください。

6 設定情報の確認をして、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りのないことを確認して、「完了」をクリックしてください。
- 設定内容を変更する場合は、「戻る」をクリックします。
- 「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」にチェックが付いていれば、デスクトップにショートカットが作成されます。

7 「OK」をクリックする

設定が完了しました。
デスクトップに自動作成されたダイヤルアップのショートカットアイコンを開くと、通信接続を開始するための接続画面が表示されます。接続確認後、インターネットブラウザやメールブラウザを起動して通信できます。(P.15参照)

「mopera U」または「mopera」以外のプロバイダを接続先として利用する場合

64Kデータ通信は接続した時間量に応じて料金が計算される通信方式です。(通信速度最大64kbps)
「mopera」以外のプロバイダを利用する場合は、別途契約申し込み等が必要となる場合があります。

1 「かんたん設定」をクリックする

2 「64Kデータ通信」を選択して、「次へ」をクリックする

「64Kデータ通信」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」をクリックしてください。

3 「その他」を選択して、「次へ」をクリックする

「その他」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」をクリックしてください。

次ページにつづく

4 ダイヤルアップ情報を入力する

「mopera U」または「mopera」以外のISDN同期64K対応プロバイダに接続する場合は、ダイヤルアップ作成時に、
①接続名の入力（任意）
②モデムの選択（FOMA P903i）
③プロバイダ接続の電話番号
をそれぞれに登録します。
④ダイヤルアップ時に発信者番号通知を行うかどうかを選択します。
プロバイダ情報を元に正しく入力してください。

- 発信者番号通知の設定については、ご利用になるプロバイダの指示情報に従ってください。
- 「接続名」欄に半角の「¥」「/」「:」「*」「?」「!」「<」「>」「|」「"」は入力できません。
- Bluetoothでワイヤレス接続する場合は、「モデムの選択」で、ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの名前を選択してください。

5 「詳細情報の設定」をクリックする

「IPアドレス」・「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報をもとに、各種アドレスを設定して「OK」をクリックします。

6 「次へ」をクリックする

7 ユーザー名・パスワードを設定して、「次へ」をクリックする

ユーザー名・パスワードの設定は、インターネットサービスプロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字などに注意し、正確に入力してください。

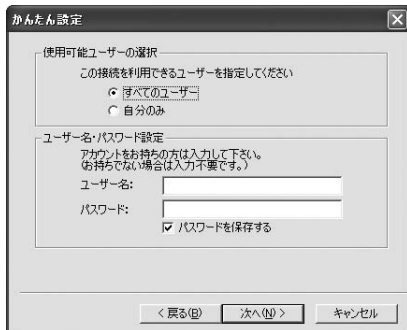
- ユーザーの選択は任意に行ってください。

8 設定情報の確認をして、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りのないことを確認して、「完了」をクリックしてください。

- 設定内容を変更する場合は、「戻る」をクリックします。
- 「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」にチェックが付いていれば、デスクトップにショートカットが作成されます。

9 「OK」をクリックする

FOMA

設定が完了しました。
デスクトップに自動作成されたダイヤルアップのショートカットアイコンを開くと、通信接続を開始するための接続画面が表示されます。接続確認後、インターネットブラウザやメールブラウザを起動して通信できます。(P.15参照)

設定した通信を実行する

ここではWindows® XPを例にしてダイヤルアップ接続を説明します。P.3の手順に従って、FOMA端末とパソコンを接続します。

1 デスクトップのダイヤルアップのショートカットアイコンをダブルクリックする

通信設定で作成されたFOMA接続のショートカットアイコンを開くと、通信接続を開始するための接続画面が表示されます。

- ショートカットアイコンがない場合は以下の操作でアイコンを表示します。

<Windows® XPの場合>
「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」
<Windows® 2000 Professionalの場合>
「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」

2 ユーザー名、パスワードを入力し、「ダイヤル」をクリックする

- 「mopera U」または「mopera」の場合はユーザー名、パスワードについては空欄でも接続できます。
- 「次のユーザーが接続するとき使用するために、このユーザー名とパスワードを保存する」にチェックを付けると、このユーザーもしくはすべてのユーザーは次回から入力する必要がなくなります。

次ページにつづく

3 タスクトレイのダイヤルアップアイコンをクリックして、接続されたことを確認する

- ブラウザソフトを起動してホームページを閲覧したり、電子メールなどを利用できます。

お知らせ

- ダイヤルアップ設定を行ったFOMA端末でダイヤルアップ接続を行ってください。異なるFOMA端末を接続する場合は、再度、通信設定ファイル（ドライバ）のインストールが必要になることがあります。
- 通信中はFOMA端末の消費電力が大きくなります。
- パケット通信中は、FOMA端末に通信状態が表示されます。

「▼」（通信中、データ送信中）
「▲」（通信中、データ受信中）
「 」（通信中、データ送受信なし）
「 」（発信中、または切断中）
「 」（着信中、または切断中）

- 64Kデータ通信中は、FOMA端末に「 」が表示されます。

切断のしかた

1 タスクトレイのダイヤルアップアイコンをクリックする

2 「切断」をクリックする

お知らせ

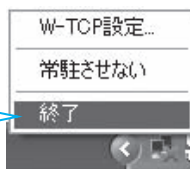
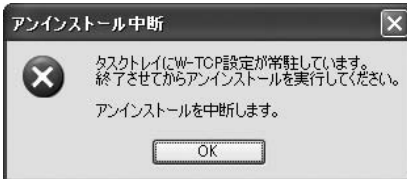
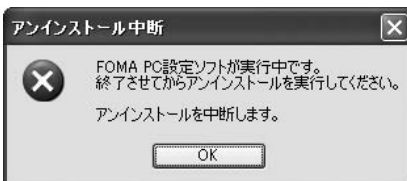
- ブラウザソフトを終了しただけでは、通信回線は切断されない場合があります。確実に切断するためには、この手順に従って回線を切断してください。
- パソコンに表示される通信速度は実際の通信速度とは異なる場合があります。

FOMA PC設定ソフトをアンインストールする

アンインストールを実行する前に

「FOMA PC設定ソフト」をアンインストールする前に、FOMA用に変更された内容を元に戻す必要があります。

1 起動中のプログラムを終了する

- 「W-TCP設定ソフト」を終了します。
ウィンドウ右下タスクトレイの「W-TCP設定ソフト」を右クリックして、「終了」を選択します。

- 「FOMA PC設定ソフト」を終了します。
「FOMA PC設定ソフト」右下にある「終了」をクリックします。
- 「FOMA PC設定ソフト」や「W-TCP設定ソフト」が起動中にアンインストールを実行しようとすると、下のような画面が表示されます。アンインストールプログラムを中断し、それぞれのプログラムを終了させてください。

アンインストールをする

ここではWindows® XPでアンインストールするときの画面を掲載しています。お使いのパソコンにより画面の表示が異なります。

- 必ずAdministrator権限またはパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。

1 **「スタート」▶「コントロールパネル」▶「プログラムの追加と削除」を開く**

<Windows® 2000 Professionalの場合>
「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」

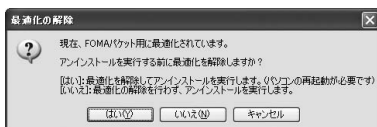
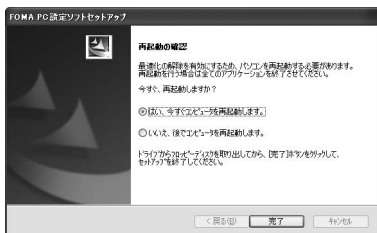
2 **「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択して、「削除」をクリックする**

3 **削除するプログラム名を確認して、「はい」をクリックする**

アンインストールが実行されプログラムが削除されます。

4 **「完了」をクリックする**

「FOMA PC設定ソフト」のアンインストールが終了します。

■「W-TCP最適化」を解除するには
W-TCPが最適化されている場合は、下の画面が出ます。通常は「はい」をクリックして、最適化を解除してください。

設定を有効にするために、「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択して、「完了」をクリックしてください。

W-TCP設定

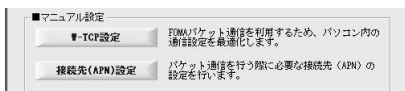
W-TCP設定ソフトの役割

「W-TCP設定ソフト」はFOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最適化するための「TCPパラメータ設定」ツールです。FOMA端末の通信性能を最大限に活用する前に、このソフトウェアによる通信設定の最適化が必要です。「かんたん設定」で「最適化を行う」にチェックを入れてダイヤルアップを作成した場合、ここでは最適化を行う必要はありません。

最適化の設定と削除

Windows® XPの場合

Windows® XPの場合はダイヤルアップごとに最適化設定が可能です。

1 <「FOMA PC設定ソフト」から操作する場合>
「FOMA PC設定ソフト」を起動して、「マニュアル設定」の「W-TCP設定」をクリックする

<タスクトレイから操作する場合>
タスクトレイの「W-TCPアイコン」をクリックして、プログラムを起動する

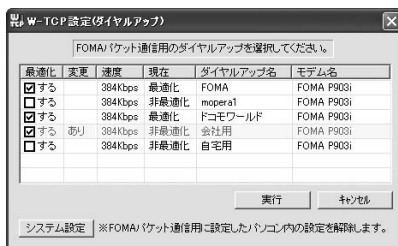
2 <システム設定が最適化されていない場合>
「最適化を行う」をクリックする

「384Kbps」を選択して最適化を行ってください。
最適化するダイヤルアップを選択し、「実行」をクリックすると、システム設定、ダイヤルアップ設定それぞれの最適化が実行されます。

<システム設定が最適化されている場合>
内容の変更などがある場合は設定を行ってください。

<最適化を解除する場合>
「システム設定」▶「最適化を解除する」をクリックする

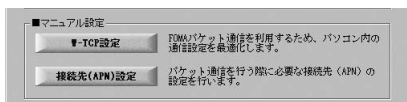
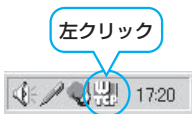
FOMA端末以外での通信などの理由で設定を解除する場合に、最適化を解除してください。

次ページにつづく

3 「OK」をクリックする

4 「はい」をクリックする

設定を有効にするために、パソコンを再起動します。

Windows® 2000 Professionalの場合

1 <「FOMA PC設定ソフト」から操作する場合>
「FOMA PC設定ソフト」を起動して、「マニュアル設定」の「W-TCP設定」をクリックする

<タスクトレイから操作する場合>
タスクトレイの「W-TCPアイコン」をクリックして、プログラムを起動する

2 <最適化されていない場合>
「最適化を行う」をクリックする

「384Kbps」を選択して最適化を行ってください。

<最適化されている場合>
「最適化を解除する」をクリックする

FOMA端末以外での通信などの理由で設定を解除する場合に、最適化を解除してください。

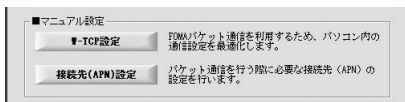
3 「OK」をクリックする

4 「はい」をクリックする

設定を有効にするために、パソコンを再起動します。

接続先（APN）の設定

パケット通信を行う場合の接続先（APN）の設定をします。
FOMAパケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり通常の電話番号は使用しません。あらかじめ接続先毎に、FOMA端末にAPN（Access Point Name）と呼ばれる接続先名を登録し、その登録番号（cid）を接続先電話番号欄に指定して接続します。
cid（Context Identifier）とはパケット通信の接続先（APN）をFOMA端末に登録する番号のことです。（P.22参照）

1 「FOMA PC設定ソフト」を起動して、「マニュアル設定」の「接続先（APN）設定」をクリックする

2 「OK」をクリックする

「OK」をクリックすると、接続されたFOMA端末に自動アクセスし、登録されている「接続先（APN）設定」を読み込みます。また、設定情報は手順3でメニューの「ファイル」→「FOMA端末から設定を取得」からも読み込めます。

3 接続先（APN）の設定をする

●FOMA端末が接続されていない場合、この画面は表示されません。

接続先（APN）の追加・編集・削除

・接続先（APN）の追加をする場合は「追加」をクリックしてください。
・登録済みの接続先（APN）を編集（修正）する場合は「編集」をクリックします。
・登録済みの接続先（APN）を削除したい場合は、対象の接続先（APN）を選択して「削除」をクリックしてください。
　※「cid1」と「cid3」に登録されている接続先（APN）は削除できません。（「cid3」を選択して「削除」をクリックしても、実際には削除されず、「mopera.net」に戻ります。）

ファイルへの保存

メニューの「ファイル」→「上書き保存」／「名前を付けて保存」からの操作で、FOMA端末に登録された接続先（APN）設定のバックアップを取ったり、編集中の接続先（APN）設定を保存したりできます。

ファイルからの読み込み

メニューの「ファイル」→「開く」からの操作で、パソコンに保存されている接続先（APN）設定を読み込めます。

次ページにつづく

FOMA端末からの接続先（APN）情報の読み込み

メニューの「ファイル」→「FOMA端末から設定を取得」からの操作で、接続先（APN）設定をFOMA端末から読み込めます。

FOMA端末への接続先（APN）情報の書き込み

「FOMA端末へ設定を書き込む」をクリックすると、表示されている接続先（APN）設定をFOMA端末に書き込めます。なお、IP接続に対応していないFOMA端末に、IP情報は書き込めません。

ダイヤルアップ作成機能

接続先（APN）設定画面上で追加・編集された接続先（APN）を選択し、「ダイヤルアップ作成」をクリックすると、パケット通信ダイヤルアップが作成できます。FOMA端末に接続先（APN）情報の書き込みがされていない場合は、FOMA端末設定書き込み確認画面が表示されますので、「はい」をクリックします。書き込み終了後、「パケット通信ダイヤルアップ作成画面」が表示されます。
任意の接続先名を入力し、「アカウント・パスワードの設定」をクリックしてください。（mopera Uまたはmoperaの場合は空欄でも接続できます。）
ユーザー名とパスワードを入力し、使用可能ユーザーの選択をして「OK」をクリックしてください。
ご利用のインターネットサービスプロバイダより、IPおよびDNS情報の設定が指示されている場合、「詳細情報の設定」をクリックし、必要な情報を登録後、「OK」をクリックしてください。
設定入力が完了したら、「OK」をクリックしてください。ダイヤルアップが作成されます。
「mopera U」または「mopera」を利用する場合はP.11参照。
「mopera U」または「mopera」以外のプロバイダを利用する場合はP.12参照。

お知らせ

- 接続先（APN）は、FOMA端末に登録される情報であるため、異なるFOMA端末を接続する場合は、再度FOMA端末に接続先（APN）を登録する必要があります。
- パソコン側の接続先（APN）を継続利用する場合は、同一cid番号に同一接続先（APN）をFOMA端末に登録してください。

ダイヤルアップネットワークの設定をする

パケット通信の設定をする

「FOMA PC設定ソフト」を使わずに、パケット通信の接続を設定する方法について説明します。
パケット通信では、パソコンからさまざまな設定を行う場合にATコマンドを使用します。設定を行うためには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここでは、Windows®標準添付の「ハイパーターミナル」を使って説明します。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」をご利用になる場合は、接続先（APN）の設定（P.21参照）は不要です。
発信者番号通知／非通知の設定（P.22参照）は必要に応じて行います。（「mopera U」または「mopera」をご利用の場合は、「通知」に設定する必要があります。）

<ATコマンドによるパケット通信設定の流れ>

COMポート番号を確認する（P.20参照）

ATコマンド入力をサポートする通信ソフトを起動する（P.21手順3参照）

接続先（APN）の設定をする（P.22手順7参照）

発信者番号の通知／非通知を設定する（P.22手順2参照）

その他の設定をする（P.30参照）

通信ソフトを終了する（P.22手順9参照）

■ATコマンドについて
- ATコマンドとは、モデム制御用のコマンドです。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。
- ATコマンドを入力することによって、パケット通信やFOMA端末の詳細な設定、設定内容の確認（表示）ができます。
- 入力したATコマンドが表示されない場合は「ATE1 ⏎」と入力してください。

COMポート番号を確認する

手動で通信設定を行う場合、「P903i通信設定ファイル」(ドライバ)のインストール後に組み込まれた「FOMA P903i」(モデム)に割り当てられたCOMポート番号を指定する必要があります。確認方法はご利用になるパソコンのOSによって異なります。

- ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」をご利用になる場合、接続先(APN)の設定が不要なため、モデムの確認をする必要はありません。

Windows® XPの場合

1 「スタート」▶「コントロールパネル」を開く

2 「コントロールパネル」の「プリンタとその他のハードウェア」から「電話とモデムのオプション」を開く

3 「所在地情報」の画面が表示された場合は、「市外局番/エリアコード」を入力して、「OK」をクリックする

4 「モデム」タブを開き、「FOMA P903i」の「接続先」欄のCOMポート番号を確認して、「OK」をクリックする

- Bluetoothでワイヤレス接続する場合は、ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの「接続先」欄のCOMポート番号を確認してください。
- 確認したCOMポート番号は、接続先(APN)の設定(P.21参照)で使用します。
- プロパティ画面に表示される内容およびCOMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。

Windows® 2000 Professionalの場合

1 「スタート」▶「設定」▶「コントロールパネル」を開く

2 「コントロールパネル」の「電話とモデムのオプション」を開く

3 「所在地情報」の画面が表示された場合は、「市外局番」を入力して、「OK」をクリックする

4 「モデム」タブを開き、「FOMA P903i」の「接続先」欄のCOMポート番号を確認して、「OK」をクリックする

- Bluetoothでワイヤレス接続する場合は、ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの「接続先」欄のCOMポート番号を確認してください。
- 確認したCOMポート番号は、接続先(APN)の設定(P.21参照)で使用します。
- プロパティ画面に表示される内容およびCOMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。

接続先（APN）の設定をする

パケット通信を行う場合の接続先（APN）を設定します。接続先（APN）は10個まで登録でき、1～10の「cid」（P.22参照）という番号で管理されます。

「mopera U」または「mopera」をご利用になる場合は、接続先（APN）の設定は不要です。

ここでは接続先（APN）が「XXX.abc」で、FOMA USB接続ケーブル（別売）を利用した場合を例として説明します。実際のAPNはインターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

ここでの設定はダイヤルアップネットワークの設定（P.23参照）での接続先番号となります。

Windows® XPの例

1 FOMA端末とFOMA USB接続ケーブル（別売）を接続する

2 FOMA端末の電源を入れて、FOMA端末と接続したFOMA USB接続ケーブルをパソコンに接続する

3 ハイパーターミナルを起動する

「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」を開きます。

ハイパーターミナル起動後に、『既定のTelnet』プログラムにしますか？」と表示された場合、任意で設定します。設定内容につきましては、パソコンメーカおよびマイクロソフトにご確認ください。

●Windows® 2000 Professionalでは、パソコンで「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」を開きます。

4 「名前」の欄に任意の名前を入力して、「OK」をクリックする

ここでは例として「Sample」と入力します。

5 接続方法を選択する

＜「FOMA P903i」のCOMポート番号を選択できる場合＞

「接続方法」で「FOMA P903i」がインストールされたCOMポート番号を選択して「OK」をクリックします。

このあと手順6へ進んでください。

●ここでは例として「COM3」を選択します。実際に「接続方法」で選択する「FOMA P903i」のCOMポート番号についてはP.20参照。

＜「FOMA P903i」のCOMポート番号を選択できない場合＞

「キャンセル」をクリックして「接続の設定」画面を閉じ、次の操作を行ってください。

(1)「ファイル」メニュー→「プロパティ」を選択します。

(2)「Sampleのプロパティ」画面の「接続の設定」タブの「接続方法」の欄で「FOMA P903i」を選択します。

(3)「国/地域番号と市外局番を使う」のチェックを外します。

(4)「OK」をクリックします。

このあと手順7へ進んでください。

6 COMポート番号のプロパティが表示されるので、「OK」をクリックする

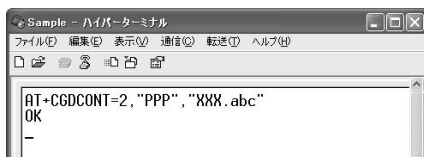
●手順5でCOMポート番号を選択した場合に表示されます。

次ページにつづく

7 接続先（APN）を設定する

AT+CGDCONT=cid,"PPP","APN"の形式で入力します。
cid：2もしくは4～10までのうち任意の番号を入力します。
※すでにcidが設定してある場合は、設定が上書きされますので注意してください。
"PPP"についてはそのまま"PPP"と入力します。
"APN"：APNを" "で囲んで入力します。
（例：cidの2番にXXX.abcというAPNを設定する場合）
AT+CGDCONT=2,"PPP","XXX.abc"
入力後⏎を押して、OKと表示されればAPNの設定は完了です。

- 現在のAPN設定を確認したい場合は、「AT+CGDCONT？⏎」と入力します。APN設定が一覧で表示されます。

8 「OK」と表示されることを確認する

9 「ファイル」メニュー▶「ハイパーターミナルの終了」を選択して、ハイパーターミナルを終了する

- 「現在、接続されています。切断してもよろしいですか？」と表示されたときは、「はい」を選択してください。
- 「セッションXXXを保存しますか？」と表示されますが、特に保存する必要はありません。

お知らせ

- 接続先（APN）は、FOMA端末に登録される情報であるため、異なるFOMA端末を接続する場合は、再度FOMA端末に接続先（APN）を登録する必要があります。
- パソコン側の接続先（APN）を継続利用する場合は、同一cid番号に同一接続先（APN）をFOMA端末に登録してください。
- 入力したATコマンドが表示されない場合は「ATE1⏎」と入力してください。

■cid（登録番号）について

FOMA端末にはcid1からcid10までの登録番号があり、お買い上げ時、cid1には「mopera.ne.jp」が、cid3には「mopera.net」が接続先（APN）として登録されています。「mopera U」または「mopera」以外に接続する場合は、cid2とcid4～10のいずれかにプロバイダまたはネットワーク管理者より指示される接続先（APN）を設定する必要があります。

お買い上げ時のcid登録

登録番号（cid）	接続先（APN）
1	mopera.ne.jp (mopera)
2	未設定
3	mopera.net (mopera U)
4～10	未設定

■cidに登録した接続先（APN）に接続するときの「電話番号」について

「＊99＊＊＊<cid番号>＃」
（例）cid2に登録した接続先（APN）に接続する場合
＊99＊＊＊2＃

■接続先（APN）設定のリセット／確認について

接続先（APN）設定のリセット／確認もATコマンドを使って行います。

接続先（APN）設定のリセット

リセットを行った場合、cid=1の接続先（APN）設定が「mopera.ne.jp」（初期値）に、cid=3の接続先（APN）設定が「mopera.net」（初期値）に戻り、cid=2とcid4～10の設定は未登録となります。
（入力方法）
AT+CGDCONT=⏎（すべてのcidをリセットする場合）
AT+CGDCONT=〈cid〉⏎（特定のcidのみリセットする場合）

接続先（APN）設定の確認

現在の設定内容を表示させます。
（入力方法）
AT+CGDCONT?⏎

発信者番号の通知／非通知を設定する

パケット通信を行うときに、通知／非通知設定（接続先にお客様の発信者番号を通知するかどうかの設定）を行えます。発信者番号はお客様の大切な情報なので、通知する際には十分にご注意ください。発信者番号の通知／非通知設定は、ダイヤルアップ接続を行う前にATコマンド（＊DGPIRコマンド）で設定できます。

1 「ハイパーターミナル」などの通信ソフトを起動する

- 「ハイパーターミナル」での操作方法についてはP.21参照。

2 ＊DGPIRコマンド（P.32参照）で発信者番号の通知／非通知を設定する

- 発信／着信応答のときに自動的に184（非通知）を付ける場合は、
AT＊DGPIR=1⏎と入力します。
- 発信／着信応答のときに自動的に186（通知）を付ける場合は、
AT＊DGPIR=2⏎と入力します。

3 「OK」と表示されることを確認する

次ページにつづく

お知らせ

- ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」をご利用になる場合は、発信者番号を「通知」に設定する必要があります。
- 入力したATコマンドが表示されない場合は「ATE1 ⏎」と入力してください。

■ダイヤルアップネットワークでの通知／非通知設定について

ダイヤルアップネットワークの設定（P.23参照）でも、接続先の番号に186（通知）／184（非通知）を付けることができます。

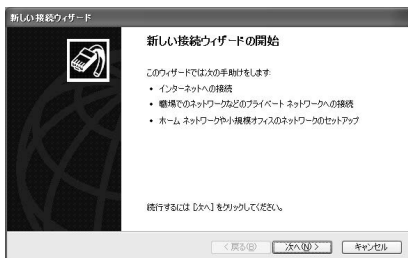
＊DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で186（通知）／184（非通知）の設定を行った場合、以下のようになります。

ダイヤルアップネットワークの設定（cid＝3の場合）	＊DGPIRコマンドによる通知／非通知設定	発信者番号の通知／非通知
＊99＊＊＊3#	設定なし	通知
	非通知	非通知
	通知	通知
184＊99＊＊＊3#	設定なし	非通知（ダイヤルアップネットワークの184が優先される）
	非通知	
	通知	
186＊99＊＊＊3#	設定なし	通知（ダイヤルアップネットワークの186が優先される）
	非通知	
	通知	

- 「mopera U」または「mopera」に接続する場合は、発信者番号の通知が必要です。

Windows® XPでダイヤルアップネットワークの設定をする

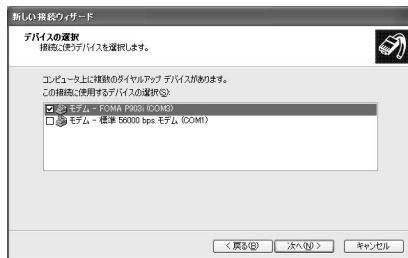
1 **「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「新しい接続ウィザード」を開く**

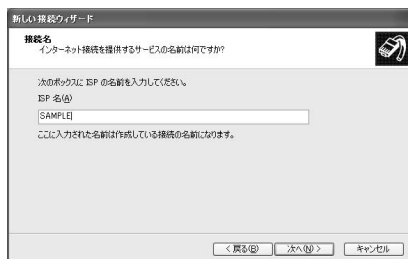
2 **「新しい接続ウィザード」の画面が表示されたら、「次へ」をクリックする**

3 **「インターネットに接続する」を選択して、「次へ」をクリックする**

4 **「接続を手動でセットアップする」を選択して、「次へ」をクリックする**

5 **「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択して、「次へ」をクリックする**

6 **「デバイスの選択」画面が表示された場合は、「FOMA P903i」のみチェックを付けて「次へ」をクリックする**

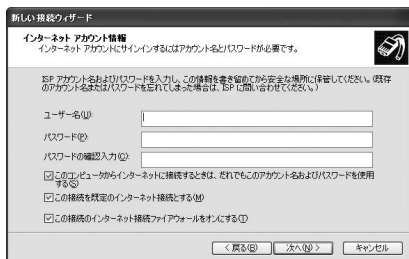
- Bluetoothでワイヤレス接続する場合は、ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムのみチェックを付けてください。
- 「デバイスの選択」画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。

7 **「ISP 名」の欄に任意の名前を入力して、「次へ」をクリックする**

- ここでは例として「SAMPLE」と入力します。

8 **「電話番号」の欄に接続先番号を入力して、「次へ」をクリックする**

- mopera Uに接続する場合、接続先番号には「＊99＊＊＊3＃」を入力します。
  mopera U以外の接続先番号についてはP.22参照。

次ページにつづく

9 「ユーザー名」、「パスワード」、「パスワードの確認入力」の欄にインターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力して、「次へ」をクリックする

- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は、ユーザー名とパスワードは空欄でも接続できます。

10 「完了」をクリックする

11 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワーク接続」を開く

12 ダイヤルアップのアイコンを選択して、「ネットワークタスク」▶「この接続の設定を変更する」を選択する

ここでは手順7で入力した名前のアイコンをクリックします。

13 「全般」タブで設定を確認する

パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続方法」の欄で「モデム－FOMA P903i」または「モデム－ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの名前」にチェックが付いているのを確認します。チェックが付いていない場合には、チェックを付けます。また、複数のモデムにチェックが付いている場合は、⇧ボタンをクリックして「モデム－FOMA P903i」または「モデム－ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの名前」の優先順位を一番上にするか、「モデム－FOMA P903i」または「モデム－ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの名前」以外のモデムのチェックを外してください。

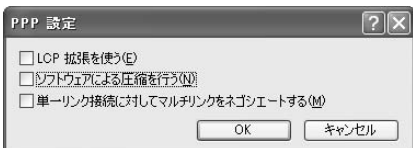
「ダイヤル情報を使う」にチェックされている場合にはチェックを外します。

- 「FOMA P903i」または「ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデム」に割り当てられるCOMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。
- mopera Uに接続する場合、接続先番号には「＊99＊＊＊3＃」を入力します。
  mopera U以外の接続先番号についてはP.22参照。

次ページにつづく

14 「ネットワーク」タブをクリックして、各種設定を行う

「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」の欄は、「PPP:Windows 95/98/NT4/2000, Internet」を選択します。
「この接続は次の項目を使用します」の欄は、「インターネットプロトコル（TCP/IP)」を選択します。
「QoSパケットスケジューラ」は設定変更ができませんので、そのままにしておいてください。
続いて「設定」をクリックします。
一般ISPなどに接続する場合のTCP/IP設定は、ISPまたはネットワーク管理者に確認してください。

15 すべてのチェックを外して、「OK」をクリックする

16 手順14の画面に戻り、「OK」をクリックする

Windows® 2000 Professionalでダイヤルアップネットワークの設定をする

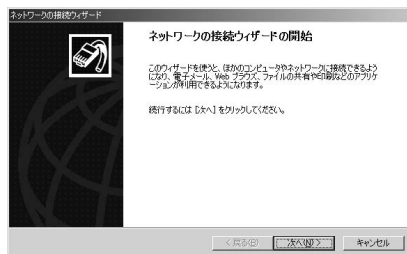
1 「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワークとダイヤルアップ接続」を開く

2 「ネットワークとダイヤルアップ接続」の中の「新しい接続の作成」をダブルクリックする

3 「所在地情報」の画面が表示された場合は、「市外局番」を入力して、「OK」をクリックする

- 「所在地情報」の画面は、手順2で「新しい接続の作成」を初めて起動したときのみ表示されます。
- 2回目以降は、この画面は表示されず、「ネットワークの接続ウィザード」の画面が表示されるので、手順5に進んでください。

4 「電話とモデムのオプション」が表示されたら、「OK」をクリックする

5 「ネットワークの接続ウィザード」の画面が表示されたら、「次へ」をクリックする

6 「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選択して、「次へ」をクリックする

7 「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク（LAN）を使って接続します」を選択して、「次へ」をクリックする

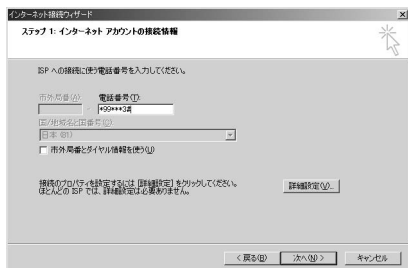
8 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択して、「次へ」をクリックする

次ページにつづく

9 「インターネットへの接続に使うモデムを選択する」の欄が「FOMA P903i」になっていることを確認して、「次へ」をクリックする

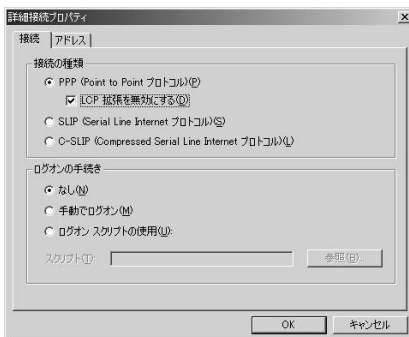
- 選択されていない場合には、「FOMA P903i」を選択します。
- Bluetoothでワイヤレス接続する場合は、ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムを選択してください。
- お使いになるパソコンの動作環境によっては、下の画面は表示されません。その場合は、手順10へ進みます。

10 「電話番号」の欄に接続先番号を入力する

- 「市外局番」の欄には何も入力しません。
- 「市外局番とダイヤル情報を使う」のチェックを外します。
- mopera Uに接続する場合、接続先番号には「＊99＊＊＊3#」を入力します。
  mopera U以外の接続先番号についてはP.22参照。

11 「詳細設定」をクリックする

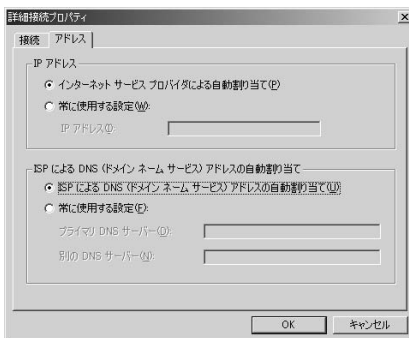
12 「接続」タブの中の設定を行う

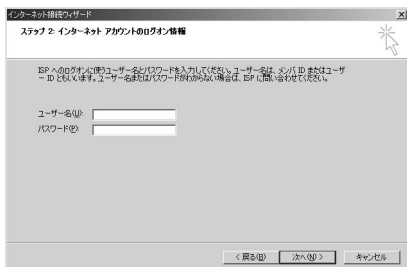
「接続の種類」、「ログオンの手続き」について、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたとおり設定します。
設定を確認したら、「アドレス」タブをクリックします。

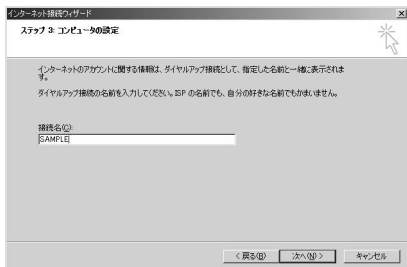
- **「接続」タブでの設定内容については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者へお問い合わせください。**

13 IPアドレスおよびDNS（ドメインネームサービス）アドレスの設定を行う

「IPアドレス」、「ISPによるDNS（ドメインネームサービス）アドレスの自動割り当て」について、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたとおり設定します。
すべての入力が終わったら、「OK」をクリックします。手順10の画面に戻るので、「次へ」をクリックします。

- **IPアドレスおよびDNSアドレスの設定内容については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者へお問い合わせください。**

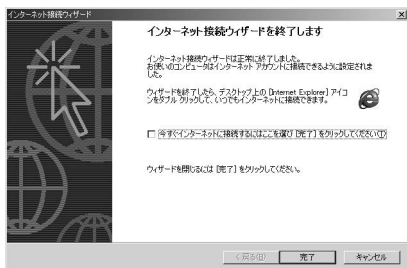
次ページにつづく

14 「ユーザー名」、「パスワード」の欄にインターネットサービスプロバイダまたは管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力して、「次へ」をクリックする

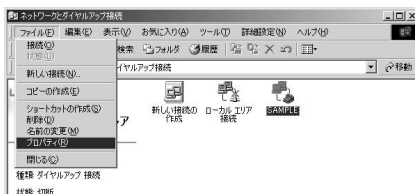
- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は、ユーザー名とパスワードは空欄でも接続できます。この場合、「ユーザー名を空白のままにしておきますか？」という画面と「パスワードを空白のままにしておきますか？」という画面が表示されます。それぞれの画面で「はい」をクリックして手順15へ進みます。

15 「接続名」の欄に任意の名前を入力して、「次へ」をクリックする

- ここでは例として「SAMPLE」と入力します。

16 「いいえ」を選択して、「次へ」をクリックする

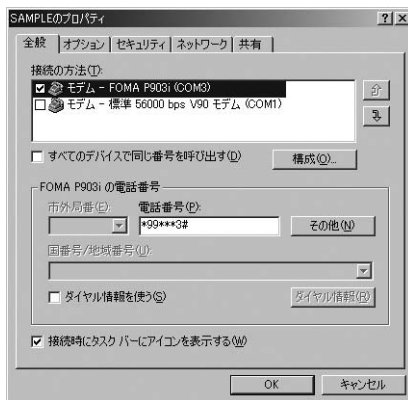
- インターネットメールの設定をする場合は、「はい」を選択します。
- **設定する場合の詳細については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者へお問い合わせください。**

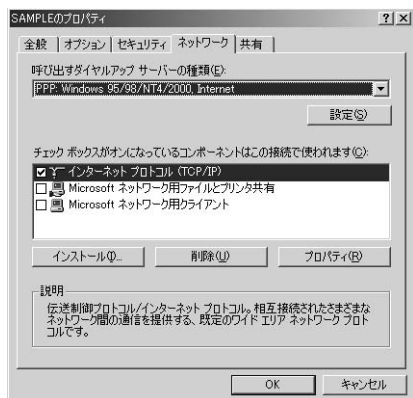
17 続いて「TCP/IP」の設定をする

- 下の画面が表示された場合は、「今すぐインターネットに接続するにはここを選び［完了］をクリックしてください」のチェックを外して、「完了」をクリックします。

18 「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワークとダイヤルアップ接続」を開く

19 手順15で入力した接続先名のアイコンを選択して、「ファイル」メニュー▶「プロパティ」を選択する

20 「全般」タブで設定を確認する

- パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続の方法」の欄で「モデム－FOMA P903i」または「モデム－ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの名前」にチェックが付いているのを確認します。チェックが付いていない場合には、チェックを付けます。
- 「ダイヤル情報を使う」にチェックが付いていないことを確認します。チェックされている場合にはチェックを外します。
- 「FOMA P903i」または「ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデム」に割り当てられるCOMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。
- mopera Uに接続する場合、接続先番号には「＊99＊＊＊3＃」を入力します。
  mopera U以外の接続先番号についてはP.22参照。

次ページにつづく

21 「ネットワーク」タブをクリックして、各種設定を行う

「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」の欄は、「PPP:Windows 95/98/NT4/2000, Internet」を選択します。
コンポーネントは「インターネットプロトコル（TCP/IP）」のみをチェックします。
続いて「設定」をクリックします。

22 すべてのチェックを外して「OK」をクリックする

23 手順21の画面に戻り、「OK」をクリックする

ダイヤルアップ接続する

ここではWindows® XPを例にしてダイヤルアップ接続を説明します。P.3の手順に従って、FOMA端末とパソコンを接続します。

- パケット通信による接続を行うときにはP.17「W-TCP設定」で通信性能を最適化することをおすすめします。最適化することでFOMAネットワークでの高速通信を最大限に生かして利用できます。最適化を行うにはP.8「FOMA PC設定ソフト」をインストールしてください。
- 64Kデータ通信を行う場合は、「W-TCP設定」で最適化をしないでください。

1 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワーク接続」を開く

2 接続先を開く

「ダイヤルアップネットワークの設定をする」で設定したISP名（P.23参照）のダイヤルアップの接続先アイコンを選択して「ネットワークタスク」→「この接続を開始する」を選択するか、接続先のアイコンをダブルクリックします。

3 内容を確認して「ダイヤル」をクリックする

- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は、ユーザー名とパスワードは空欄でも接続できます。

4 接続中の状態を示す画面が表示されます

この間にユーザー名、パスワードの確認などのログオン処理が行われます。

5 接続完了です

接続が完了すると、タスクバーのインジケータから、下のようなメッセージが数秒間表示されます。

- ブラウザソフトを起動してホームページを閲覧したり、電子メールなどを利用できます。
- メッセージが表示されない場合は、接続先の設定を再度確認してください。

お知らせ

- ダイヤルアップ設定を行ったFOMA端末でダイヤルアップ接続を行ってください。異なるFOMA端末を接続する場合は、再度、通信設定ファイル（ドライバ）のインストールが必要になることがあります。
- 通信中はFOMA端末の消費電力が大きくなります。
- パケット通信中は、FOMA端末に通信状態が表示されます。

「▼」（通信中、データ送信中）
「▲」（通信中、データ受信中）
「 」（通信中、データ送受信なし）
「 」（発信中、または切断中）
「 」（着信中、または切断中）

- 64Kデータ通信中は、FOMA端末に「 」が表示されます。

次ページにつづく

切断のしかた

1 **タスクトレイのダイヤルアップアイコンをクリックする**

2 **「切断」をクリックする**

お知らせ

- ブラウザソフトを終了しただけでは、通信回線は切断されない場合があります。確実に切断するためには、この手順に従って回線を切断してください。
- パソコンに表示される通信速度は実際の通信速度とは異なる場合があります。

ネットワークに接続できないときは

ネットワークに接続できない（ダイヤルアップ接続ができない）場合は、まず以下の項目について確認してください。

こんなときは	こうします
「FOMA P903i」がパソコン上で認識できない	・お使いのパソコンが動作環境（P.2参照）を満たしているかを確認してください。 ・「P903i通信設定ファイル」（ドライバ）がインストールされているか確認してください。 ・FOMA端末がパソコンに接続され、電源が入っているか確認してください。 ・FOMA USB接続ケーブル（別売）がしっかりと接続されているかを確認してください。 ・Bluetoothがダイヤルアップサービスで接続されているかを確認してください。
相手先に接続できない	・ID（ユーザー名）やパスワードの設定が正しいかどうか確認してください。 ・「mopera U」または「mopera」のように発信者番号の通知が必要な場合、電話番号に「184」を付加していないかどうかを確認してください。 ・モデムのプロパティで「フロー制御を使う」にチェックが付いていることを確認してください。 ・上記の確認を行っても相手先に接続できない場合は、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者に設定方法などについてご相談ください。

64Kデータ通信の設定

「FOMA PC設定ソフト」を使わずに、64Kデータ通信の接続を設定する方法について説明します。

ダイヤルアップ接続とTCP/IPの設定

64Kデータ通信のダイヤルアップ接続とTCP/IPの設定はパケット通信での設定（P.19参照）と同じです。
以下の点に注意して操作してください。

- 64Kデータ通信では接続先（APN）の設定をする必要はありません。ダイヤルアップ接続の接続先にはインターネットサービスプロバイダまたはネットワークの管理者から指定された接続先の電話番号を入力してください。（mopera Uに接続する場合は「*8701」、moperaに接続する場合は「*9601」と電話番号欄に入力してください。）
- 「発信者番号通知／非通知の設定」、「その他の設定」は必要に応じて設定してください。
  （mopera Uまたはmoperaに接続する場合、発信者番号の通知が必要です。）
- 設定内容の詳細については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワークの管理者にお問い合わせください。

接続・切断のしかた

パケット通信での操作と同じです。P.15、P.28の手順に従って操作してください。

FirstPass PCソフトを利用する

FirstPass PCソフトは、FirstPass対応のFOMA端末で取得したユーザ証明書を使ってパソコンのWebブラウザからFirstPass対応サイトにアクセスできるようにするものです。

FirstPass PCソフトインストール時の注意

動作環境をご確認ください

FirstPass PCソフトは以下の動作環境でご利用ください。

項　目	必　要　環　境
パソコン本体	PC-AT互換機
OS	Microsoft® Windows® 2000 Professional、Windows® XP（各日本語版）
必要メモリ	Microsoft® Windows® 2000 Professional：32Mバイト以上※ Windows® XP：128Mバイト以上※
ハードディスク容量	10Mバイト以上の空き容量※
ブラウザ	Microsoft® Internet Explorer 5.5以上 Windows® XPの場合は Microsoft® Internet Explorer 6.0以上

※必要メモリおよびハードディスクの空き容量はシステム環境によって異なることがあります。

インストールする前に

FirstPass PCソフトをインストールする前にCD-ROM内の「FirstPassPCSoft」フォルダ内の「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧ください。

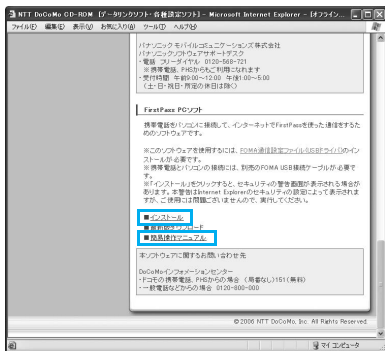
FirstPass PCソフトをインストールする

ここではWindows® XPにインストールするときの画面を掲載しています。お使いのパソコンにより画面の表示が多少異なります。

1 **添付の「FOMA P903i用CD-ROM」をパソコンにセットする**

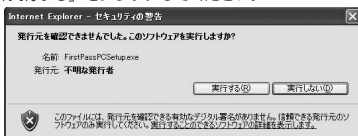
2 FirstPass PCソフトをインストールするには**「データリンクソフト・各種設定ソフト」をクリックする**

3 **「FirstPass PCソフト」の「インストール」をクリックする**

引き続き、「簡易操作マニュアル」(PDF形式)の手順に従ってインストールしてください。

「インストール」をクリックすると、下記のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。

- **「ファイルのダウンロードーセキュリティの警告」ウィンドウが表示された場合**
  「実行」をクリックしてください。

- **「Internet Explorerーセキュリティの警告」ウィンドウが表示された場合**
  「実行する」をクリックしてください。

Internet Explorer - セキュリティの警告
発行元を確認できませんでした。このソフトウェアを実行しますか?
名前: FirstPassPCSetup.exe
発行元: 不明な発行者
実行する(R) 実行しない(D)
このファイルには、発行元を確認できる有効なデジタル署名がありません。信頼できる発行元のソフトウェアのみ実行してください。実行することのできるソフトウェアの詳細を表示します。

ATコマンドについて

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の機能の設定や変更を行うためのコマンド(命令)です。

※ATコマンド一覧では、以下の略を使用しています。

[AT]:FOMA P903i Command Portで使用できるコマンドです。

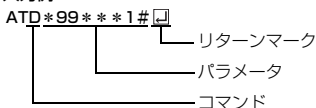
[M]: FOMA P903i(モデム)で使用できるコマンドです。

[&F]: AT&Fコマンドで設定が初期化されるコマンドです。

[&W]:AT&Wコマンドで設定が保存されるコマンドです。ATZコマンドで設定値を呼び戻せます。

ATコマンドの入力形式

ATコマンドの入力は通信ソフトのターミナルモード画面で行います。必ず半角英数字で入力してください。

- 入力例

- ATコマンドはコマンドに続くパラメータ(数字や記号)を含めて、必ず1行で入力します。

お知らせ

- ターミナルモードとは、パソコンを1台の通信端末(ターミナル)のように動作させるモードのことです。キーボードから入力した文字が通信ポートに接続されている回線に送られます。

オンラインデータモードとオンラインコマンドモードを切り替える

FOMA端末をオンラインデータモードとオンラインコマンドモードに切り替えるには、以下の2つの方法があります。

・「+++」コマンドまたは「S2」レジスタに設定したコードを入力します。

・「AT&D1」に設定されているときに、RS-232C※のER信号をOFFにします。

- オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに切り替える場合は、「ATO⏎」と入力します。

※USBインタフェースにより、RS-232Cの信号線がエミュレートされていますので、通信アプリによるRS-232Cの信号線制御が有効になります。

■設定の保存について

AT+CGDCONTコマンドによる接続先(APN)設定、AT+CGEQMIN/AT+CGEQREQコマンドによるQoS設定、AT＊DGAPL/AT＊DGARL/AT＊DGANSMコマンドによる着信許可・拒否設定、AT＊DGPIRコマンドによるパケット通信の番号通知・非通知の設定、およびAT+CLIRコマンドによる発番号通知制限の設定を除き、ATコマンドによる設定は、FOMA端末の電源OFF・ONまたは外部機器の取り外し時に初期化されてしまいますのでご注意ください。なお、[&W]が付いているコマンドについては、設定後に「AT&W⏎」と入力することにより設定を保存できます。このとき、[&W]が付いている他の設定値も同時に保存されます。これらの値は、電源OFF・ON後であっても、「ATZ⏎」と入力することにより、設定値を復元できます。

ATコマンド一覧

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
A/ [M]	直前に実行したコマンドを再実行します。またキャリッジリターンは不要です。	−	A/ OK
AT%V [M]	FOMA端末のバージョンを表示します。	−	AT%V Ver1.00 OK
AT&Cn [M] [&F][&W]	DTEへの回路CD信号の動作条件を選択します。	n=0：　CDは常にON n=1：　CDは相手モデムのキャリアに応じて変化します。（初期値）	AT&C1 OK
AT&Dn [M] [&F][&W]	DTEから受け取る回路ER信号がオン／オフ遷移したときの動作を選択します。	n=0：　ERの状態を無視します。（常にONとみなします。） n=1：　ERがONからOFFに変化すると、オンラインコマンド状態になります。 n=2：　ERがONからOFFに変化すると、オフラインコマンド状態になります。（初期値）	AT&D1 OK
AT&En [M] [&F][&W]	接続時の速度表示の仕様を選択します。	n=0：　無線区間通信速度を表示します。 n=1：　DTEシリアル通信速度を表示します。（初期値）	AT&E0 OK
AT&Fn [AT][M]	すべてのレジスタを工場出荷時の設定値に戻します。通信中に本コマンドが入力された場合、回線切断処理を行います。	n=0のみ指定可能です。（省略可）	−
AT&Sn [M] [&F][&W]	DTEへ出力するデータセットレディ信号の制御を設定します。	n=0：　DRは常にON（初期値） n=1：　DRは回線接続時（通信呼確立時）にONとなります。	AT&S0 OK
AT&Wn [M]	現在の設定値を記憶します。	n=0のみ指定可能です。（省略可）	−
AT＊DANTE [AT][M]	アンテナの本数を表示します。（0〜3）	=0：　FOMA端末のアンテナが圏外 =1：　FOMA端末のアンテナが0本または1本 =2：　FOMA端末のアンテナが2本 =3：　FOMA端末のアンテナが3本	AT＊DANTE ＊DANTE:3 OK AT＊DANTE=? ＊DANTE:(0-3) OK
AT＊DGANSM=n [M]	パケット着信呼に対する着信拒否／許可設定のモードを設定します。 本コマンドによる設定は、設定コマンド入力後のパケット通信着信呼に対し有効となります。	n=0：　着信拒否設定および着信許可設定を無効にします。（初期値） n=1：　着信拒否設定（AT＊DGARL）を有効にします。 n=2：　着信許可設定（AT＊DGAPL）を有効にします。 AT＊DGANSM?：現在の設定を表示します。	AT＊DGANSM=0 OK AT＊DGANSM? ＊DGANSM:0 OK
AT＊DGAPL=n [,cid] [M]	パケット着信呼に対して着信許可を行うAPNを設定します。 APNの設定は、AT+CGDCONTで定義された<cid>パラメータを用います。	n=0：　<cid>で定義されたAPNを着信許可リストに追加します。 n=1：　<cid>で定義されたAPNを着信許可リストから削除します。 <cid>が省略された場合には、すべてのcidに適用します。 AT＊DGAPL?：着信許可リストを表示します。	AT＊DGAPL=0,1 OK AT＊DGAPL? ＊DGAPL:1 OK AT＊DGAPL=1 OK AT＊DGAPL? OK
AT＊DGARL=n [,cid] [M]	パケット着信呼に対して着信拒否を行うAPNを設定します。 APN設定は、+CGDCONTで定義された<cid>パラメータを用います。	n=0：　<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストに追加します。 n=1：　<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストから削除します。 cidが省略された場合には、すべてのcidに適用します。 AT＊DGARL?：着信拒否リストを表示します。	AT＊DGARL=0,1 OK AT＊DGARL? ＊DGARL:1 OK AT＊DGARL=1 OK AT＊DGARL? OK

次ページにつづく

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT＊DGPIR=n [M]	本コマンドの設定は、発信時、着信時に有効となります。 ダイヤルアップネットワークでの設定でも、接続先の番号に186（通知）／184（非通知）を付けることができます。（P.22参照）	n=0：APNをそのまま使用します。（初期値） n=1：APNに"184"を付加して使用します。（常に非通知） n=2：APNに"186"を付加して使用します。（常に通知） AT＊DGPIR?：現在の設定を表示します。	AT＊DGPIR=0 OK AT＊DGPIR? ＊DGPIR:0 OK
AT＊DRPW [AT][M]	受信電力指標を表示します。（0：最小値～75：最大値）	－	AT＊DRPW ＊DRPW:0 OK
+++ [M]	オンライン状態のとき、エスケープシーケンスが実行されると回線を切断することなくオンラインコマンド状態に移行します。	－	－
AT+CEER [M]	直前の呼の切断理由を表示します。	<report> 切断理由一覧（P.37参照）	AT+CEER +CEER:36 OK
AT+CGDCONT [M]	パケット発信時の接続先（APN）を設定します。	P.36参照。	P.36参照。
AT+CGEQMIN [M]	PPPパケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。	AT+CGEQMIN=［パラメータ］ P.36参照。 AT+CGEQMIN=? 設定可能な値のリストを表示します。 AT+CGEQMIN? 現在の設定を表示します。	P.36参照。
AT+CGEQREQ [M]	PPPパケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。	AT+CGEQREQ=［パラメータ］ P.36参照。 AT+CGEQREQ=? 設定可能な値のリストを表示します。 AT+CGEQREQ? 現在の設定を表示します。	P.36参照。
AT+CGMR [M]	FOMA端末のバージョンを表示します。	－	AT+CGMR 1234512345123456 OK
AT+CGREG=n [M] [&F][&W]	ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。応答される通知により圏内／圏外を表示します。	n=0：通知なし。（初期値） n=1：通知あり。圏内・圏外が切り替わったときに通知します。 （問い合わせ） AT+CGREG? +CGREG：<n>,<stat> n：設定値 stat： 0：パケット圏外 1：パケット圏内 4：不明 5：パケット圏内（ローミング中）	AT+CGREG=1 OK （通知ありに設定） AT+CGREG? +CGREG:1,0 OK （圏外を意味している） （圏外から圏内に移動した場合） +CGREG：1
AT+CGSN [M]	FOMA端末の製造番号を表示します。	－	AT+CGSN 123456789012345 OK
AT+CLIP=n [AT][M] [&F][&W]	64Kデータ通信／テレビ電話着信時に相手の発信番号をパソコンに表示できます。	n=0：通知しません。（初期値） n=1：通知します。 リザルト：+CLIP：<n>,<m> m=0：発信時の相手に番号を通知しないNW設定 m=1：発信時の相手に番号を通知するNW設定 m=2：不明	AT+CLIP=0 OK AT+CLIP? +CLIP:0,1 OK

次ページにつづく

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CLIR=n [M]	64Kデータ通信／テレビ電話通信を発信するとき、電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。	n=0：　CLIRサービスの契約に従い、発番通知されます（されません）。 n=1：　通話相手に番号発信しません。 n=2：　通話相手に番号発信します。（初期値） リザルト：+CLIR：<n>,<m> m=0：CLIRは起動していません。（常時通知） m=1：CLIRは起動しています。（常時非通知） m=2：不明 m=3：CLIRテンポラリーモード（非通知デフォルト） m=4：CLIRテンポラリーモード（通知デフォルト）	AT+CLIR=0 OK AT+CLIR? +CLIR:0,1 OK AT+CLIR=? +CLIR:(0-2) OK
AT+CMEE=n [M] [&F][&W]	FOMA端末のエラーレポートの有無の設定を行います。	n=0：　通常のERRORリザルトを用います。（初期値） n=1：　+CME ERROR: <err>リザルトコードを使用し、<err>は数値を用います。 n=2：　+CME ERROR: <err>リザルトコードを使用し、<err>は文字を用います。 AT+CMEE?：現在の設定を表示します。 右記はFOMA端末や接続に異常がある場合のコマンドの実行例です。 +CME ERRORリザルトコードは下記のとおりです。 1：　no connection to phone 10：　SIM not inserted 15：　SIM wrong 16：　incorrect password 100：　unknown	AT+CMEE=0 OK AT+CNUM ERROR AT+CMEE=1 OK AT+CNUM +CME ERROR：10 AT+CMEE=2 OK AT+CNUM +CME ERROR : SIM not inserted
AT+CNUM [AT][M]	FOMA端末の自局電話番号を表示します。	number　:電話番号 type　:129もしくは145 129:　国際アクセスコード+を含まない 145:　国際アクセスコード+を含む リザルト：+CNUM:,<number>,<type>	AT+CNUM +CNUM:,"+819012345678",145 OK
AT+CR=n [M] [&F][&W]	回線接続時にCONNECTのリザルトコードを表示する前に、ベアラサービス種別を表示します。	n=0：　表示しません。（初期値） n=1：　表示します。 <serv>：パケット通信を意味する"GPRS"のみ表示します。 （回線種別により"SYNC"、"AV32K"、"AV64K"を表示します。） AT+CR?：現在の設定値を表示します。	AT+CR=1 OK ATD＊99＊＊＊1# +CR : GPRS CONNECT
AT+CRC=n [AT][M] [&F][&W]	着信時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを設定します。	n=0：　+CRINGを使用しません。（初期値） n=1：　+CRING.<type>を使用します。 AT+CRC?で現在の設定を表示します。 +CRINGの書式は次のとおりです。 +CRING：<type> PPPパケット呼着信時 +CRING：GPRS "PPP",,,<APN>	AT+CRC=0 OK AT+CRC? +CRC：0 OK
AT+CREG=n [AT][M] [&F][&W]	圏内・圏外情報の表示に関するリザルト表示の有無を設定します。	n=0：　通知なし。（初期値） n=1：　通知あり。圏内・圏外が切り替わったときに通知します。 （問い合わせ） AT+CREG? +CREG：<n>,<stat> n：　設定値 stat： 0：　音声圏外 1：　音声圏内 4：　不明 5：　音声圏内（ローミング中）	AT+CREG=1 OK （通知ありに設定） AT+CREG? +CREG：1,0 OK （圏外を意味している） （圏外から圏内に移動した場合） +CREG：1
AT+GMI [M]	メーカ名（Panasonic）を表示します。	－	AT+GMI Panasonic OK
AT+GMM [M]	FOMA端末の製品名（FOMA P903i）を表示します。	－	AT+GMM FOMA P903i OK

次ページにつづく

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+GMR [M]	FOMA端末のバージョンを表示します。	－	AT+GMR Ver1.00 OK
AT+IFC=n,m [M] [&F][&W]	フロー制御方式の選択を行います。	n：　DCE by DTE m：　DTE by DCE 0：フロー制御なし 1：XON／XOFFフロー制御 2：RS／CS(RTS/CTS)フロー制御 初期値はn,m=2,2 AT+IFC?で設定値を問い合わせます。	AT+IFC=2,2 OK
AT+WS46=n [M] [&F][&W]	FOMA端末の無線通信網を選択します。	n=22：W-CDMA（Wideband CDMA）のみ指定可能です。（初期値）	AT+WS46=22 OK
ATA [M]	FOMA端末が着信したモードに従って着信処理を行います。	－	RING ATA CONNECT
ATD [M]	FOMA端末に対してパラメータ、ダイヤルパラメータの指定に従って自動発信処理を行います。	<cid>：1～10。+CGDCONTで設定したAPNを表します。cid1に発信する場合、「ATD＊99＊＊＊#」と省略できます。	ATD＊99＊＊＊1# CONNECT
ATEn [M] [&F][&W]	コマンドモードにおいてDTEに対するエコーバックの有無を指定します。	n=0：　エコーバックなし n=1：　エコーバックあり（初期値）	ATE1 OK
ATHn [M]	FOMA端末に対してオンフック動作を行います。	n=0：　回線を切断します。（省略可）	（パケット通信中） +++ ATH NO CARRIER
ATIn [AT][M]	認識コードを表示します。	n=0：　「NTT DoCoMo」を表示します。 n=1：　製品名を表示します。（+GMMと同じ） n=2：　PPPパケット機能のバージョンを表示します。（+GMRと同じ）	ATI0 NTT DoCoMo OK ATI1 FOMA P903i OK
ATOn [M]	通信中にオンラインコマンドモードから、オンラインデータモードに戻ります。	n=0：　オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻します。（省略可）	ATO CONNECT
ATQn [M] [&F][&W]	DTEへのリザルトコードを表示するかどうか設定します。	n=0：リザルトコードを表示します。（初期値） n=1：リザルトコードを表示しません。	ATQ0 OK ATQ1 (このとき、OKは応答されません。)
ATS0=n [M] [&F][&W]	FOMA端末が自動着信するまでの呼び出し回数を設定します。	n=0：　自動着信しません。（初期値） n=1～255：指定したリング回数で自動着信します。 （n≧10のとき、パケット（PPP）着信の場合は、自動着信せず約30秒で切断されます。） ATS0?で設定値を問い合わせます。	ATS0=0 OK ATS0? 000 OK
ATS2=n [M] [&F]	エスケープキャラクタの設定を行います。	n=43：　初期値 n=127：　エスケープ処理は無効。 ATS2?で設定値を問い合わせます。	ATS2=43 OK ATS2? 043 OK
ATS3=n [M] [&F]	キャリッジリターン（CR）キャラクタの設定を行います。	n=13：　初期値（n=13のみ指定可） ATS3?で設定値を問い合わせます。	ATS3=13 OK ATS3? 013 OK
ATS4=n [M] [&F]	ラインフィード（LF）キャラクタの設定を行います。	n=10：初期値（n=10のみ指定可） ATS4?で設定値を問い合わせます。	ATS4=10 OK ATS4? 010 OK

次ページにつづく

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATS5=n [M] [&F]	バックスペース（BS）キャラクタの設定を行います。	n=8：初期値（n=8のみ指定可） ATS5?で設定値を問い合わせます。	ATS5=8 OK ATS5? 008 OK
ATS30=n [M][&F]	不活動タイマ（分）を設定します。ユーザーデータの送受信がないと、設定した時間以上で切断します。本コマンドの設定は、64Kデータ通信に限ります。設定が0の場合、不活動タイマOFFとなります。	n=0～255（初期値は0）（単位：分）	ATS30=0 OK
ATS103=n [M][&F]	着サブアドレスの区切りのキャラクタを選択します。	n=0：　＊（アスタリスク） n=1：　／（スラッシュ）（初期値） n=2：　￥またはバックスラッシュ	ATS103=0 OK
ATS104=n [M][&F]	発サブアドレスの区切りのキャラクタを選択します。	n=0：　#（シャープ） n=1：　%（パーセント）（初期値） n=2：　&（アンド）	ATS104=0 OK
ATVn [M] [&F][&W]	すべてのリザルトコードを数字表記または英文字表記に設定します。	n=0：　リザルトコードを数値で返送します。 n=1：　リザルトコードを文字で返送します。（初期値）	ATV1 OK
ATXn [M] [&F][&W]	接続時のCONNECT表示に速度表示の有無を設定します。 また、ビジートーン、ダイヤルトーンの検出を行います。	n=0：　ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出なし、速度表示なし。 n=1：　ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出なし、速度表示あり。 n=2：　ダイヤルトーン検出あり、ビジートーン検出なし、速度表示あり。 n=3：　ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出あり、速度表示あり。 n=4：　ダイヤルトーン検出あり、ビジートーン検出あり、速度表示あり。（初期値）	ATX1 OK
ATZ [M]	設定を不揮発メモリの内容にリセットします。通信中に本コマンドが入力された場合、回線切断処理を行います。	－	（オンライン時） ATZ NO CARRIER （オフライン時） ATZ OK
AT￥S [M]	現在設定されている各コマンド、Sレジスタの内容を表示します。	－	AT￥S E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 &S0 ￥V0 S000=000 S002=043 S003=013 S004=010 S005=008 S006=005 S007=060 S008=003 S010=001 S030=000 S103=000 S104=000 OK
AT￥Vn [M] [&F][&W]	接続時の応答コード仕様の選択を行います。	n=0：　拡張リザルトコードを使用しません。（初期値） n=1：　拡張リザルトコードを使用します。	AT￥V0 OK

※以下のコマンドは、エラーにはなりませんがコマンドの動作はしません。

- AT（ATのみの入力）
- ATP（パルス設定）
- ATS8（カンマダイヤルによるポーズ時間設定）
- ATT（トーン設定）
- ATS6（ダイヤルするまでのポーズ時間設定）
- ATS10（自動切断遅延時間設定）

ATコマンドの補足説明

●コマンド名：　+CGDCONT　[M]

・概要
パケット発信時の接続先（APN）の設定を行います。

・書式
+CGDCONT=[<cid>[,"PPP"[,"<APN>"]]]

・パラメータ説明
パケット発信時の接続先（APN）を設定します。設定例は以下のコマンド実行例を参照してください。
<cid>※　：1～10
<APN>※　：任意
※<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。
FOMA端末では1～10が登録できます。お買い上げ時、<cid>=1にはmopera.ne.jpが、<cid>=3にはmopera.netが初期値として登録されていますので、cidは2もしくは4～10に設定します。
<APN>は、接続先を示す接続先ごとの任意の文字列です。

・パラメータを省略した場合の動作
+CGDCONT=　：すべての<cid>に対し初期値を設定します
+CGDCONT=<cid>　：指定された<cid>を初期値に設定します。
+CGDCONT=?　：設定可能な値のリスト値を表示します。
+CGDCONT?　：現在の設定を表示します。

・コマンド実行例
AT+CGDCONT=2,"PPP","abc"
OK
※abcというAPN名を登録する場合のコマンド（cidが2の場合）
※本コマンドは設定コマンドですが、&Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。&F、Zによるリセットも行われません。

●コマンド名：　+CGEQMIN=[パラメータ]　[M]

・概要
PPPパケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。
設定パターンは、以下のコマンド実行例に記載されている4パターンが設定できます。

・書式
+CGEQMIN=[<cid>[,,<Maximum bitrate UL>[,<Maximum bitrate DL>]]]

・パラメータ説明
<cid>※　：1～10
<Maximum bitrate UL>※　：なし（初期値）または64
<Maximum bitrate DL>※　：なし（初期値）または384
※<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。
FOMA端末では1～10が登録できます。お買い上げ時、<cid>=1にはmopera.ne.jpが、<cid>=3にはmopera.netが初期値として登録されていますので、cidは2もしくは4～10に設定します。
<Maximum bitrate UL>および<Maximum bitrate DL>は、FOMA端末と基地局間の上りおよび下り最低通信速度[kbps]の設定です。なし（初期値）の場合はすべての速度を許容しますが、64および384を設定した場合はこれらの値以外での速度の接続は許容しないため、パケット通信がつながらない場合がありますのでご注意ください。

・パラメータを省略した場合の動作
+CGEQMIN=　：すべての<cid>に対し初期値を設定します。
+CGEQMIN=<cid>　：指定された<cid>を初期値に設定します。

・コマンド実行例
以下の4パターンのみ設定できます。((1)の設定が各cidに初期値として設定されています。)
(1)上り/下りすべての速度を許容する場合のコマンド
(cidが2の場合)
AT+CGEQMIN=2
OK
(2)上り64kbps/下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド
(cidが3の場合)
AT+CGEQMIN=3,,64,384
OK
(3)上り64kbps/下りはすべての速度を許容する場合のコマンド（cidが4の場合）
AT+CGEQMIN=4,,64
OK
(4)上りすべての速度/下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（cidが5の場合）
AT+CGEQMIN=5,,,384
OK
※本コマンドは設定コマンドですが、&Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。&F、Zによるリセットも行われません。

●コマンド名：　+CGEQREQ=[パラメータ]　[M]

・概要
PPPパケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。
設定は以下のコマンド実行例に記載されている1パターンのみで初期値としても設定されています。

・書式
+CGEQREQ=[<cid>]

・パラメータ説明
<cid>※：1～10
※<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。
FOMA端末では1～10が登録できます。お買い上げ時、<cid>=1にはmopera.ne.jpが、<cid>=3にはmopera.netが初期値として登録されていますので、cidは2もしくは4～10に設定します。

・パラメータを省略した場合の動作
+CGEQREQ=　：すべての<cid>に対し初期値を設定します。
+CGEQREQ=<cid>　：指定された<cid>を初期値に設定します。

・コマンド実行例
以下の1パターンのみ設定できます。
(各cidに初期値として設定されています。)
(1)上り64kbps/下り384kbpsの速度で接続を要求する場合のコマンド（cidが3の場合）
AT+CGEQREQ=3
OK
※本コマンドは設定コマンドですが、&Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。&F、Zによるリセットも行われません。

●コマンド名：　+CLIP

・概要
"AT+CLIP=1"の場合のリザルトが下記の書式で表示されます。
+CLIP：<number><type>

・コマンド実行例
AT+CLIP=1
OK
RING
+CLIP："09012345678",49

切断理由一覧

■64Kデータ通信

値	理由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありませんでした。
19	相手が呼び出し中のため通信ができません。
21	相手側が着信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない伝達能力を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信したか、もしくは着信を受けました。

■パケット通信

値	理由
27	APNが存在しないか、もしくは正しくありません。
30	ネットワークより切断されました。
33	要求したサービスオプションは申し込まれていません。
36	正常に切断されました。

リザルトコード

■リザルトコード一覧

数字表示	文字表示	意味
0	OK	正常に実行しました
1	CONNECT	相手と接続しました
2	RING	着信が来ています
3	NO CARRIER	回線が切断されました
4	ERROR	コマンドを受け付けることができません
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません
7	BUSY	話中音の検出中です
8	NO ANSWER	接続完了タイムアウト
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です
101	DELAYED	リダイヤル規制時間内

■拡張リザルトコード

&E0のとき
FOMA端末−基地局間の接続速度を表示します。

数字表示	文字表示	接続速度
121	CONNECT 32000	32000bps
122	CONNECT 64000	64000bps
125	CONNECT 384000	384000bps

&E1のとき

数字表示	文字表示	接続速度
5	CONNECT 1200	1200bps
10	CONNECT 2400	2400bps
11	CONNECT 4800	4800bps
13	CONNECT 7200	7200bps
12	CONNECT 9600	9600bps
15	CONNECT 14400	14400bps
16	CONNECT 19200	19200bps
17	CONNECT 38400	38400bps
18	CONNECT 57600	57600bps
19	CONNECT 115200	115200bps
20	CONNECT 230400	230400bps
21	CONNECT 460800	460800bps

お知らせ

- ATVnコマンド（P.35参照）がn=1に設定されている場合には文字表示形式（初期値）、n=0に設定されている場合には数字表示形式でリザルトコードが表示されます。
- 従来のRS-232Cで接続するモデムとの互換性を保つため通信速度の表示はしますが、FOMA端末−PC間はFOMA USB接続ケーブル（別売）やBluetoothで接続されているため、実際の接続速度と異なります。
- 「RESTRICTION」（数字表示：100）が表示された場合には、通信ネットワークが混雑しています。しばらくしてから接続し直してください。

■通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意味
1	PPPoverUD	64Kデータ通信で接続
2	AV32K	テレビ電話32Kで接続
3	AV64K	テレビ電話64Kで接続
5	PACKET	パケット通信で接続

■リザルトコード表示例

- ATX0が設定されている場合
  AT¥Vコマンド（P.35参照）の設定に関わらず、接続完了の際にCONNECTのみの表示となります。
  文字表示例：　ATD*99***1#
  　　　　　　　CONNECT
  数字表示例：　ATD*99***1#
  　　　　　　　1
- ATX1が設定されている場合※
  ・ATX1、AT¥V0が設定されている場合（初期値）
  接続完了のときに、CONNECT<FOMA端末−PC間の速度>の書式で表示します。
  文字表示例：　ATD*99***1#
  　　　　　　　CONNECT 460800
  数字表示例：　ATD*99***1#
  　　　　　　　1 21
  ・ATX1、AT¥V1が設定されている場合※
  接続完了のときに、以下の書式で表示します。
  CONNECT<FOMA端末−PC間の速度>PACKET<接続先APN>/<上り方向（FOMA端末→無線基地局間）の最高速度>/<下り方向（FOMA端末←無線基地局間）の最高速度>
  文字表示例：　ATD*99***1#
  　　　　　　　CONNECT 460800 PACKET
  　　　　　　　mopera.ne.jp /64/384
  　　　　　　　(mopera.ne.jpに、上り最大64kbps、下り最大384kbpsで接続したことを表します。)
  数字表示例：　ATD*99***1#
  　　　　　　　1215

※ATX1、AT¥V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しく行えない場合があります。
AT¥V0だけでのご利用をおすすめします。

'07.1（第3版）
F0906F2126

FOMA® P903i

区点コード一覧

＜区点コード一覧表の見かた＞

最初に「区点1～3桁目」の数字を入力してから、次に「区点4桁目」の数字を入力します。

●区点コード一覧の表示は、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	¬	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							０	１	２	３
032	４	５	６	７	８	９				
033				Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
034	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ
035	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
036						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
037	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
038	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
039	ｚ									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
	【		**あ**		】					
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
	【		**い**		】					
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
	【		**う**		】					
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
	【		**え**		】					
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
	【		**お**		】					
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
	【		**か**		】					
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
	【		**き**		】					
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
	【		**く**		】					
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
	【		**け**		】					
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
	【		**こ**		】					
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
	【		**さ**		】					
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕

区点	区点4桁目									
1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
	【		し		】					
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
	【		す		】					
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
	【		せ		】					
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
	【		そ		】					
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜

区点	区点4桁目									
1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	【		た		】					
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
	【		ち		】					
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
	【		つ		】					
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
	【		て		】					
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
	【		と		】					
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
	【		な		】					
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
	【		に		】					
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
	【		ぬ		】					
390									濡	
	【		ね		】					
390										禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘									
	【		の		】					
392		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
	【		は		】					
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					

区点	区点4桁目									
1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
	【		ひ		】					
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
	【		ふ		】					
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
	【		へ		】					
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
	【		ほ		】					
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
	【		ま		】					
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
	【		み		】					
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
	【		む		】					
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
	【		め		】					
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
	【		も		】					
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
	【		や		】					
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
	【		ゆ		】					
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
	【		よ		】					
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸

区点 1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
	【		ら		】					
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
	【		り		】					
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
	【		る		】					
466	瑠	塁	涙	累	類					
	【		れ		】					
466						令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
	【		ろ		】					
470						呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
	【		わ		】					
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
476										
477										
478										
479										
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦

区点 1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘

区点 1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

'06.10（第1版）
F0906F0